

平成 25 年度  
子ども・子育て支援に関する  
アンケート調査報告書

平成 26 年 3 月

相模原市



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
(1) 調査票の種類と調査対象者等.....	3
3 調査の実施方法と配布・回収状況.....	4
(1) 調査時期と調査方法.....	4
(2) 調査票配布・回収状況.....	4
4 報告書の見方について.....	4
(1) 電算処理の注意点.....	4
(2) グラフの見方について.....	4
5 就学前児童と小学校児童の保護者の調査結果のまとめ.....	6
6 子ども本人(11歳・14歳・17歳を迎える人)の調査結果のまとめ.....	10
7 青年男女(20歳・25歳・30歳・35歳を迎える人)の調査結果のまとめ.....	15
8 ひとり親家庭の人の調査結果のまとめ.....	22
<b>第2章 アンケート調査結果</b> .....	<b>25</b>
第1節 就学前児童・小学校児童の保護者.....	25
1 調査対象者の属性・家族状況.....	25
(1) 居住地域の状況.....	25
(2) 就学前児童の属性.....	26
(3) 小学校児童の属性.....	27
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無.....	28
2 子育ての環境について.....	29
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況.....	29
(2) 子育てに関する相談者の状況.....	33
3 日常の子育てについて.....	34
4 子育てに対する考え方について.....	42
5 保護者の就労状況.....	52
(1) 母親の就労状況.....	52
(2) 父親の就労状況.....	59
6 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	66
(1) 平日の定期的な教育・保育事業(全体).....	66
(2) 幼稚園.....	69
(3) 幼稚園の預かり保育.....	72
(4) 認可保育所.....	75
(5) 認定こども園.....	78
(6) 相模原市認定保育室.....	81
(7) 事業所内保育施設.....	84
(8) その他の認可外保育施設.....	87
(9) 家庭的保育.....	90
(10) 居宅訪問型保育(ベビーシッター含む).....	93
(11) ファミリー・サポート・センター.....	96
(12) その他の事業.....	99
(13) 定期的な教育・保育の利用理由と利用しない理由.....	102
(14) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望.....	103
(15) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	108
7 地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望.....	117
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について.....	117

( 2 ) 不定期の一時保育の利用について.....	120
( 3 ) 宿泊を伴う一時保育の利用について.....	128
( 4 ) ベビーシッターの利用について.....	134
( 5 ) ファミリー・サポート・センターの利用について.....	135
8 放課後の過ごし方について.....	137
( 1 ) 平日の放課後の過ごし方について.....	137
( 2 ) 土曜日・日曜日・祝日の児童クラブの利用について.....	147
( 3 ) 長期休暇期間中の児童クラブの利用について.....	153
( 4 ) 小学校児童の児童クラブの利用等について.....	154
9 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用希望.....	167
10 育児休業制度の利用状況.....	170
11 市の取り組みについて.....	178
12 地域の子育て支援の環境や支援への満足度.....	187
第 2 節 子ども本人 ( 11 歳・14 歳・17 歳を迎える人 ) .....	188
1 回答者と家族の状況.....	188
2 日ごろの生活や活動.....	193
3 子どもの権利について.....	219
4 児童クラブについて ( 11 歳のみ回答 ) .....	235
5 仕事、結婚、子育てについて ( 14 歳・17 歳のみ回答 ) .....	237
第 3 節 青年男女 ( 20 歳・25 歳・30 歳・35 歳を迎える人 ) .....	245
1 回答者と家族の状況.....	245
2 日常生活について.....	249
3 仕事の状況について.....	253
( 1 ) 回答者の就労状況.....	253
( 2 ) 配偶者または事実婚状態にある人の就労状況.....	257
( 3 ) 就労希望について.....	261
4 結婚についての考え方.....	265
5 子育てについて.....	275
6 子育ての環境について.....	281
7 子どもの権利について.....	290
第 4 節 ひとり親家庭の人.....	293
1 世帯と住居の状況について.....	293
2 現在の生活状況について.....	297
3 仕事の状況について.....	304
4 資格や技能について.....	316
5 福祉制度などについて.....	319
第 5 節 自由記述.....	323
1 就学前児童の保護者の自由記述.....	323
2 小学校児童の保護者の自由記述.....	326
3 子ども本人 ( 11 歳・14 歳・17 歳を迎える人 ) の自由記述.....	329
4 青年男女 ( 20 歳・25 歳・30 歳・35 歳を迎える人 ) の自由記述... ..	331
5 ひとり親家庭の人の自由記述.....	333
<b>資料編</b>	
調査に使用したアンケート調査票.....	335



# 第 1 章

## 調査実施の概要



## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、平成27年4月から新しい「子ども・子育て支援制度」が施行される予定です。

新しい制度では、これまで以上に安心して子どもを生み育てられる環境を整備していくために「質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供」や「地域における子育て支援の充実」「保育の量的拡大」を図る必要があることから、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを把握し、適切なサービスの確保を行うことを目的とした事業計画の策定が自治体に義務化されています。

このような状況により、事業計画の策定に必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート調査を実施しました。

### 2 調査の設計

#### (1) 調査票の種類と調査対象者等

図表 1.1 調査の種類と調査対象者等

	調査対象者	就学前児童（0歳児～5歳児）を持つ保護者
	調査件数	5,600件
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査対象者	小学校児童（6歳児～11歳児）を持つ保護者
	調査件数	3,000件
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査対象者	平成25年度11歳、14歳、17歳を迎える人
	調査件数	1,500件
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査対象者	平成25年度20歳、25歳、30歳、35歳を迎える人
	調査件数	2,000件
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査対象者	ひとり親家庭の人
	調査件数	500件
	抽出方法	児童扶養手当台帳から無作為抽出

### 3 調査の実施方法と配布・回収状況

#### (1) 調査時期と調査方法

調査時期：平成 25 年 12 月

はがきによる督促を 1 回

調査方法：郵送方式により調査票を配布・回収

#### (2) 調査票配布・回収状況

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童を持つ保護者	5,600	3,063	54.7%
小学校児童を持つ保護者	3,000	1,601	53.4%
子ども本人(11歳、14歳、17歳)	1,500	714	47.6%
青年男女(20歳、25歳、30歳、35歳)	2,000	574	28.7%
ひとり親家庭の人	500	245	49.0%
合計	12,600	6,197	49.2%

### 4 報告書の見方について

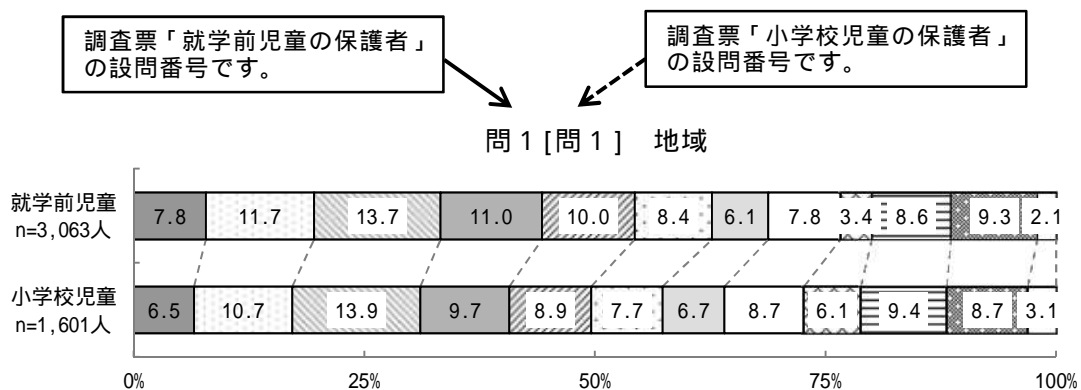
国資料は「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用していますが、この報告書では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学校児童」と表記しています。


#### (1) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても 100% に合致しない場合があります。

回答者が 2 つ以上回答することができる質問(複数回答)の場合、その回答率の合計は 100% を超えることがあります。

#### (2) グラフの見方について





グラフの単位は、特にことわりのない限り「%」(回答率)をあらわしています。  
グラフ中の「n(回答者数)」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしています。

選択肢の一部を省略・編集している場合があります。

○回答者数が少ない場合は、参考にとどめています。

## 5 就学前児童と小学校児童の保護者の調査結果のまとめ

### 子育てを取り巻く環境

- ・ 日常的に子育てに関わっている人をみると「父母ともに」（就学前児童 51.8%）が最も多く、次いで「母親」（就学前児童 41.7%）となっています。また、子育てに最も影響を与える環境では「家庭」（就学前児童 89.8%）が9割を占めています。
- ・ 主な親族等協力者の状況では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童 57.9%、小学校児童 55.0%）、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童 24.5%、小学校児童 22.9%）となっています。一方で、「いずれもない」（就学前児童 15.1%、小学校児童 14.1%）となっています。
- ・ 子どもを育てている現在の生活の満足度は、「満足している」（就学前児童 30.3%、小学校児童 30.1%）、「どちらかといえば満足している」もあわせると就学前児童（76.5%）、小学校児童（77.4%）は満足していると回答しています。
- ・ 子育てをして不安、負担に思うことは「自分の時間が取れない」（就学前児童 51.3%）、「経済的負担が大きい」（45.0%）が多くなっています。
- ・ 母親の就労状況をみると「以前は就労していたが、現在は就労していない」（就学前児童 49.4%）と最も多く、就労を継続している人は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護・その他休業中でない」（17.8%）、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護・その他休業中ではない」（15.3%）で33.1%となっています。
- ・ 就労していない母親の（就学前児童 55.5%、小学校児童 40.7%）は就労意向をもっており、就学前児童では「1年以内」（17.5%）、「1年以降」（38.0%）となっています。

## 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

- ・ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」(55.7%)、「利用していない」(43.3%)となっています。今後の利用希望(利用していない人も含む)の伸びをみると「幼稚園」(60.3%)が18.4ポイント増、「認可保育所」(42.6%)が15.9ポイント増、「幼稚園の預かり保育」(29.9%)が24.9ポイント増となっています。また、「認定こども園」(14.7%)の利用希望となっています。
- ・ 教育・保育の実施場所は、利用状況では「相模原市内」(94.9%)、希望実施場所では「相模原市内」(93.2%)と高くなっています。
- ・ 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望では、「月1~2回は利用したい」(土曜日21.6%、日曜・祝日12.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(土曜日8.2%、日曜・祝日1.9%)となっています。また、幼稚園利用者の長期休暇中の利用希望の「休みの期間中、週に数日利用したい」(42.7%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(8.7%)をあわせると半数の利用希望があります。
- ・ 病気やケガで、通常の事業が利用できなかったことは「あった」(就学前児童63.0%、小学校児童63.5%)となっています。この1年間の対処方法は、「母親が休んだ」(就学前児童55.0%、小学校児童35.0%)で最も多くなっています。父親・母親が休んだ人の病児・病後児保育施設の利用意向は、(就学前児童35.1%)となっています。
- ・ 地域の子育て支援拠点事業の利用状況は、「こどもセンターで実施している(子育て広場)」(就学前児童14.3%)、「地域子育て支援拠点事業」(就学前児童6.4%)と低率に留まっていますが、今後の利用意向では、「利用していないが、今後利用したい」(就学前児童24.5%)と増加傾向にあります。
- ・ 放課後の過ごし方の希望(就学前児童4歳以上)をみると、小学校低学年(になった場合)の過ごし方では「自宅」(56.8%)、「塾や習い事」(47.8%)、「児童クラブ(学童保育)」(35.5%)となっています。小学校4年生(になった場合)の過ごし方は「自宅」(57.0%)と大きく変わりませんが、「児童クラブ(学童保育)」(18.2%)で17.3ポイント減少、その減少分が「塾や習い事」へ移行していると考えられます。児童クラブ(学童クラブ)の土曜日の利用希望は、「低学年の間は利用したい」(18.6%)、「4年生まで利用したい」(7.7%)、「6年生まで利用したい」(14.7%)という希望となっています。長期休暇期間中

の利用希望は、「低学年の間は利用したい」(23.8%)、「4年生まで利用したい」(7.9%)、「6年生まで利用したい」(17.9%)となっています。

- ・ 子育て支援事業の周知度をみると、「ショートステイ」が1割程度となっていますが、「保健センターの育児相談・栄養相談等」(82.1%)、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」(79.9%)、「ふれあい親子サロン」(78.5%)などは高くなっています。また、今後の利用意向をみると「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(51.4%)、「子育てガイド(子育て情報誌)」(48.6%)で他事業も利用状況から見ると多くなっていることから、情報を得る手段や正しい情報を得たいということが伺えます。



## 育児休業制度の利用状況

- ・ 育児休業制度の利用状況は、母親「働いていなかった」(59.2%)、「取得した(取得中である)」(26.8%)、父親「取得した(取得中である)」(2.2%)となっています。
- ・ 育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(39.1%)、「育児休業給付のみを知っていた」(31.0%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(25.3%)となっています。
- ・ 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入るため」(53.4%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(24.9%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(18.4%)となっています。一方、育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」(68.4%)が最も多くなっています。
- ・ 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、母親が(48.8%)の利用となっています。職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由をみると、母親「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(34.4%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(34.0%)となっています。


## 6 子ども本人(11歳・14歳・17歳を迎える人)の調査結果のまとめ

### 回答者と家族の状況

- ・ 回答者の学齢は、「小学生」(38.0%)、「中学生」(32.9%)、「高校生」(27.5%)となっています。
- ・ 近くに暮らしている親族は、『11歳』では「おばあさん」(49.1%)、「おじいさん」(41.7%)、「近くにはいない」(37.3%)となっています。  
『14歳』では、「近くにはいない」(44.7%)、「おばあさん」(36.6%)、「おじいさん」(31.9%)となっています。  
『17歳』では、「近くにはいない」(44.4%)、「おばあさん」(39.8%)、「おじいさん」「その他の親戚」(各31.1%)となっています。
- ・ 母親の働き方をみると、『11歳』では「食事のしたくなど、家の仕事をしている」(32.8%)、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(31.4%)となっています。  
『14歳』では「会社や役所などで毎日働いている」(33.2%)、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(29.4%)となっています。  
『17歳』では、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(35.2%)、「会社や役所などで毎日働いている」(29.6%)となっています。

## 日ごろの生活や活動

- ・ 平日の起床時間は「午前6時台」(11歳 49.8%、14歳 56.2%、17歳 46.9%)が各年齢で最も多くなっています。平日の就寝時間は、『11歳』では「午後10時台」(46.9%)、『14歳』『17歳』では「午後11時台」(46.4%)(43.4%)が最も多くなっています。
- ・ 平日の睡眠時間をみると、『11歳』では「8～9時間未満」(50.6%)、『14歳』『17歳』では「6～7時間未満」(39.1%)(48.0%)が最も多くなっています。
- ・ 朝食の状況をみると、『11歳』は「たいてい家族といっしょに食べる」(74.5%)、『14歳』は「たいてい家族といっしょに食べる」(41.3%)、『17歳』は「たいていひとりで食べる」(41.3%)が最も多くなっています。
- ・ 『11歳』の人が放課後に主に過ごしている場所は、「自宅」(80.8%)、「学習塾や習い事」(57.6%)、「友だちの家」(47.2%)となっています。
- ・ 『14歳』の人が放課後に主に過ごしている場所は、「自宅」(86.0%)、「学校(クラブ活動なども含む)」(83.4%)、「学習塾や習い事」(55.3%)となっています。
- ・ 『17歳』の人が放課後(または仕事後)に主に過ごしている場所は、「自宅」(79.6%)、「学校(クラブ活動なども含む)」(74.5%)、「コンビニエンスストアやショッピングセンターなど」(25.0%)となっています。
- ・ 自分の携帯電話・スマートフォンの所有の有無をみると、『11歳』では「持っていない」(55.4%)が多く、『14歳』『17歳』では「持っている」(83.4%)(98.5%)となっています。
- ・ 携帯型ゲーム・テレビゲームの有無をみると、「持っている」(11歳 90.8%、14歳 88.9%、17歳 79.1%)となっています。
- ・ パソコン(家族で使っているものも含む)の所有の有無をみると、「持っている」(11歳 86.0%、14歳 89.4%、17歳 92.9%)となっています。
- ・ 自宅でのインターネットの利用の有無をみると、「自宅でインターネットをしている」(11歳 66.8%、14歳 76.6%、17歳 75.5%)となっています。

- 
- ・ 地域活動や部活動、子ども会等への参加の有無をみると、「参加している」(11歳 56.5%、14歳 74.0%、17歳 58.2%)となっており、一方「参加していない」(11歳 39.1%、14歳 22.1%、17歳 38.8%)となっています。
  - ・ こどもセンターや児童館の利用経験は、「利用したことがある」(11歳 74.5%、14歳 81.7%、17歳 82.1%)が最も多くなっています。  
使いやすい施設にするために必要だと思うことは、「子どもの意見をとり入れる」(11歳 39.1%、14歳 36.6%、17歳 26.0%)が最も多くなっています。
  - ・ 地域のおとなとの交流は、「日ごろ、地域のおとなとあいさつをする」(11歳 76.0%、14歳 68.1%、17歳 63.3%)が最も多くなっています。
  - ・ 地域の人たちにしてほしいことは、「あたたかく見守ってほしい」(11歳 38.4%、14歳 37.0%、17歳 45.9%)が最も多くなっています。

## 子どもの権利について

- ・ たたかれたり、つねられたりすることの有無は、「ある」(11歳 10.7%、14歳 12.8%、17歳 7.1%)、「ときどきある」(11歳 14.8%、14歳 13.2%、17歳 9.7%)となっています。
- ・ 食事・風呂などの世話をしてもらえないことの有無は、「ない」(11歳 96.7%、14歳 95.3%、17歳 96.4%)となっています。
- ・ きびしくしつけられることの有無は、「ある」(11歳 3.3%、14歳 4.3%、17歳 1.5%)、「ときどきある」(11歳 10.0%、14歳 7.2%、17歳 6.1%)となっています。
- ・ 言葉でおどされたり無視されたりすることの有無は、「ある」(11歳 1.8%、14歳 3.0%、17歳 3.1%)、「ときどきある」(11歳 5.2%、14歳 9.4%、17歳 7.7%)となっています。
- ・ 対処方法は、「親とけんかした」(11歳 51.7%、14歳 48.7%、17歳 53.5%)が最も多く、次いで「がまんした」(11歳 49.4%、14歳 46.2%、17歳 41.9%)、「親にやめるように言った」(11歳 16.9%、14歳 10.3%、17歳 25.6%)となっています。
- ・ つらくてどうしようもないことを人から言われたり、されたりしたことの有無は、「ある」(11歳 27.3%、14歳 34.0%、17歳 28.6%)となっています。どんなことをされたのかは、「友だちからたたかれたり、いじめられたり心を傷つけられる言葉を言われたりした」(11歳 82.4%、14歳 77.5%、17歳 66.1%)が最も多くなっています。
- ・ 不登校についての考えは、「不登校の原因を解決して登校するべきだと思う」(11歳 51.3%、14歳 34.0%)、「いろいろな理由があるからしかたがない」(17歳 36.2%)が最も多くなっています。
- ・ いじめなど、自分がされてイヤなことを他の人にすることについては、「自分がされてイヤなことはしてはいけない」(11歳 74.2%、14歳 65.5%、17歳 66.3%)が最も多くなっています。

## 児童クラブについて「11歳」

- ・ 児童クラブの利用経験は、「利用していた」(28.0%)、利用した感想は「居心地がよかった(楽しかった、おもしろかった)」(77.6%)、「居心地が悪かった」(17.1%)となっています。

居心地が悪かった理由は、「利用するためのルールが多すぎるから」(53.8%)が最も多く、次いで「仲の良い友達がないから」「遊べる道具の数・種類が少ないから」「指導員がいるから」(各30.8%)となっています。

## 7 青年男女(20歳・25歳・30歳・35歳を迎える人)の調査結果のまとめ

### 回答者と家族の状況

- ・ 結婚の有無では、「結婚していない」(52.4%)、「結婚している」(43.1%)となっています。配偶者の年齢では、「31～35歳」(36.4%)、「26歳～30歳」(27.1%)、「36歳～40歳」(25.1%)となっています。
- ・ 回答者の年収では、「100万円未満」(34.4%)、「200万円以上～300万円未満」(14.8%)、「300万円～400万円未満」(13.6%)となっています。世帯全体の年収では、「500万円～700万円未満」(13.8%)、「700万円～1000万円未満」(12.4%)、「400万円～500万円未満」(11.3%)となっています。

### 日常生活について

- ・ 朝食摂取の状況では、「毎日食べている」(61.1%)、「食べる日が多い」(17.5%)となっている一方、「食べる日が少ない」(16.6%)、「全く食べない」(4.7%)となっています。  
朝食を家族と一緒に食べているかどうかでは、「ひとりで食べている」(50.3%)、「たいてい家族と一緒に食べている」(36.1%)となっています。
- ・ パソコン使用の有無では、「自分専用のパソコン等があり、使っている」(41.9%)、「家族で共用のパソコン等があり、使っている」(42.1%)となっています。  
携帯電話、スマートフォン所持の有無では、「持っている」(96.9%)が最も多くなっています。
- ・ 携帯電話、スマートフォンの使用に関する考え方や行動では、「外出のときには必ず持ち歩く」(86.7%)が最も多く、次いで「必需品である」(71.2%)、「小学生には必要ない」(47.8%)となっています。

## 仕事の状況について

- ・ 就労状況は、「常勤（フルタイム）」（41.2%）、「以前は就労していたが現在は就労していない」（12.6%）、「パートタイム、アルバイト等」（10.8%）となっています。
- ・ 常勤（フルタイム）の平均的な就労時間（1週間当たり）では、「40-49時間」（40.3%）、「50-59時間」（19.9%）となっています。常勤（フルタイム）の平均的な帰宅時間では、「20-21時台」（36.9%）、「18-19時台」（31.4%）となっています。
- ・ パートタイム・アルバイト等の平均的な就労日数（1週間当たり）では、「6日以上」（51.6%）、「4日」（22.6%）、「5日」（19.4%）となっています。平均的な就労時間（1日当たり）では、「4-5時間」（50.0%）、「4時間未満」（48.4%）となっています。平均的な帰宅時間では、「18-19時台」「20-21時台」（各22.6%）、「12時以前」（16.1%）となっています。



## 結婚についての考え方

- ・ 結婚についての考え方では、「いずれは結婚したい」(66.8%)が最も多く、次いで「できればすぐにでも結婚したい」(14.6%)となっています。結婚していない理由では、「適当な相手とめぐり会えないから」(42.5%)、「結婚するにはまだ早い(若い)から」(30.4%)となっています。
- ・ 子どもができないのではないかと心配したことがあるかどうかでは、「心配したことがある」(29.8%)、「現在心配している」(5.8%)となっています。子どもができないことを心配し医療機関にかかったことがあるかどうかでは、「過去に検査や治療、相談等をしたことがある」(26.5%)、「現在、検査や治療、相談等をしている」(4.4%)となっています。
- ・ 理想的な子どもの人数は、「2人」(51.1%)、「3人」(34.9%)となっています。持つつもりの子どもの人数では、「2人」(61.4%)が最も多くなっており、次いで「1人」(13.3%)となっています。
- ・ 持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(73.3%)が最も多くなっており、次いで「国や自治体の施策が不十分だから」(21.8%)となっています。
- ・ 結婚について感じる心配や大変さでは、「経済的なこと」(43.8%)、「仕事と家庭の両立」(35.8%)となっています。

## 子育てについて

- ・ 将来子育てをしたいと思うかどうかでは、「思う」(53.2%)、「子育て中である」(28.8%)となっています。  
将来子育てをしたい理由では、「自分の子どもをもちたいから」(46.2%)、「子育てを通じて自分も成長できるから」(38.7%)となっています。
- ・ 将来子育てをしたいと思わない理由では、「自分の生活を楽しみたいから」(50.0%)、「子どもは嫌いだから」(35.0%)となっています。
- ・ 子育てと仕事についての考え方では、「子育てと仕事を両立させたい」(61.6%)、「仕事よりも子育てを優先させたい」(30.2%)となっています。
- ・ 家庭で子育てをする上で大切なことでは、「自由な時間を持つよりも、家庭で子どもといっしょにいる時間を多く持つことが大切だ」(45.2%)、「孤立した育児にならないように、子育てグループや広場などに参加することが大切だ」(27.2%)となっています。

## 子育ての環境について

- ・ 子どもたちに対して地域の人たちがすべきことでは、「悪いことや危険なことをした時には注意する」(64.6%)、「子どものことをあれこれ言う前におとな自身がきちんとする」(40.0%)となっています。
- ・ 子育てと仕事の両立を図るため企業などに求める制度や取組みに必要なものでは、「子どもの状況(病気や行事など)に応じて休暇がとれる制度」(58.6%)、「配偶者の出産前後に休暇を取れる制度」(34.6%)となっています。
- ・ 市が行う子育て支援策として希望する取組みでは、「乳幼児健康診査の充実など子どもや母親の健康の確保や増進」(51.0%)、「子育て中の親子が交流できる場作りなど、地域における子育て支援サービスの充実」(37.2%)となっています。
- ・ 地域における子育て支援サービスとして最も望まれるものでは、「緊急・一時的に保育が必要となる子どもの保育を行う」(40.3%)、「放課後の小学校で地域の方々の協力を得て、小学校が体験活動やスポーツを行うなどの安全・安心な活動の場づくりを進める」(23.7%)となっています。
- ・ 子どもや母親の健康の確保や増進として最も望まれるものでは、「産科救急医療、小児救急医療等の医療体制を充実する」(51.8%)、「乳幼児健康検査を充実する」(42.4%)となっています。
- ・ 子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備として最も望まれるものでは、「子どもたちが学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等を含めた確かな学力を身に付けることができる取組を進める」(48.7%)、「道徳教育の充実や地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を進める」(28.8%)となっています。
- ・ 子育てを支援する生活環境の整備として最も望まれるものでは、「通学路における防犯等やガードレールの整備推進など、子どもが犯罪や交通事故の被害にあわないようなまちづくりを進める」(59.7%)、「親子が安全・安心に通行することができるよう幅の広い歩道の整備など安全な道路交通環境の整備を進める」(39.8%)となっています。



- ・ 職業生活と家庭生活との両立の推進として最も望まれるものでは、「子育て家庭に対する社会保障制度を充実する」(46.9%)、「多様な働き方が可能となる制度や環境を整備する」(40.0%)となっています。
- ・ 子ども等の安全の確保として最も望まれるものでは、「学校付近や通学路等で、PTAなど学校関係者や防犯ボランティア等の連携によるパトロール活動を進める」(44.5%)、「保育所、幼稚園、学校などへの不審者の侵入を防ぐための対策を進める」(40.1%)となっています。

## 子どもの権利について

- ・ 子どもに対するしつけとして、子どもをたたいたりつねったり、することは「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(57.6%)、「やってはいけない」(34.0%)となっています。
- ・ 食事を与えない、お風呂に入れさせないなど子どもの世話をしないことは、「やってはいけない」(96.0%)が最も多くなっています。
- ・ 何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつけることは、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(50.6%)、「やってはいけない」(30.9%)となっています。
- ・ 言葉でおどしたり、無視したりすることは、「やってはいけない」(80.3%)、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(14.8%)となっています。
- ・ 子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備として最も望まれるものでは、「子どもが自分自身を大切にし、他の人も大切にすること」(53.6%)、「衣・食・住など、安心して安全な基本生活をおくること」(36.3%)となっています。

## 8 ひとり親家庭の人の調査結果のまとめ

### 世帯と住居の状況について

- ・ 年齢では「40歳～49歳」(55.5%)、世帯の区分では「母子世帯」(86.5%)が最も多くなっています。同居している家族全員の人数は「3人」(33.2%)、「2人以下」(29.1%)となっています。同居者以外で近くに住んでいる人(概ね30分以内)は「いない」(39.6%)が最も多くなっています。
- ・ 「緊急時または用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(44.1%)、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(31.0%)となっている一方で、「いずれもない」(19.6%)となっています。
- ・ ひとり親家庭になった理由は「離婚」(89.8%)、ひとり親家庭になった時期は「平成20年～平成25年」(47.3%)が最も多くなっています。住まいでは「民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)」(33.9%)が最も多くなっています。

### 現在の生活状況について

- ・ 世帯全体の収入は「あなたの勤労収入」(89.8%)、「児童扶養手当」(71.8%)、「児童手当」(65.3%)となっています。回答者の年収は「100万～150万円未満」(20.4%)が最も多く、次いで「150万～200万円未満」(17.1%)、「100万円未満」(15.9%)となっています。
- ・ 家庭を普通に無理なく維持するのに必要な年収増は「100万～120万円未満位」(27.8%)が最も多く、次いで「50万～70万円未満位」(22.9%)となっており、およそ「200万～250万円」の年収を理想としていることがうかがえます。
- ・ ひとり親家庭になったときに、困ったこと、悩んだことは「生活費や子どもの養育費(教育費など)が不足して困った」(65.3%)が最も多く、次いで「子どものしつけで悩んだ」(34.3%)となっています。
- ・ 困ったことや悩んでいることを相談できる相手の有無は「いる」(76.3%)、「いない」(22.4%)となっています。相談できる相手は「親・親族」(61.2%)、「知人・友人・隣人」(58.4%)となっています。

## 仕事の状況について

- ・ 就労状況は「常勤（フルタイム）」（42.4%）、「パートタイム・アルバイト等」（21.6%）が多く、「常勤（フルタイム）」の就労時間は「40-49 時間/週」（36.5%）、帰宅時間は「18-19 時台」（43.3%）が最も多くなっています。「パートタイム・アルバイト等」の就労日数は「5 日/週」（64.2%）、就労時間は「6-7 時間/日」（50.9%）、帰宅時間は「18-19 時台」（28.3%）が最も多くなっています。
- ・ 未就労の人の就労希望は「すぐに（1 年以内）に働きたい」（75.0%）、希望する就労形態は「フルタイム」（65.2%）が最も多くなっています。また、仕事に就く場合、重視することでは「十分な収入が得られる」（25.0%）が最も多く、次いで「土・日曜日に休める」「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」（各 12.5%）となっています。
- ・ 現在の仕事の種類は「事務的な仕事（一般事務、経理事務など）」（32.5%）、「サービスの仕事（理・美容師、ホテル・飲食店従業員など）」（18.3%）、「専門的・技術的な仕事（医師、看護師、医療技術者、美術家、音楽家、教員など）」（17.8%）となっています。現在の仕事に就いたのはひとり親になったのが理由かは「はい」（85.0%）となっています。

## 資格や技能について

- ・ 資格や技能の有無では「運転免許」（84.9%）が最も多く、「簿記」（17.1%）、「パソコン」（11.4%）、「医療事務」（11.0%）となっています。
- ・ ひとり親家庭になってから取得した資格・技能は、「訪問介護員（ホームヘルパー）」（6.8%）、「パソコン」（5.9%）、「医療事務」（5.0%）となっています。実際の仕事で役立っている資格・技能は、「運転免許」（24.7%）が最も多く、次いで「パソコン」（9.1%）、「訪問介護員（ホームヘルパー）」、「簿記」（各 5.0%）となっています。
- ・ これから取得したい資格や技能は「パソコン」（27.3%）が最も多く、次いで「医療事務」（14.3%）、「外国語」（11.0%）となっています。

## 福祉制度について

- ・ 利用したことのある福祉制度・機関は、「公共職業安定所（ハローワーク）」（49.4%）が最も多く、「市福祉関係の相談窓口」（15.9%）、「子ども家庭相談員」（11.0%）となっています。
- ・ 内容を知りたい、もっと詳しく聞きたい福祉制度・機関は、「就職支援センター」（20.0%）、「公共職業能力開発施設」（16.7%）、「相模原市母子寡婦福祉協議会」（12.7%）となっています。
- ・ 就職や仕事のために、行政から望む支援は、「訓練受講などに際し、経済的援助が受けられること」（34.7%）、「長期（2年以上）に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費を支援すること」（31.0%）、「就業のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助すること」（28.6%）、「技能講習、職業訓練などの機会が増えること」（20.4%）となっています。



## 第 2 章

### アンケート調査結果



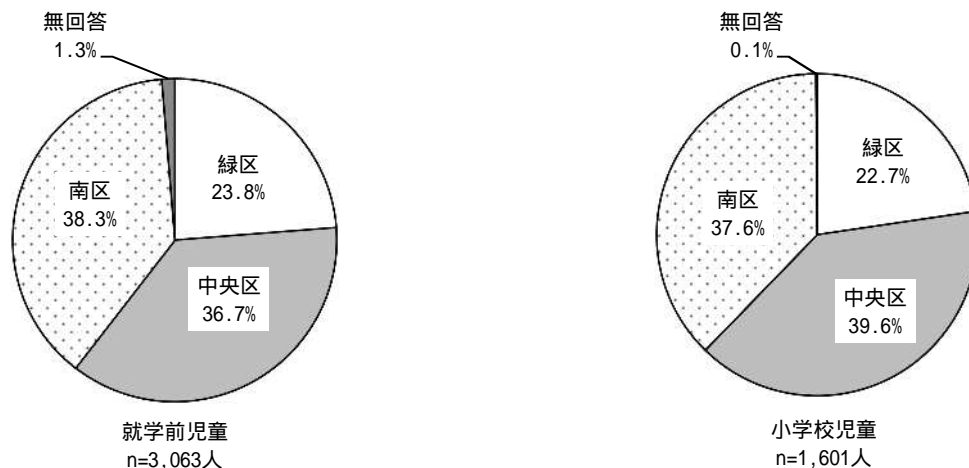
## 第2章 アンケート調査結果

### 第1節 就学前児童・小学校児童の保護者

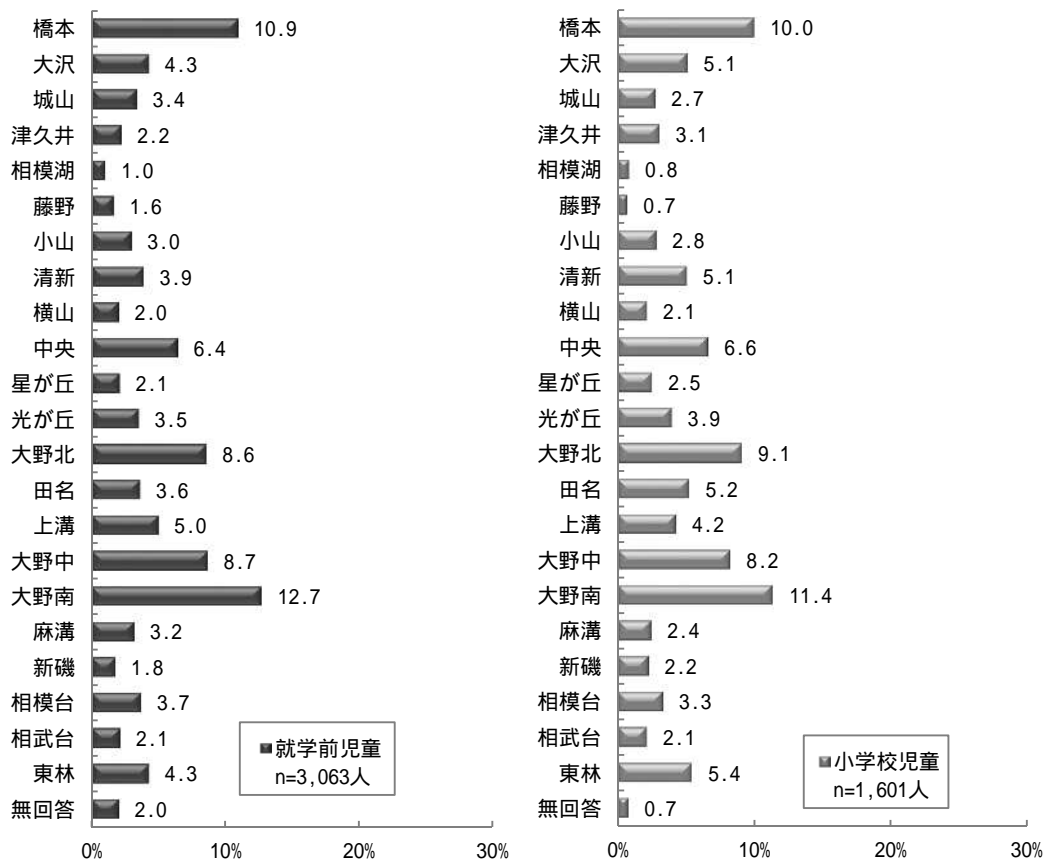
#### 1 調査対象者の属性・家族状況

##### (1) 居住地域の状況

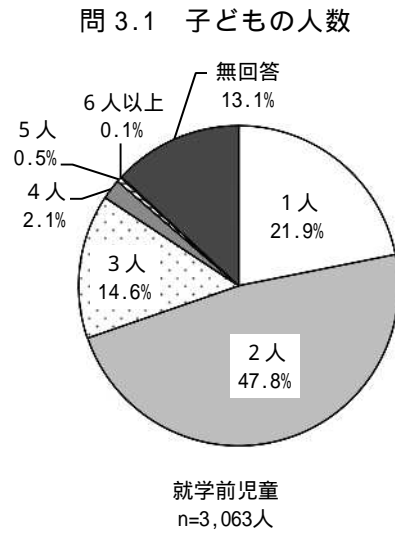
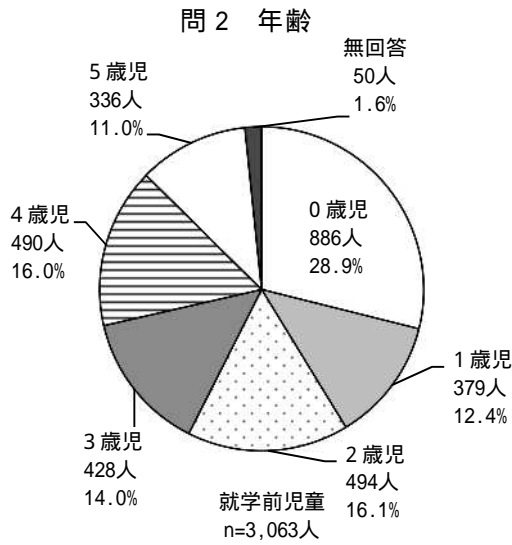
問1[問1] 地域(市全域)



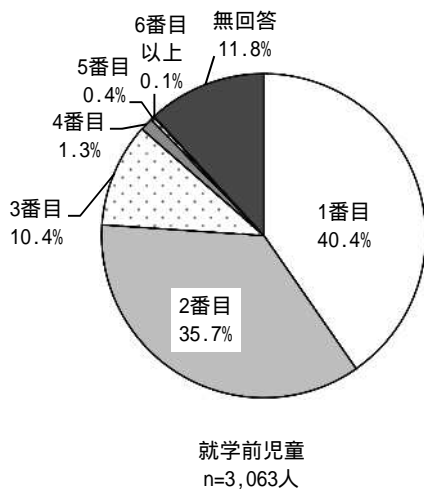
問1[問1] 地区



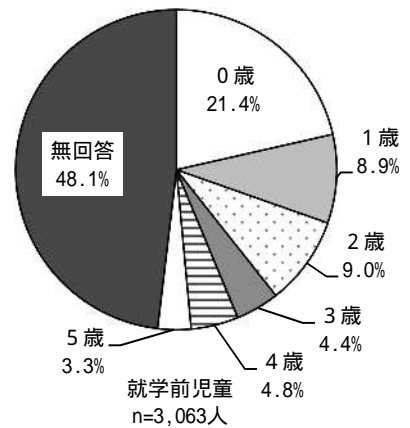
(2) 就学前児童の属性



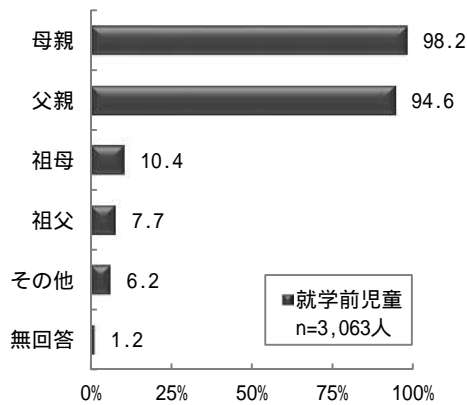
問 3.2 何番目の子どもか。



問 3.3 末子の年齢

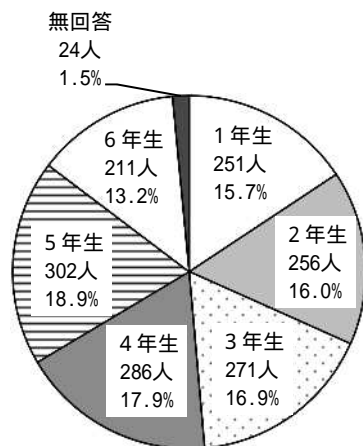


問 4 同居している人（子どもからみた関係）



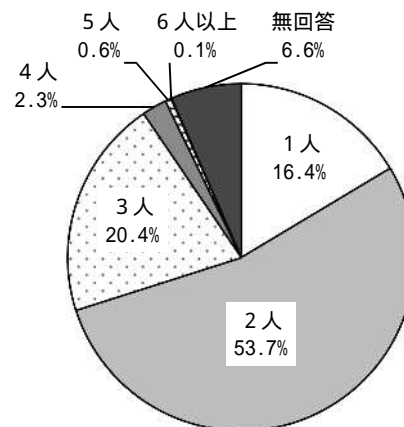
(3) 小学校児童の属性

[問2] 学年



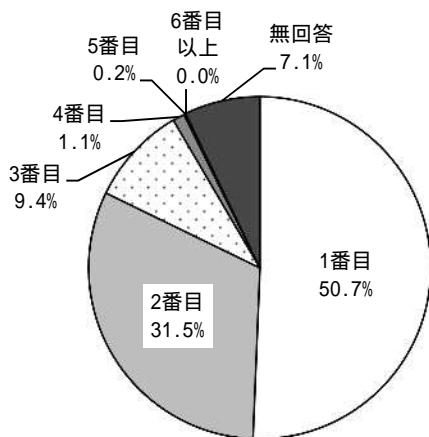
小学校児童  
n=1,601人

[問3.1] 子どもの人数



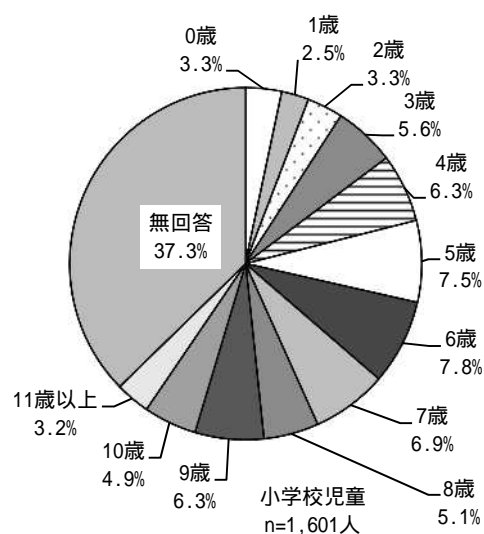
小学校児童  
n=1,601人

[問3.2] 何番目の子どもか



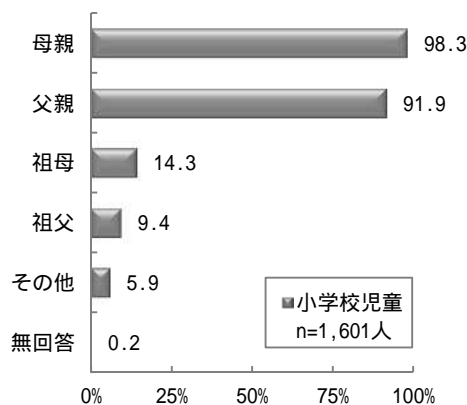
小学校児童  
n=1,601人

[問3.3] 末子の年齢



小学校児童  
n=1,601人

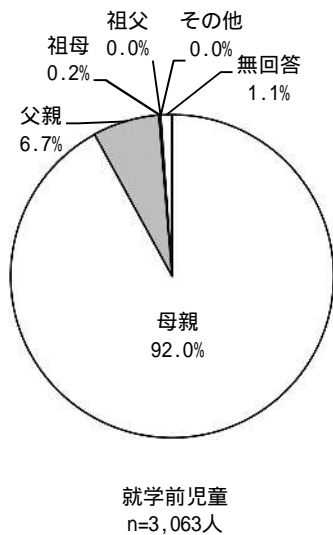
[問4] 同居している人(子どもからみた関係)



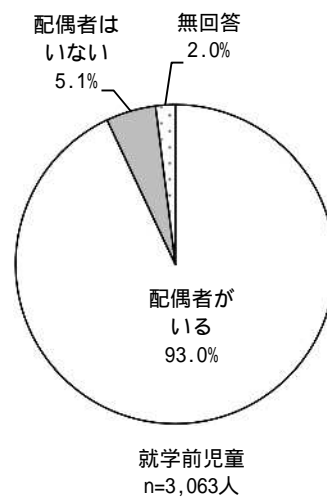
小学校児童  
n=1,601人

(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

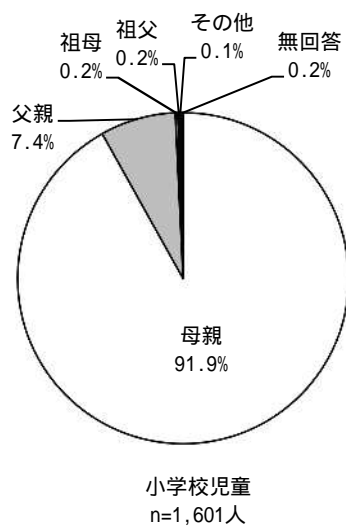
問5 調査回答者（就学前児童）



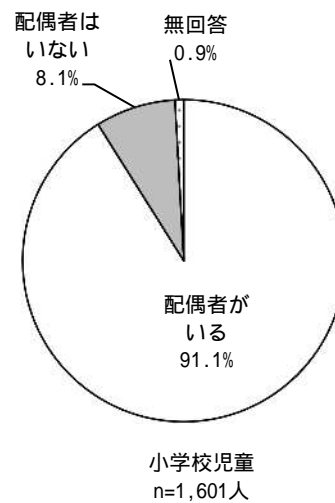
問6 配偶者の有無（就学前児童）



[問5] 調査回答者（小学校児童）



[問6] 配偶者の有無（小学校児童）



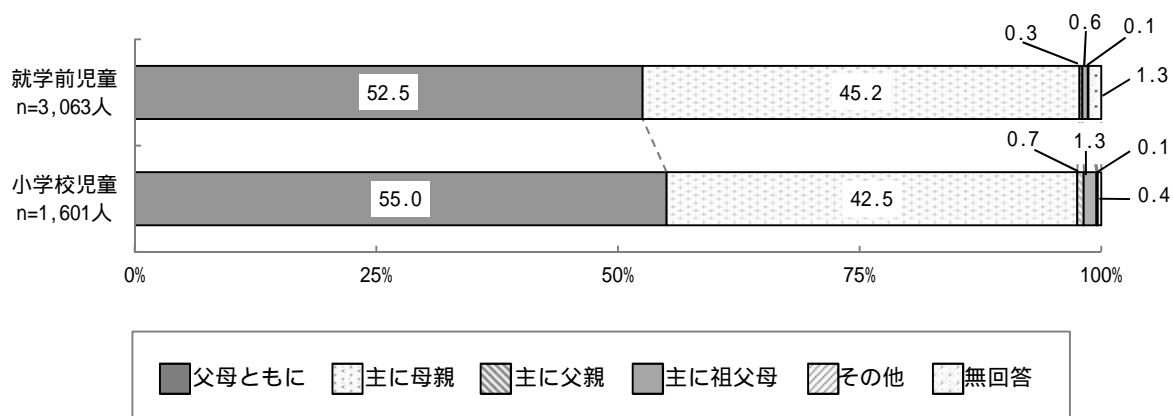
## 2 子育ての環境について

### (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

問7[問7] 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。

主な保育者の状況を見ると、就学前児童では「父母ともに」(52.5%)と「主に母親」(45.2%)が大半を占めています。小学校児童でも「父母ともに」(55.0%)と「主に母親」(42.5%)と同じような傾向となっています。

問7[問7] 主な保育者



問 8 [ 問 8 ] 世帯の年収を教えてください。

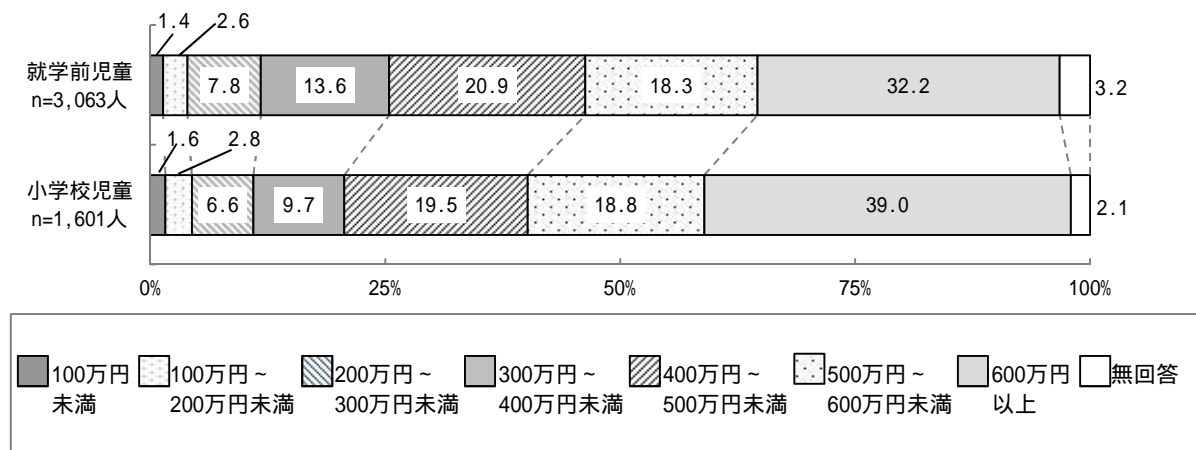
問 9 [ 問 9 ] 宛名のお子さんの子育てにかかる費用は1か月いくら位ですか。  
おおよその金額を教えてください。

世帯の年収をみると、「600万円以上（就学前児童 32.2%、小学校児童 39.0%）」が最も多く、次いで「400万円～500万円」（就学前児童 20.9%、小学校児童 19.5%）、「500万円～600万円」（就学前児童 18.3%、小学校児童 18.8%）となっています。

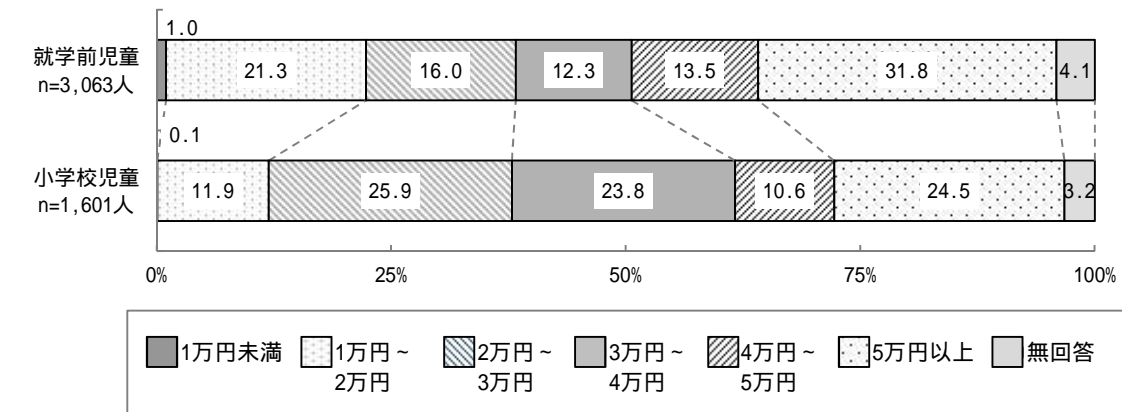
子育てにかかる費用をみると、就学前児童では「5万円以上」（31.8%）、「1万円～2万円」（21.3%）、「2万円～3万円」（16.0%）となっています。

小学校児童では「2万円～3万円」（25.9%）、「5万円以上」（24.5%）、「3万円～4万円」（23.8%）となっています。

問 8[問 8] 世帯の年収



問 9[問 9] 子育てにかかる費用（1か月当たり）





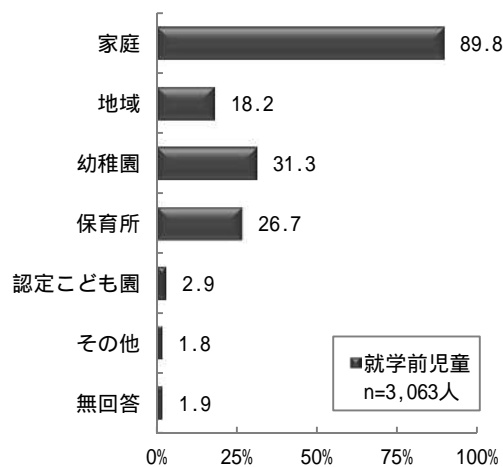
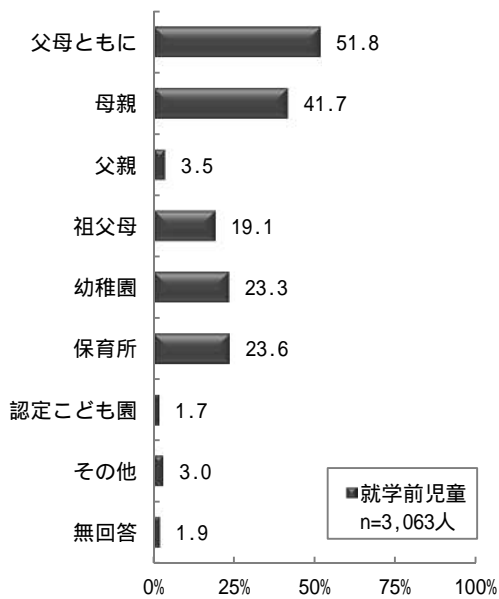
問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。

就学前児童では、日常的に子育てに関わっている人(施設含む)は、「父母ともに」(51.8%)、母親(41.7%)となっています。

また、子育てに最も影響を与える環境は、「家庭」(89.8%)が多くなっています。

問10 日常的に子育てに関わっている人(施設含む)      問11 子育てに最も影響を与える環境



問 12 [ 問 10 ] 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

問 12-1 [ 問 10-1 ] 問 12 [ 問 10 ] で「子どもを祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

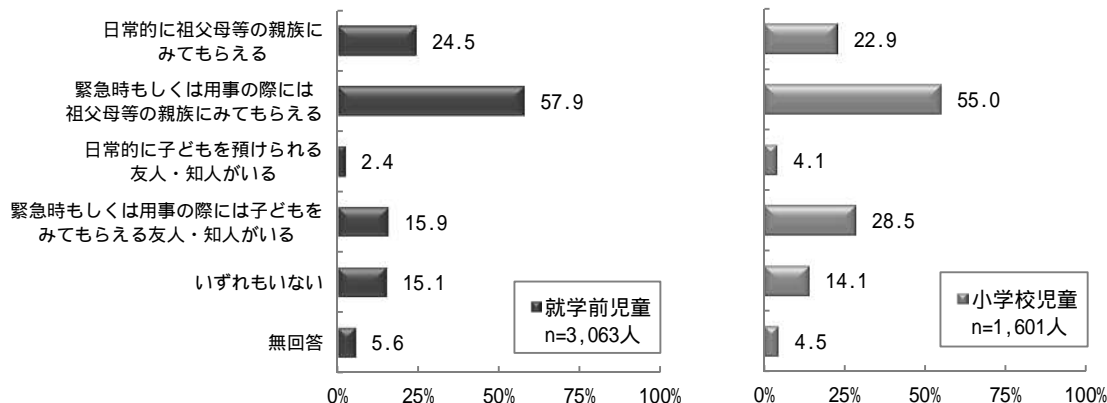
問 12-2 [ 問 10-2 ] 問 12 [ 問 10 ] で「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童 57.9%、小学校児童 55.0%) が最も多くなっています。

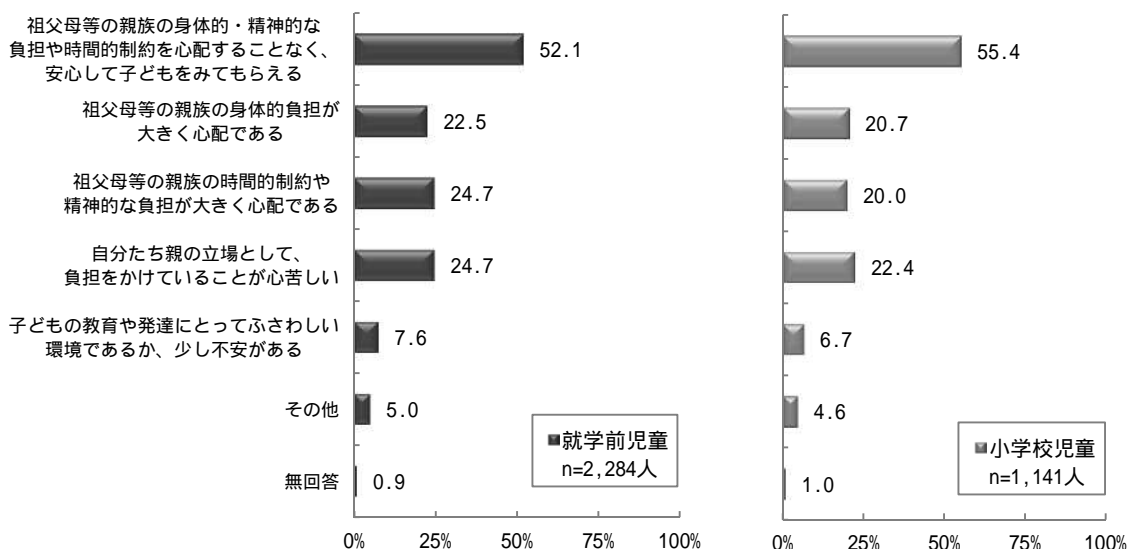
祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童 52.1%、小学校児童 55.4%) となっています。

また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童 41.1%、小学校児童 48.2%) となっています。

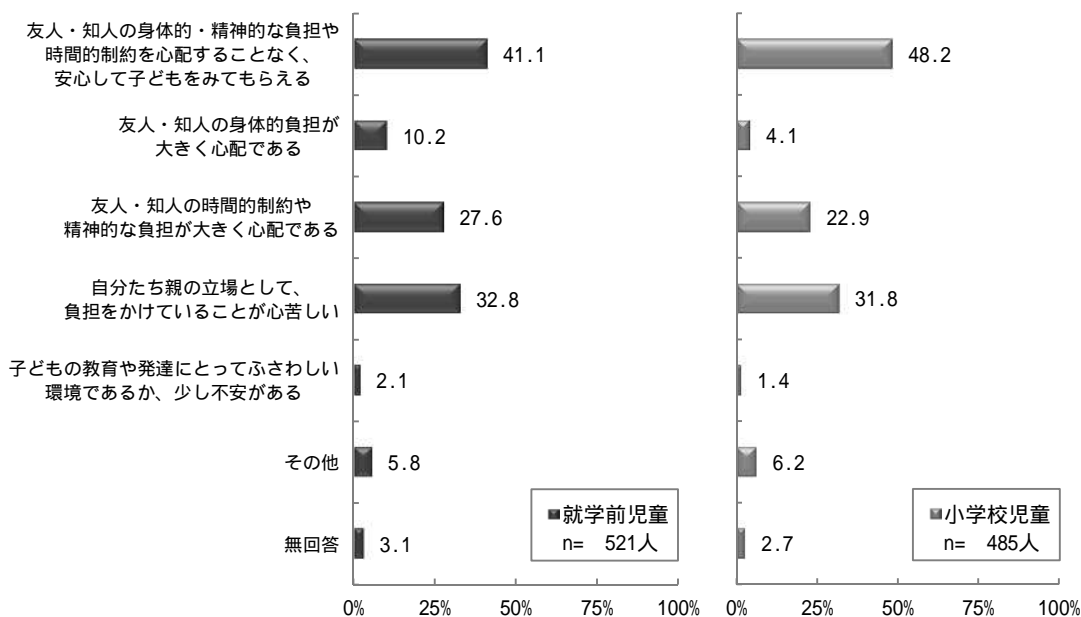
問 12 [ 問 10 ] 主な親族等協力者の状況



問 12-1 [ 問 10-1 ] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問 12-2[問 10-2] 友人・知人に預かってもらうことへの考え



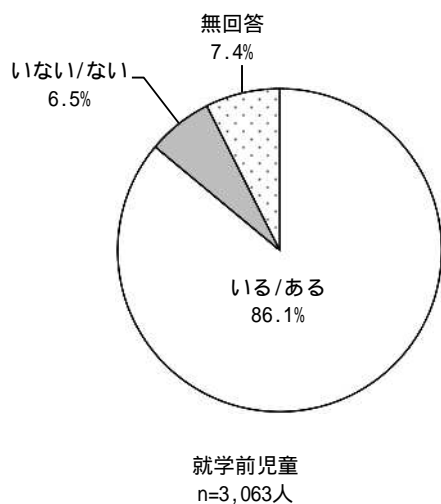
(2) 子育てに関する相談者の状況

問 13 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

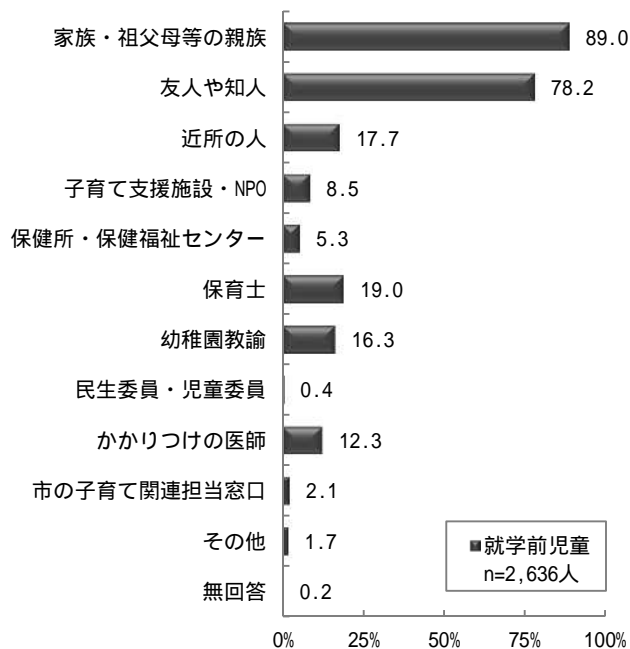
問 13-1 問 13で「いる/ある」と回答した方におたずねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

気軽に相談できる人の有無をみると、就学前児童では「いる/ある」(86.1%)とほとんどの人が「いる」または「ある」と答えています。その相談できる相手としては、「家族・祖父母等の親族」(89.0%)、「友人や知人」(78.2%)となっています。

問 13 気軽に相談できる人の有無



問 13-1 気軽にできる相談者の状況



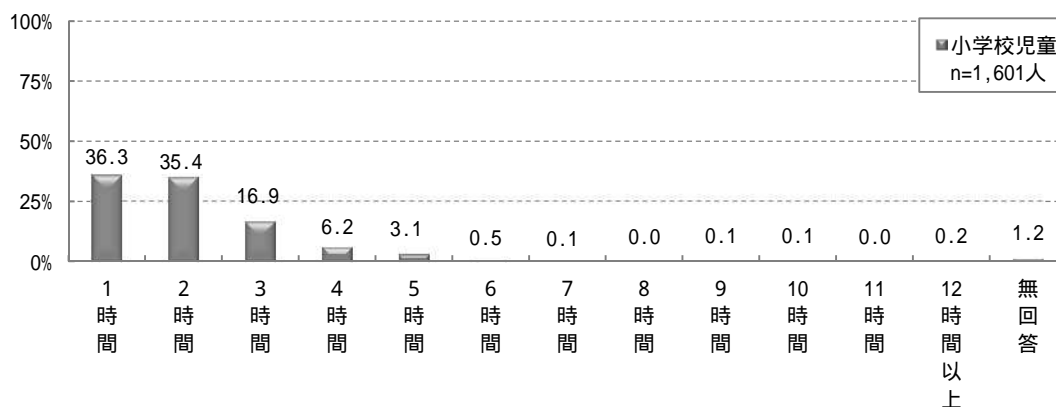
### 3 日常の子育てについて

[問 11] 宛名のお子さんは1日に何時間くらいテレビやDVDなどを見ていますか。また、1日に何時間くらい携帯型ゲーム・テレビゲームで遊んでいますか。

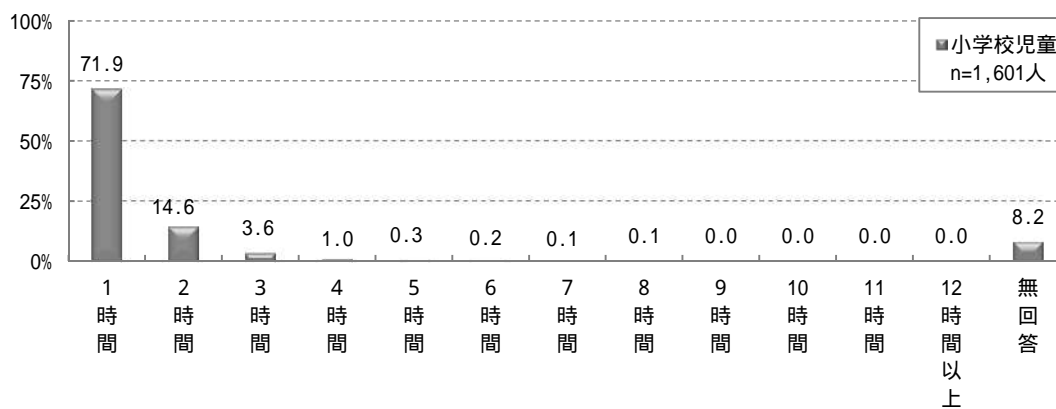
テレビやDVDなどをみている時間をみると、小学校児童では「1時間」(36.3%)、「2時間」(35.4%)となっています。

また、携帯型ゲーム・テレビゲームで遊んでいる時間をみると、「1時間」(71.9%)が最も多くなっています。

[問 11.1] テレビやDVDなどを見ている時間(1日当たり)



[問 11.2] 携帯型ゲーム・テレビゲームで遊んでいる時間(1日当たり)



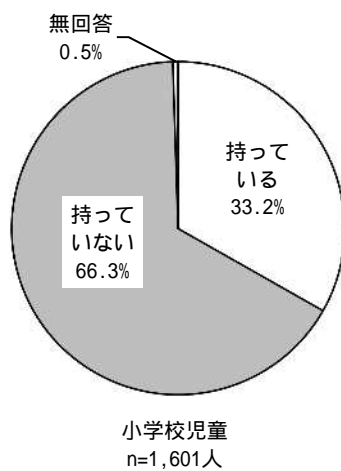
[問12] 宛名のお子さんはお子さん専用の携帯電話、スマートフォンを持っていますか。

[問13] 宛名のお子さんはパソコンを自宅で使っていますか。

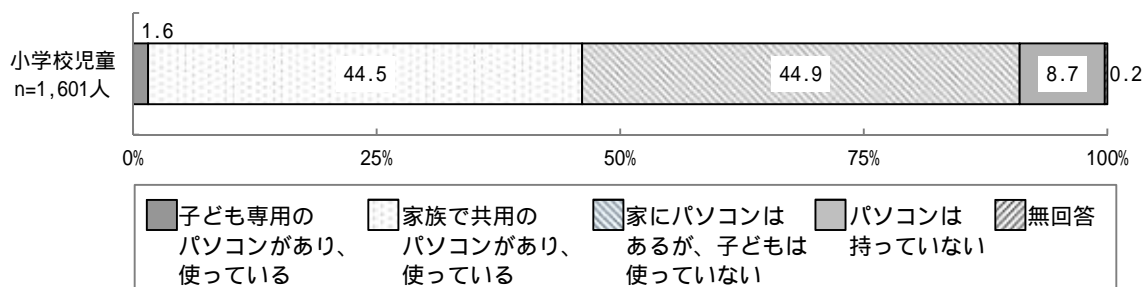
専用の携帯電話、スマートフォンなどの所持の有無をみると、小学校児童では「持っていない」(66.3%)、「持っている」(33.2%)となっています。

自宅でのパソコン使用の有無をみると「家にパソコンはあるが子どもは使っていない」(44.9%)、「家族で共用のパソコンがあり、使っている」(44.5%)となっています。

[問12] 専用の携帯電話、スマートフォンなどの所持の有無



[問13] 自宅でのパソコン使用の有無



[問 14] 宛名のお子さんは、自宅でインターネットをしていますか。

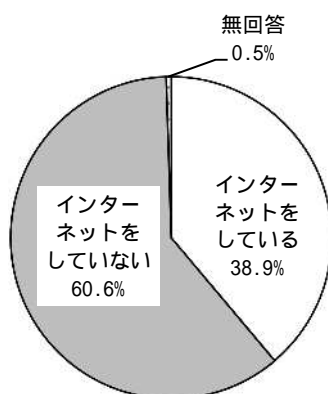
[問 14-1] 問 14 で「インターネットをしている」と回答した方におたずねします。1日平均でどのくらいの時間インターネットをしていますか。(平日・休日)

自宅でのお子さんのインターネット使用の有無をみると、「インターネットをしていない」(60.6%)、「インターネットをしている」(38.9%)となっています。

平日の平均インターネット使用時間をみると、「1時間」(78.5%)が最も多くなっています。

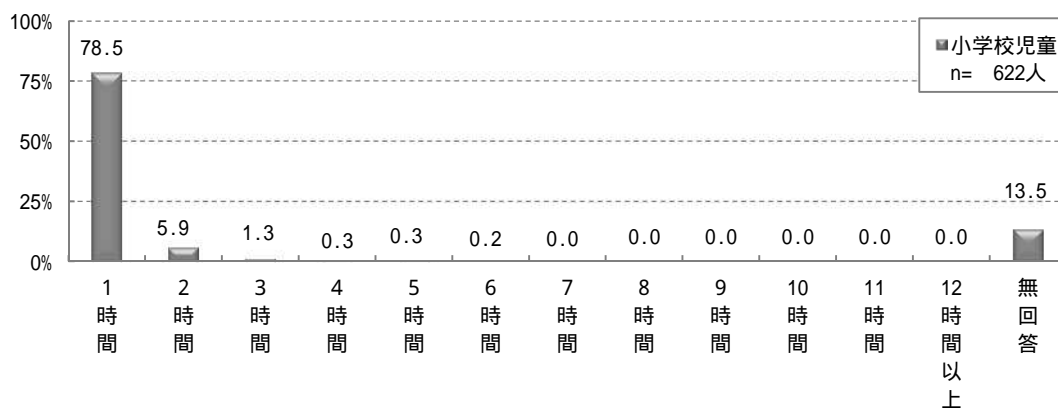
また、休日のインターネットの使用時間をみると、「1時間」(71.4%)が最も多くなっています。

[問 14] 自宅でのお子さんのインターネット使用の有無

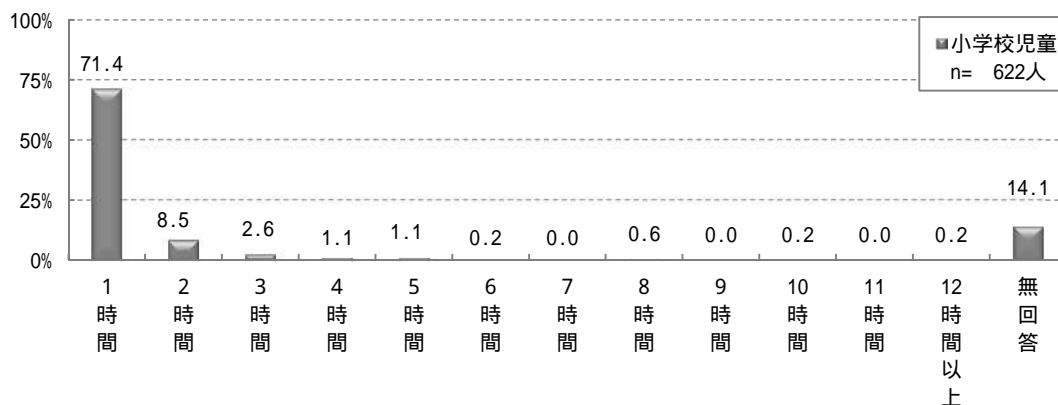


小学校児童  
n=1,601人

[問 14-1.1] 平日の平均インターネット使用時間(1日当たり)



[問 14-1.2] 休日の平均インターネット使用時間(1日当たり)



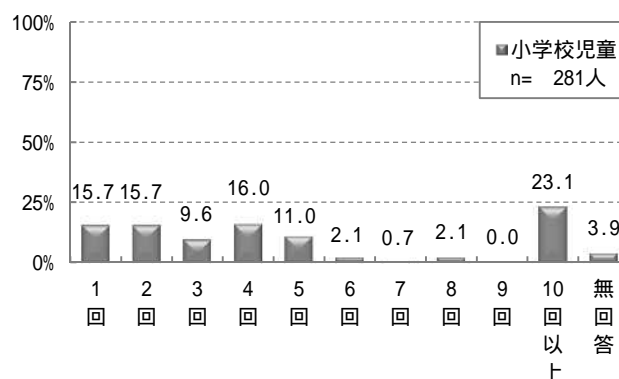
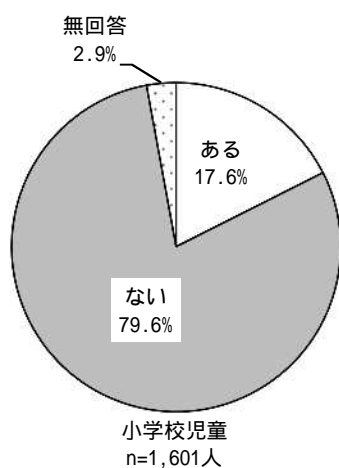
[問 15] 宛名のお子さんが、お子さんだけで、食事（朝食、昼食、夕食のいずれを問わず）をとることはありますか。

[問 16] 宛名のお子さんは毎日朝食を食べていますか。

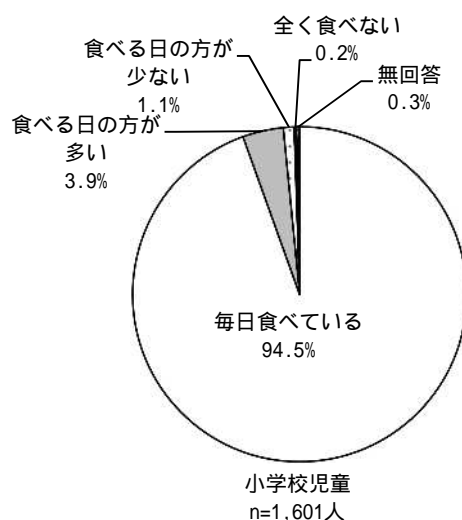
子どもだけで、食事（朝食、昼食、夕食のいずれを問わず）をとることの有無をみると、小学校児童では、「ない」（79.6%）、「ある」（17.6%）となっています。また、子どもだけで食事（朝食、昼食、夕食のいずれを問わず）をとる回数では、「10回以上」（23.1%）、「4回」（16.0%）、「1回」「2回」（各15.7%）となっています。

子どもの毎日の朝食摂取の有無をみると、「毎日食べている」（94.5%）が最も多くなっています。

[問 15] 子どもだけで、食事（朝食、昼食、夕食のいずれを問わず）をとることの有無と回数（1か月当たり）



[問 16] 子どもの毎日の朝食摂取の有無



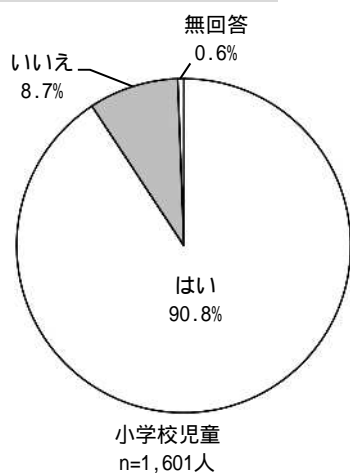
[問 17] 次のア～エについて、意識的に気を付けて実行していますか。

- ア. 栄養のバランスをとる
- イ. 間食をしすぎない
- ウ. 夜遅くに食べない
- エ. 家族で食事をする

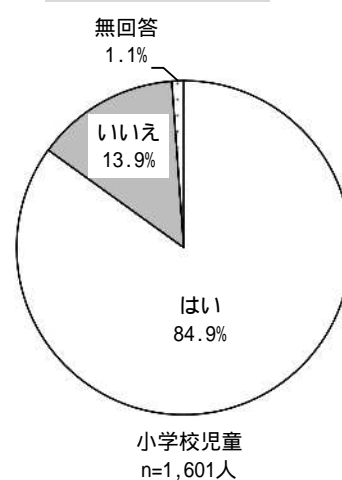
食事の4つの事柄について意識的に気を付けて実行しているかをみると、「はい」がどの事柄でも最も多く、栄養バランスをとる(90.8%)、間食をしすぎない(84.9%)、夜遅くに食べない(89.1%)、家族で食事をする(90.2%)となっています。

[問 17] 意識的に気を付けて実行しているか

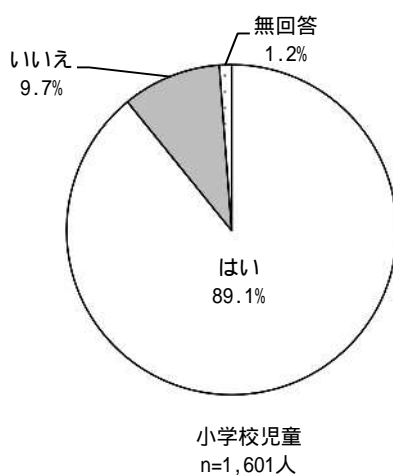
栄養のバランスをとる



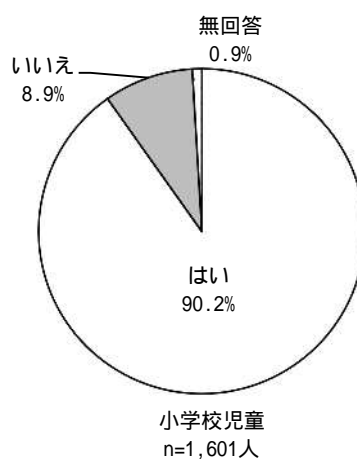
間食をしすぎない



夜遅くに食べない



家族で食事をする

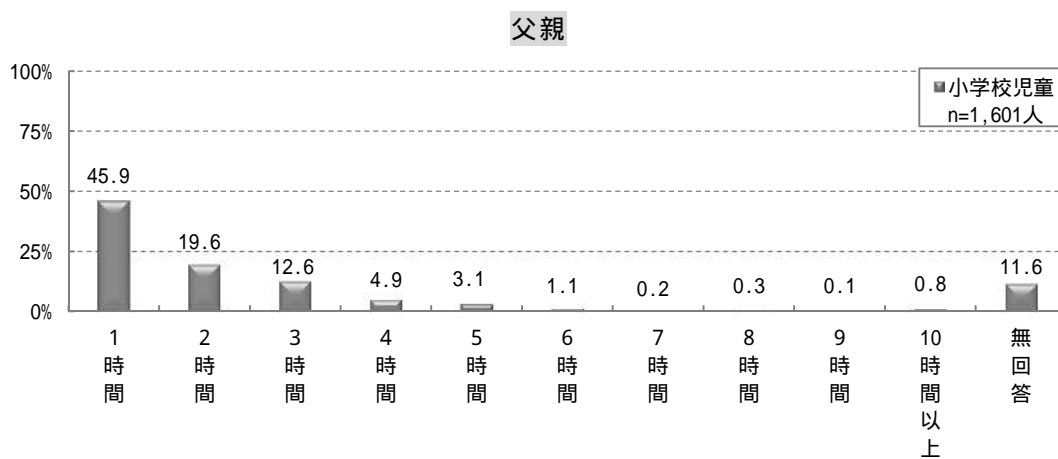
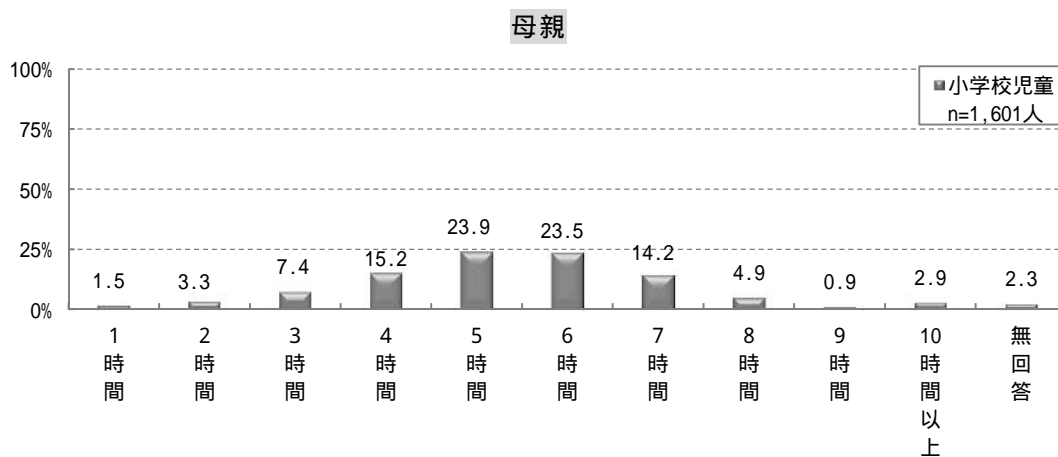




[問 18] 宛名のお子さんが起きている時間で、一緒に過ごす時間はどのくらいですか。  
(平日・休日)

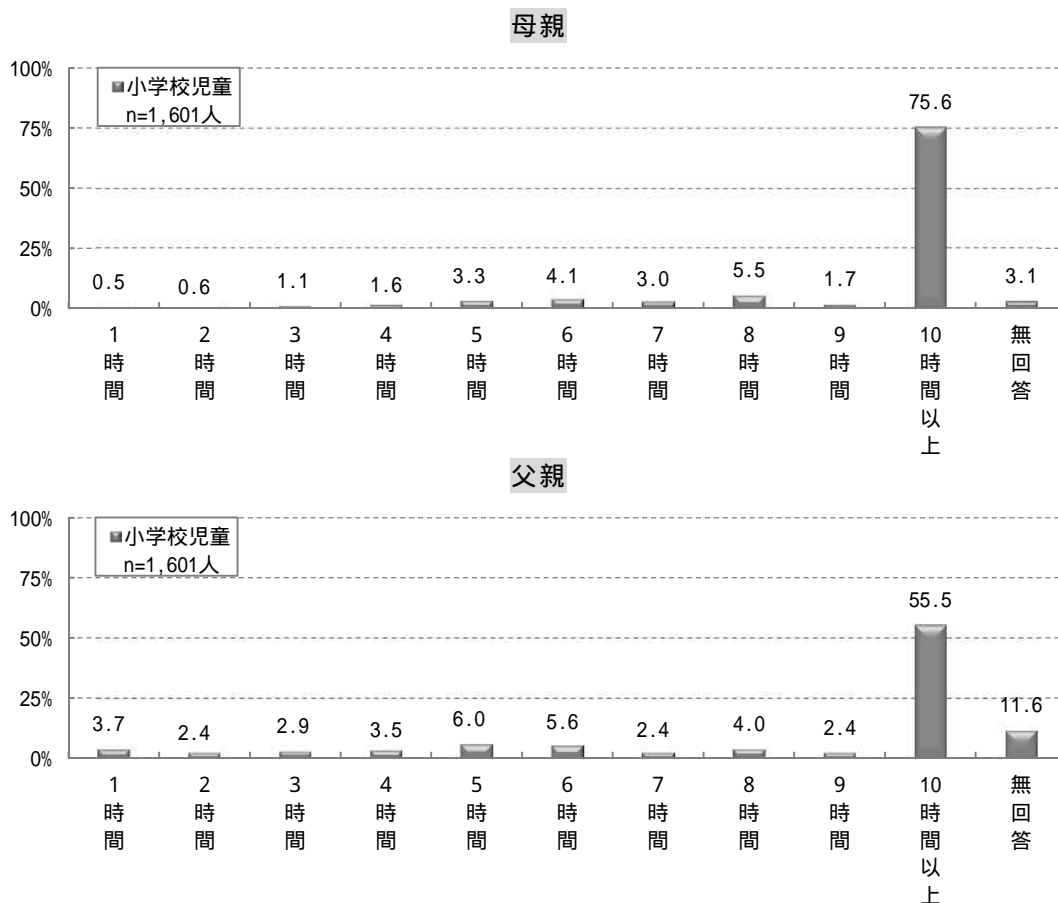
平日に子どもが起きている時間で、一緒に過ごす時間をみると、小学校児童では、母親は「5時間」(23.9%)、「6時間」(23.5%)、父親は「1時間」(45.9%)、「2時間」(19.6%)となっています。

[問 18.1] 子どもが起きている時間で、一緒に過ごす時間(平日)



休日に子どもが起きている時間で、一緒に過ごす時間をみると、小学校児童では、「10時間以上」(母親 75.6%、父親 55.5%)が最も多くなっています。

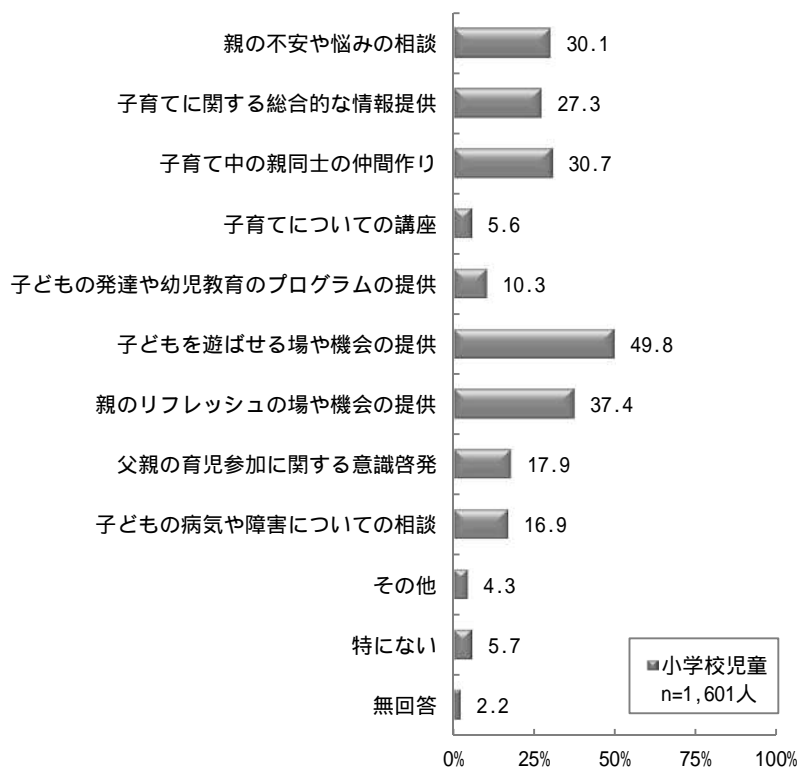
[問 18.2] 子どもが起きている時間で、一緒に過ごす時間(休日)



[問 22] 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。

日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスをみると、小学校児童では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」(49.8%)、「親のリフレッシュの場や機会の提供」(37.4%)、「子育て中の親同士の仲間作り」(30.7%)、「親の不安や悩みの相談」(30.1%)となっています。

[問 22] 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービス



## 4 子育てに対する考え方について

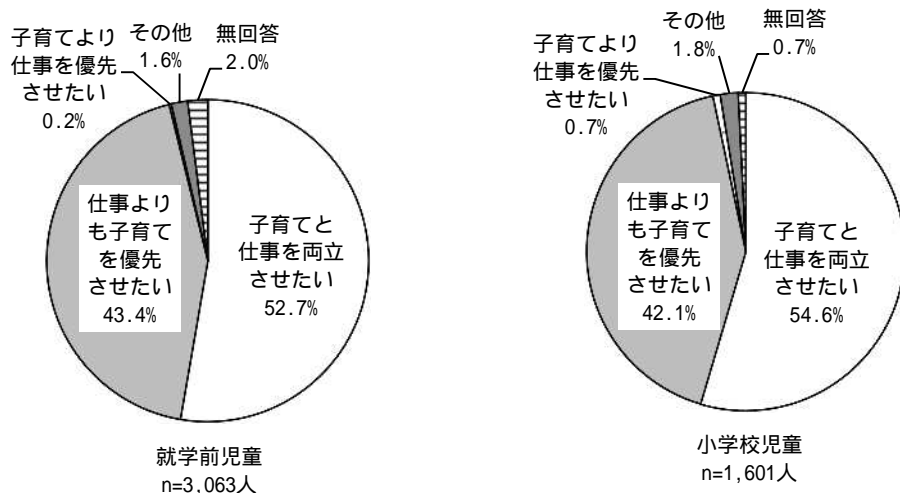
問 14 [ 問 23 ] 子育てと仕事について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

問 15 [ 問 24 ] 家庭で子育てをする上で、大切なことは何だと思えますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。

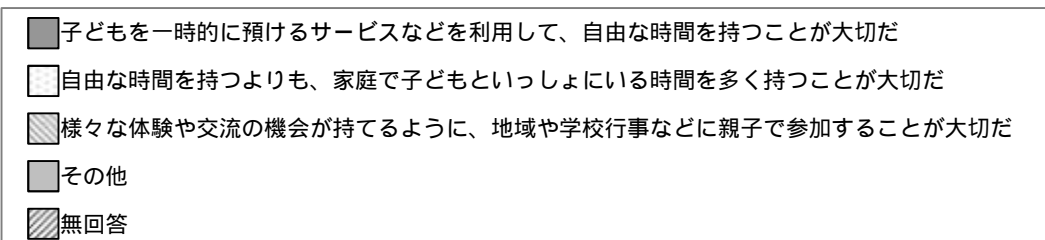
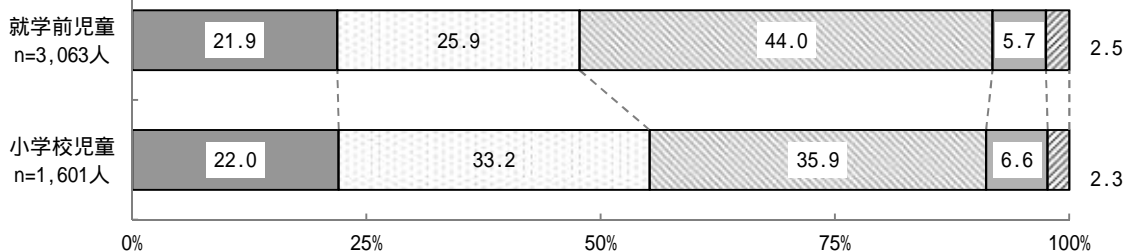
子育てと仕事についての考えをみると、「子育てと仕事を両立させたい」(就学前児童 52.7%、小学校児童 54.6%)、「仕事よりも子育てを優先させたい」(就学前児童 43.4%、小学校児童 42.1%)となっています。

家庭で子育てをする上で大切なことをみると、「様々な体験や交流の機会が持てるように、地域や学校行事などに親子で参加することが大切だ」(就学前児童 44.0%、小学校児童 35.9%)、「自由な時間を持つよりも、家庭で子どもといっしょにいる時間を多く持つことが大切だ」(就学前児童 25.9%、小学校児童 33.2%)、「子どもを一時的に預けるサービスなどを利用して、自由な時間を持つことが大切だ」(就学前児童 21.9%、小学校児童 22.0%)となっています。

問 14[問 23] 子育てと仕事についての考え



問 15[問 24] 家庭で子育てをする上で、大切なこと



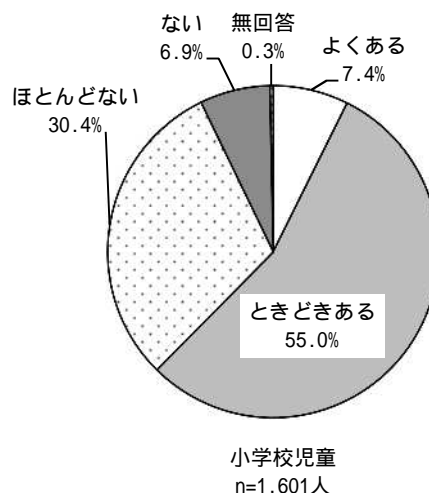
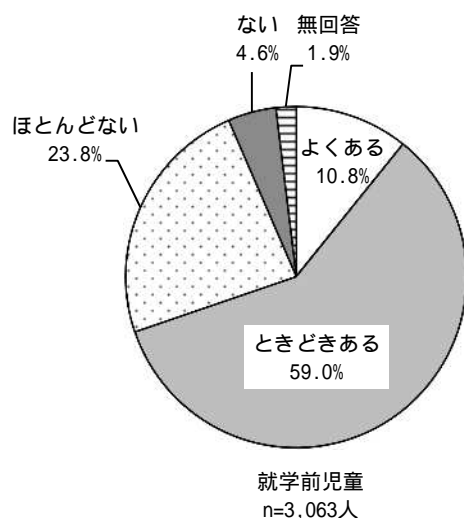
問 16 [問 19] 子育てでどうしてもいいかわからなくなることはありますか。

問 17 [問 20] やる気がおこらず、お子さん（宛名のお子さんに限りません）の世話をしたくない時がありますか。

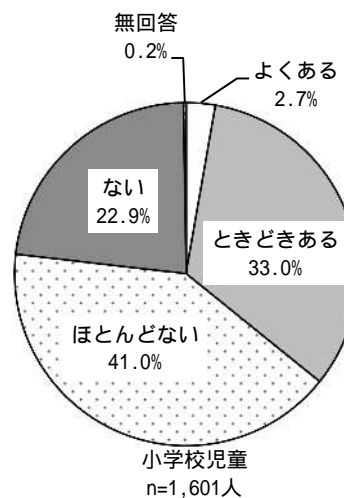
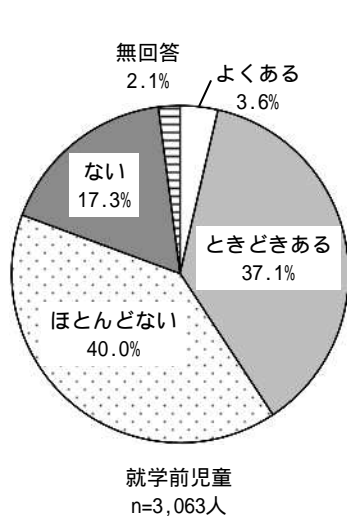
子育てでどうしてもいいかわからなくなることがあるかでは、「ときどきある」(就学前児童 59.0%、小学校児童 55.0%)「ほとんどない」(就学前児童 23.8%、小学校児童 30.4%)となっています。

やる気がおこらず、子どもの世話をしたくない時があるかでは、「ほとんどない」(就学前児童 40.0%、小学校児童 41.0%)「ときどきある」(就学前児童 37.1%、小学校児童 33.0%)となっています。

問 16 [問 19] 子育てでどうしてもいいかわからなくなることがあるか



問 17 [問 20] やる気がおこらず、子どもの世話をしたくない時があるか



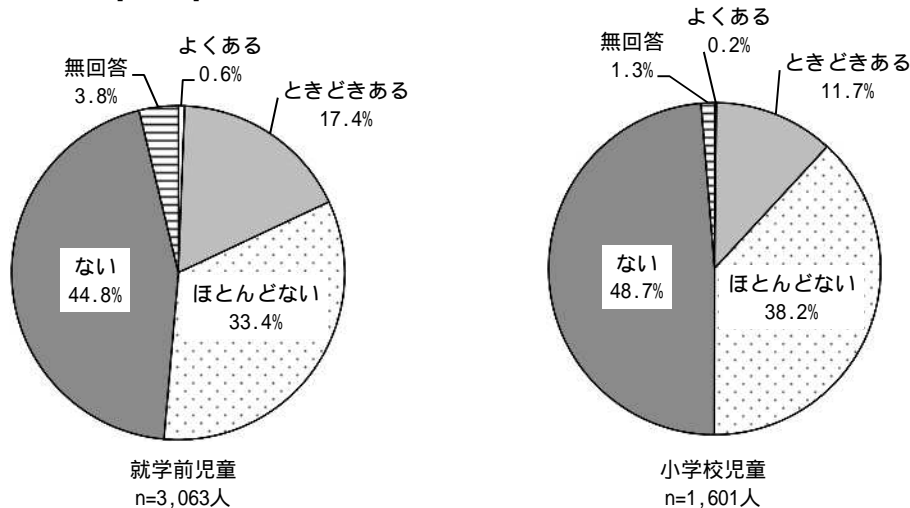
問 18 [ 問 21 ] 自分は子どもを虐待していると思うことがありますか。

問 18-1 [ 問 21-1 ] 問 18 [ 問 21 ] で「よくある」「ときどきある」と回答した方におたずねします。お子さんを虐待していると思うのはどのような時ですか。

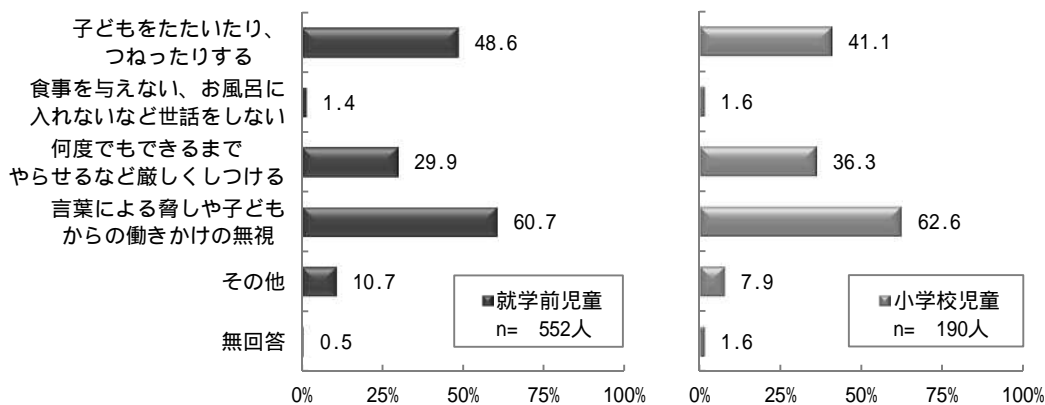
自分は子どもを虐待していると思うことがあるかでは、「ない」(就学前児童 44.8%、小学校児童 48.7%)、「ほとんどない」(就学前児童 33.4%、小学校児童 38.2%)となっています。

子どもを虐待していると思うのはどのような時かをみると、「言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視」(就学前児童 60.7%、小学校児童 62.6%)、「子どもをたたいたりつねったりする」(就学前児童 48.6%、小学校児童 41.1%)、何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける」(就学前児童 29.9%、小学校児童 36.3%)となっています。

問 18[問 21] 自分は子どもを虐待していると思うことがあるか



問 18-1[問 21-1] 子どもを虐待していると思うのはどのような時か



問 19 [ 問 29 ] 次の(1)～(4)について、子どもが言うことを聞かないときなどに、親が子どもに対するしつけとして行うことをどうお考えですか。

- (1)子どもをたたいたり、つねったりする
- (2)食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない
- (3)何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける
- (4)言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視

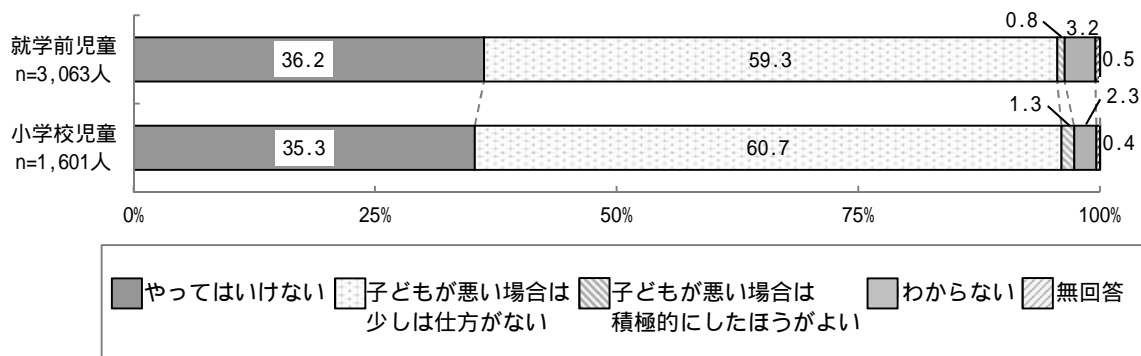
子どもが言うことを聞かないときなどに、親が子どもに対するしつけとして行う4つの事柄についての考え方を聞いたところ、「子どもをたたいたりつねったりする」では、『子どもが悪い場合は少しは仕方がない』(就学前児童 59.3%、小学校児童 60.7%)、『やってはいけない』(就学前児童 36.2%、小学校児童 35.3%)となっています。

「食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない」では、『やってはいけない』(就学前児童 97.4%、小学校児童 95.9%)が最も多くなっています。

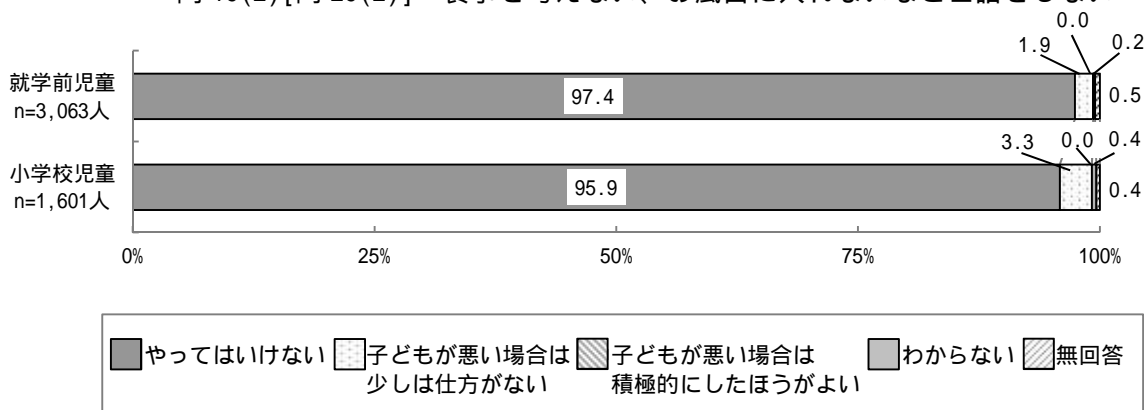
「何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける」では、『子どもが悪い場合は少しは仕方がない』(就学前児童 48.3%、小学校児童 55.3%)、『やってはいけない』(就学前児童 35.6%、小学校児童 28.9%)となっています。

「言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視」では、『やってはいけない』(就学前児童 71.8%、小学校児童 74.0%)が最も多くなっています。

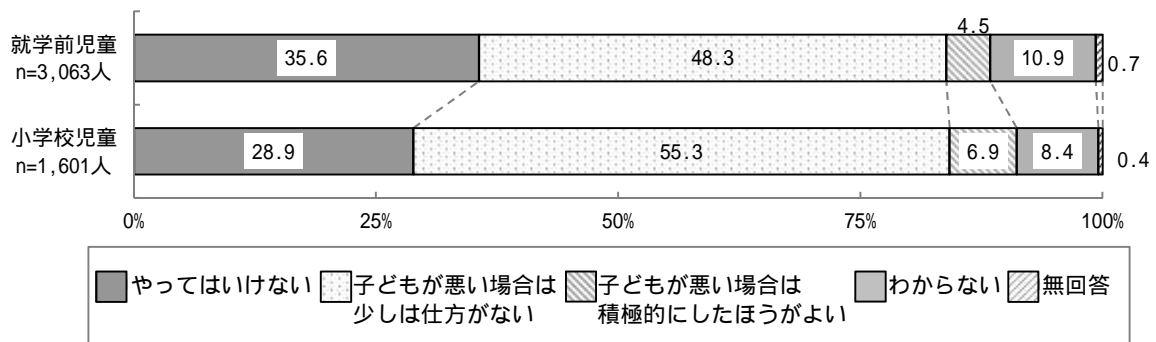
問 19(1)[問 29(1)] 子どもをたたいたり、つねったりする



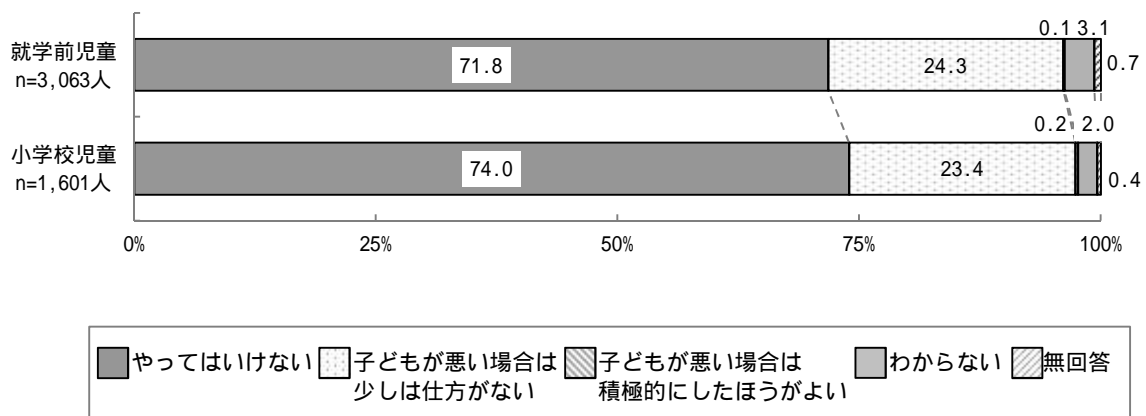
問 19(2)[問 29(2)] 食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない



問 19(3)[問 29(3)] 何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける



問 19(4)[問 29(4)] 言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視

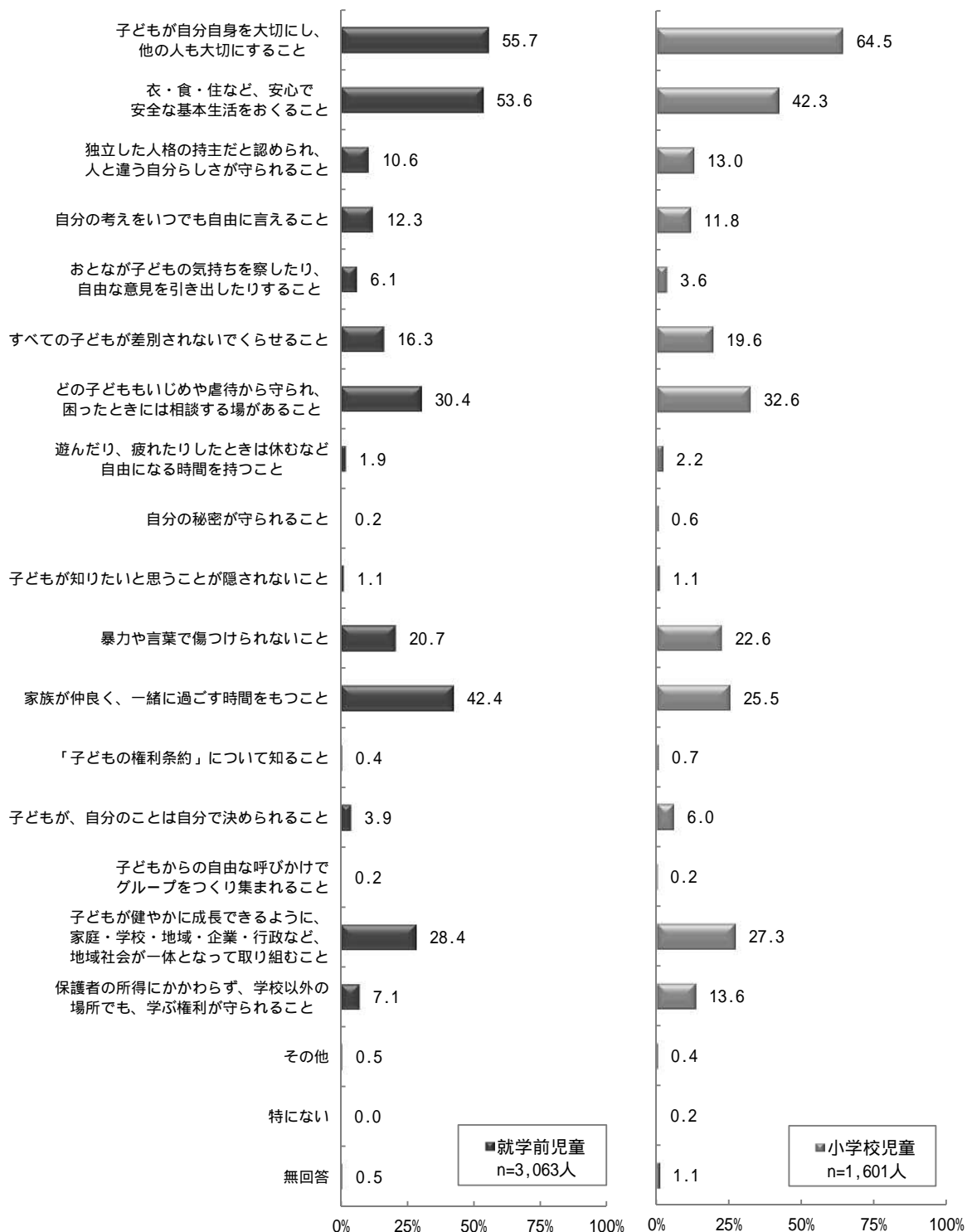




問 20 [ 問 30 ] 子どもの権利について、今、特に大切だと思うことはどのようなことですか。

子どもの権利について、今、特に大切だと思うことをみると、「子どもが自分自身を大切にし、他の人も大切にすること」(就学前児童 55.7%、小学校児童 64.5%)、「衣・食・住など、安心して安全な食生活をおくこと」(就学前児童 53.6%、小学校児童 42.3%)となっています。

問 20[問 30] 子どもの権利について、今、特に大切だと思うこと



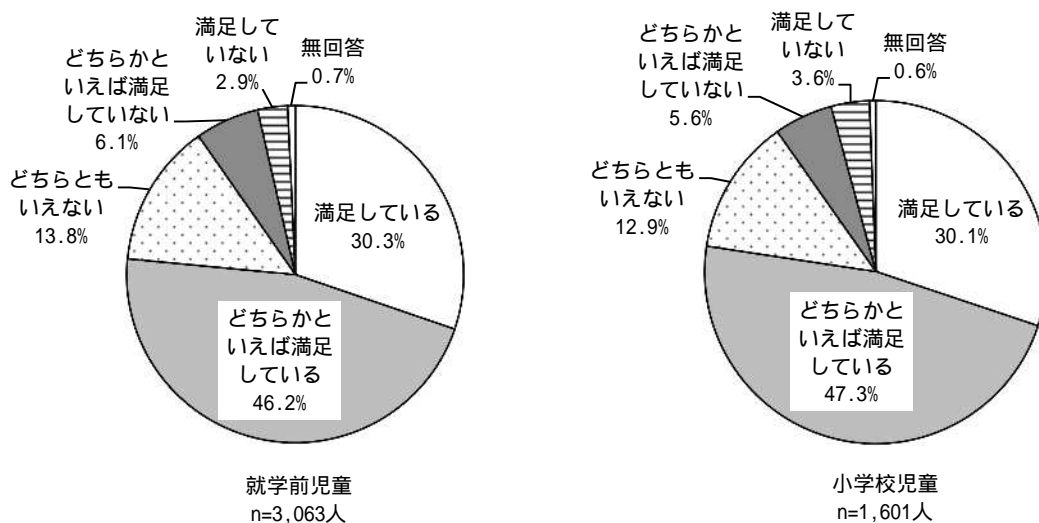
問 21 [ 問 25 ] あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。

問 22 [ 問 26 ] 子育てをして良かったこと、うれしかったことは何ですか。

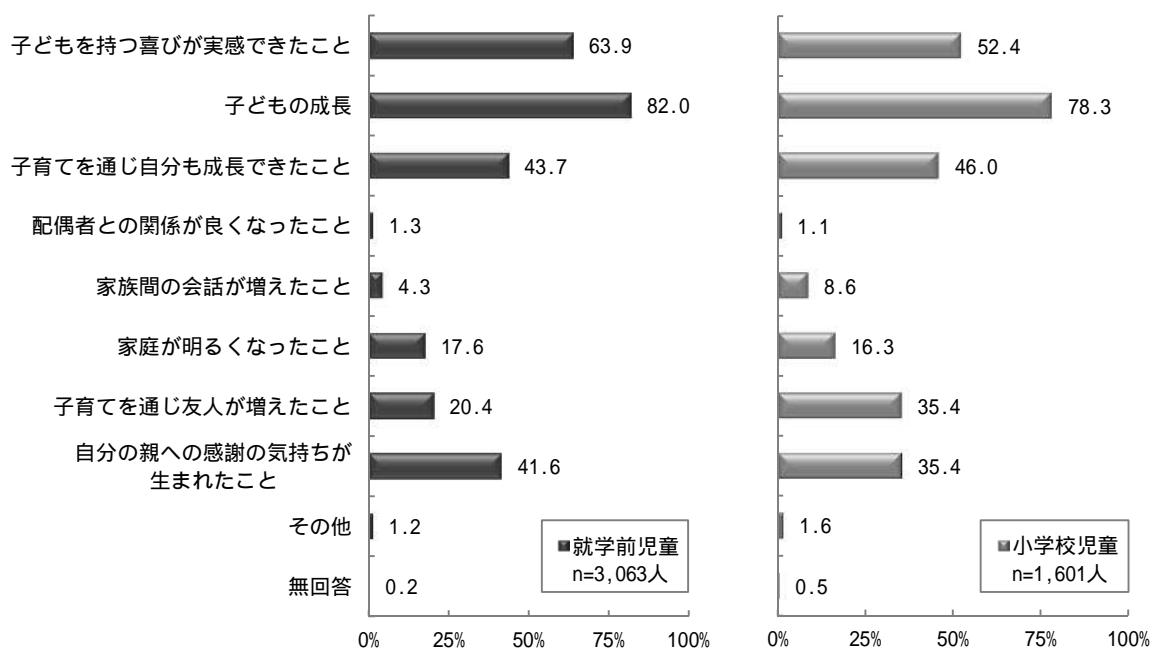
子どもを育てている現在の生活の満足度をみると「どちらかといえば満足している」(就学前児童 46.2%、小学校児童 47.3%)、「満足している」(就学前児童 30.3%、小学校児童 30.1%)となっています。

また、子育てをして良かったこと、うれしかったことをみると、「子どもの成長」(就学前児童 82.0%、小学校児童 78.3%)、「子どもを持つ喜びが実感できたこと」(就学前児童 63.9%、小学校児童 52.4%)となっています。

問 21[問 25] 子どもを育てている現在の生活の満足度



問 22[問 26] 子育てをして良かったこと、うれしかったこと



問 23 子育てをして不安に思うこと、負担に思うことは何ですか。

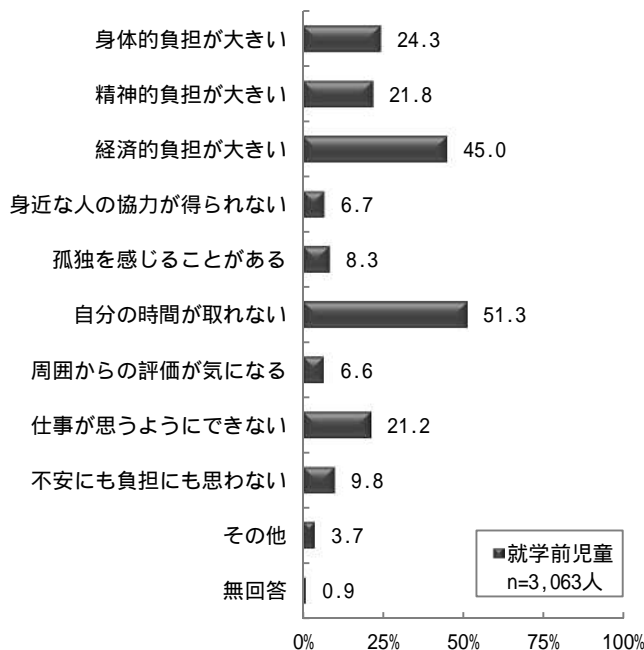
問 24[問 27] 「子どもを産み育てること」を、今の社会は十分に評価していると思いますか。

子育てをして不安に思うこと、負担に思うことをみると、就学前児童では「自分の時間が取れない」(51.3%)、「経済的負担が大きい」(45.0%)となっています。

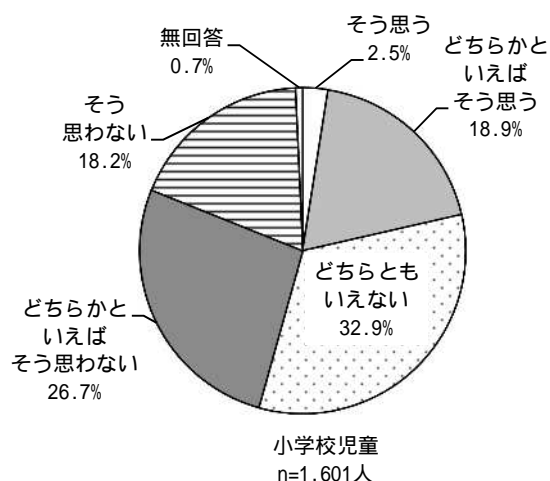
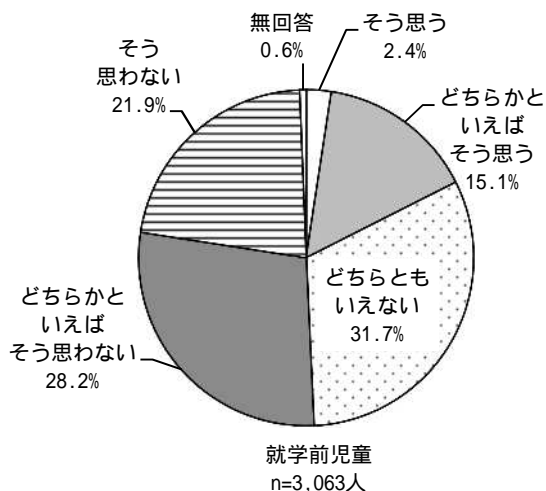
「子どもを産み育てること」を今の社会は十分に評価していると思うかをみると就学前児童では「どちらともいえない」(31.7%)、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計が17.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の計が50.1%となっています。

小学校児童では「どちらともいえない」(32.9%)、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計が21.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の計が44.9%となっています。

問 23 子育てをして不安に思うこと、負担に思うこと



問 24[問 27] 「子どもを産み育てること」を今の社会は十分に評価していると思うか



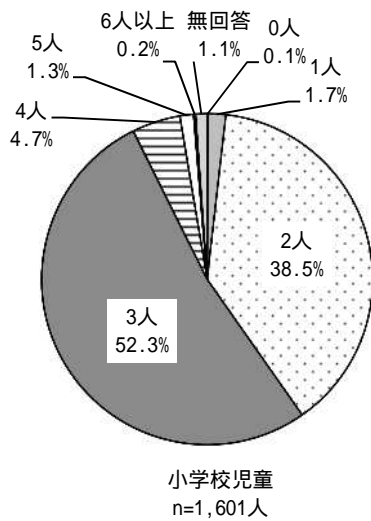
[問 28] あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全部で何人の子どもを持つつもりですか。持つつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ない理由は何ですか。

理想的な子どもの人数をみると、小学校児童では「3人」(52.3%)、「2人」(38.5%)となっています。

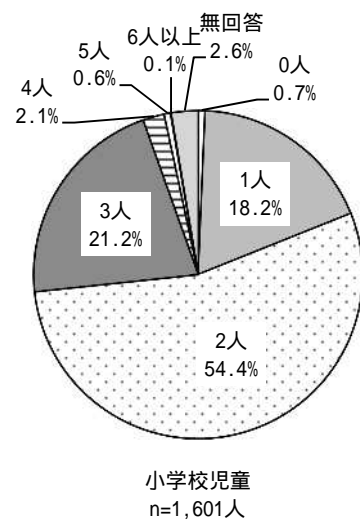
また、持つつもりの子どもの人数では、「2人」(54.4%)、「3人」(21.2%)、「1人」(18.2%)となっています。

持つつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ない理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(70.5%)が最も多くなっています。

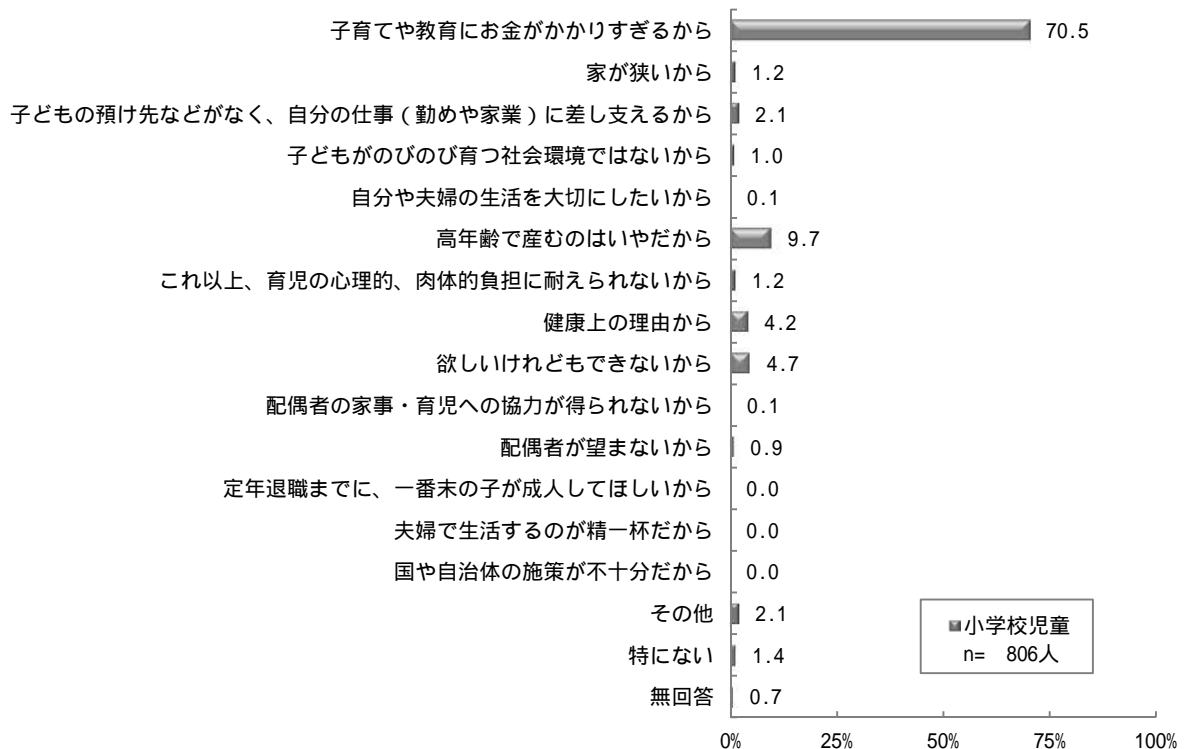
[問 28 ] 理想的な子どもの人数



[問 28 ] 持つつもりの子どもの人数



[問 28-1] 持つつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ない理由



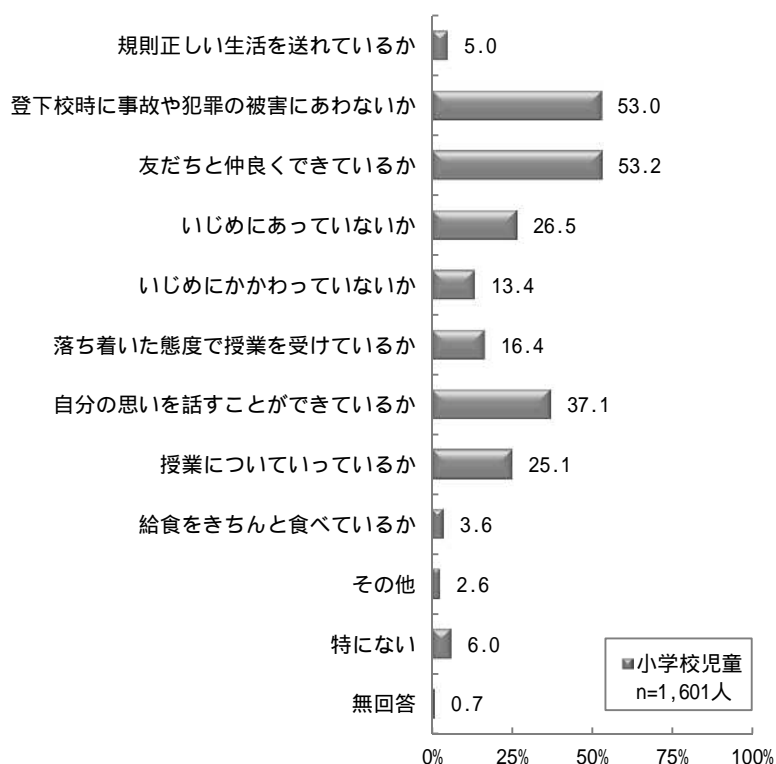
[問 31] 宛名のお子さんの小学校生活について、不安に思うことはどのようなことですか。

[問 32] 宛名のお子さんが、犯罪の被害にあったことはありますか。

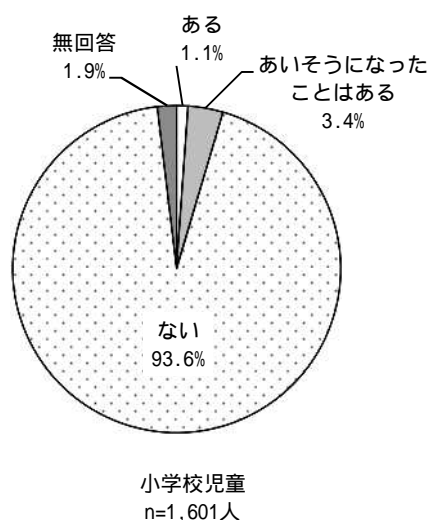
お子さんの小学校生活について、不安に思うことをみると、小学校児童では「友だちと仲良くできているか」(53.2%)、「登下校時に事故や犯罪の被害にあわないか」(53.0%)、「自分の思いを話すことができているか」(37.1%)となっています。

また、お子さんの犯罪の被害の有無をみると、「ある」と「あいそうになったことはある」の計が4.5%となっています。

[問 31] お子さんの小学校生活について、不安に思うこと



[問 32] お子さんの犯罪の被害の有無



## 5 保護者の就労状況

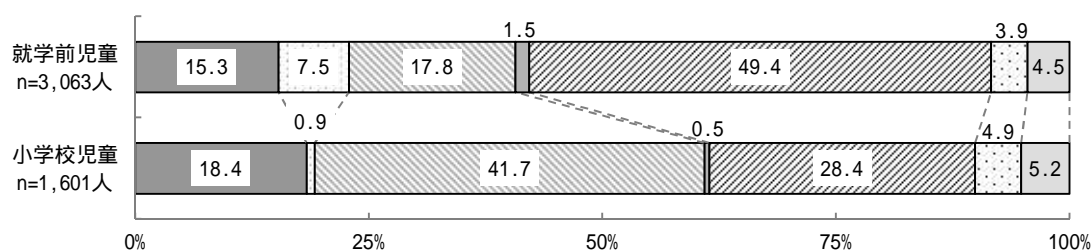
### (1) 母親の就労状況

問 25 [問 33] 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。

母親の就労状況をみると、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」(49.4%)が最も多くなっています。33.1%の人が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の人々が9.0%います。

小学校児童では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(41.7%)が最も多くなっています。60.1%の人が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の人々が1.4%と就学前児童と比べて減少しています。

問 25[問 33] 母親の就労状況



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護・その他休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

問 25-1[問 33-1] 問 25[問 33]で「1～4」(就労している)と回答した方におたずねします。

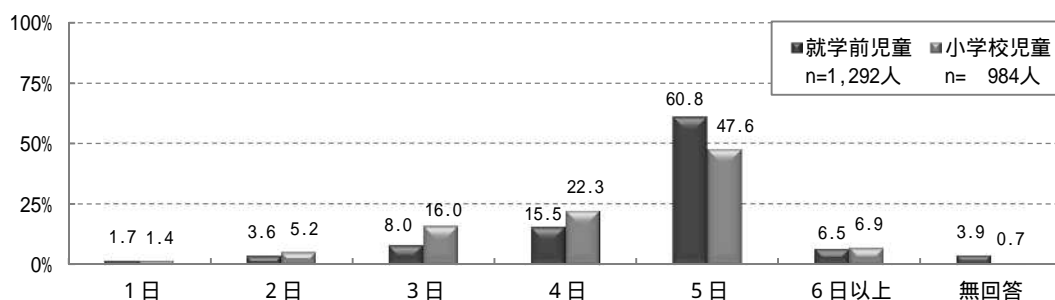
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間を含む)、家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親の就労日数をみると、「5日」(就学前児童 60.8%、小学校児童 47.6%)が最も多くなっています。

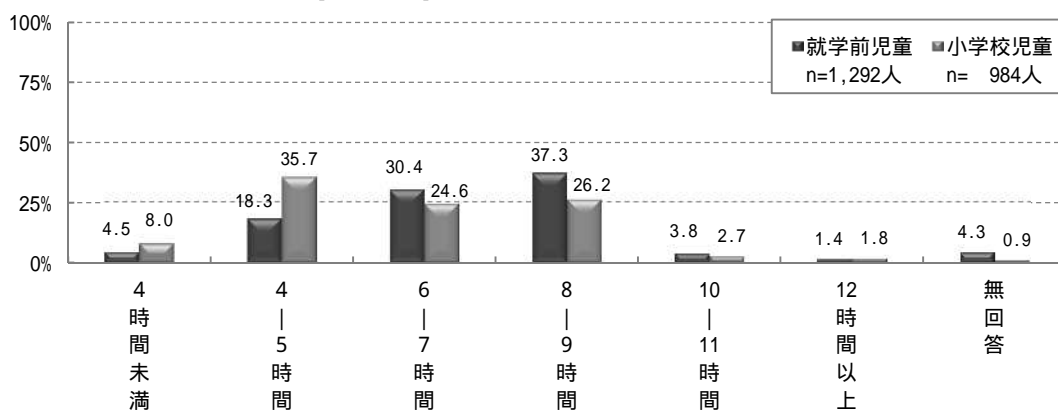
就労時間をみると、就学前児童では「8-9時間」(37.3%)、「6-7時間」(30.4%)、「4-5時間」(18.3%)となっています。

小学校児童では「4-5時間」(35.7%)、「8-9時間」(26.2%)、「6-7時間」(24.6%)となっています。

問 25-1[問 33-1] 母親の就労日数(1週当たり)

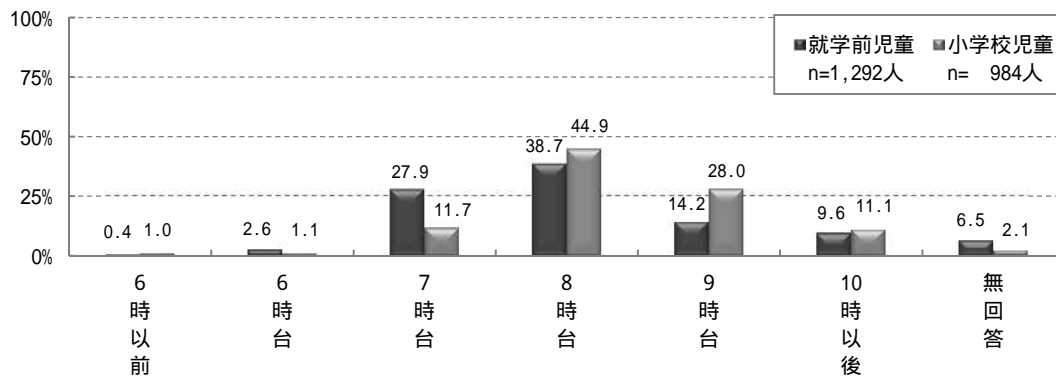


問 25-1[問 33-1] 母親の就労時間(1日当たり)

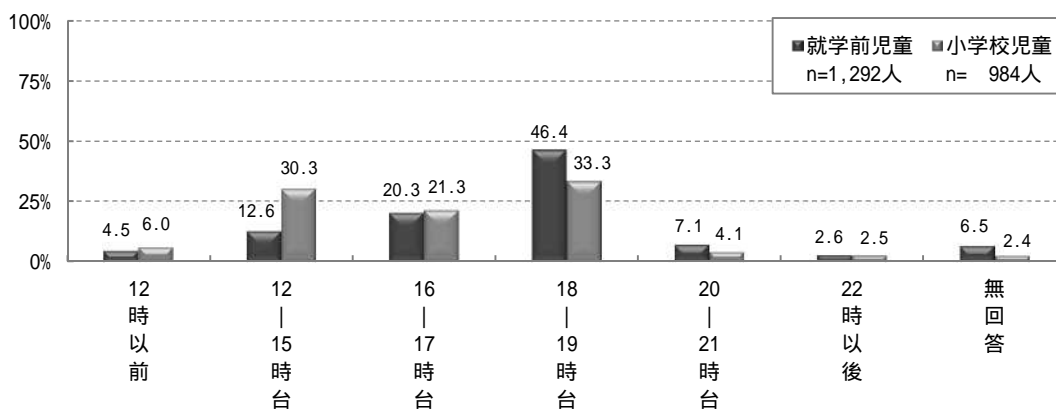


母親の出勤時間は、就学前児童では「8時台」(38.7%)、「7時台」(27.9%)、  
 小学校児童では「8時台」(44.9%)、「9時台」(28.0%)となっています。  
 帰宅時間は、就学前児童では「18-19時台」(46.4%)、「16-17時台」  
 (20.3%)、小学校児童では「18-19時台」(33.3%)、「12時-15時台」  
 (30.3%)となっています。

問 25-1[問 33-1] 母親の出勤時間



問 25-1[問 33-1] 母親の帰宅時間

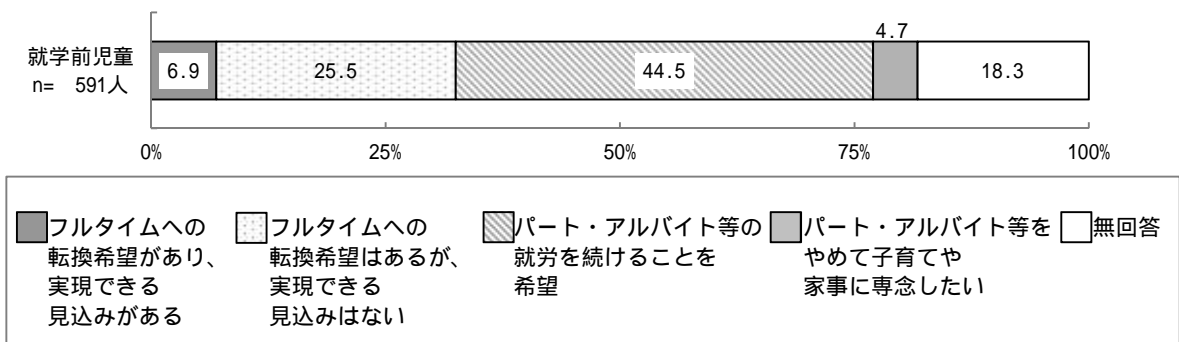




問 25-2 問 25 で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。

母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する人は 32.4%いますが、実現できる見込みのある人は 6.9%に留まっています。

問 25-2 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向

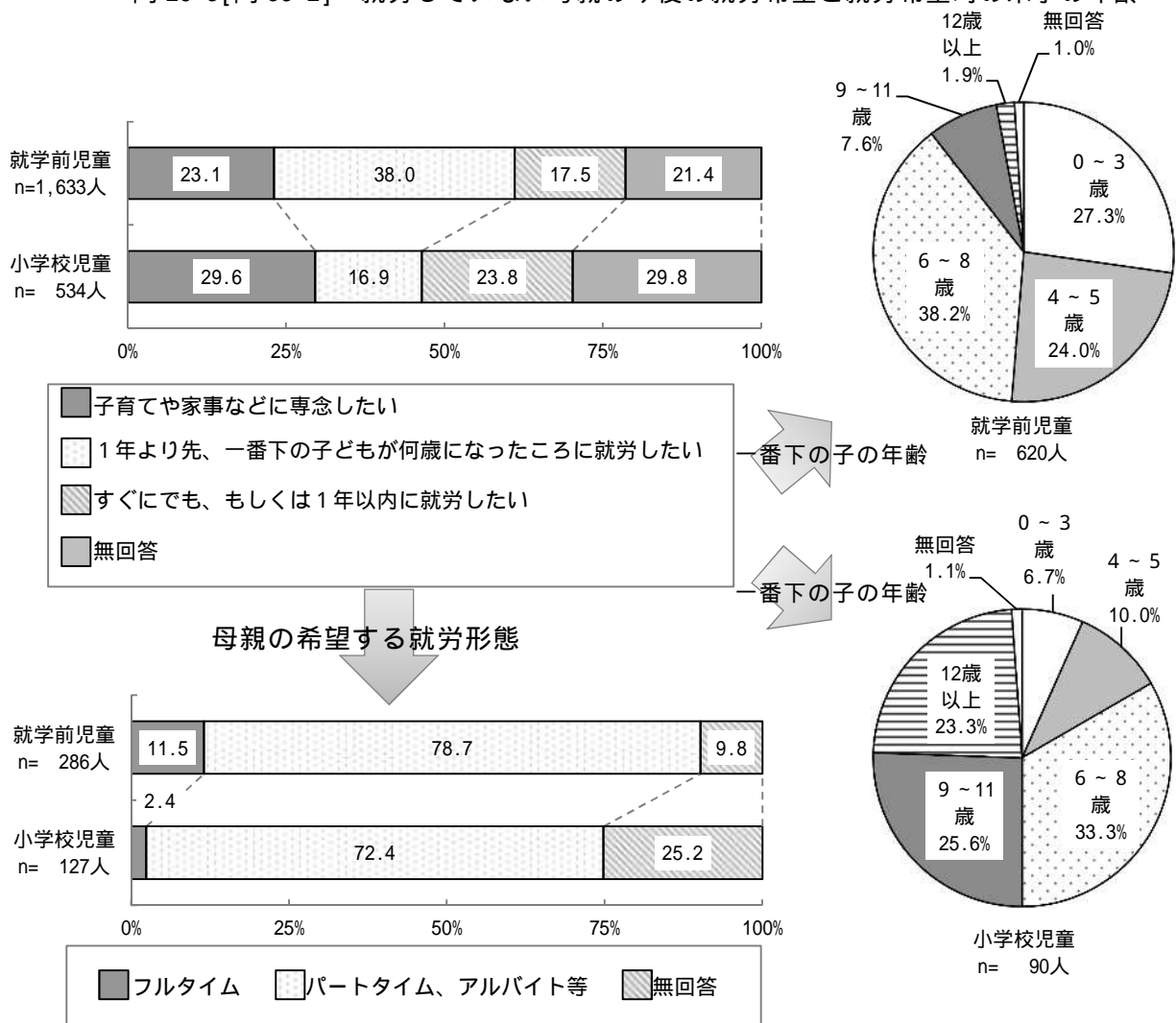


問 25-3[問 33-2] 問 25 [問 33]で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」と回答した方におたずねします。就労したいという希望はありますか。

就労していない母親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前児童では就労したい人が 55.5%あり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(38.0%)「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(17.5%)となっており、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(78.7%)が最も多くなっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(38.2%)「0～3歳」(27.3%)「4～5歳」(24.0%)となっています。

小学校児童では就労したい人が 40.7%あり、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(23.8%)「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(16.9%)となっており、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(72.4%)が最も多くなっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(33.3%)「9～11歳」(25.6%)「12歳以上」(23.3%)となっています。

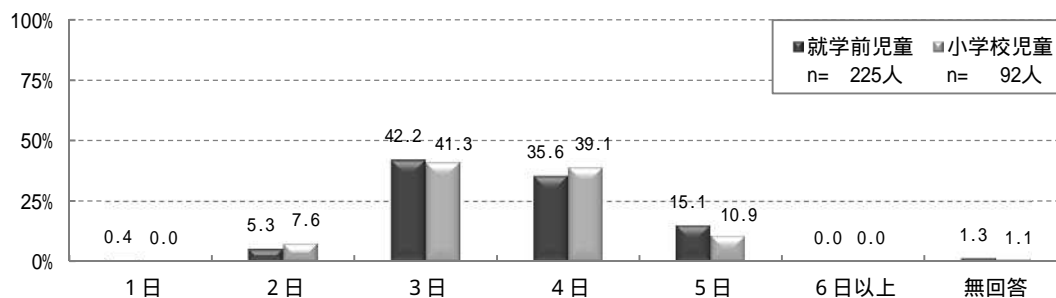
問 25-3[問 33-2] 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



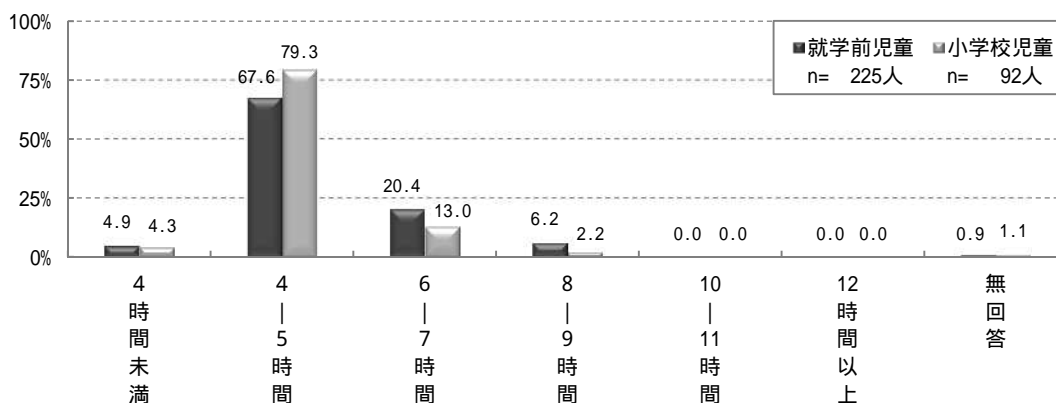
母親の希望する就労形態をみると、就学前児童では就労日数は「3日」(42.2%)、「4日」(35.6%)となっており、就労時間は「4 - 5時間」(67.6%)が最も多くなっています。

小学校児童では、就労日数は「3日」(41.3%)、「4日」(39.1%)となっており、就労時間「4 - 5時間」(79.3%)が最も多くなっています。

問 25-3[問 33-2] 母親の希望就労日数(1週当たり)



問 25-3[問 33-2] 母親の希望就労時間(1日当たり)



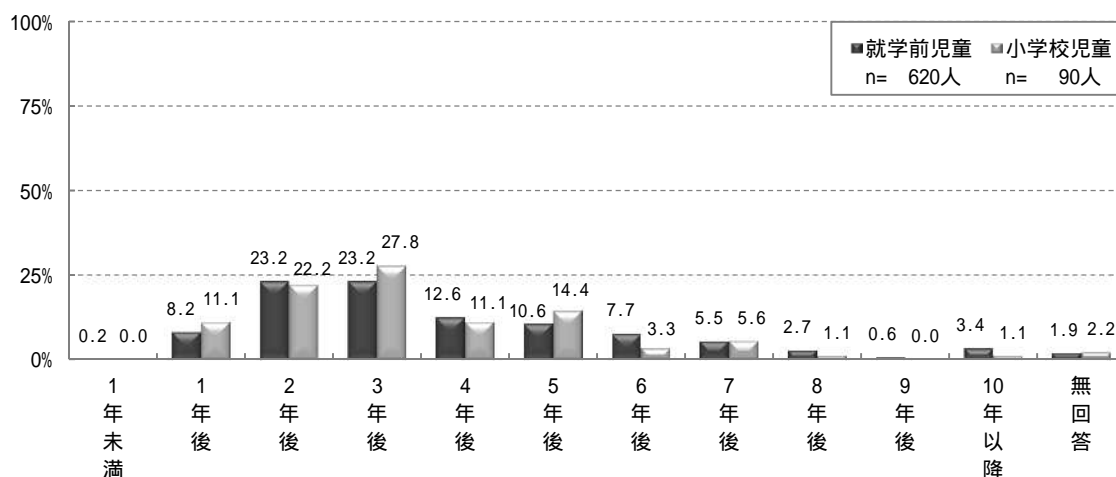
問 25-4[問 33-3] 問 25-3[問 33-2]で「2.1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」と回答した方におたずねします。それは今から何年後ですか。

問 25-5[問 33-4] 問 25-3[問 33-2]で「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方におたずねします。就労希望がありながら、現在、働くことができない理由が何ですか。

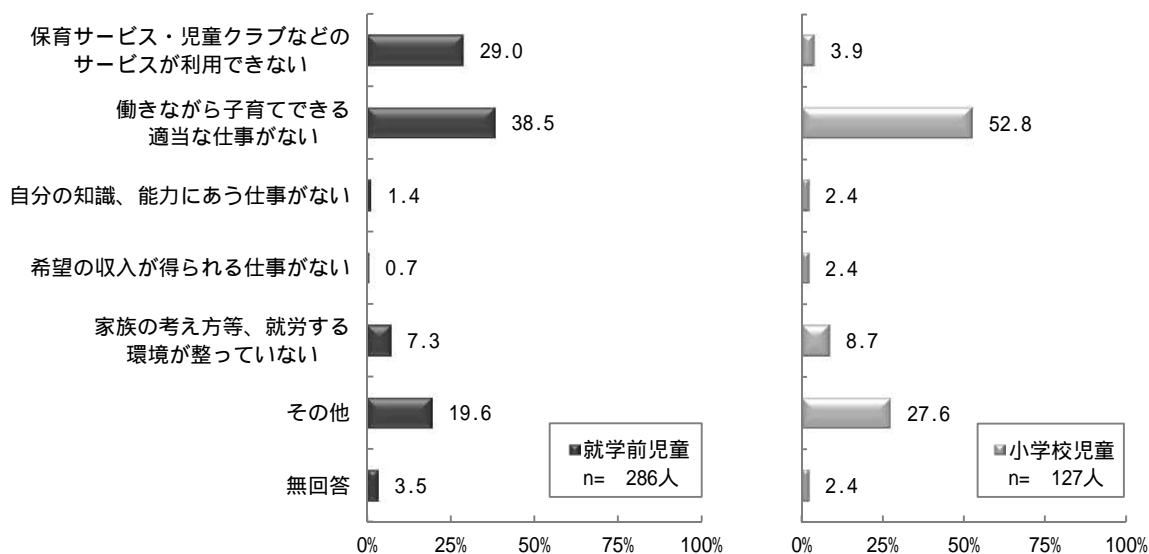
母親の希望就労時期をみると、就学前児童では「2年後」「3年後」(各23.2%)、小学校児童では「3年後」(27.8%)、「2年後」(22.2%)となっています。

就労希望がありながら、母親が現在働くことができない理由をみると、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(就学前児童38.5%、小学校児童52.8%)が最も多くなっています。

問 25-4[問 33-3] 母親の希望就労時期



問 25-5.1[問 33-4.1] 就労希望がありながら、母親が現在働くことができない理由



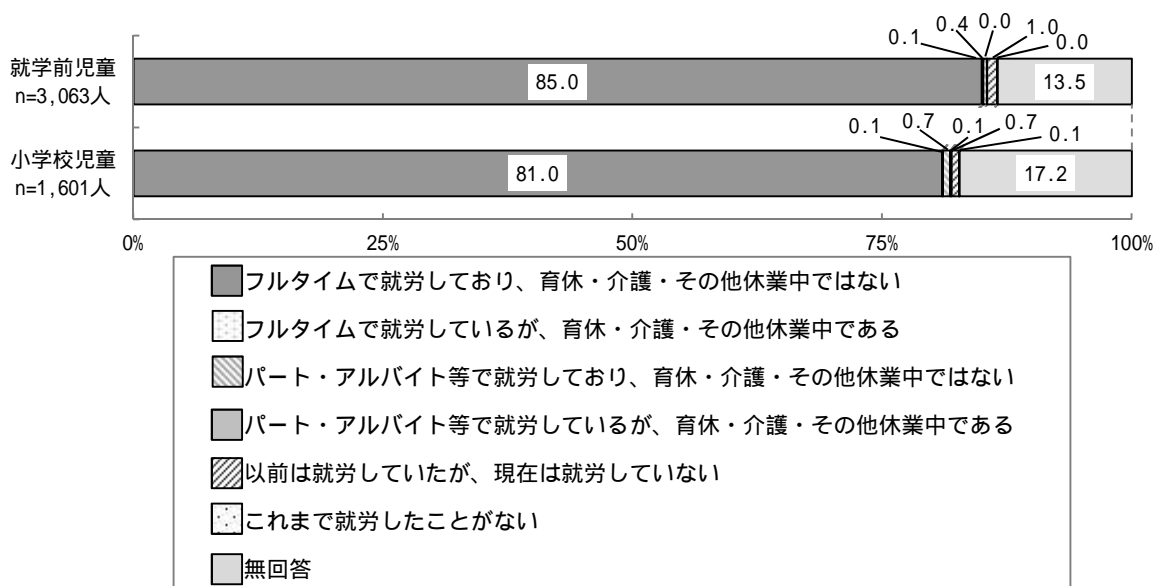
(2) 父親の就労状況

問 25 [問 33] 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。

父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、育休・介護その他休業中ではない」（就学前児童 85.0%、小学校児童 81.0%）が最も多くなっています。

また、「フルタイムで就労しているが、育休・介護・その他休業中である」（就学前児童で 0.1%、小学校児童 0.1%）、「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護・その他休業中である」（小学校児童 0.1%）となっており、ごく少数となっています。

問 25[問 33] 父親の就労状況

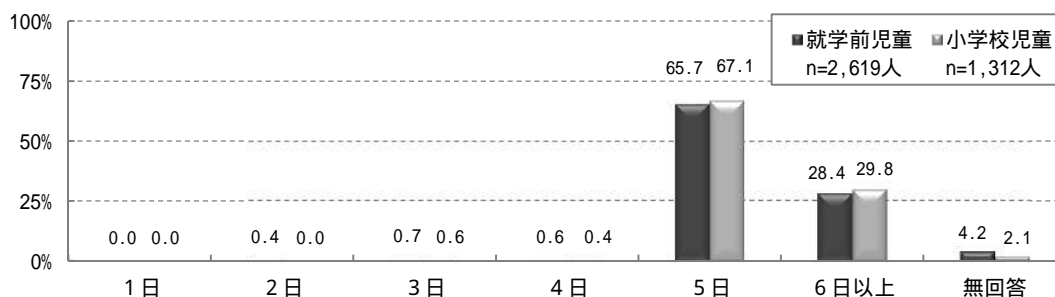


問 25-1[問 33-1] 問 25[問 33]で「1～4」(就労している)と回答した方におたずねします。

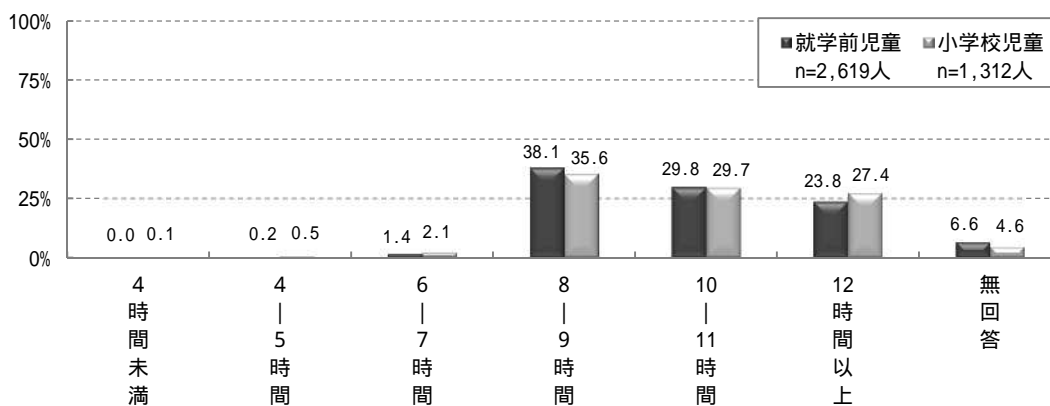
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間を含む)、家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

父親の就労日数をみると、「5日」(就学前児童 65.7%、小学校児童 67.1%)が最も多く、就労時間をみると「8 - 9時間」(就学前児童 38.1%、小学校児童 35.6%)、「10-11時間」(就学前児童 29.8%、小学校児童 29.7%)、「12時間以上」(就学前児童 23.8%、小学校児童 27.4%)となっています。

問 25-1[問 33-1] 父親の就労日数 (1週当たり)



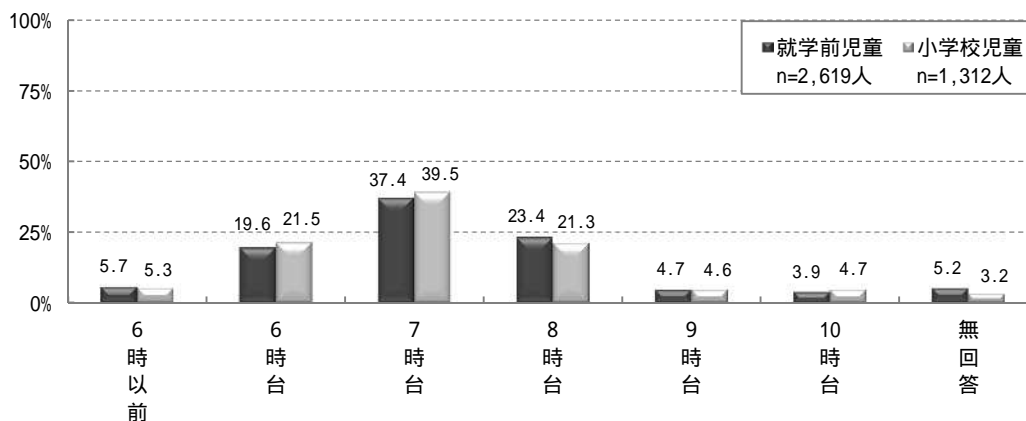
問 25-1[問 33-1] 父親の就労時間 (1日当たり)



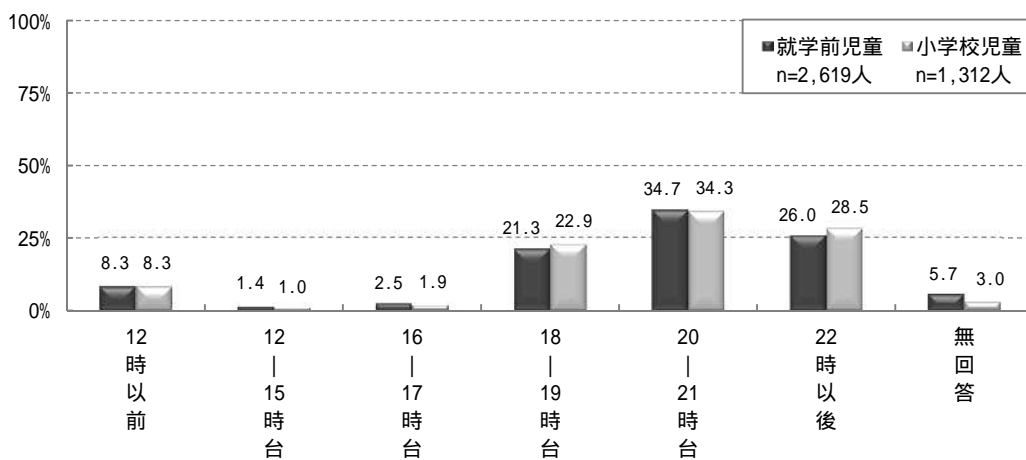
父親の出勤時間は、就学前児童では「7時台」(37.4%)、「8時台」(23.4%)、「6時台」(19.6%)、小学校児童では「7時台」(39.5%)、「6時台」(21.5%)、「8時台」(21.3%)となっています。

帰宅時間は、「20 - 21時台」(就学前児童 34.7%、小学校児童 34.3%)、「22時以降」(就学前児童 26.0%、小学校児童 28.5%)、「18 - 19時台」(就学前児童 21.3%、小学校児童 22.9%)となっています。

問 25-1[問 33-1] 父親の出勤時間



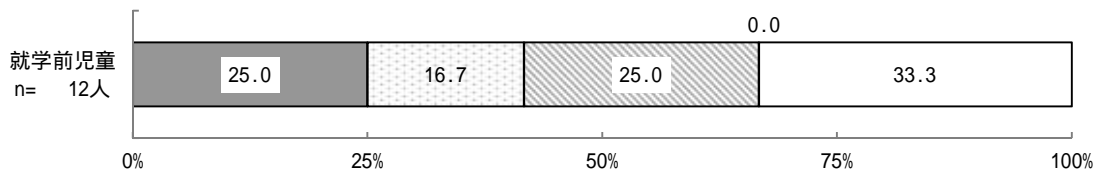
問 25-1[問 33-1] 父親の帰宅時間



問 25-2 問 25 で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。

父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する人は 41.7%いますが、実現できる見込みのある人は 25.0%に留まっています。

問 25-2 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #555; margin-right: 5px;"></span> フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; border: 1px dotted black; margin-right: 5px;"></span> フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; border: 1px solid black; border-style: dashed; margin-right: 5px;"></span> パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #ccc; margin-right: 5px;"></span> パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 無回答
---	--	--	---	---

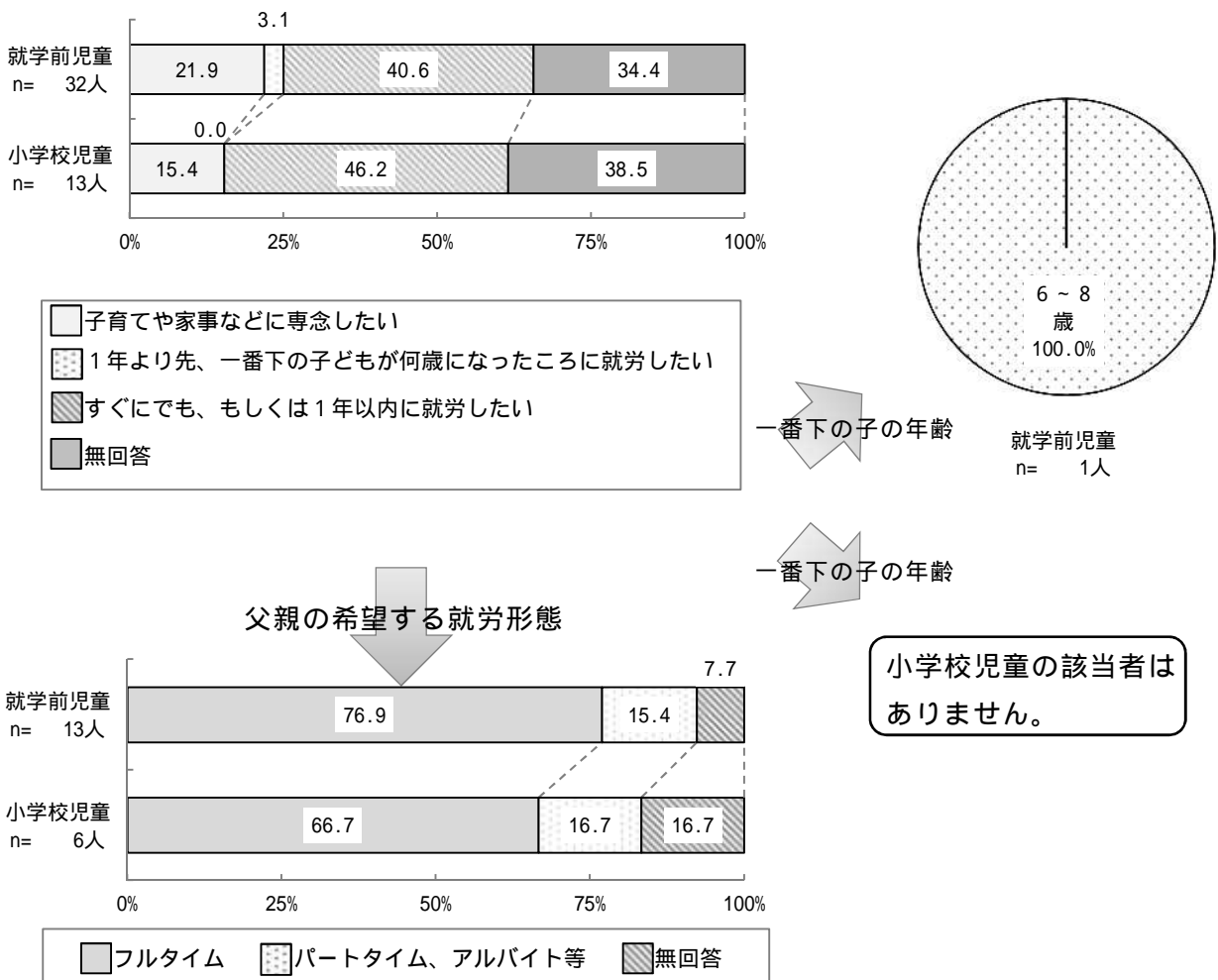


問 25-3[問 33-2] 問 25 [問 33]で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」と回答した方におたずねします。就労したいという希望はありますか。

就労していない父親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前児童では就労したい人が43.7%おり、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(40.6%)、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(3.1%)となっており、就労形態は「フルタイム」(76.9%)が最も多くなっています。就労時期となる子どもの年齢は、「6～8歳」と回答しています。

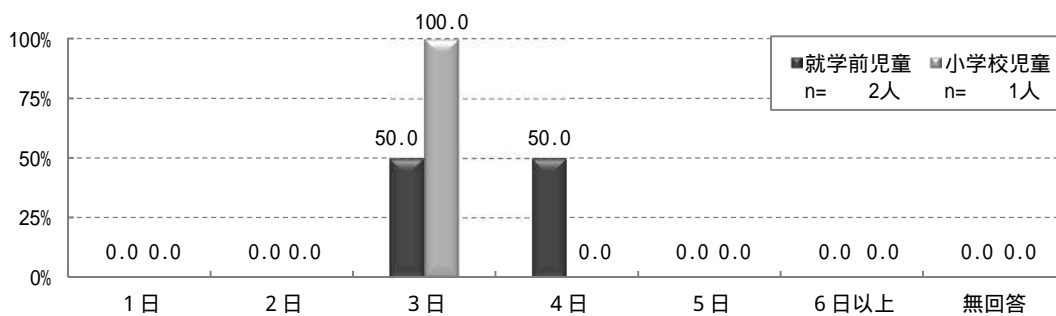
小学校児童では就労したい人が46.2%おり、その全員が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっています。就労形態は「フルタイム」(66.7%)が最も多くなっています。

問 25-3[問 33-2] 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢

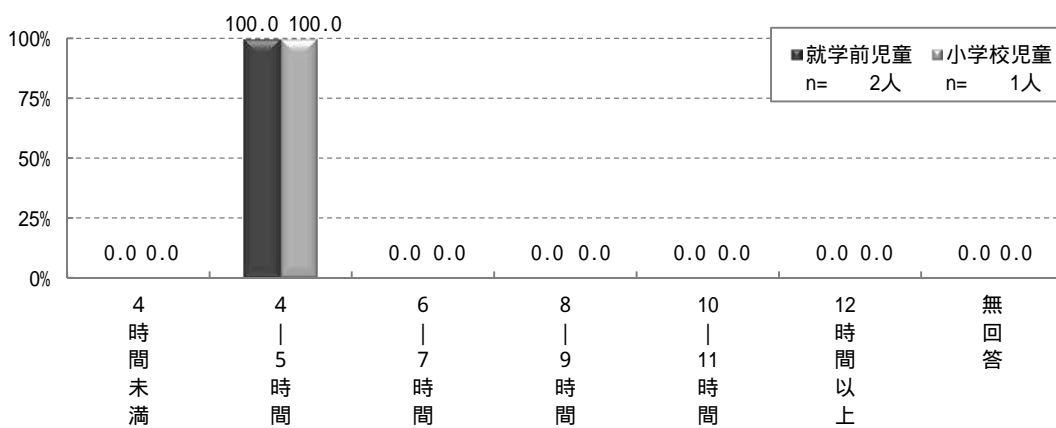


父親の希望就労日数及び時間では、就労日数は就学前児童では「3日」「4日」に各1人、就労時間は2人とも「4-5時間」を希望しています。  
 小学校児童では、1人の人が「3日」「4-5時間」と回答しています。

問 25-3[問 33-2] 父親の希望就労日数（1週当たり）



問 25-3[問 33-2] 父親の希望就労時間（1日当たり）

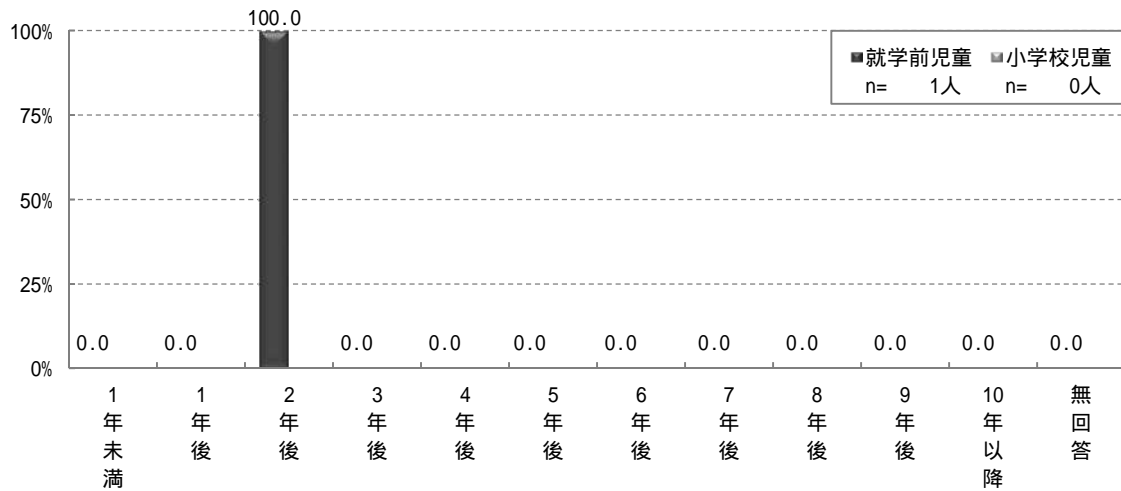


問 25-4[問 33-3] 問 25-3[問 33-2]で「2.1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」と回答した方におたずねします。それは今から何年後ですか。

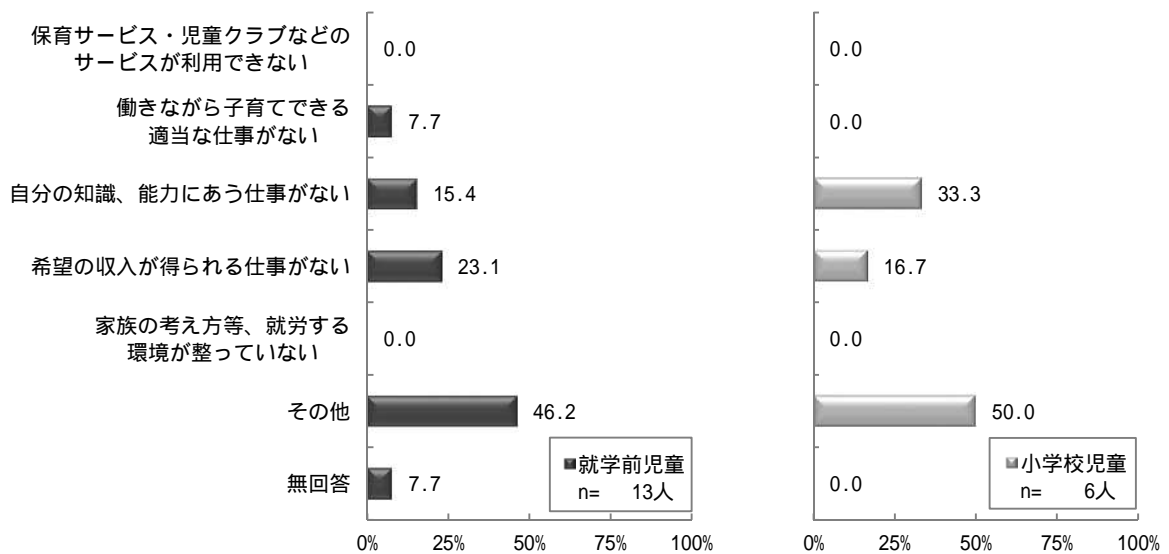
問 25-5[問 33-4] 問 25-3[問 33-2]で「3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方におたずねします。就労希望がありながら、現在、働くことができない理由は何ですか。

父親の希望就労時期では1人の人が「2年後」と回答しています。  
 就労希望がありながら、父親が現在働くことができない理由をみると、就学前児童では「希望の収入が得られる仕事がない」(23.1%)、「自分の知識、能力にあう仕事がない」(15.4%)、小学校児童では「自分の知識、能力にあう仕事がない」(33.3%)、「希望の収入が得られる仕事がない」(16.7%)となっています。

問 25-4[問 33-3] 父親の希望就労時期



問 25-5[問 33-4] 就労希望がありながら、父親が現在働くことができない理由



## 6 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

### (1) 平日の定期的な教育・保育事業(全体)

問 26 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

問 26-1 問 26 で「1. 利用している」と回答した方におたずねします。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

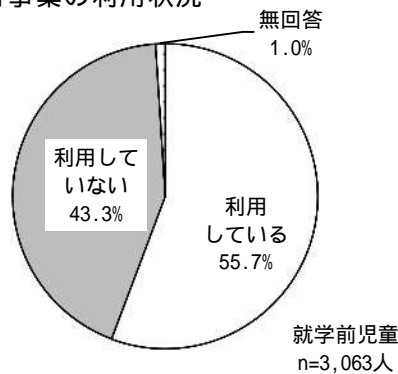
問 27 現在利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

定期的な教育・保育事業(全体)の利用状況をみると、利用している就学前児童は55.7%となっています。

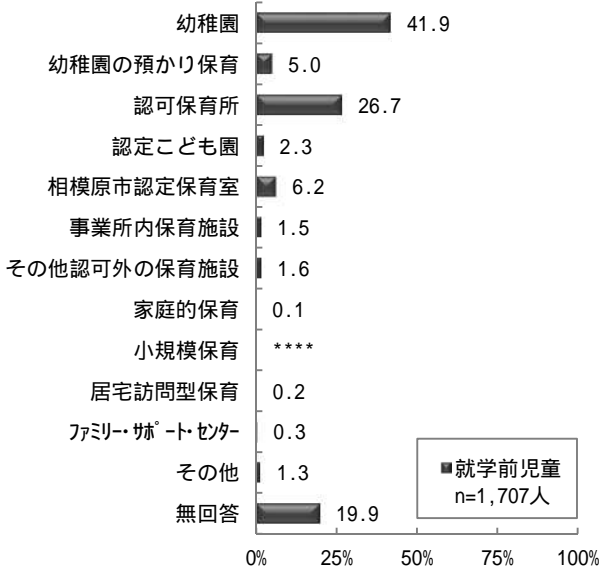
利用中の事業としては、「幼稚園」(41.9%)、「認可保育所」(26.7%)となっています。

一方、今後の利用希望では「幼稚園」(60.3%)、「認可保育所」(42.6%)、「幼稚園の預かり保育」(29.9%)、「認定こども園」(14.7%)となっています。

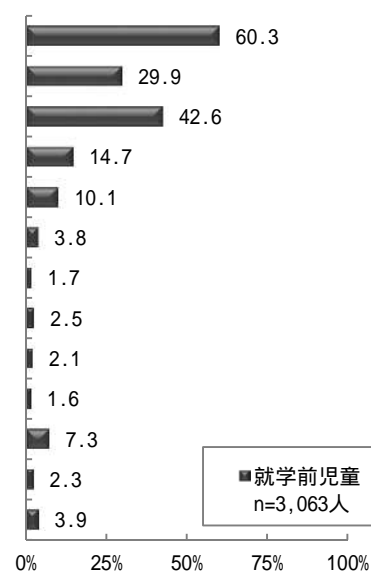
問 26 定期的な教育・保育事業の利用状況



問 26-1 利用中の定期的な教育・保育事業



問 27 希望する定期的な教育・保育事業

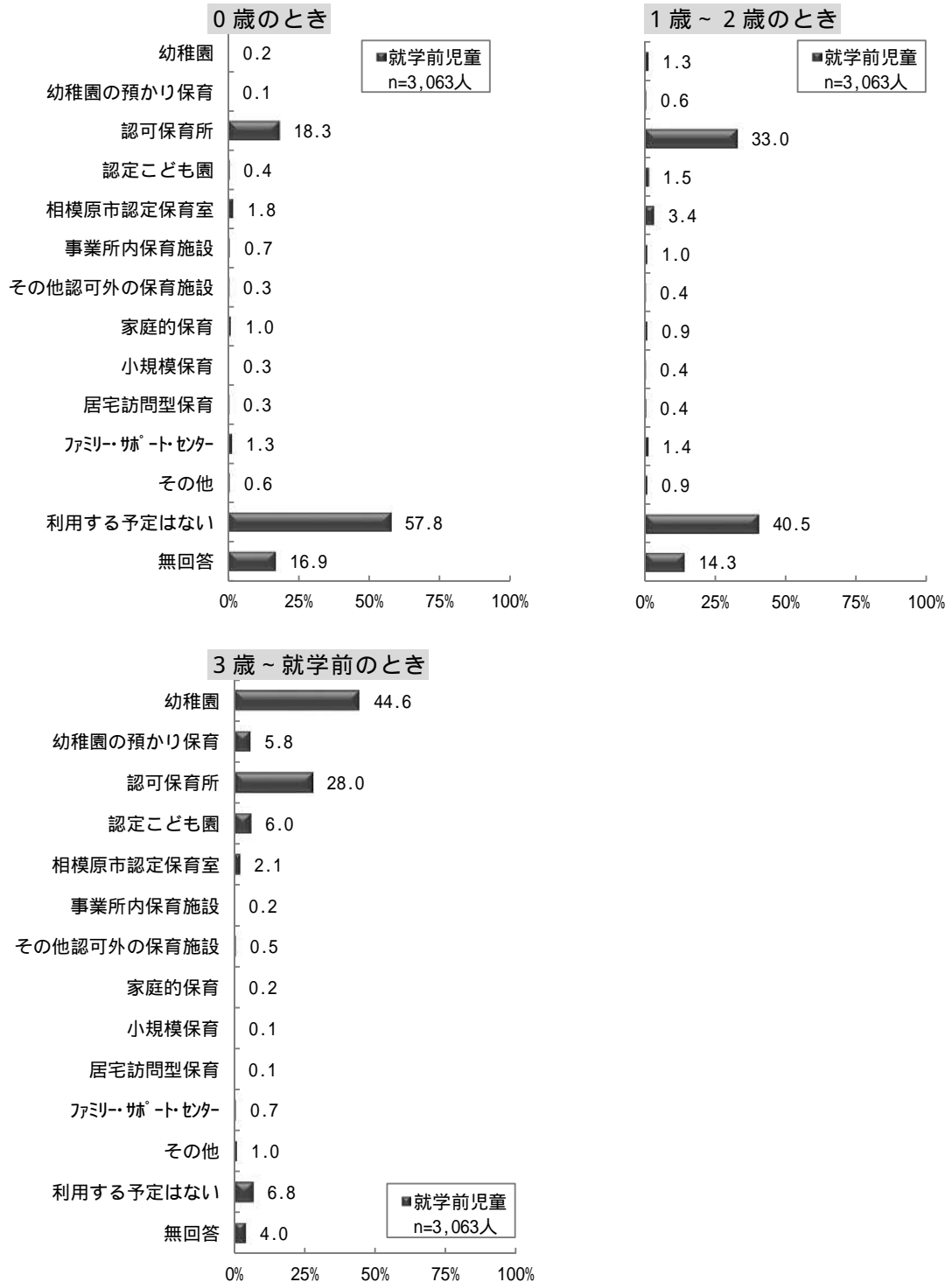


\* 小規模保育事業はアンケート調査時には、実施していません。

問 27-1 問 27 で回答した教育・保育事業で、最も利用を希望するのはどれですか。年齢別にお答えください。

教育・保育事業で、最も利用を希望する事業をみると、0歳のときでは「利用する予定はない」(57.8%)、「認可保育所」(18.3%)、1歳～2歳のときでは、「利用する予定はない」(40.5%)、「認可保育所」(33.0%)、3歳～就学前のときでは「幼稚園」(44.6%)、「認可保育所」(28.0%)となっています。

問 27-1 教育・保育事業で、最も利用を希望する事業

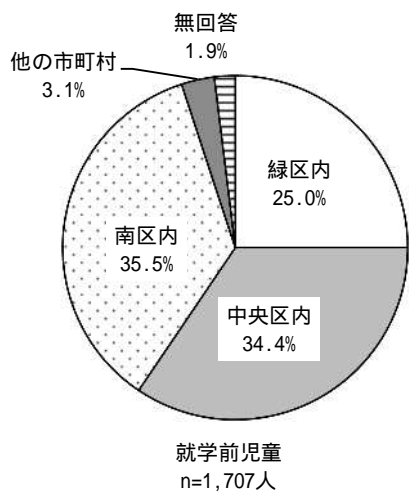


問 26-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。

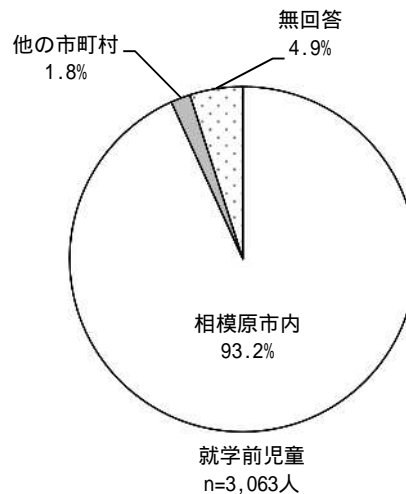
問 27-2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。

定期的な教育・保育事業（全体）の教育・保育施設の実施場所は、「南区内」（35.5%）、「中央区内」（34.4%）、「緑区内」（25.0%）となっています。  
希望実施場所では、「相模原市内」が93.2%となっています。

問 26-2 教育・保育の実施場所



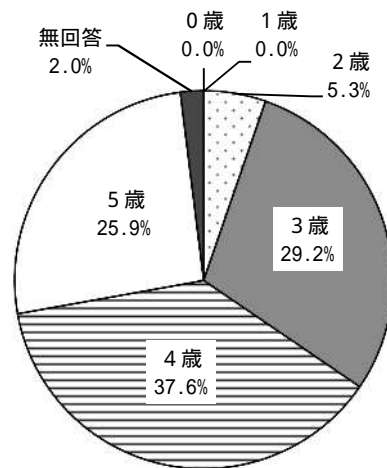
問 27-2 教育・保育の希望実施場所



## (2) 幼稚園

幼稚園の年齢別利用者数は、2歳(38人)、3歳(209人)、4歳(269人)、5歳(185人)となっています。

問 26-1. 幼稚園の年齢別利用者数



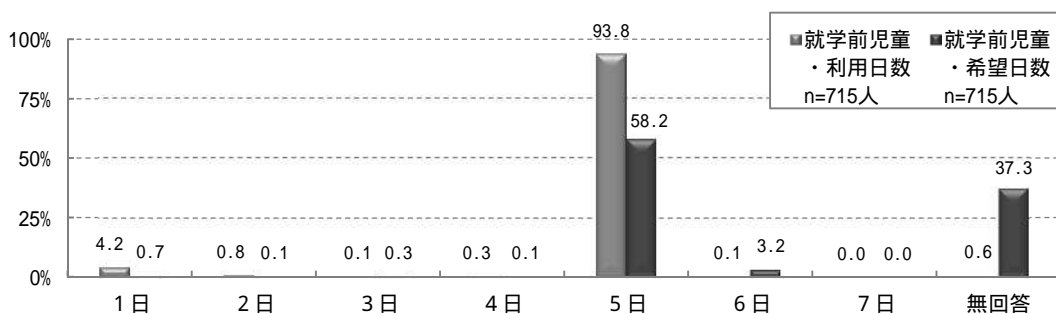
就学前児童  
n=715人

問 26-1 幼稚園の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

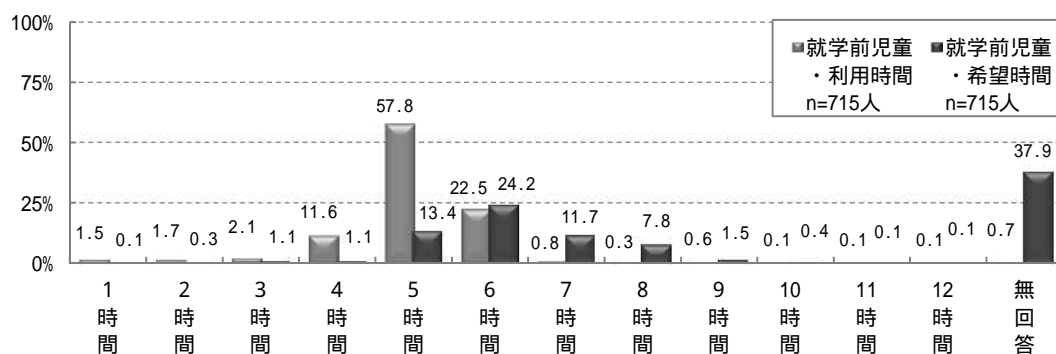
幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(93.8%)希望でも「5日」(58.2%)が最も多くなっています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「5時間」(57.8%)「6時間」(22.5%)となっており、希望では「1時間」~「5時間」が減少し、「6時間」~「10時間」で増加しています。

問 26-1. 幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)



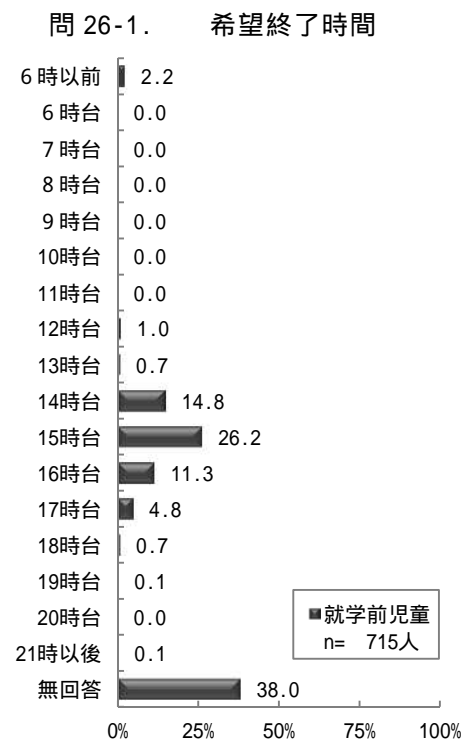
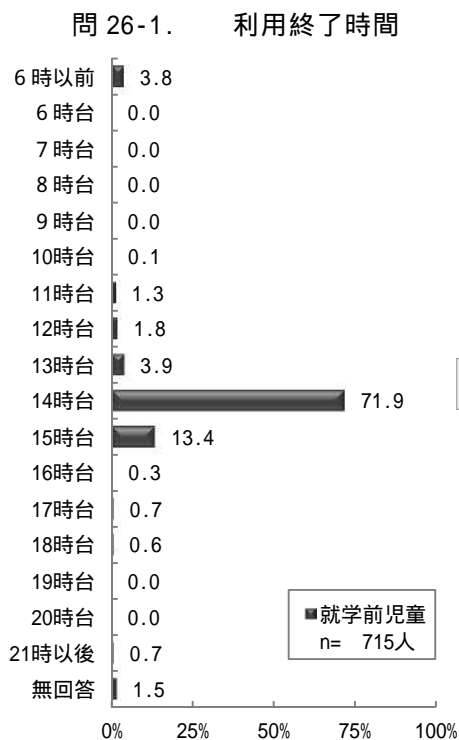
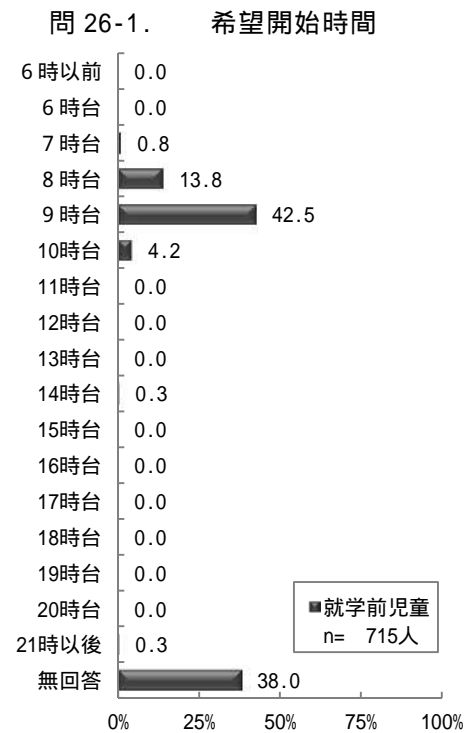
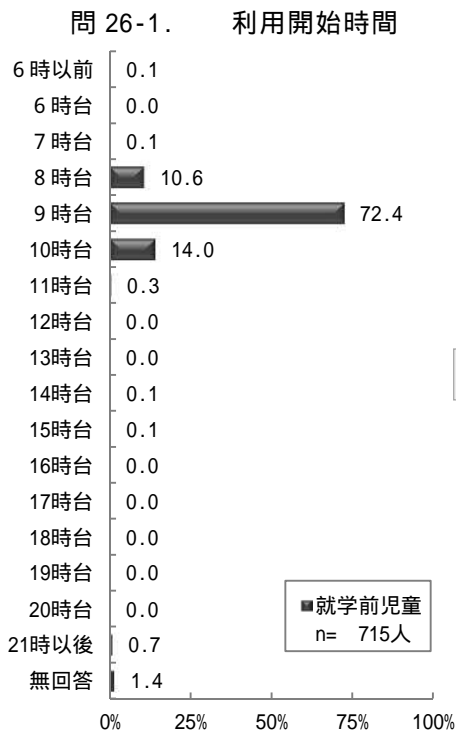
問 26-1. 幼稚園の利用時間と希望時間(1日当たり)





利用開始時間と利用終了時間をみると、利用開始時間は「9時台」(72.4%)が、利用終了時間は「14時台」(71.9%)が最も多くなっています。

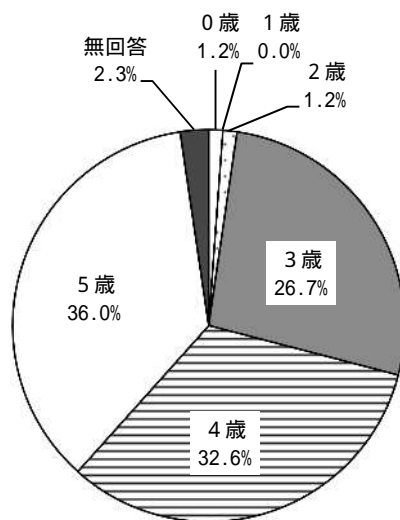
利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「15時台」~「19時台」が増加しています。



### (3) 幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数は、0歳(1人)、2歳(1人)、3歳(23人)、4歳(28人)、5歳(31人)となっています。

問 26-1. 幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数



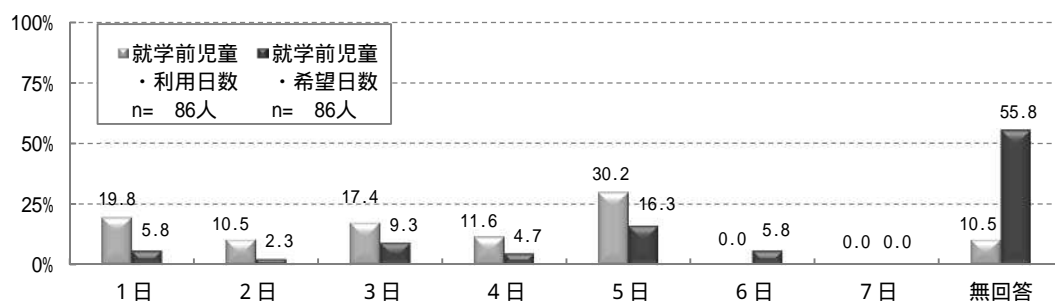
就学前児童  
n= 86人

問 26-1 幼稚園の預かり保育の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

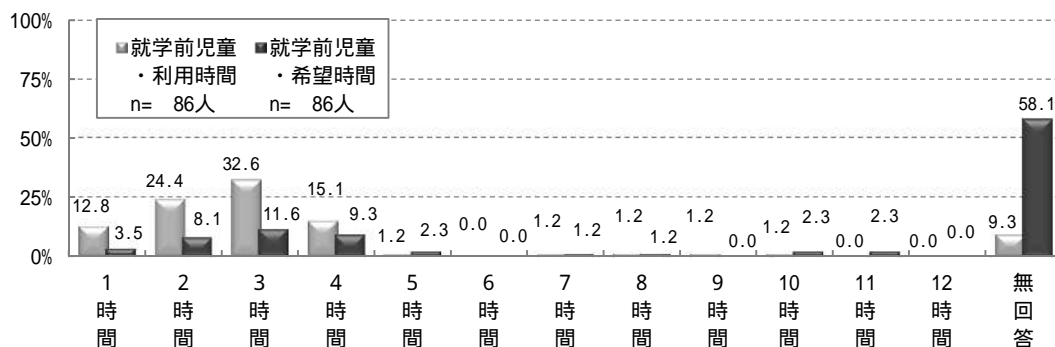
幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(30.2%)、「1日」(19.8%)、「3日」(17.4%)となっており、希望では「5日」(16.3%)、「3日」(9.3%)、「1日」「6日」(各5.8%)となっています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「3時間」(32.6%)、「2時間」(24.4%)となっており、希望では「3時間」(11.6%)、「4時間」(9.3%)、「2時間」(8.1%)となっています。

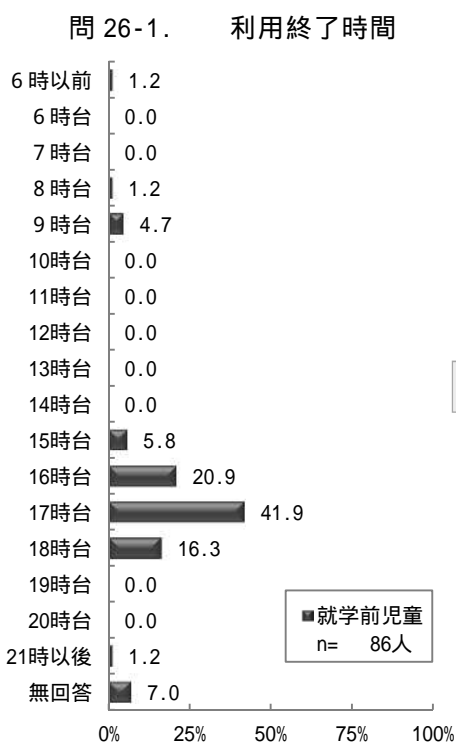
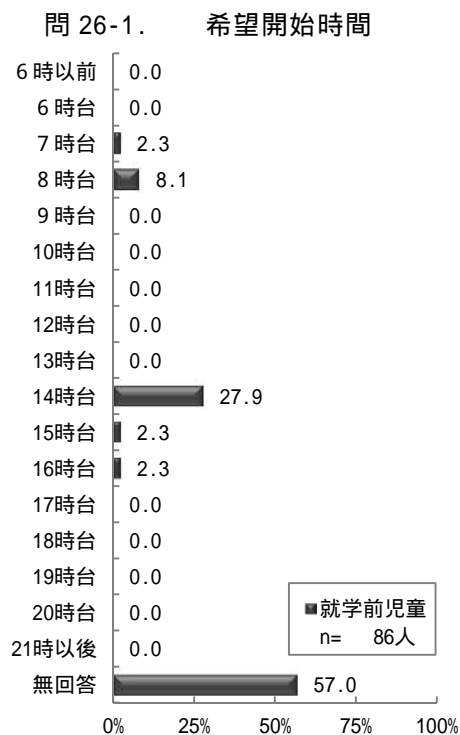
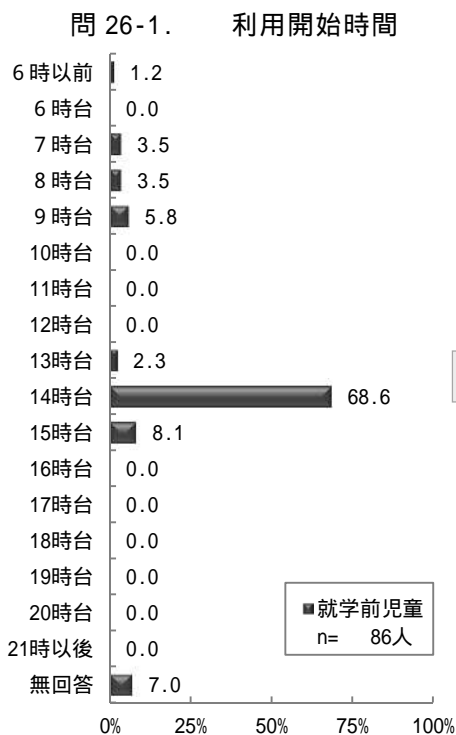
問 26-1. 幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数(1週当たり)



問 26-1. 幼稚園の預かり保育の利用時間と希望時間(1日当たり)



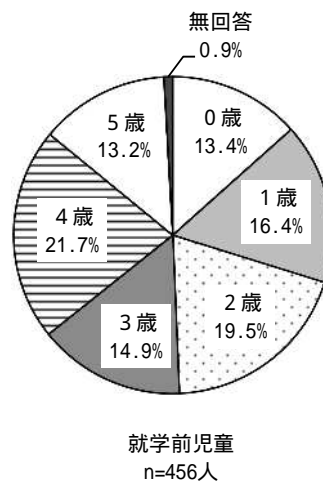
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「14時台」(68.6%)が最も多く、終了時間は「17時台」(41.9%)、「16時台」(20.9%)、「18時台」(16.3%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「19時台」以降でやや増加しています。



(4) 認可保育所

認可保育所の年齢別利用者数は、0歳(61人)、1歳(75人)、2歳(89人)、3歳(68人)、4歳(99人)、5歳(60人)となっています。

問 26-1. 認可保育所の年齢別利用者数

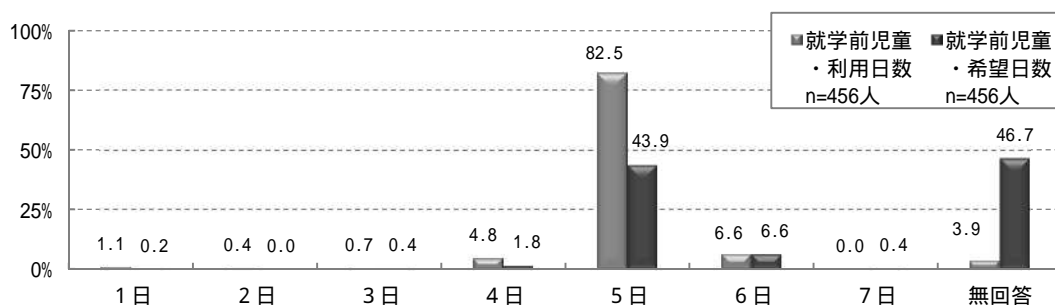


問 26-1 認可保育所の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

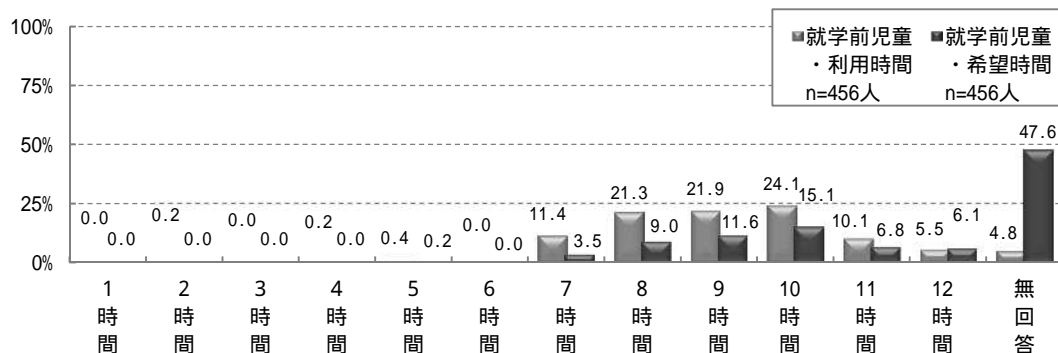
認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（82.5%）、希望でも「5日」（43.9%）となっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「10時間」（24.1%）、「9時間」（21.9%）、「8時間」（21.3%）、希望時間では「10時間」（15.1%）、「9時間」（11.6%）、「8時間」（9.0%）となっています。

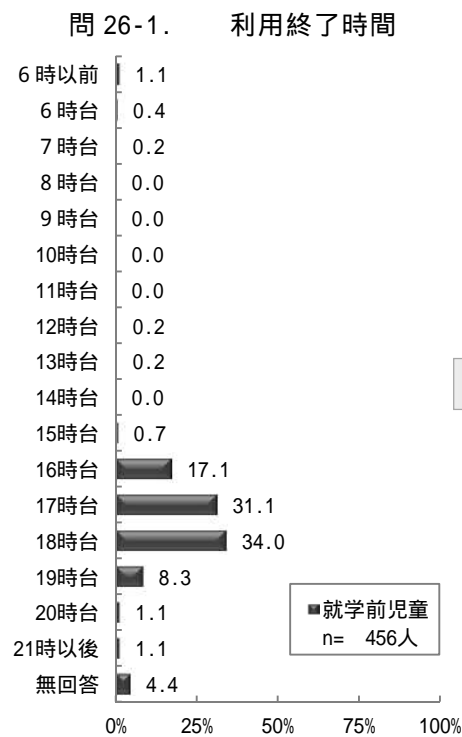
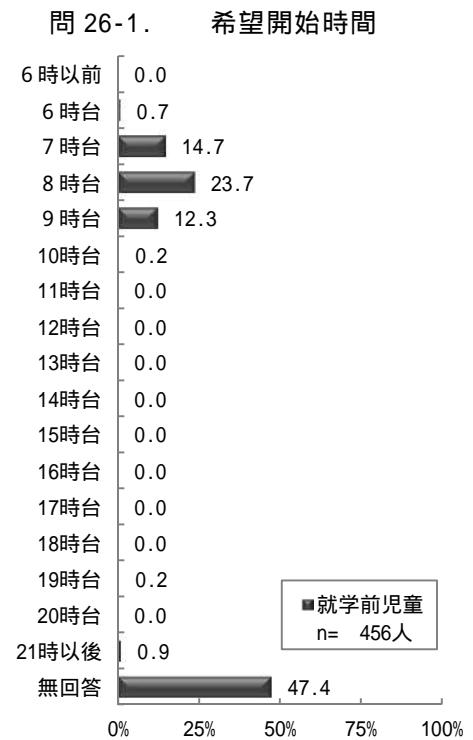
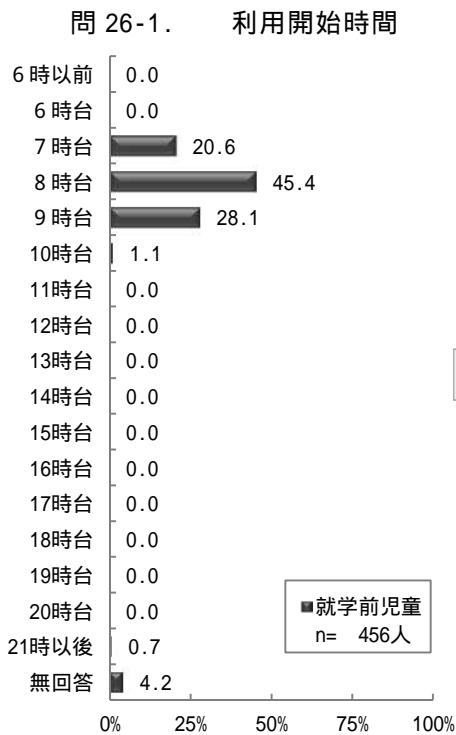
問 26-1. 認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 26-1. 認可保育所の利用時間と希望時間（1日当たり）



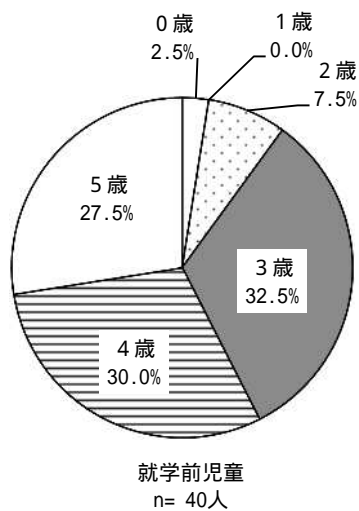
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(45.4%)、「9時台」(28.1%)、「7時台」(20.6%)、終了時間は「18時台」(34.0%)、「17時台」(31.1%)、「16時台」(17.1%)となっています。



(5) 認定こども園

認定こども園の年齢別利用者数は、0歳(1人)、2歳(3人)、3歳(13人)、4歳(12人)、5歳(11人)となっています。

問 26-1. 認定こども園の年齢別利用者数



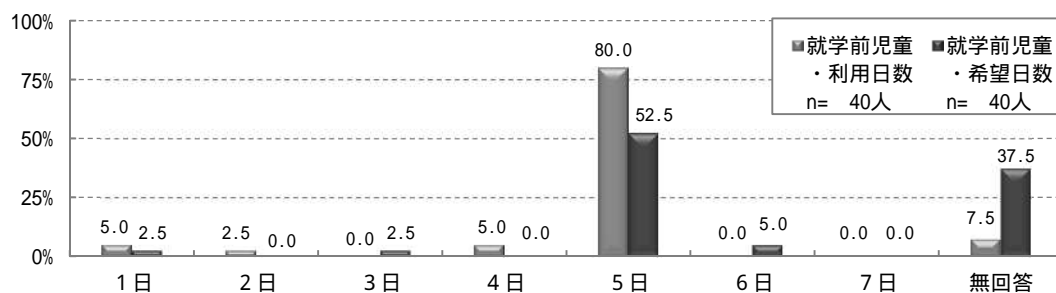


問 26-1 認定こども園の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

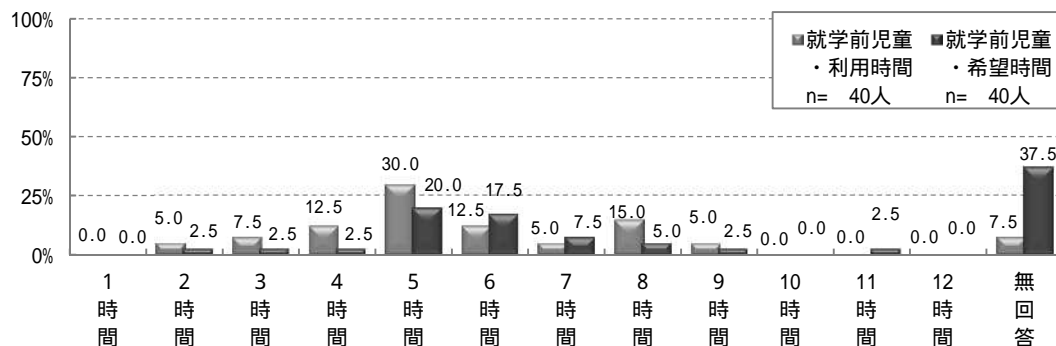
認定こども園の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（80.0%）、希望でも「5日」（52.5%）が最も多くなっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）については、利用では「5時間」（30.0%）、「8時間」（15.0%）、希望では利用時間と希望時間の差は希望時間において「6時間」「7時間」がやや増加しています。

問 26-1. 認定こども園の利用日数と希望日数（1週当たり）

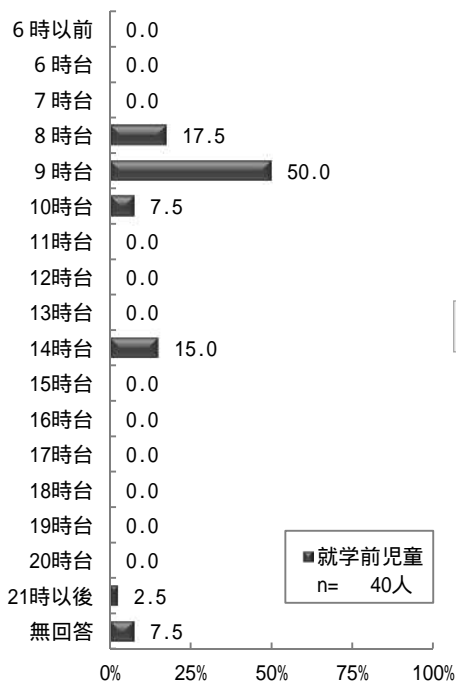


問 26-1. 認定こども園の利用時間と希望時間（1日当たり）

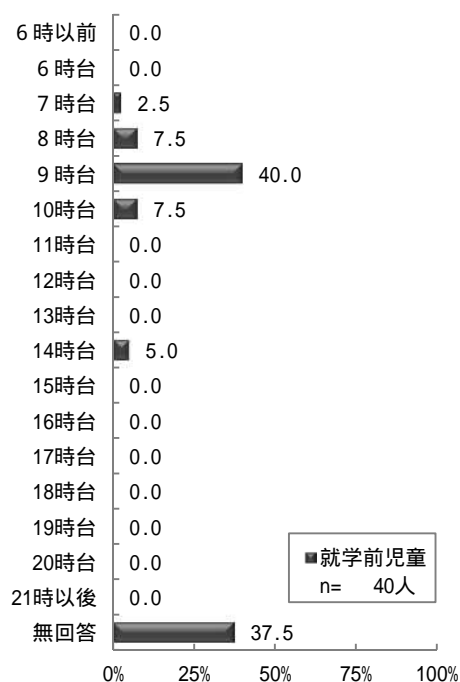


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(50.0%)、「8時台」(17.5%)、終了時間は「14時台」(37.5%)、「17時台」(25.0%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望開始時間において「7時台」がやや増加し、希望終了時間において「15時台」が増加しています。

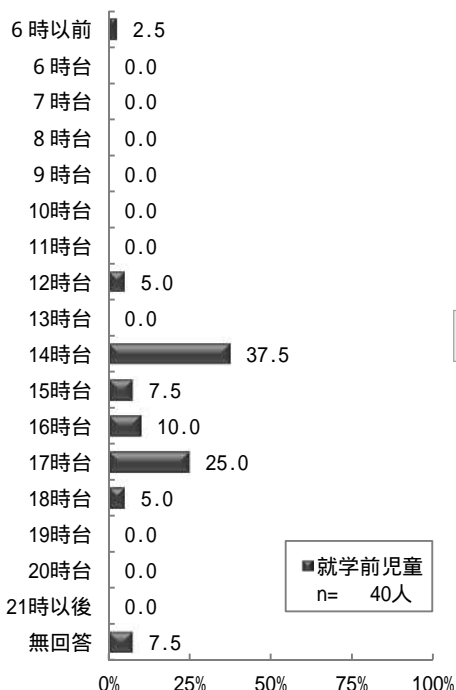
問 26-1. 利用開始時間



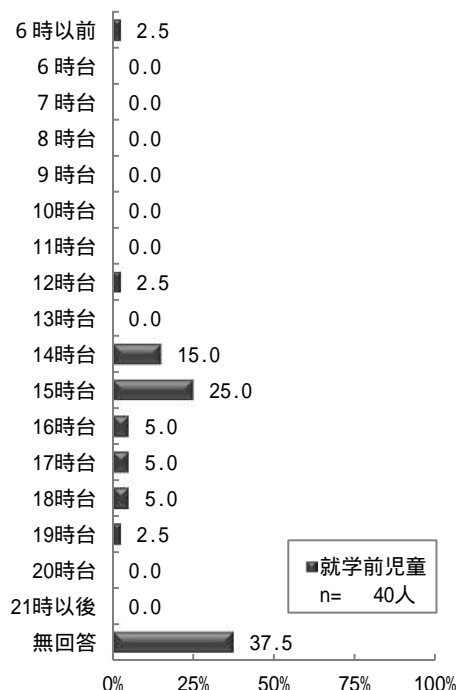
問 26-1. 希望開始時間



問 26-1. 利用終了時間



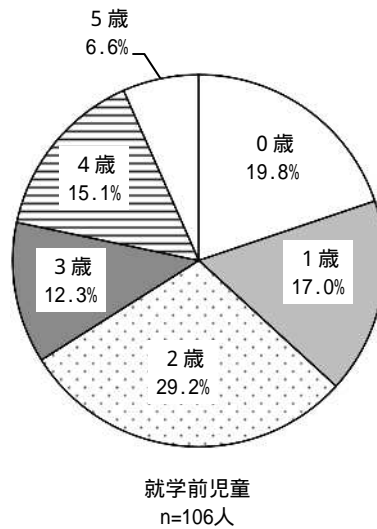
問 26-1. 希望終了時間



(6) 相模原市認定保育室

相模原市認定保育室の年齢別利用者数は、0歳(21人)、1歳(18人)、2歳(31人)、3歳(13人)、4歳(16人)、5歳(7人)となっています。

問 26-1. 相模原市認定保育室の年齢別利用者数

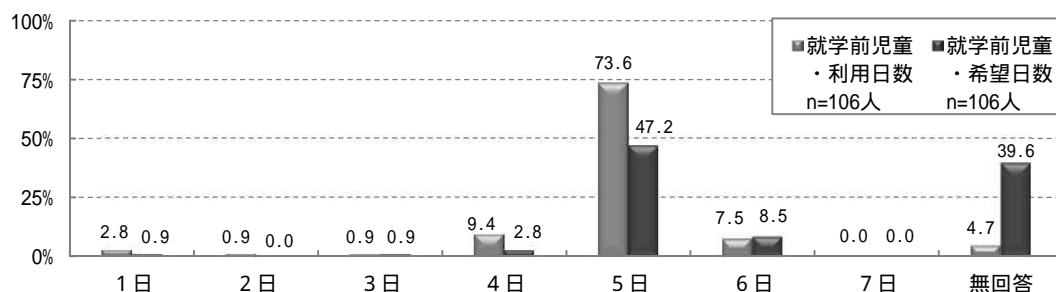


問 26-1 相模原市認定保育室の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

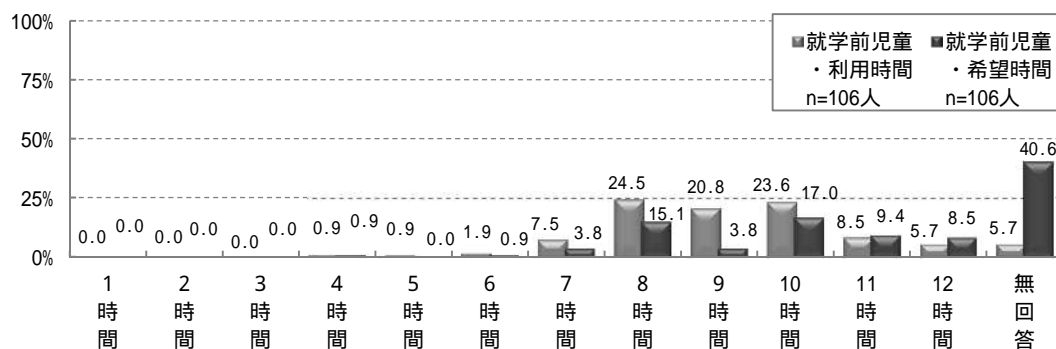
利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（73.6%）が、希望でも「5日」（47.2%）が最も多くなっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「8時間」（24.5%）、「10時間」（23.6%）、「9時間」（20.8%）となっています。利用時間と希望時間の差は、希望では「6時間」～「10時間」が減少した一方で「11時間」「12時間」が増加しているため、一部の利用者で時間延長の希望が伺えます。

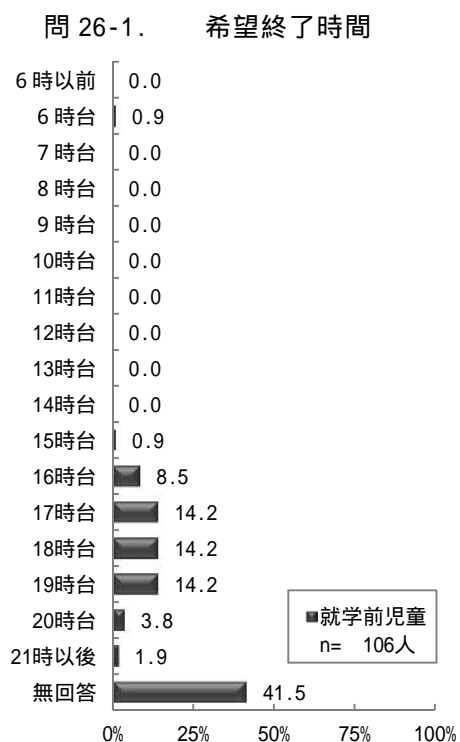
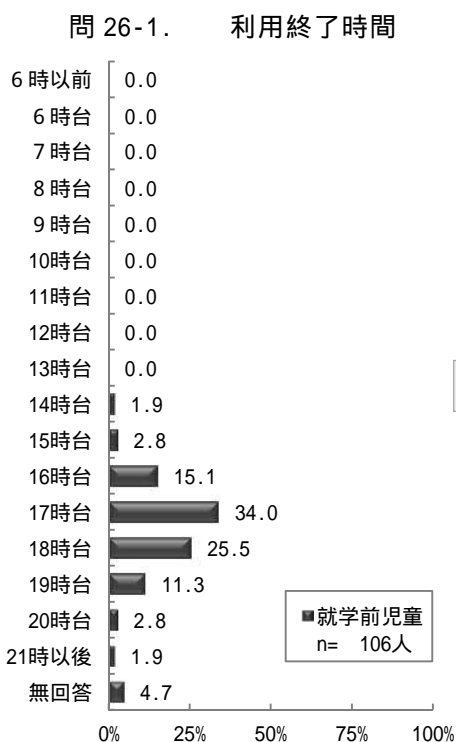
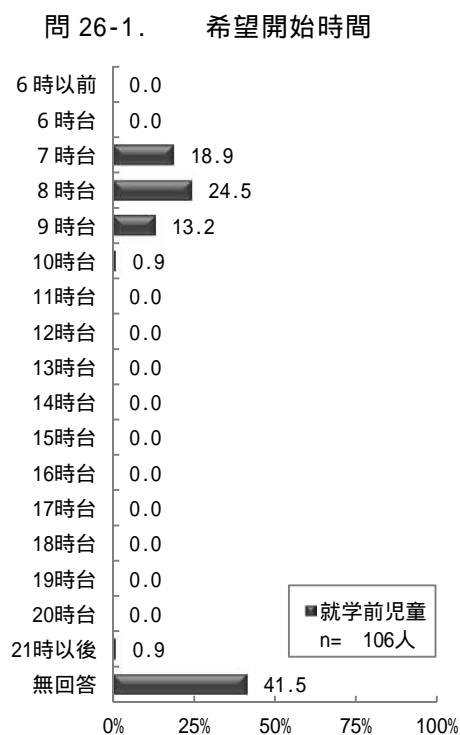
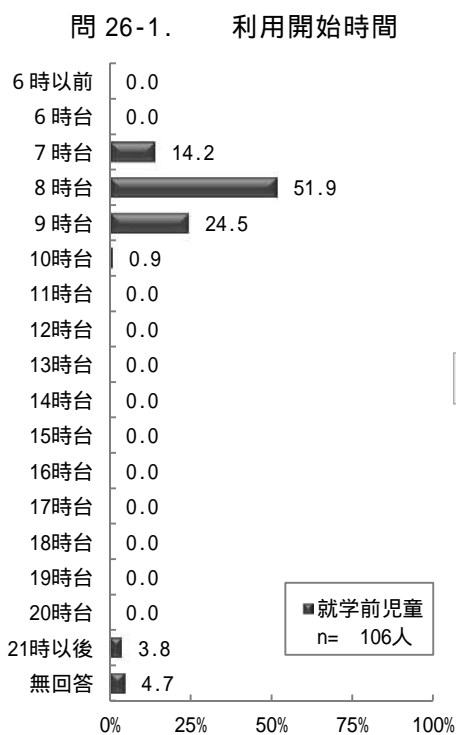
問 26-1. 相模原市認定保育室の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 26-1. 相模原市認定保育室の利用時間と希望時間（1日当たり）



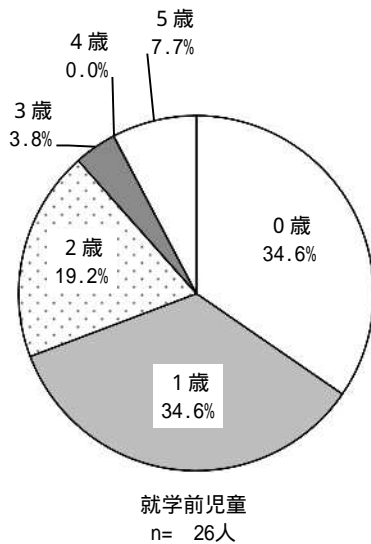
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(51.9%)、「9時台」(24.5%)、終了時間は「17時台」(34.0%)、「18時台」(25.5%)、「16時台」(15.1%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望開始時間において「7時台」が、希望終了時間において「19時台」「20時台」がやや増加しています。



### (7) 事業所内保育施設

事業内保育施設の年齢別利用者数は、0歳(9人)、1歳(9人)、2歳(5人)、3歳(1人)、5歳(2人)となっています。

問 26-1. 事業所内保育施設の年齢別利用者数

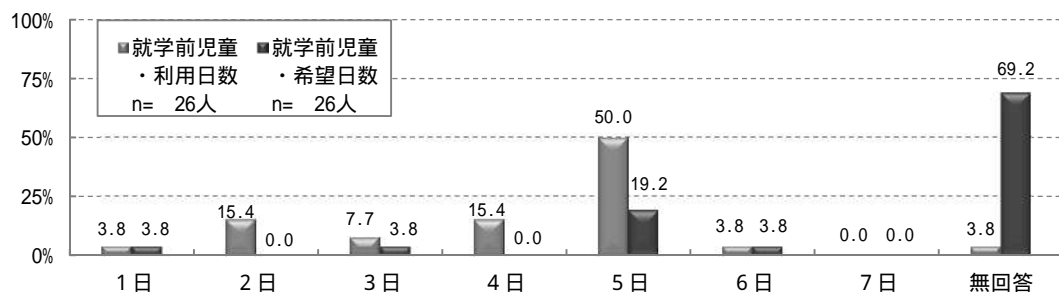


問 26-1 事業所内保育施設の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

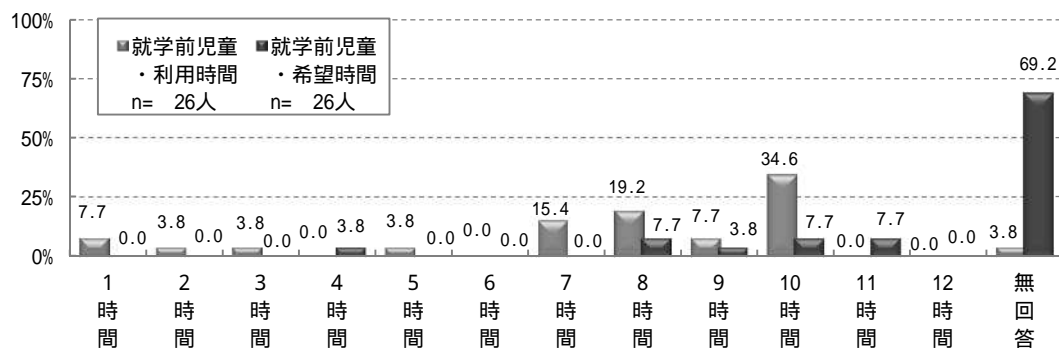
利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（50.0%）、希望でも「5日」（19.2%）が最も多くなっています。

また、利用時間（1日当たり）をみると、「10時間」（34.6%）、「8時間」（19.2%）、「7時間」（15.4%）となっています。

問 26-1. 事業所内保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）

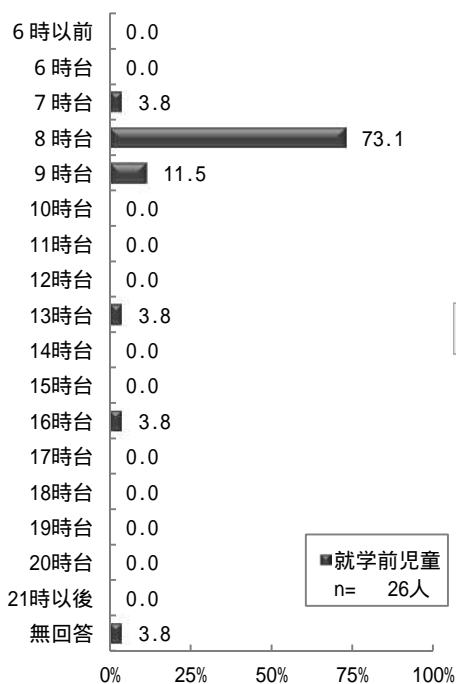


問 26-1. 事業所内保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）

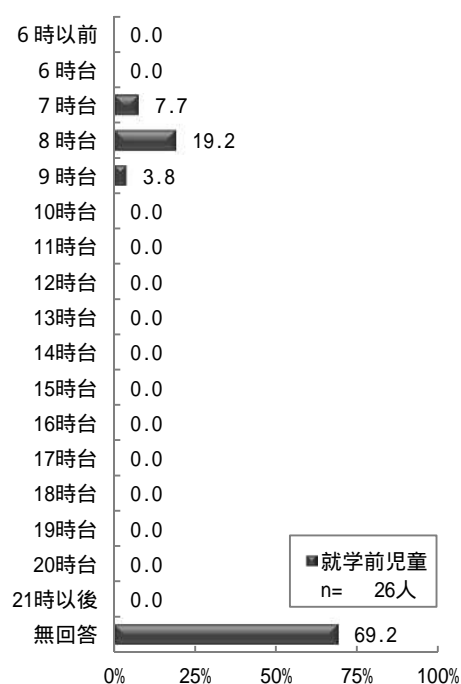


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(73.1%)が最も多く、終了時間は「18時台」(26.9%)、「17時台」(23.1%)、「16時台」(15.4%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望開始時間において「7時台」が増加しています。

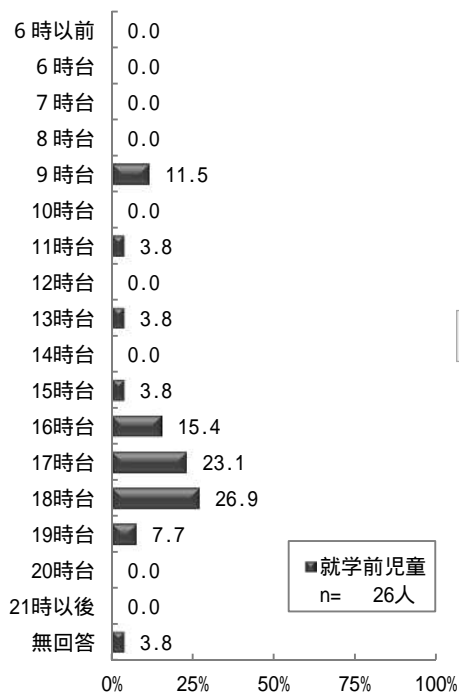
問 26-1. 利用開始時間



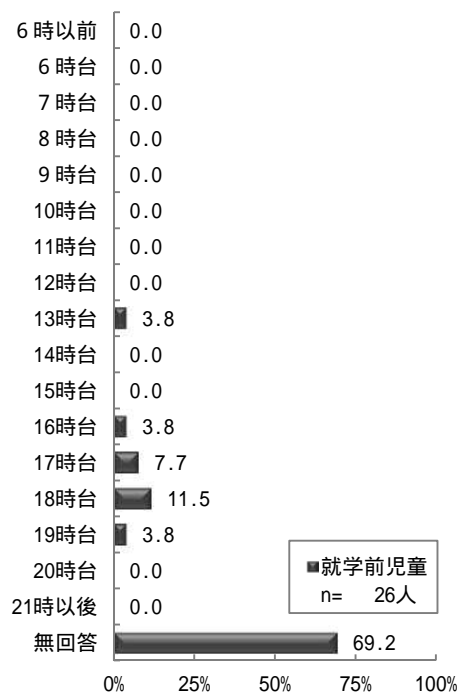
問 26-1. 希望開始時間



問 26-1. 利用終了時間



問 26-1. 希望終了時間

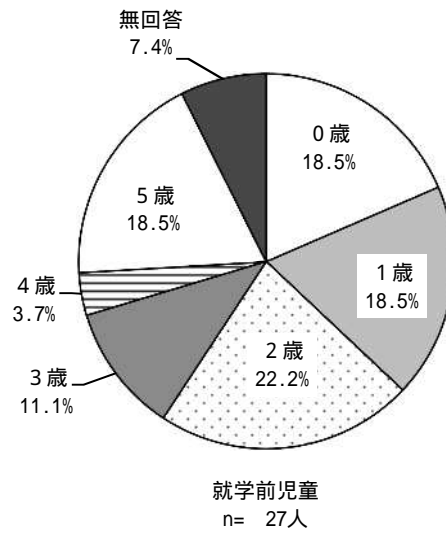




(8) その他の認可外保育施設

その他の認可外保育施設の年齢別利用者数は、0歳(5人)、1歳(5人)、2歳(6人)、3歳(3人)、4歳(1人)、5歳(5人)となっています。

問 26-1. その他の認可外保育施設の年齢別利用者数

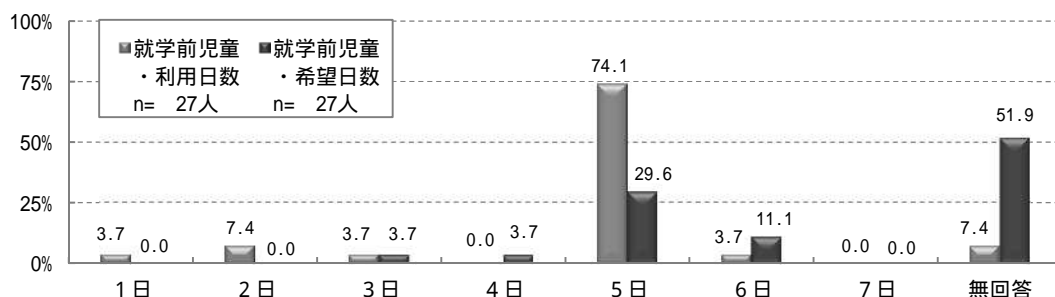


問 26-1 その他の認可外の保育施設の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

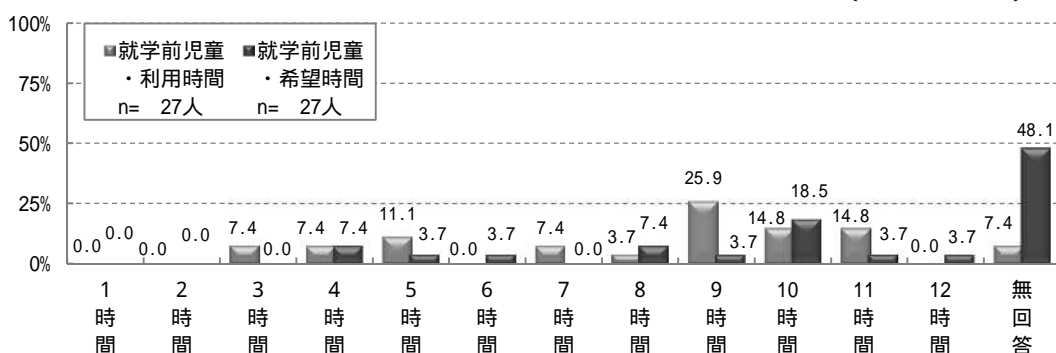
その他の認可外保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（74.1%）、希望でも「5日」（29.6%）が最も多くなっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「9時間」（25.9%）、「10時間」「11時間」（各14.8%）となっており、希望では「8時間」「10時間」がやや増加しています。

問 26-1. その他の認可外保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）



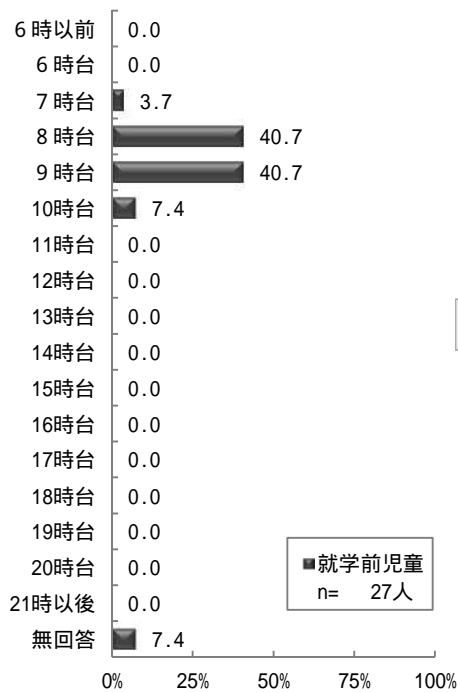
問 26-1. その他の認可外保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）



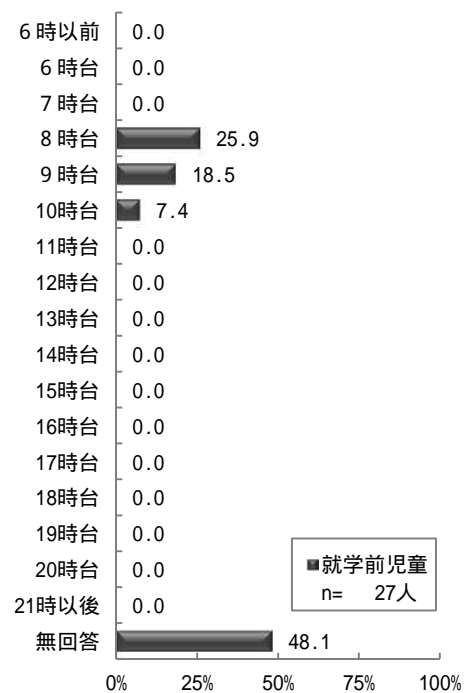
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」「9時台」(各40.7%)、終了時間は「18時台」(25.9%)が最も多くなっています。

利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「15時台」と「20時台」がやや増加しています。

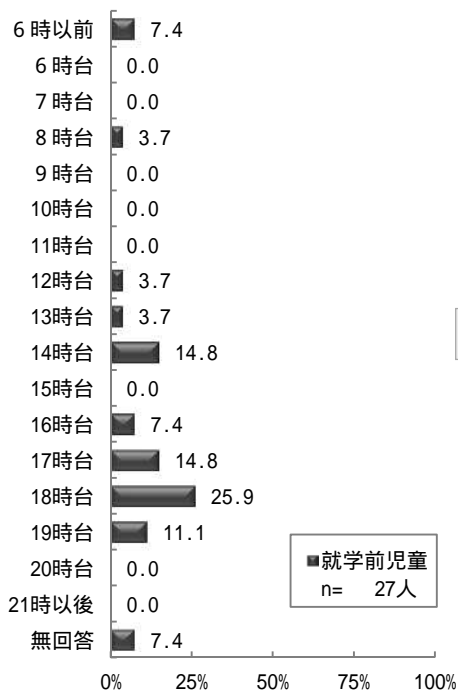
問 26-1. 利用開始時間



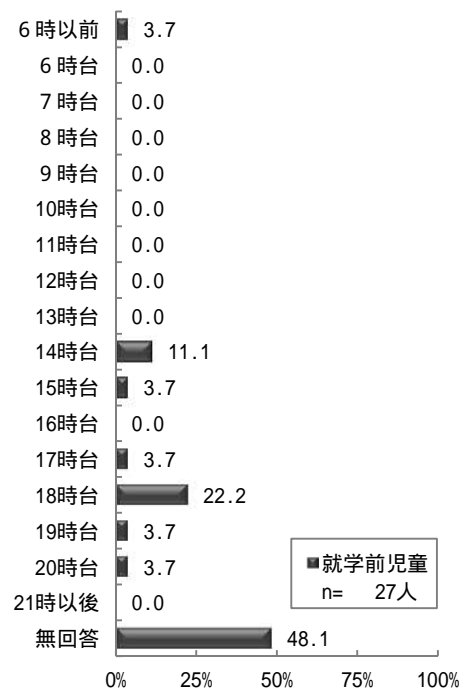
問 26-1. 希望開始時間



問 26-1. 利用終了時間



問 26-1. 希望終了時間

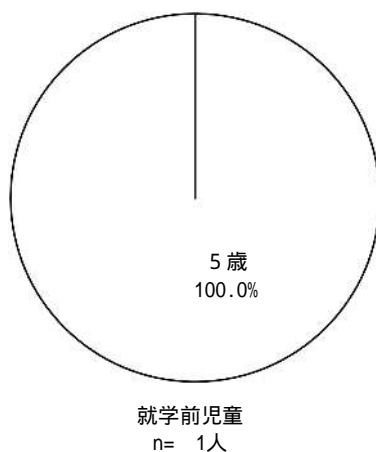




### ( 9 ) 家庭的保育

家庭的保育の年齢別利用者数は5歳が1人となっています。

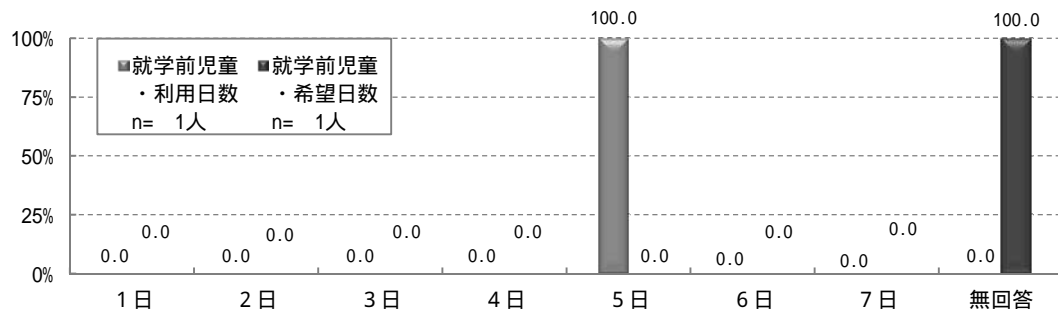
問 26-1. 家庭的保育の年齢別利用者数



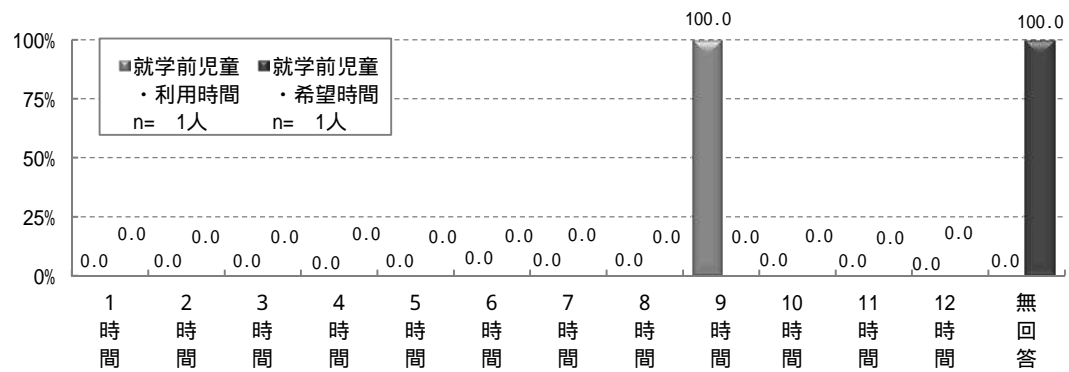
問 26-1 家庭的保育の保育施設の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」、希望は「無回答」となっています。

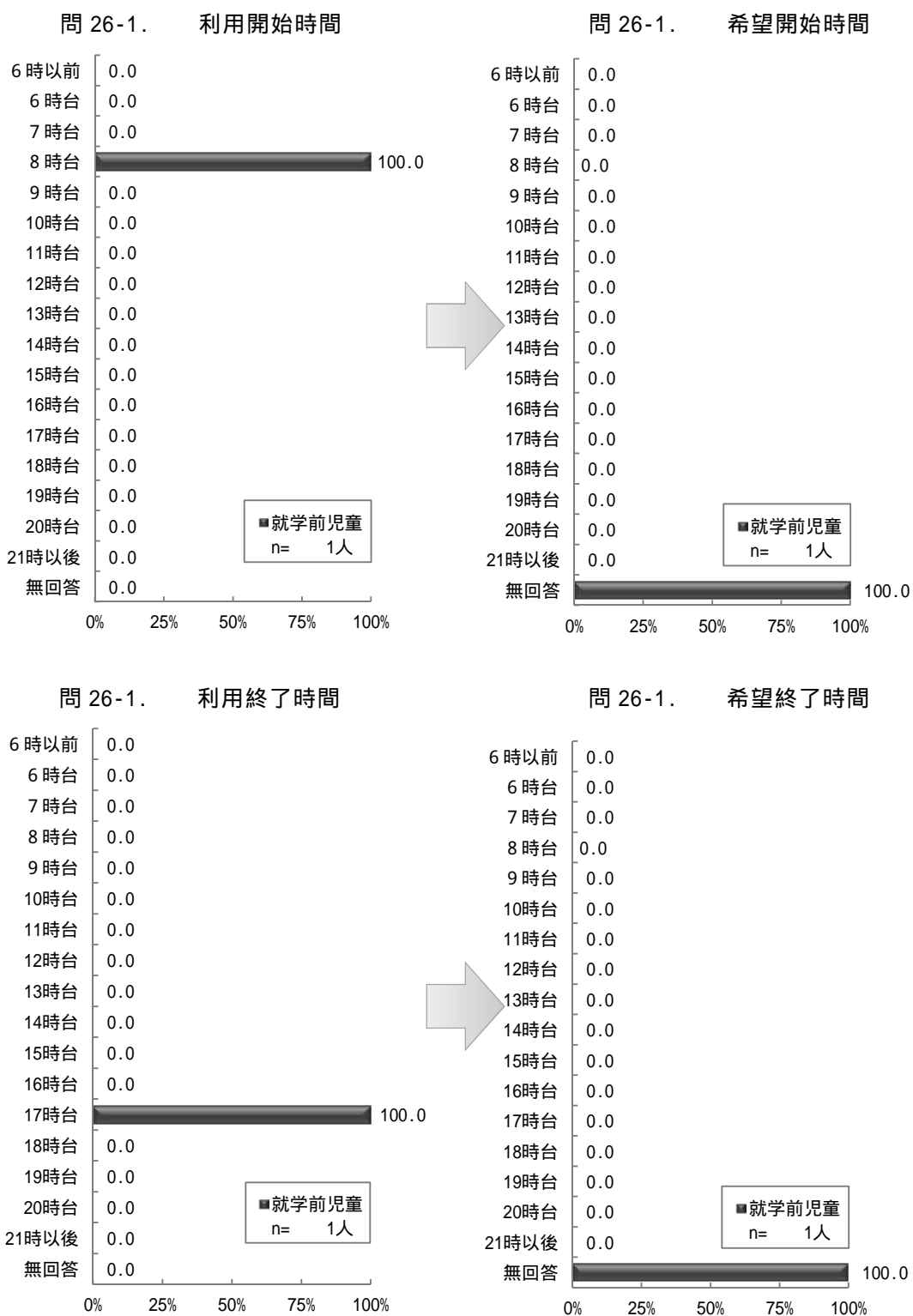
問 26-1. 家庭的保育の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 26-1. 家庭的保育の利用時間と希望時間（1日当たり）



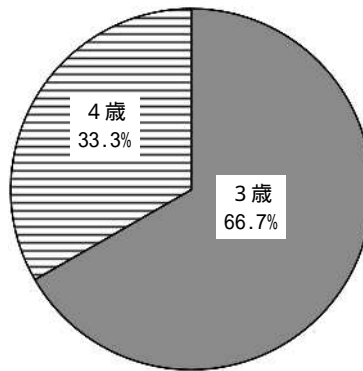
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」、終了時間は「17時台」となっています。



(10) 居宅訪問型保育（ベビーシッター含む）

居宅訪問型保育（ベビーシッターを含む）の年齢別利用者数は、3歳（2人）  
4歳（1人）となっています。

問 26-1. 居宅訪問型保育の年齢別利用者数



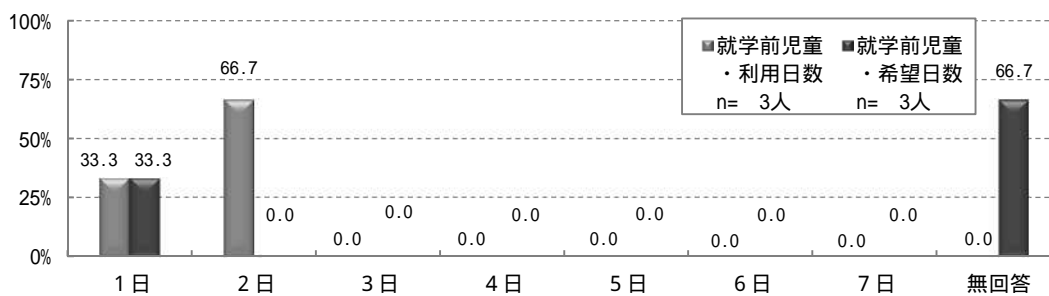
就学前児童  
n= 3人

問 26-1 居宅訪問型保育（ベビーシッター含む）の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

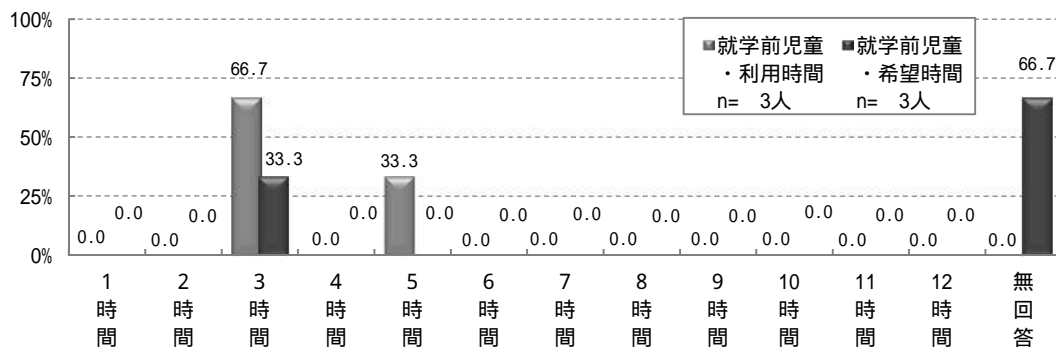
利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「2日」（66.7%）「1日」（33.3%）となっています。希望では「1日」（33.3%）となっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「3時間」（66.7%）「5時間」（33.3%）希望では「3時間」（33.3%）となっています。

問 26-1. 居宅訪問型保育の利用日数と希望日数（1週当たり）



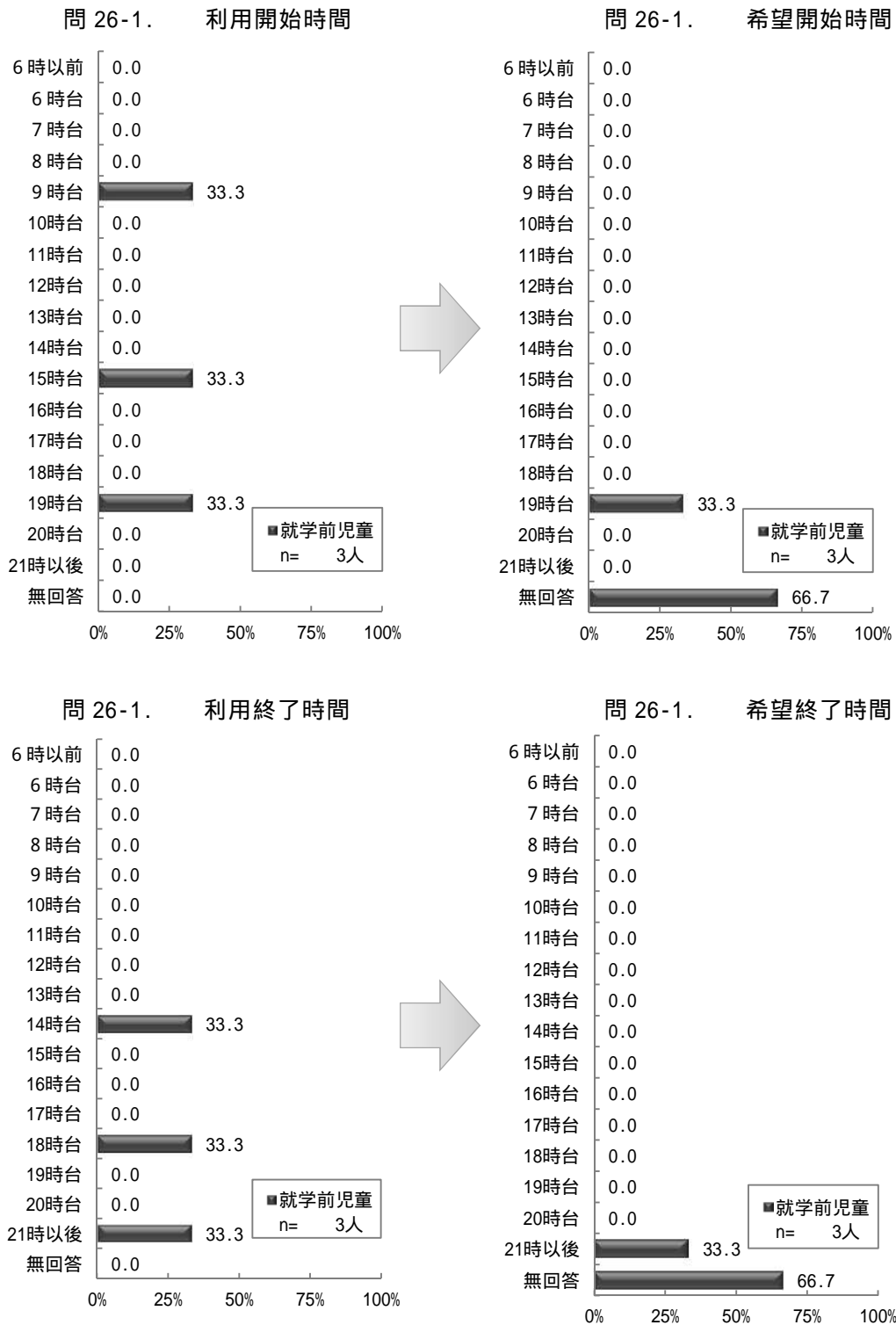
問 26-1. 居宅訪問型保育の利用時間と希望時間（1日当たり）





利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」「15時台」「19時台」、終了時間は「14時台」「18時台」「21時以降」と分かれています。

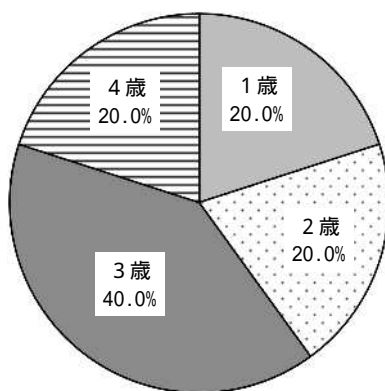
希望開始時間では「19時台」、希望終了時間では「21時以降」がそれぞれ33.3%となっています。



(11) ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの年齢別利用者数は、1歳(1人)、2歳(1人)、3歳(2人)、4歳(1人)となっています。

問 26-1. ファミリー・サポート・センターの年齢別利用者数



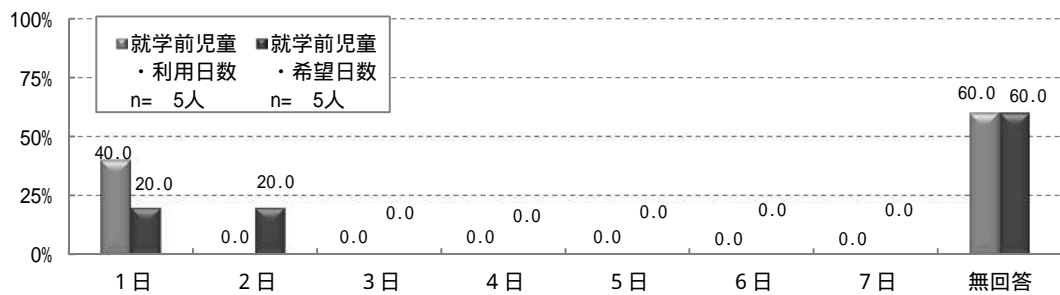
就学前児童  
n= 5人

問 26-1 ファミリー・サポート・センターの現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

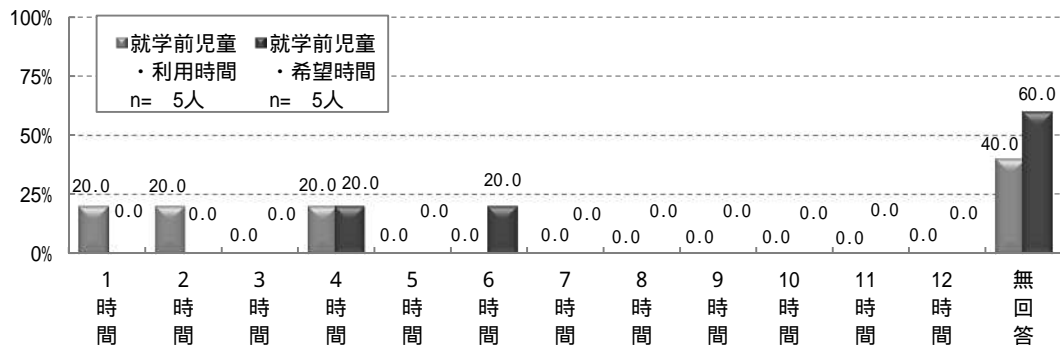
利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「1日」（40.0%）、希望では「1日」「2日」（各20.0%）となっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「1時間」「2時間」「4時間」（各20.0%）、希望では「4時間」「6時間」（各20.0%）となっています。

問 26-1. ファミリー・サポート・センターの利用日数と希望日数（1週当たり）

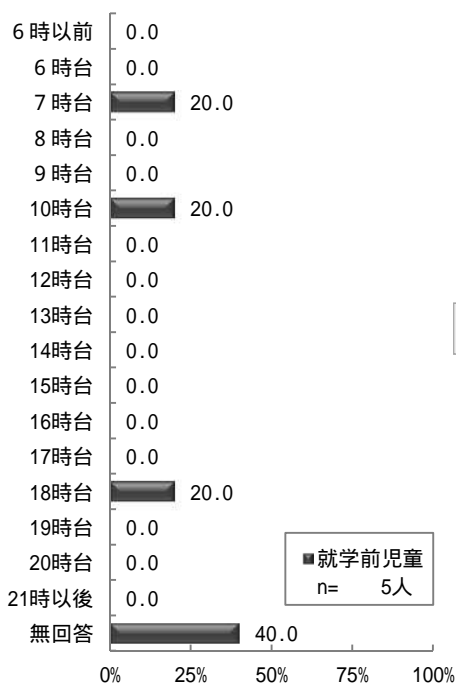


問 26-1. ファミリー・サポート・センターの利用時間と希望時間（1日当たり）

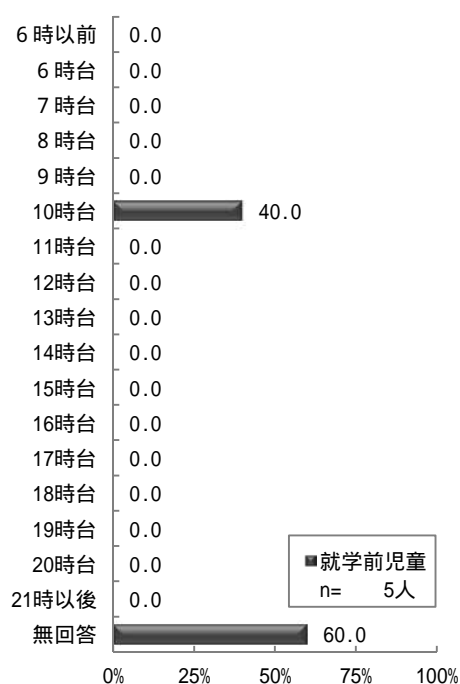


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「7時台」「10時台」「18時台」、終了時間は「8時台」「14時台」「20時台」と分かれています。  
 希望開始時間では「10時台」(40.0%)、希望終了時間が「14時台」「16時台」(各20.0%)となっています。

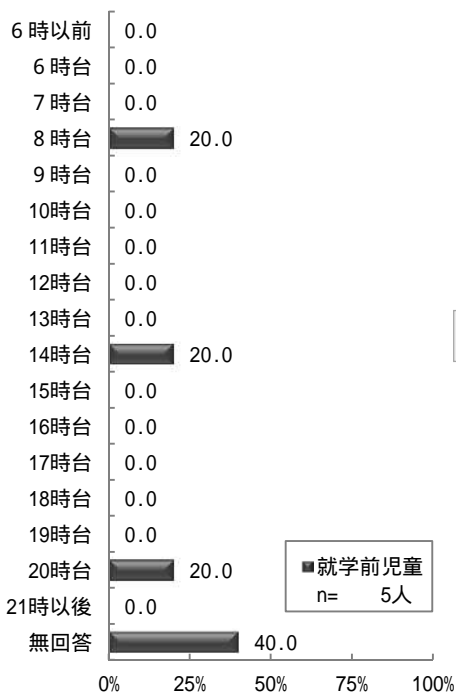
問 26-1. 利用開始時間



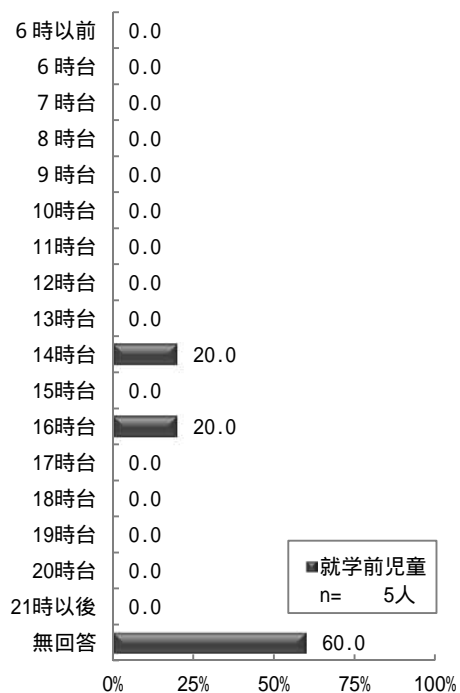
問 26-1. 希望開始時間



問 26-1. 利用終了時間



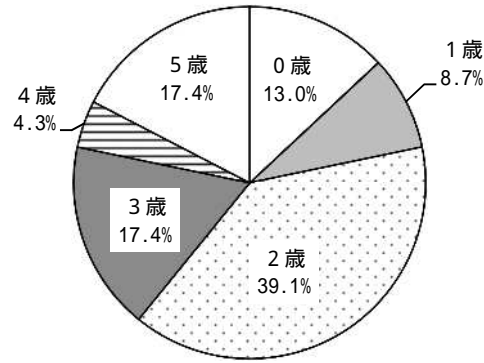
問 26-1. 希望終了時間



(12) その他の事業

その他の事業の年齢別利用者数は、0歳（3人）、1歳（2人）、2歳（9人）、3歳（4人）、4歳（1人）、5歳（4人）となっています。

問 26-1. その他の事業の年齢別利用者数



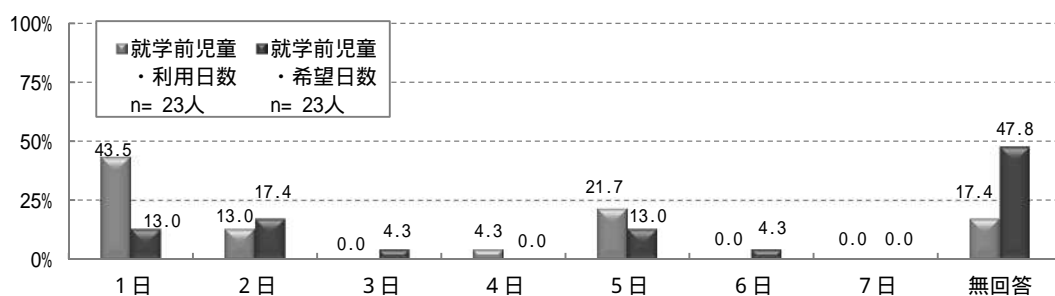
就学前児童  
n= 23人

問 26-1 その他の事業の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいかをお答えください。

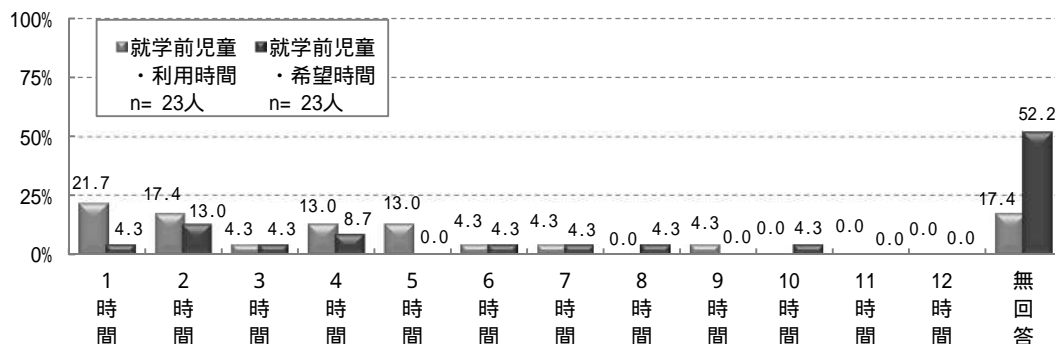
利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「1日」（43.5%）、「5日」（21.7%）の順、希望では「2日」（17.4%）、「5日」「1日」（各13.0%）となっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「1時間」（21.7%）、「2時間」（17.4%）、「4時間」「5時間」（各13.0%）となっています。希望では「2時間」（13.0%）、「4時間」（8.7%）となっています。

問 26-1. その他の事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

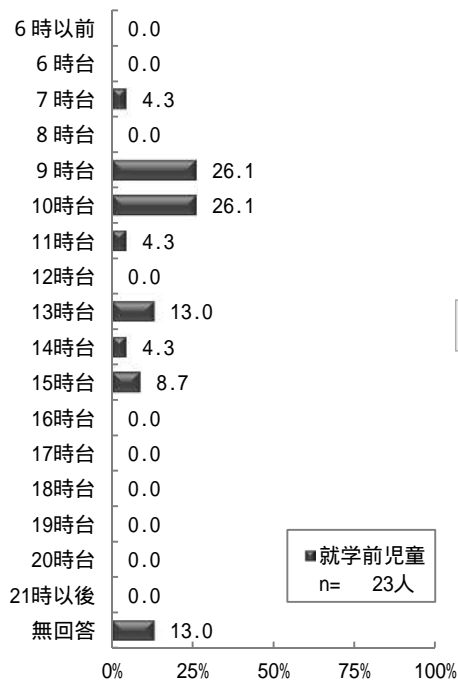


問 26-1. その他の事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」「10時台」(各26.1%)、「13時台」(13.0%)、終了時間は「12時台」「16時台」(21.7%)、「15時台」(13.0%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望開始時間において「8時台」、希望終了時間において「17時台」がやや増加しています。

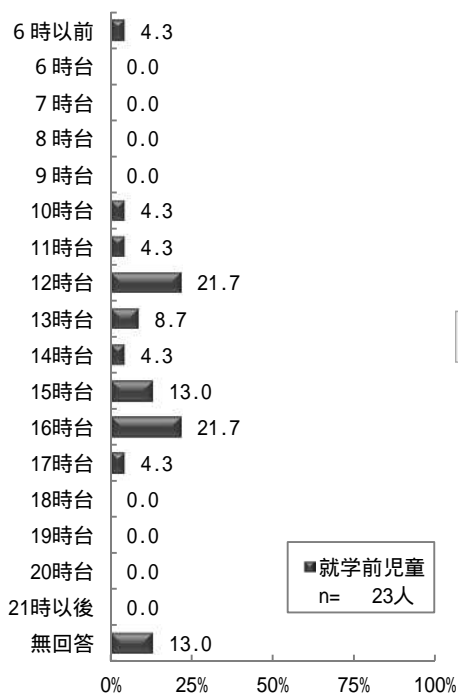
問 26-1. .3 利用開始時間



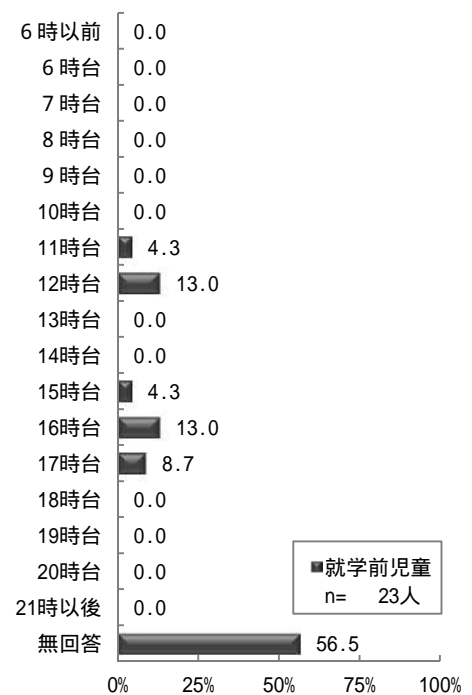
問 26-1. .5 希望開始時間



問 26-1. .4 利用終了時間



問 26-1. .6 希望終了時間



### (13) 定期的な教育・保育の利用理由と利用しない理由

問 26-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。

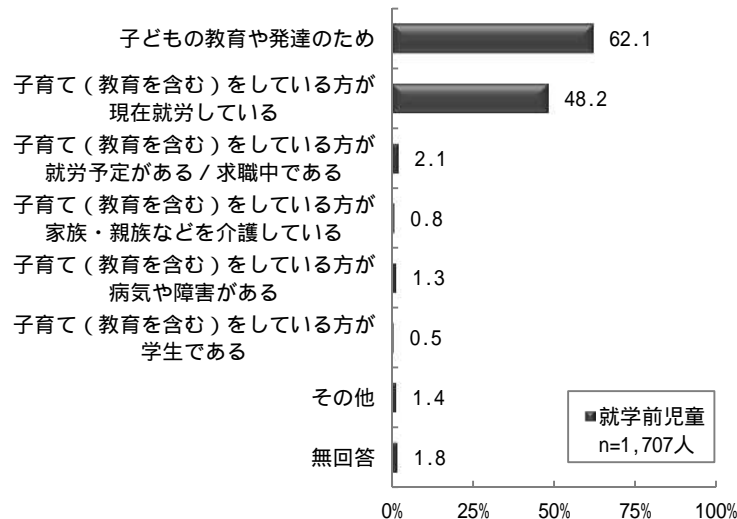
問 26-4 問 26 で「利用していない」と回答した方におたずねします。利用していない理由は何ですか。また、「子どもがまだ小さいため」とお答えの方は、利用を希望する年齢をお答えください。

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(62.1%)、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(48.2%)となっています。

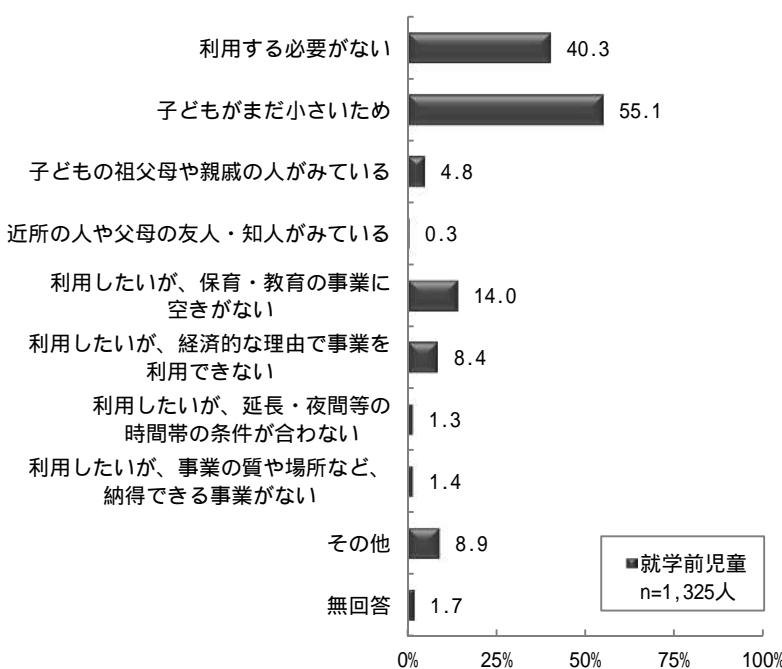
一方、利用しない理由は、「子どもがまだ小さいため」(55.1%)、「利用する必要がない」(40.3%)となっています。

利用を希望する子どもの年齢は、「0～3歳」(65.2%)、「4～5歳」(25.5%)となっています。

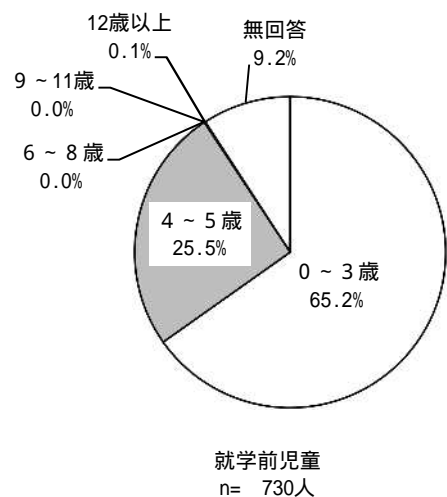
問 26-3 定期的な教育・保育事業を利用している理由



問 26-4 定期的な教育・保育事業を利用しない理由



問26-4.1 利用を希望する子どもの年齢





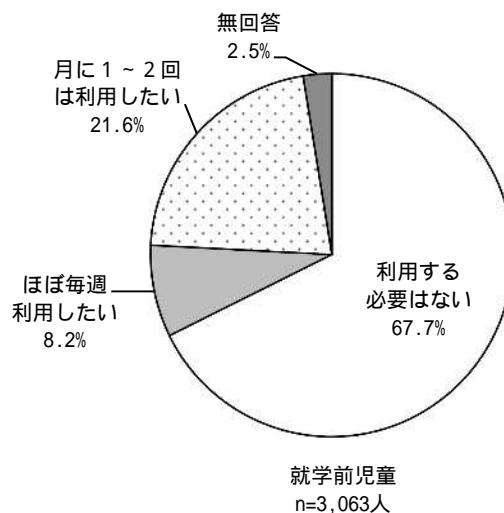
(14) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯をお答えください。【(1)土曜日、(2)日曜・祝日】

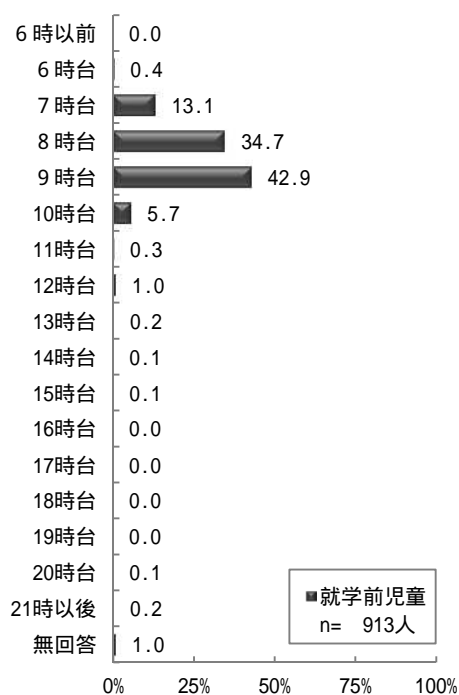
土曜日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」(21.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(8.2%)と、29.8%の人が希望しています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(42.9%)、「8時台」(34.7%)、「7時台」(13.1%)の順、終了時間は、「18時台」(28.7%)、「17時台」(25.4%)、「16時台」(12.3%)となっています。

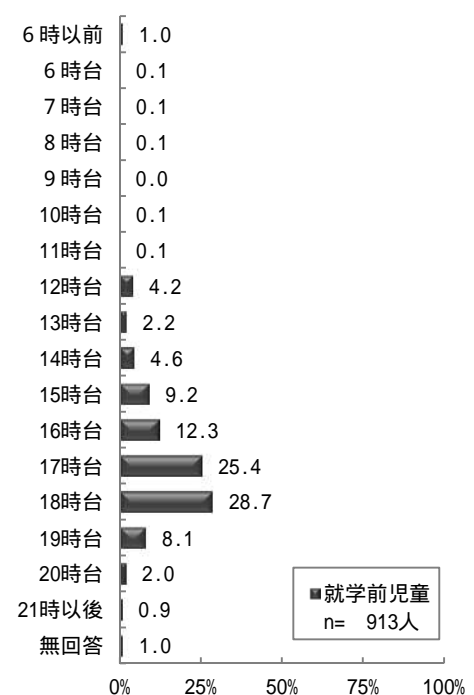
問 28(1) 土曜日の利用希望



問 28(1) 土曜日の利用希望開始時間



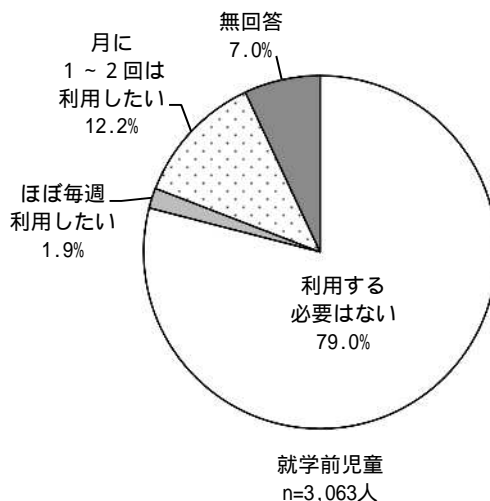
問 28(1) 土曜日の利用希望終了時間



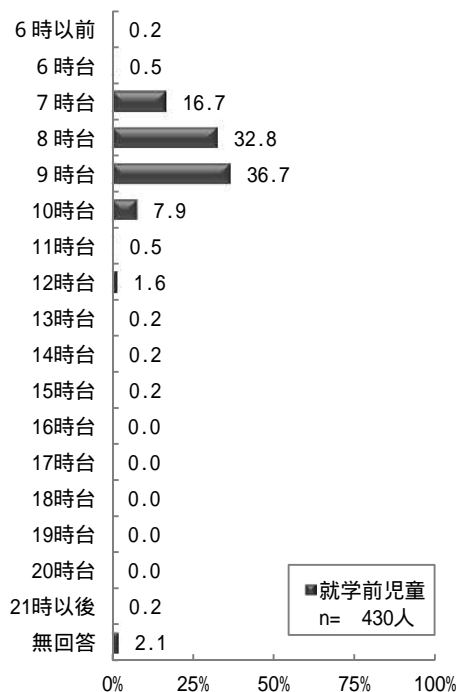
日曜日・祝日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」(12.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.9%)と、14.1%の人が希望しています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(36.7%)、「8時台」(32.8%)、「7時台」(16.7%)の順、終了時間は、「18時台」(31.4%)、「17時台」(22.6%)、「16時台」「19時台」(各11.6%)となっています。

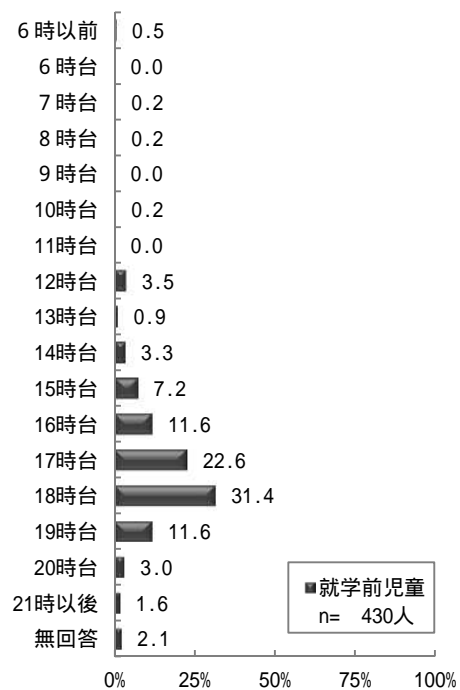
問 28(2) 日曜日・祝日の利用希望



問 28(2) 日曜・祝日の利用希望開始時間



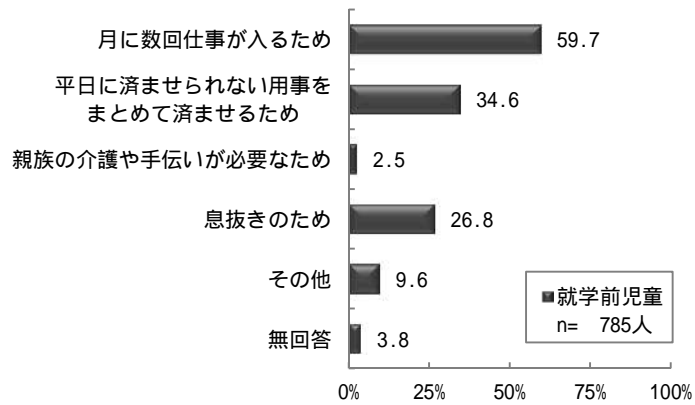
問 28(2) 日曜・祝日の利用希望終了時間



問 28-1 問 28 の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」と回答した方におたずねします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

土曜・日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」人の理由は、「月に数回仕事が入るため」(59.7%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(34.6%)、「息抜きのため」(26.8%)となっています。

問 28-1 土曜・日曜・祝日「月に1～2回は利用者したい」人の理由

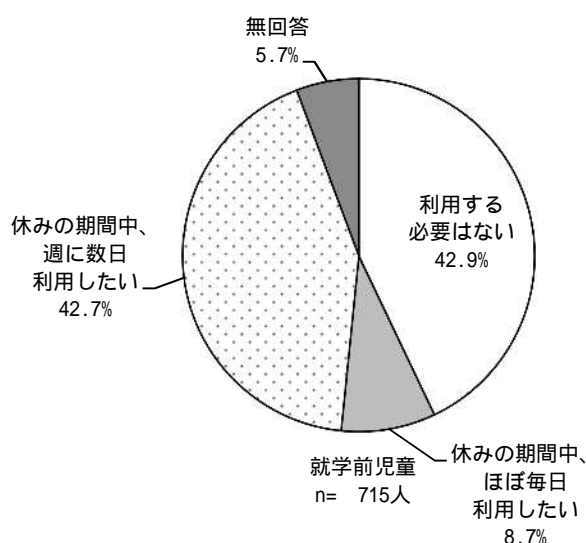


問 29 「幼稚園」を利用されている方におたずねします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。

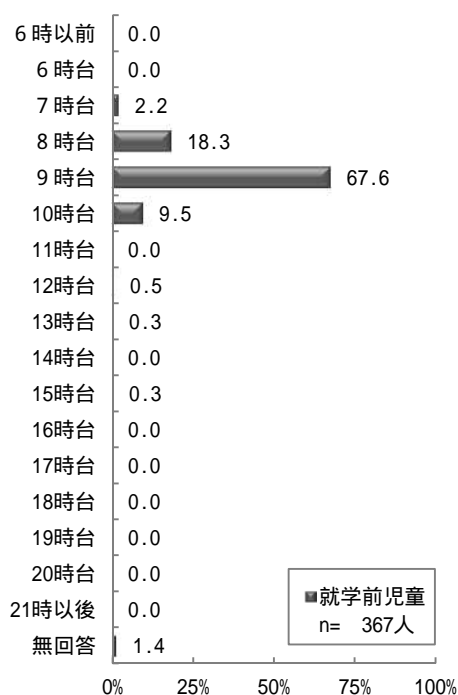
長期休暇中において教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（42.7%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（8.7%）と、51.4%の人が希望しています。

また、希望する開始時間は、「9時台」（67.6%）が最も多く、終了時間は「15時台」（28.6%）、「17時台」（20.4%）、「16時台」（18.3%）となっています。

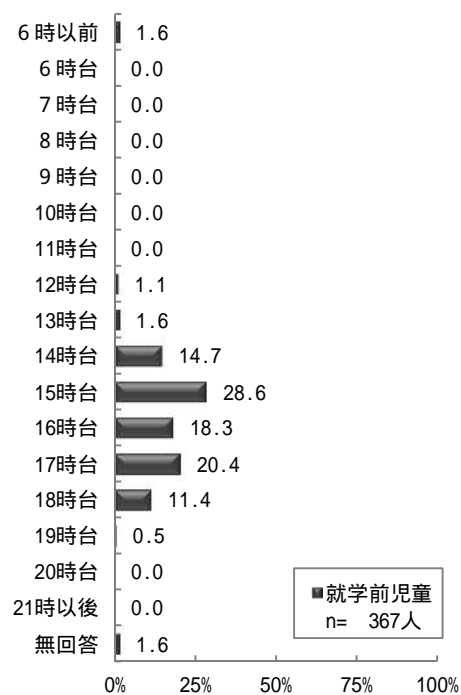
問 29 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）



問 29 長期休暇中の希望開始時間



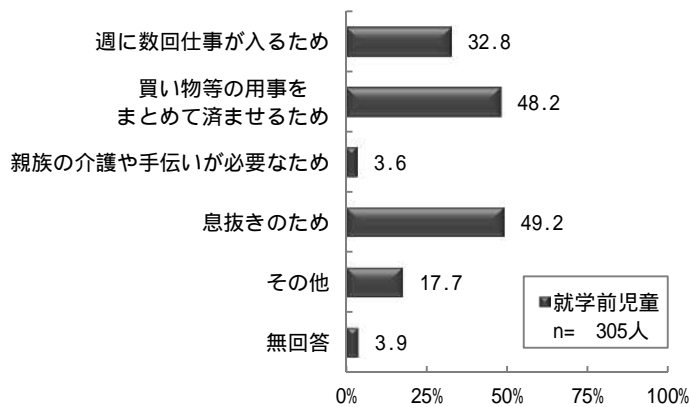
問 29 長期休暇中の希望終了時間



問 29 問 29 で「3.週に数日利用したい」と回答した方におたずねします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

長期休暇中において「週に数日利用したい」人の理由は、「息抜きのため」(49.2%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(48.2%)、「週に数回仕事が入るため」(32.8%)の順になっています。

問 29-1 長期休暇中「週に数日利用したい」人の理由

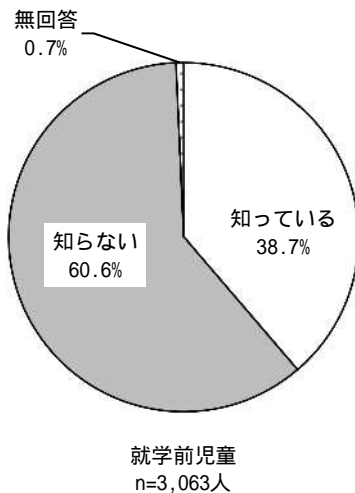


(15) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

問 33 市内にある病児・病後児を預かることができる施設を知っていますか。

市内にある病児・病後児を預かることができる施設の周知をみると、「知らない」(60.6%)、「知っている」(38.7%)となっています。

問 33 市内にある病児・病後児を預かることができる施設の周知



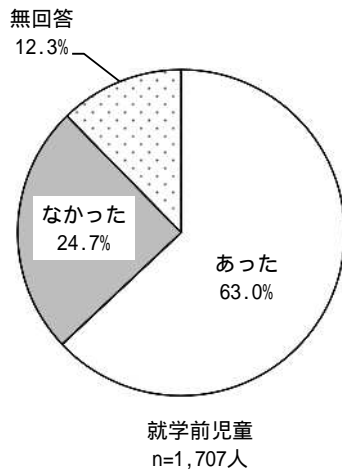
問 34 問 26 で「1. 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している」と回答した方におたずねします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

[問 36] この1年間で、宛名のお子さんが病気やけがで、学校を休んだことはありますか。

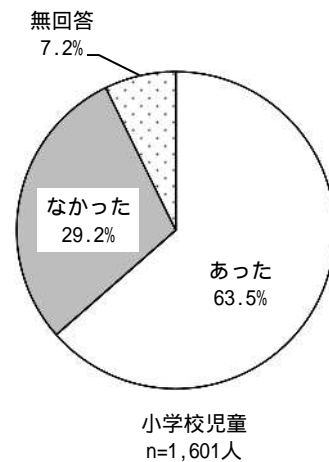
就学前児童の保護者の63.0%の人は、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった体験をしています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(55.0%)、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」(32.6%)、「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」(29.2%)となっています。

小学校児童が病気やケガで、学校を休んだことがあるかどうかをみると、「あった」(63.5%)、「なかった」(29.2%)となっています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(35.0%)、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」(29.8%)、「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」(13.2%)となっています。

問 34 病気やケガで、通常の教育・保育事業が利用できなかったことの有無

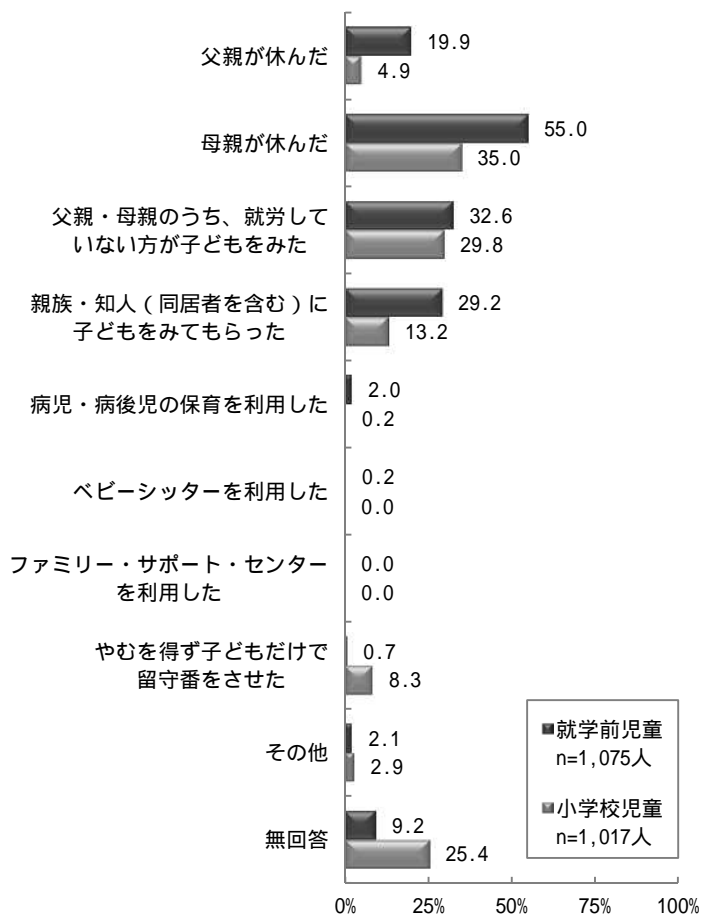


[問 36] 病気やケガで、学校を休んだことの有無



問 34-1 [問 36-1] 宛名のお子さんが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった（学校を休んだ）場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。それぞれの日数もお答えください。

問 34-1[問 36-1] この1年間の対処方法



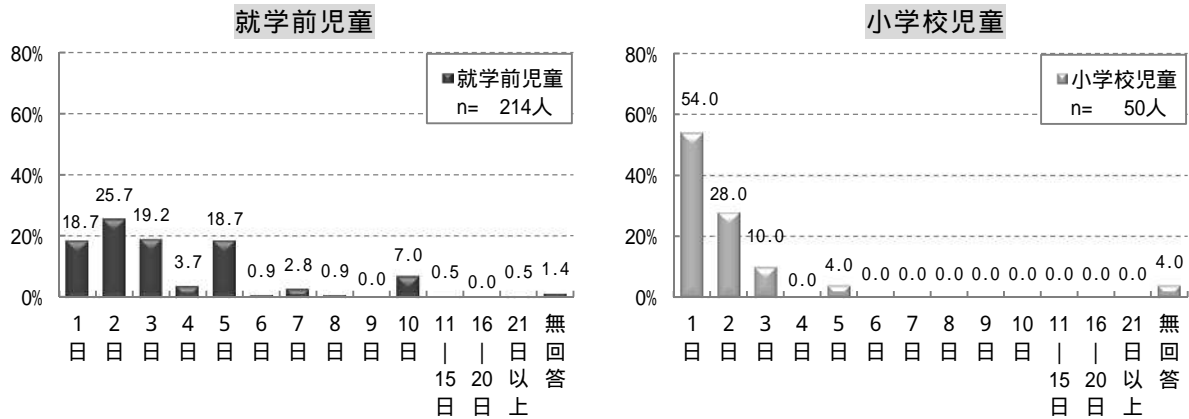


父親が休んだ日数は、就学前児童では「2日」(25.7%)、「3日」(19.2%)、小学校児童では「1日」(54.0%)、「2日」(28.0%)となっています。

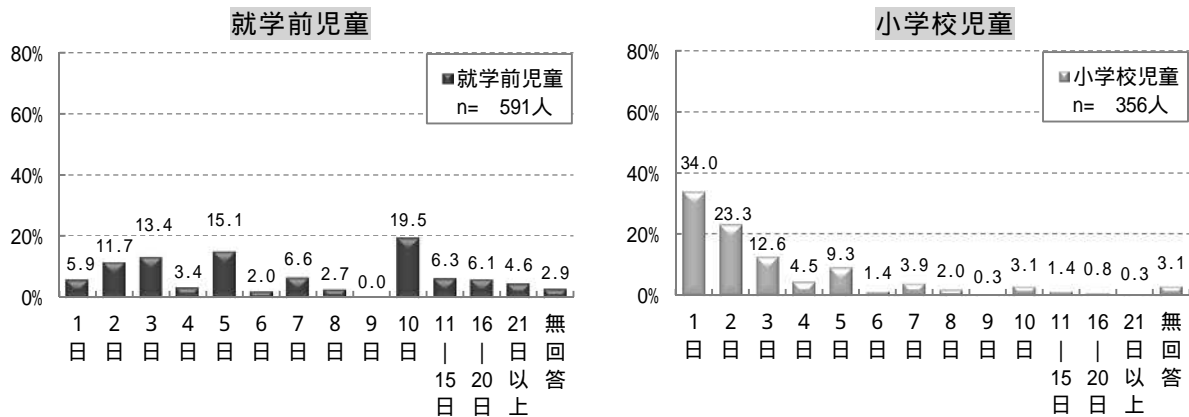
母親が休んだ日数は、就学前児童では「10日」(19.5%)、「5日」(15.1%)、小学校児童では「1日」(34.0%)、「2日」(23.3%)となっています。

「就労していない保護者がみた日数は、就学前児童では「10日」(18.6%)、「5日」(12.3%)、「2日」(10.0%)、小学校児童では「1日」(21.1%)、「2日」(19.8%)、「3日」(16.8%)となっています。

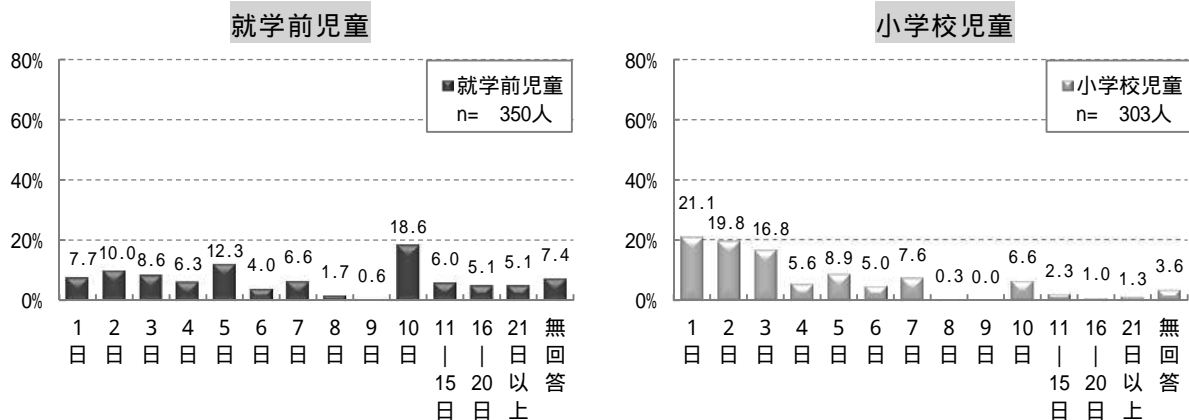
問 34-1[問 36-1] 父親が休んだ日数



問 34-1[問 36-1] 母親が休んだ日数



問 34-1[問 36-1] 就労していない保護者がみた日数



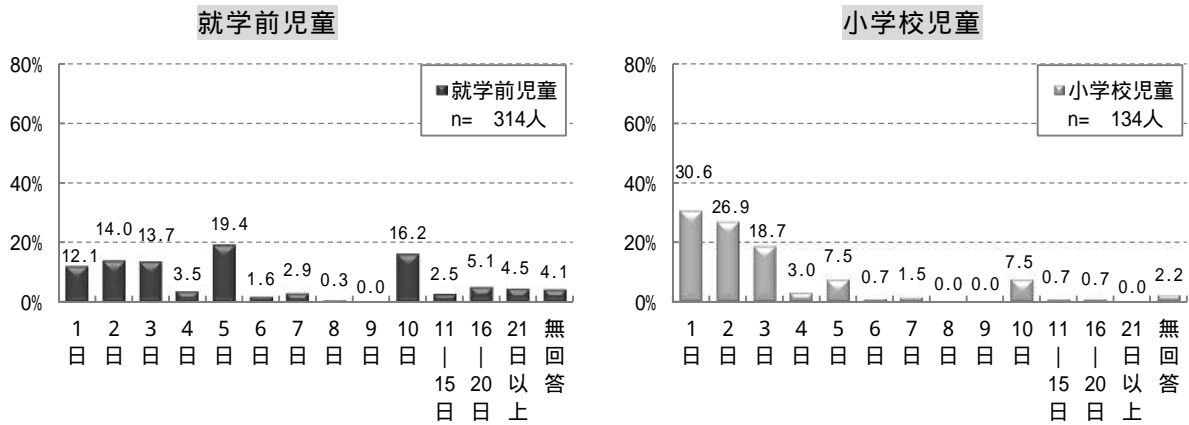
親族・知人(同居者を含む)に預けた日数は、就学前児童では「5日」(19.4%)、「10日」(16.2%)、「2日」(14.0%)、小学校児童では「1日」(30.6%)、「2日」(26.9%)、「3日」(18.7%)となっています。

病児・病後児保育を利用した日数は、就学前児童では「1日」(31.8%)、「2日」(22.7%)、「3日」「10日」(各13.6%)となっており、小学校児童は1人の人が「1日」と回答しています。

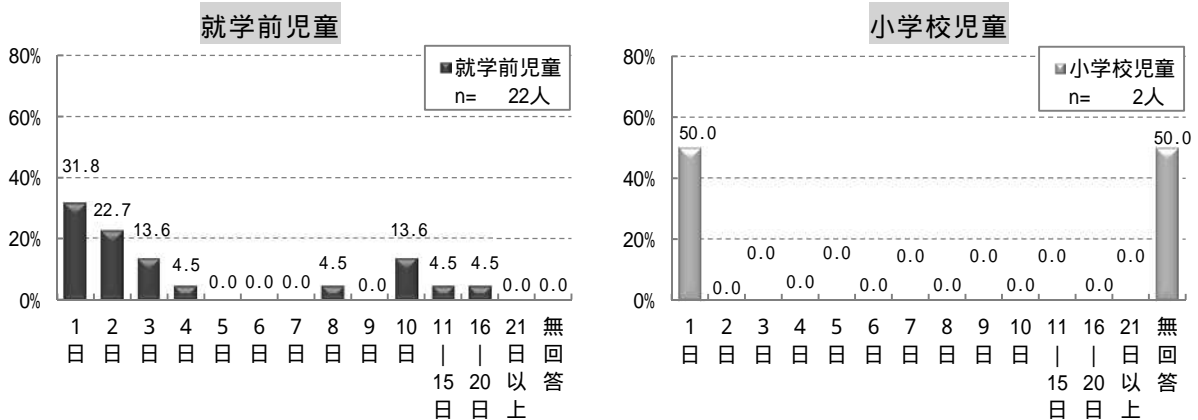
ベビーシッターを利用した日数は、就学前児童で1人の人が「3日」と回答しています。

また、子どもだけで留守番させた日数では、就学前児童で「3日」(42.9%)、「1日」(28.6%)、小学校児童では「1日」(39.3%)、「2日」(35.7%)となっています。

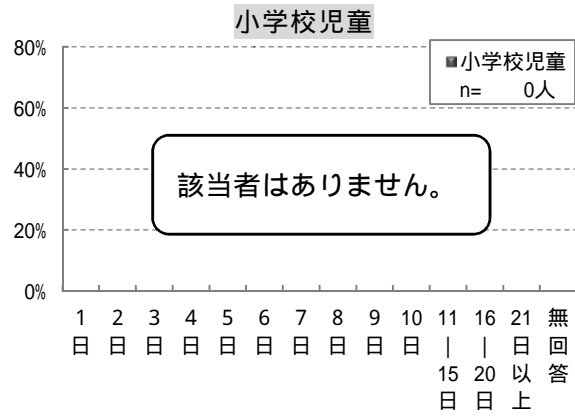
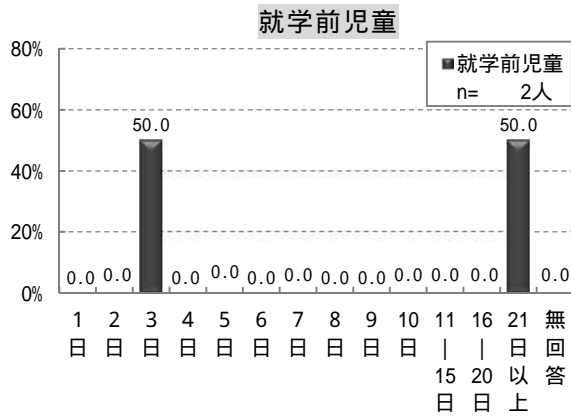
問 34-1[問 36-1] 親族・知人(同居者を含む)に預けた日数



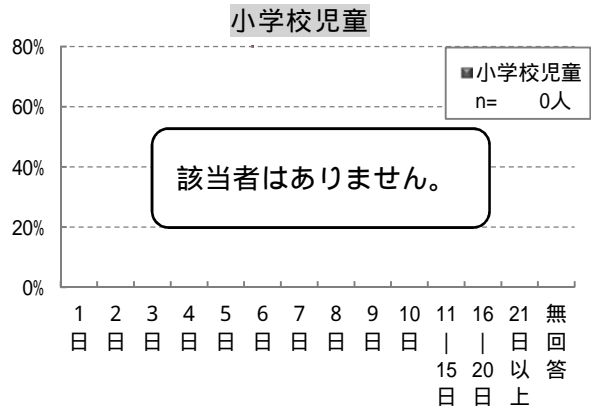
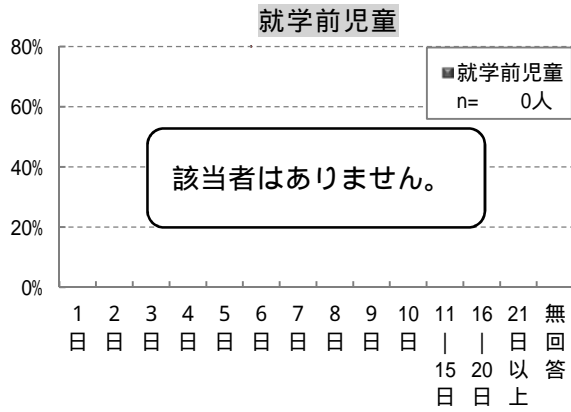
問 34-1[問 36-1] 病児・病後児保育を利用した日数



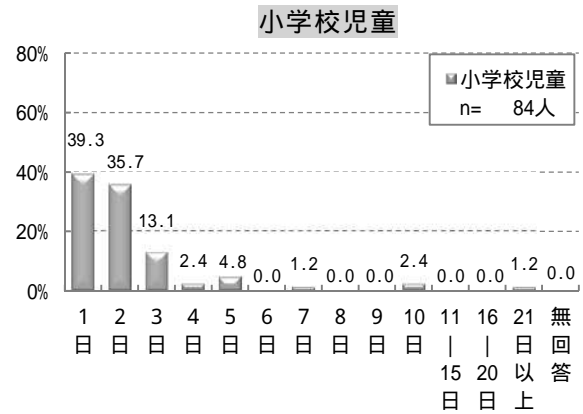
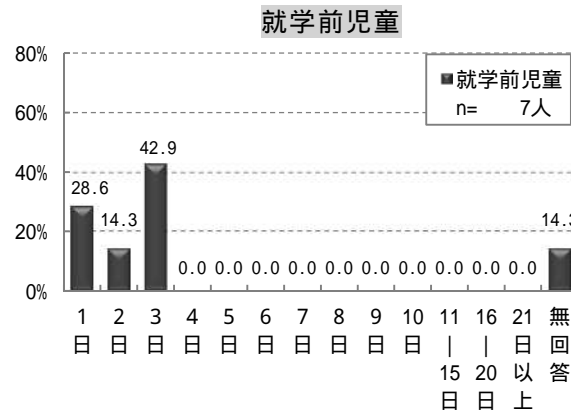
問 34-1[問 36-1] ベビ-シッター-を利用した日数



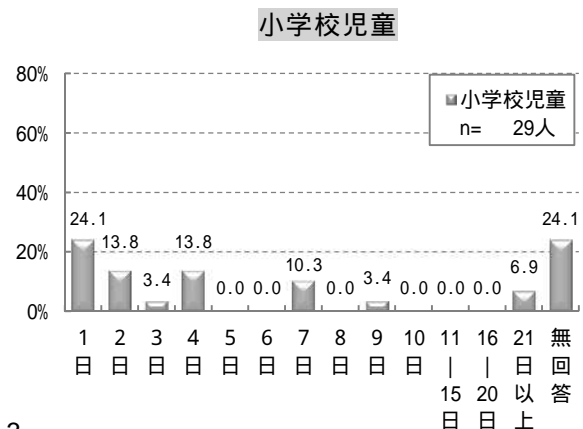
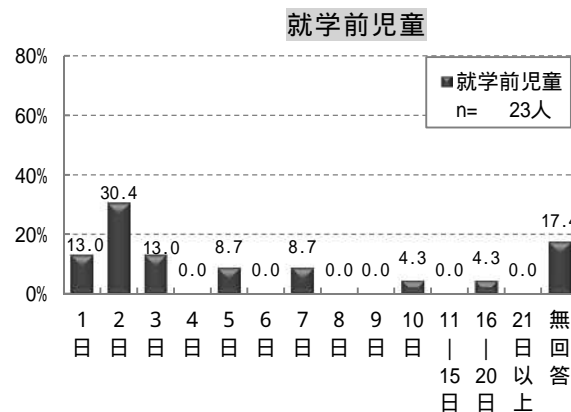
問 34-1[問 36-1] ファミリー・サポート・センター-を利用した日数



問 34-1[問 36-1] 子どもだけで留守番させた日数



問 34-1[問 36-1] その他



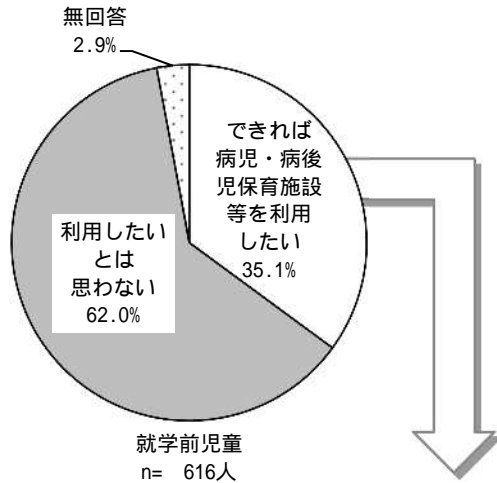
問 34-2 問 34-1 で「ア.父親が休んだ」「イ.母親が休んだ」を回答した方におたずねします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

問 34-3 問 34-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方におたずねします。どのような事業形態が望ましいと思われませんか。

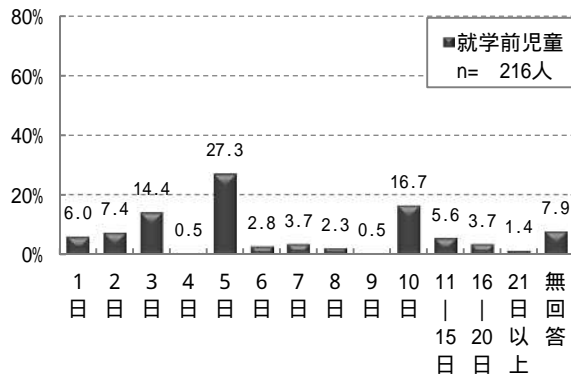
父親・母親が休んだ人の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、35.1%の人が希望し、その利用日数は「5日」(27.3%)、「10日」(16.7%)となっています。

また、子どもを預ける場合の望ましいと思う事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(85.6%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(56.5%)の順になっています。

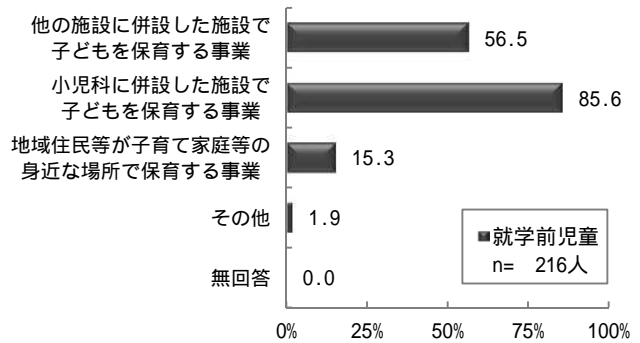
問 34-2 父親・母親が休んだ人の病児・病後児保育施設利用意向



問 34-2 子どもを預ける場合の望ましい希望日数 (年間)



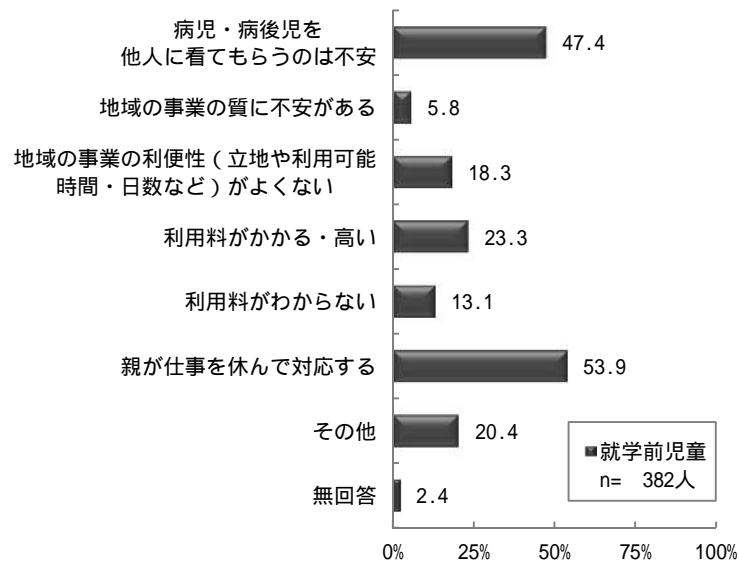
問 34-3 望ましいと思う事業形態



問 34-4 問 34-2 で「2.利用したいと思わない」と回答した方におたずねします。そう思われる理由は何ですか。

一方、利用意向のない人の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(53.9%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(47.4%)となっています。

問 34-4 病児・病後児のための保育施設利用意向のない人の理由



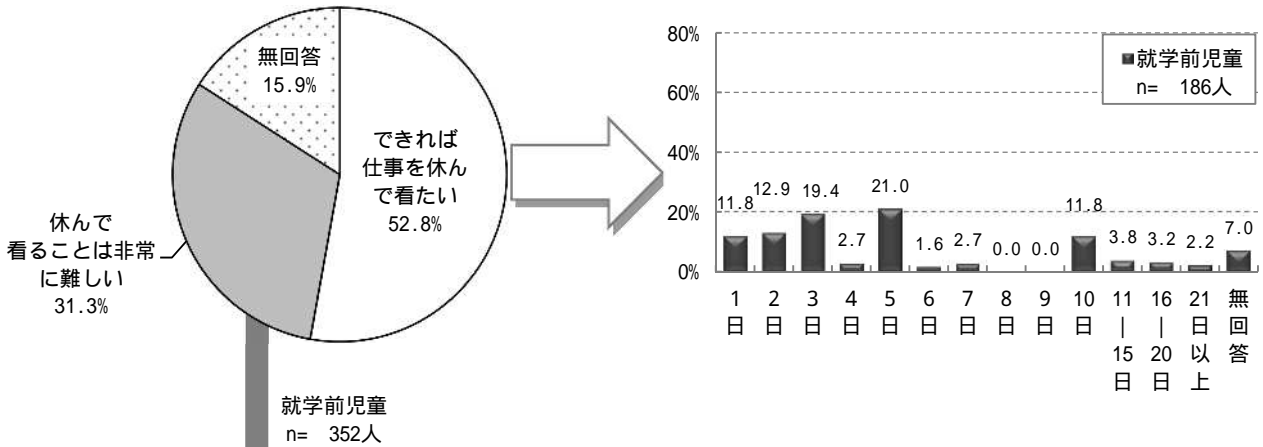
問 34-5 問 34-1 で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」以外の方におたずねします。「できれば父母いずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。また、仕事を休んで看たかった日数もお答えください。

問 34-6 問 34-5 で「2.休んで看ることが難しい」と回答した方におたずねします。そう思われる理由は何ですか。

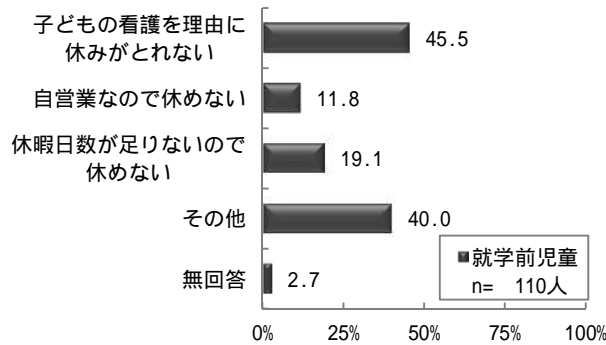
父母が休む以外の対処方法を選んだ人に対して「父母が休んで看たい」という意向をみると、52.8%の人が「できれば仕事を休んで看たい」と回答しています。

一方、「仕事を休んで看ることは非常に難しい」人の理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(45.5%)が最も多くなっています。

問 34-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ人の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



問 34-6 「仕事を休んで看ることは非常に難しい」の理由



## 7 地域子育て支援事業の現状と今後の利用希望

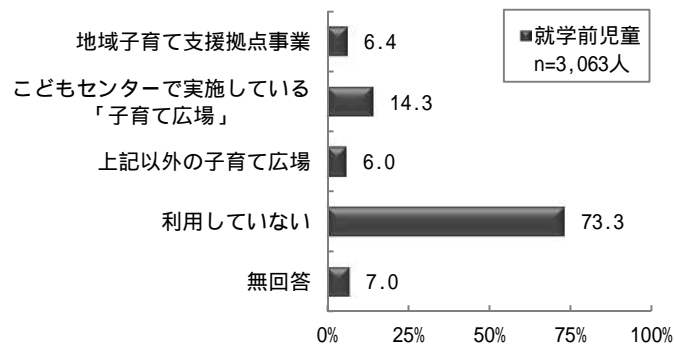
### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

問 35 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。利用している場合、おおよその利用回数をお答えください。

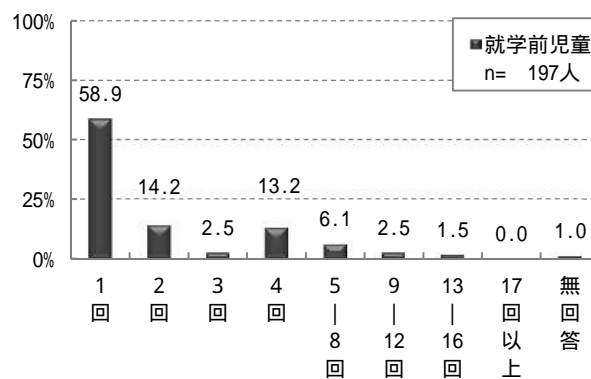
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「こどもセンターで実施している『子育て広場』」の利用者が14.3%、「地域子育て支援拠点事業」(6.4%)となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数(1か月当たり)は、「1回」(58.9%)、こどもセンターで実施している「子育て広場」の利用回数は「1回」(64.6%)、上記以外の子育て広場の利用回数(1か月当たり)は、「1回」(55.4%)が最も多くなっています。

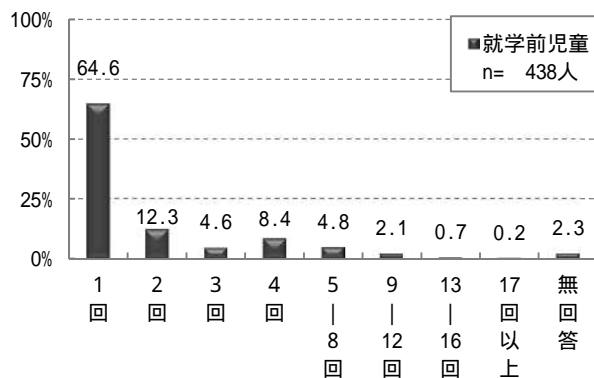
問 35 地域子育て支援拠点事業の利用状況



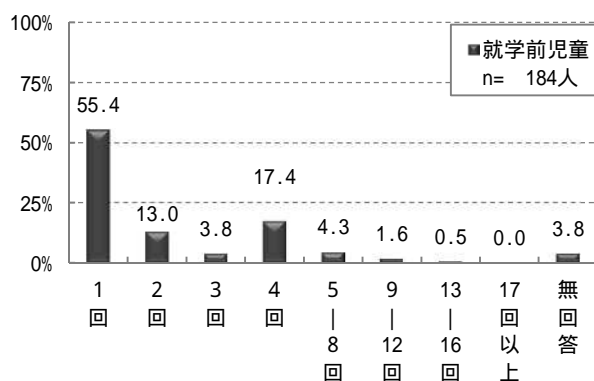
問 35 地域子育て支援拠点事業の利用回数(1か月当たり)



問 35 こどもセンターで実施している「子育て広場」の利用回数（1か月当たり）



問 35 上記以外の子育て広場の利用回数（1か月当たり）



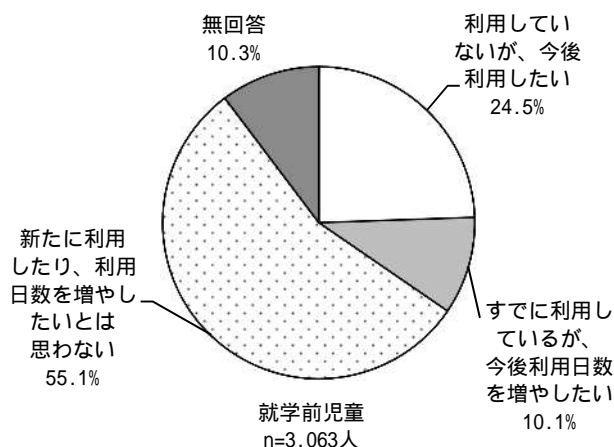


問 35-1 問 35 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）もお答えください。

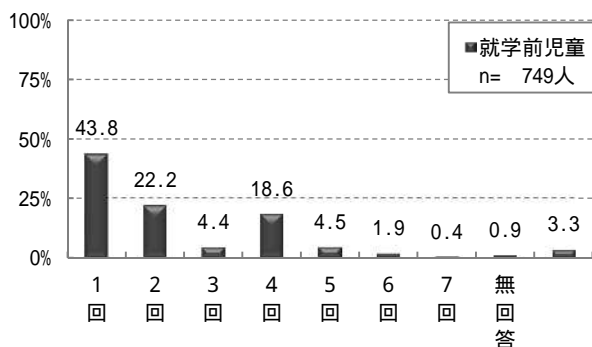
地域子育て支援事業の今後の希望利用状況は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」（55.1%）が半数以上を占めており、「利用していないが今後利用したい」（24.5%）、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」（10.1%）となっています。

利用していない人の希望利用回数（1週当たり）は、就学前児童で「1回」（43.8%）が最も多くなっています。また、既利用者の今後増やしたい利用回数（1週当たり）は、就学前児童で「1回」（29.0%）、「4回」（23.9%）となっています。

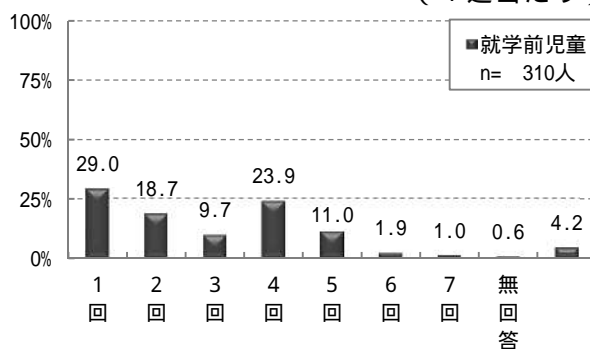
問 35-1 地域子育て支援事業の今後の希望利用状況



問 35-1.1 利用していない人の希望利用回数（1週当たり）



問 35-1.2 既利用者の増やしたい利用回数（1週当たり）



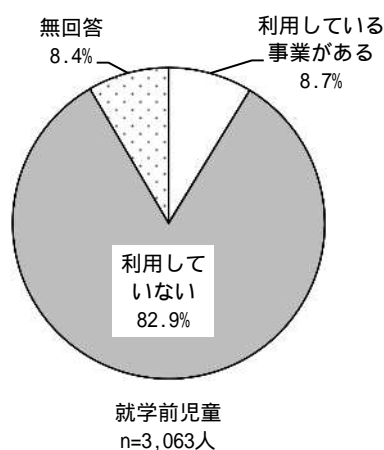
## (2) 不定期の一時保育の利用について

問 30 宛名のお子さんについて、日中定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期な就労等の目的に利用している事業はありますか。

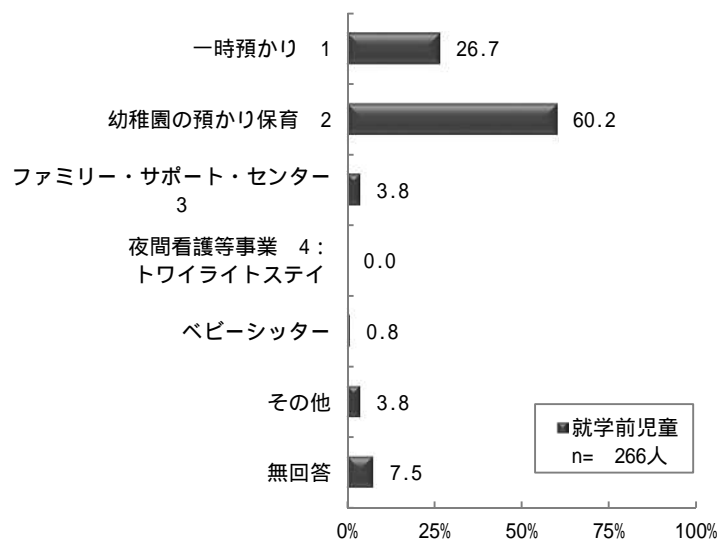
一時預かり等の利用の有無をみると、「利用していない」(82.9%)、「利用している事業がある」(8.7%)となっています。

一時預かり等の利用状況をみると、「幼稚園の預かり保育」(60.2%)、「一時預かり」(26.7%)となっています。

問 30 一時預かり等の利用の有無



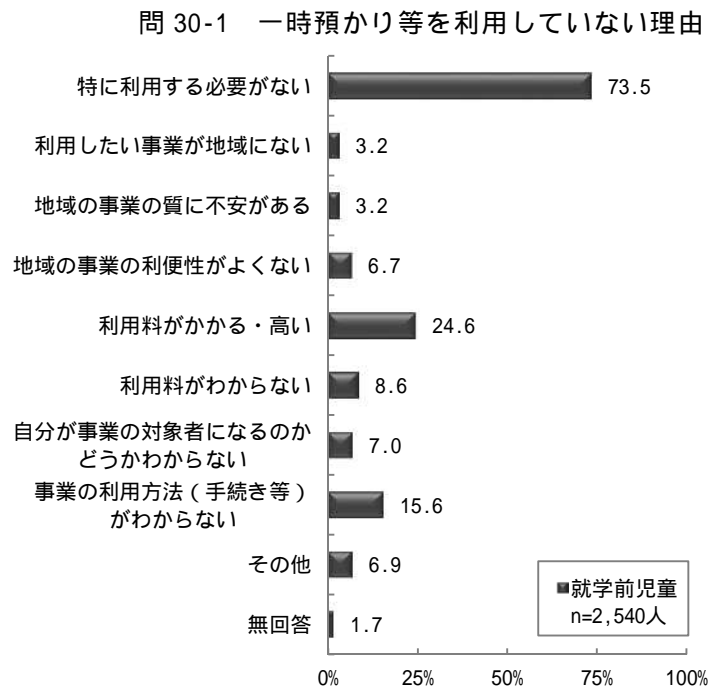
問 30.1 一時預かり等の利用状況



- 1 一時預かり：私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- 2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
- 3 ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業
- 4 夜間看護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

問 30-1 問 30 で「2.利用していない」と回答した方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(73.5%)、「利用料がかかる・高い」(24.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(15.6%)となっています。



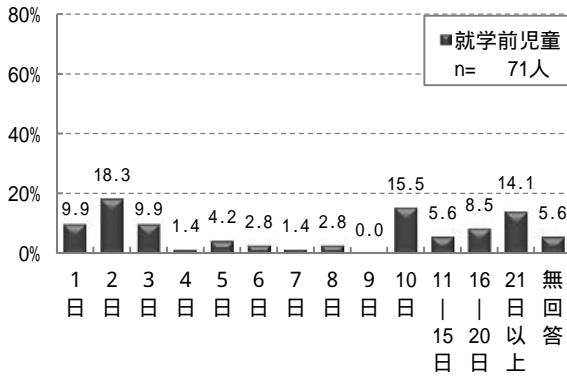
問 30 日中定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期な就労等の目的に利用している事業がある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

事業別に年間利用日数をみると、一時預かりでは、「2日」(18.3%)、「10日」(15.5%)、「21日以上」(14.1%)となっています。

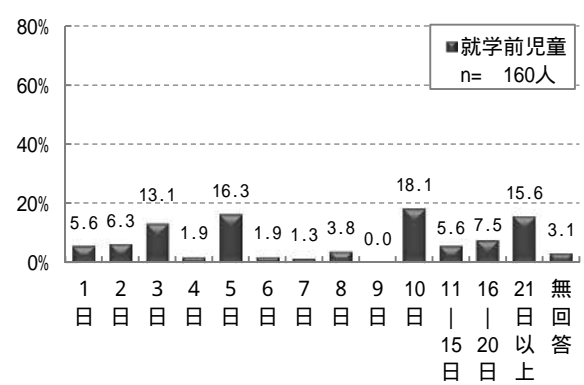
幼稚園の預かり保育は、「10日」(18.1%)、「5日」(16.3%)、「21日以上」(15.6%)となっています。

ファミリー・サポート・センターは、「2日」(40.0%)が最も多くなっています。

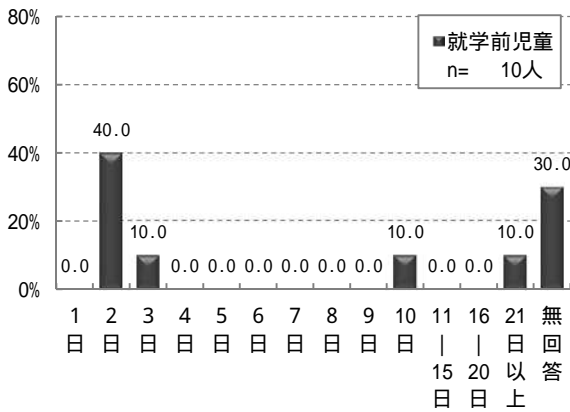
問 30.1.ア 一時預かり（年間）



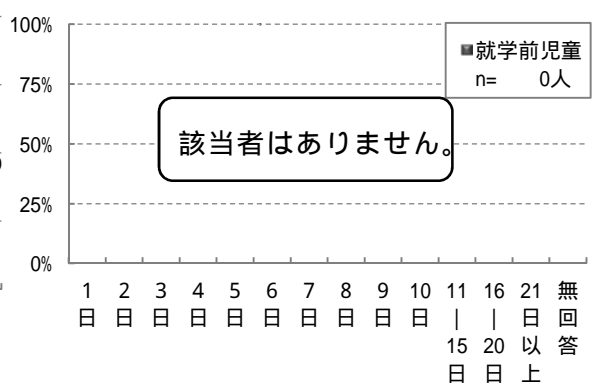
問 30.1.イ 幼稚園の預かり保育（年間）



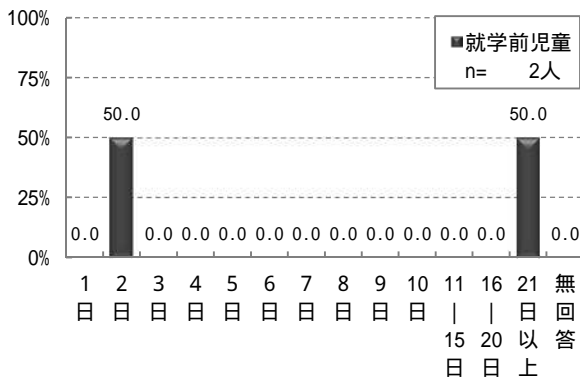
問 30.1.ウ ファミリー・サポート・センター（年間）



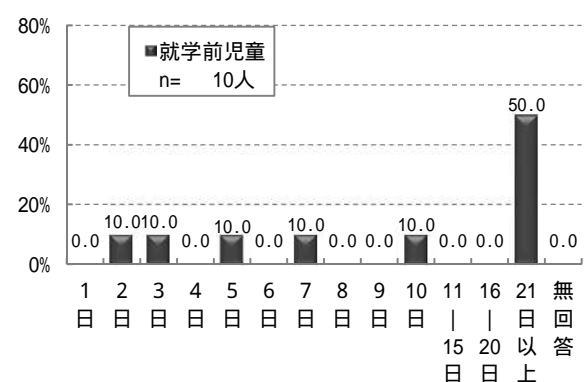
問 30.1.エ 夜間養護等事業（年間）



問 30.1.オ ベビーシッター（年間）



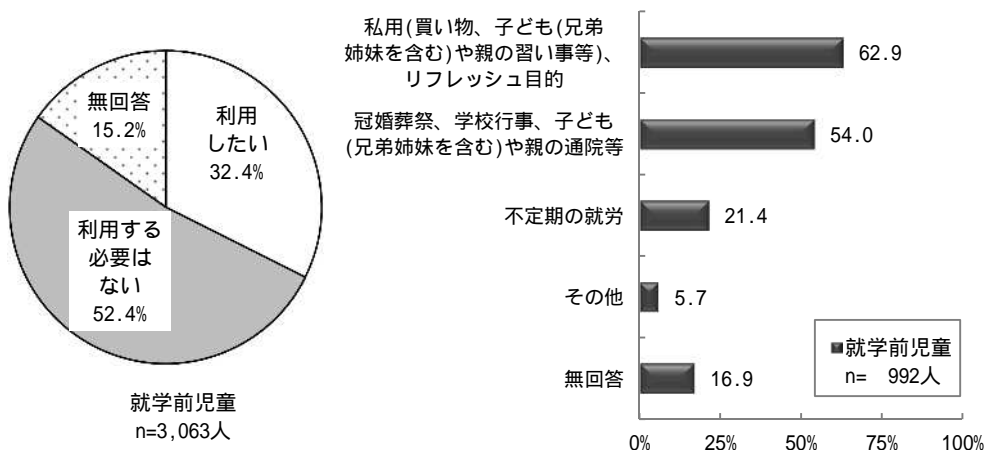
問 30.1.カ その他（年間）



問31 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無、利用したい日数の合計、目的別の内訳の日数をお答えください。

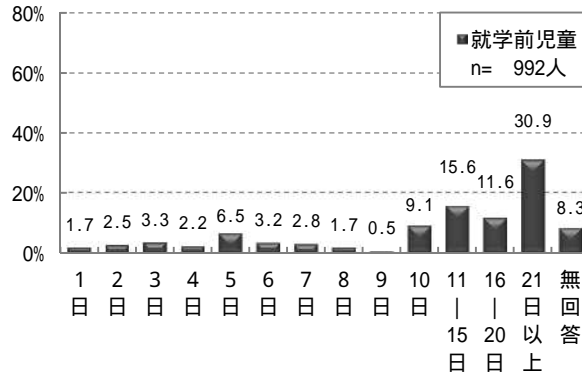
就学前児童の一時預かり等の利用希望とその目的は、「利用する必要はない」(52.4%)、「利用したい」(32.4%)となっています。利用したい人の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」(62.9%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(54.0%)、「不特定の就労」(21.4%)となっています。

問31 一時預かり等の利用希望とその目的



就学前児童の一時預かり等の利用希望年間合計日数をみると、「21 日以上」(30.9%)、「11-15 日」(15.6%)、「16-20 日」(11.6%)となっています。

問 31.1 一時預かり等の利用希望年間合計日数

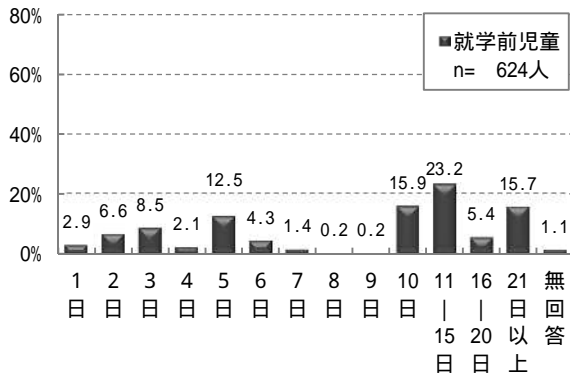


目的ごとの年間希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、「11-15 日」(23.2%)、「21 日以上」(15.7%)となっています。

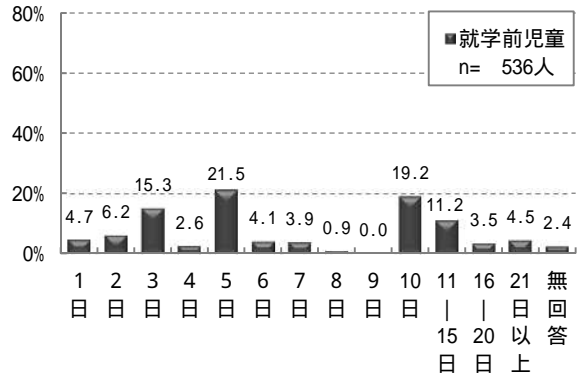
冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5 日」(21.5%)、「10 日」(19.2%)となっています。

不定期の就労目的は、「21 日以上」(34.0%)、「10 日」(18.9%)、その他の目的は「10 日」(17.5%)、「2 日」(12.3%)となっています。

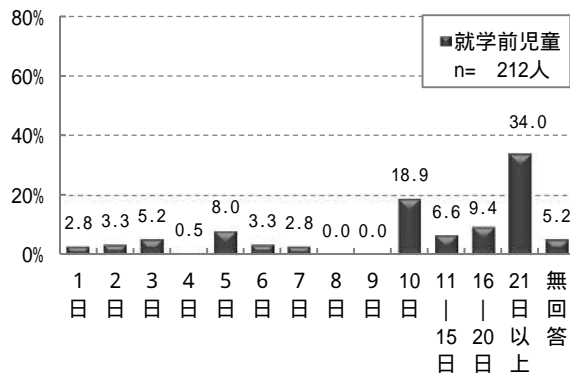
問 31.ア 私用、リフレッシュ目的



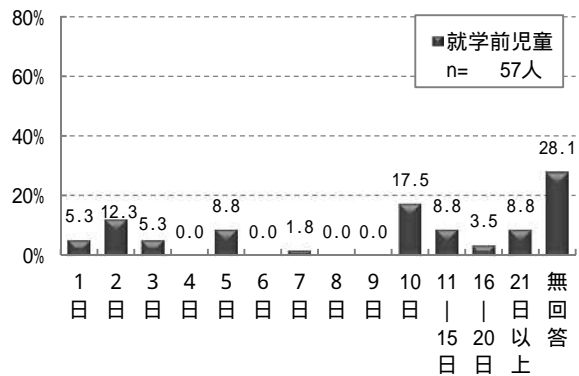
問 31.イ 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的



問 31.ウ 不定期の就労目的



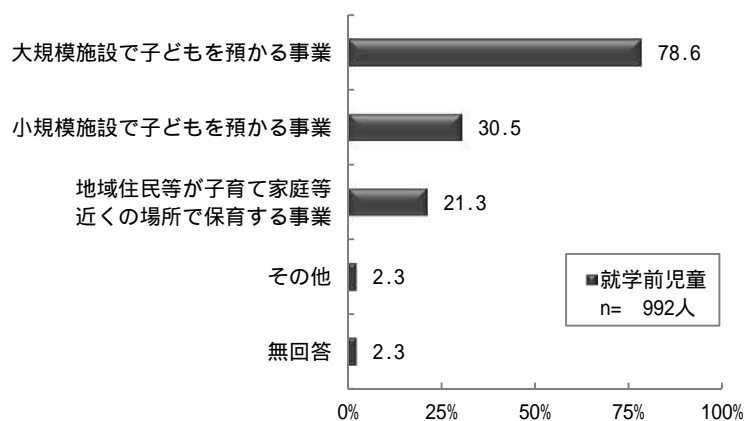
問 31.エ その他の目的



問 31-1 問 31 で「利用したい」と回答した方におたずねします。問 31 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。

子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを預かる事業」(78.6%)、「小規模施設で子どもを預かる事業」(30.5%)、「地域住民等が子育て家庭等近くで保育する事業」(21.3%)となっています。

問 31-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

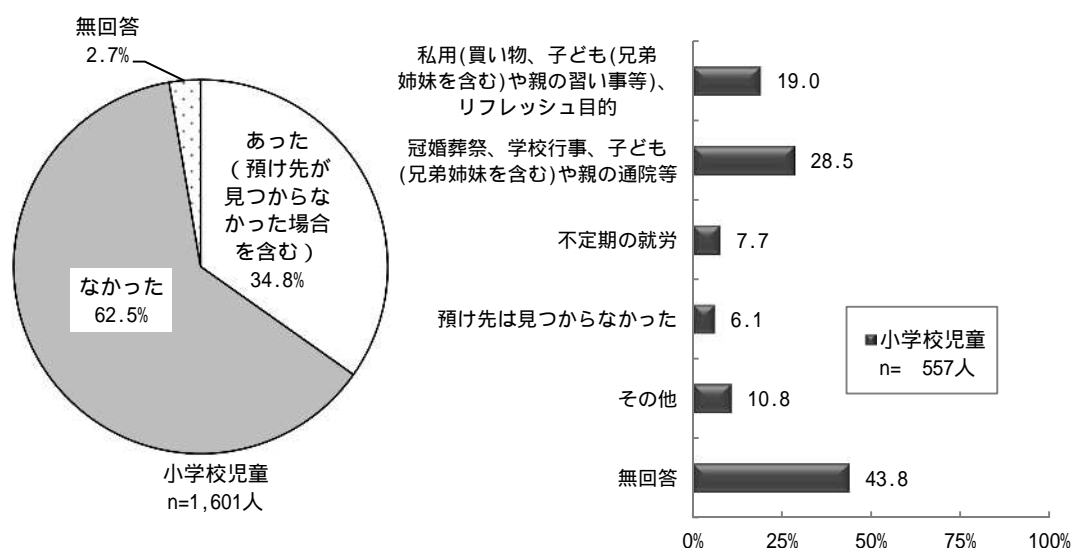


[問 34] この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、私用など）により、宛名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けなければならなかったことはありましたか。

[問 34-1] 問 34 で「1. あった」と回答した方におたずねします。実際預けた時の理由とそれぞれおおよその日数、年間の合計日数をお答えください。

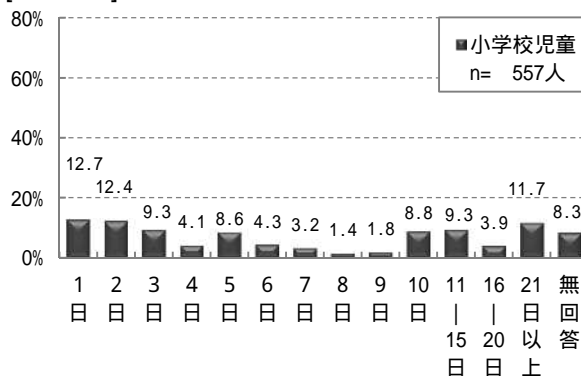
小学校児童のこの1年間の一時預かり等の利用の有無とその目的は、「なかった」(62.5%)、「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」(34.8%)となっています。利用した人の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(28.5%)「私用、リフレッシュ目的」(19.0%)となっています。

[問 34] この1年間の一時預かり等の利用の有無とその目的



小学校児童の一時預かり等の利用年間合計日数では、「1日」(12.7%)、「2日」(12.4%)、「21日以上」(11.7%)となっています。

[問 34.1]一時預かり等の利用年間合計日数





目的ごとの利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、「2日」(17.9%)、「1日」(15.1%)、「3日」「5日」(各14.2%)となっています。

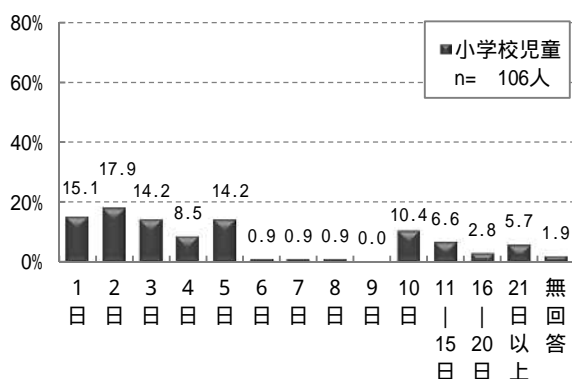
冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「2日」(22.0%)、「1日」(19.5%)、「3日」(18.9%)となっています。

不規則の就労目的は、「2日」(20.9%)、「10日」(18.6%)、「5日」(14.0%)となっています。

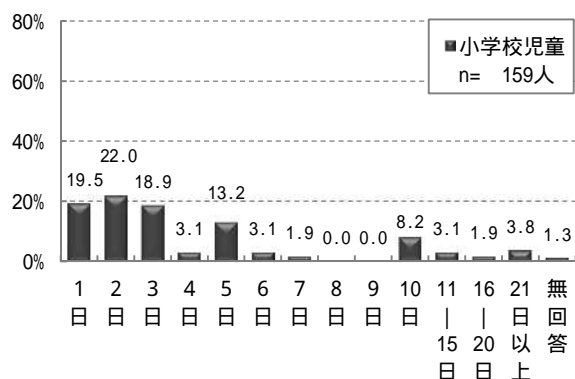
預け先は見つからなかったは、「1日」「3日」(各17.6%)、「5日」(14.7%)となっています。

その他の目的は、「1日」(20.0%)、「21日以上」(18.3%)、「3日」(15.0%)となっています。

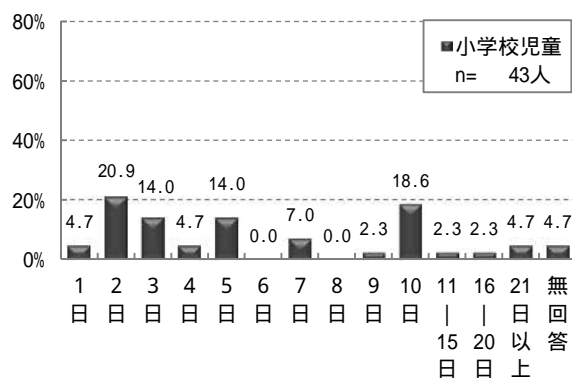
[問 34-1.7] 私用、リフレッシュ目的



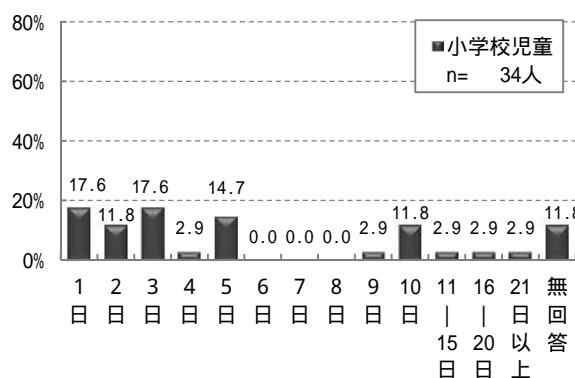
[問 34-1.4] 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的



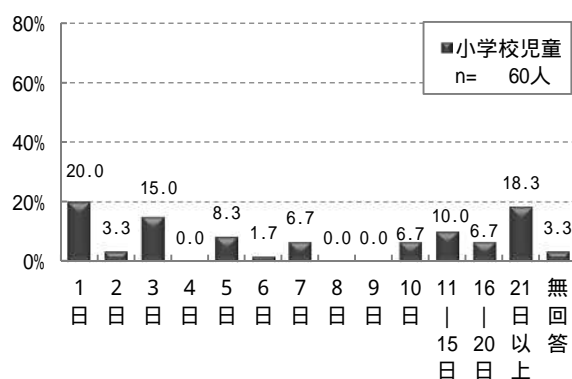
[問 34-1.9] 不規則の就労目的



[問 34-1.1] 預け先は見つからなかった



[問 34-1.1] その他の目的



### (3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

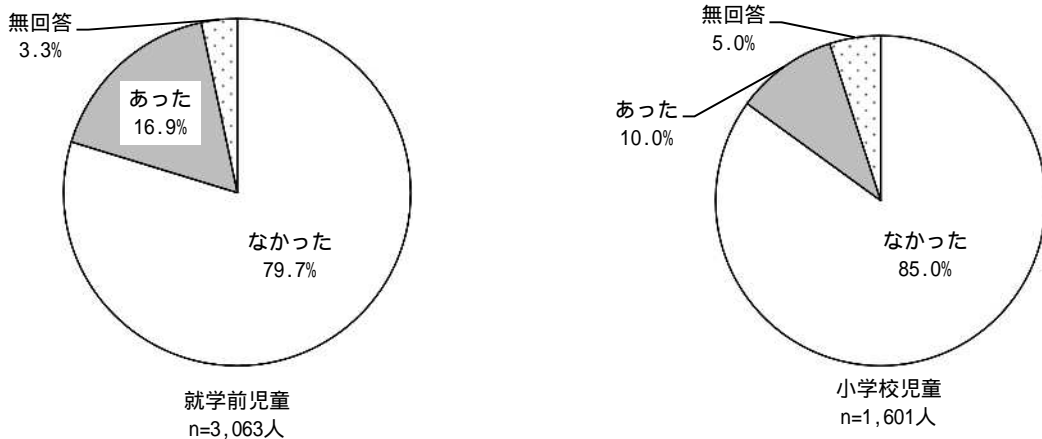
問 32[問 35] この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法をお答えください。また、それぞれの泊数もお答えください。

問 32-1[問 35-1] 問 32[問 35]で「2.あった ア.親族・知人にみてもらった」と回答した方におたずねします。親族・知人にみてもらうことは困難でしたか。

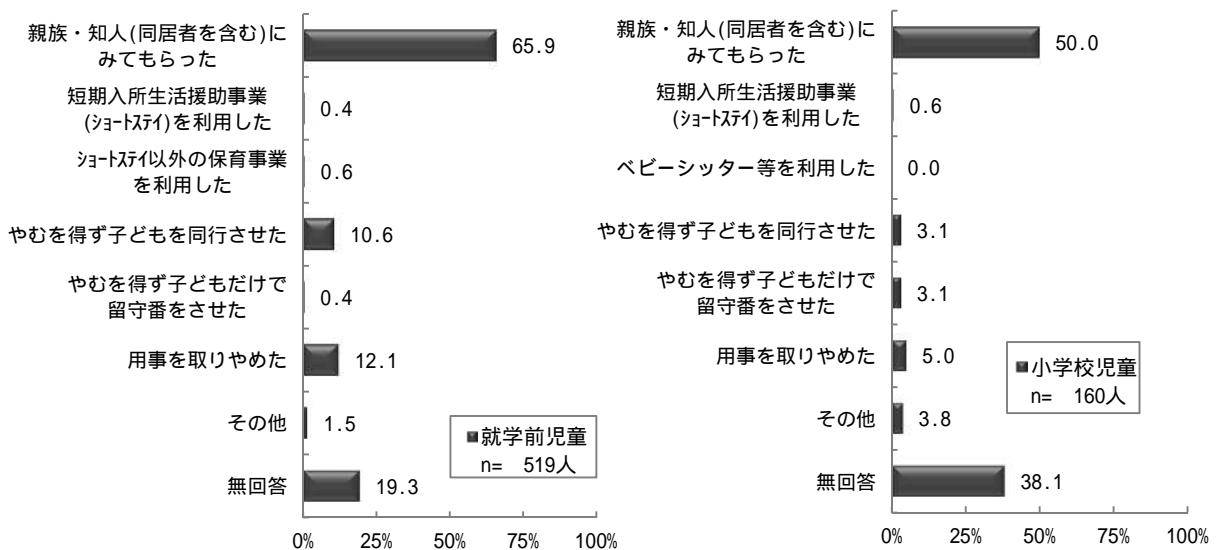
この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けた人は、就学前児童で16.9%、小学校児童で10.0%います。

この対処方法は、「親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」(就学前児童65.9%、小学校児童50.0%)が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「どちらかというと困難」(就学前児童30.1%、小学校児童21.3%)、「非常に困難」(就学前児童7.3%、小学校児童2.5%)となっています。

問 32[問 35] この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

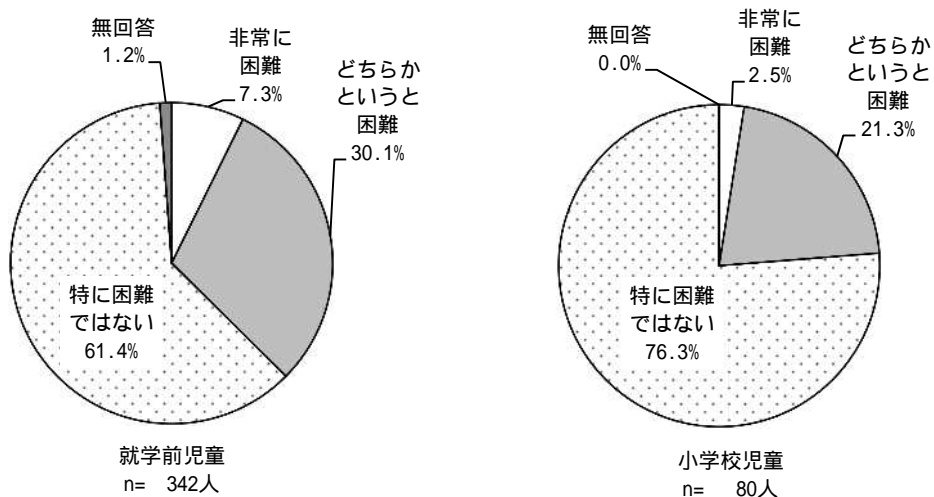


問 32.2[問 35.2] 1年間の対処方法



短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問 32-1[問 35-1] 親族・知人にみてもらった場合の困難度



就学前児童の対処方法別の泊数をみると、親族・知人（同居者を含む）に預けた泊数は、「1泊」（33.3%）、「2泊」（15.2%）、「5泊」（11.4%）となっています。

ショートステイを利用した泊数は、2人の人が「6泊」と回答しています。

ショートステイ以外を利用した泊数は「5泊」「21泊以上」（各33.3%）となっています。

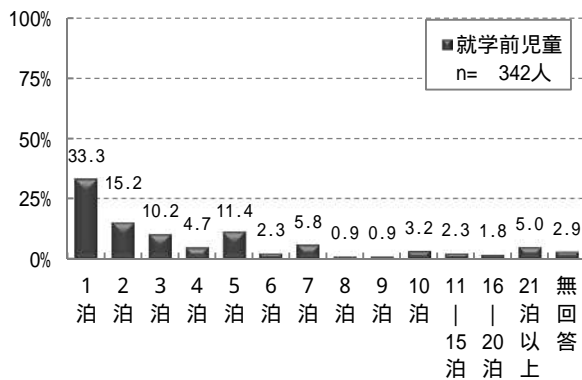
子どもを同行させた泊数は、「1泊」（38.2%）、「2泊」（21.8%）、「3泊」（12.7%）となっています。

子どもだけで留守番をさせた泊数は、1人の人が「1泊」と回答しています。

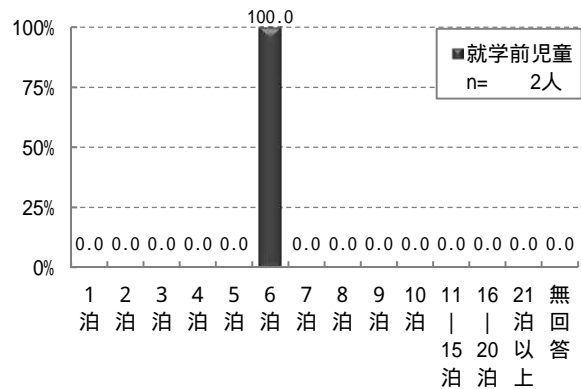
用事を取りやめた泊数は、「1日」（31.7%）、「2泊」（28.6%）となっています。

その他の対処をした泊数では、「1泊」「21泊以上」（各25.0%）、「7泊」（12.5%）となっています。

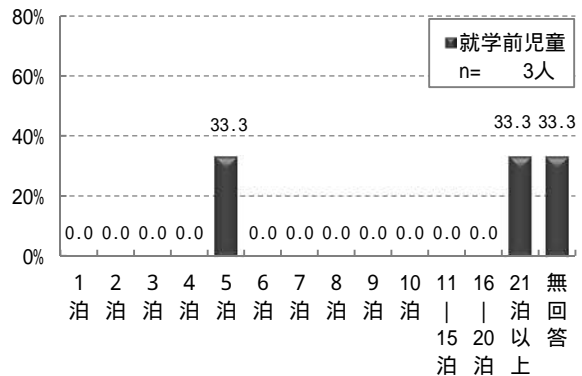
問 32.2.7 親族・知人（同居者を含む）に預けた泊数



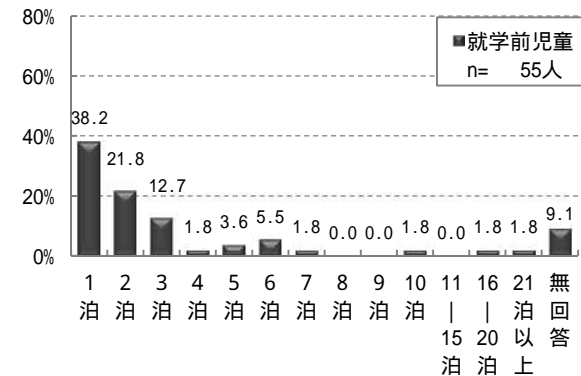
問 32.2.1 ショートステイを利用した泊数



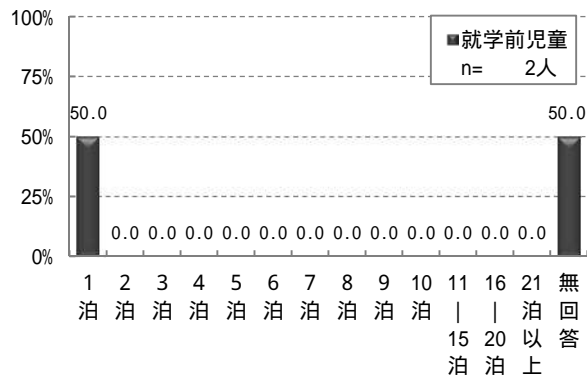
問 32.2.7 ショートステイ以外を利用した泊数



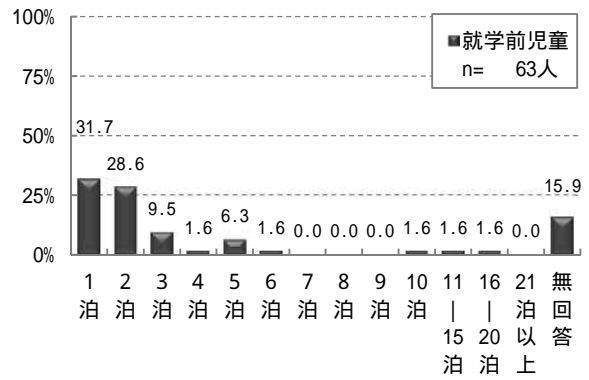
問 32.2.1 子どもを同行させた泊数



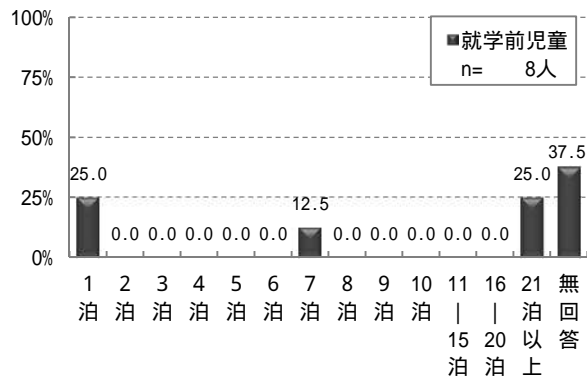
問 32.2.オ 子どもだけで留守番をさせた泊数



問 32.2.カ 用事を取りやめた泊数



問 32.2.キ その他の対処をした泊数



小学校児童の対処方法別の泊数をみると、親族・知人（同居者を含む）に預けた泊数は、「1泊」（37.5%）が最も多くなっています。

ショートステイを利用した泊数は、1人の人が「2泊」と回答しています。

ベビーシッターを利用した人はいませんでした。

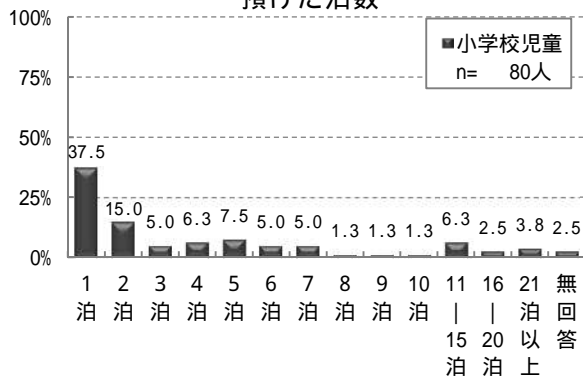
子どもを同行させた泊数は、「1泊」（60.0%）、「2泊」（40.0%）となっています。

子どもだけで留守番させた泊数は「2泊」（40.0%）が最も多くなっています。

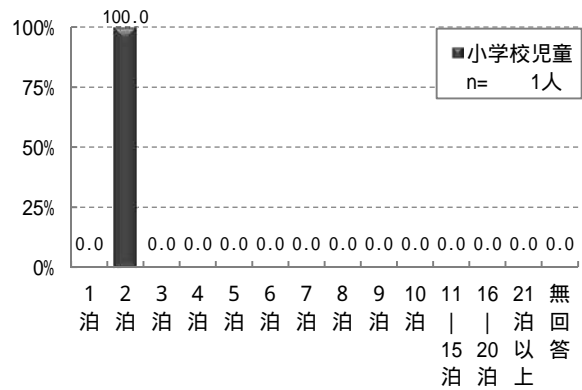
用事をとりやめた泊数は、「1泊」（50.0%）が最も多くなっています。

その他の対処をした泊数では、「1泊」「3泊」「16-20泊」（各16.7%）となっています。

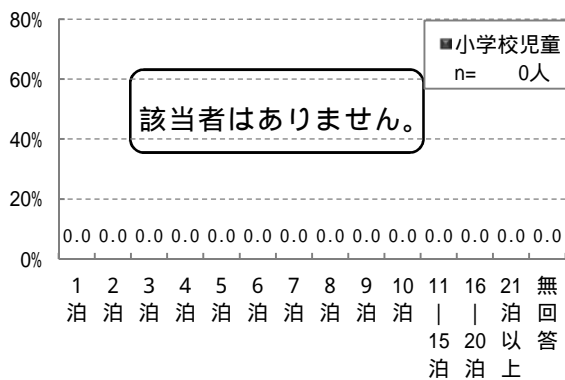
[問 35.2.ア] 親族・知人（同居者を含む）に預けた泊数



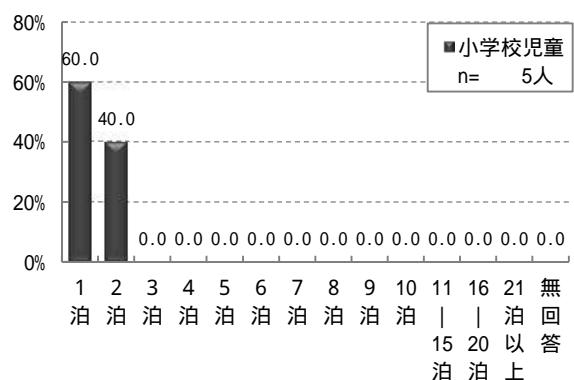
[問 35.2.イ] ショートステイを利用した泊数



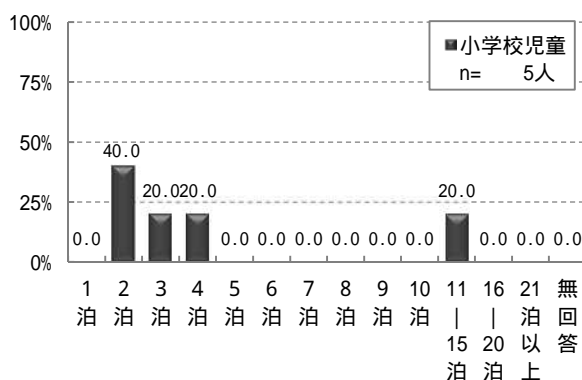
[問 35.2.ウ] ベビーシッターを利用した泊数



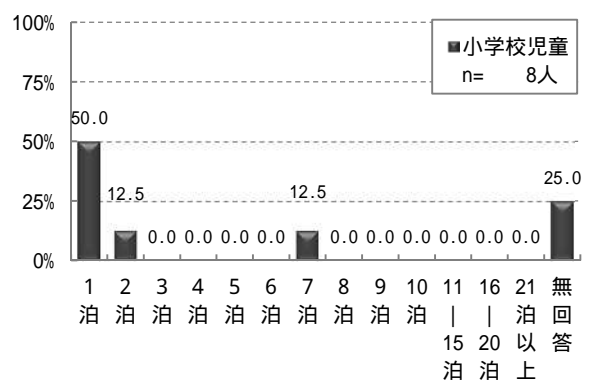
[問 35.2.エ] 子どもを同行させた泊数



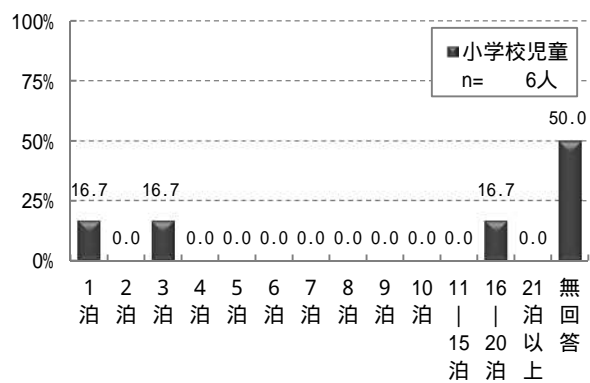
[問 35.2.カ] 子どもだけで留守番をさせた泊数



[問 35.2.キ] 用事をとりやめた泊数



[問 35.2.㊦] その他の対処をした泊数



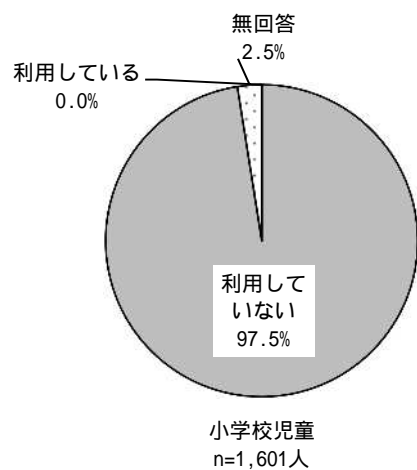
#### (4) ベビーシッターの利用について

[問 37] ベビーシッターを利用していますか。

[問 37-1] 問 37 で「1.利用している」と回答した方におたずねします。どのような目的で利用していますか。

ベビーシッターの利用の有無については、利用している人はいませんでした。

[問 37] ベビーシッターの利用の有無





### (5) ファミリー・サポート・センターの利用について

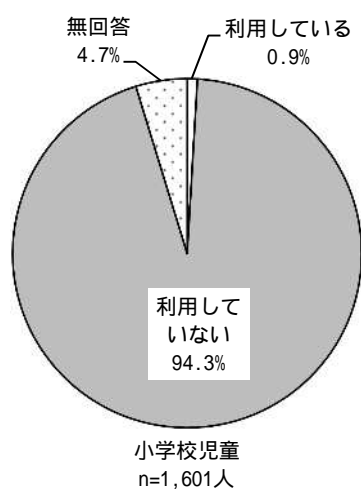
[問 38] ファミリー・サポート・センターを利用していますか。利用している場合は利用日数と1回あたりの利用時間をお答えください。

小学校児童のファミリー・サポート・センターの利用の有無については、「利用している」(0.9%)となっています。

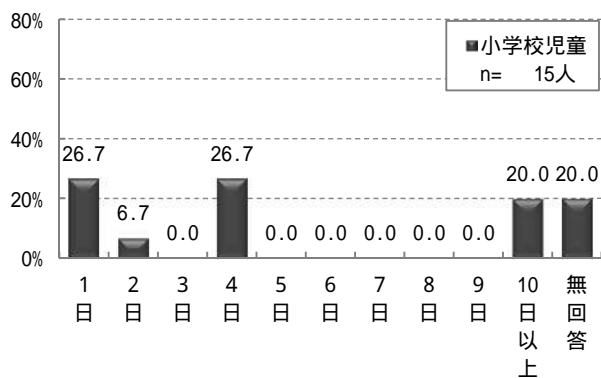
利用日数(1か月当たり)は、「1日」「4日」(各26.7%)となっています。

1回あたりの利用時間は、「1時間未満」(33.3%)、「2時間」(20.0%)、「3時間」(13.3%)となっています。

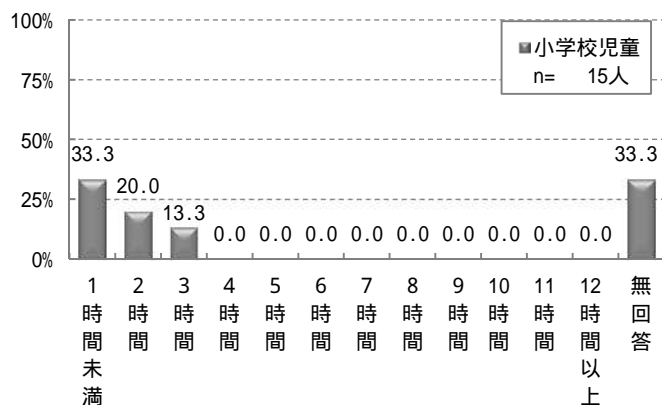
[問 38] ファミリー・サポート・センターの利用の有無



[問 38.1] 利用日数(1か月当たり)



[問 38.1] 1回あたりの利用時間

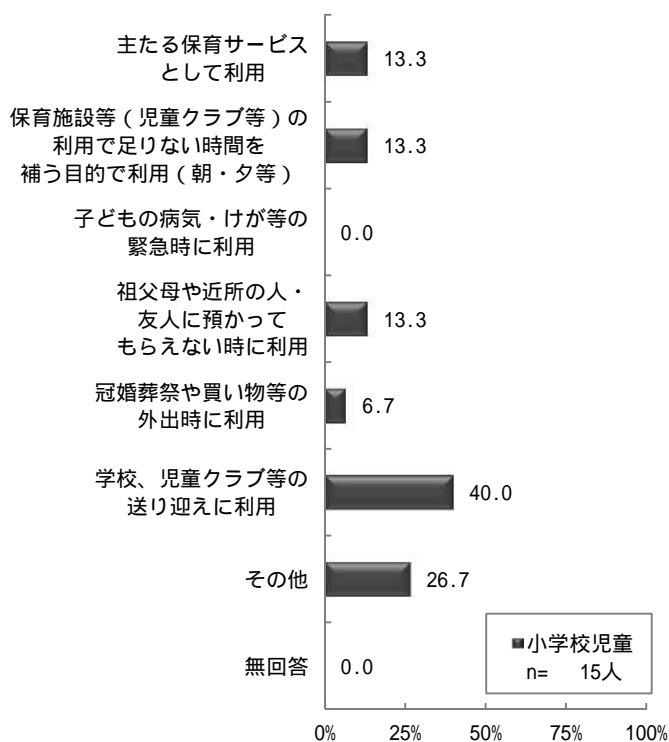


[問 38-1] 問 38 でファミリー・サポート・センターを「1.利用している」と回答した方はその利用目的を、「2.利用していない」と回答した方は利用していない理由をお答えください。

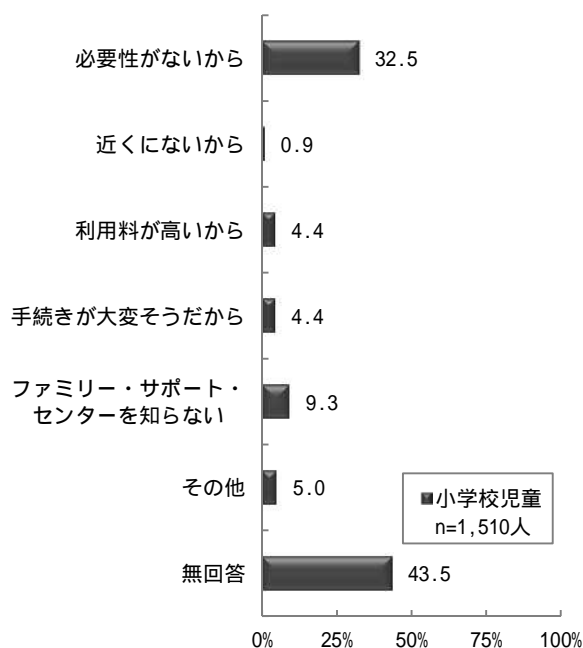
ファミリー・サポート・センターの利用目的では、「学校、児童クラブ等の送り迎えに利用」(40.0%)で最も多くなっています。

一方、利用していない主な理由では、「必要性がないから」(33.2%)が最も多くなっています。

[問 38-1] 利用の目的



[問 38-1] 利用していない主な理由



## 8 放課後の過ごし方について

### (1) 平日の放課後の過ごし方について

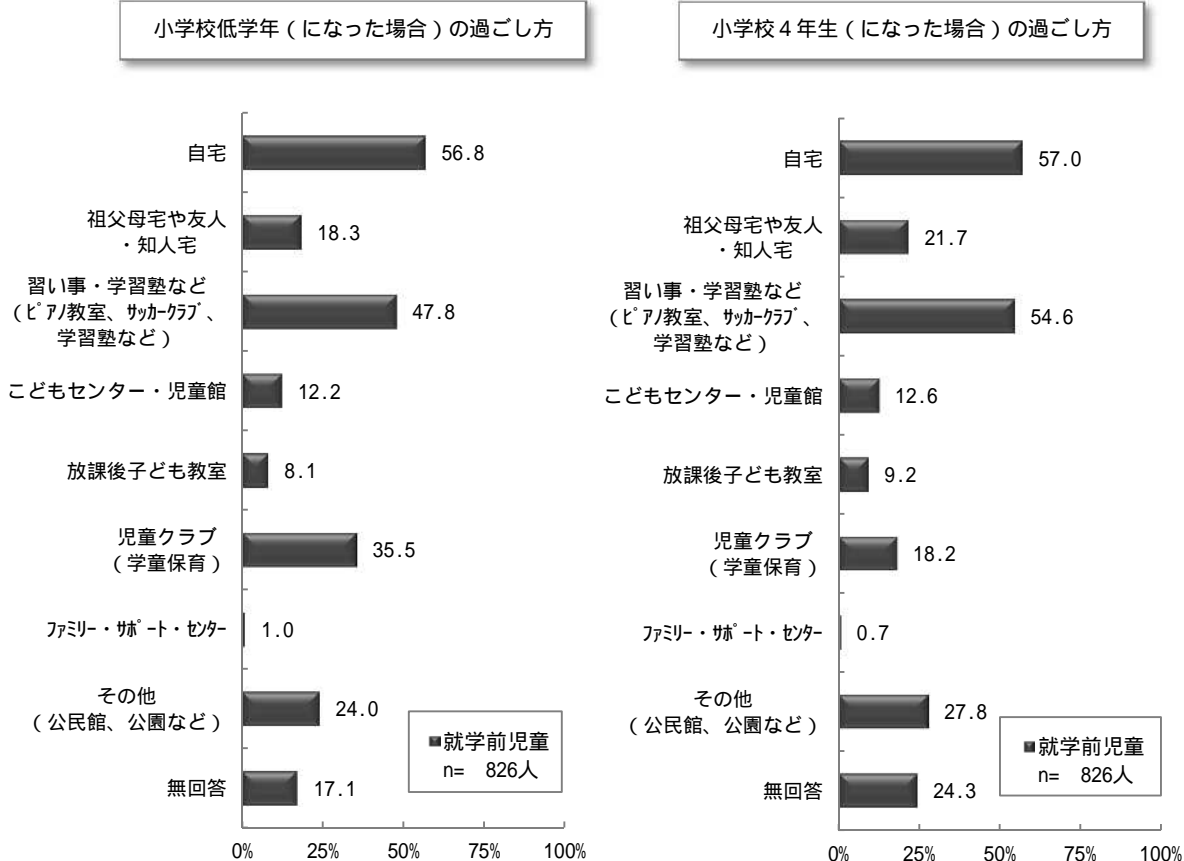
問 37 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。希望場所を選択し、それぞれ希望する週当たりの日数をお答えください。「児童クラブ」の場合には利用を希望する時間もお答えください。

問 38 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年ごとに希望場所を選択し、それぞれ週当たりの日数をお答えください。「児童クラブ」の場合には利用を希望する時間もお答えください。

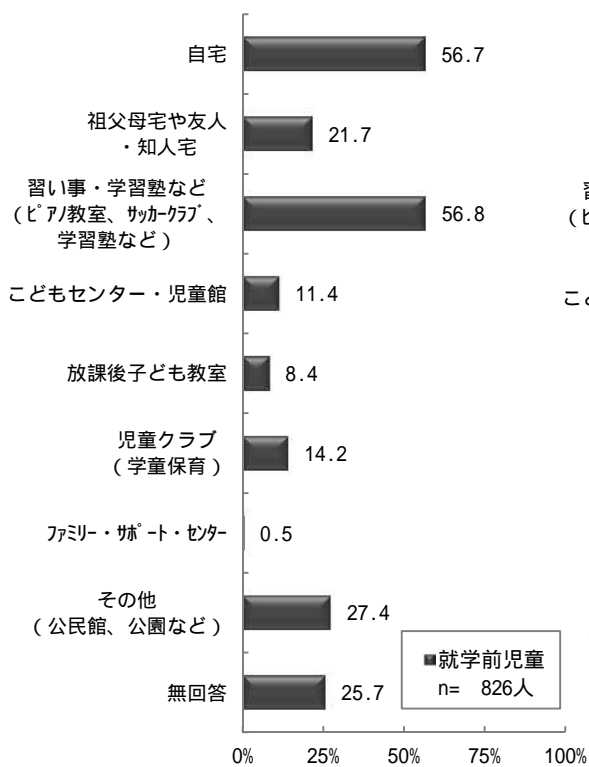
放課後の過ごし方をみると、就学前児童では小学校低学年のうちは「自宅」（56.8%）、「習い事、学習塾など」（47.8%）、「児童クラブ（学童保育）」（35.5%）を希望しています。

また、小学校4年生から6年生までの希望する放課後の過ごし方をみると、学年が上がるにつれて、「こどもセンター・児童館」「放課後子ども教室」「児童クラブ（学童保育）」の希望がやや減少しています。

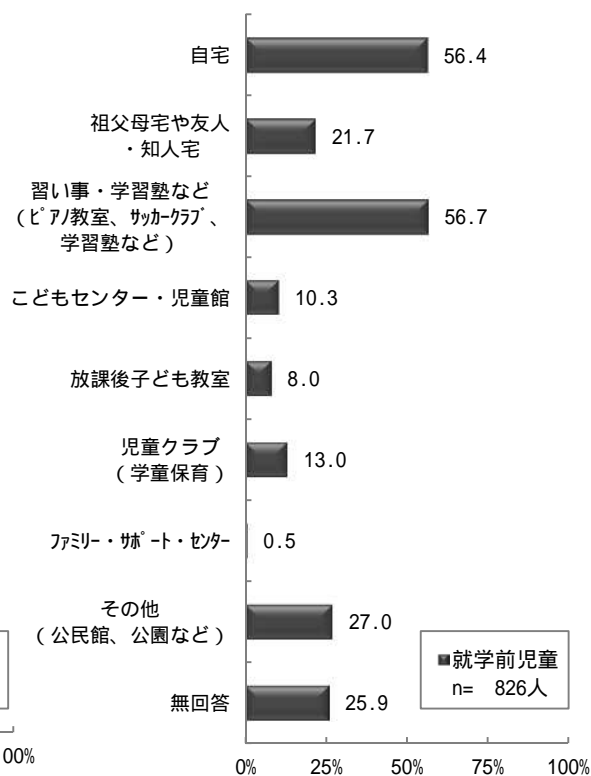
問 37・問 38 放課後の過ごし方の希望（就学前児童4歳以上）



小学校5年生（になった場合）の過ごし方



小学校6年生（になった場合）の過ごし方



「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生の意味です。

就学前児童の保護者が、子どもが小学校低学年になったとき、放課後過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「2日」(27.3%)、「5日」(24.7%)となっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1日」(52.3%)、「2日」(32.5%)となっています。

「習い事・学習塾など」では、「1日」(43.0%)、「2日」(42.0%)となっています。

「こどもセンター・児童館」は「1日」(49.5%)、「放課後子ども教室」も「1日」(53.7%)が最も多くなっています。

「児童クラブ」では「5日」(54.9%)が最も多くなっています。

「ファミリー・サポート・センター」は、「1日」(37.5%)、「2日」「5日」(各25.0%)となっています。

「その他(公民館、公園など)」は、「2日」(33.8%)、「1日」(24.2%)、「3日」(21.2%)となっています。

子どもが小学校高学年になったとき、放課後過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」では低学年の時期と大きな変化はみられませんでした。

「習い事・学習塾など」では、低学年の時期より希望者が増加し、「3日」以上と回答する人も増えています。

「こどもセンター・児童館」は、低学年の時期と大きな変化はみられませんでした。

「放課後子ども教室」は、低学年の時期より「1日」を希望する人がやや減少し、「2日」を希望する人がやや増加しています。

「児童クラブ」では、低学年の時期より希望者が減少し、「1日」～「3日」を希望する人がやや増加しています。

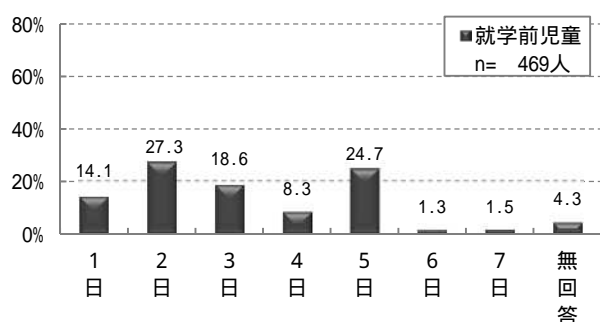
「ファミリー・サポート・センター」では、希望者のほとんどが「1日」と回答しています。

「その他(公民館・公園など)」では、低学年の時期と大きな変化はありませんでした。

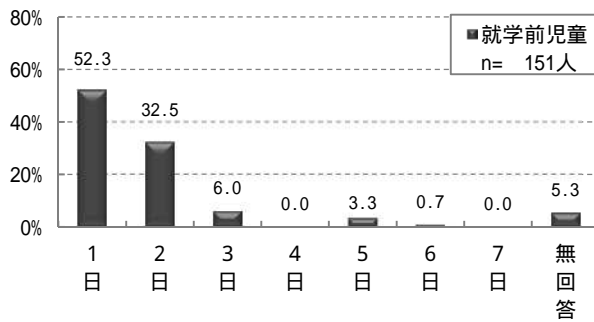
問 37・問 38 放課後の過ごし方の希望日数

小学校低学年（になった場合）の過ごし方

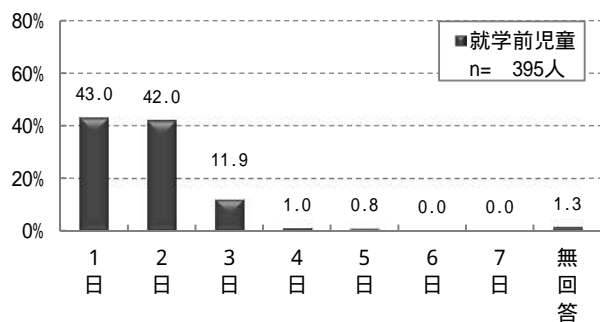
自宅



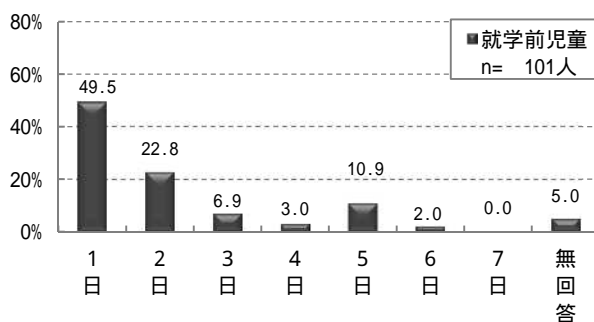
祖父母宅や友人・知人宅



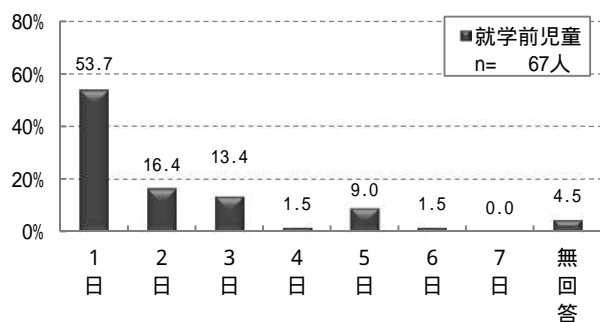
習い事・学習塾など



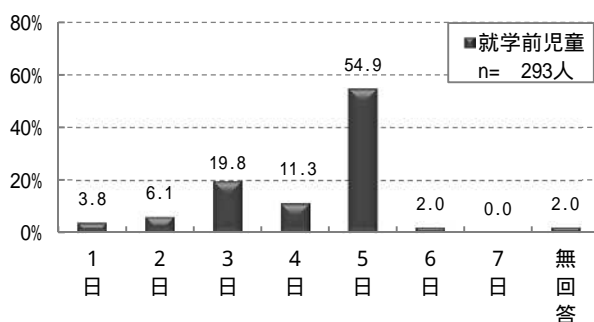
こどもセンター・児童館



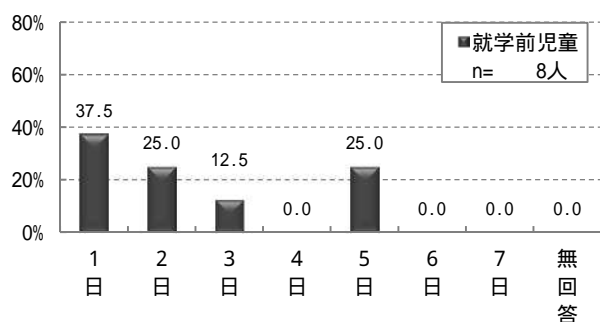
放課後子ども教室



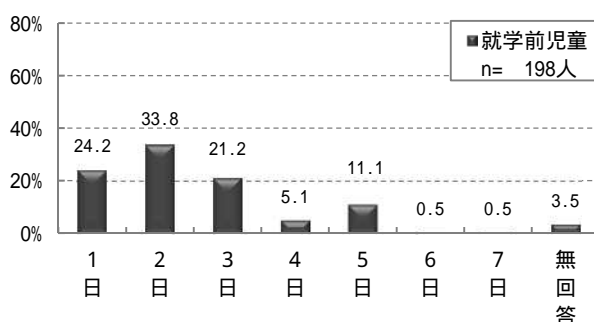
児童クラブ



ファミリー・ホール・センター

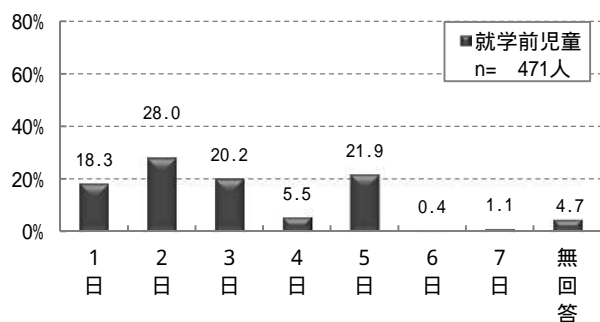


その他（公民館、公園など）

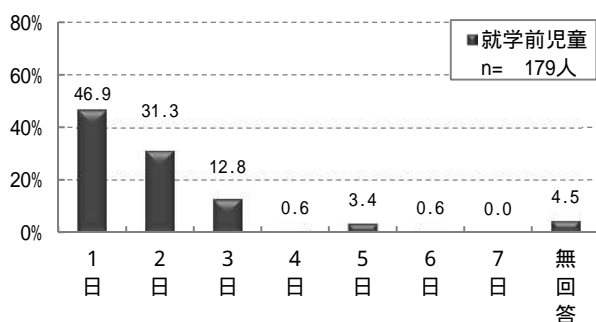


小学校4年生(になった場合)の過ごし方

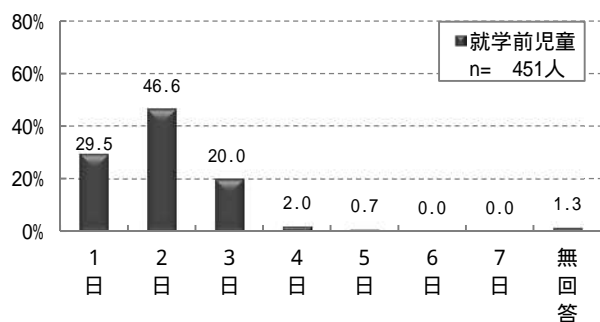
自宅



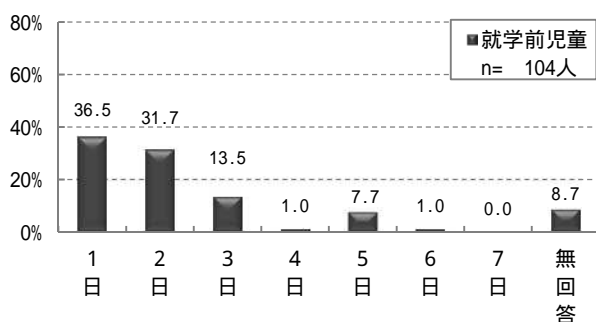
祖父母宅や友人・知人宅



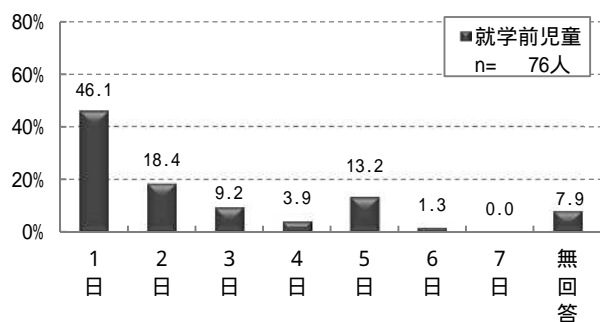
習い事・学習塾など



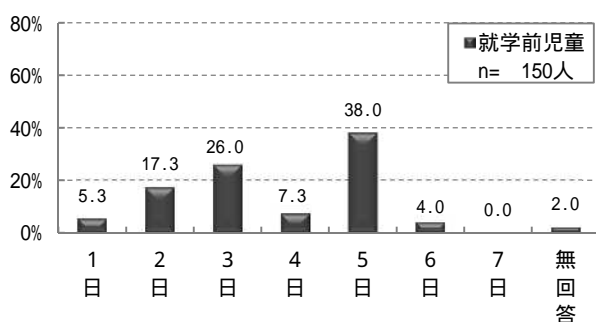
こどもセンター・児童館



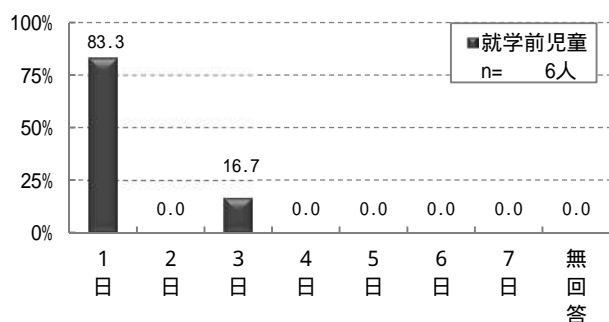
放課後子ども教室



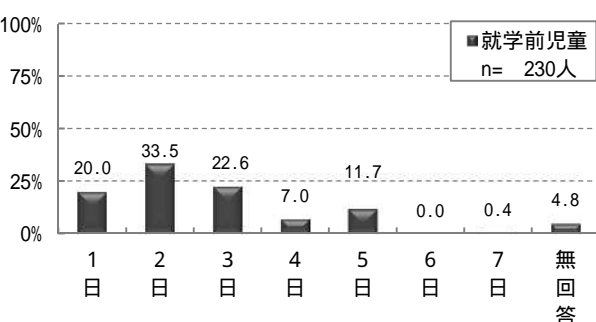
児童クラブ



ファミリー・ホール・センター

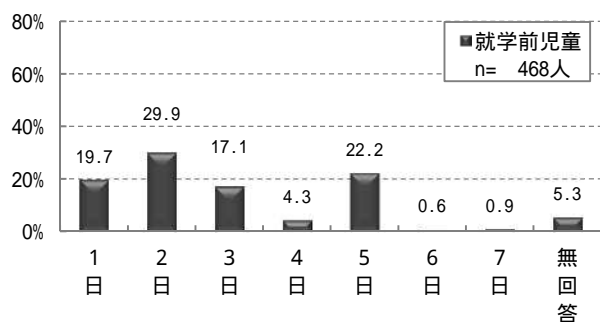


その他(公民館、公園など)

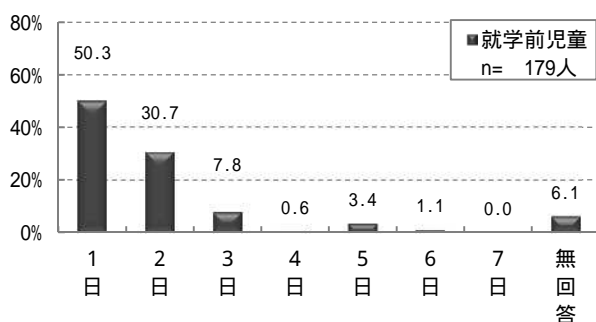


小学校5年生(になった場合)の過ごし方

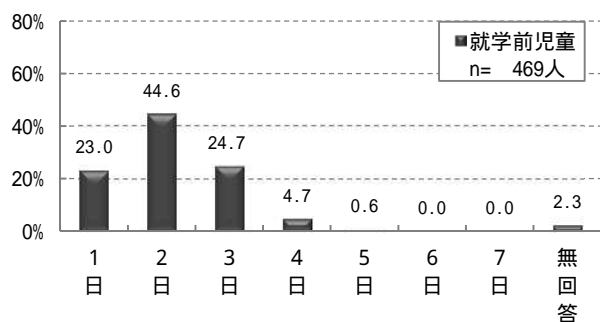
自宅



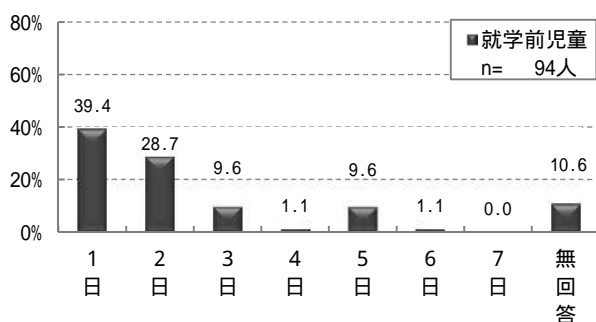
祖父母宅や友人・知人宅



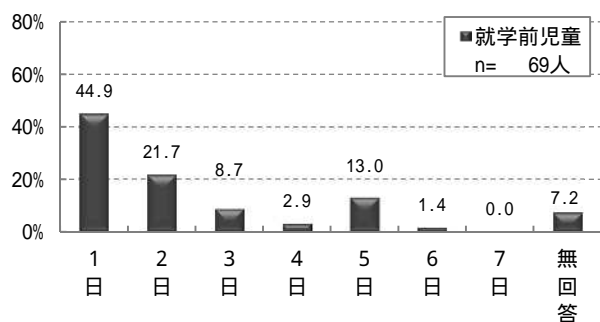
習い事・学習塾など



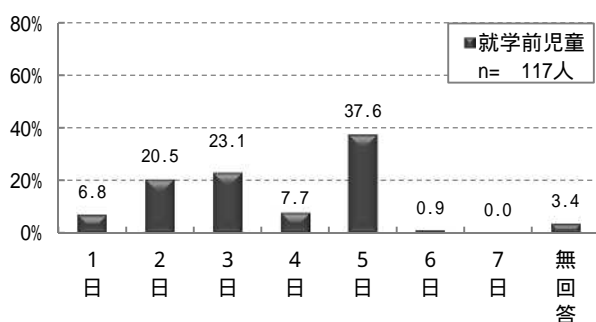
こどもセンター・児童館



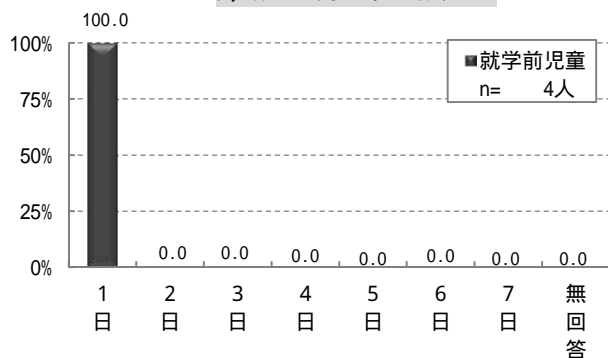
放課後子ども教室



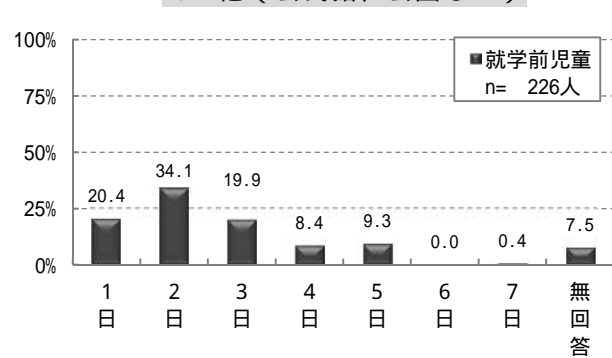
児童クラブ



ファミリー・サポート・センター



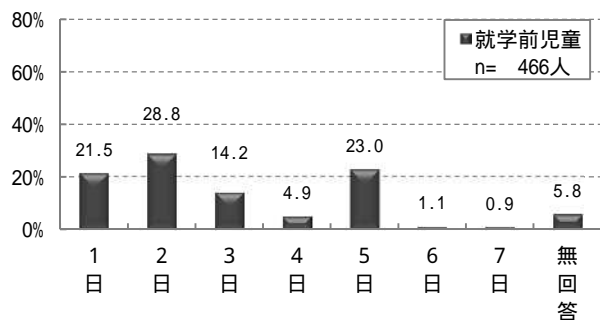
その他(公民館、公園など)



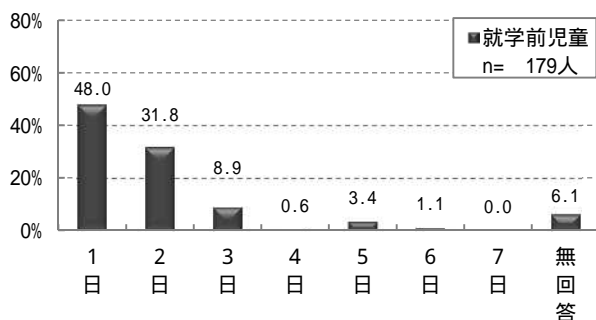


小学校6年生(になった場合)の過ごし方

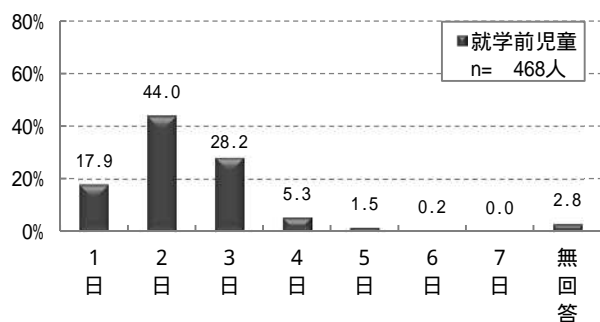
自宅



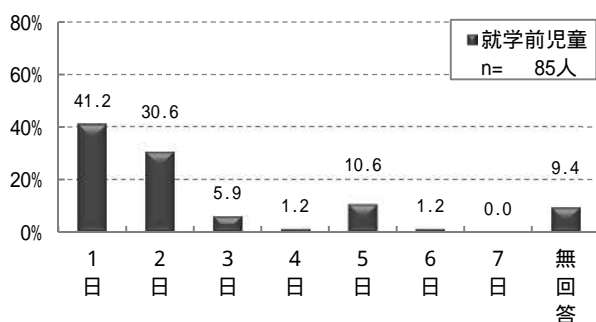
祖父母宅や友人・知人宅



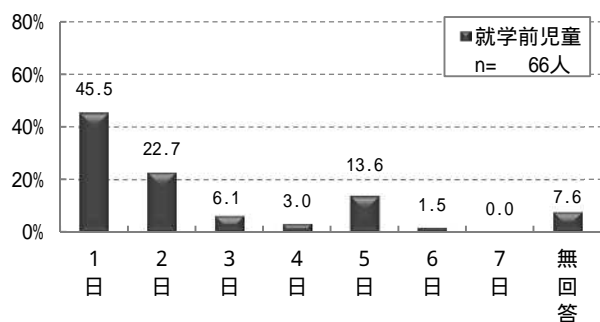
習い事・学習塾など



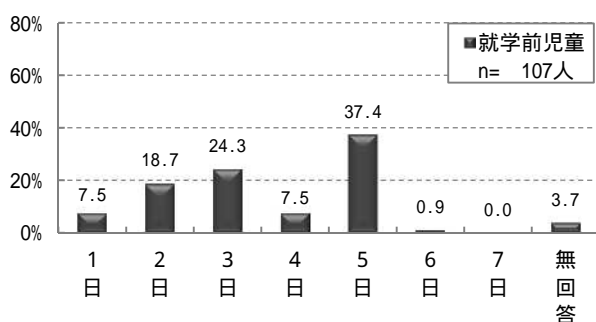
こどもセンター・児童館



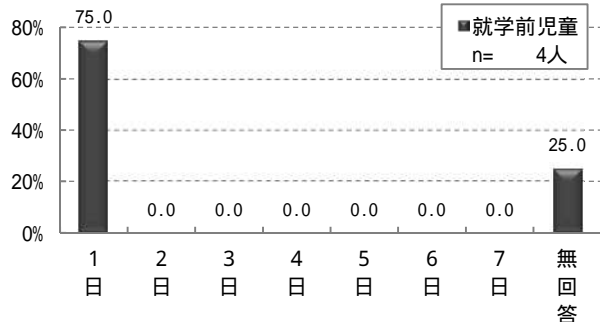
放課後子ども教室



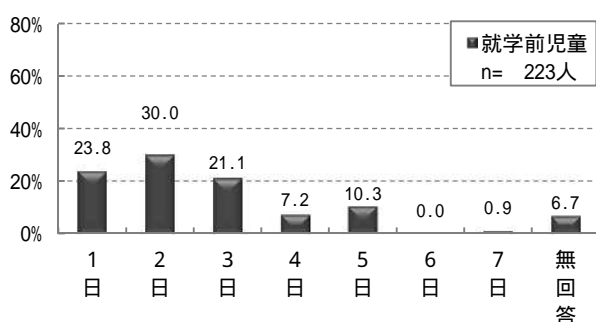
児童クラブ



ファミリー・ホール・センター



その他(公民館、公園など)

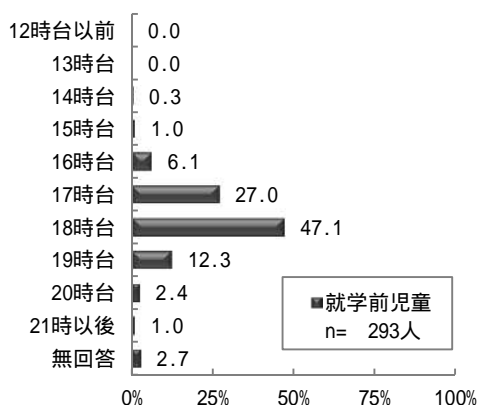


下校時から児童クラブを何時まで利用したいかをみると、就学前児童では低学年の時期で「18時台」(47.1%)、「17時台」(27.0%)、「19時台」(12.3%)となっており、高学年の時期では低学年の時期より「19時台」「20時台」を希望する人がやや増加しています。

「児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前児童の希望）

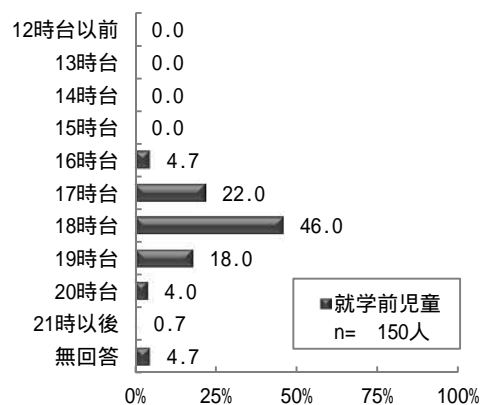
【小学校低学年の時期】

問 37 下校時からの利用希望時刻



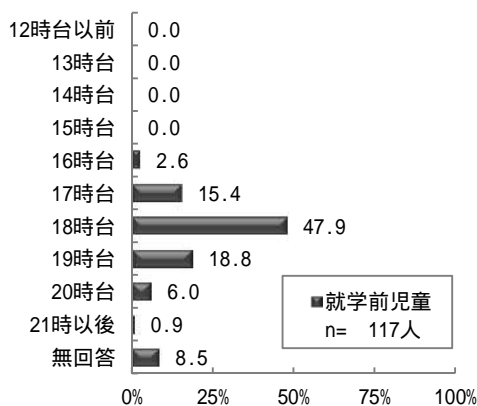
【小学校4年生の時期】

問 38 下校時からの利用希望時刻



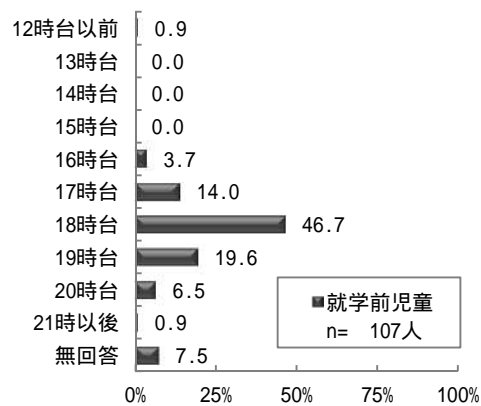
【小学校5年生の時期】

問 38 下校時からの利用希望時刻



【小学校6年生の時期】

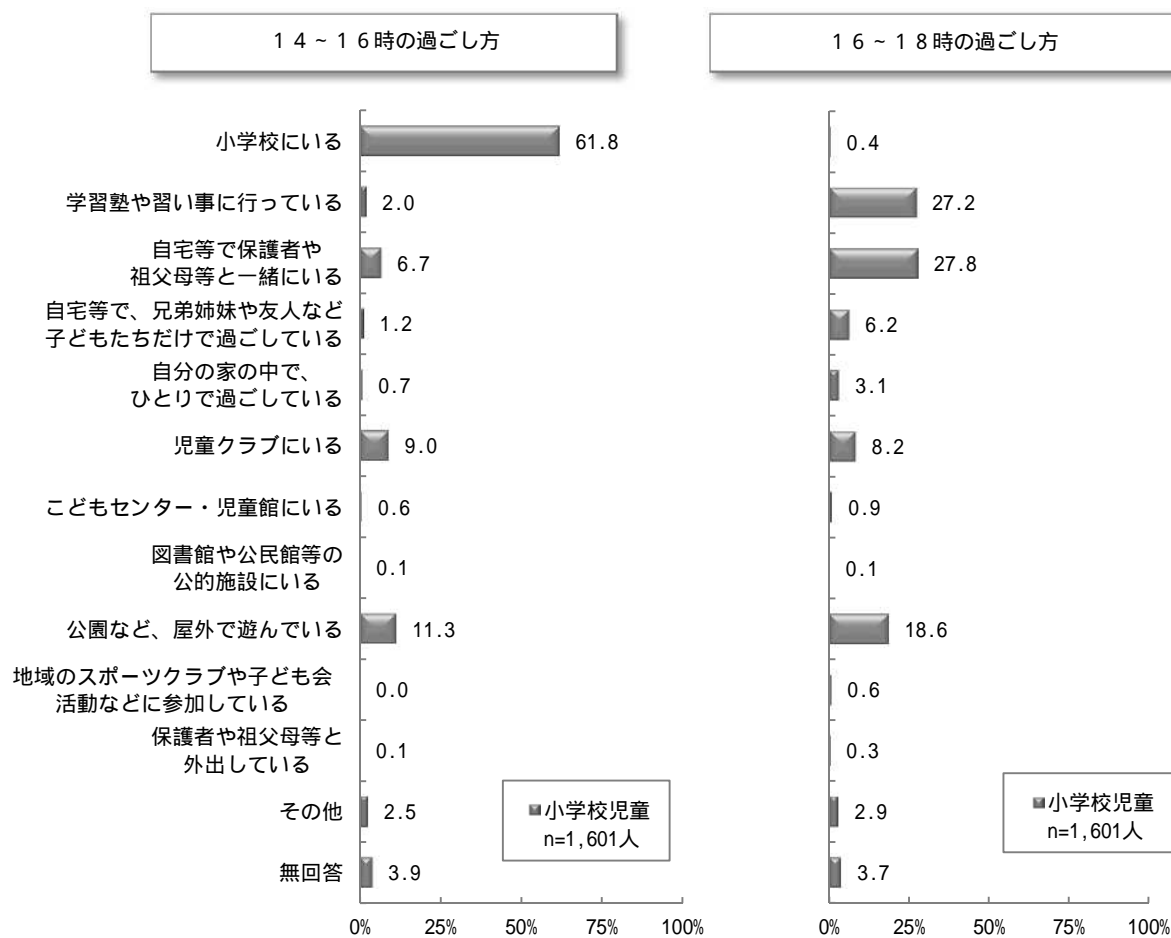
問 38 下校時からの利用希望時刻



[問 39] 平日の放課後、宛名のお子さんはどのように過ごしていますか。

小学校児童の放課後の過ごし方をみると『14～16時』は「小学校にいる」(61.8%)が最も多く、『16～18時』は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(27.8%)、「学習塾や習い事に行っている」(27.2%)となっています。『18～20時』『20時以降』は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」各(80.2%) (89.2%)となっています。

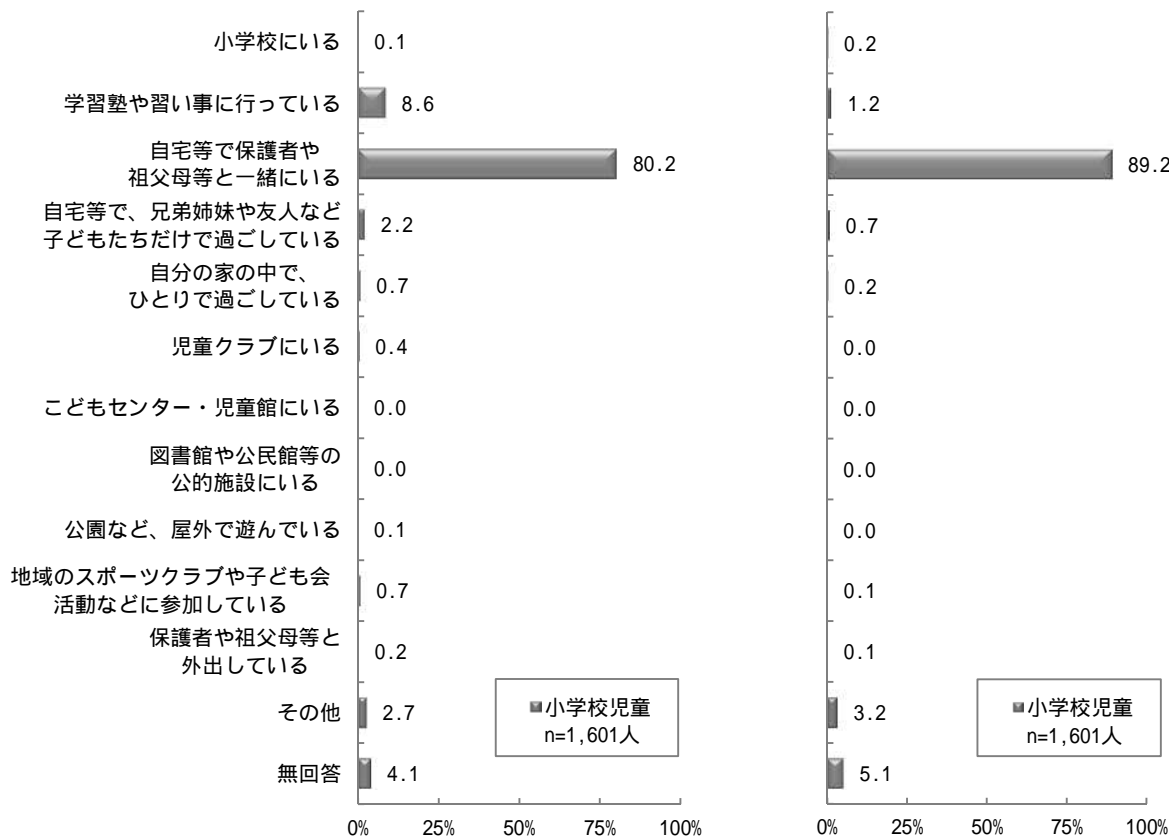
[問 39] 放課後の過ごし方(小学校児童)





18～20時の過ごし方

20時以降の過ごし方



(2) 土曜日・日曜日・祝日の児童クラブの利用について

問39 問37と問38で「児童クラブ(学童保育)」と回答した方におたずねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望はありますか。利用希望がある場合、何年生まで利用したいのか、利用したい時間帯をお答えください。

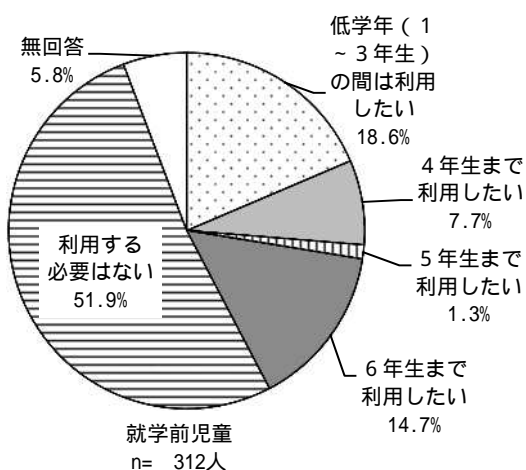
児童クラブの土曜日・日曜日・祝日の利用希望をみると、就学前児童では「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(土曜 18.6%・日曜日 5.1%・祝日 7.4%)となっています。また、「6年生まで利用したい」(土曜 14.7%・日曜日 6.1%・祝日 6.7%)となっています。

希望利用開始時刻は、「8時台」(土曜 41.7%・日曜日 45.7%・祝日 46.7%)が最も多くなっています。

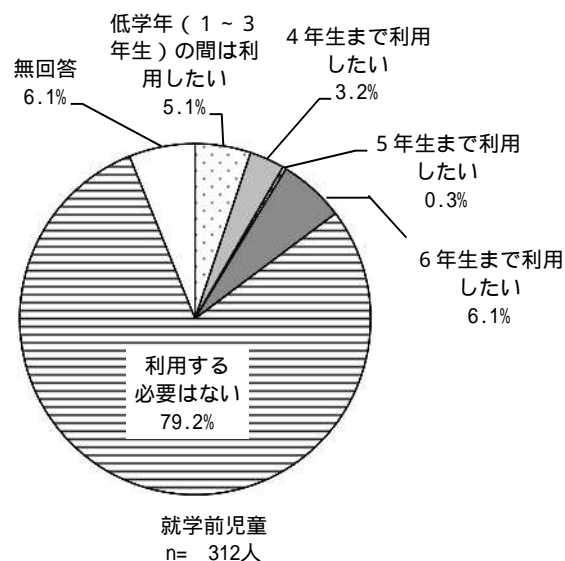
希望利用終了時刻では「18時台」(土曜 35.6%・日曜日 43.5%・祝日 41.7%)が最も多くなっています。

(就学前児童の希望)

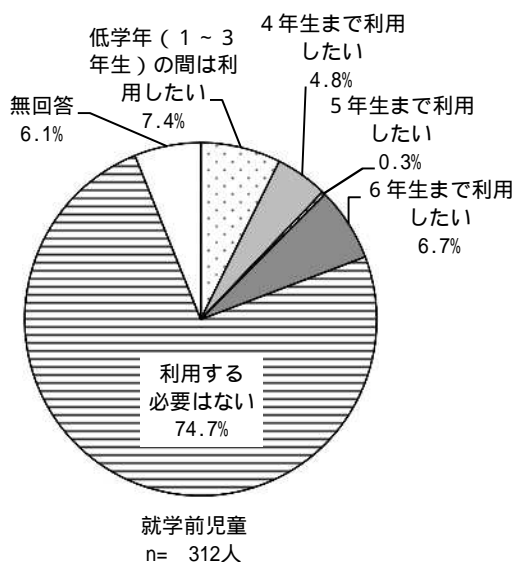
問39(1) 土曜日の利用希望



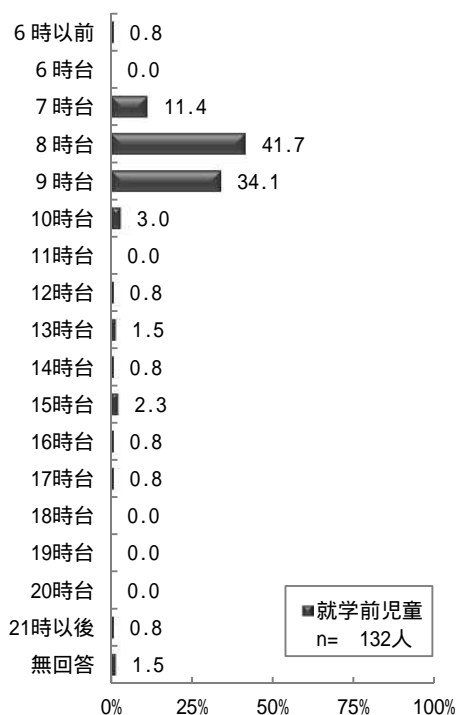
問39(2) 日曜日の利用希望



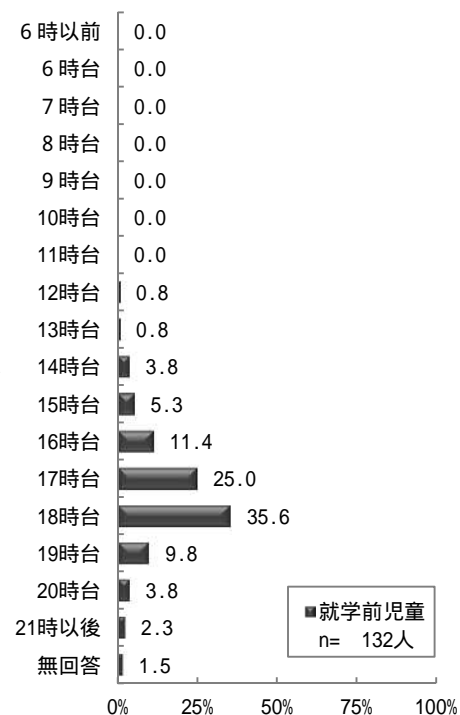
問39(3) 祝日の利用希望



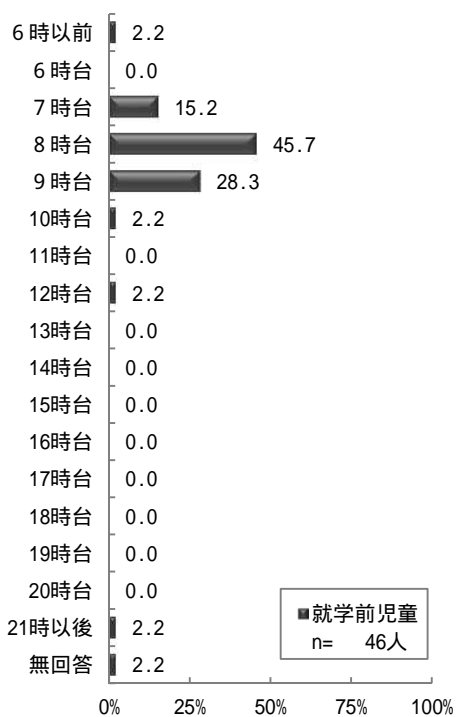
問 39(1) 土曜日の希望利用開始時間



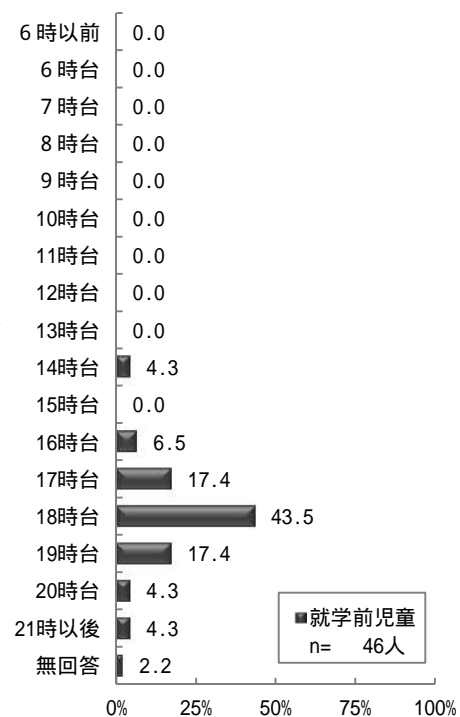
問 39(1) 土曜日の希望利用終了時間



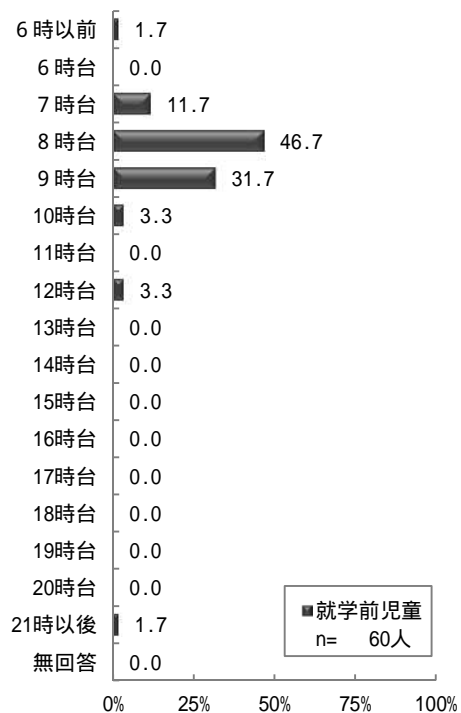
問 39(2) 日曜日の希望利用開始時間



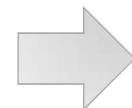
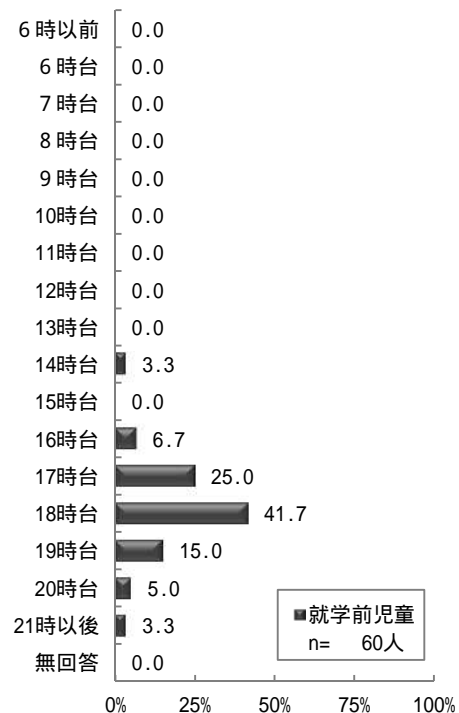
問 39(2) 日曜日の希望利用終了時間



問 39(3) 祝日の希望利用開始時間



問 39(3) 祝日の希望利用終了時間



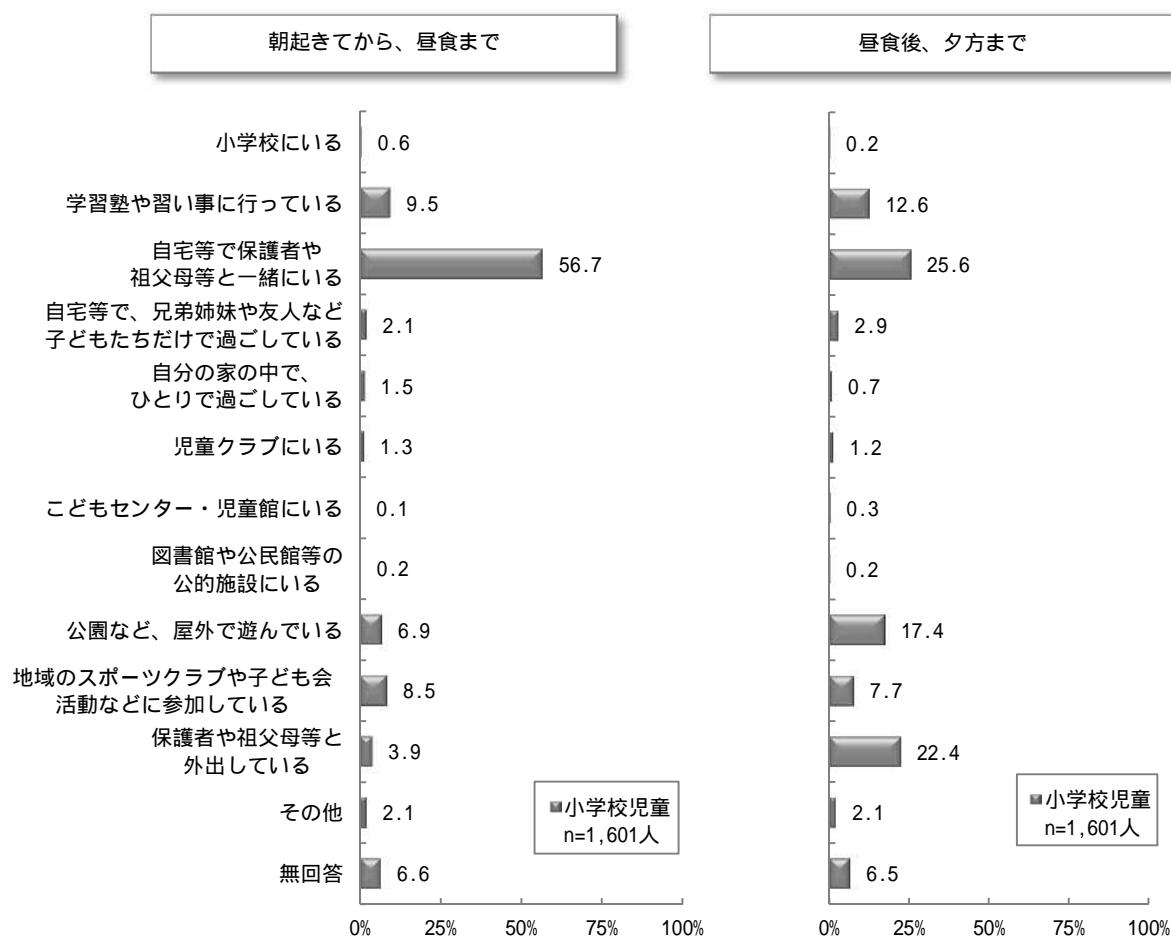
[問 40] 学校が休みの土曜日や休日（日曜日・祝日）宛名のお子さんは、どのように過ごしていますか。時間帯ごとに一番多い過ごし方をお答えください。

小学校児童の土曜日の過ごし方で『朝起きてから、昼食まで』は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(56.7%)が最も多く、『昼食後、夕方まで』は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(25.6%)、「保護者や祖父母等と外出している」(22.4%)、「公園など、屋外で遊んでいる」(17.4%)となっています。『夕食後』は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(87.8%)が最も多くなっています。

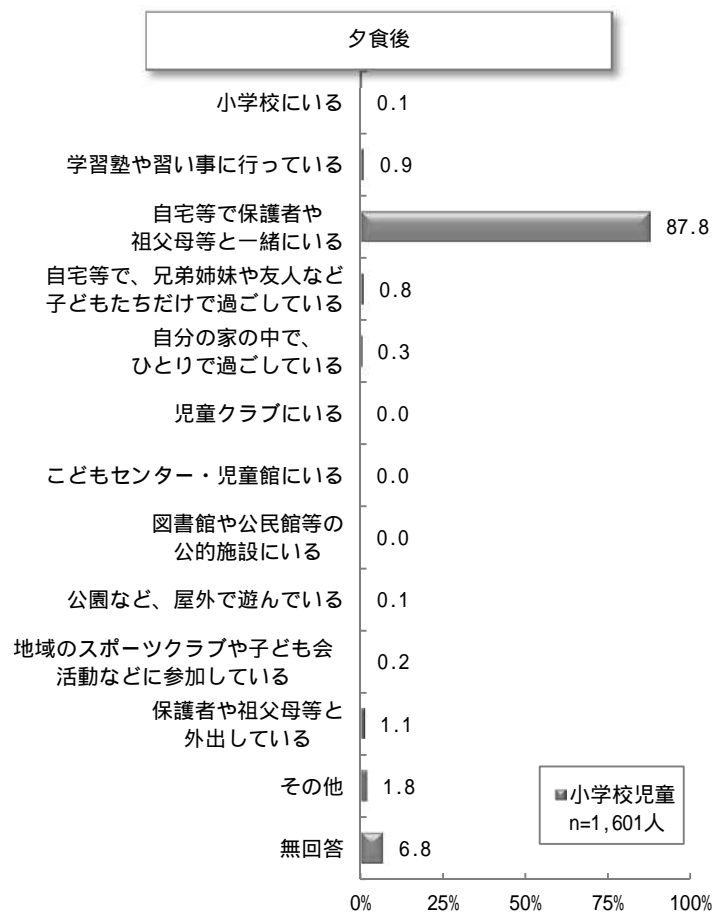
日曜日の過ごし方もほぼ同じ傾向となっています。

(小学校児童)

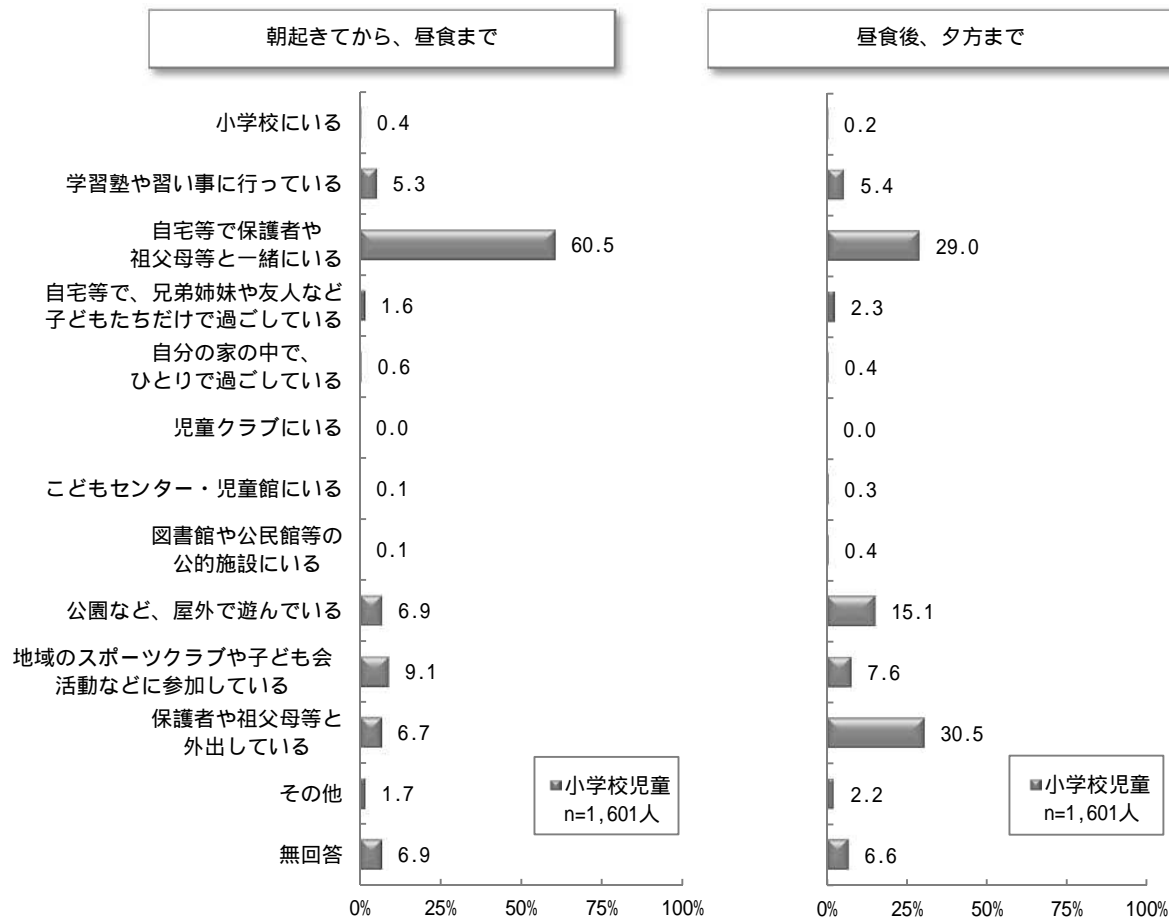
[問 40] 土曜日の過ごし方





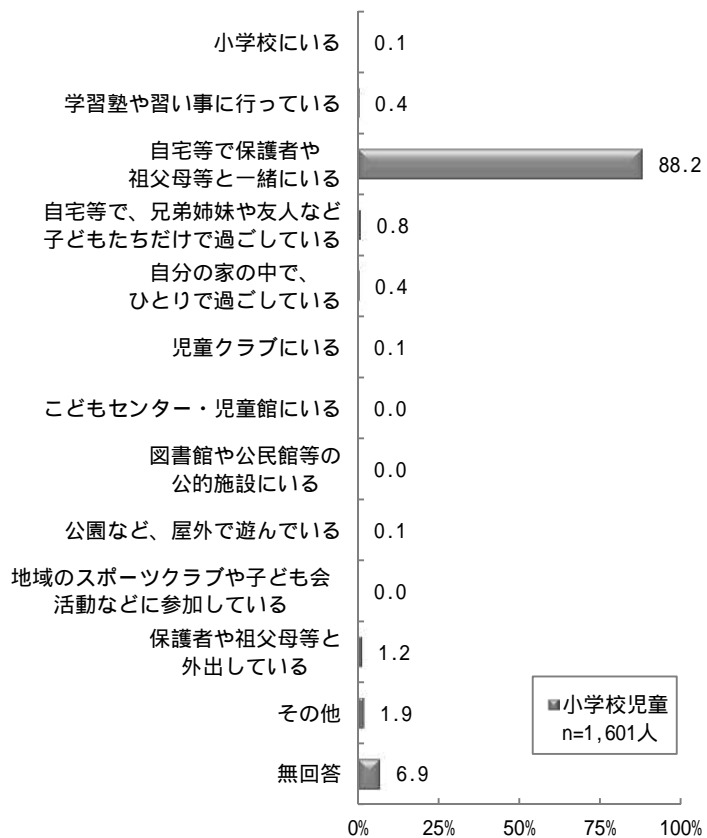


[問40] 休日（日曜日・祝日）の過ごし方





夕食後

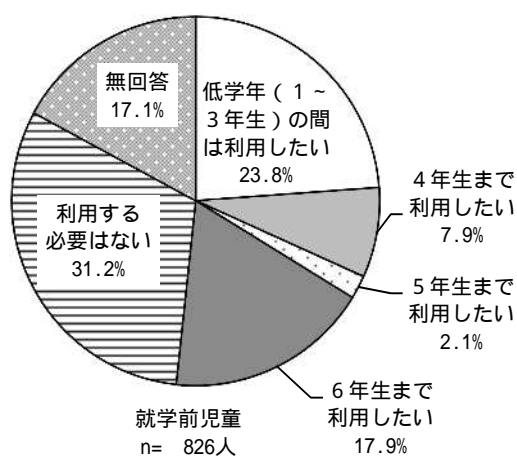


### (3) 長期休暇期間中の児童クラブの利用について

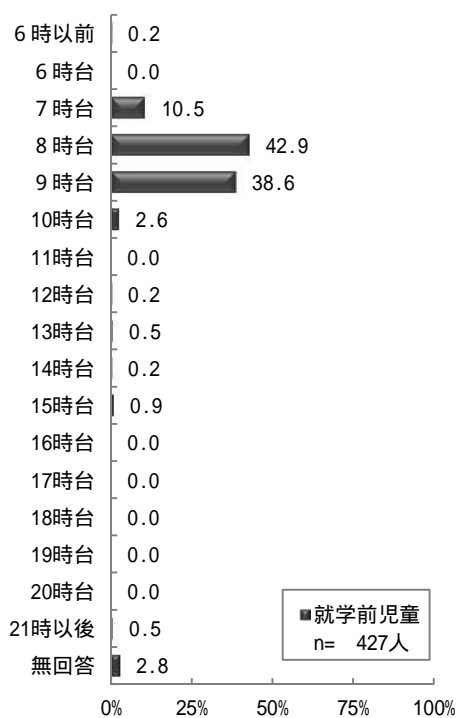
問40 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯もお答えください。

長期休暇中の利用希望をみると、就学前児童では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（23.8%）、「6年生まで利用したい」（17.9%）となっています。  
希望利用開始時間は、「8時台」（42.9%）、希望利用終了時間は「18時台」（39.1%）が最も多くなっています。

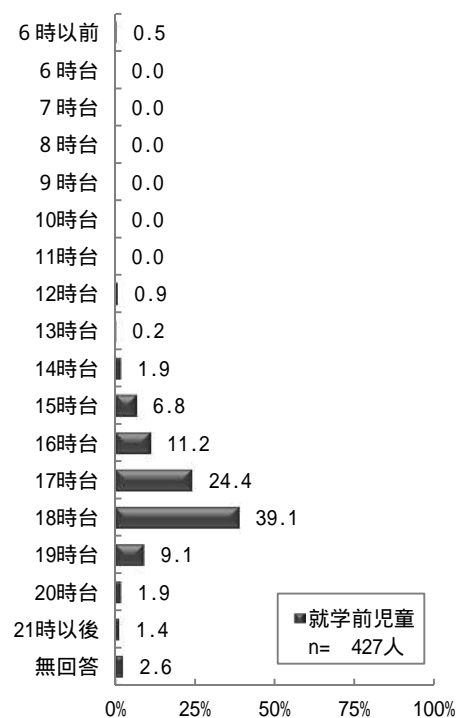
問40 長期休暇中の利用希望



問40.1 長期休暇中の希望利用開始時間



問40.2 長期休暇中の希望利用終了時間



### (4) 小学校児童の児童クラブの利用等について

[問 41] 宛名のお子さんは、現在、児童クラブを利用していますか。

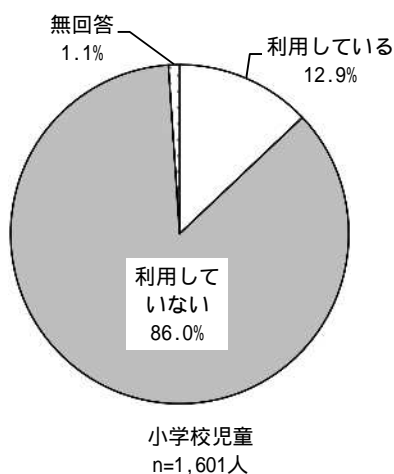
[問 41-1] 問 41 で「1.利用している」と回答した方にお尋ねします。利用日数はどのくらいですか。そのうち土曜日の利用はありますか。続いて、平日・土曜日の利用時間帯をそれぞれご記入ください。

現在の児童クラブの利用の有無は「利用していない」(86.0%)、「利用している」(12.9%)となっています。

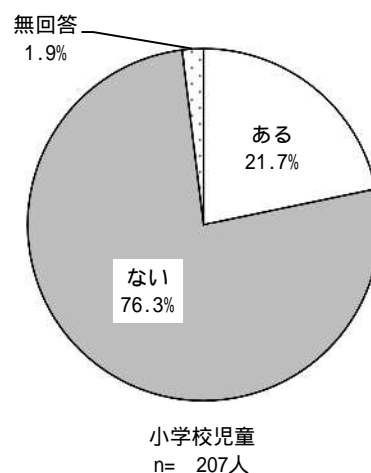
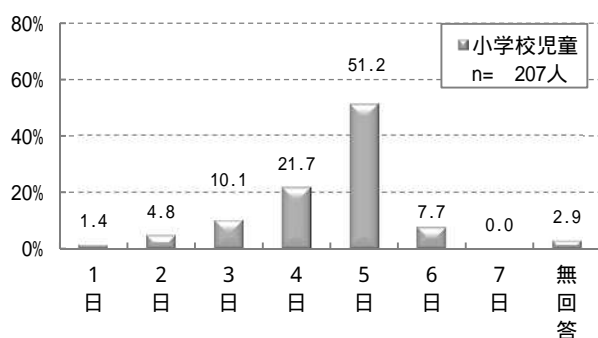
現在の児童クラブの利用日数は「5日」(51.2%)が最も多く、次いで「4日」(21.7%)となっています。

平日の利用開始時間は「15時台」(64.7%)、利用終了時間は「17時台」(43.0%)が最も多くなっています。

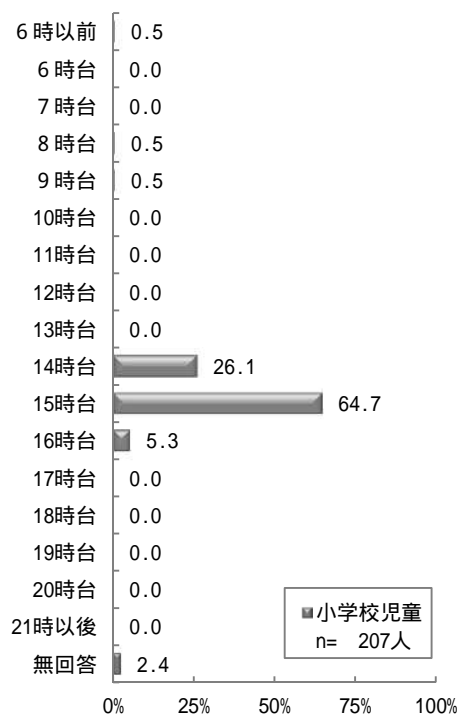
[問 41] 現在の児童クラブの利用の有無



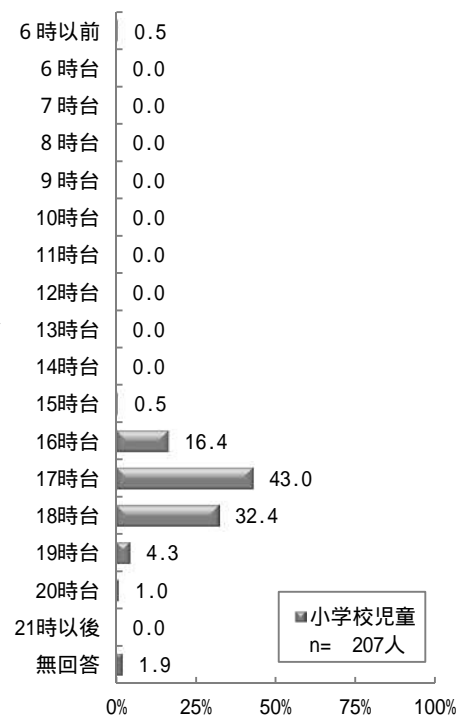
[問 41-1] 現在の児童クラブの利用日数と土曜日の利用の有無



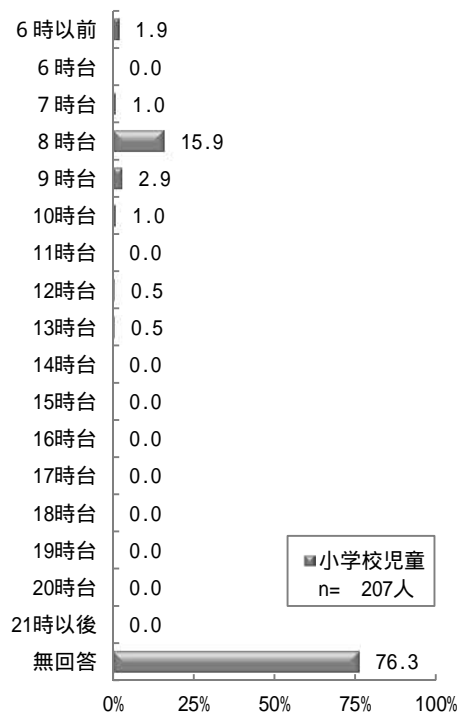
[問 40-1] 平日の利用開始時間



[問 41-1] 平日の利用終了時間



[問 40-1] 土曜日の利用開始時間



[問 41-1] 土曜日の利用終了時間

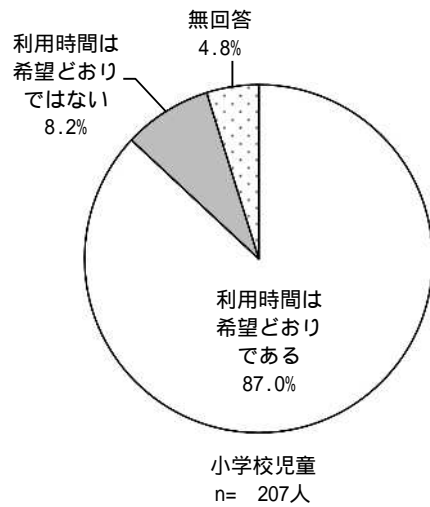


[問 41-2] 問 41 で「1.利用している」と回答した方におたずねします。利用時間は希望に沿っていますか。希望どおりではない場合、希望時間をお答えください。

現在の児童クラブの利用時間について「利用時間は希望どおりである」(87.0%) となっています。

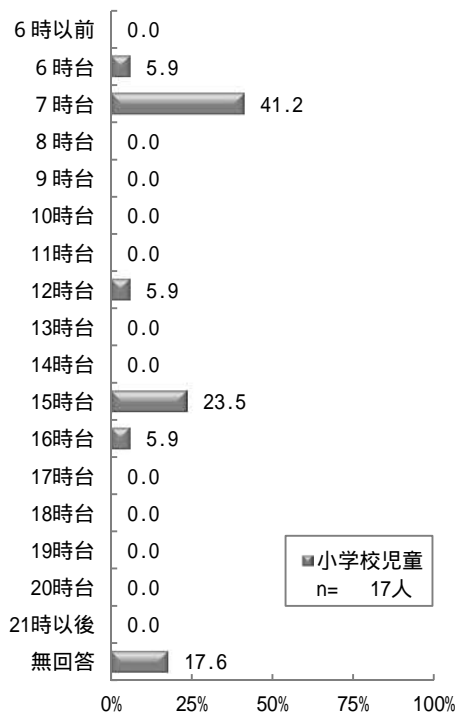
利用時間は希望どおりでない人の平日の希望利用開始時間は「7時台」(41.2%) 希望利用終了時間は「18時台」「19時台」が(各29.4%)となっています。

[問 41-2] 現在の児童クラブの利用時間は希望どおりですか

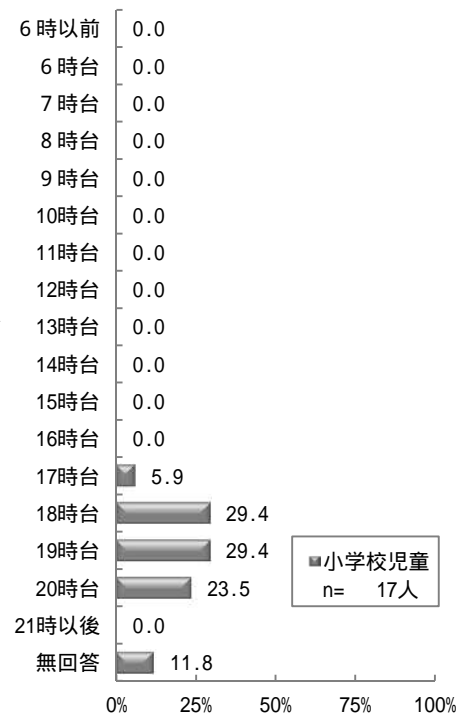


【利用時間は希望どおりでない人】

[問 41-2] 平日の希望利用開始時間



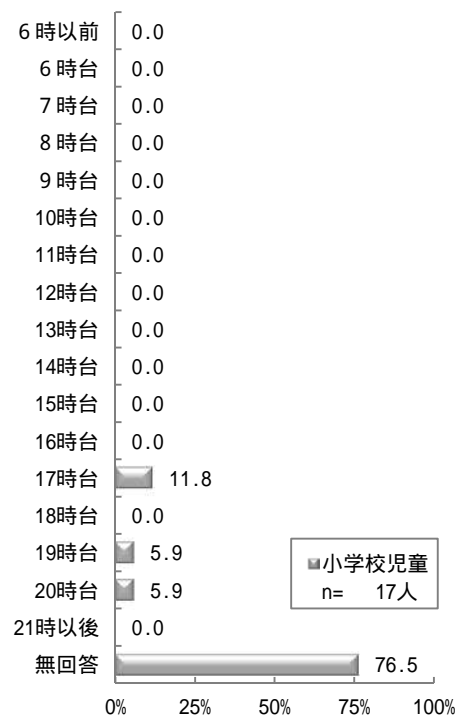
[問 41-2] 平日の希望利用終了時間



[問 41-2] 土曜日の希望利用開始時間



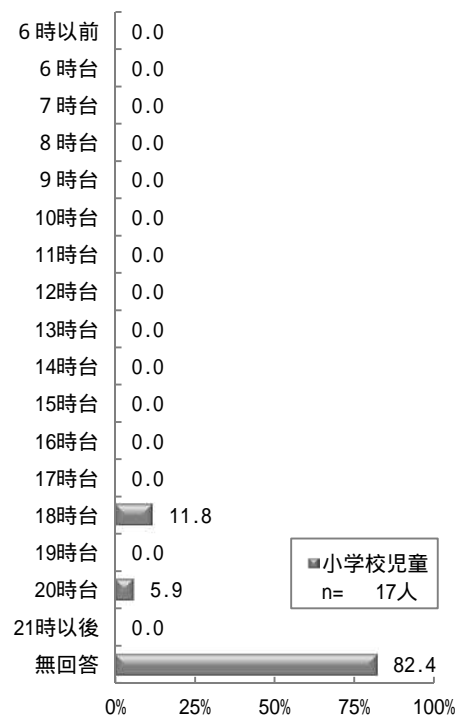
[問 41-2] 土曜日の希望利用終了時間



[問 41-2] 日曜・祝日の希望利用開始時間



[問 41-2] 日曜・祝日の希望利用終了時間



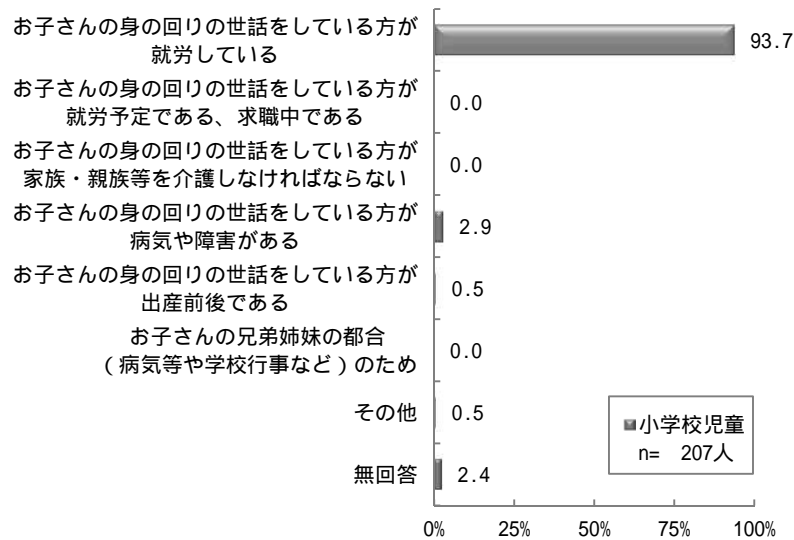
[問 41-3] 問 41 で「1.利用している」と回答した方におたずねします。利用の主な理由はなんですか。

[問 41-4] 問 41 で「1.利用している」と回答した方におたずねします。現在利用している児童クラブについて、どのようにお感じですか。

児童クラブ利用の主な理由は「お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している」(93.7%)が最も多くなっています。

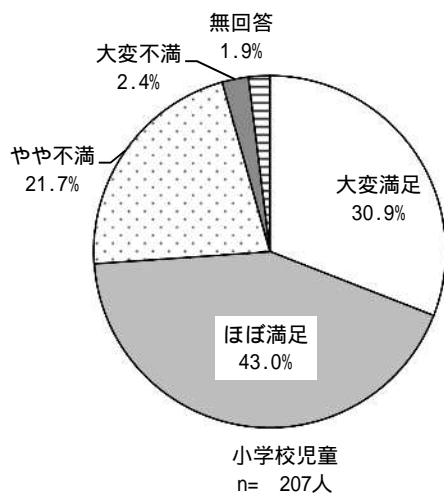
現在利用中の児童クラブの満足度は「大変満足」「ほぼ満足」をあわせると『病気・けがの時の対応』(29.5%)(54.1%)が最も多く、次いで『安全・衛生対策』(28.0%)(53.6%)となっています。また、「大変不満」「やや不満」をあわせると『施設・環境』(2.4%)(21.7%)が最も多く、次いで『子どもの過ごし方』(2.4%)(19.3%)となっています。

[問 41-3] 児童クラブ利用の主な理由

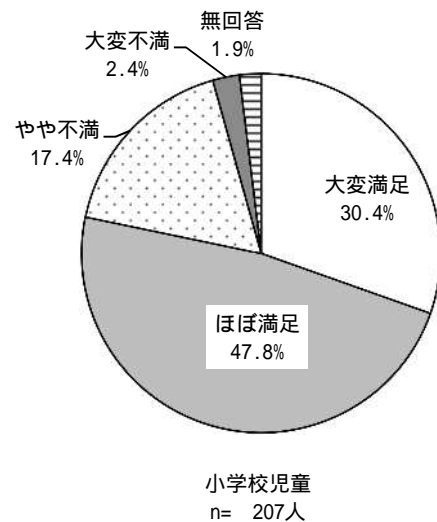


[問 41-4] 現在利用中の児童クラブの満足度

ア.施設・環境

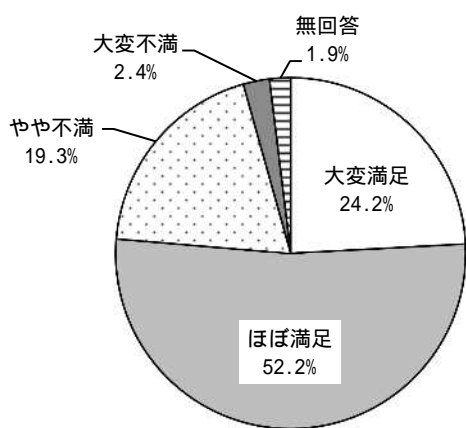


イ.指導員の配置状況や子どもへの接し方



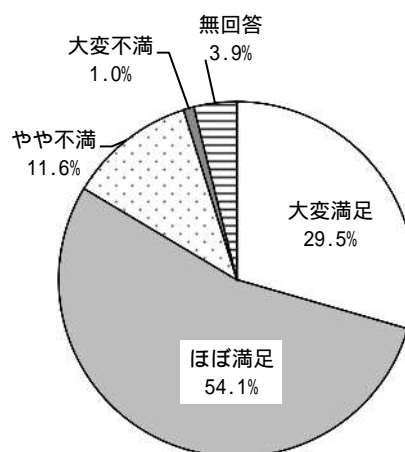


ウ. 子どもの過ごし方



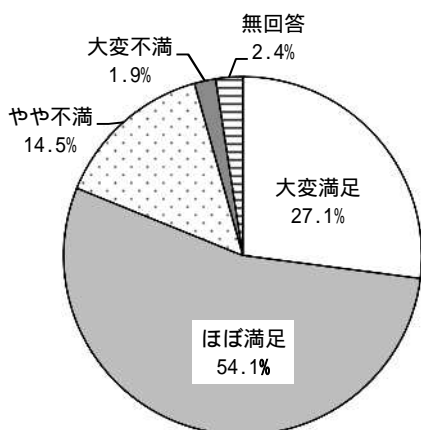
小学校児童  
n= 207人

エ. 病気、けがの時の対応



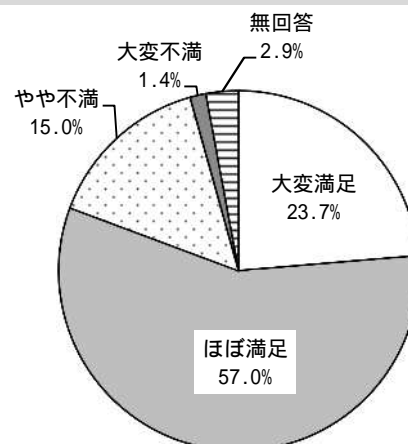
小学校児童  
n= 207人

オ. 保護者への情報提供



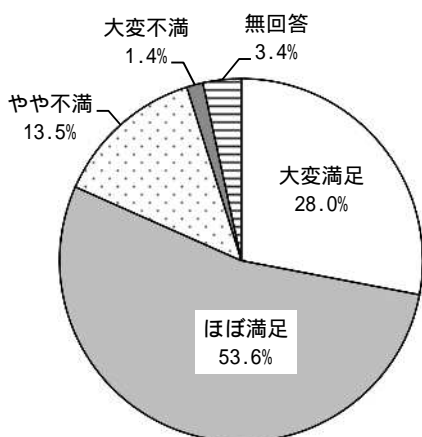
小学校児童  
n= 207人

カ. 保護者からの要望・意見への対応



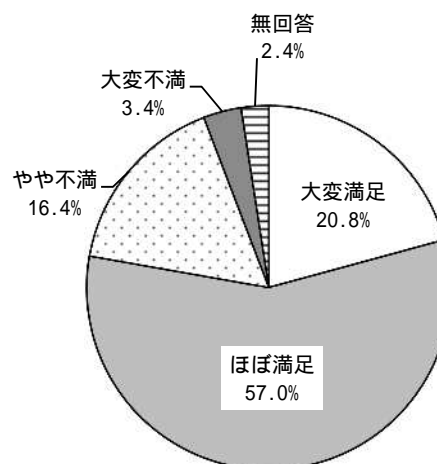
小学校児童  
n= 207人

キ. 安全・衛生対策



小学校児童  
n= 207人

ク. 利用料金



小学校児童  
n= 207人

[問 41-5] 問 41 で「2 .利用していない」と回答した方におたずねします。その主な理由は何ですか。

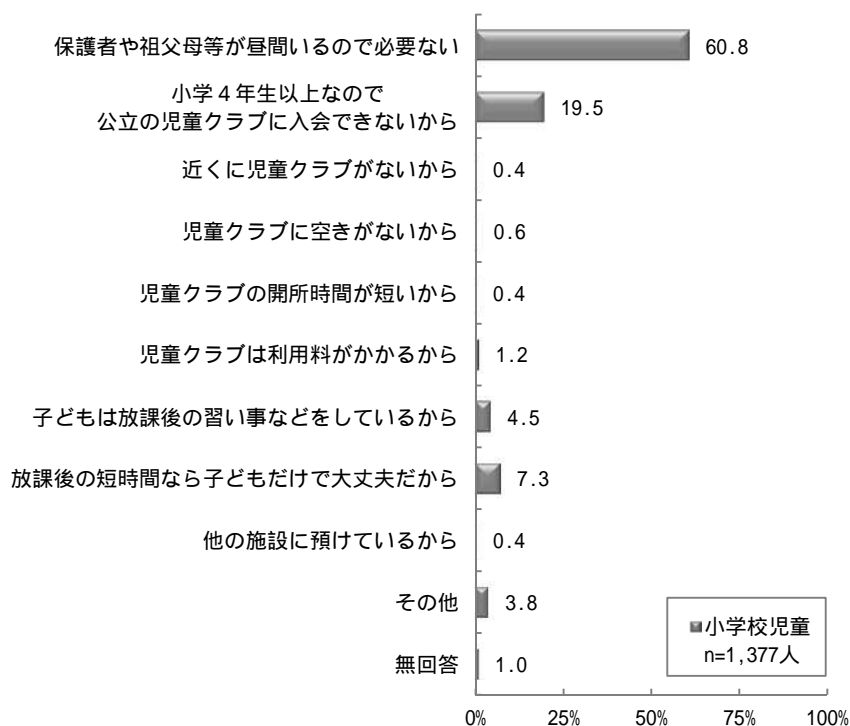
[問 41-6] 問 41 で「2 .利用していない」と回答した方で、小学校 1 年生～ 3 年生の保護者の方におたずねします。小学校 3 年生までの間に、宛名のお子さんについて、児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい場合は、その日数を記入し、土・日曜日の利用希望についてお答えください。

児童クラブを利用しない主な理由は「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」(60.8%) が最も多く、次いで「小学 4 年生以上なので公立の児童クラブに入会できないから」(19.5%) となっています。

児童クラブを利用していない人の小学校 3 年生までの利用希望は「利用したい」(3.7%) となっています。また、利用希望日数は「3 日」(31.4%) が最も多くなっています。

土曜日、日曜日・祝日の利用希望は「ある」(土曜日 29.4%、日曜日・祝日 7.8%) となっています。

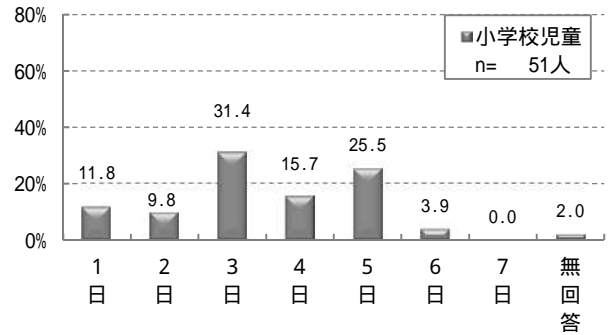
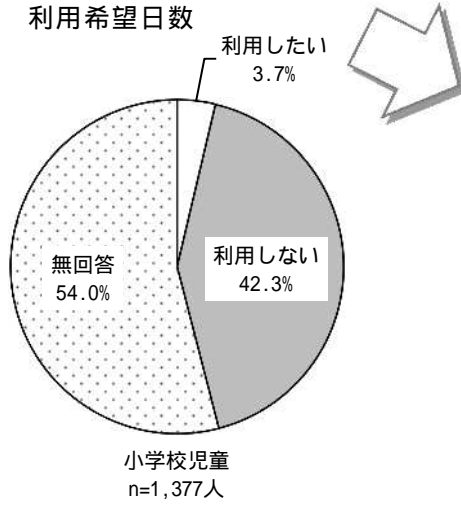
[問 41-5] 児童クラブを利用しない主な理由



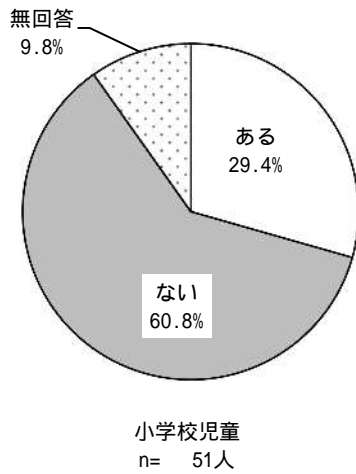
【児童クラブを利用していない人】

[問 41-6] 小学校3年生までの間の児童クラブの利用希望の有無

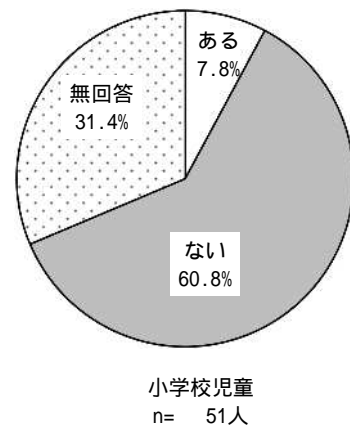
[問 41-6] 利用希望日数



土曜日の利用希望



日曜日・祝日の利用希望

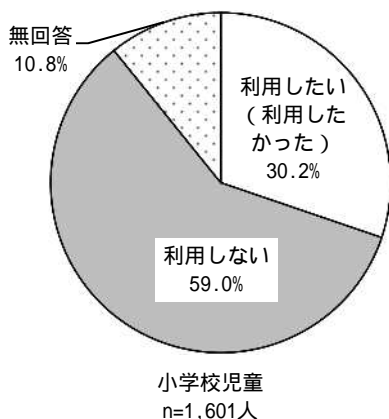


[問 42] 児童クラブの小学校4年生以上の利用希望についてお答えください。(平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間)

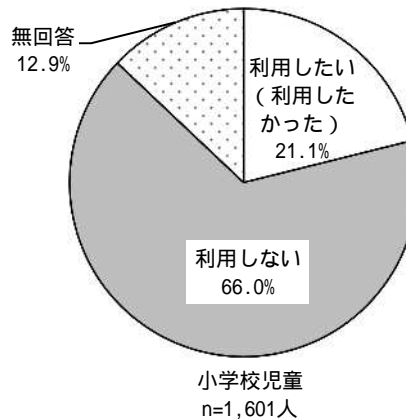
平日の高学年の児童クラブの利用希望では「利用したい(利用したかった)」(4年生の時 30.2%、5年生の時 21.1%、6年生の時 19.2%)となっています。

[問 42.(1)] 高学年の児童クラブの利用希望の有無(平日)

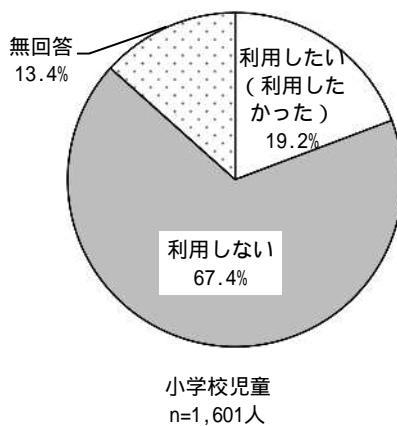
4年生の時の希望



5年生の時の希望

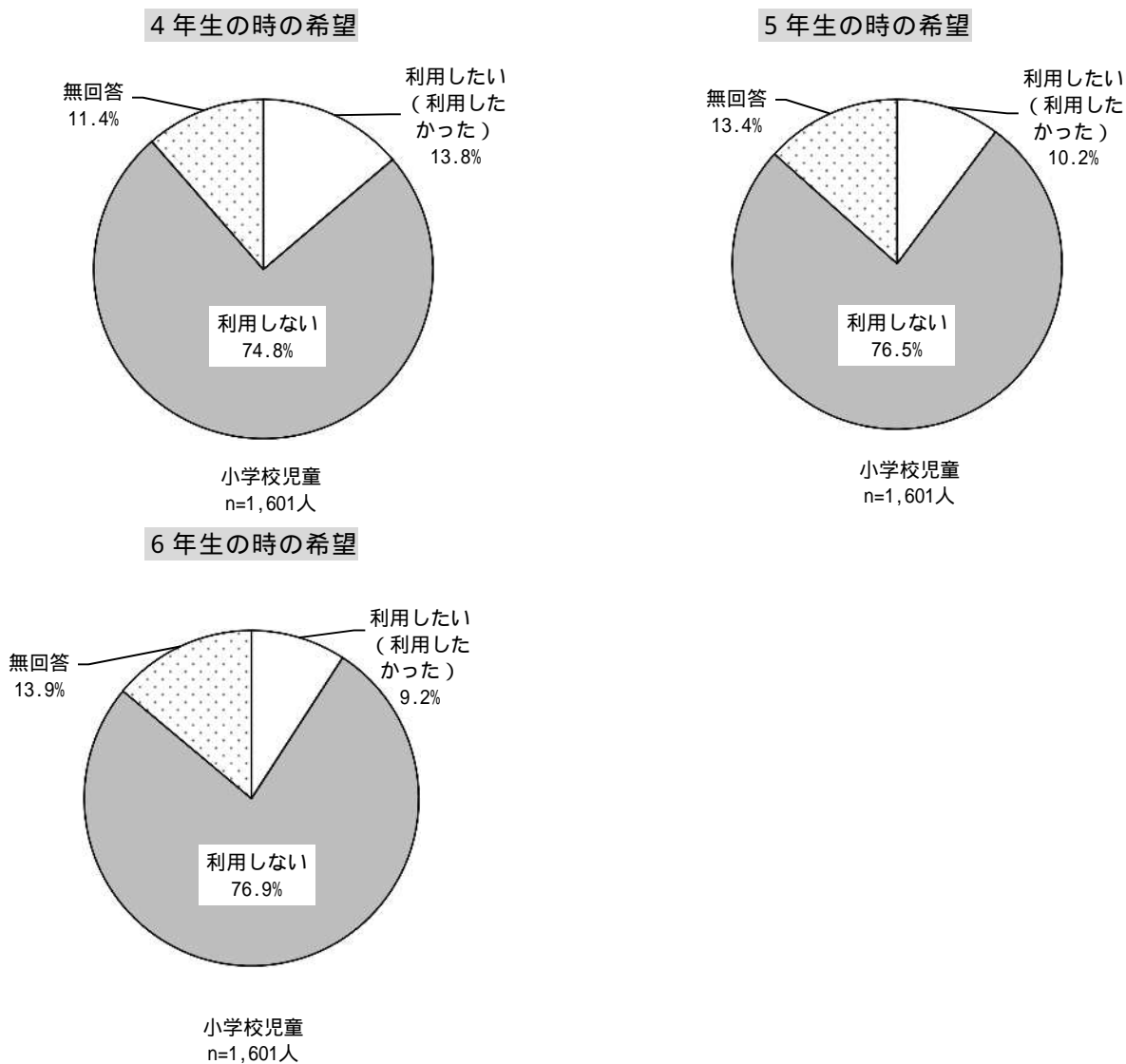


6年生の時の希望



土曜日の高学年の児童クラブの利用希望では「利用したい(利用したかった)」(4年生の時 13.8%、5年生の時 10.2%、6年生の時 9.2%)となっています。

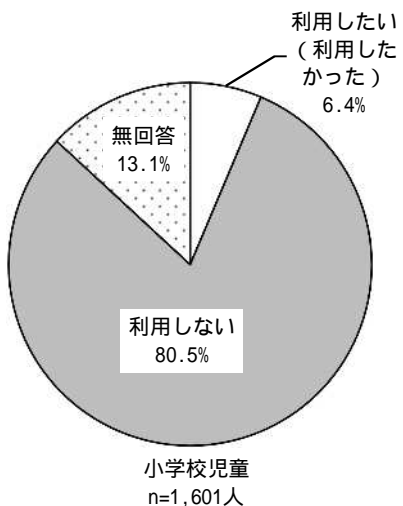
[問 42.(2)] 高学年の児童クラブの利用希望の有無(土曜日)



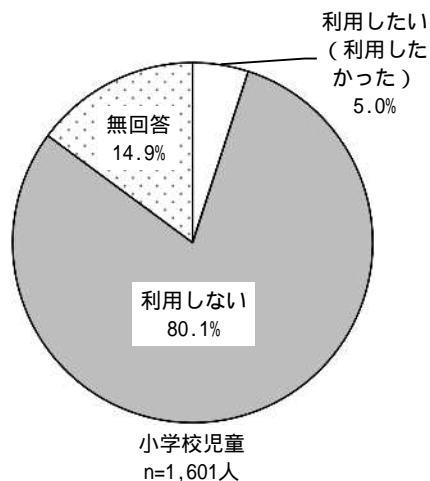
日曜日・祝日の高学年の児童クラブの利用希望では「利用したい(利用したかった)」(4年生の時 6.4%、5年生の時 5.0%、6年生の時 4.9%)となっています。

[問 42.(3)] 高学年の児童クラブの利用希望の有無(日曜日・祝日)

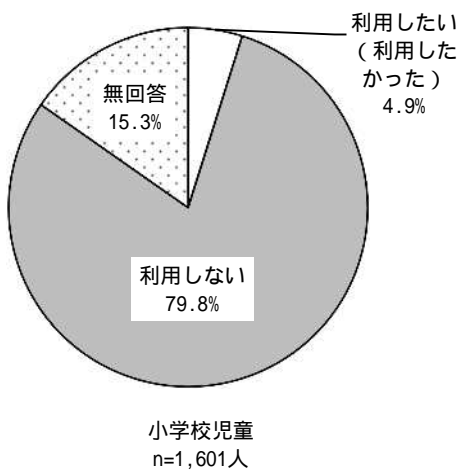
4年生の時の希望



5年生の時の希望



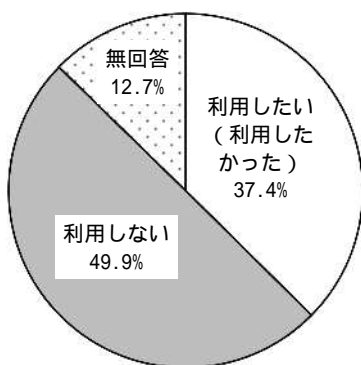
6年生の時の希望



長期休暇期間の高学年の児童クラブの利用希望では「利用したい（利用したかった）」（4年生の時 37.4%、5年生の時 31.0%、6年生の時 29.3%）と土曜日、日曜日・祝日の利用希望より高くなっています。

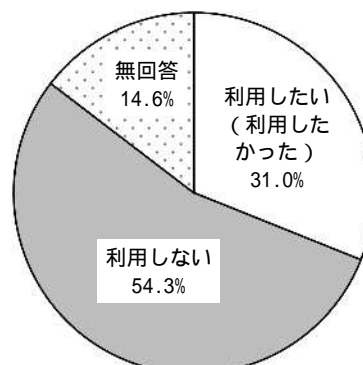
[問 42.(4)] 高学年の児童クラブの利用希望の有無（長期休暇期間）

4年生の時の希望



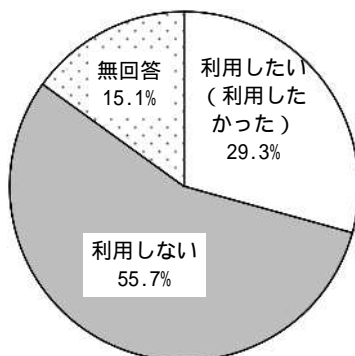
小学校児童  
n=1,601人

5年生の時の希望



小学校児童  
n=1,601人

6年生の時の希望

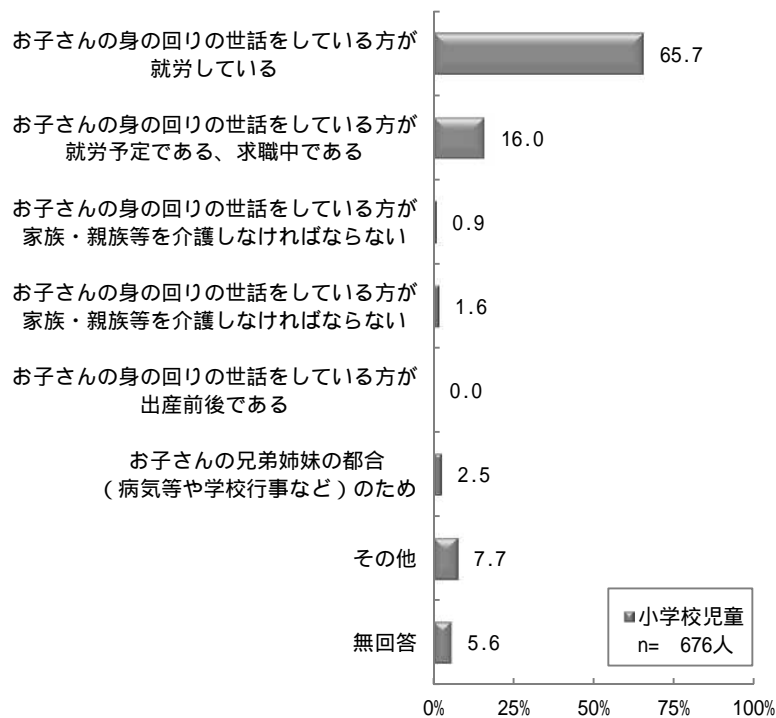


小学校児童  
n=1,601人

[問 42-1] 問 42 で「1.利用したい(利用しなかった)」と回答した方におたずねします。今後、利用したい主な理由は何ですか。

高学年に児童クラブを利用したい人の主な理由は「お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している」(65.7%)が最も多く、次いで「お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定である、求職中である」(16.0%)となっています。

[問 42-1] 高学年時に児童クラブ利用希望の人の主な利用希望理由





## 9 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用希望

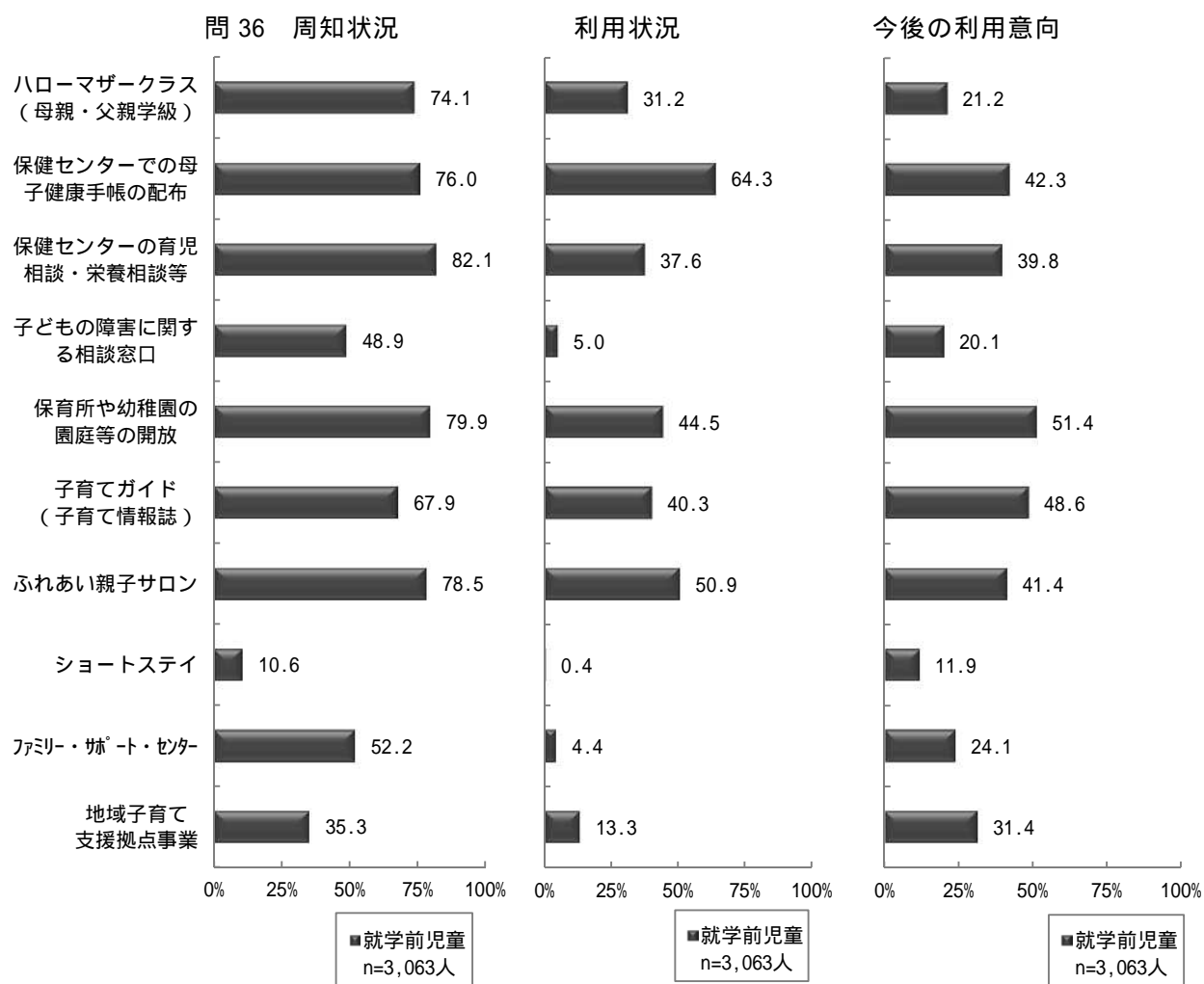
問 36 子育て支援事業について、それぞれお答えください。

- A.知っているかどうか。
- B.これまでに利用したことがあるかどうか。利用したことがある場合、その満足度。
- C.今後利用したいかどうか。

子育て支援事業の周知度をみると「ショートステイ」が1割程度となっていますが、「保健センターの育児相談・栄養相談等」(82.1%)、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」(79.9%)、「ふれあい親子サロン」(78.5%)などは高くなっています。

利用状況では「保健センターでの母子健康手帳の配布」(64.3%)、「ふれあい親子サロン」(50.9%)、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」(44.5%)が高くなっています。

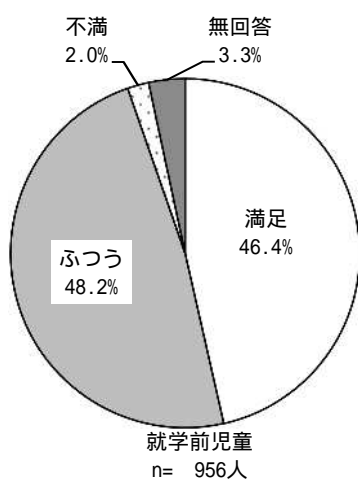
今後の利用意向では「保育所や幼稚園の園庭等の解放」(51.4%)、「子育てガイド(子育て情報誌)」(48.6%)などが高くなっています。



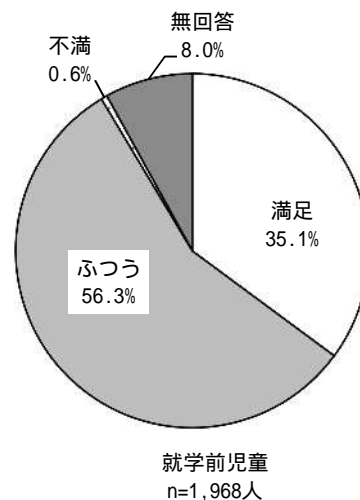
各事業の利用時の満足度では「満足」が高い事業は『保育所や幼稚園の園庭等の解放』（48.3%）、『ハローマザークラス』（46.4%）、『ふれあい親子サロン』（45.6%）となっています。また、「不満」が高い事業は『ファミリー・サポート・センター』（11.9%）、『子どもの障害に関する相談窓口』（8.6%）となっています。

問 36 各事業の利用時の満足度

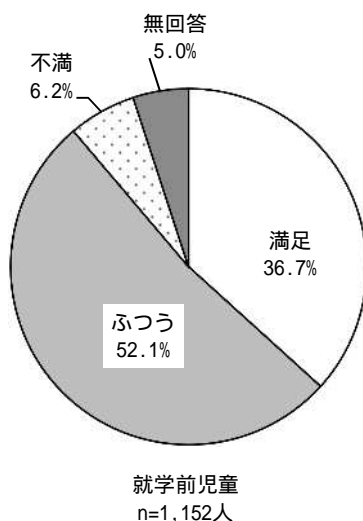
ハローマザークラス



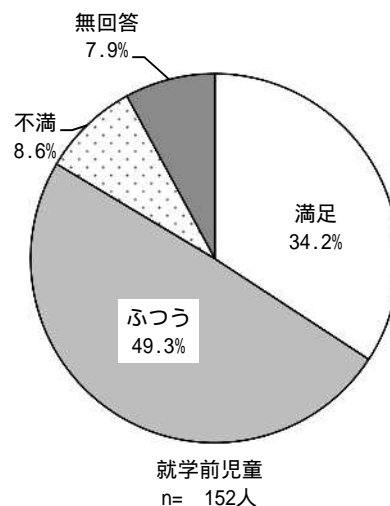
保健センターでの母子健康手帳の配布



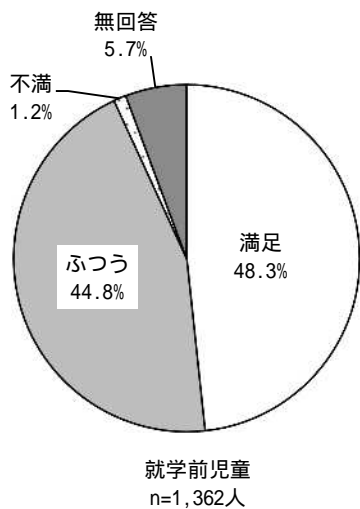
保健センターの育児相談・栄養相談等



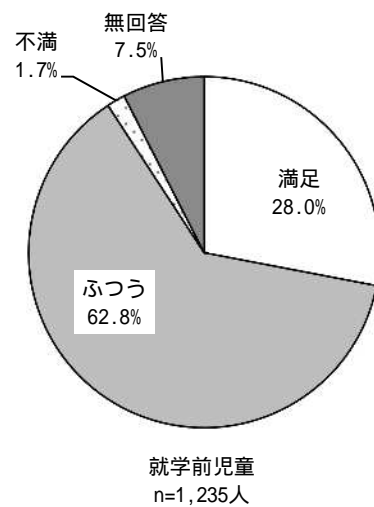
子どもの障害に関する相談窓口



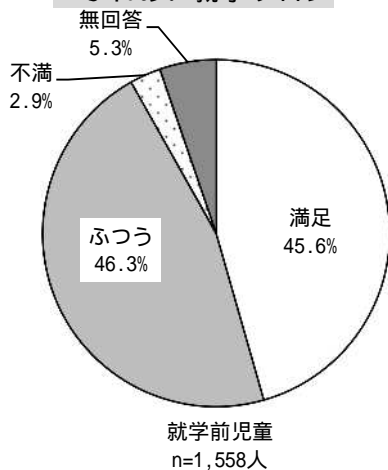
保育所や幼稚園の園庭等の開放



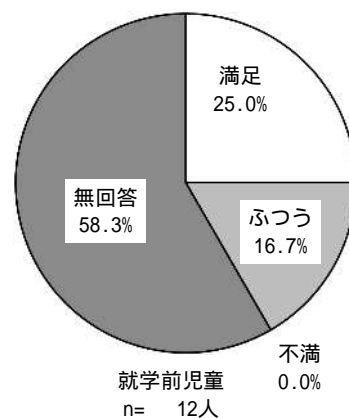
子育てガイド



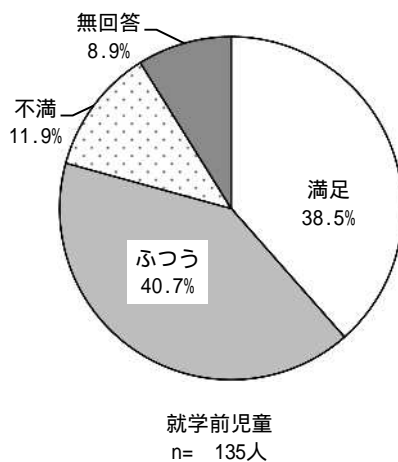
ふれあい親子サロン



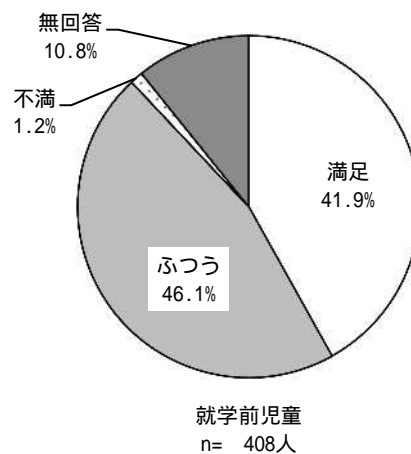
ショートステイ



ファミリー・サポート・センター



地域子育て支援拠点事業



## 10 育児休業制度の利用状況

問 41 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

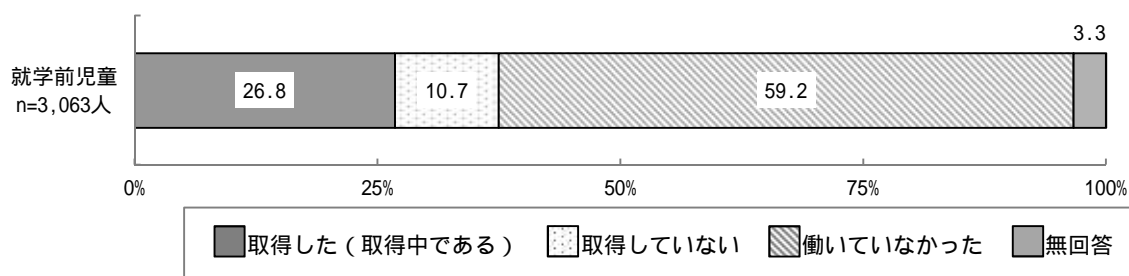
問 41-1 問 41 で「2.取得していない」と回答した方におたずねします。取得していない理由をお答えください。

育児休業制度の利用状況を見ると、母親は「取得した(取得中である)」(26.8%)に対して、父親は「取得した(取得中である)」(2.2%)となっています。

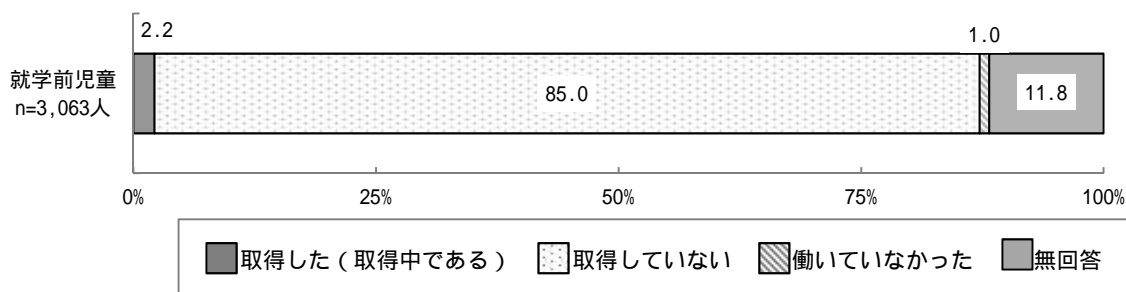
また、育児休業を利用しない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(41.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(21.4%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(21.1%)となっています。父親は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(39.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(34.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(31.6%)となっています。

問 41 育児休業制度の利用状況

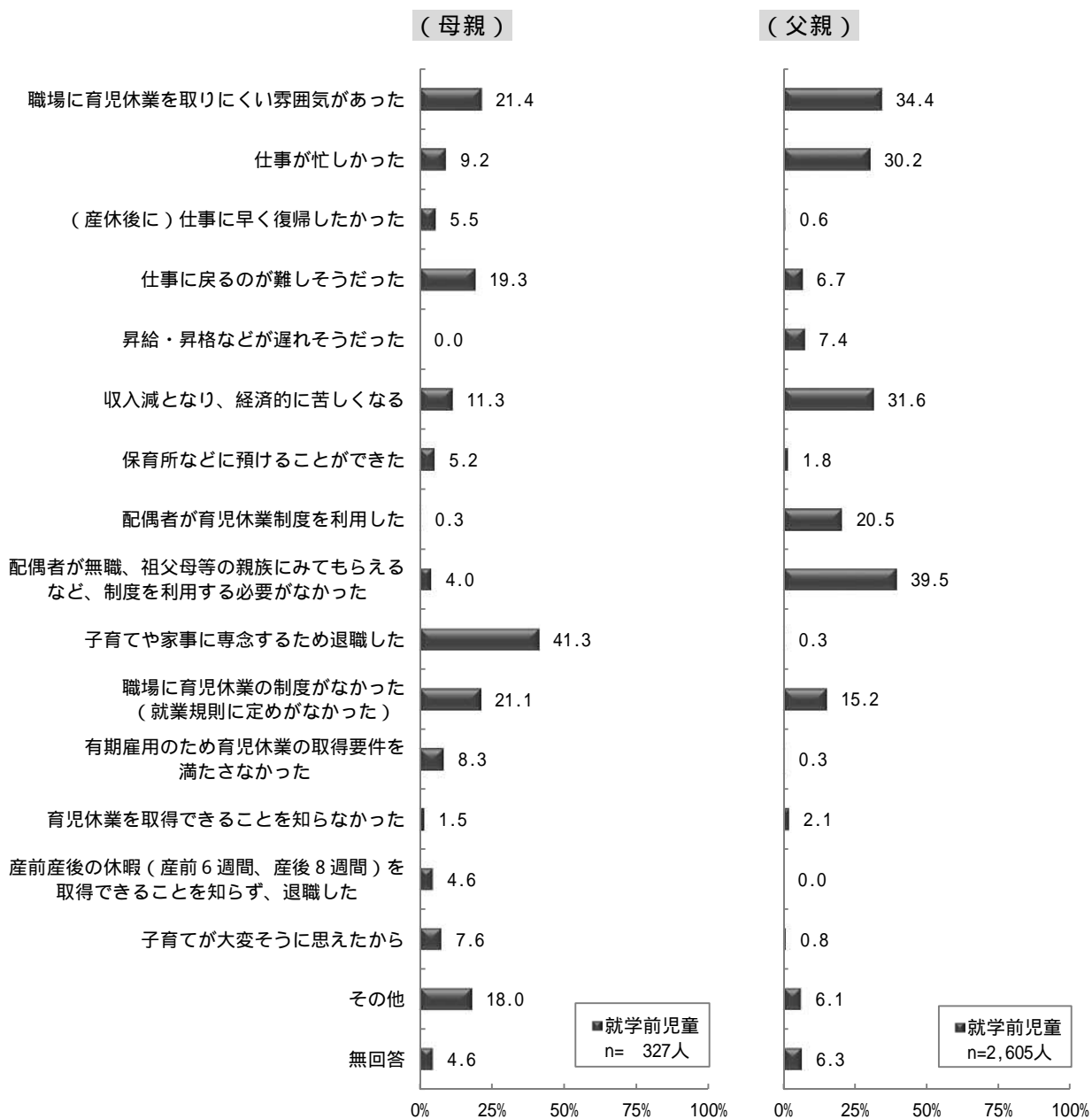
(母親)



(父親)



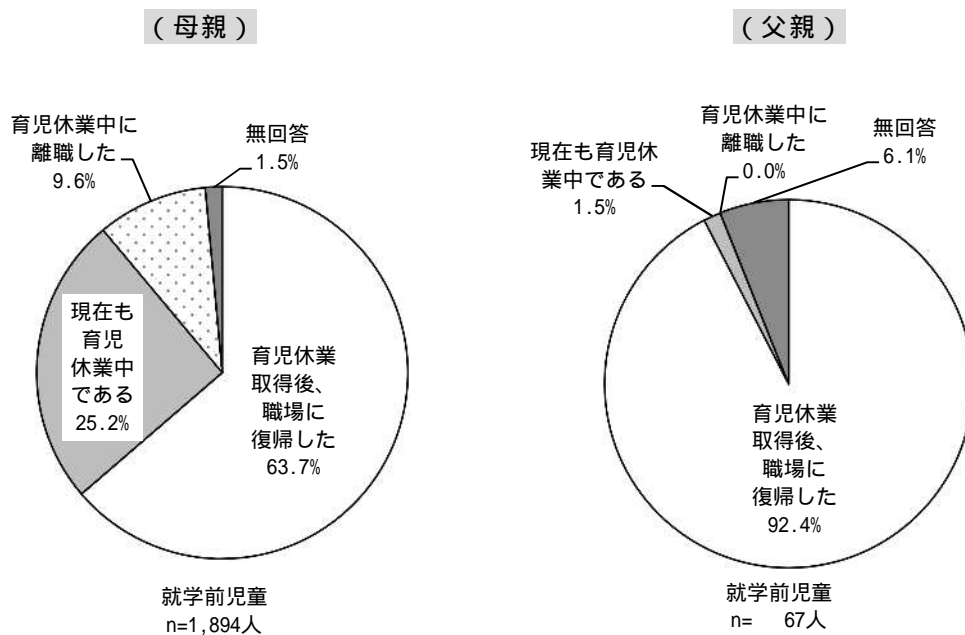
問 41.1 育児休業を利用しない理由



問 41-2 問 41 で「1.取得した(取得中である)」と回答した方におたずねします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

育児休業取得後の状況をみると、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(63.7%)、「現在も育児休業中である」(25.2%)、「育児休業中に離職した」(9.6%)となっています。父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」(92.4%)、「現在も育児休業中である」(1.5%)となっています。

問 41-2 育児休業後の状況



問 41-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

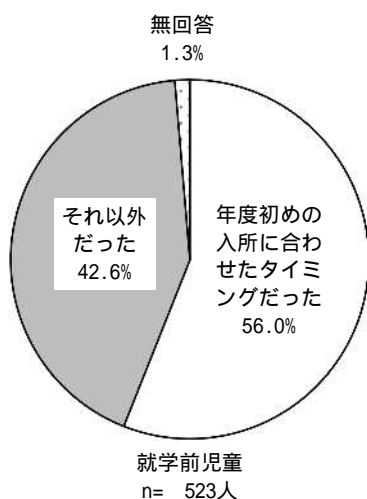
問 41-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(56.0%)、「それ以外だった」(42.6%)、父親は、「それ以外だった」(85.2%)となっています。

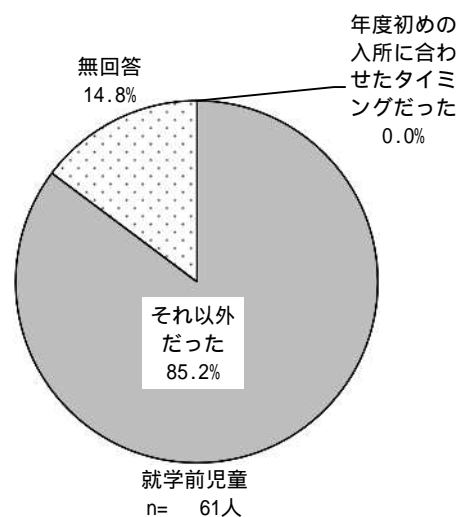
育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢をみると、母親は「10—12 か月」(36.9%)が最も多く、希望する月齢でも「10—12 か月」(42.3%)が最も多くなっています。父親は「1—3 か月」(39.3%)が最も多く、希望する月齢でも「1—3 か月」(34.4%)が最も多くなっています。

問 41-3 育児休業後に職場へ復帰した時期

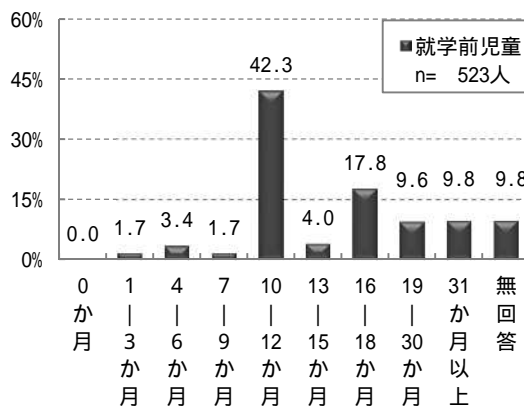
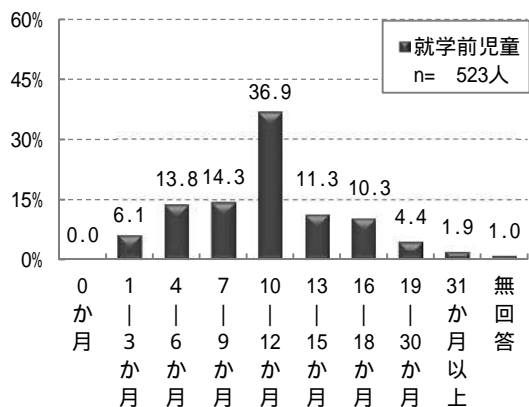
(母親)



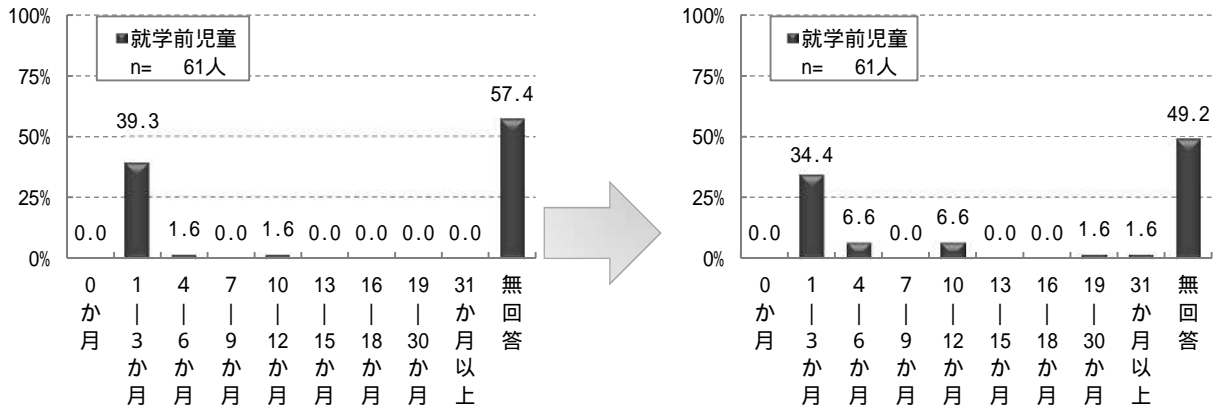
(父親)



問 41-4(1) 育児休業から復帰したときの子どもの月齢と取得希望月齢 (母親)



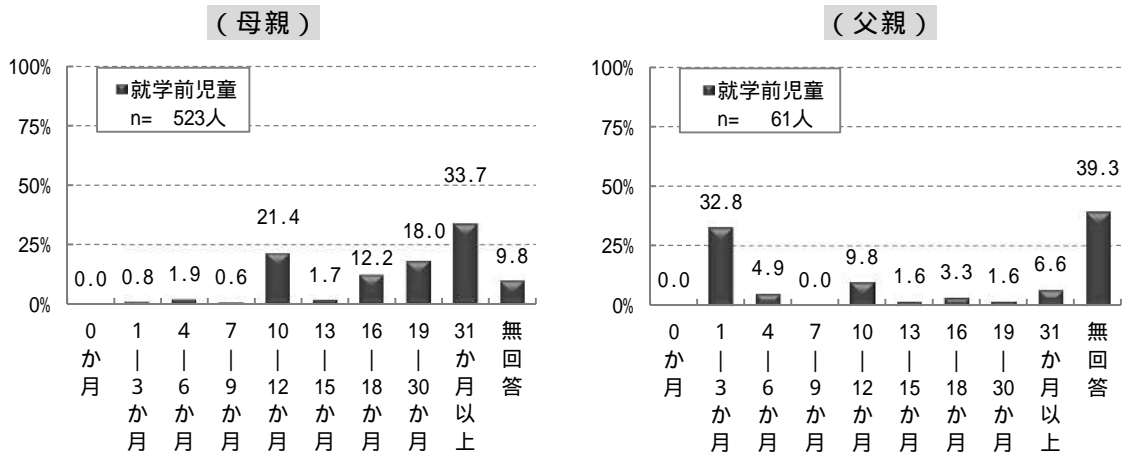
問 41-4(2) 育児休業から復帰したときの子どもの月齢と取得希望月齢（父親）



問 41-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

3歳までの育児休業制度があった場合の子どもの希望月齢について、母親は「31か月以上」(33.7%)が最も多く、父親は「1-3か月」(32.8%)が最も多くなっています。

問 41-5 3歳までの育児休業があった場合、子どもがいくつまで休暇取得したかったか。





問 41-6 問 41-4 で実際の復帰と希望が異なる方におたずねします。

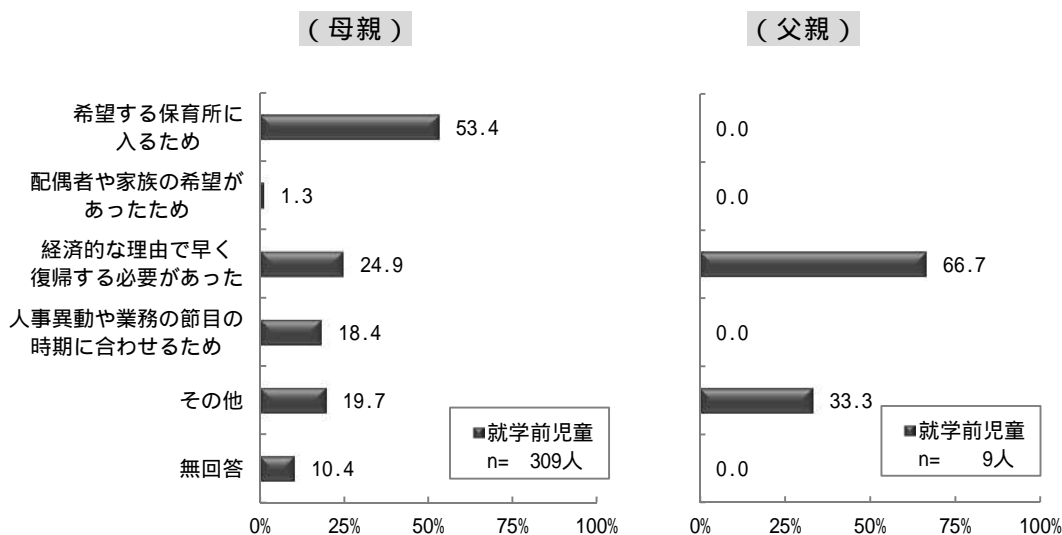
希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。

- (1) 「希望」より早く復帰した理由
- (2) 「希望」より遅く復帰した理由

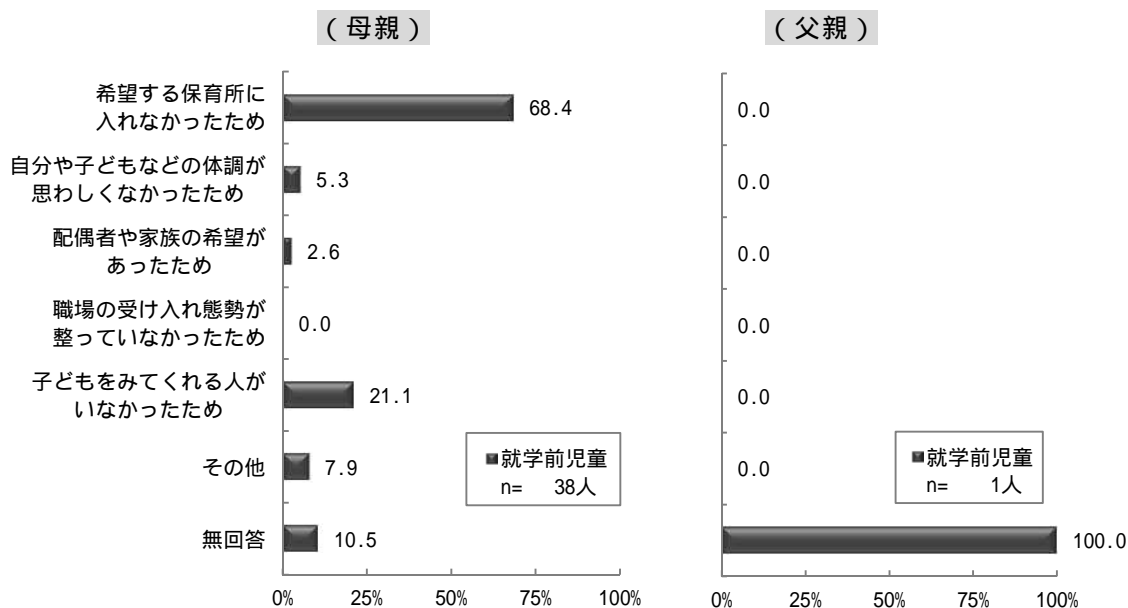
育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると母親は「希望する保育所に入るため」(53.4%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(24.9%)となっています。父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(66.7%)となっています。

育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると母親は「希望する保育所に入れなかったため」(68.4%)が最も多くなっています。

問 41-6(1) 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由



問 41-6(2) 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由



問 41-7 問 41-2 「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

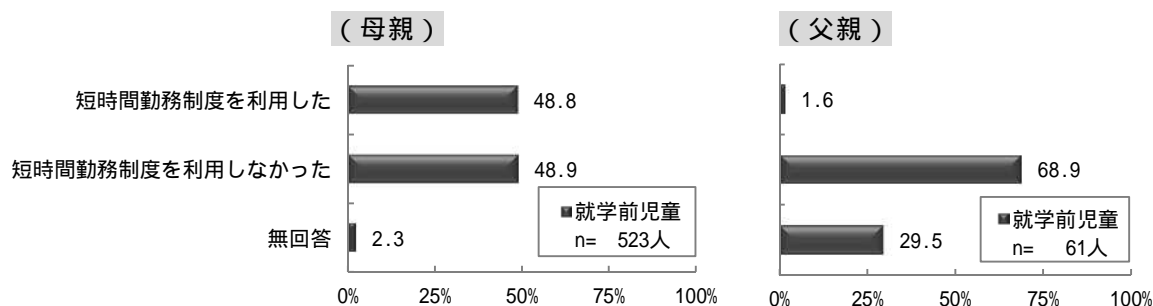
問 41-8 問 41-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方におたずねします。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

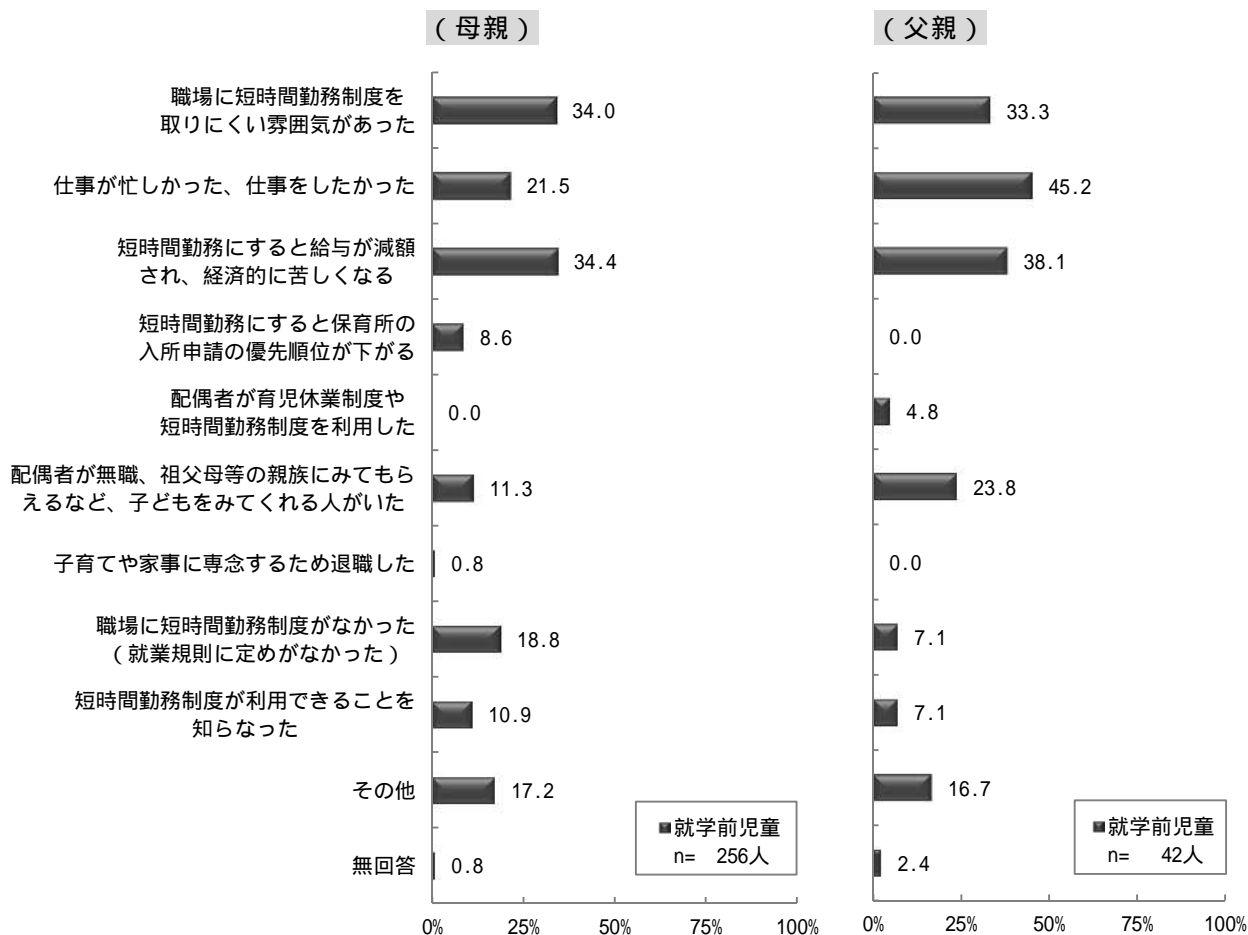
職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると母親は「短時間勤務制度を利用しなかった」(48.9%)、「短時間勤務制度を利用した」(48.8%)となっています。父親は「短時間勤務制度を利用しなかった」(68.9%)となっています。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由をみると、母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(34.4%)、父親は「仕事が忙しかった、仕事をしなかった」(45.2%)が最も多くなっています。

問 41-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問 41-8 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由

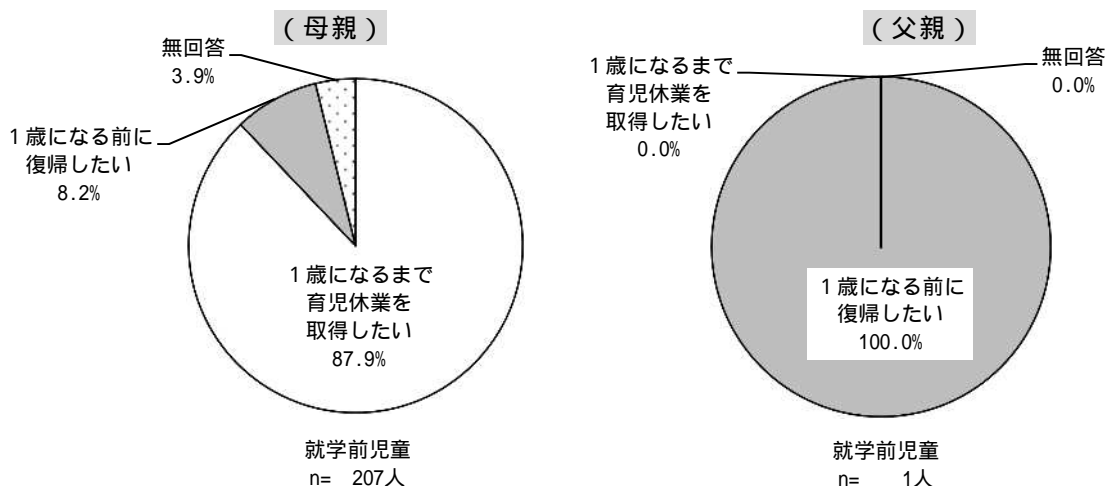


問 41-9 問 41-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方におたずねします。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」(87.9%)となっています。

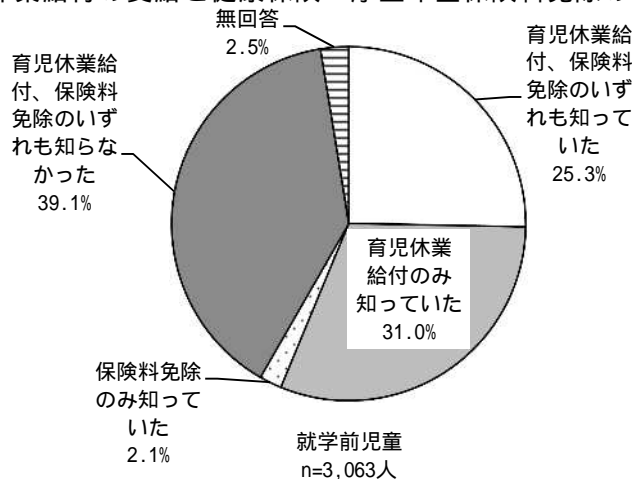
問 41-9 1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望



問 42 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が至急される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(39.1%)、「育児休業給付のみ知っていた」(31.0%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(25.3%)となっています。

問 42 育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みを知っている



## 11 市の取り組みについて

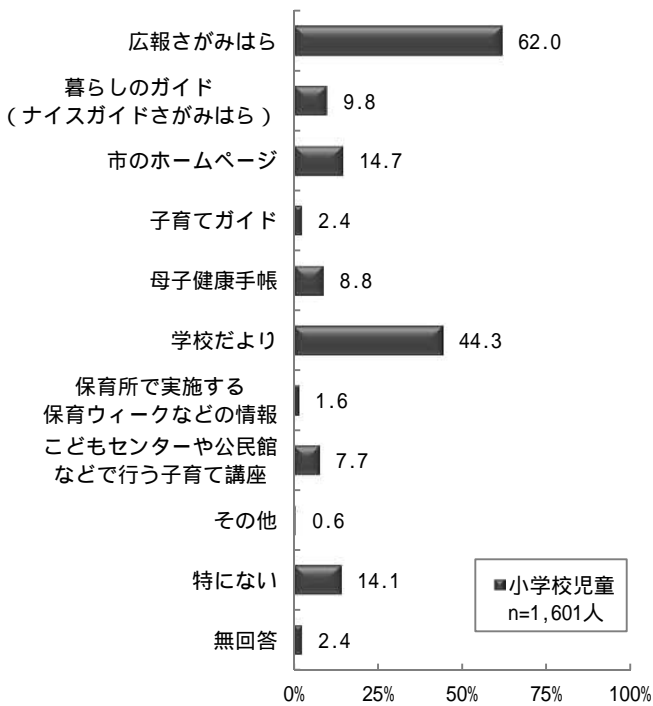
[問 43] 相模原市では、さまざまな形で子育てについての情報や学習機会を提供しています。最も良く使われるものをお答えください。

[問 44] 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることをお答えください。

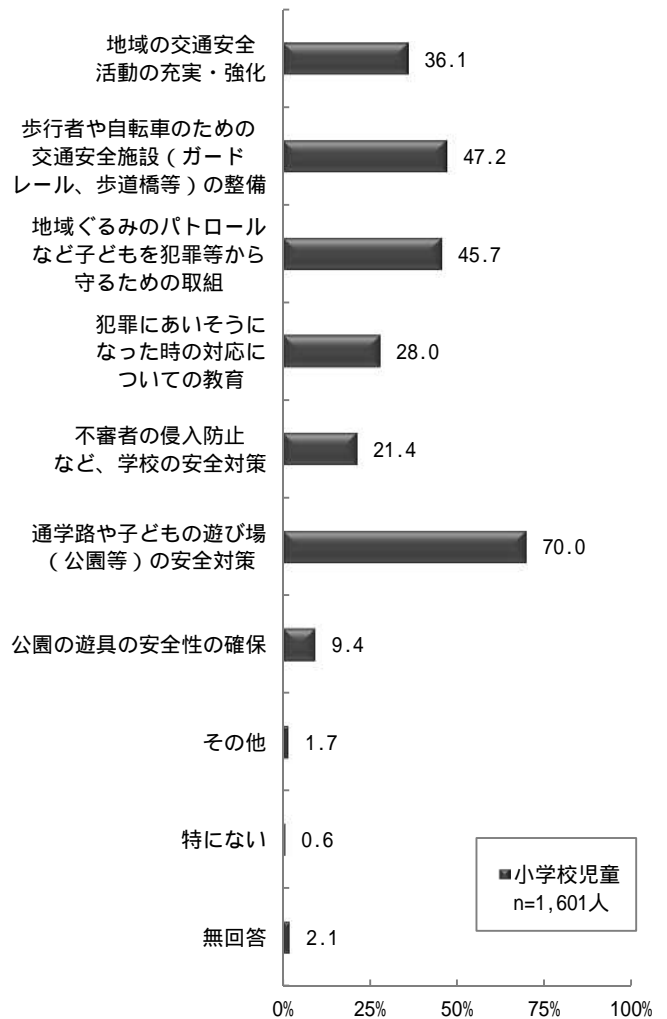
市提供の子育て情報・学習機会の利用について最も使われるものは「広報さがみはら」(62.0%)が最も多く、次いで「学校だより」(44.3%)となっています。

子どもの安全のために重要と思われることは「通学路や子どもの遊ぶ場(公園等)の安全対策(防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等)」(70.0%)が最も多く、次いで「歩行者や自動車のための交通安全施設(ガードレール、歩道橋等)の整備」(47.2%)、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取組」(45.7%)となっています。

[問 43] 市提供の子育て情報・学習機会の利用について



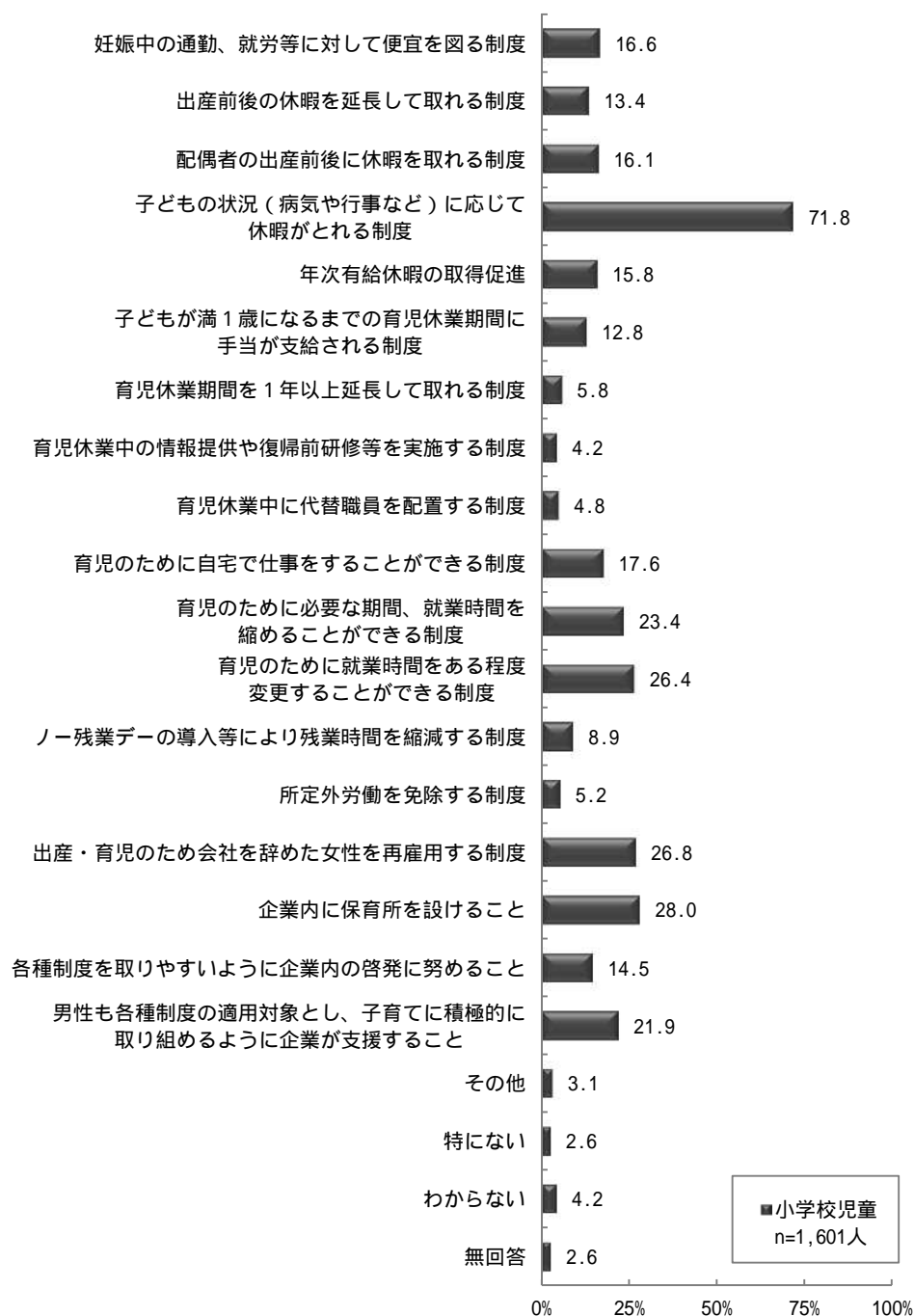
[問 44] 子どもの安全のために重要なこと



[問 45] 子育てと仕事の両立を図るためには、企業などに求める制度や取り組みはどのようなものが必要と考えられますか。

子育てと仕事の両立のために、企業に求める制度や取り組みについては「子どもの状況（病気や行事など）に応じて休暇がとれる制度」（71.8%）が最も多く、次いで「企業内に保育所を設けること」（28.0%）、「出産・育児のため会社を辞めた女性を再雇用する制度」（26.8%）となっています。

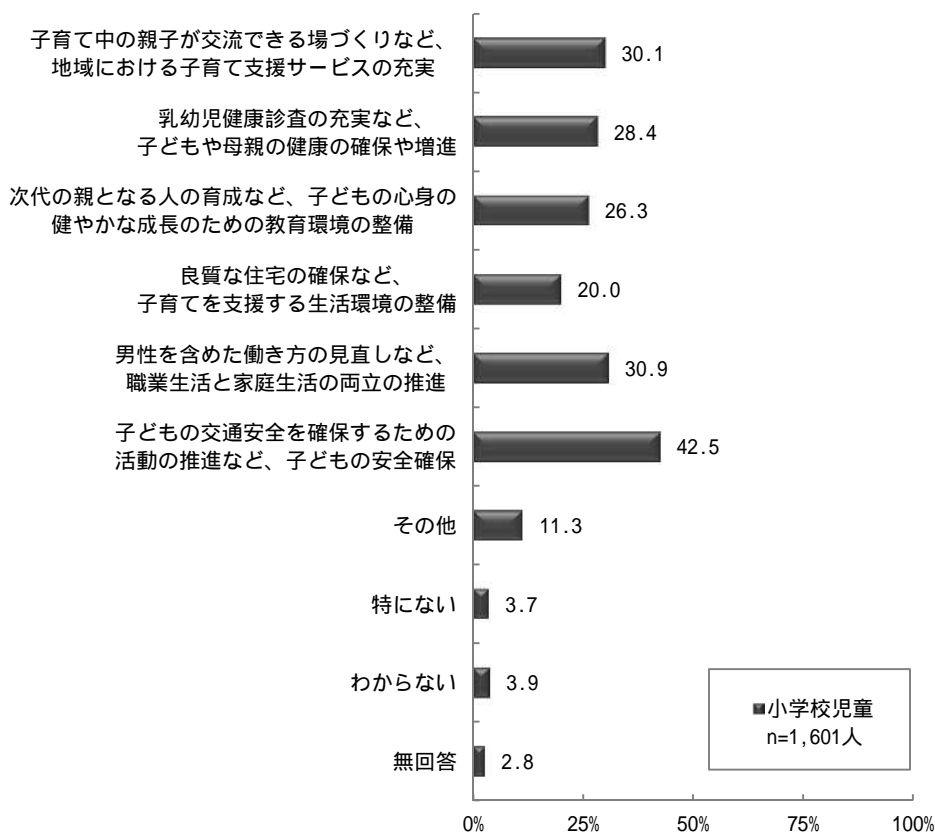
[問 45] 子育てと仕事の両立のために、企業に求める制度や取り組みについて



[問 46] 今後、市が行う子育て支援策として、どのような取り組みを望みますか。

市が行う子育て支援策についての希望は「子どもの交通安全を確保するための活動の推進など、子どもの安全確保」(42.5%)が最も多く、次いで「男性を含めた働き方の見直しなど、職業生活と家庭生活の両立の推進」(30.9%)、「子育て中の親子が交流できる場づくりなど、地域における子育て支援サービスの充実」(30.1%)となっています。

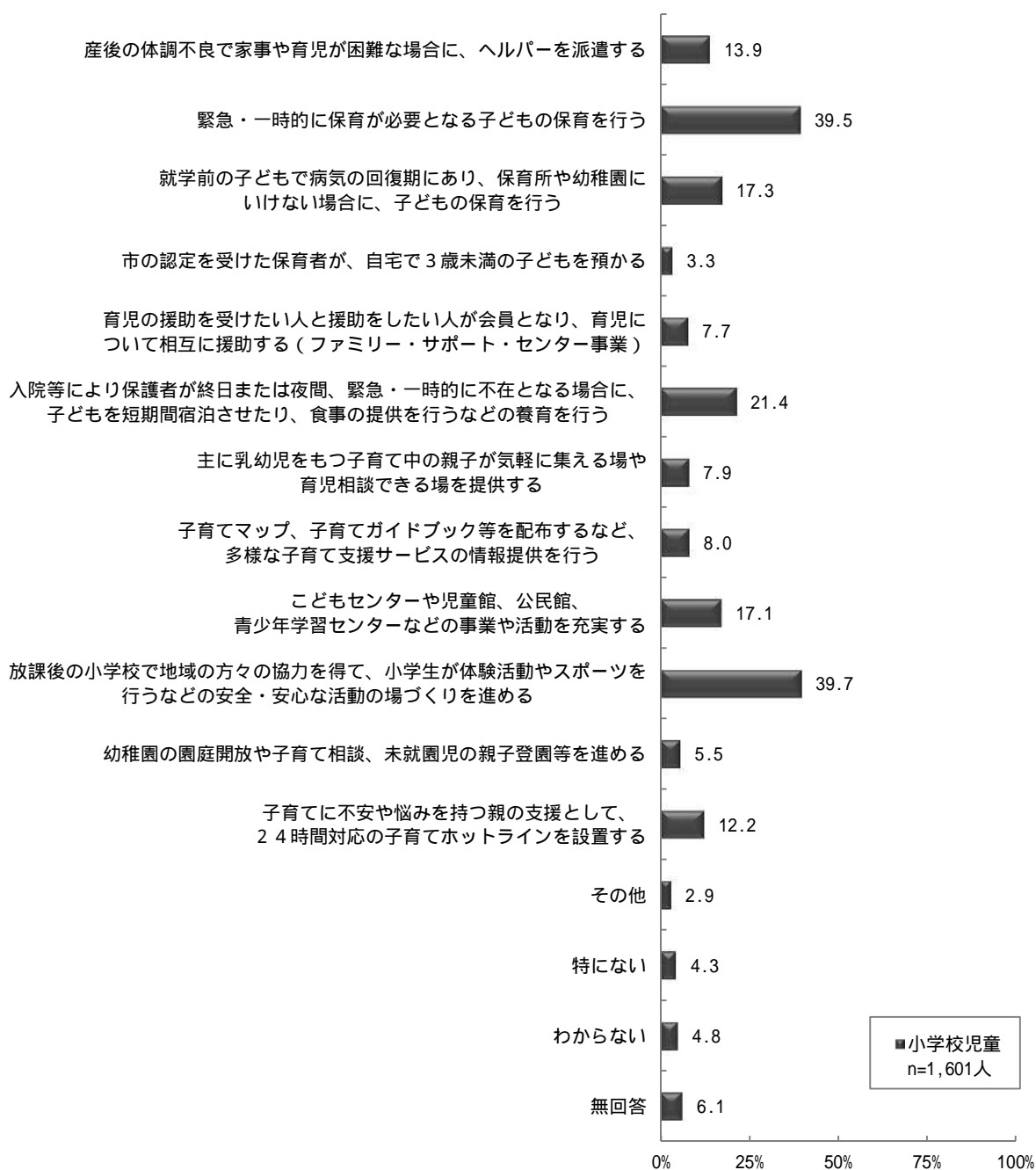
[問 46] 市が行う子育て支援策についての希望



[問 47] 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるものは何ですか。

地域における子育て支援サービスとして最も望むものは「放課後の小学校で地域の方々の協力を得て、小学生が体験活動やスポーツを行うなどの安全・安心な活動の場づくりを進める」(39.7%)が最も多く、次いで「緊急・一時的に保育が必要となる子どもの保育を行う」(39.5%)となっています。

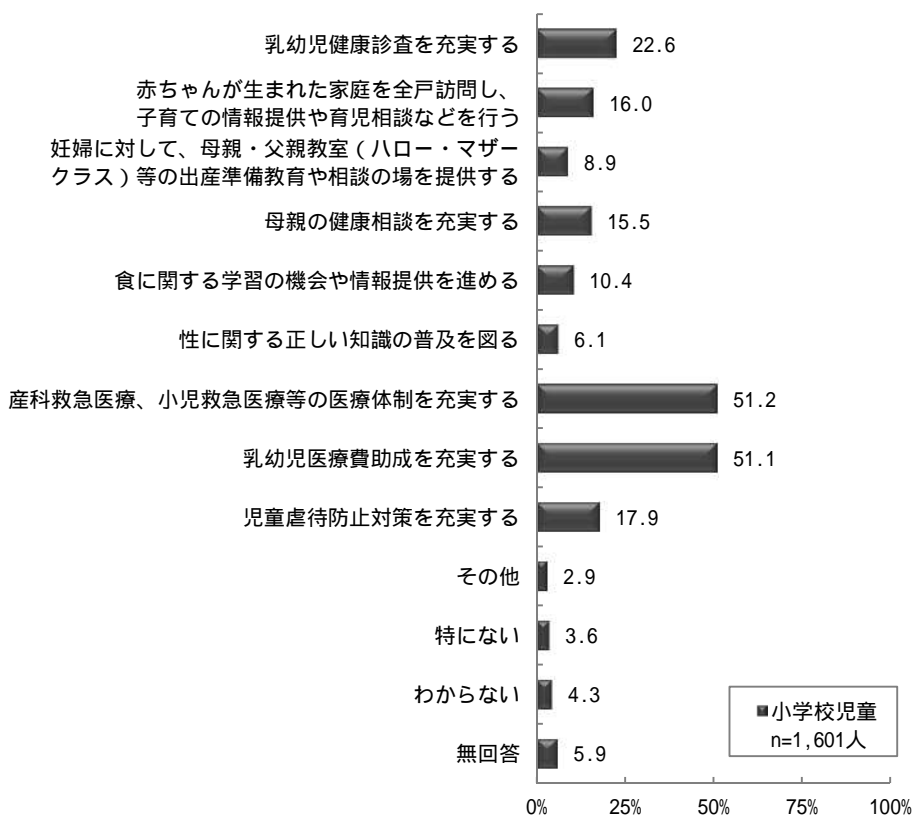
[問 47] 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるもの



[問 48] 「子どもや母親の健康の確保や増進」として最も望まれるものは何ですか。

子どもや母親の健康の確保や増進として最も望むものは「産科救急医療、小児救急医療等の医療体制を充実する」(51.2%)、「乳幼児医療費助成を充実する」(51.1%)となっています。

[問 48] 「子どもや母親の健康の確保や増進」として最も望まれるもの

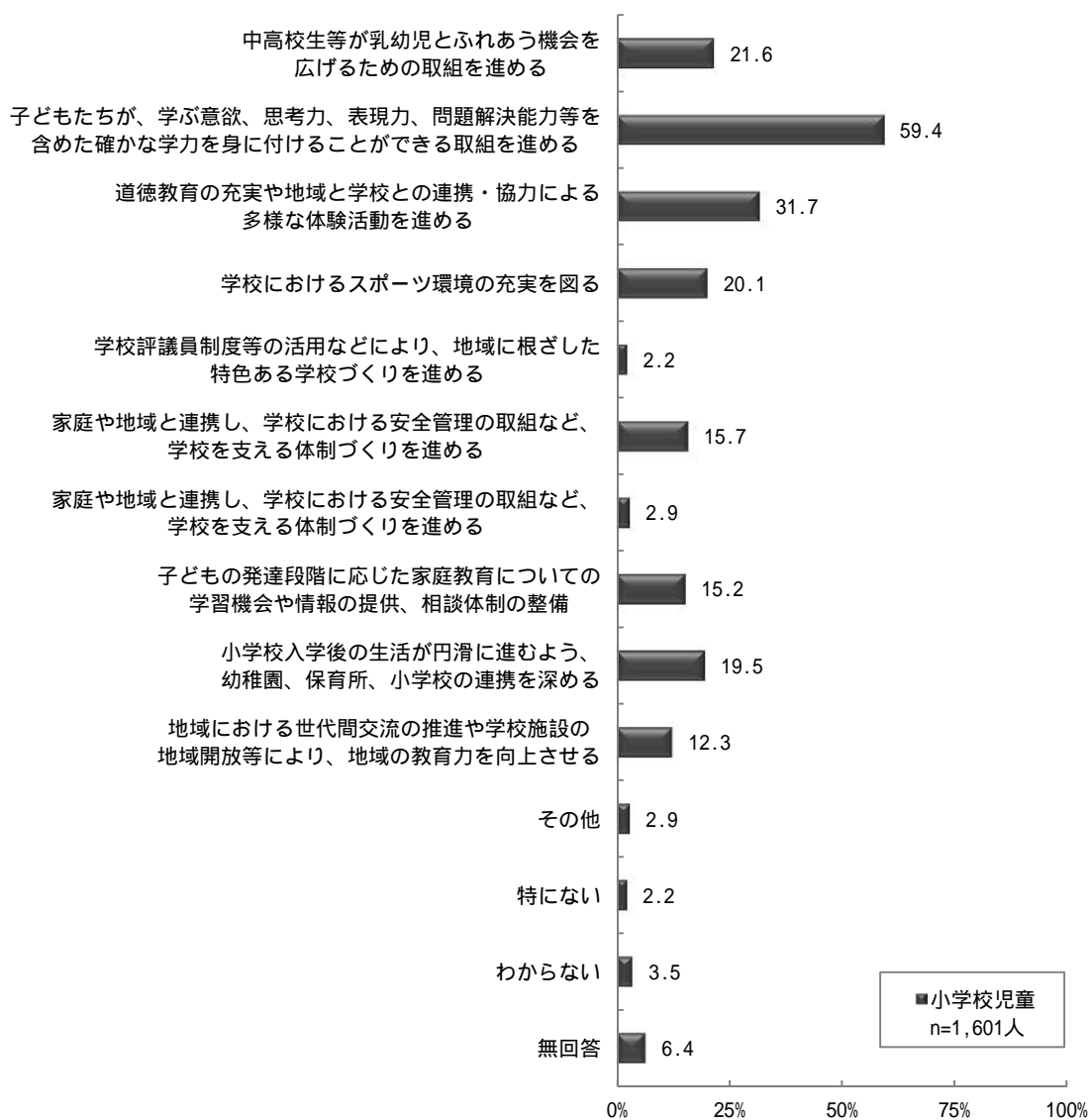




[問 49] 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。

子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備として最も望むものは「子どもたちが、学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等を含めた確かな学力を身に付けることができる取組を進める」(59.4%)が最も多く、次いで「道德教育の充実や地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を進める」(31.7%)、「中高校生等が乳幼児とふれあう機会を広げるための取組を進める」(21.6%)となっています。

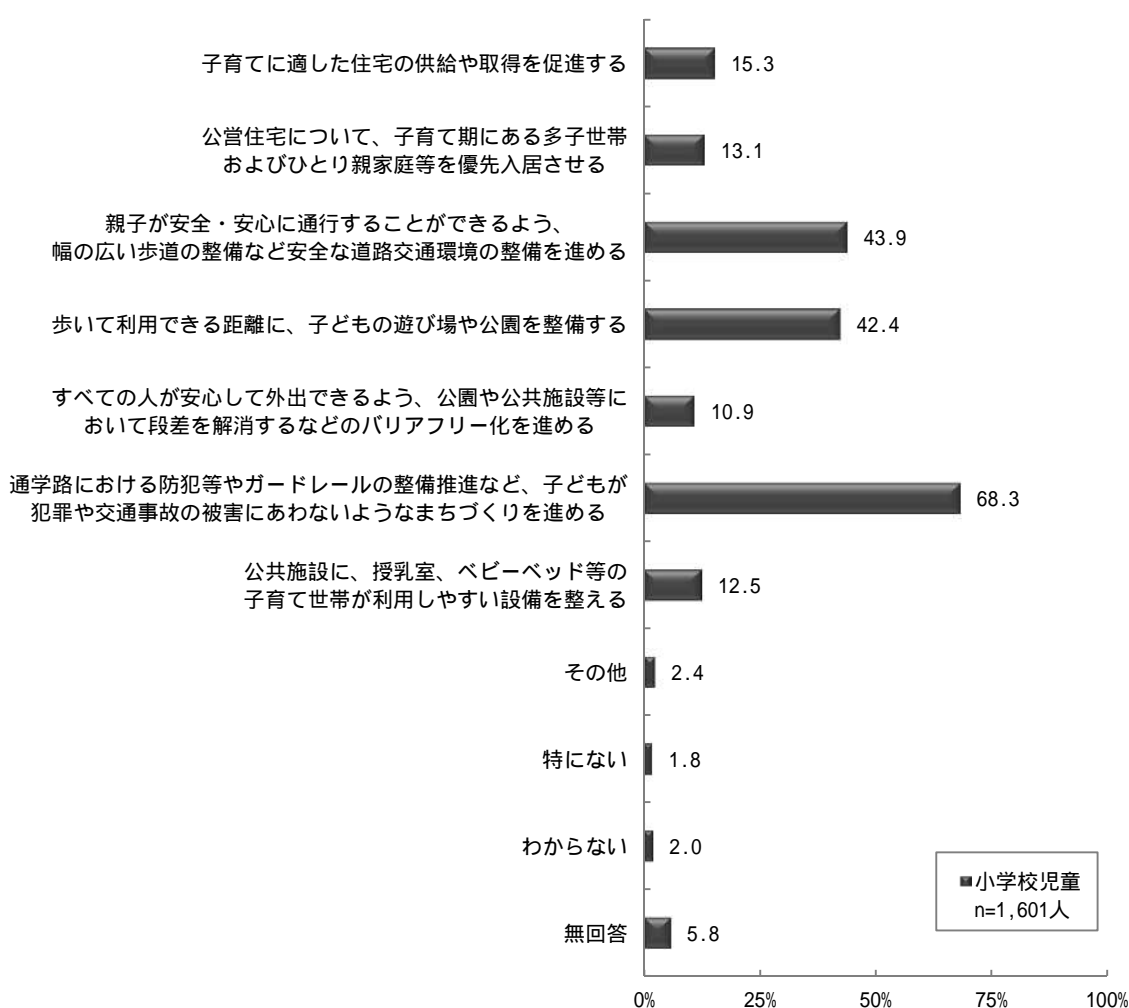
[問 49] 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるもの



[問 50] 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。

子育てを支援する生活環境の整備として最も望むものは「通学路における防犯等やガードレールの整備推進など、子どもが犯罪や交通事故の被害にあわないようなまちづくりを進める」(68.3%)が最も多く、次いで「親子が安全・安心に通行することができるよう、幅の広い歩道の整備など安全な道路交通環境の整備を進める」(43.9%)、「歩いて利用できる距離に、子どもの遊び場や公園を整備する」(42.4%)となっています。

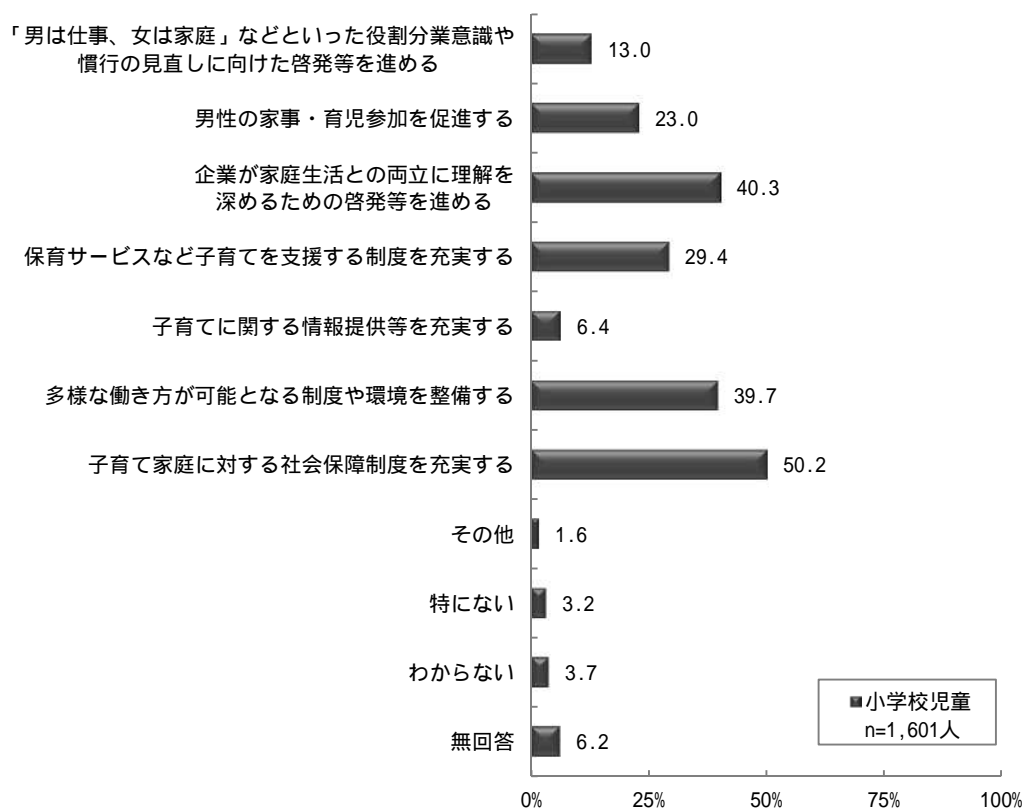
[問 50] 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるもの



[問 51] 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるものは何ですか。

職業生活と家庭生活との両立の推進として最も望むものは「子育て家庭に対する社会保障制度を充実する」(50.2%)が最も多く、次いで「企業が家庭生活との両立に理解を深めるための啓発等を進める」(40.3%)、「多様な働き方が可能となる制度や環境を整備する」(39.7%)となっています。

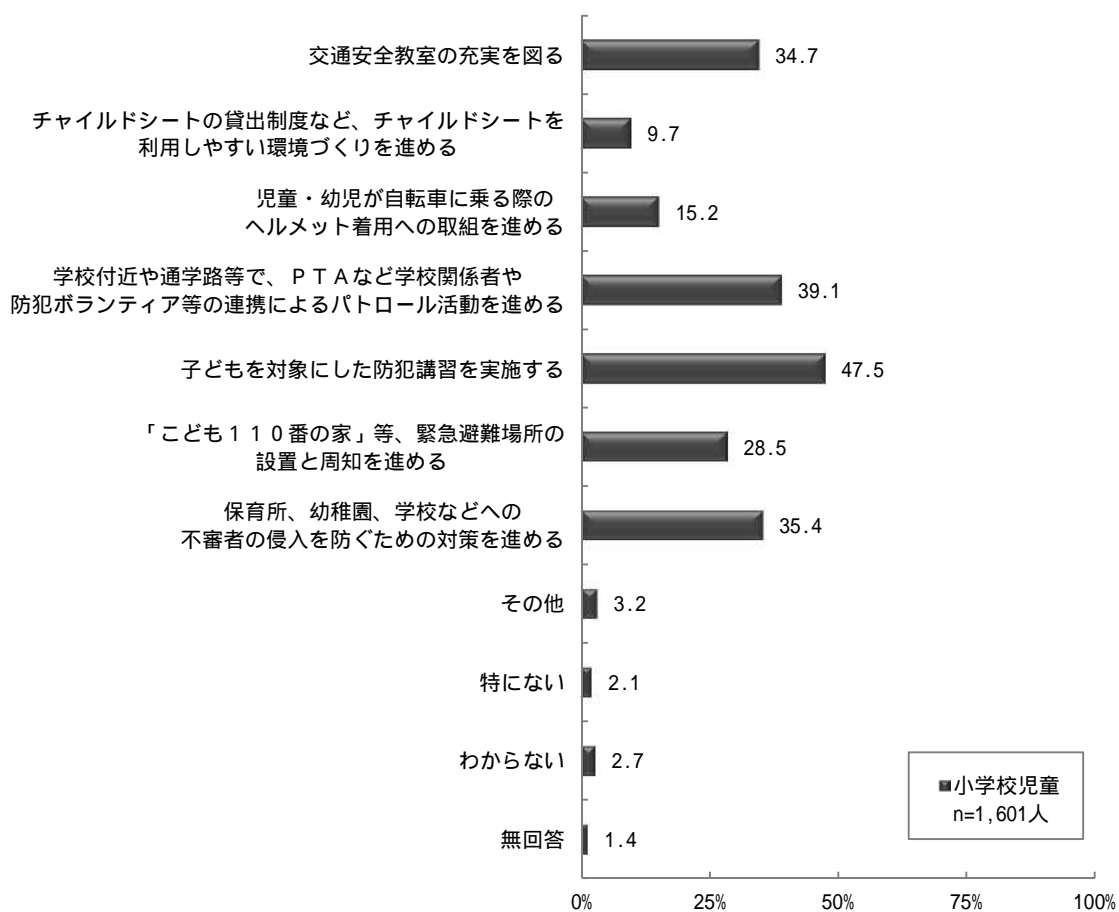
[問 51] 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるもの



[問 52] 「子ども等の安全の確保」として最も望まれるものは何ですか。

子ども等の安全の確保として最も望むものは「子どもを対象にした防犯講習を実施する」(47.5%)が最も多く、次いで「学校付近や通学路等で、PTAなど学校関係者や防犯ボランティア等の連携によるパトロール活動を進める」(39.1%)、「保育所、幼稚園、学校などへの不審者の侵入を防ぐための対策を進める」(35.4%)となっています。

[問 52] 「子ども等の安全の確保」として最も望まれるもの



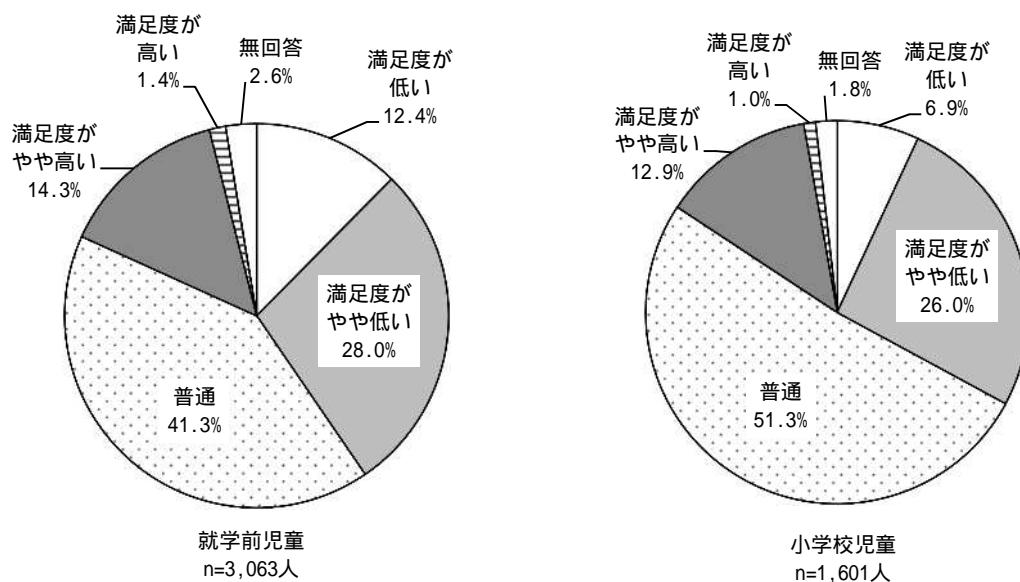
## 12 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

問 43 [問 53] 子育ての環境や市の子育て支援への満足度をお答えください。

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度の状況について、就学前児童では「満足度が高い」「満足度がやや高い」(1.4%)(14.3%)、「満足度が低い」「満足度がやや低い」(12.4%)(28.0%)であわせると後者が24.7ポイントと上回っています。

小学校児童では「満足度が高い」「満足度がやや高い」(1.0%)(12.9%)、「満足度が低い」「満足度がやや低い」(6.9%)(26.0%)であわせると後者が19.0ポイントと上回っています。

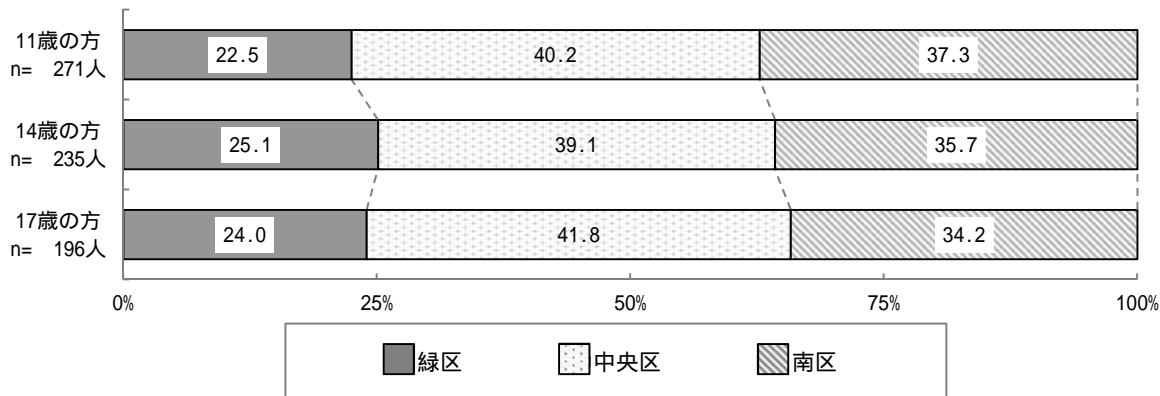
問 43[問 53] 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況



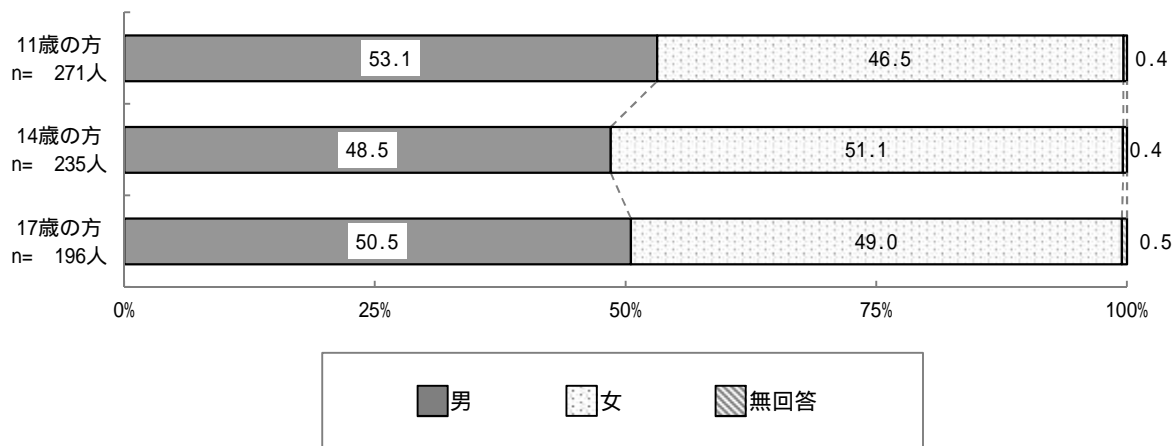
## 第2節 子ども本人（11歳・14歳・17歳を迎える人）

### 1 回答者と家族の状況

問1 地域

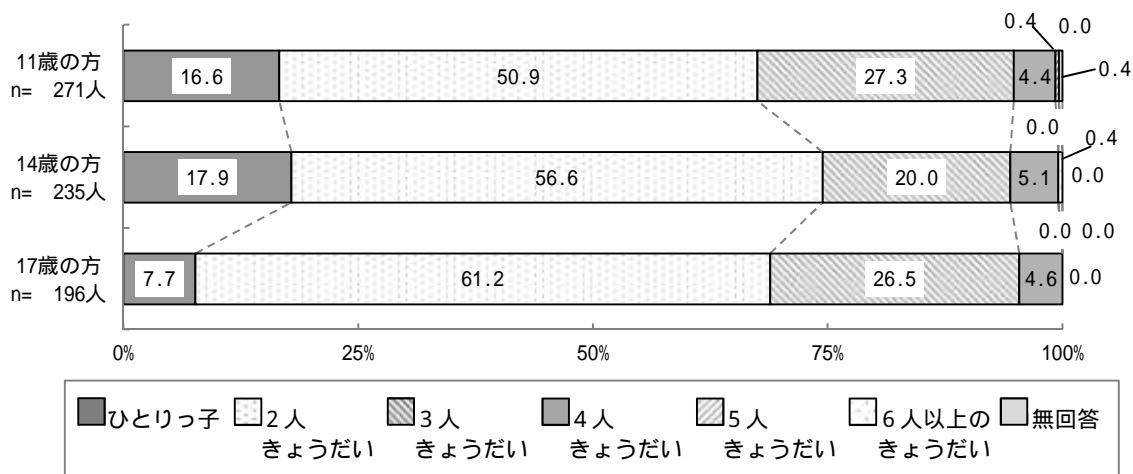


問2 性別

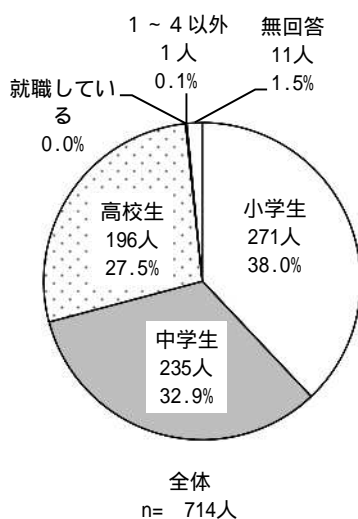


きょうだいの人数は、「2人きょうだい」(11歳 50.9%、14歳 56.6%、17歳 61.2%)が最も多く、「3人きょうだい」(11歳 27.3%、14歳 20.0%、17歳 26.5%)、ひとりっ子(11歳 16.6%、14歳 17.9%、17歳 7.7%)となっています。

問3 きょうだいの人数



問4 回答者の学齢



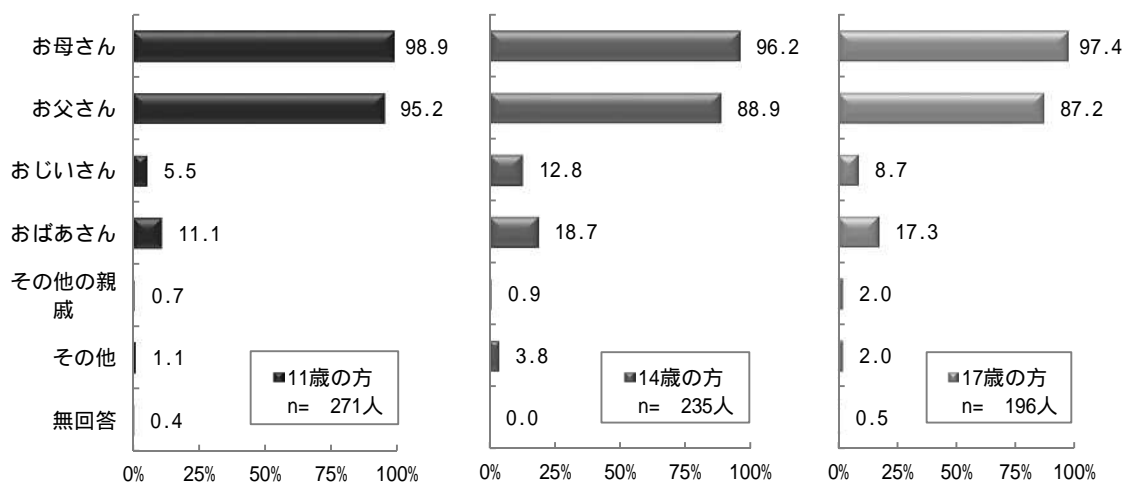
問5 あなたのきょうだい以外で、あなたといっしょにくらしている人はだれですか。

問5-1 いっしょにくらしている人は、全員（あなたをいれて）で何人ですか。

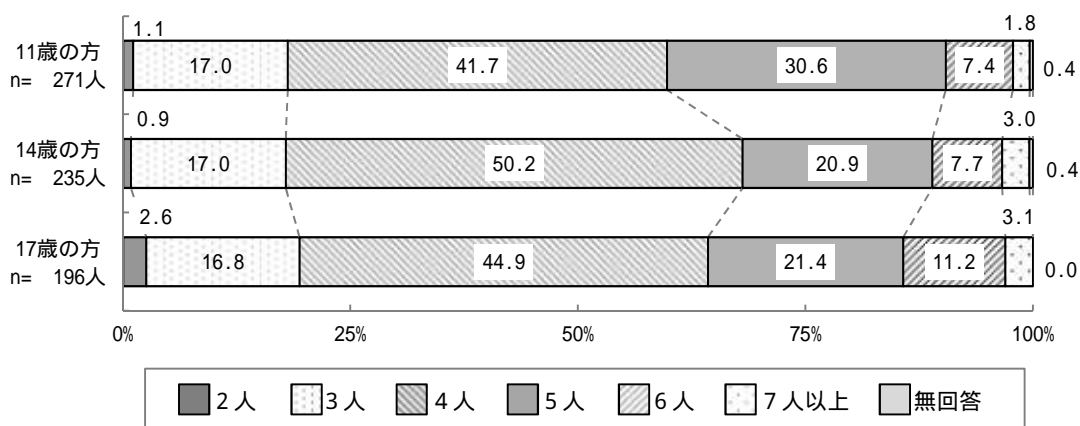
一緒に暮らしている人は、「お母さん」(11歳 98.9%、14歳 96.2%、17歳 97.4%)、「お父さん」(11歳 95.2%、14歳 88.9%、17歳 87.2%)、「おばあさん」(11歳 11.1%、14歳 18.7%、17歳 17.3%)、「おじいさん」(11歳 5.5%、14歳 12.8%、17歳 8.7%)となっています。

一緒に暮らしている人数は、「4人」(11歳 41.7%、14歳 50.2%、17歳 44.9%)、「5人」(11歳 30.6%、14歳 20.9%、17歳 21.4%)となっています。

問5 一緒に暮らしている人



問5-1 一緒に暮らしている人数





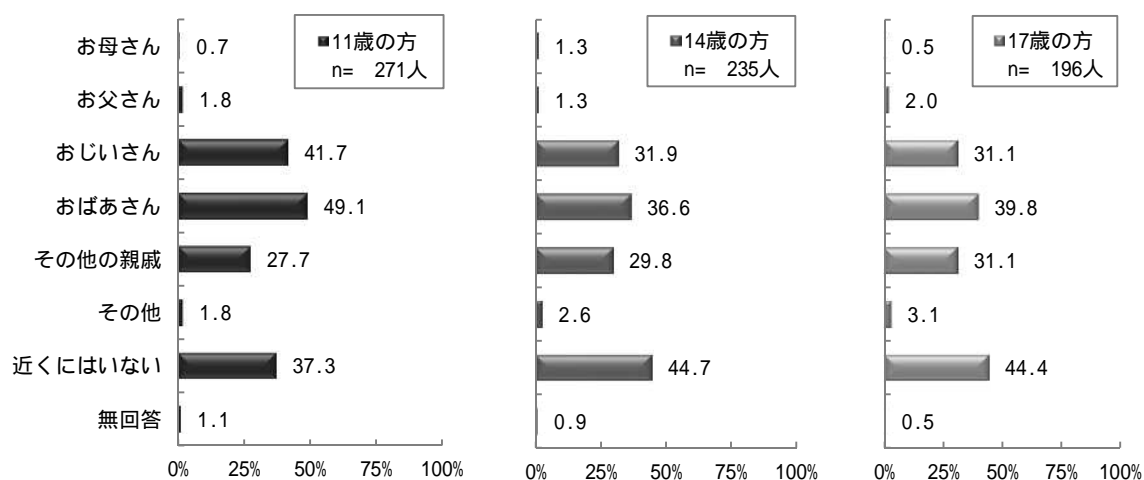
問6 あなたといっしょにくらしている人以外で、あなたの近く（だいたい30分以内で行き来できるところ）に住んでいる親族はだれですか。

近くに暮らしている親族は、11歳では「おばあさん」(49.1%)、「おじいさん」(41.7%)、「近くにはいない」(37.3%)となっています。

14歳では、「近くにはいない」(44.7%)、「おばあさん」(36.6%)、「おじいさん」(31.9%)となっています。

17歳では、「近くにはいない」(44.4%)、「おばあさん」(39.8%)、「おじいさん」「その他の親戚」(各31.1%)となっています。

問6 近くに暮らしている親族

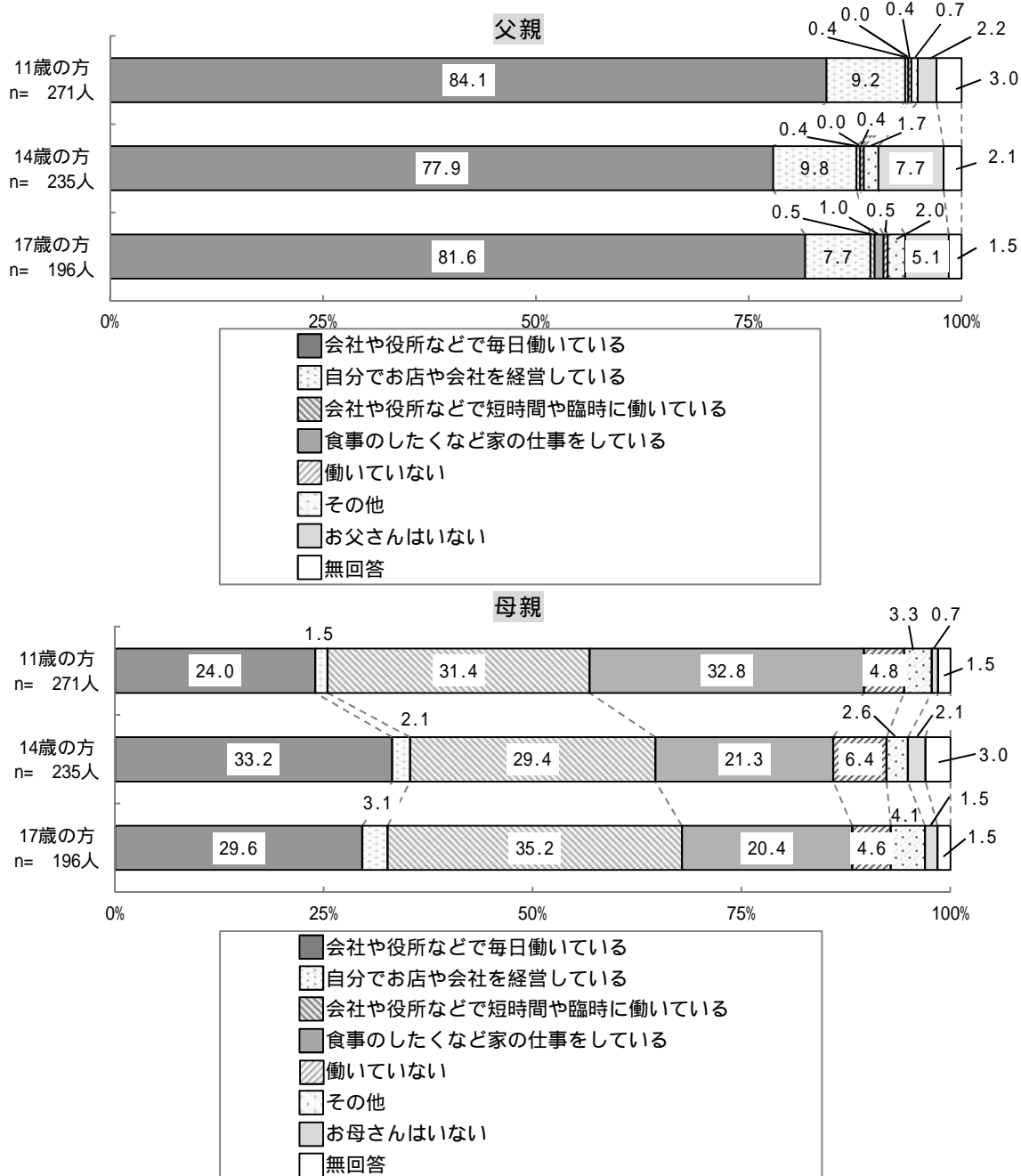


問7 あなたのお父さん、お母さんはどのように働いていますか。

父親の働き方をみると、「会社や役所などで毎日働いている」(11歳 84.1%、14歳 77.9%、17歳 81.6%)が最も多く、次いで「自分でお店や会社を営んでいる」(11歳 9.2%、14歳 9.8%、17歳 7.7%)となっています。

母親の働き方をみると、11歳では「食事のしたくなど、家の仕事をしている」(32.8%)、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(31.4%)となっています。14歳では「会社や役所などで毎日働いている」(33.2%)、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(29.4%)となっています。17歳では、「会社や役所などで短時間や臨時に働いている」(35.2%)、「会社や役所などで毎日働いている」(29.6%)となっています。

問7 父母の働き方



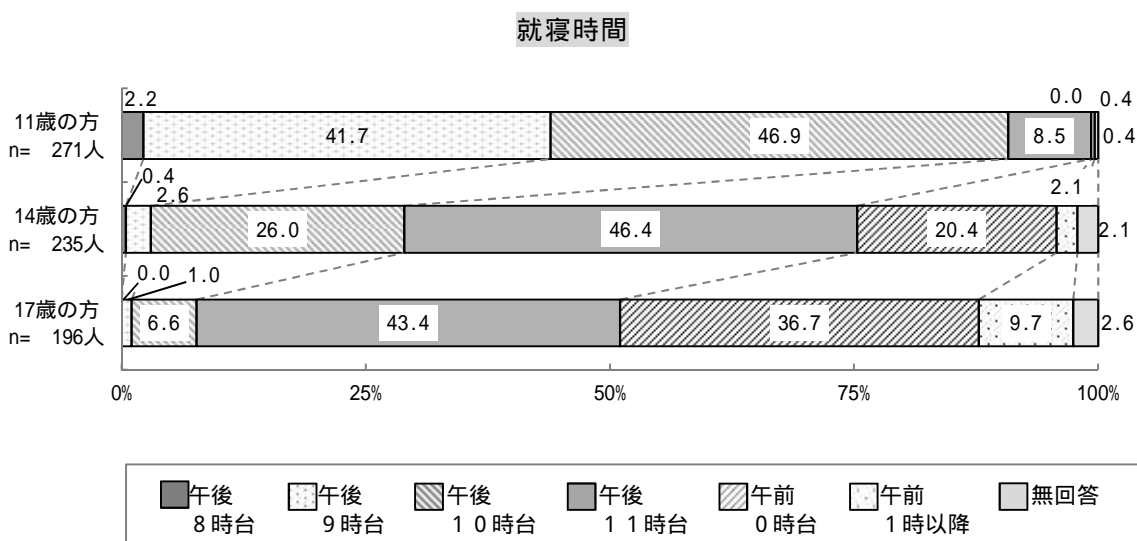
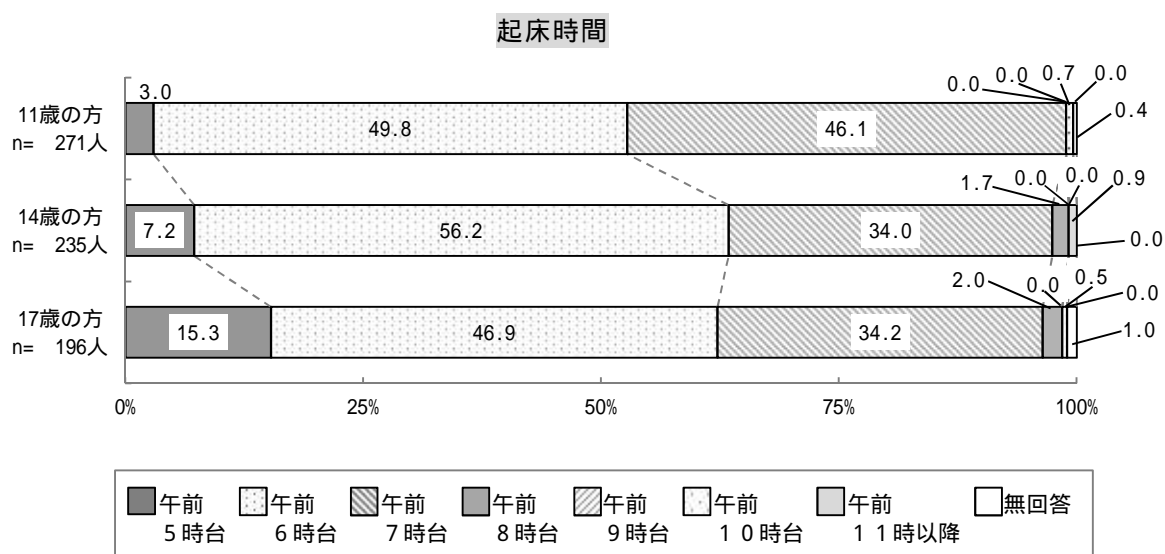
## 2 日ごろの生活や活動

問8 あなたは平日、何時に起きて、何時に寝ますか。

平日の起床時間は、「午前6時台」(11歳 49.8%、14歳 56.2%、17歳 46.9%)、「午前7時台」(11歳 46.1%、14歳 34.0%、17歳 34.2%)となっています。

平日の就寝時間は、11歳では「午後10時台」(46.9%)、「午後9時台」(41.7%)となっています。14歳では「午後11時台」(46.4%)、「午後10時台」(26.0%)となっています。17歳では「午後11時台」(43.4%)、「午前0時台」(36.7%)となっています。

問8 平日の起床・就寝時間



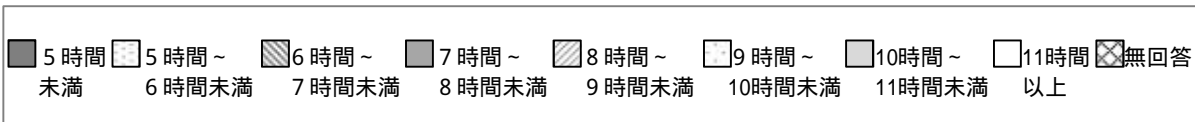
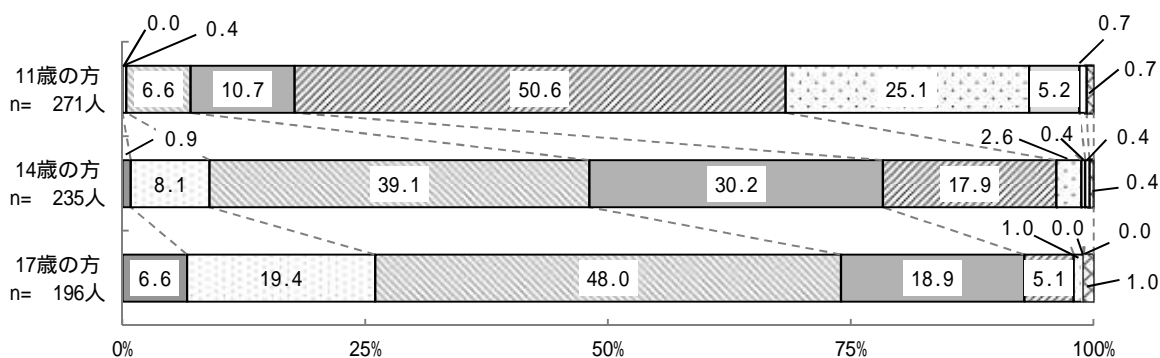
問 8-1 あなたは平日どのくらい眠りますか。

問 8-2 あなたは朝すっきりめざまめますか。

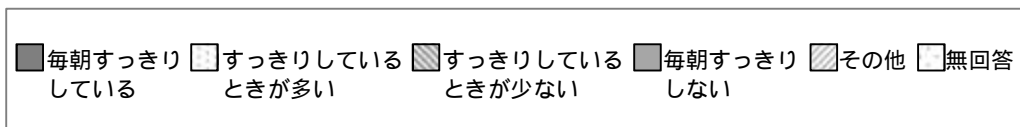
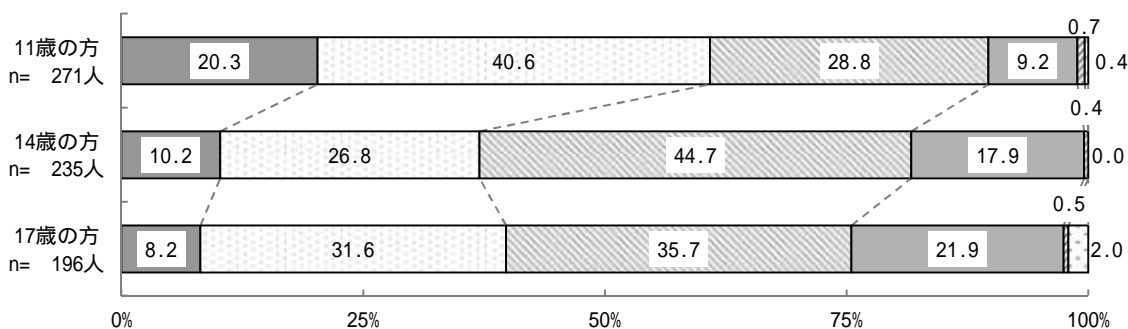
平日の睡眠時間をみると、11歳では「8～9時間未満」(50.6%)、「9～10時間未満」(25.1%)となっています。14歳では「6～7時間未満」(39.1%)、「7～8時間未満」(30.2%)となっています。17歳では「6～7時間未満」(48.0%)、「5～6時間未満」(19.4%)となっています。

朝の目覚めの状態は、11歳では「すっきりしているときが多い」(40.6%)、「すっきりしているときが少ない」(28.8%)となっています。14歳及び17歳では「すっきりしているときが少ない」(14歳44.7%、17歳35.7%)、「すっきりしているときが多い」(14歳26.8%、17歳31.6%)となっています。

問 8-1 平日の睡眠時間



問 8-2 朝の目覚めの状態

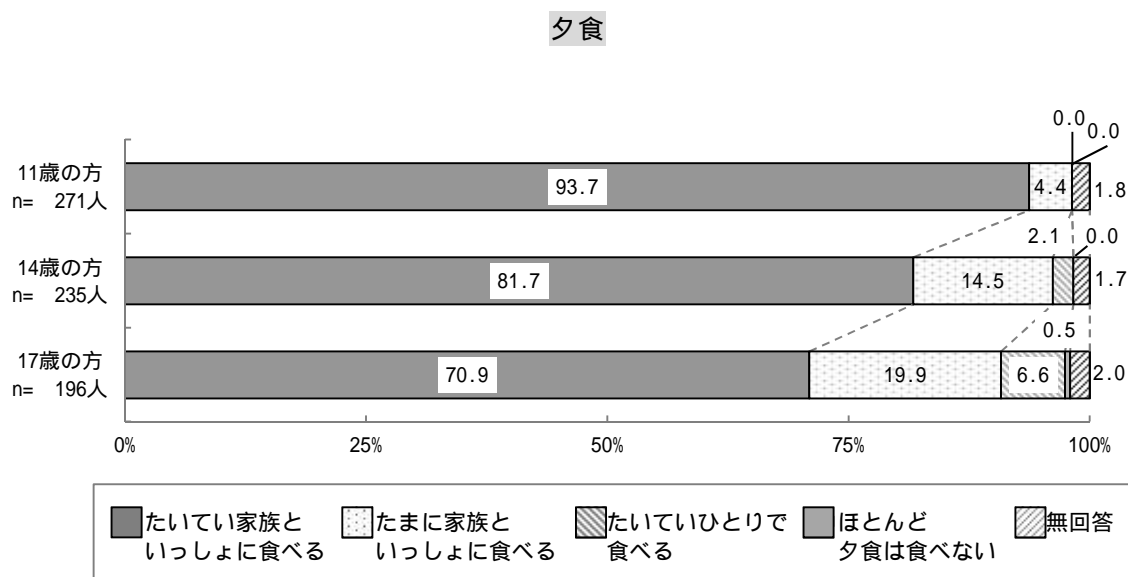
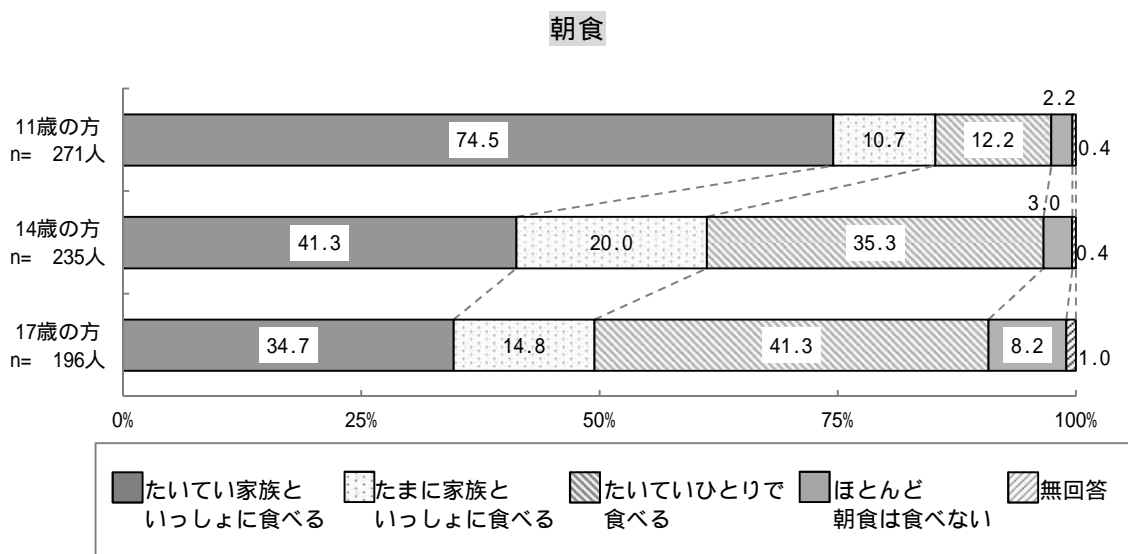


問9 あなたは平日の朝食や夕食はどのようにしていますか。

朝食の状況をみると、11歳では「たいてい家族といっしょに食べる」(74.5%)が最も多くなっています。14歳では「たいてい家族といっしょに食べる」(41.3%)、「たいていひとりで食べる」(35.3%)となっています。17歳では「たいていひとりで食べる」(41.3%)、「たいてい家族といっしょに食べる」(34.7%)となっています。

夕食の状況をみると、「たいてい家族といっしょに食べる」(11歳 93.7%、14歳 81.7%、17歳 70.9%)が最も多くなっています。

問9 朝食・夕食の状況



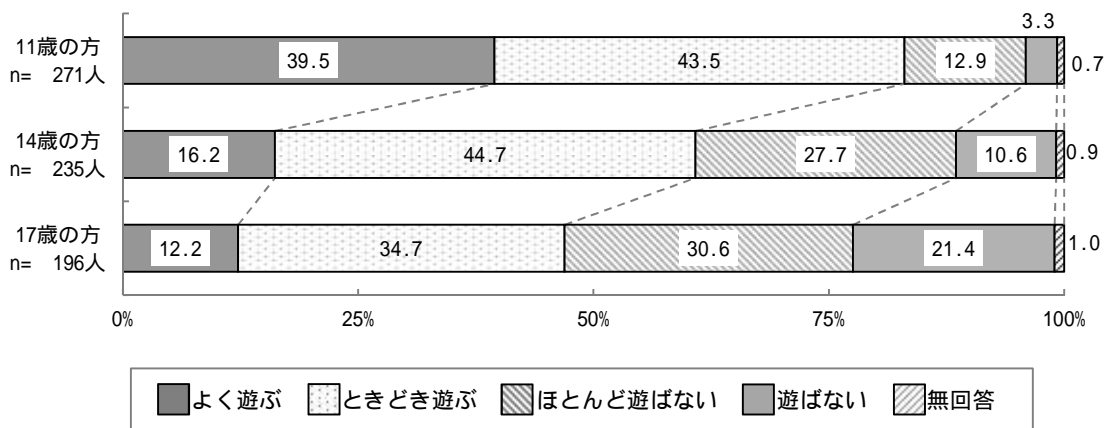
問 10 あなたの家では家族とよく遊んだり話したりしますか。

家での家族との関わり方において、家族と遊ぶことでは、11歳は「ときどき遊ぶ」(43.5%)、「よく遊ぶ」(39.5%)となっています。14歳及び17歳では、「ときどき遊ぶ」(14歳44.7%、17歳34.7%)、「ほとんど遊ばない」(14歳27.7%、17歳30.6%)となっています。

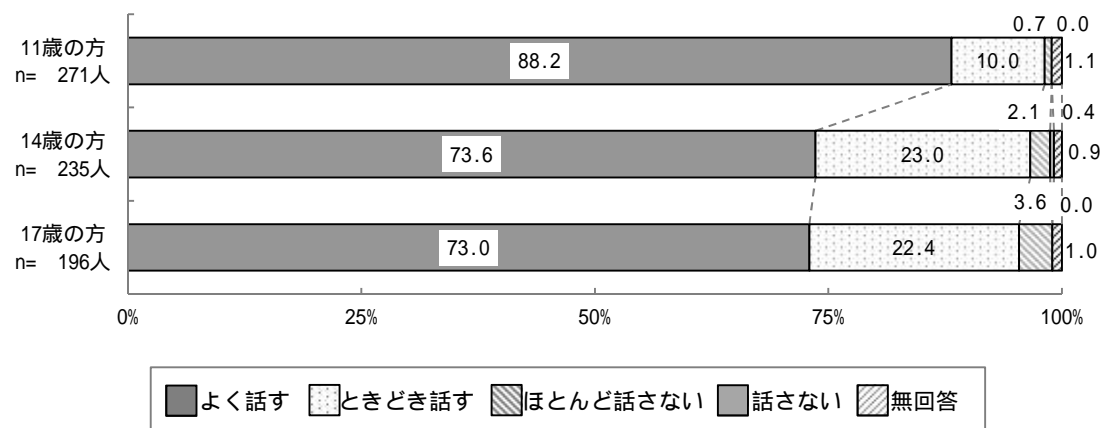
家族と話すことでは、「よく話す」(11歳88.2%、14歳73.6%、17歳73.0%)で最も多くなっており、次いで「ときどき話す」(11歳10.0%、14歳23.0%、17歳22.4%)となっています。

問 10.1 家での家族との関わり方

家族と遊ぶこと



家族と話すこと

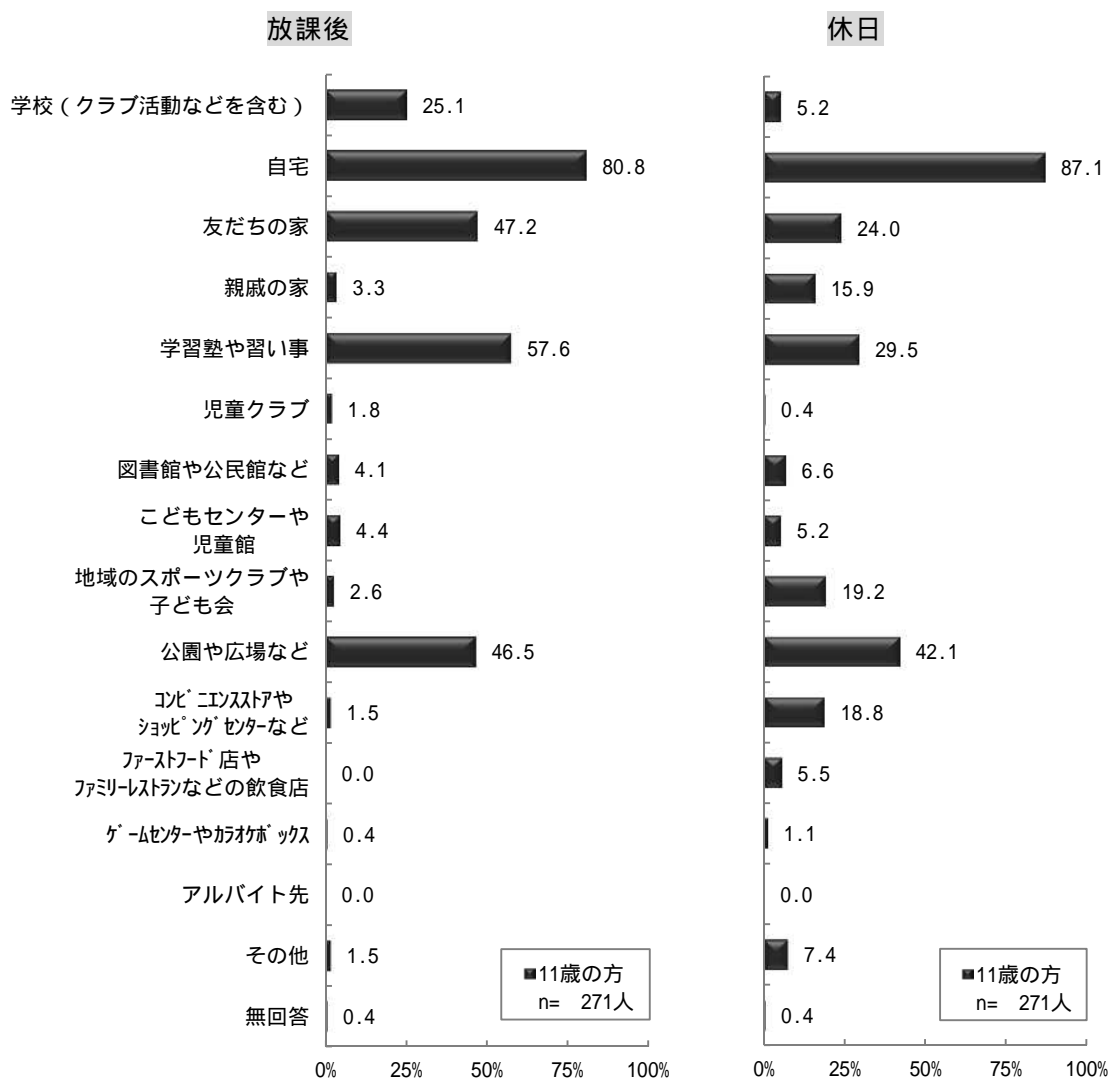


問11 あなたは日ごろ、主にどこで過ごしていますか。放課後（または仕事後）と休日にわけてお答えください。

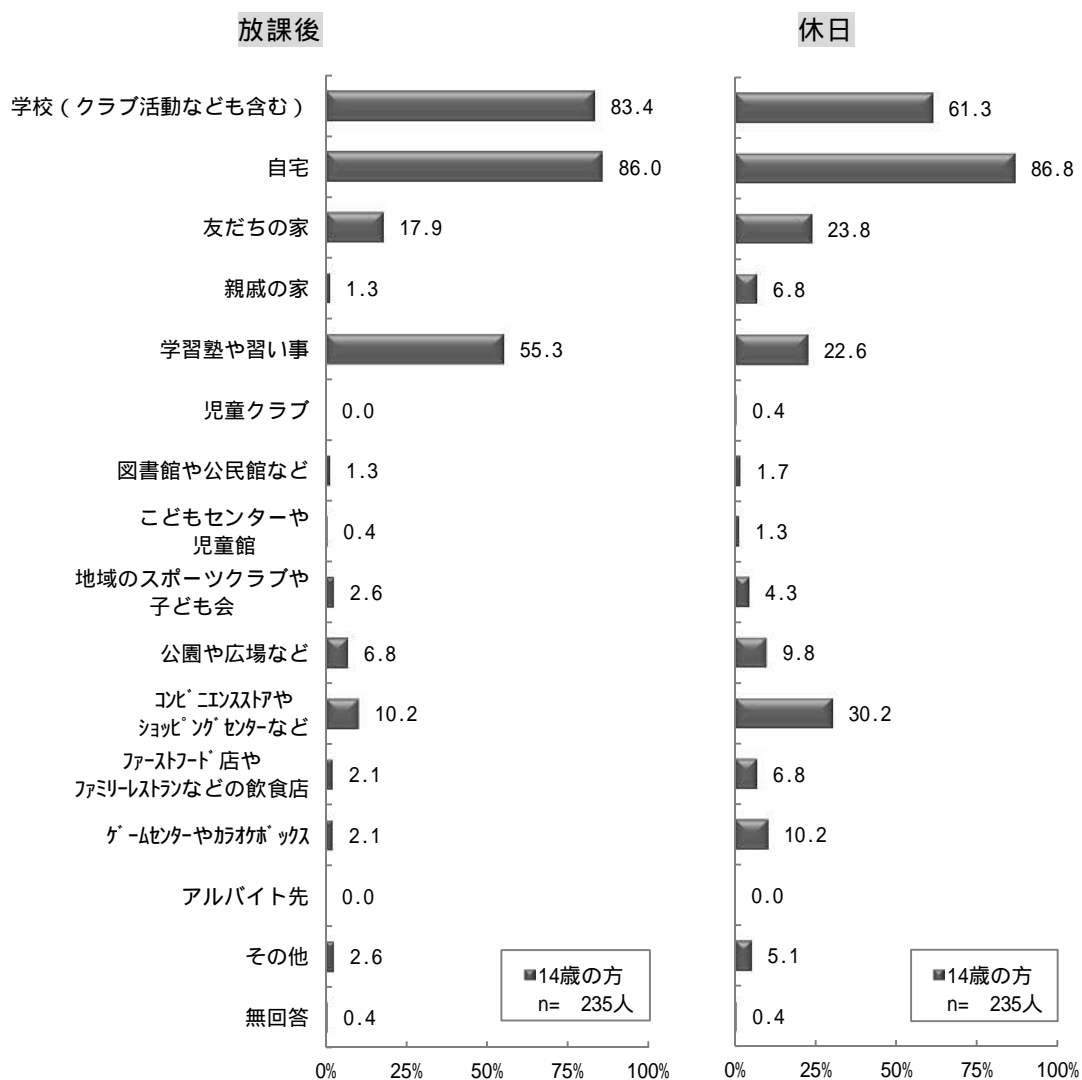
11歳の方が放課後に主に過ごしている場所は、「自宅」(80.8%)、「学習塾や習い事」(57.6%)、「友だちの家」(47.2%)となっています。

休日は、「自宅」(87.1%)、「公園や広場など」(42.1%)、「学習塾や習い事」(29.5%)となっています。

問11 主に過ごしている場所



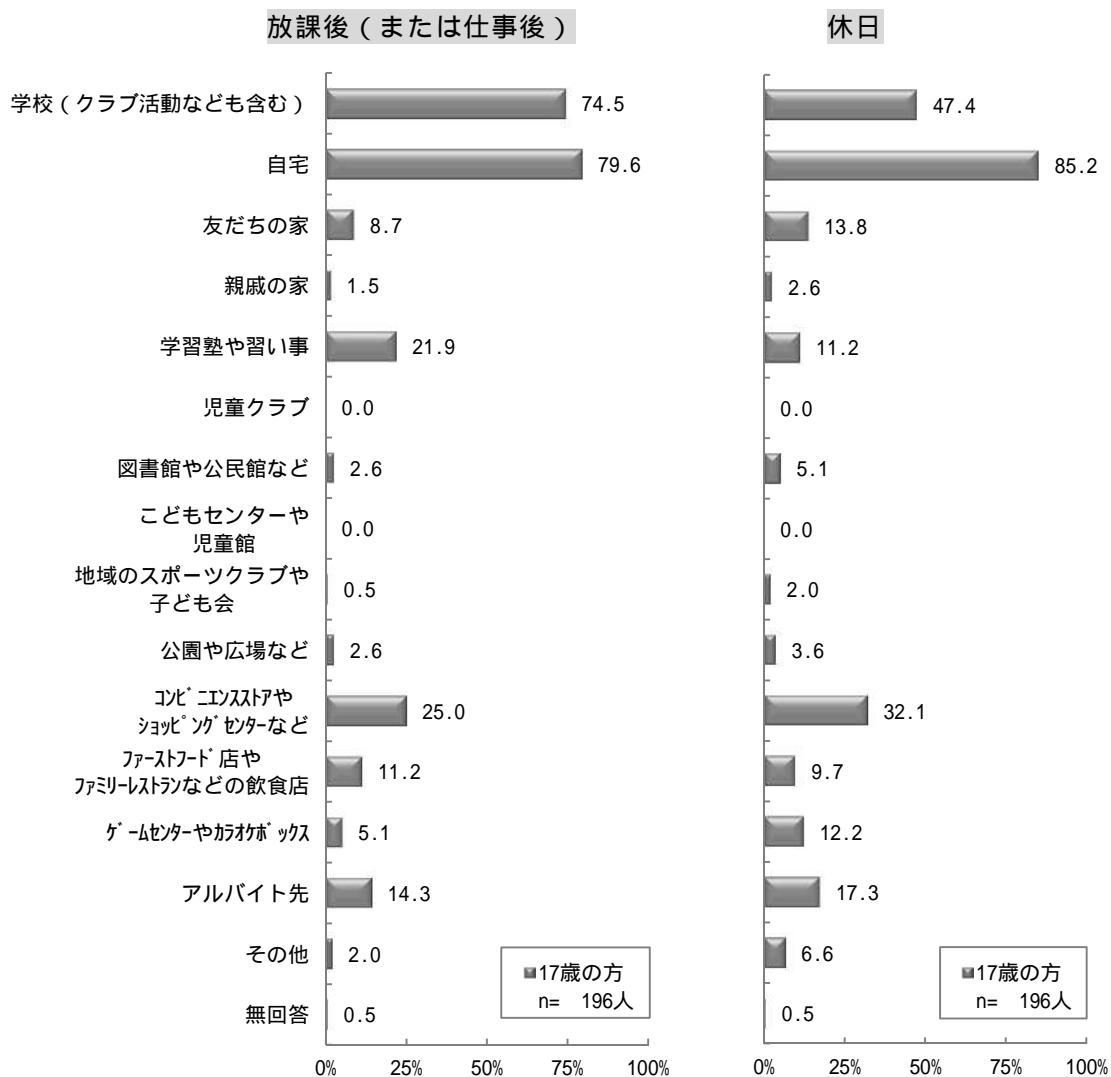
14歳の方が放課後に主に過ごしている場所は、「自宅」(86.0%)、「学校(クラブ活動なども含む)」(83.4%)、「学習塾や習い事」(55.3%)となっています。  
 休日は、「自宅」(86.8%)、「学校(クラブ活動なども含む)」(61.3%)、「コンビニエンスストアやショッピングセンターなど」(30.2%)となっています。





17歳の方が放課後(または仕事後)に主に過ごしている場所は、「自宅(79.6%)」「学校(クラブ活動なども含む)」(74.5%)「コンビニエンスストアやショッピングセンターなど」(25.0%)となっています。

休日は、「自宅」(85.2%)「学校(クラブ活動なども含む)」(47.4%)「コンビニエンスストアやショッピングセンターなど」(32.1%)となっています。



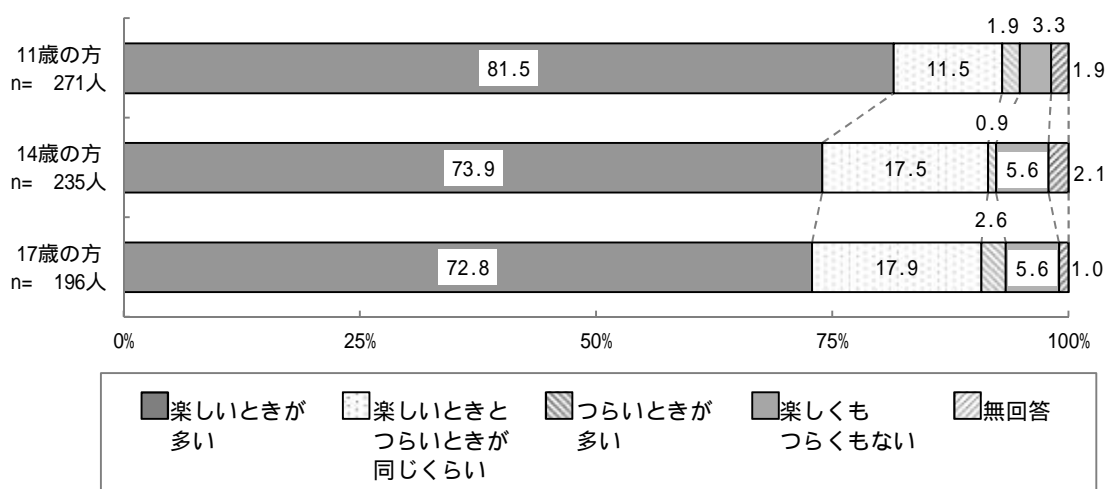
問 11-1 問 11 で をつけたところで過ごしているときは楽しいですか。

問 11-2 問 11-1 で「3 . つらいときが多い」とお答えの方におたずねします。どうしてつらいときが多いのですか。

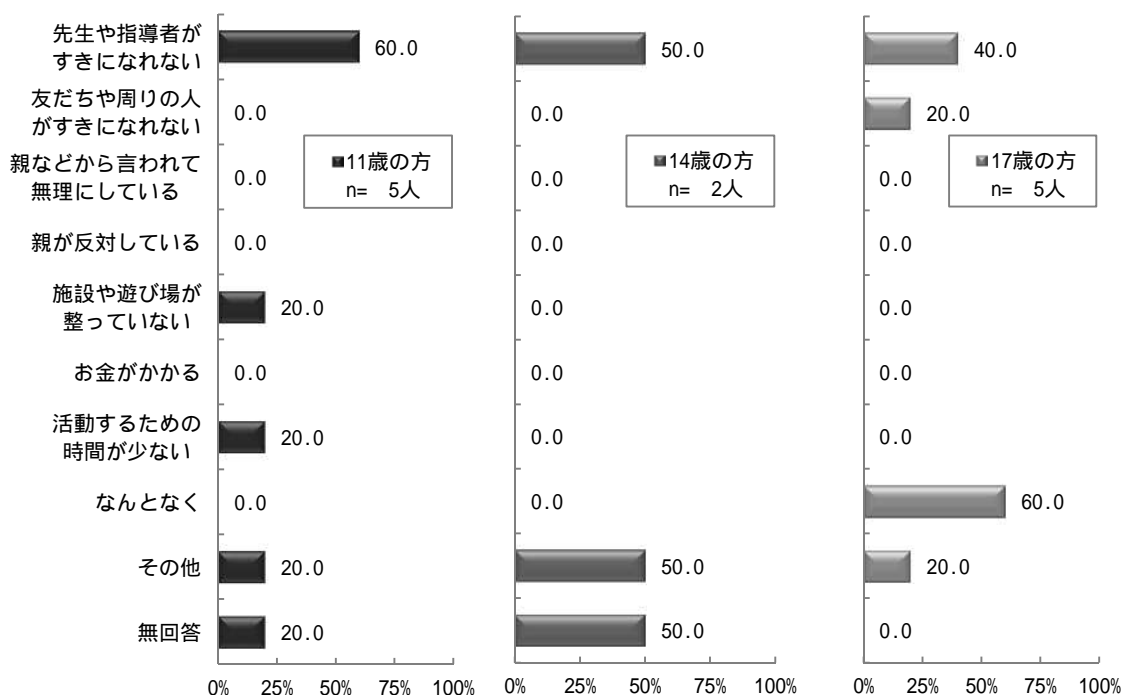
放課後（または仕事後）や休日に主に過ごしている場所で楽しいかどうかでは、「楽しいときが多い」（11 歳 81.5%、14 歳 73.9%、17 歳 72.8%）が最も多くなっています。

一方、つらいときが多い理由は、11 歳及び 14 歳では「先生や指導者がすきになれない」（11 歳 60.0%、14 歳 50.0%）、17 歳では「なんとなく」（60.0%）となっています。

問 11-1 主に過ごしている場所で楽しいかどうか



問 11-2 つらいときが多い理由

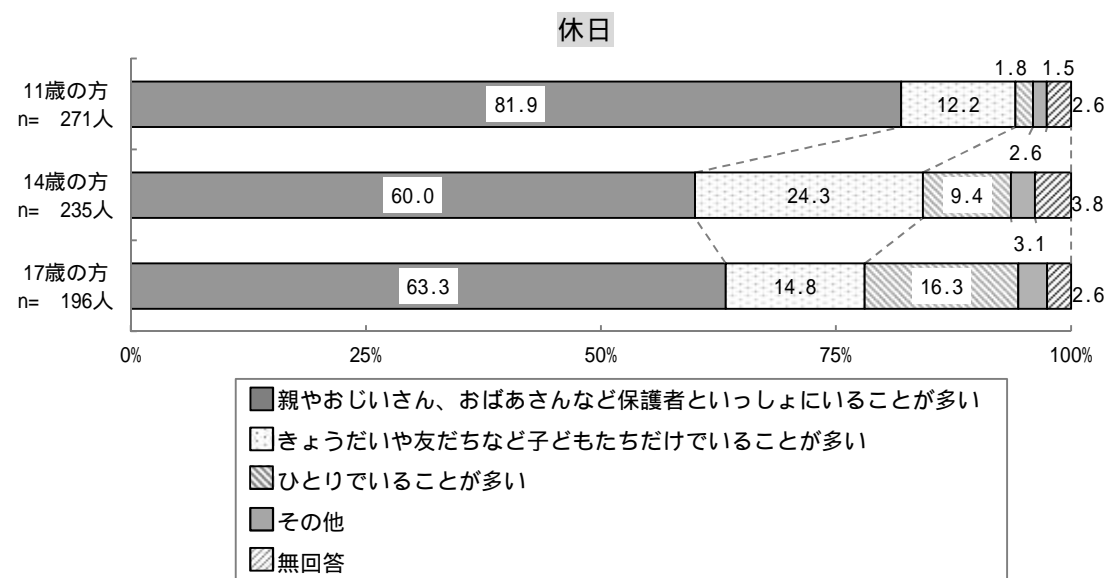
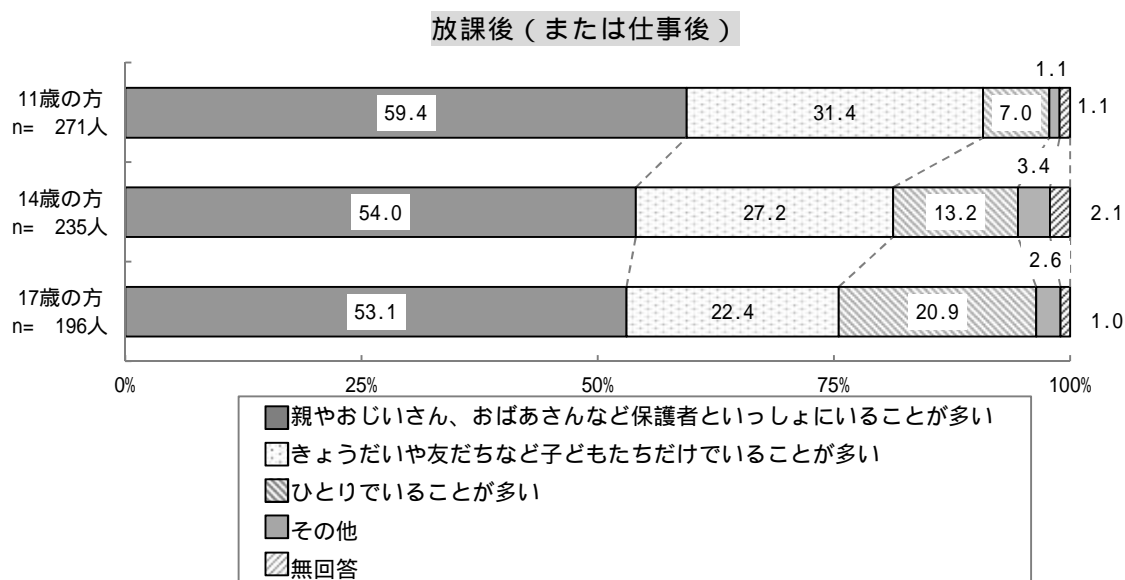


問12 すべての方におたずねします。あなたは自宅では、主にだれと過ごしていますか。放課後（または仕事後）と休日にわけてお答えください。

放課後（または仕事後）自宅でだれと過ごすかをみると、「親やおじいさん、おばあさんなど保護者といっしょにすることが多い」（11歳 59.4%、14歳 54.0%、17歳 53.1%）が最も多く、次いで「きょうだいや友だちなど子どもたちだけであることが多い」（11歳 31.4%、14歳 27.2%、17歳 22.4%）となっています。

休日では、「親やおじいさん、おばあさんなど保護者といっしょにすることが多い」（11歳 81.9%、14歳 60.0%、17歳 63.3%）が最も多く、次いで11歳及び14歳は「きょうだいや友だちなど子どもたちだけであることが多い」（11歳 12.2%、14歳 24.3%）、17歳は「ひとりであることが多い」（16.3%）となっています。

問12 自宅でだれと過ごすか

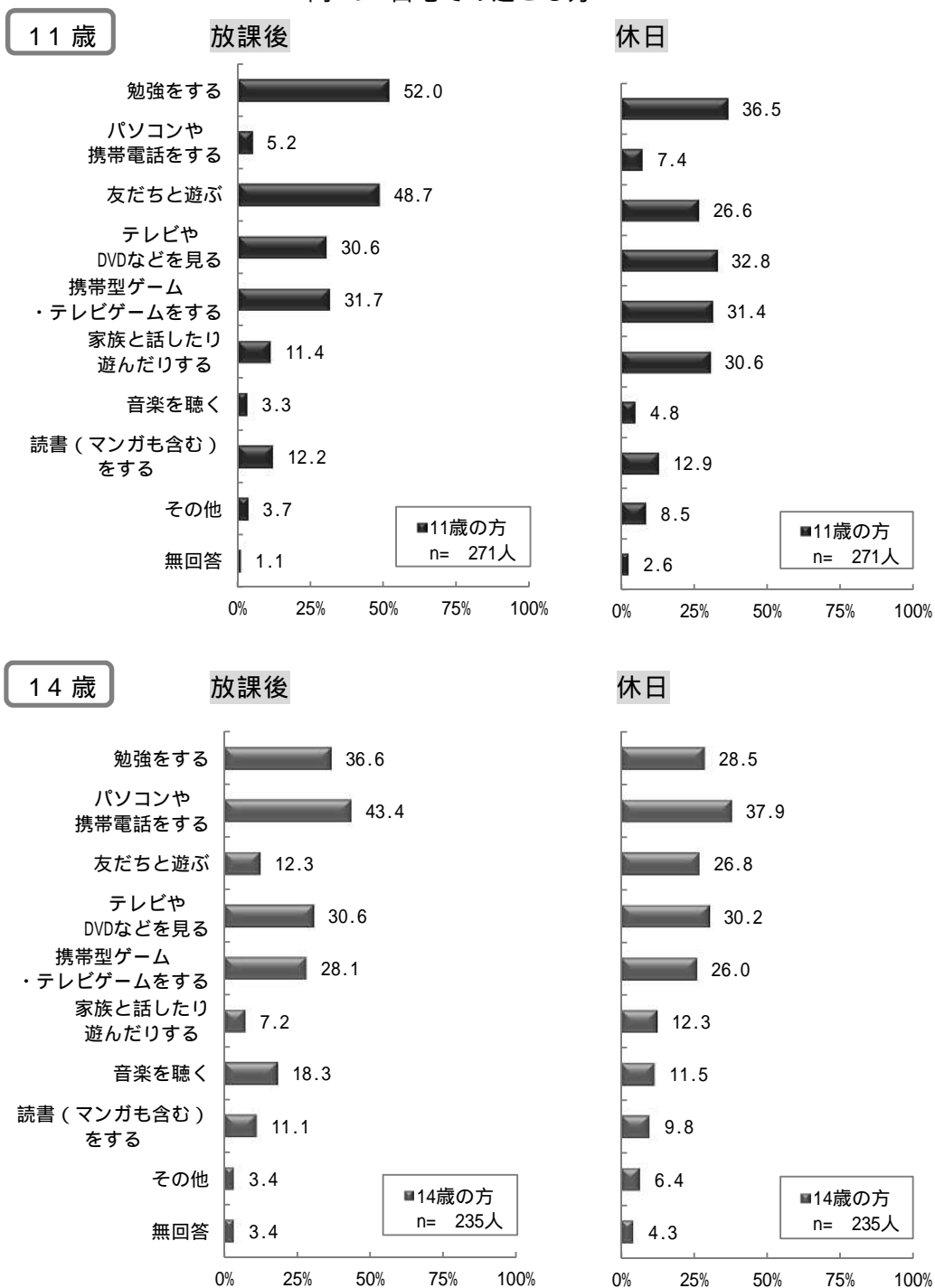


問 13 あなたは自宅では、主になにをしていますか。放課後（または仕事後）と休日にわけてお答えください。

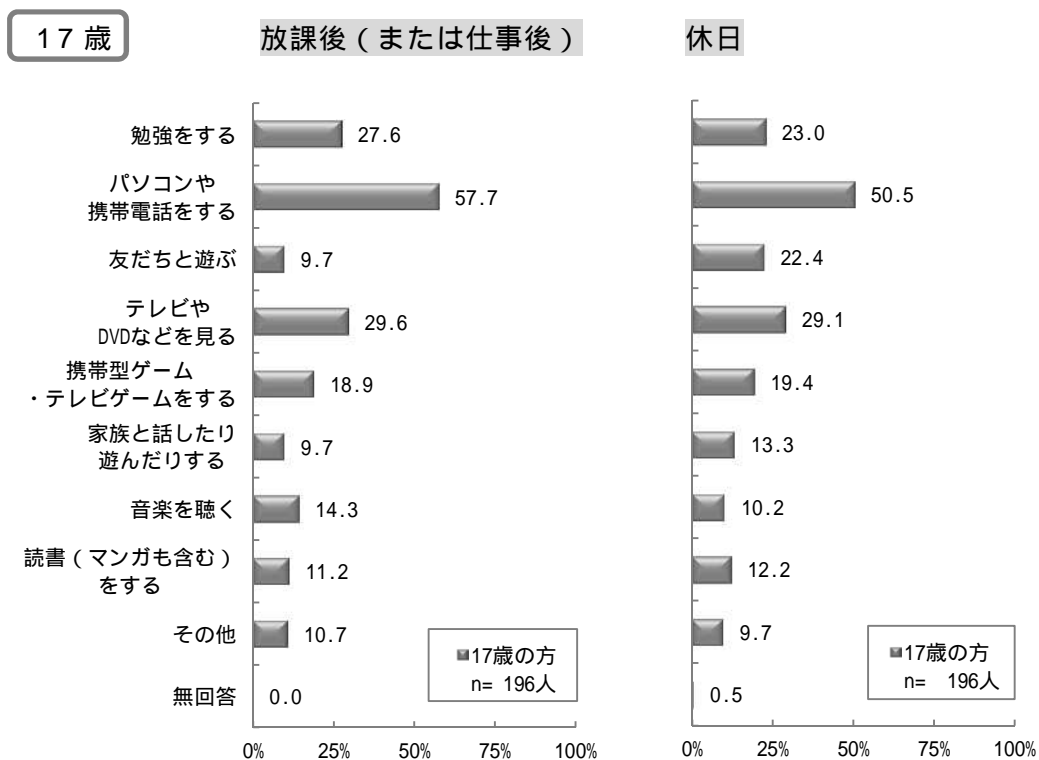
11歳の方の放課後の自宅での過ごし方をみると、「勉強をする」(52.0%)、「友だちと遊ぶ」(48.7%)となっています。休日は、「勉強をする」(36.5%)、「テレビやDVDなどを見る」(32.8%)となっています。

14歳の方の放課後の自宅での過ごし方をみると、「パソコンや携帯電話をする」(43.4%)、「勉強をする」(36.6%)となっています。休日は、「パソコンや携帯電話をする」(37.9%)、「テレビやDVDなどを見る」(30.2%)となっています。

問 13 自宅での過ごし方



17歳の人の放課後（または仕事後）の自宅での過ごし方をみると、「パソコンや携帯電話をする」（57.7%）、「テレビやDVDなどを見る」（29.6%）となっています。休日は、「パソコンや携帯電話をする」（50.5%）、「テレビやDVDなどを見る」（29.1%）となっています。



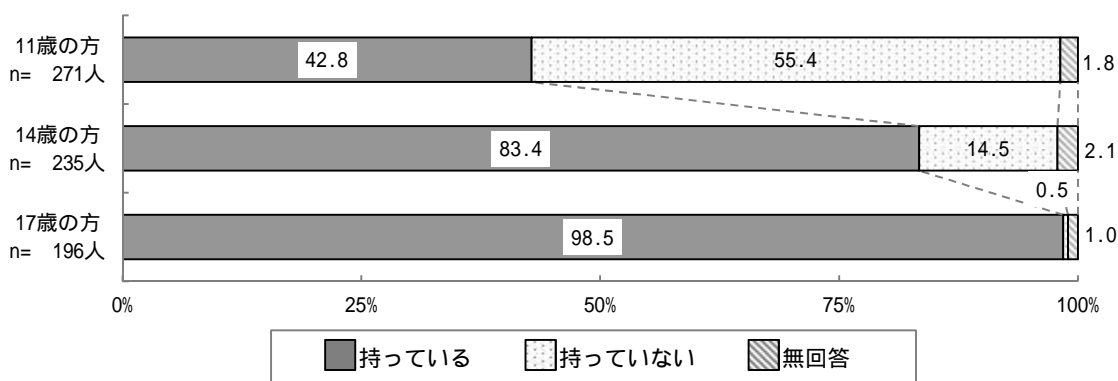
問 14 あなたは、携帯電話、携帯型ゲーム・テレビゲーム、パソコンを持っていますか。

自分の携帯電話・スマートフォンの所有の有無をみると、11歳では「持っていない」(55.4%)が多く、14歳及び17歳では「持っている」(14歳83.4%、17歳(98.5%))が多くなっています。

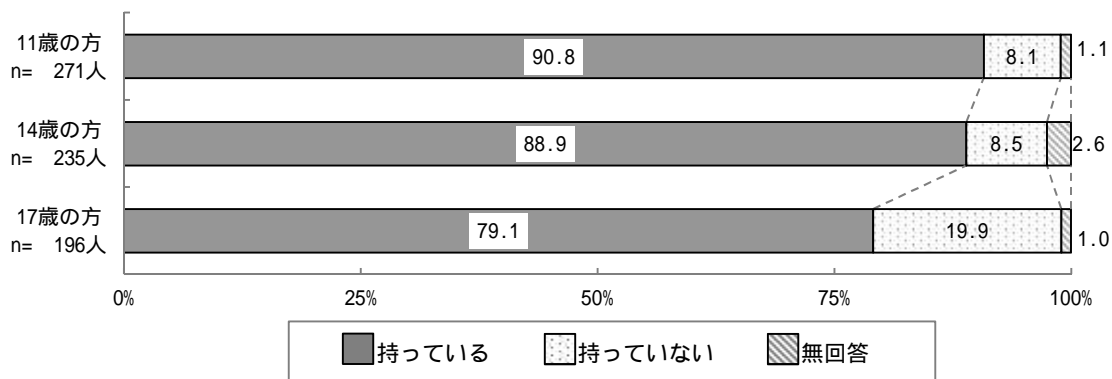
携帯型ゲーム・テレビゲームの所有の有無をみると、「持っている」(11歳90.8%、14歳88.9%、17歳79.1%)が最も多くなっています。

パソコン(家族で使っているものも含む)の所有の有無をみると、「持っている」(11歳86.0%、14歳89.4%、17歳92.9%)となっています。

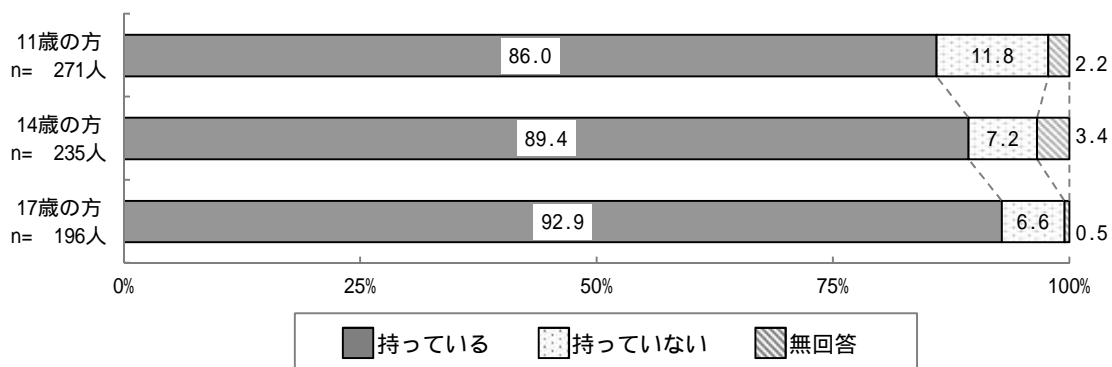
問 14.1 自分の携帯電話・スマートフォンの所有の有無



問 14.2 携帯型ゲーム・テレビゲームの所有の有無



問 14.3 パソコン(家族で使っているものも含む)の所有の有無

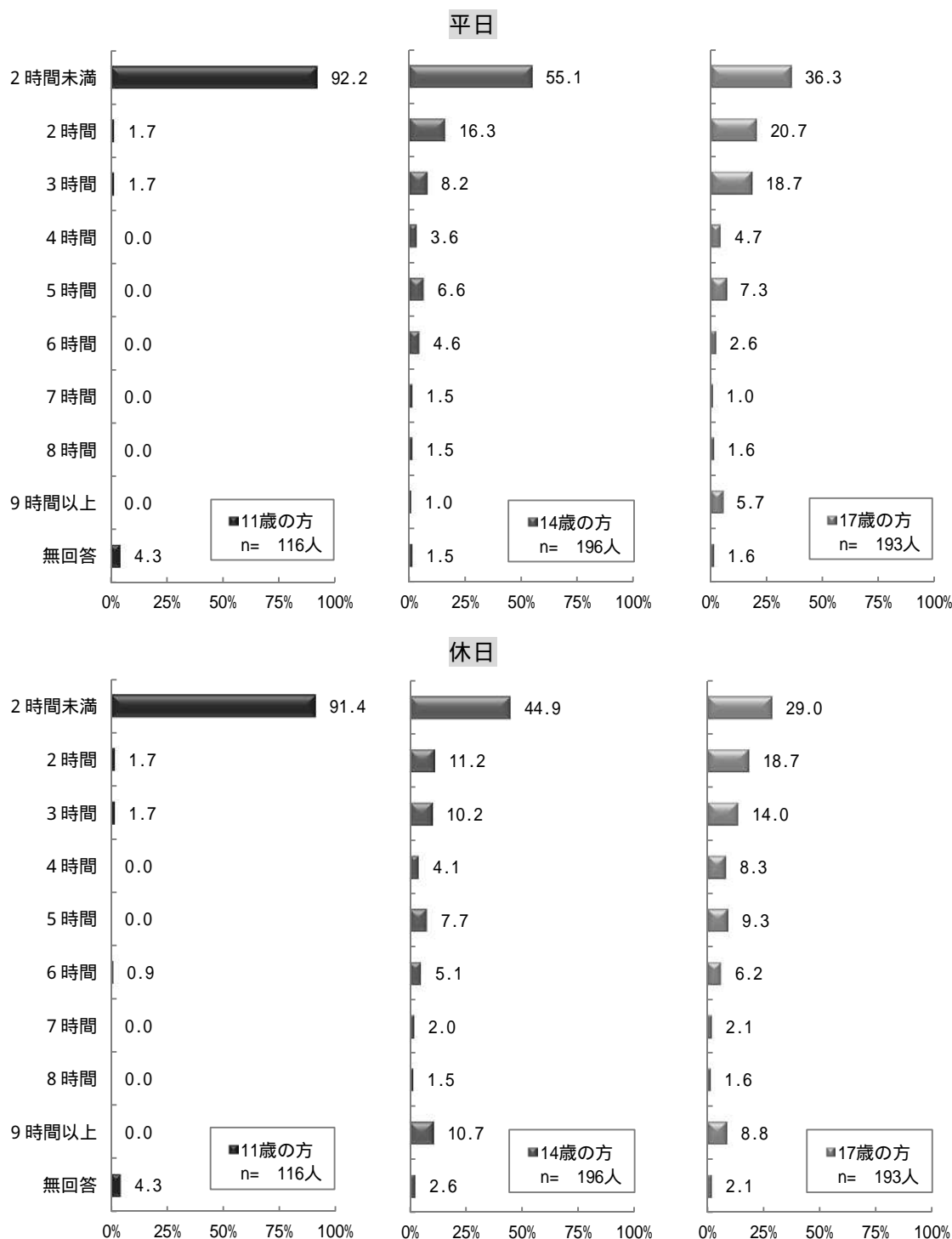


問 14-1 問 14 で「1.持っている」に つけた方におたずねします。1日、平均どのくらいの時間、使っていますか。使っている時間を平日・休日それぞれ書いてください。

携帯電話・スマートフォンの平日の使用時間をみると、11歳では「2時間未満」(92.2%)となっています。14歳及び17歳では「2時間未満」(14歳55.1%、17歳36.3%)、「2時間」(14歳16.3%、17歳20.7%)となっています。

休日は、11歳では「2時間未満」(91.4%)となっています。14歳及び17歳では「2時間未満」(14歳44.9%、17歳29.0%)、「2時間」(14歳11.2%、17歳18.7%)となっています。

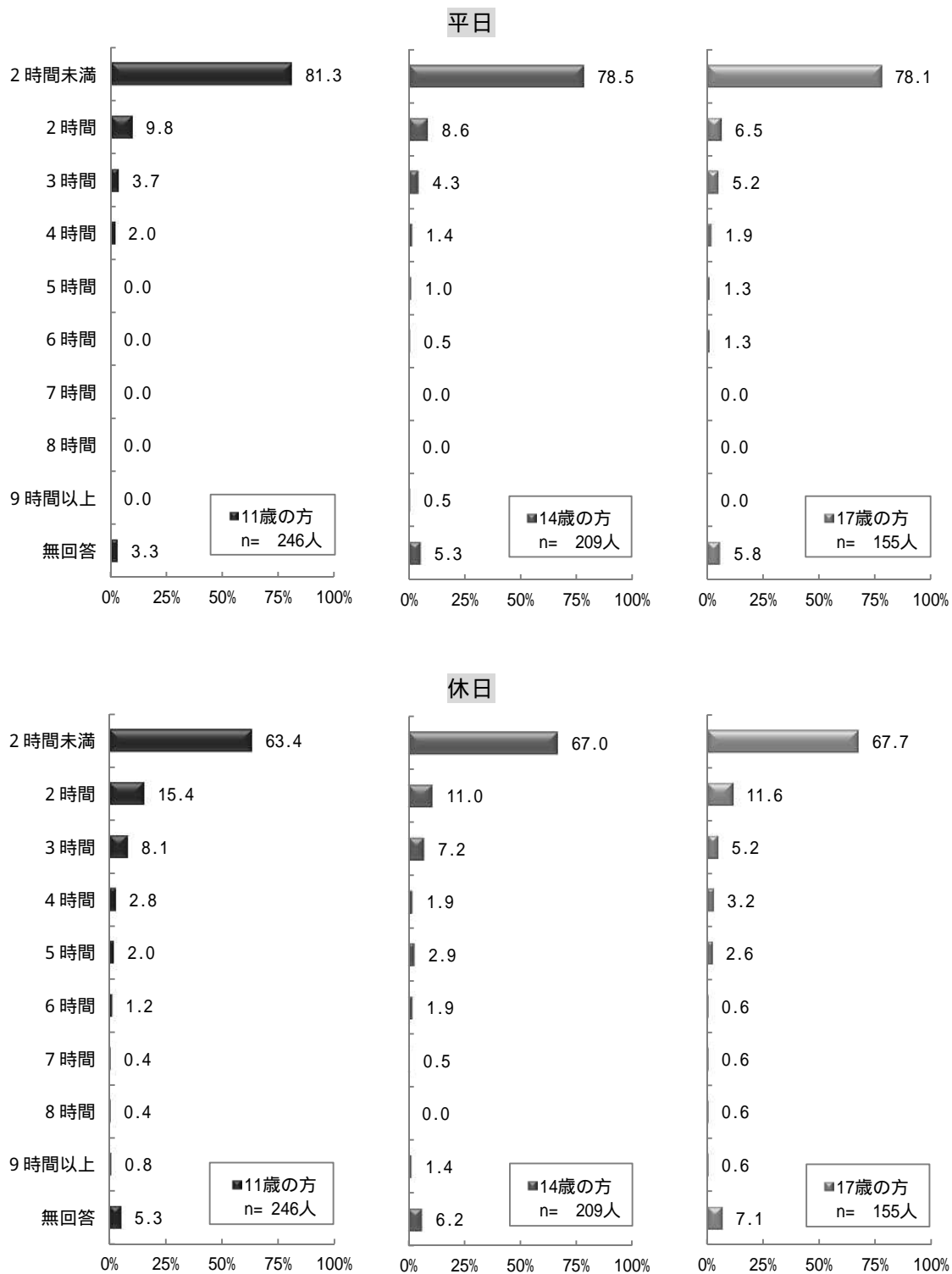
問 14-1 携帯電話・スマートフォンの使用時間



携帯型ゲーム・テレビゲームの平日の使用時間をみると、「2時間未満」(11歳 81.3%、14歳 78.5%、17歳 78.1%)が最も多くなっています。

休日では、「2時間未満」(11歳 63.4%、14歳 67.0%、17歳 67.7%)が最も多く、次いで「2時間」(11歳 15.4%、14歳 11.0%、17歳 11.6%)となっています。

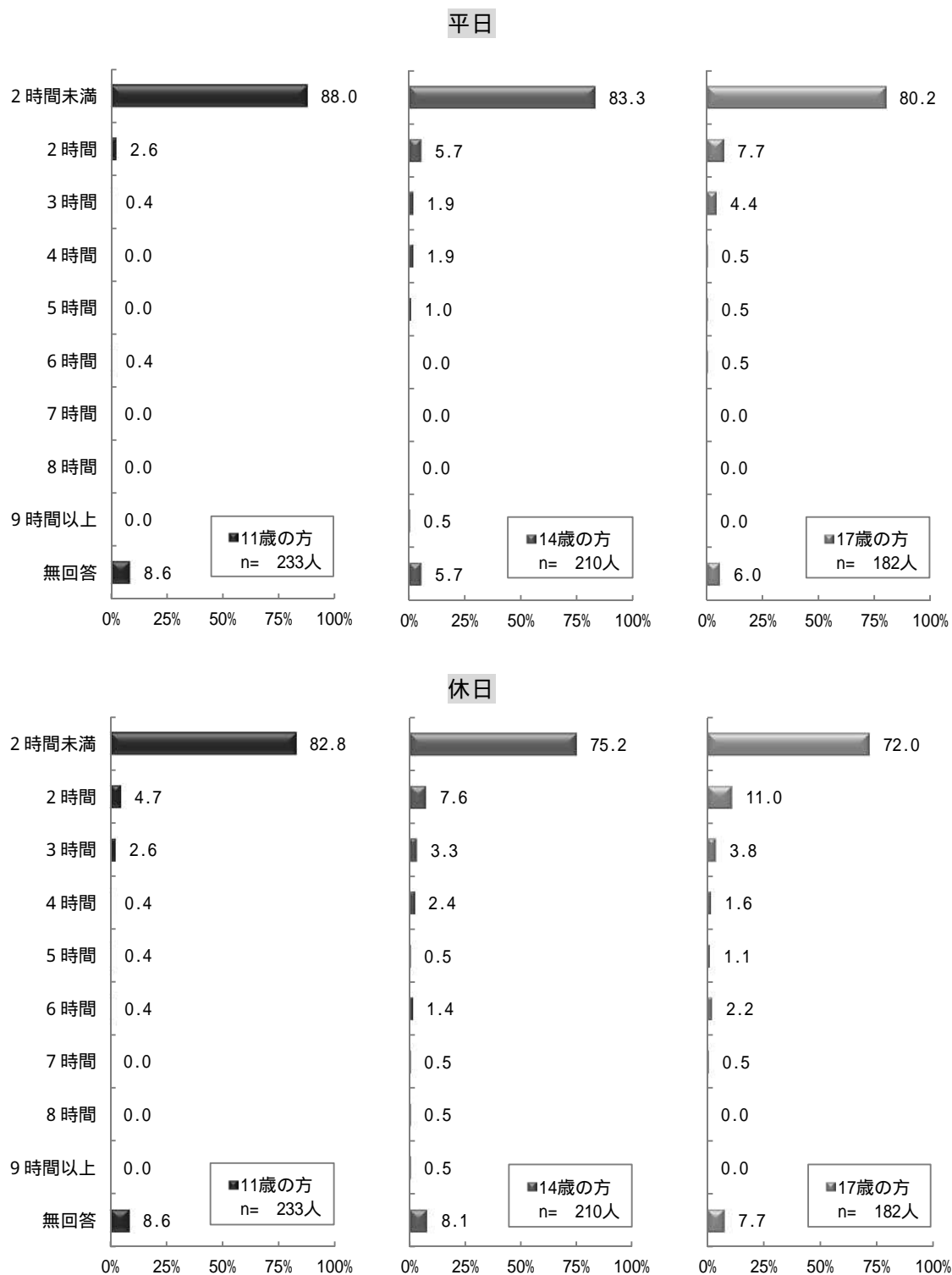
問 14-1 携帯型ゲーム・テレビゲームの使用時間





パソコン（家族で持っているものも含む）の平日の使用時間をみると、「2時間未満」（11歳 88.0%、14歳 83.3%、17歳 80.2%）が最も多くなっています。  
 休日では、「2時間未満」（11歳 82.8%、14歳 75.2%、17歳 72.0%）が最も多くなっています。

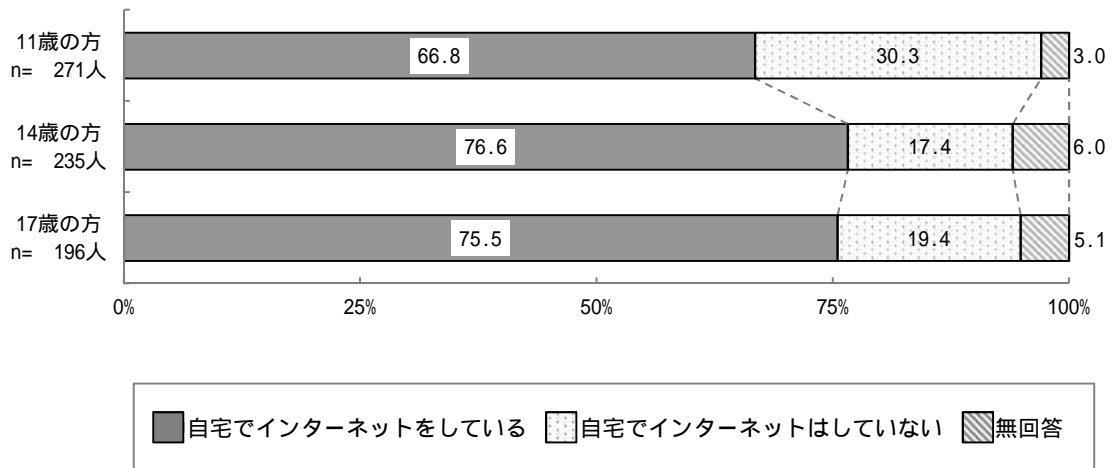
問 14-1.3 パソコン（家族で持っているものも含む）の使用時間



問 15 すべての方におたずねします。あなたは、自宅でインターネットをしていますか。

自宅でのインターネットの利用の有無をみると、「自宅でインターネットをしている」では、11歳 66.8%、14歳 76.6%、17歳 75.5%となっており、一方「自宅でインターネットをしていない」では、11歳 30.3%、14歳 17.4%、17歳 19.4%となっています。

問 15 自宅でのインターネット利用の有無

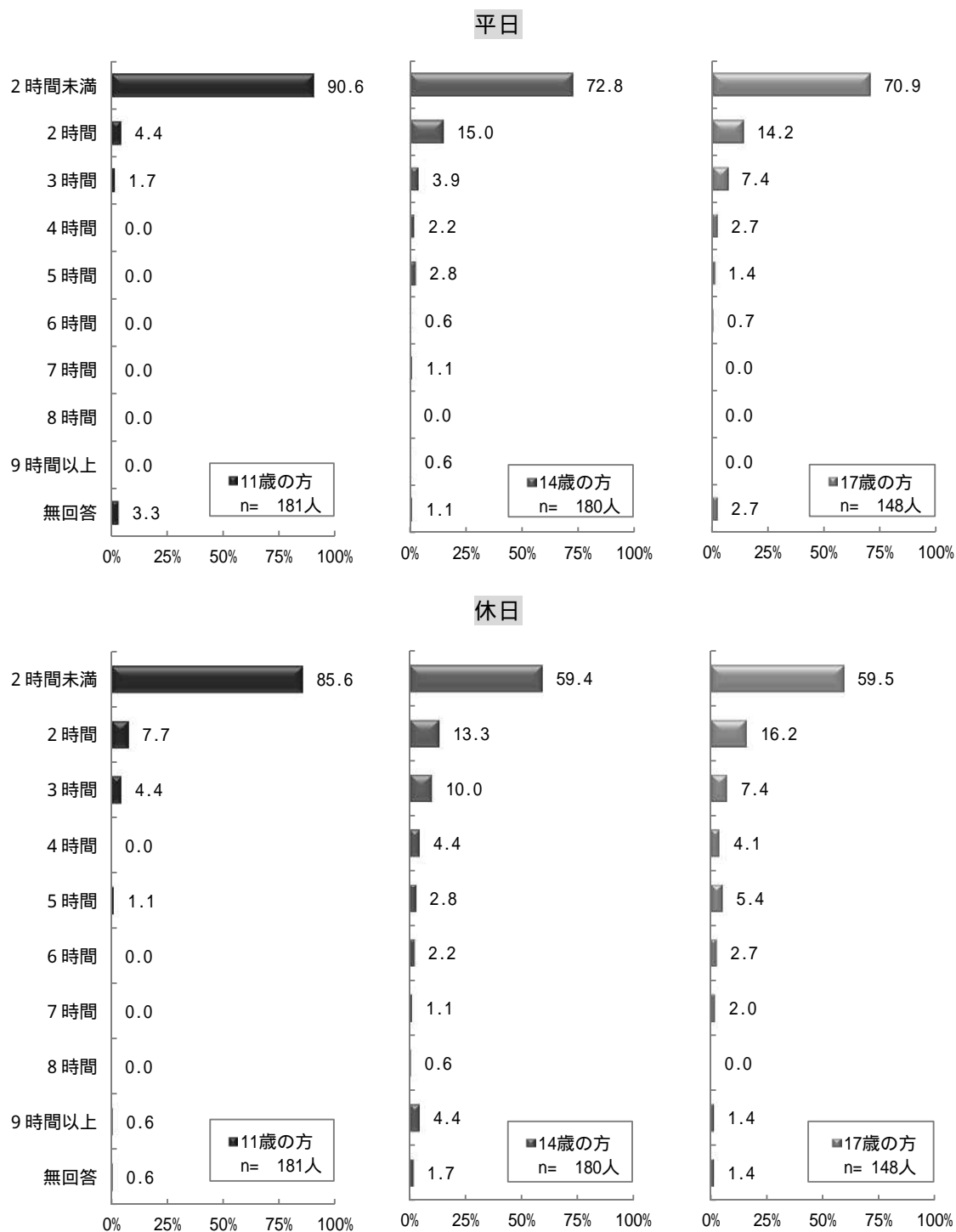


問 15-1 問 15 で「1. 自宅でインターネットをしている」に つけた方におたずねします。  
 インターネットをしている時間はどのくらいですか。平日、休日の1日の平均時間をか  
 いてください。

平日の自宅でのインターネットの使用時間をみると、「2時間未満」(11歳 90.6%、14歳 72.8%、17歳 70.9%)、「2時間」(11歳 4.4%、14歳 15.0%、17歳 14.2%)となっています。

休日では、「2時間未満」(11歳 85.6%、14歳 59.4%、17歳 59.5%)、「2時間」(11歳 7.7%、14歳 13.3%、17歳 16.2%)となっています。

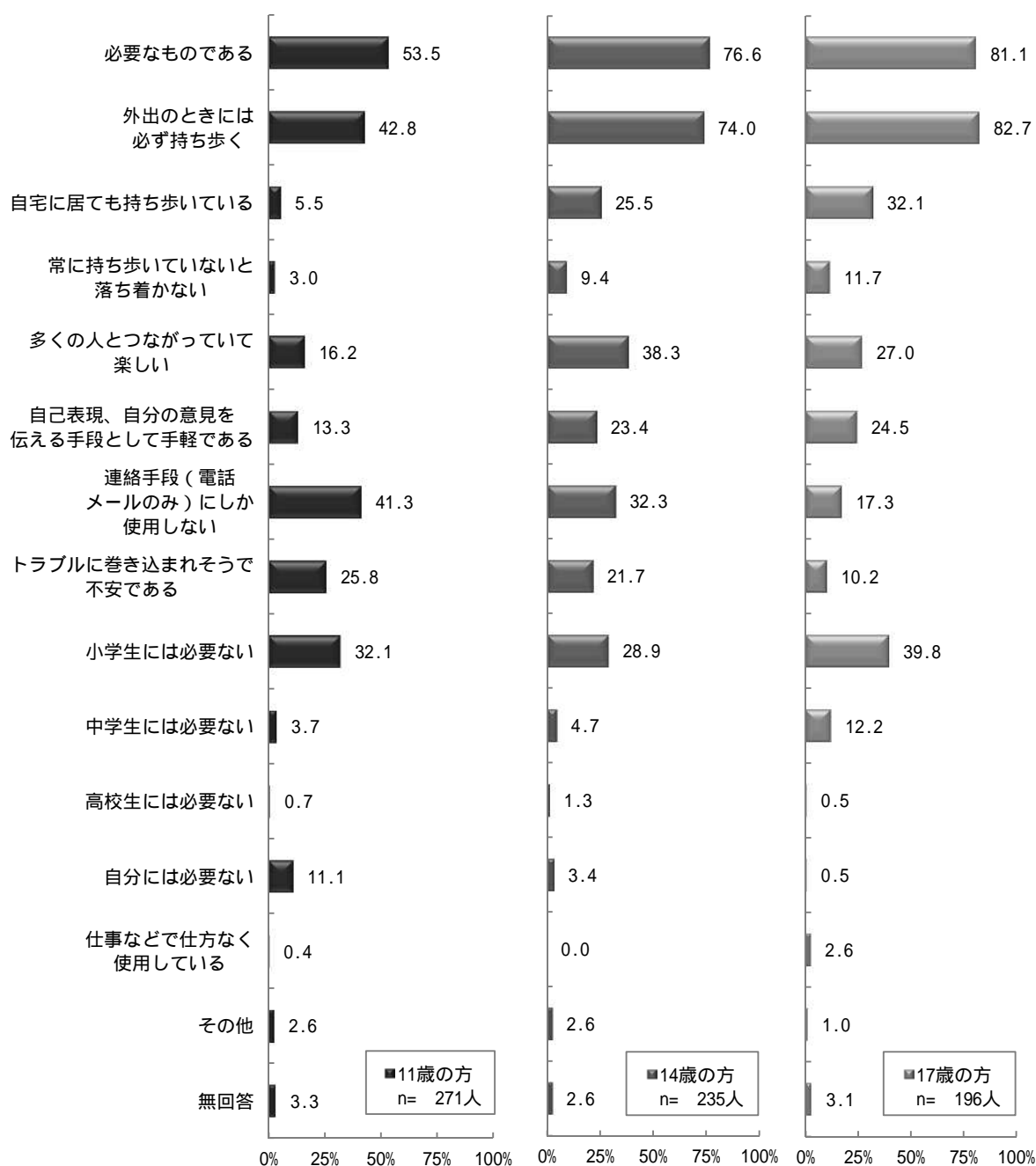
問 15-1 自宅でのインターネットの使用時間



問 16 すべての方におたずねします。携帯電話、スマートフォンに対する考え方や使い方について、あなたの考え方や行動に近いものを選んでください。

携帯電話やスマートフォンに対する考え方や使い方では、11歳では「必要なものである」(53.5%)、「外出のときには必ず持ち歩く」(42.8%)、「連絡手段(電話、メールのみ)にしか使用しない」(41.3%)となっています。14歳では「必要なものである」(76.6%)、「外出のときには必ず持ち歩く」(74.0%)、「多くの人とつながっていて楽しい」(38.3%)となっています。17歳では、「外出のときには必ず持ち歩く」(82.7%)、「必要なものである」(81.1%)、「小学生には必要ない」(39.8%)となっています。

問 16 携帯電話やスマートフォンに対する考え方や使い方



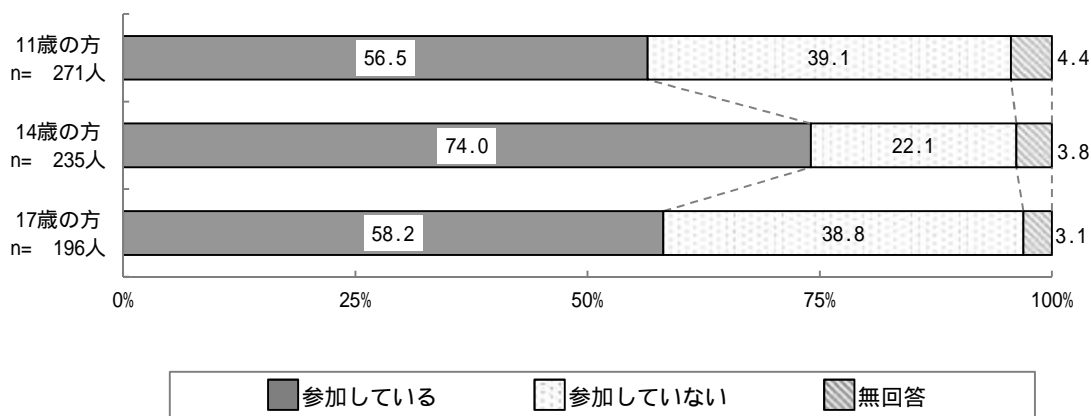
問 17 日ごろ、地域活動や部活動、子ども会などの活動に参加していますか。

問 17-1 問 17で「2. 参加していない」とお答えの方におたずねします。活動に参加していない主な理由は何ですか。

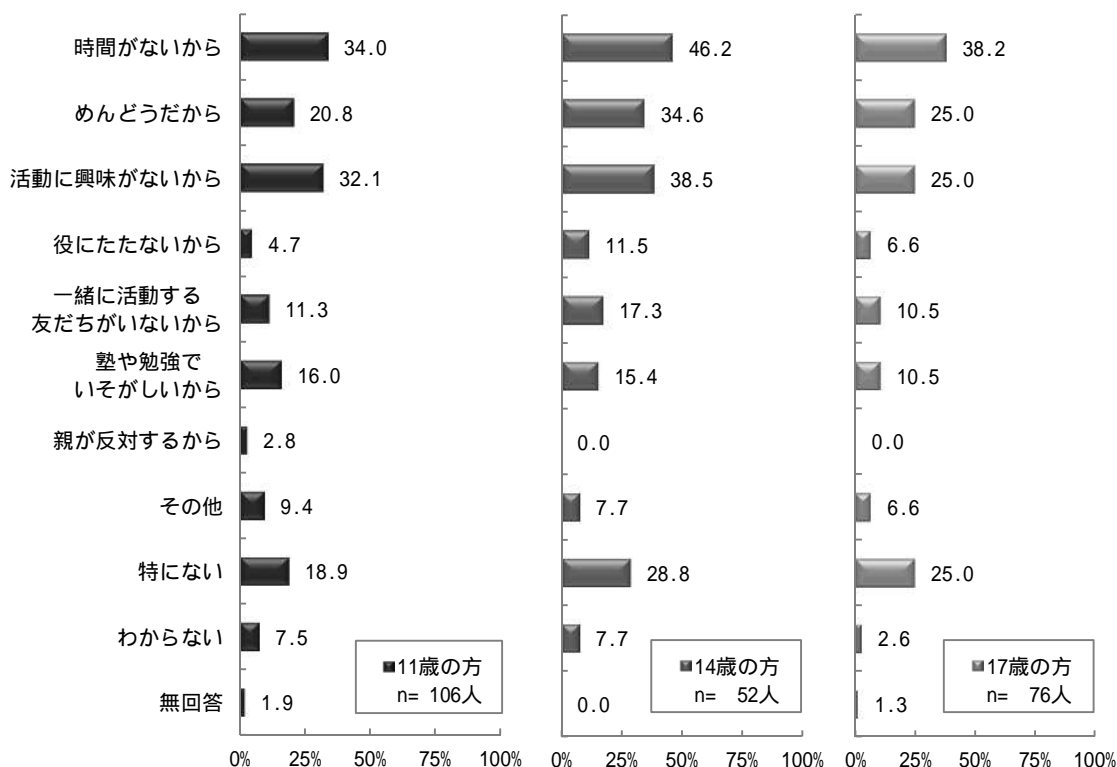
地域活動や部活動、子ども会等への参加の有無をみると、「参加している」では11歳56.5%、14歳74.0%、17歳58.2%となっており、一方「参加していない」では11歳39.1%、14歳22.1%、17歳38.8%となっています。

活動に参加しない理由では、「時間がないから」(11歳34.0%、14歳46.2%、17歳38.2%)、「活動に興味がないから」(11歳32.1%、14歳38.5%、17歳25.0%)、「めんどうだから」(11歳20.8%、14歳34.6%、17歳25.0%)となっています。

問 17 地域活動、部活動、子ども会等への参加の有無



問 17-1 活動に参加しない理由



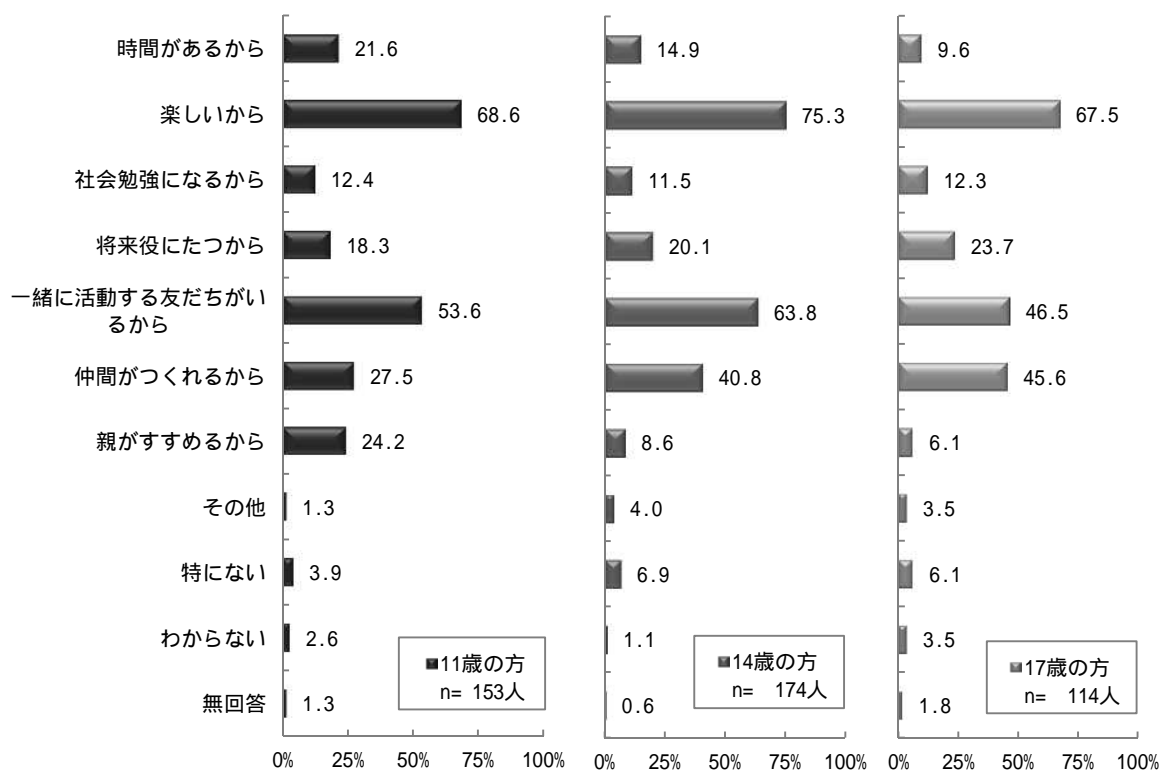
問 17-2 問 17 で「1. 参加している」とお答えの方におたずねします。活動に参加している主な理由は何ですか。

問 17-3 問 17 で「1. 参加している」とお答えの方におたずねします。どのような活動に参加していますか。

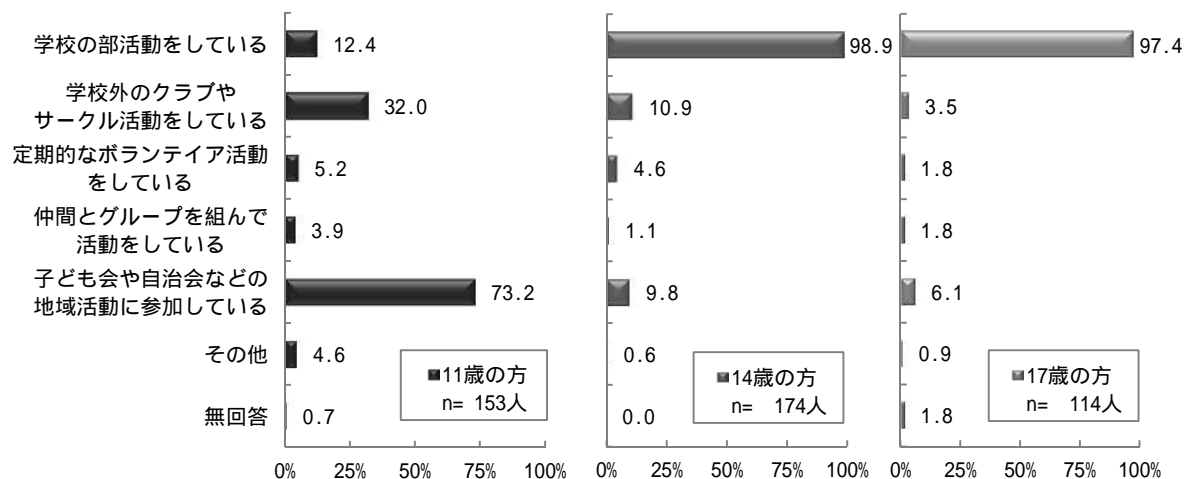
活動に参加している理由をみると、「楽しいから」(11 歳 68.6%、14 歳 75.3%、17 歳 67.5%) が最も多く、次いで「一緒に活動する友だちがいるから」(11 歳 53.6%、14 歳 63.8%、17 歳 46.5%)、「仲間がしてくれるから」(11 歳 27.5%、14 歳 40.8%、17 歳 45.6%) となっています。

参加している活動をみると、11 歳では「子ども会や自治会などの地域活動に参加している」(73.2%)、14 歳及び 17 歳では「学校の部活動をしている」(14 歳 98.9%、17 歳 97.4%) が最も多くなっています。

問 17-2 活動に参加している理由



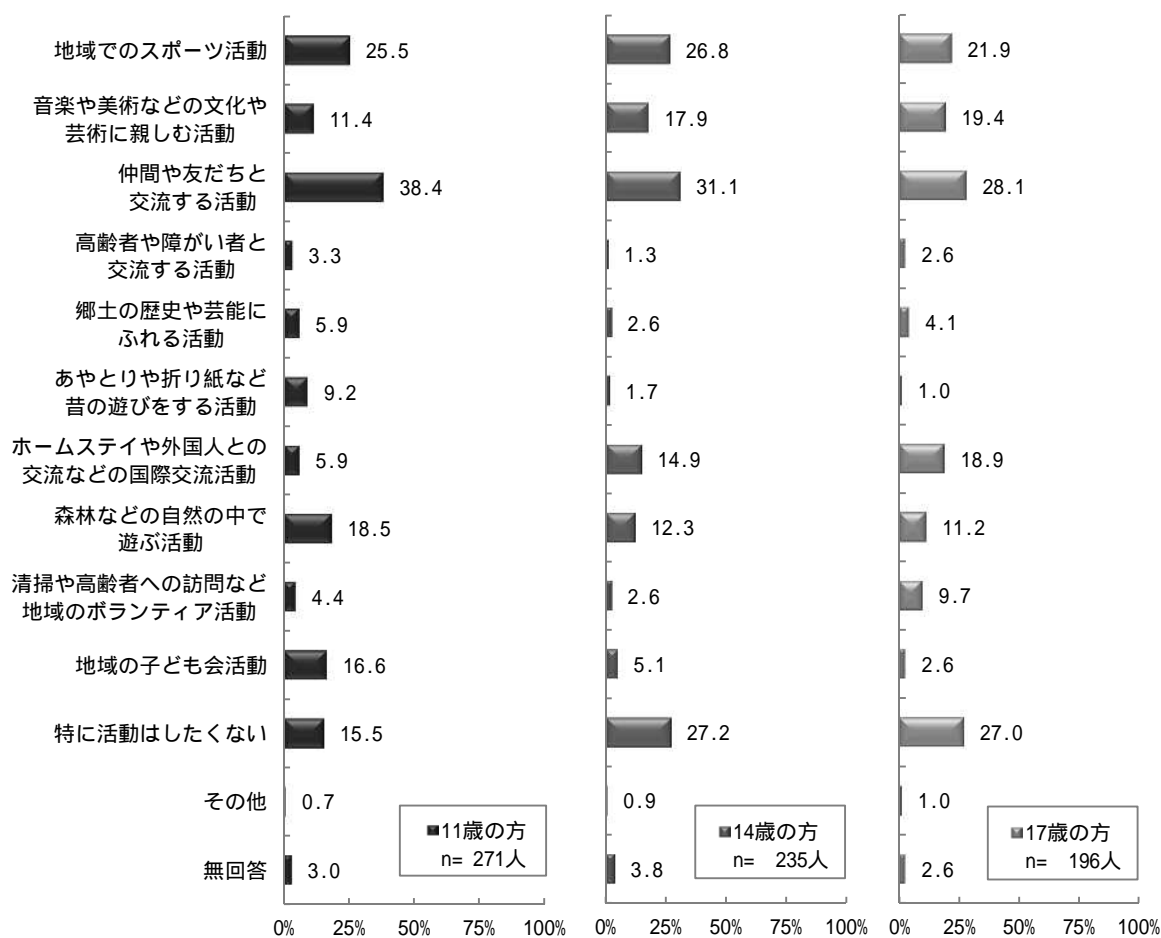
問 17-3 参加している活動



問 18 すべての方におたずねします。あなたは、これからどのような地域活動やグループ活動に参加したいと思いますか。

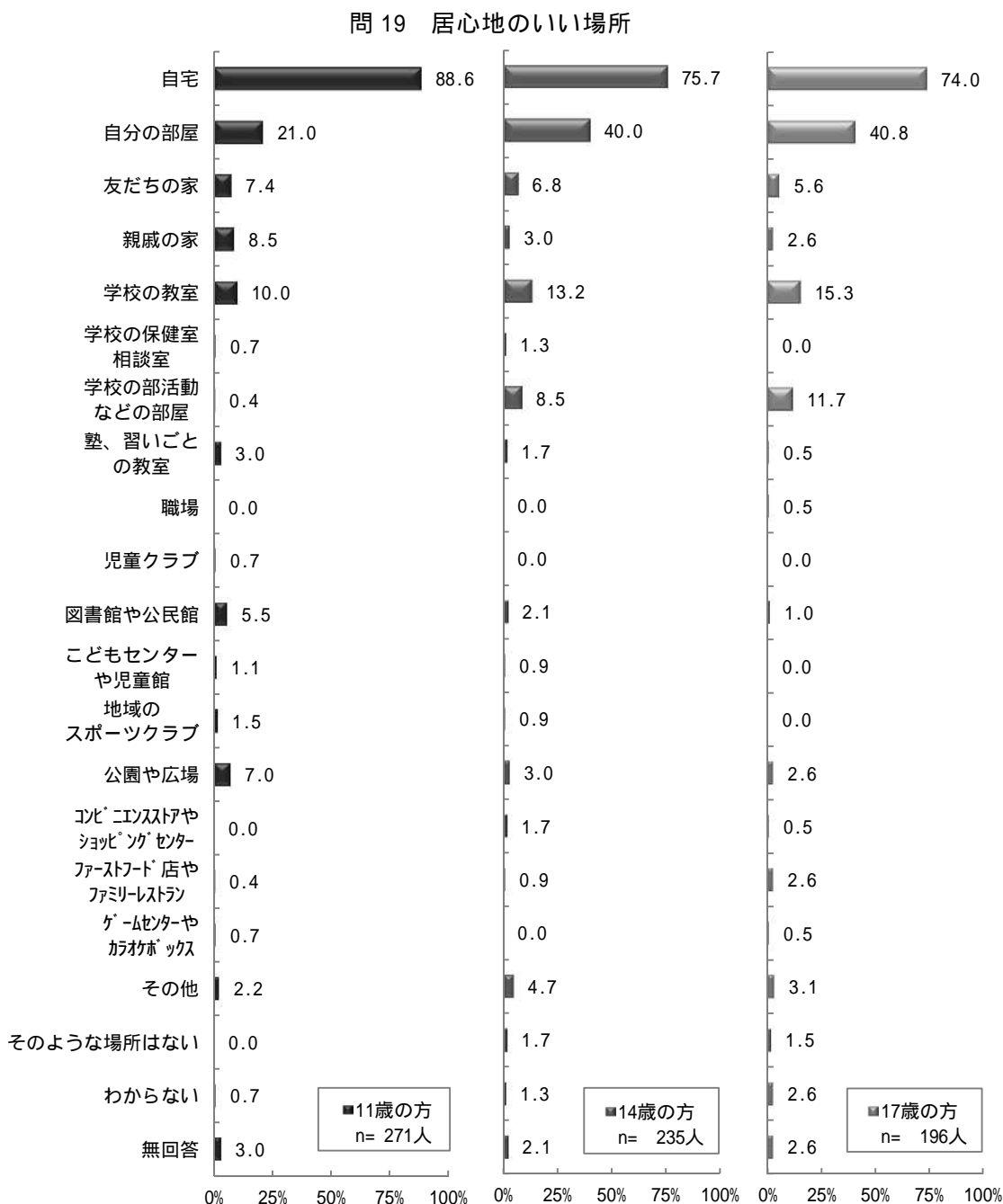
参加したい活動は、「仲間や友だちと交流する活動」(11歳 38.4%、14歳 31.1%、17歳 28.1%)が最も多く、次いで「地域でのスポーツ活動」(11歳 25.5%、14歳 26.8%、17歳 21.9%)となっています。また、11歳では「森林などの自然の中で遊ぶ活動」(18.5%)、14歳では「音楽や美術などの文化や芸術に親しむ活動」(17.9%)、17歳では「ホームステイや外国人との交流などの国際交流活動」(18.9%)なども多くなっています。

問 18 参加したい活動



問 19 あなたにとって、もっとも居心地のよい場所はどこですか。

居心地のいい場所は、「自宅」(11歳 88.6%、14歳 75.7%、17歳 74.0%)  
 が最も多く、次いで「自分の部屋」(11歳 21.0%、14歳 40.0%、17歳 40.8%)  
 となっています。





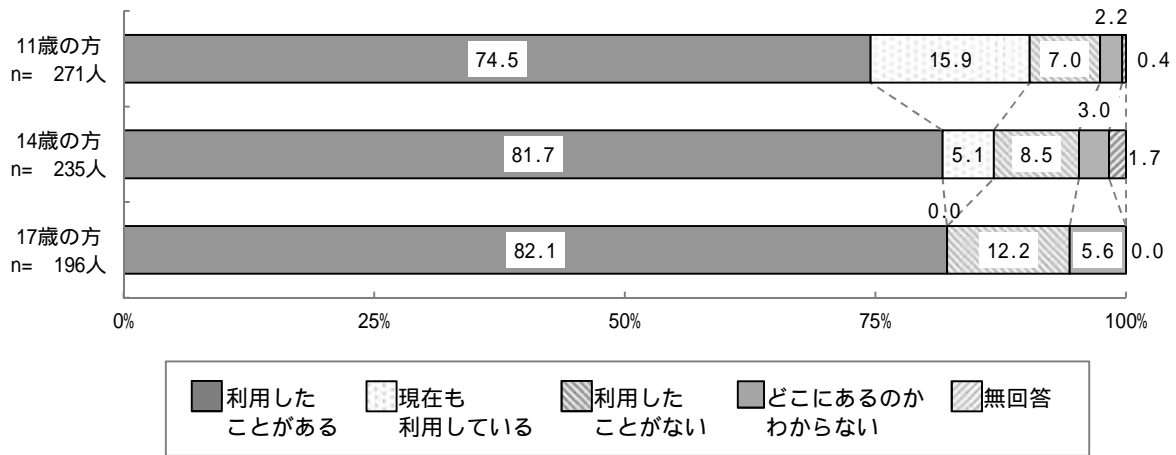
問20 あなたは、こどもセンターや児童館を利用したことがありますか。

問21 こどもセンターや児童館は皆さんのための施設です。使いやすい施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

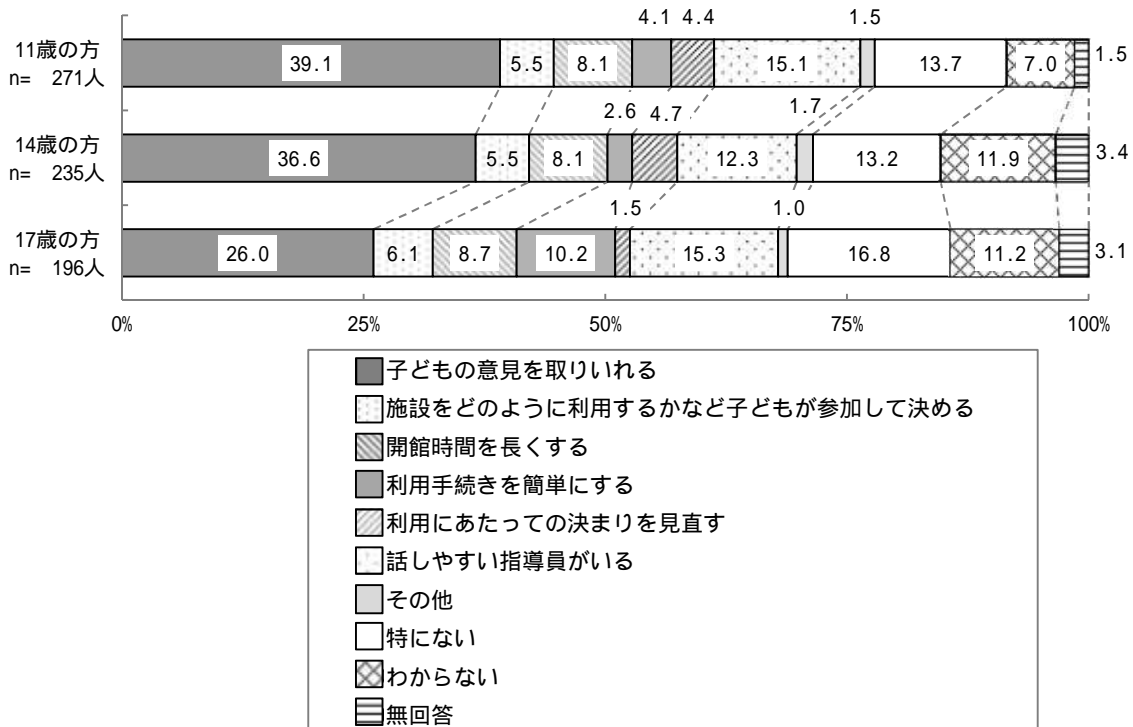
こどもセンターや児童館の利用経験は、「利用したことがある」(11歳 74.5%、14歳 81.7%、17歳 82.1%)が最も多くなっています。

使いやすい施設にするために必要だと思うことは、「子どもの意見を取り入れる」(11歳 39.1%、14歳 36.6%、17歳 26.0%)が最も多くなっています。

問20 こどもセンターや児童館の利用経験



問21 使いやすい施設にするために必要だと思うこと



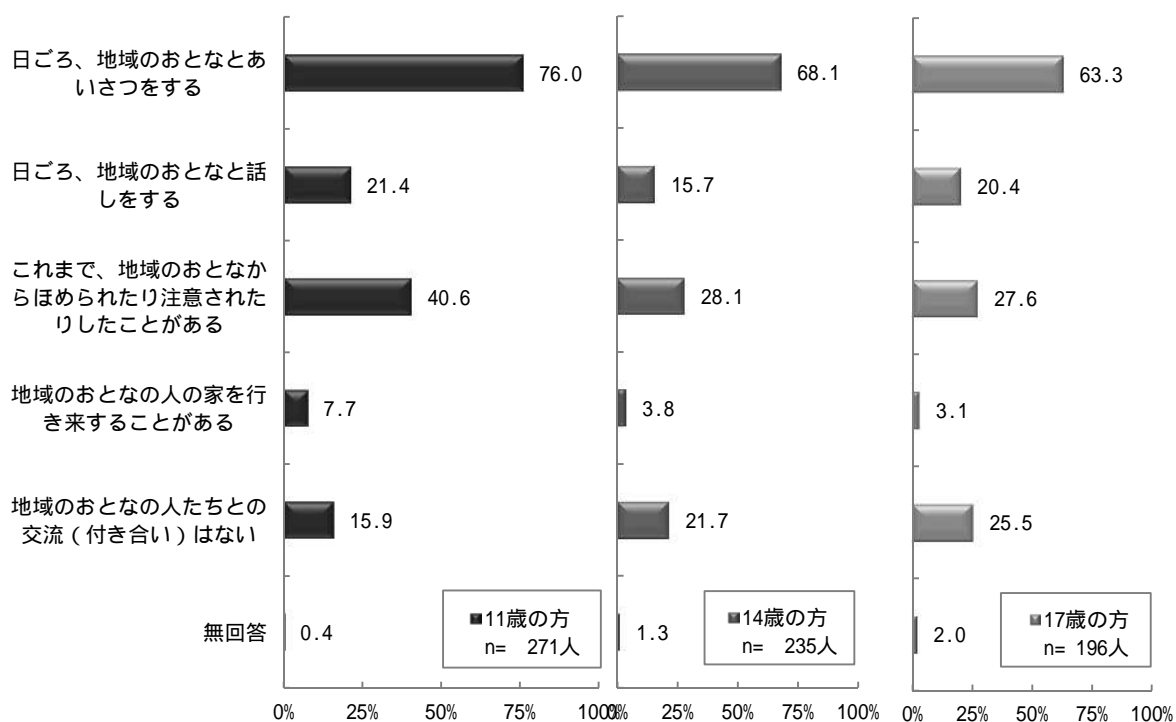
問 22 あなたは地域のおとなの人たち（だいたい 20 歳以上の人）との交流（付き合い）がありますか。

問 22-1 問 22 で「5 . 地域の人たちとの交流（付き合い）はない」と答えた方におたずねします。これからは地域の人たちと交流したいと思いますか。

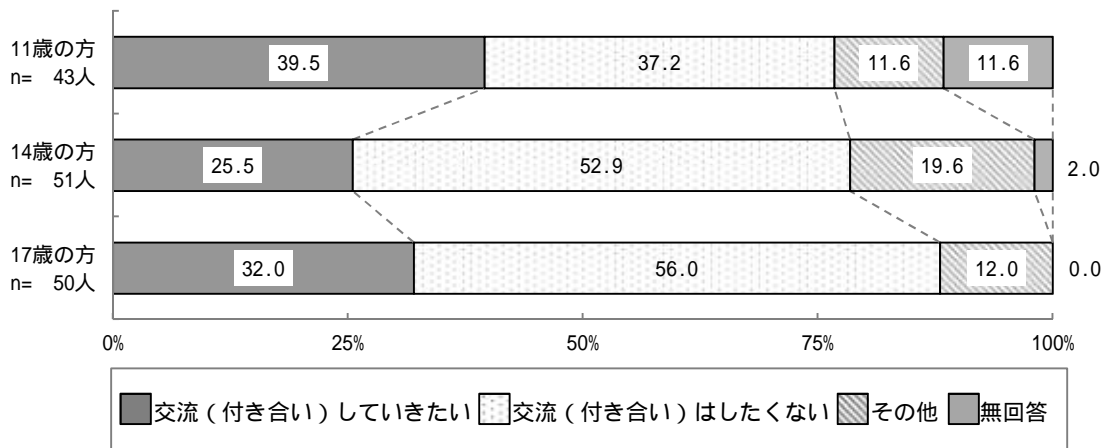
地域のおとなとの交流は、「日ごろ、地域のおとなとあいさつする」（11 歳 76.0%、14 歳 68.1%、17 歳 63.3%）が最も多くなっています。

交流のない人への今後の意向は、11 歳「交流（付き合い）していきたい」（39.5%）、14 歳および 17 歳では「交流（付き合い）はしたくない」（14 歳 52.9%、）（17 歳 56.0%）が多くなっています。

問 22 地域のおとなとの交流の有無



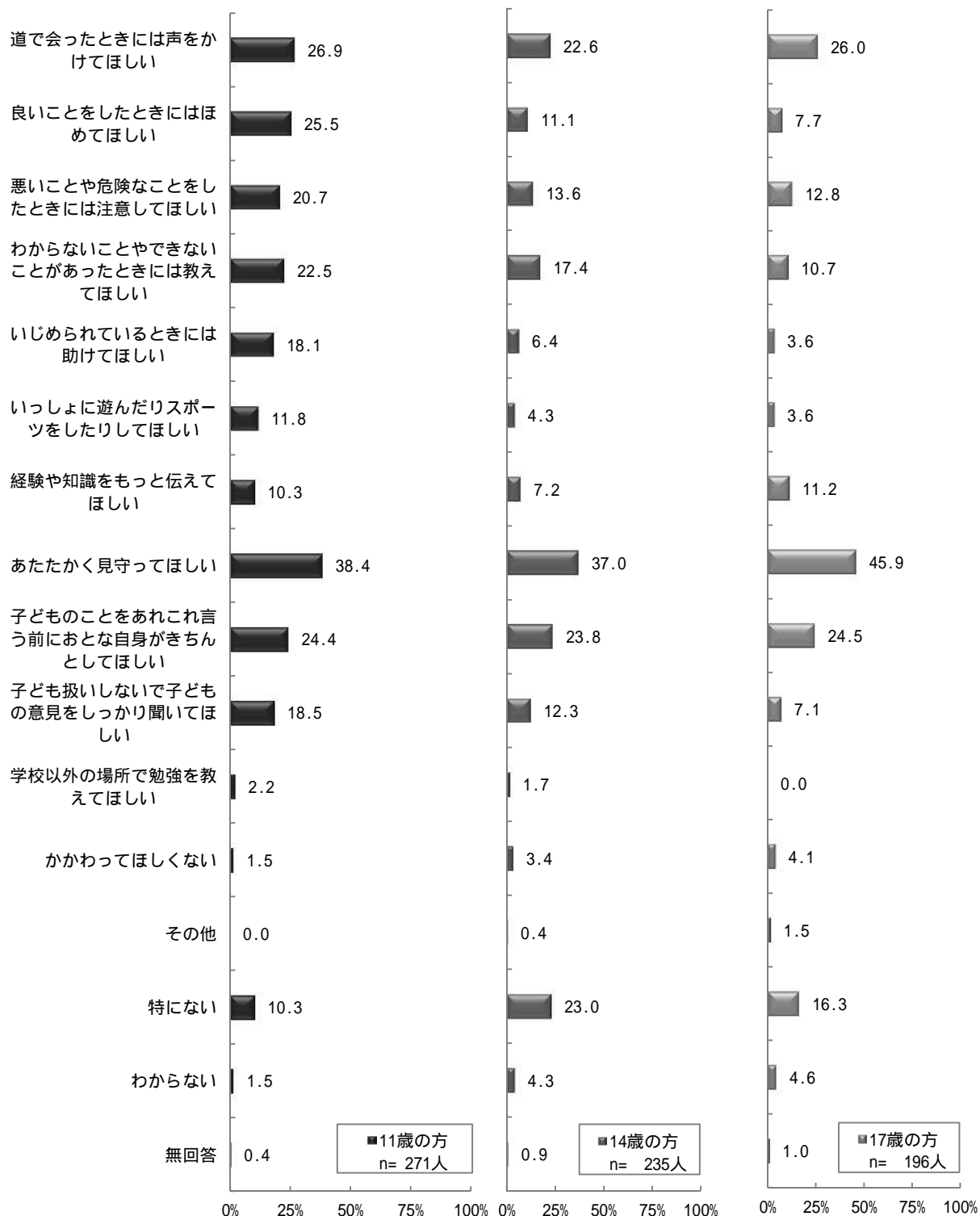
問 22-1 これから地域の人たちと交流したいか（交流のない人）



問23 すべての方におたずねします。あなたにとって、地域の人たちにしてほしいことはどのようなことですか。もっともあてはまるものを選んでください。

地域の人たちにしてほしいことは、「あたたかく見守ってほしい」(11歳 38.4%、14歳 37.0%、17歳 45.9%)が最も多くなっています。他では「道で会ったときには声をかけてほしい」「子どものことをあれこれ言う前におとな自身がきちんとしてほしい」が多くなっています。

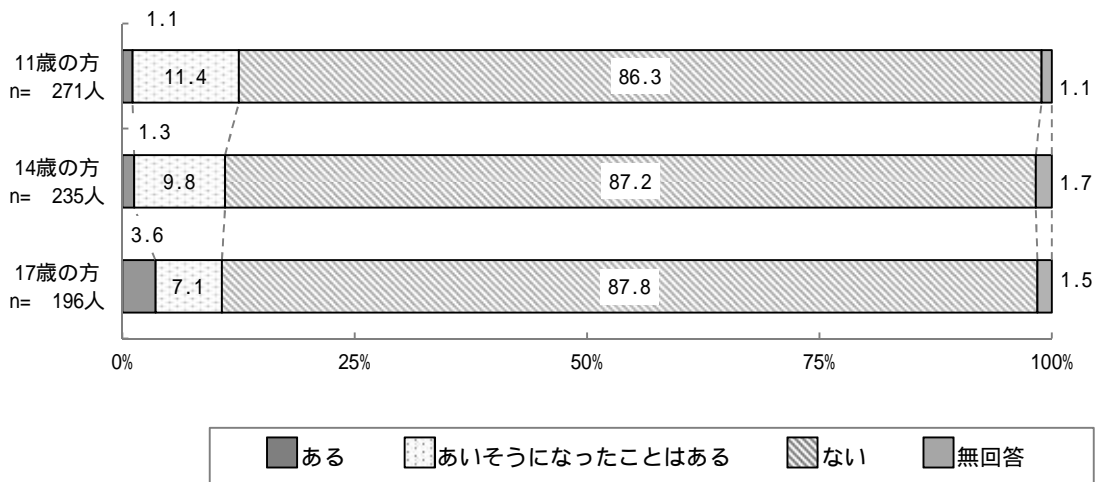
問23 地域の人たちにしてほしいこと



問 24 あなたは、知らない人に連れ去られそうになるなど、犯罪の被害にあったことがありますか。

犯罪の被害経験は、「ある」(11歳 1.1%、14歳 1.3%、17歳 3.6%)、「あいそようになったことはある」(11歳 11.4%、14歳 9.8%、17歳 7.1%)となっています。

問 24 犯罪の被害経験



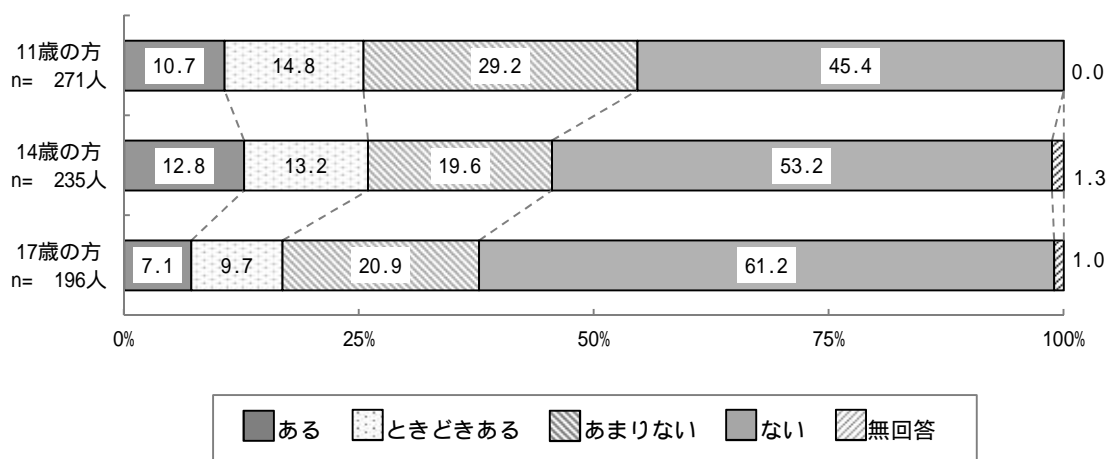
### 3 子どもの権利について

問 25 次のア～エのことを、親からされたことはありますか。

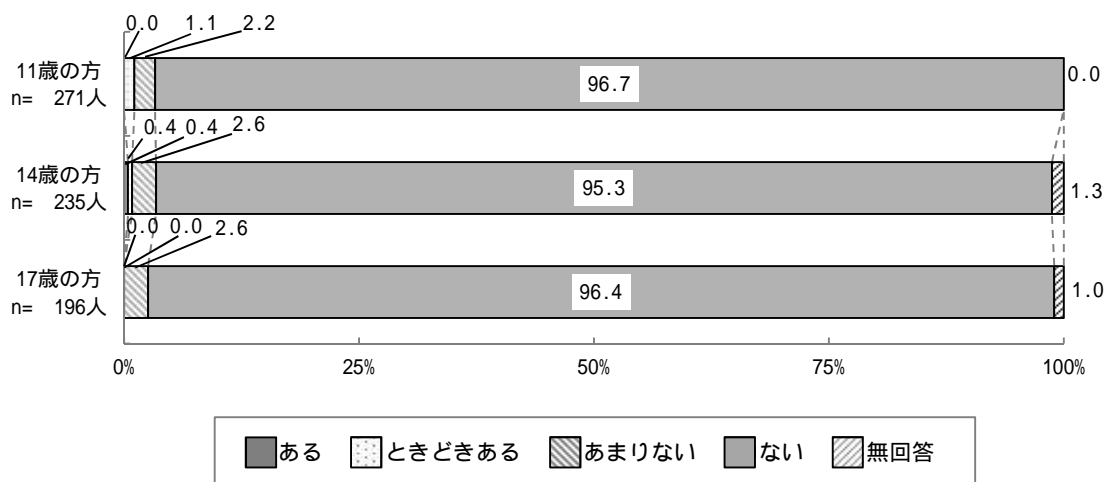
『たたかれたり、つねられたりする』ことの有無は、「ある」(11歳 10.7%、14歳 12.8%、17歳 7.1%)、「ときどきある」(11歳 14.8%、14歳 13.2%、17歳 9.7%)となっています。

『食事・風呂などの世話をしてもらえない』ことの有無は、「ない」(11歳 96.7%、14歳 95.3%、17歳 96.4%)となっています。

問 25.ア たたかれたり、つねられたりする



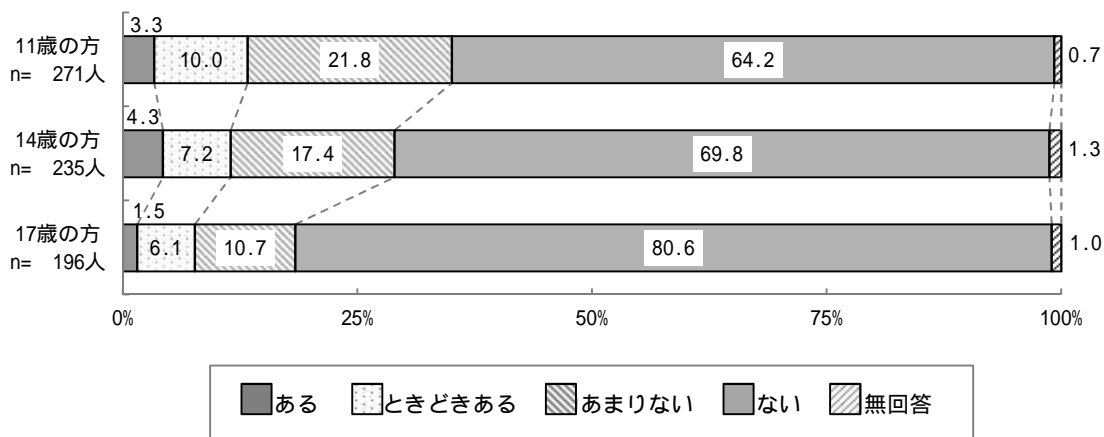
問 25.イ 食事・風呂などの世話をしてもらえない



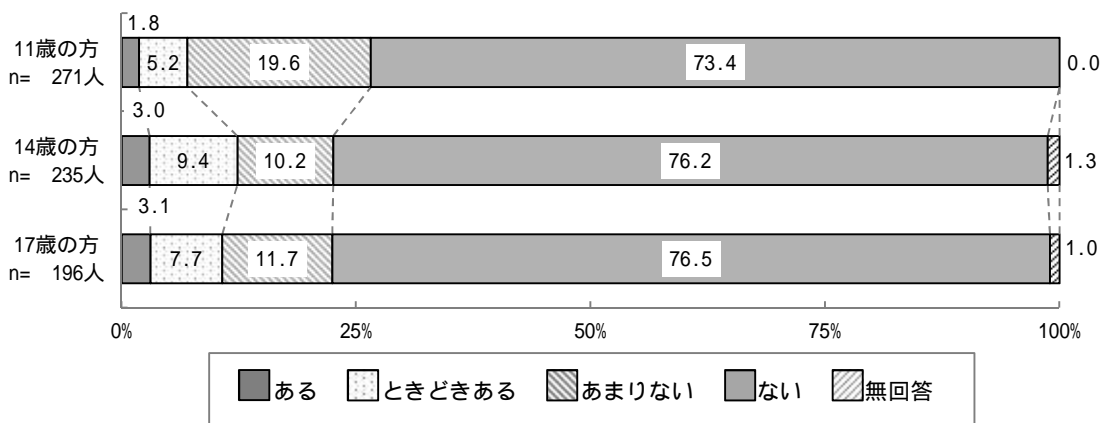
『きびしくつけられる』ことの有無は、「ある」(11歳 3.3%、14歳 4.3%、17歳 1.5%)、「ときどきある」(11歳 10.0%、14歳 7.2%、17歳 6.1%)となっています。

『言葉でおどされたり無視されたりする』ことの有無は、「ある」(11歳 1.8%、14歳 3.0%、17歳 3.1%)、「ときどきある」(11歳 5.2%、14歳 9.4%、17歳 7.7%)となっています。

問 25.ウ きびしくつけられる

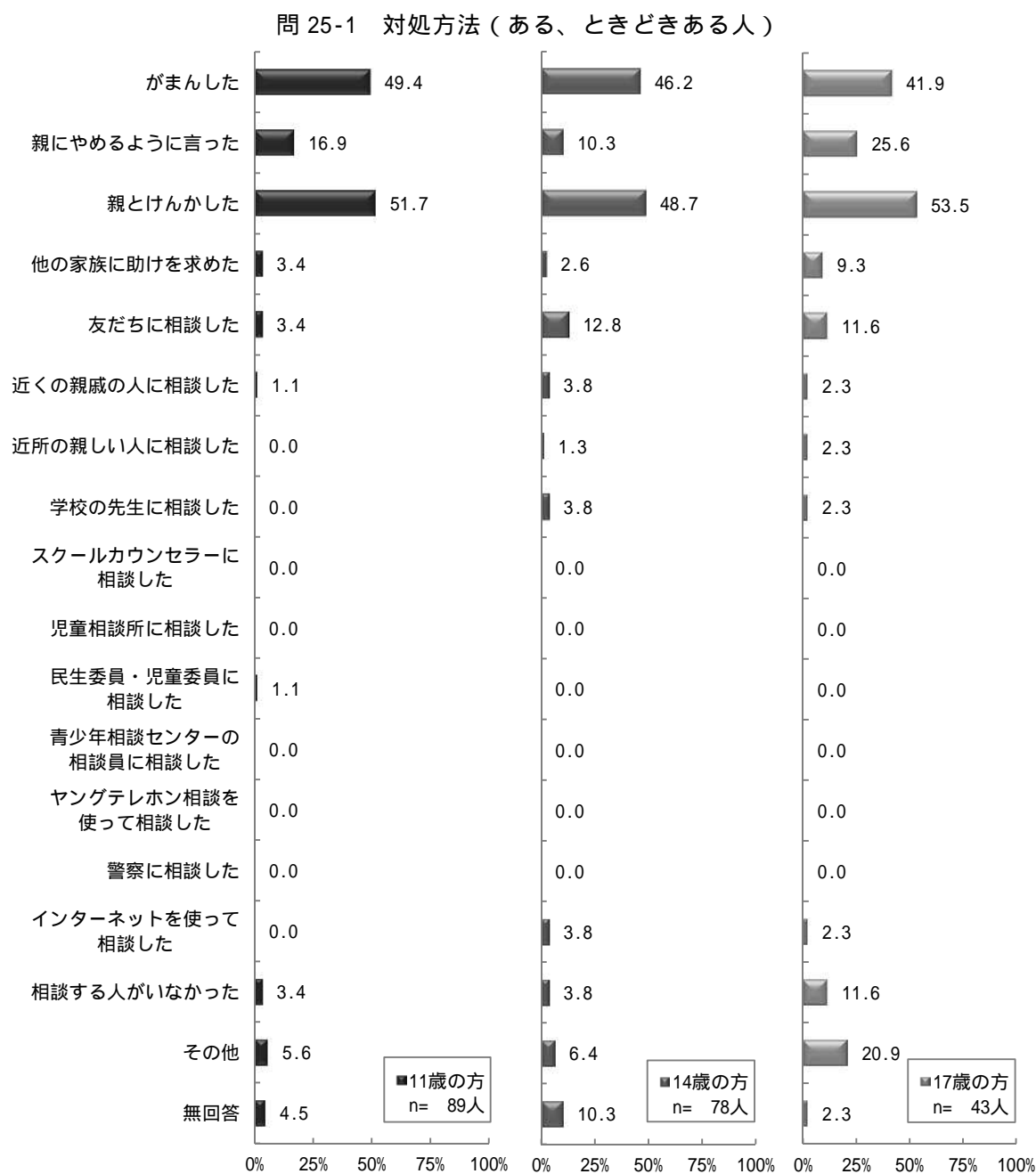


問 25.エ 言葉でおどされたり無視されたりする



問 25-1 問 25 のア～エで、ひとつでも「1. ある」「2. ときどきある」とお答えの方におたずねします。そのときに、あなたはどうしましたか。

対処方法は、「親とけんかした」(11歳 51.7%、14歳 48.7%、17歳 53.5%)が最も多く、次いで「がまんした」(11歳 49.4%、14歳 46.2%、17歳 41.9%)、「親にやめるように言った」(11歳 16.9%、14歳 10.3%、17歳 25.6%)となっています。

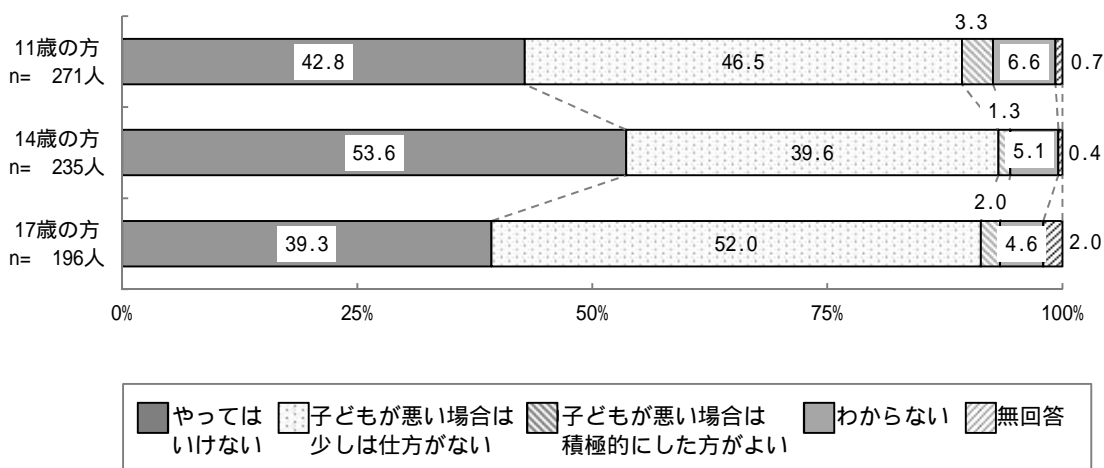


問 26 すべての方におたずねします。次のア～エについて、子どもが言うことを聞かないときに、親が子どもに対してしつけとして行うことについてどう思いますか。

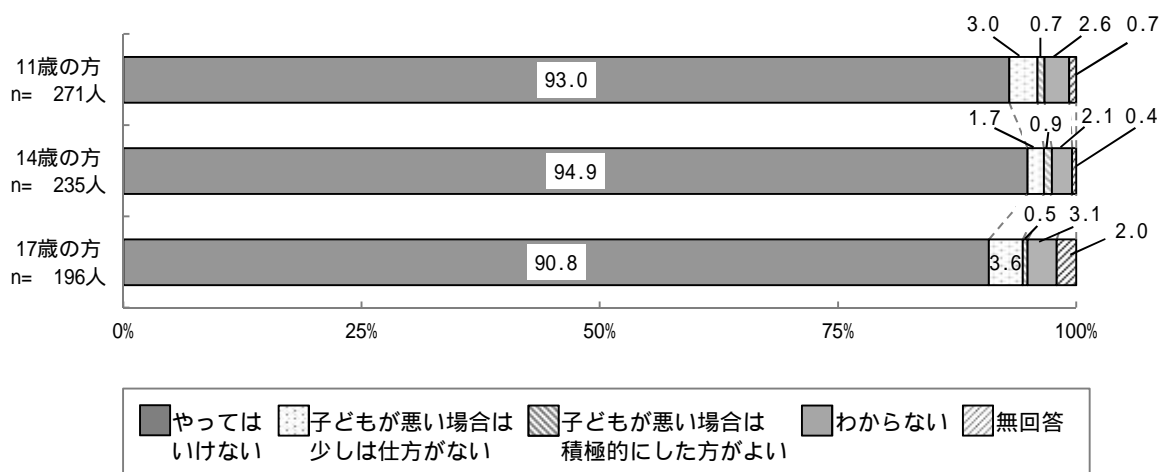
子どもに対するしつけとして、『子どもをたたいたりつねったりする』ことは「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(11歳 46.5%、17歳 52.0%)、「やってはいけない」(14歳 53.6%)が最も多くなっています。

『食事を与えない、お風呂に入れさせない、子どもの世話をしない』ことは「やってはいけない」(11歳 93.0%、14歳 94.9%、17歳 90.8%)が最も多くなっています。

問 26.ア 子どもに対するしつけ：たたいたりつねったりする



問 26.イ 子どもに対するしつけ：食事やお風呂などの世話をしな

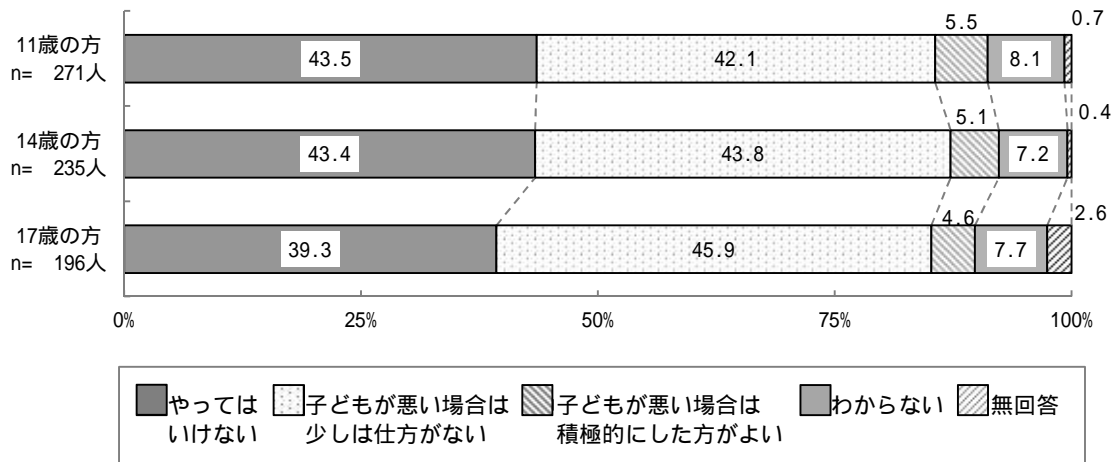




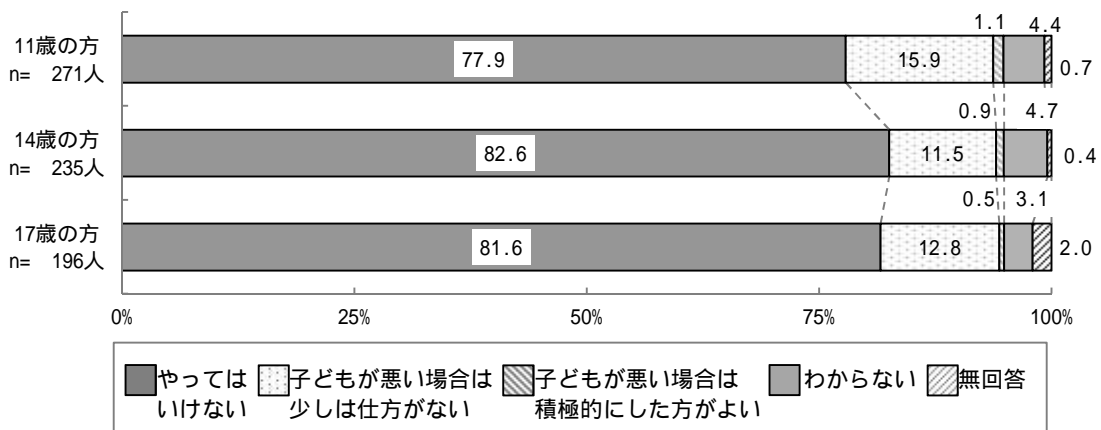
子どもに対するしつけとして、『何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつける』ことは「やってはいけない」(11歳 43.5%)、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(14歳 43.8%、17歳 45.9%) が最も多くなっています。

『言葉でおどしたり、無視したりする』ことは「やってはいけない」(11歳 77.9%、14歳 82.6%、17歳 81.6%) が最も多くなっています。

問 26.ウ 子どもに対するしつけ：きびしくしつける



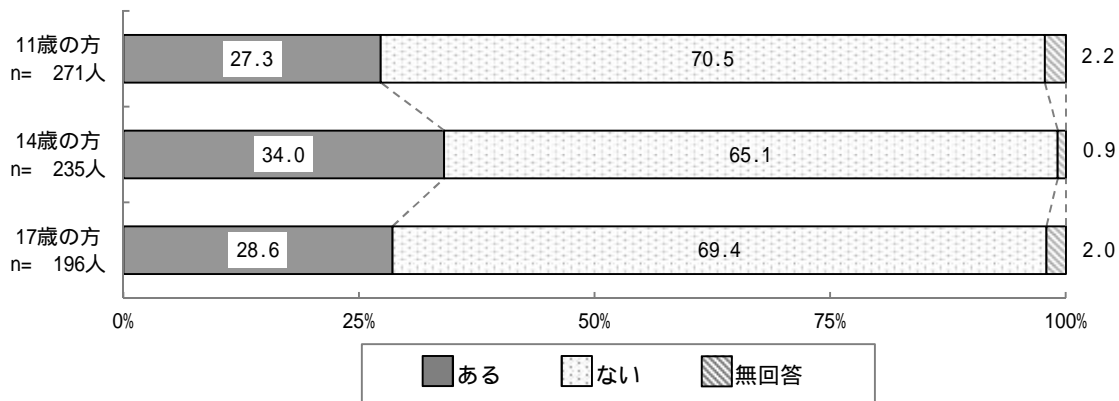
問 26.エ 子どもに対するしつけ：言葉でおどしたり無視したりする



問 27 あなたは、つらくてどうしようもないことを人から言われたり、されたりしたことがありますか。

つらくてどうしようもないことを人から言われたり、されたりしたことの有無は、「ある」(11歳 27.3%、14歳 34.0%、17歳 28.6%)となっています。

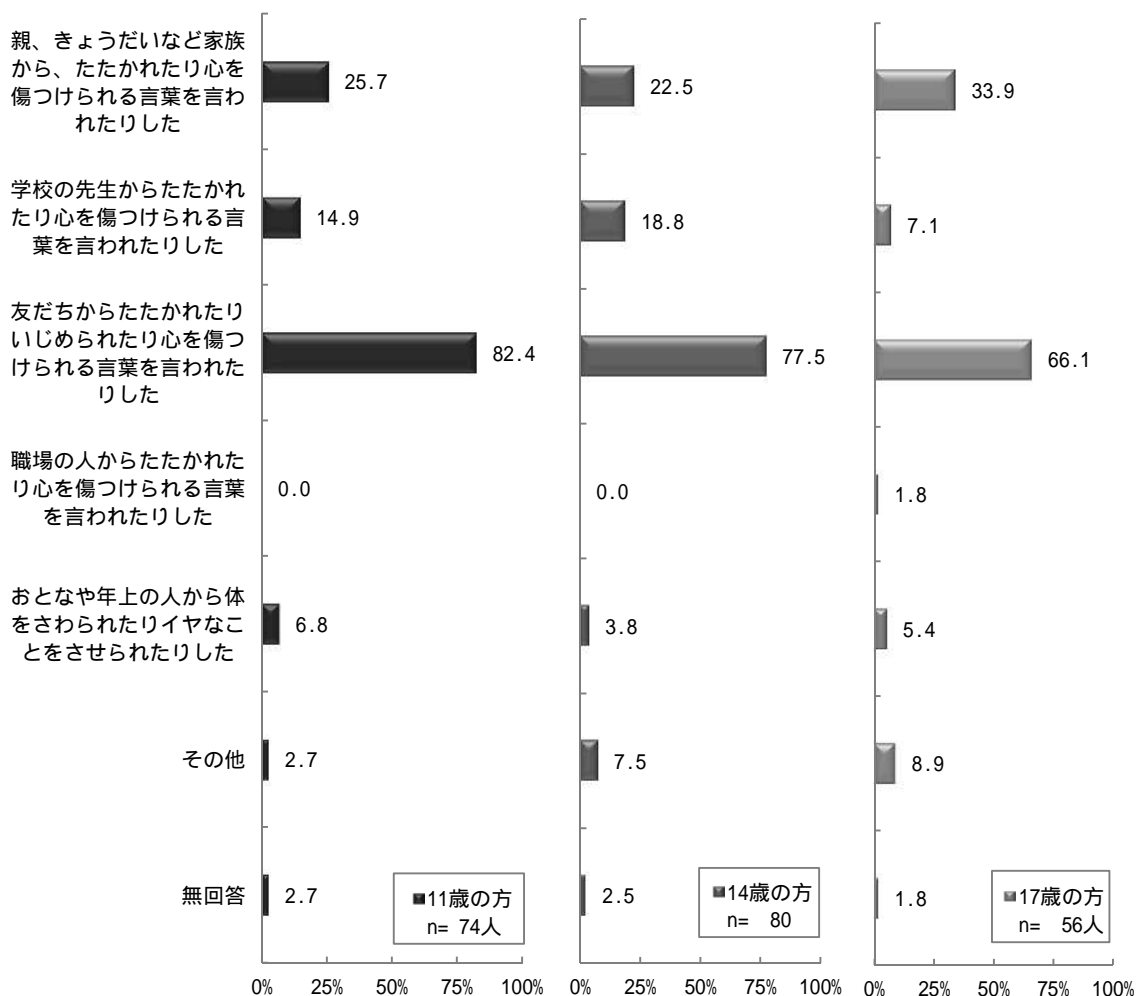
問 27 つらくてどうしようもないことを人から言われたりされたことの有無



問 27-1 問 27 で「1. ある」とお答えの方におたずねします。それはどんなことでしたか。

どんなことをされたのかは、「友だちからたたかれたり、いじめられたり心を傷つけられる言葉を言われたりした」(11歳 82.4%、14歳 77.5%、17歳 66.1%)が最も多く、次いで「親、きょうだいなど家族から、たたかれたり心を傷つけられる言葉を言われたりした」(11歳 25.7%、14歳 22.5%、17歳 33.9%)となっています。

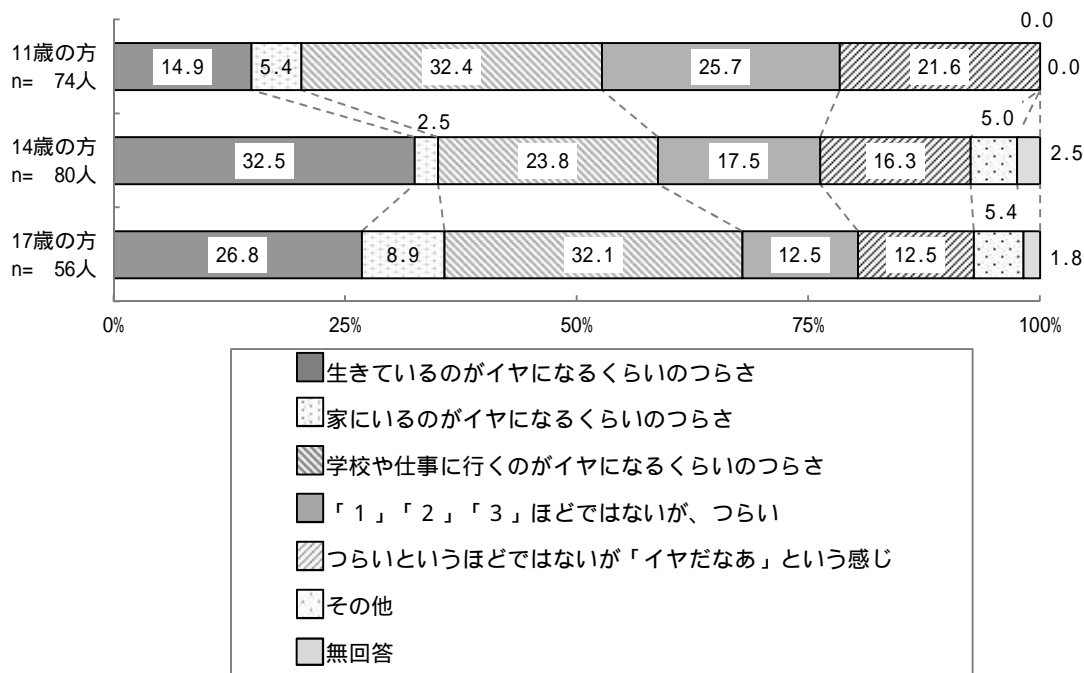
問 27-1 どんなことをされたか(ある人)



問 27-2 一番つらかったときは、次のどの気持ちに近かったですか。

一番つらかったときの気持ちは、「学校や仕事に行くのがイヤになるくらいのつらさ」(11歳 32.4%、17歳 32.1%)、「生きているのがイヤになるくらいのつらさ」(14歳 32.5%)が最も多くなっています。

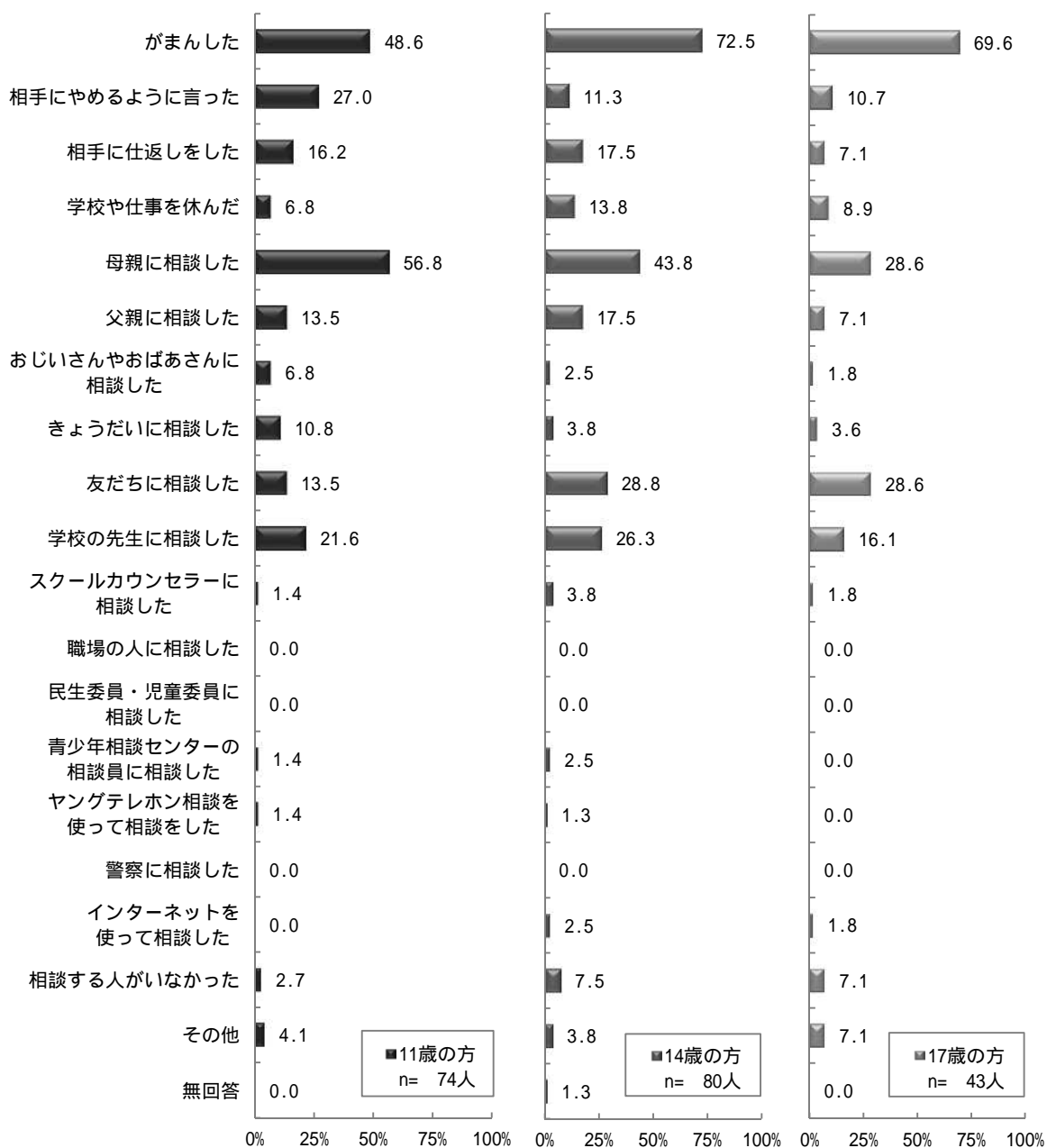
問 27-2 一番つらかったときの気持ち



問 27-3 そのときに、あなたはどのようにしましたか。

一番つらかったときの対処方法は、「母親に相談した」(11歳 56.8%)、「がまんした」(14歳 72.5%、17歳 69.6%)が最も多くなっています。

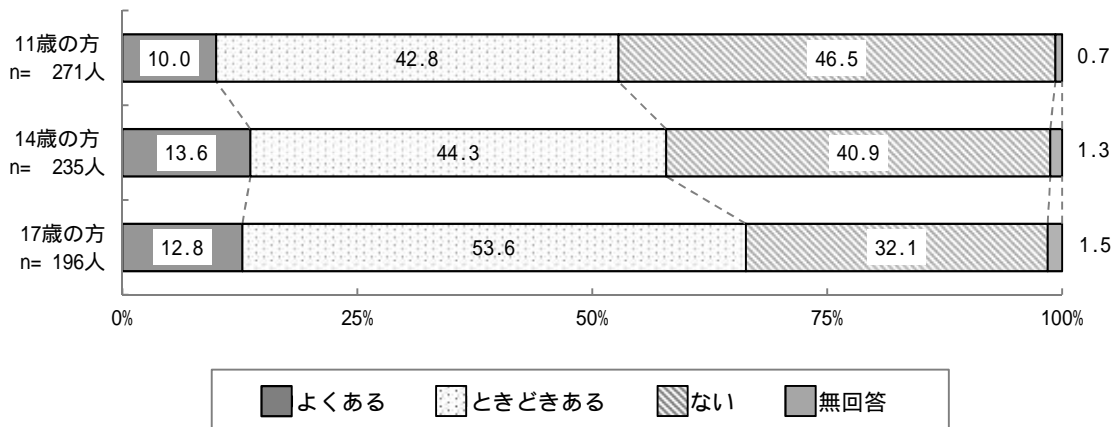
問 27-3 一番つらかったときの対処方法



問 28 すべての方におたずねします。あなたはこれまで、学校に行きたくないと思うことがありましたか。

学校に行きたくないと思ったことの有無は、「よくある」(11歳 10.0%、14歳 13.6%、17歳 12.8%)、「ときどきある」(11歳 42.8%、14歳 44.3%、17歳 53.6%)となっています。

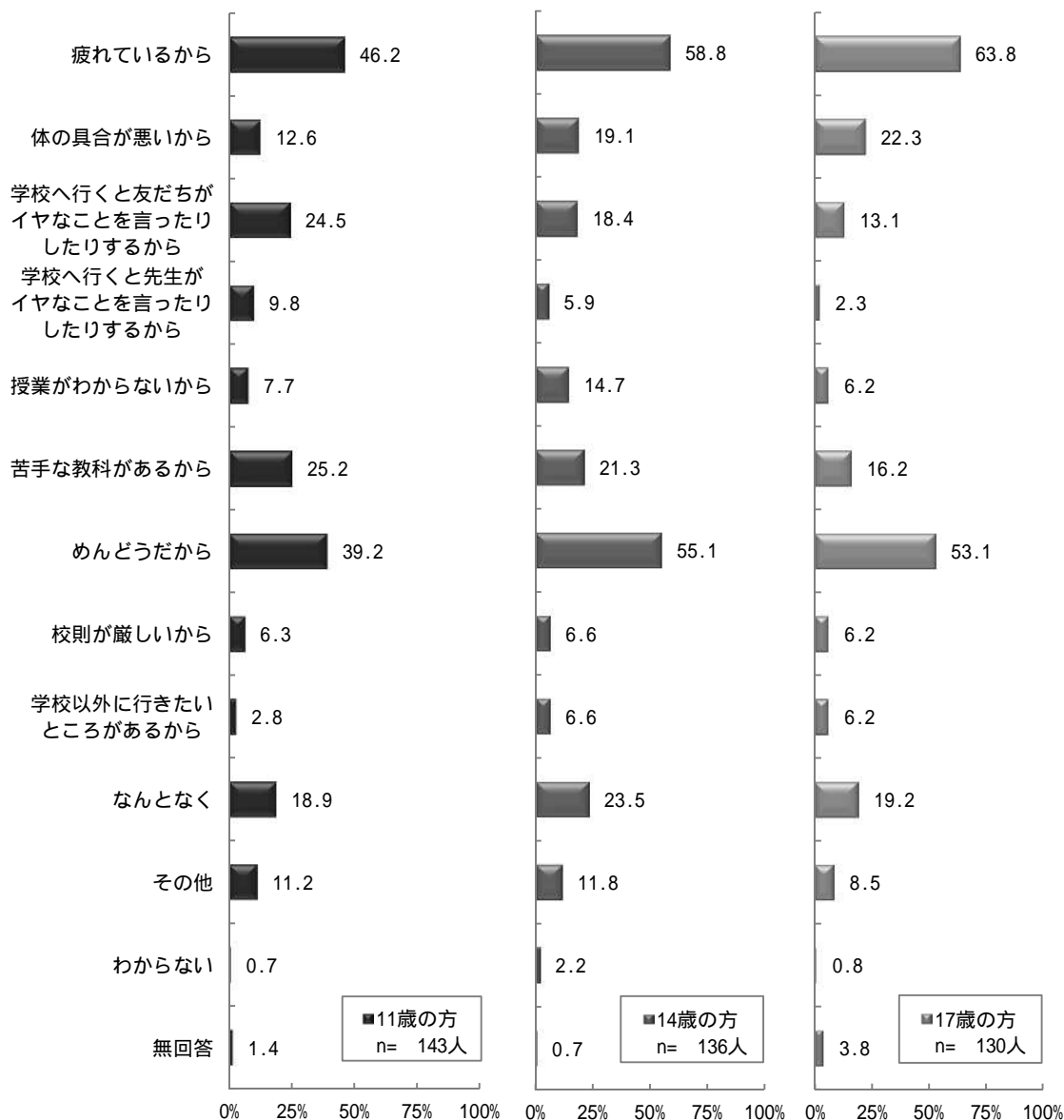
問 28 学校に行きたくないと思ったこと



問 28-1 問 28 で「1. よくある」「2. ときどきある」とお答えの方におたずねします。それはなぜですか。

学校に行きたくないと思った理由は、「疲れているから」(11歳 46.2%、14歳 58.8%、17歳 63.8%)が最も多く、次いで「めんどうだから」(11歳 39.2%、14歳 55.1%、17歳 53.1%)となっています。

問 28-1 学校に行きたくない理由



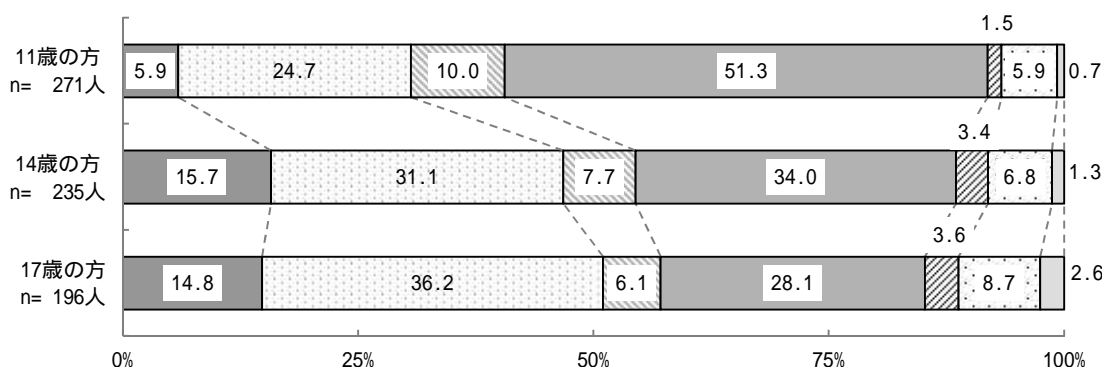
問 29 すべての方におたずねします。あなたは不登校についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。

問 30 いじめなど、自分がされていやなことを他の人にすることをどう思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

不登校についての考えは、「不登校の原因を解決して登校するべきだと思う」(11歳 51.3%、14歳 34.0%)、「いろいろな理由があるからしかたがない」(17歳 36.2%)が最も多くなっています。

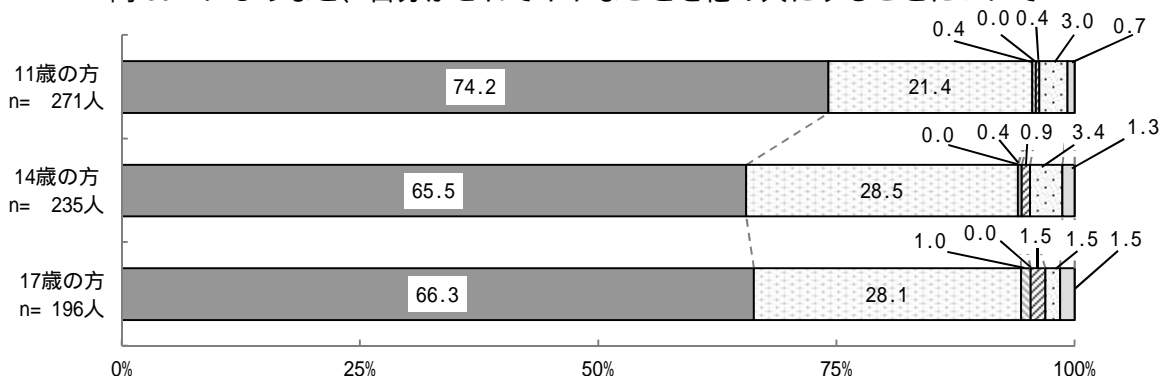
いじめなど、自分がされてイヤなことを他の人にすることについては、「自分がされてイヤなことはしてはいけない」(11歳 74.2%、14歳 65.5%、17歳 66.3%)が最も多くなっています。

問 29 不登校についての考え



本人の意思だからいい
  いろいろな理由があるからしかたがない
  わがままだと思う
  不登校の原因を解決して登校するべきだと思う
  その他
  わからない
  無回答

問 30 いじめなど、自分がされてイヤなことを他の人にすることについて



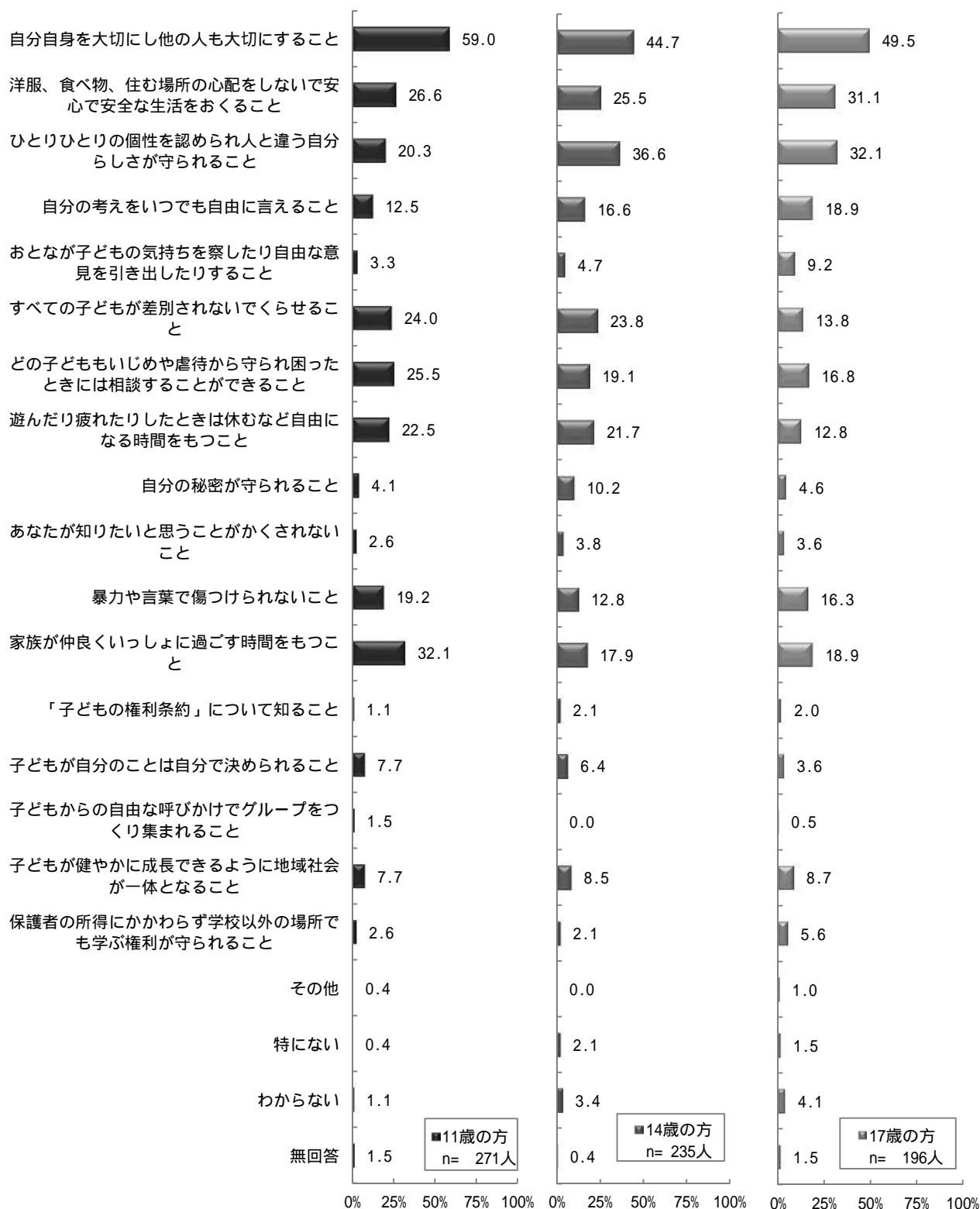
自分がされてイヤなことはしてはいけない
  自分がされてイヤなことは他の人にはしないほうがいい
  自分がされてイヤなことでも他の人にしてもいい
  自分がやりたいことならしてもいい
  その他
  わからない
  無回答



問31 子どもの権利について書いてあります。あなたが今、特に大切だと思うことを選んでください。

子どもの権利について特に大切なものは、「自分自身を大切にし、他の人も大切にする事」(11歳 59.0%、14歳 44.7%、17歳 49.5%)が最も多くなっています。

問31 子どもの権利について特に大切なもの

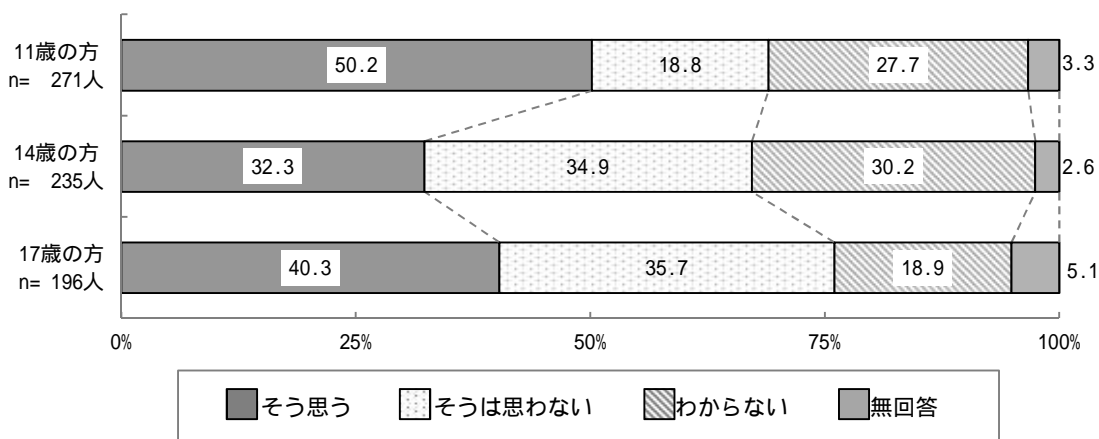


問 32 あなた自身について次のことをどう思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

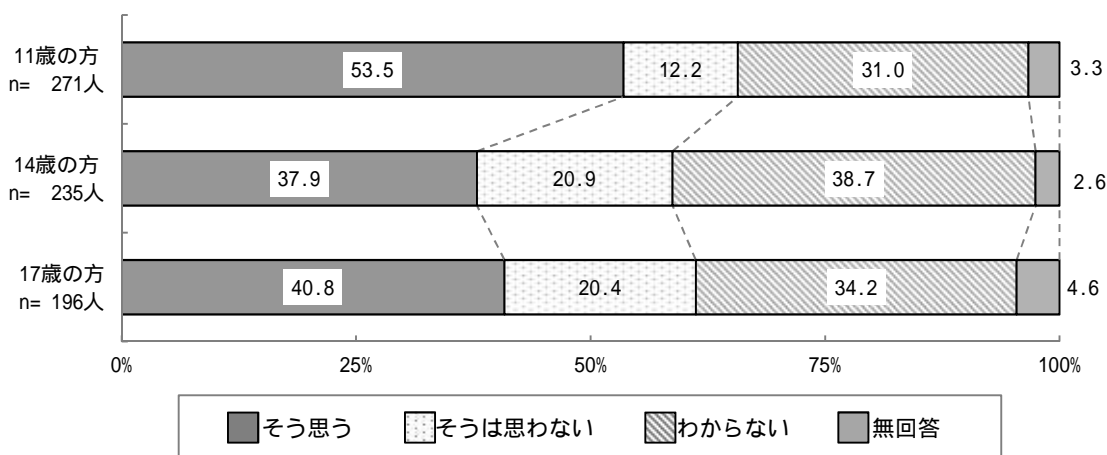
『自分のことが好き』では、「そう思う」(11歳 50.2%、17歳 40.3%)、「そうは思わない」(14歳 34.9%) が最も多くなっています。

『自分は必要とされている』では、「そう思う」(11歳 53.5%、17歳 40.8%)、「わからない」(14歳 38.7%) が最も多くなっています。

問 32.ア 自分のことは好き

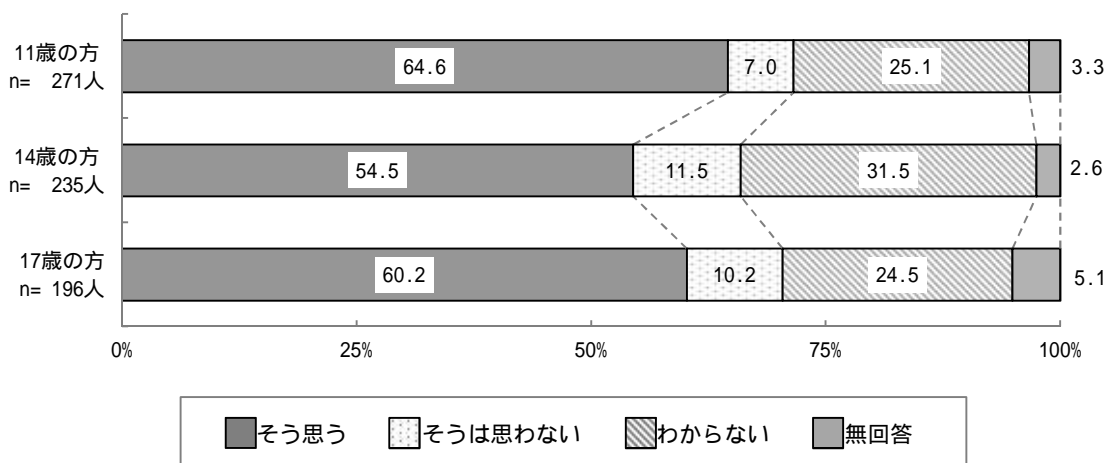


問 32.イ 自分は必要とされている

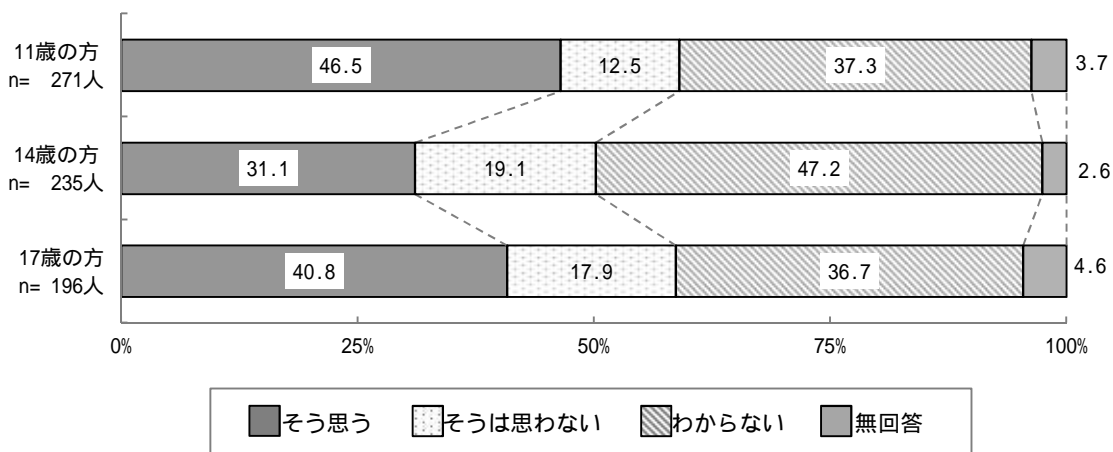


『自分は周りの人から大切にされている』では、「そう思う」(11歳 64.6%、14歳 54.5%、17歳 60.2%)が最も多くなっています。  
 『自分は周りの人から好かれている』では、「そう思う」(11歳 46.5%、17歳 40.8%)、「わからない」(14歳 47.2%)が最も多くなっています。

問 32.ウ 自分は周りの人から大切にされている



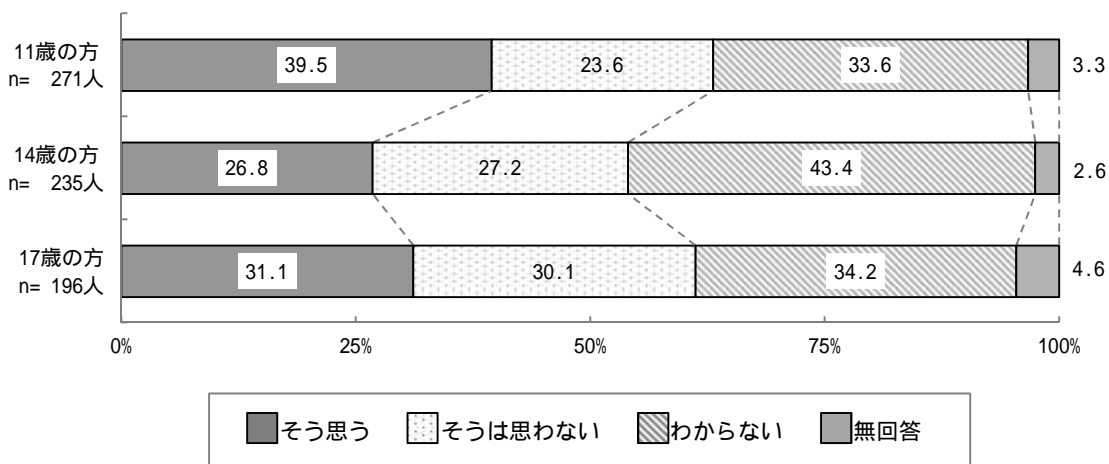
問 32.エ 自分は周りの人から好かれている



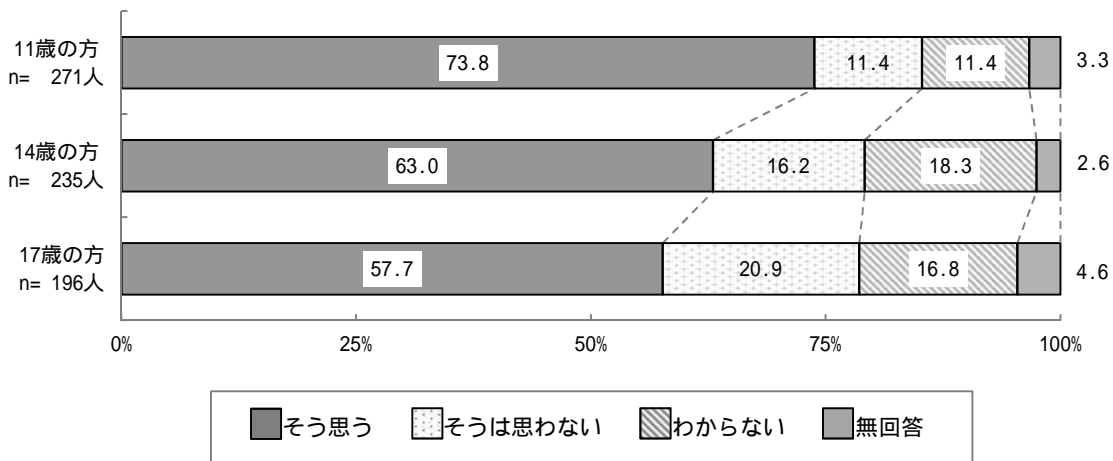
『自分にはいいところがたくさんある』では、「そう思う」(11歳 39.5%)、「わからない」(14歳 43.4%、17歳 34.2%)が最も多くなっています。

『勉強やスポーツ、仕事などをがんばっている』では、「そう思う」(11歳 73.8%、14歳 63.0%、17歳 57.7%)が最も多くなっています。

問 32.オ 自分にはいいところがたくさんある



問 32.カ 勉強やスポーツ、仕事などをがんばっている



## 4 児童クラブについて（11歳のみ回答）

問 33 あなたは小学校1年生から3年生のときに児童クラブを利用していましたか。

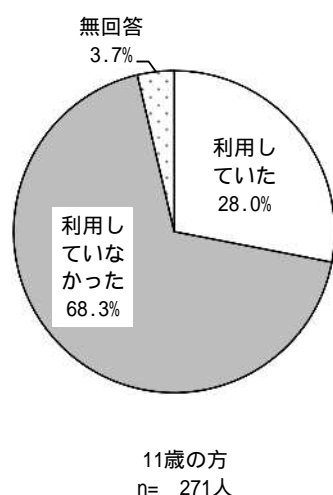
問 33-1 問 33で「1.利用していた」とお答えの方にうかがいます。利用した感想は次のうちどれですか。

問 33-2 問 33-1で「2.居心地がわるかった」とお答えの方におたずねします。その理由はなんですか。

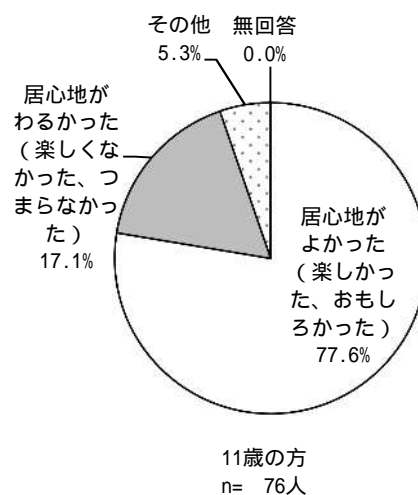
児童クラブの利用経験は、「利用していた」(28.0%)、利用した感想は、「居心地がよかった(楽しかった、おもしろかった)」(77.6%)となっています。

居心地が悪かった理由は、「利用するためのルールが多すぎるから」(53.8%)が最も多く、次いで「仲の良い友達がないから」「遊べる道具の数・種類が少ないから」「指導員がいるから」(各30.8%)となっています。

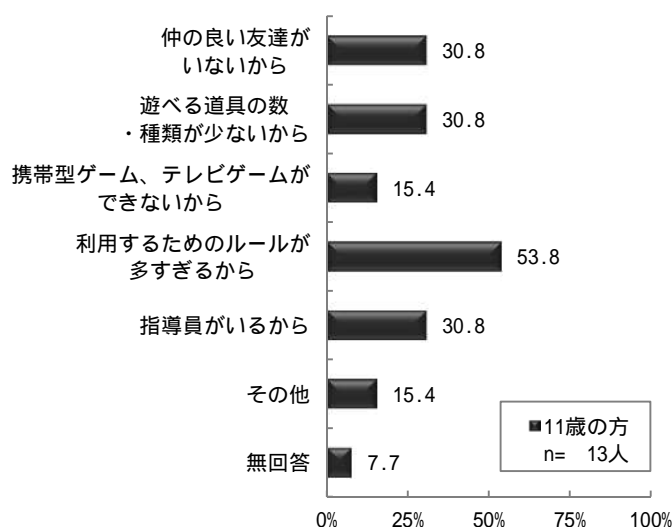
問 33 児童クラブの利用経験



問 33-1 児童クラブを利用した感想



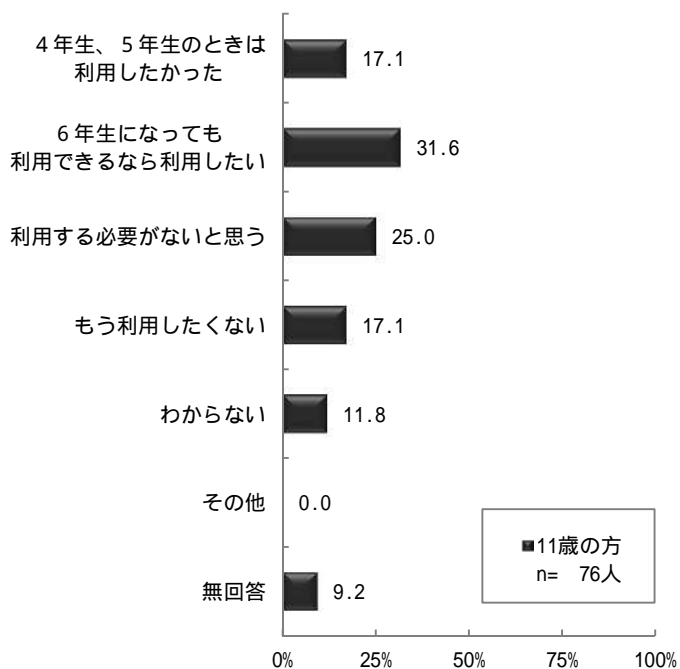
問 33-2 居心地が悪かった理由



問 33-3 問 33 で「1. 利用していた」とお答えの方におたずねします。小学校 6 年生までの利用の希望について、あなたの考えに近いものを選んでください。

小学校 6 年生までの利用希望は、「6 年生になっても利用できるなら利用したい」(31.6%) が最も多く、次いで「利用する必要があると思う」(25.0%) となっています。

問 33-3 小学校 6 年生までの利用希望 (利用していた人)



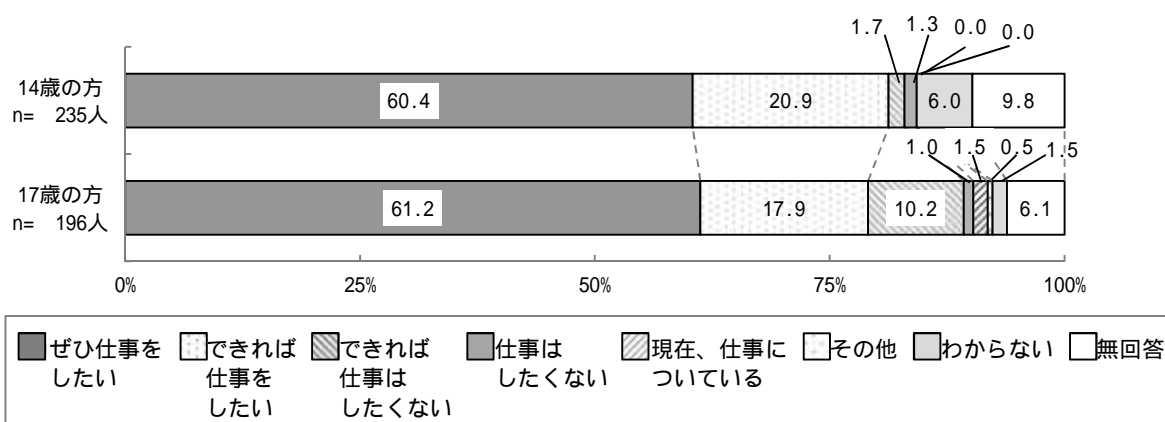
## 5 仕事、結婚、子育てについて（14歳・17歳のみ回答）

問34 仕事について、あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。

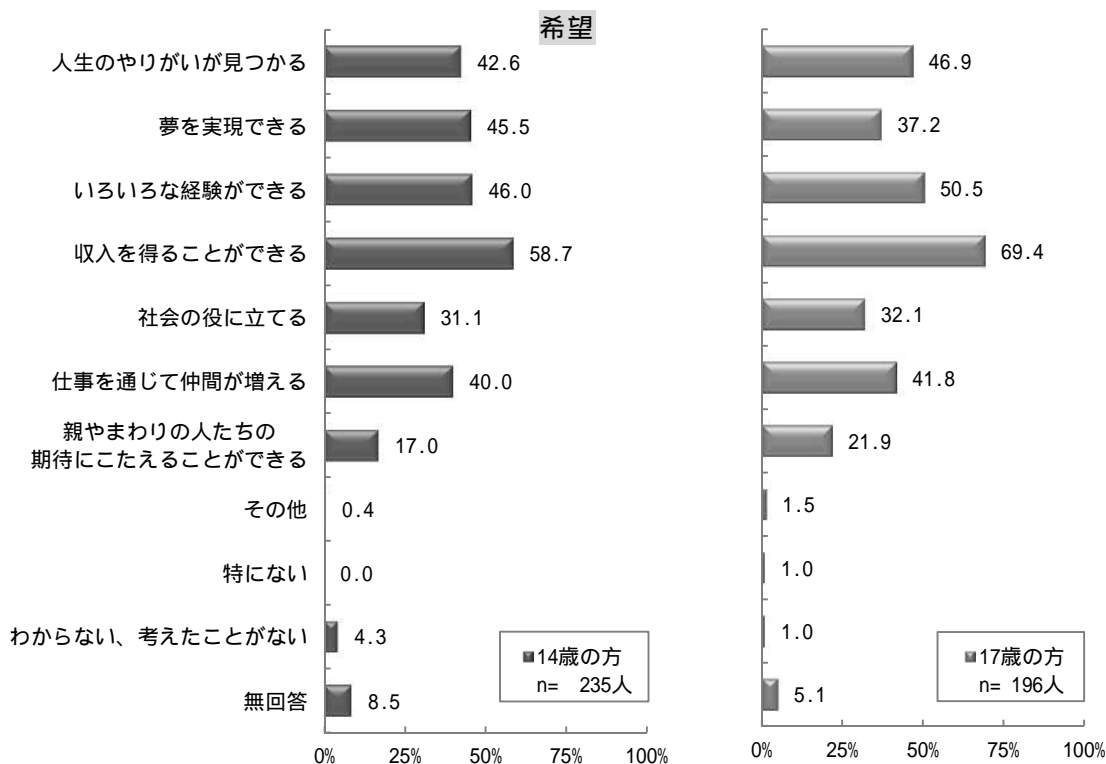
問35 仕事に対して、どのような希望や不安がありますか。

仕事についての考えは、「ぜひ仕事をしたい」（14歳 60.4%、17歳 61.2%）  
 「できれば仕事をしたい」（14歳 20.9%、17歳 17.9%）となっています。  
 仕事に対する希望は、「収入を得ることができる」（14歳 58.7%、17歳 69.4%）  
 が最も多く、次いで「いろいろな経験ができる」（14歳 46.0%、17歳 50.5%）  
 となっています。

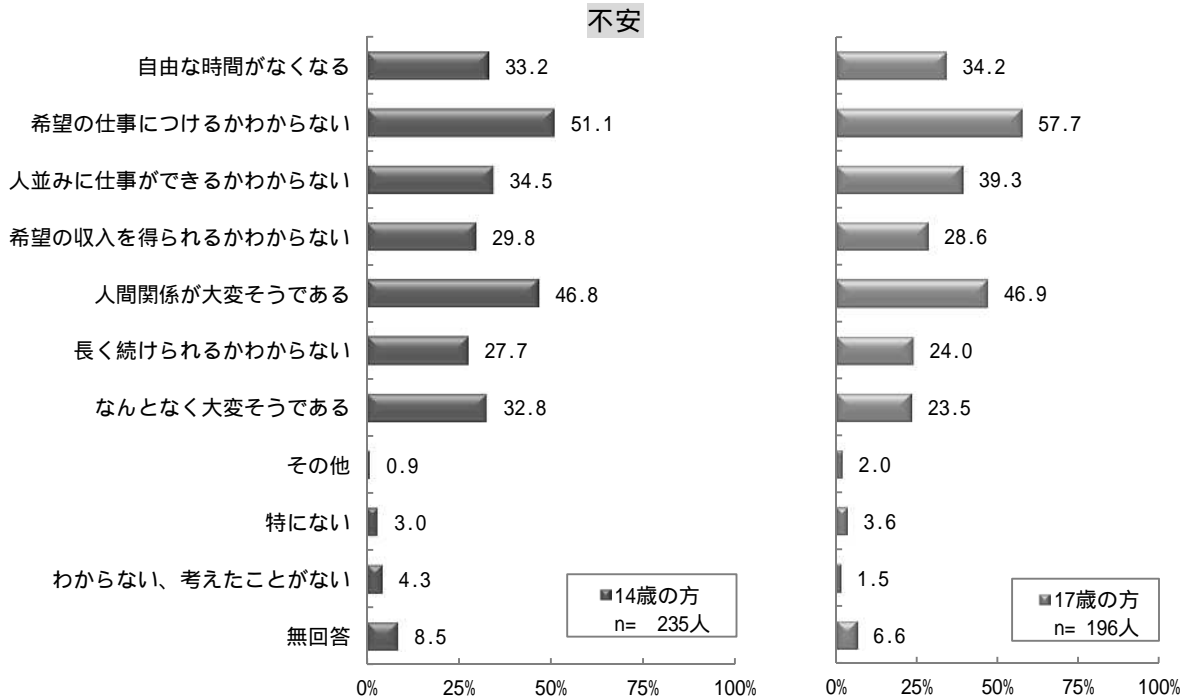
問34 仕事についての考え



問35 仕事に対する希望や不安

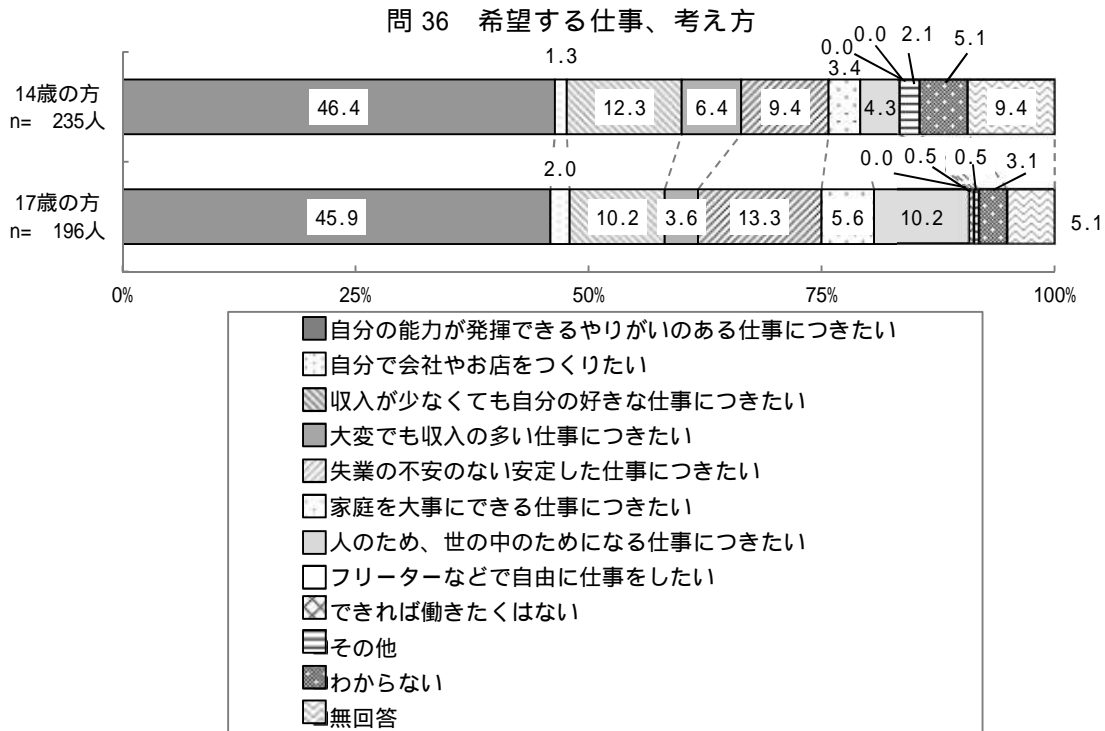


仕事に対する不安は、「希望の仕事につけるかわからない」(14歳 51.1%、17歳 57.7%)が最も多く、次いで「人間関係が大変そうである」(14歳 46.8%、17歳 46.9%)となっています。



問 36 あなたは、将来どのような仕事につきたいですか。また、すでに仕事をしている方はどのような考え方で仕事につきましたか。あなたの考えにもっとも近いと思うものを選んでください。

希望する仕事への考えは、「自分の能力が発揮できるやりがいのある仕事につきたい」(14歳 46.4%、17歳 45.9%)が最も多くなっています。





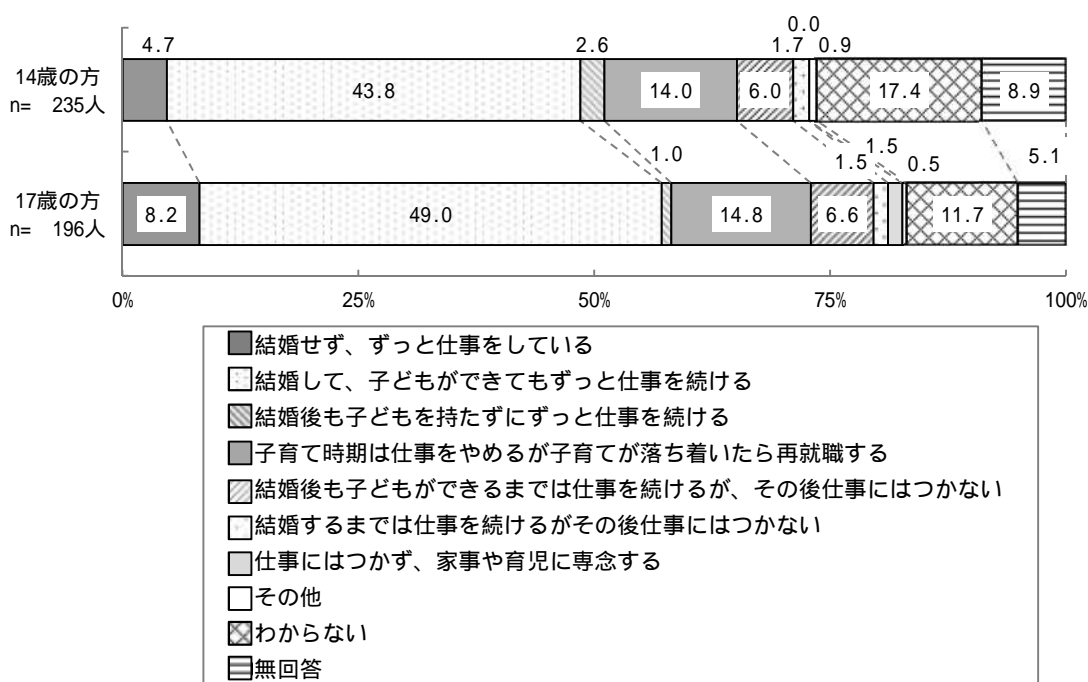
問 37 あなたは将来どのように働きたいと思いますか。

問 38 結婚についておたずねします。あなたの考えにもっとも近いと思うものを選んでください。

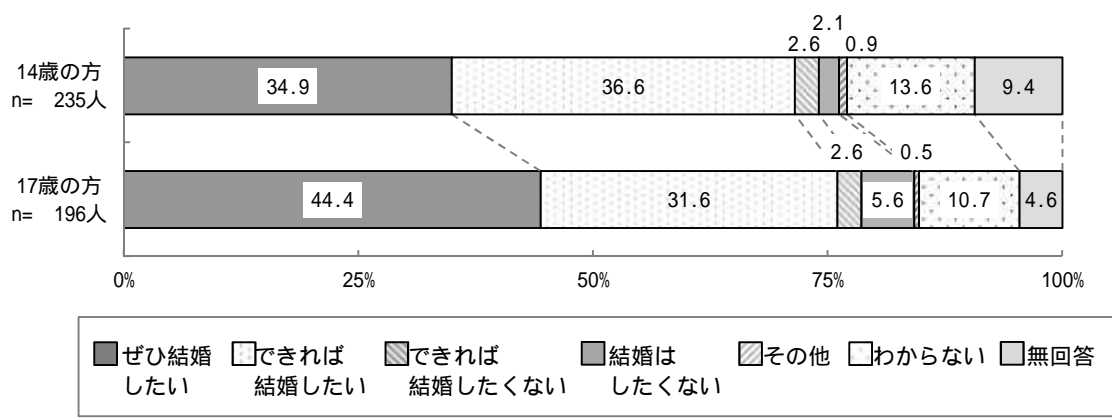
将来の働き方は、「結婚して、子どもができてずっと仕事を続ける」(14歳 43.8%、17歳 49.0%)が最も多くなっています。

結婚についての考えは、「ぜひ結婚をしたい」(14歳 34.9%、17歳 44.4%)、「できれば結婚したい」(14歳 36.6%、17歳 31.6%)となっています。

問 37 将来の働き方



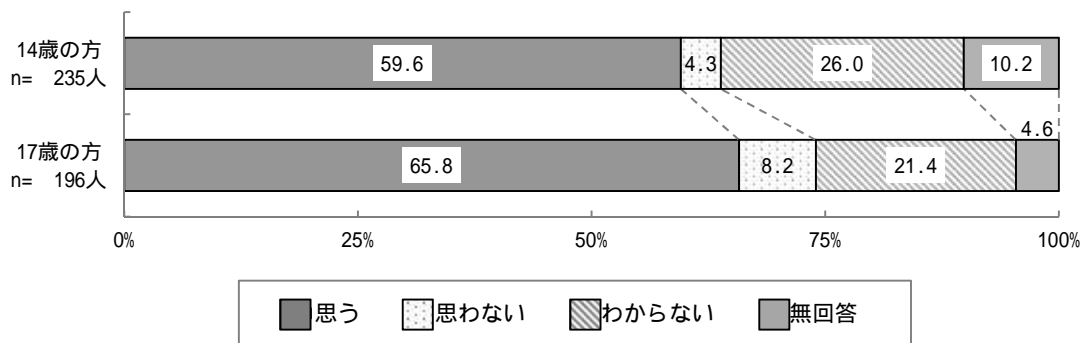
問 38 結婚について



問 39 あなたは将来、子育てをしたいと思いますか。

将来、子育てをしたいと思うかでは「思う」(14歳 59.6%、17歳 65.8%)、「思わない」(14歳 4.3%、17歳 8.2%)となっています。

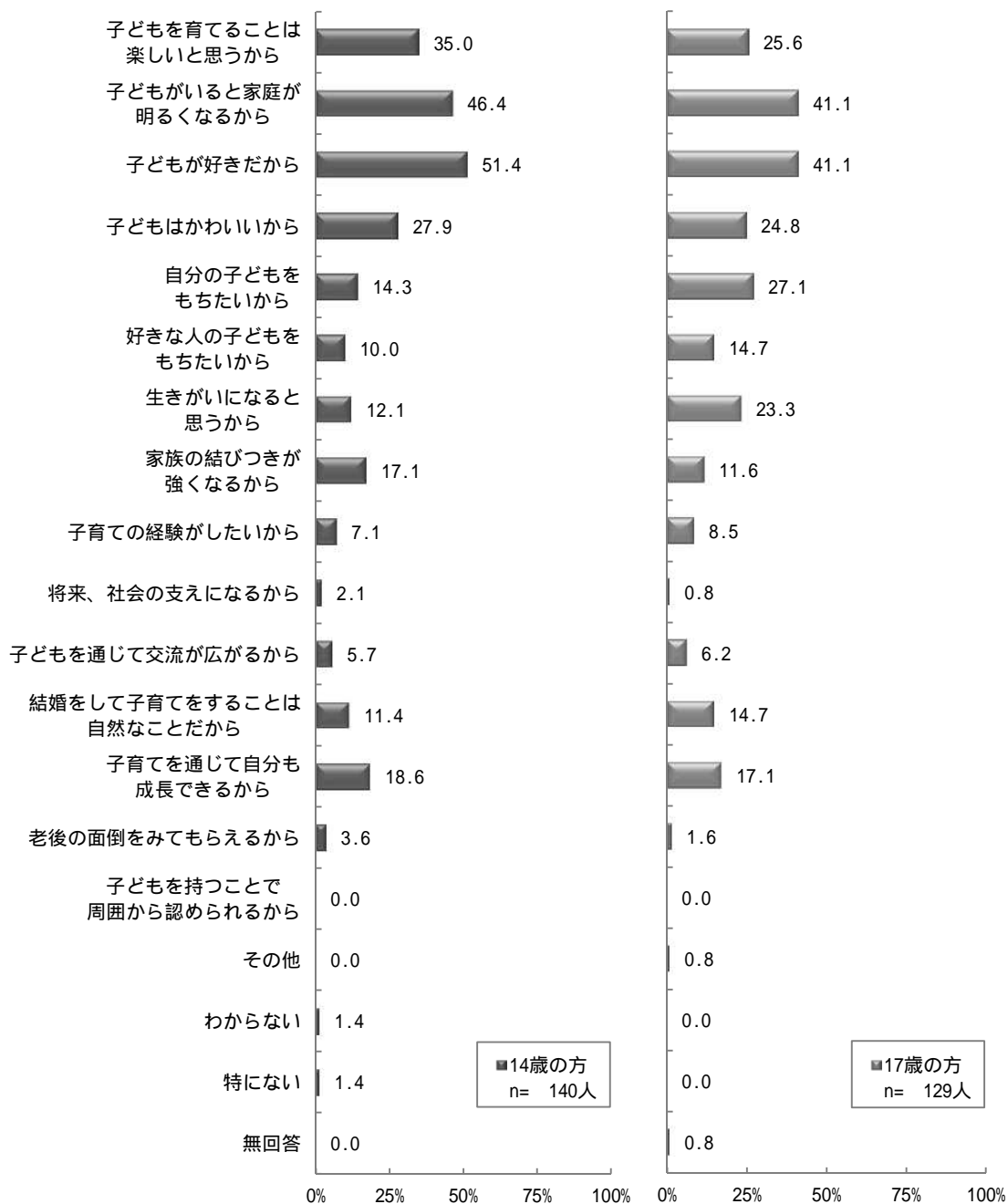
問 39 将来の子育てについて



問 39-1 問 39 で「1. 思う」とお答えの方におたずねします。将来、子育てをしたいと思う理由はどのようなことですか。

将来、子育てをしたいと思う理由は「子どもが好きだから」(14歳 51.4%、17歳 41.1%)、「子どもがいると家庭が明るくなるから」(14歳 46.4%、17歳 41.1%)となっています。

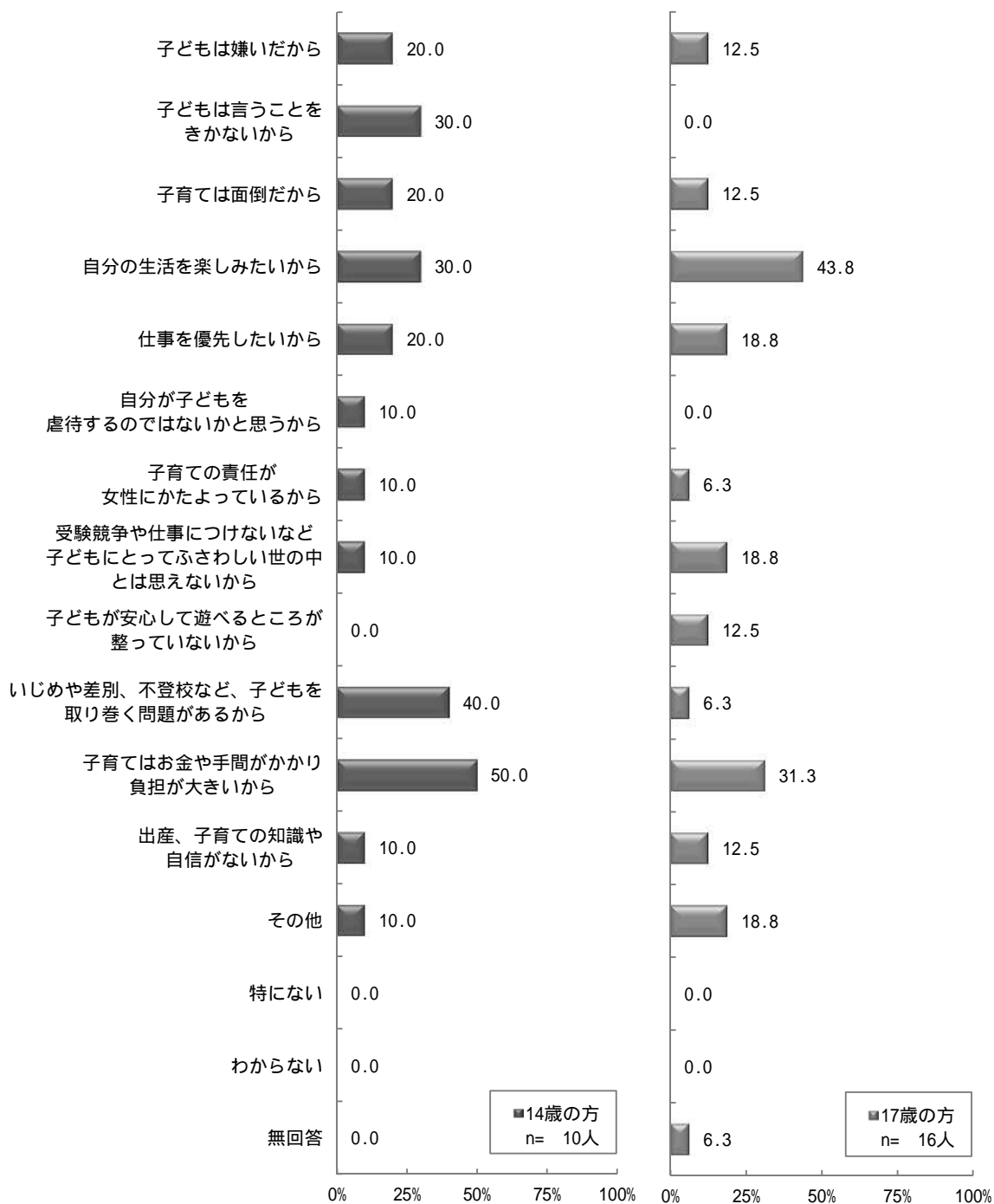
問 39-1 将来、子育てをしたいと思う理由



問 39-2 問 39 で「2 . 思わない」とお答えの方におたずねします。将来、子育てをしたいと思わない理由はどのようなことですか。

将来、子育てをしたくないと思う理由は「子育てはお金や手間がかかり負担が大きいため」(14歳 50.0%)、「自分の生活を楽しみたいから」(17歳 43.8%)が最も多くなっています。

問 39-2 子育てをしたくないと思う理由



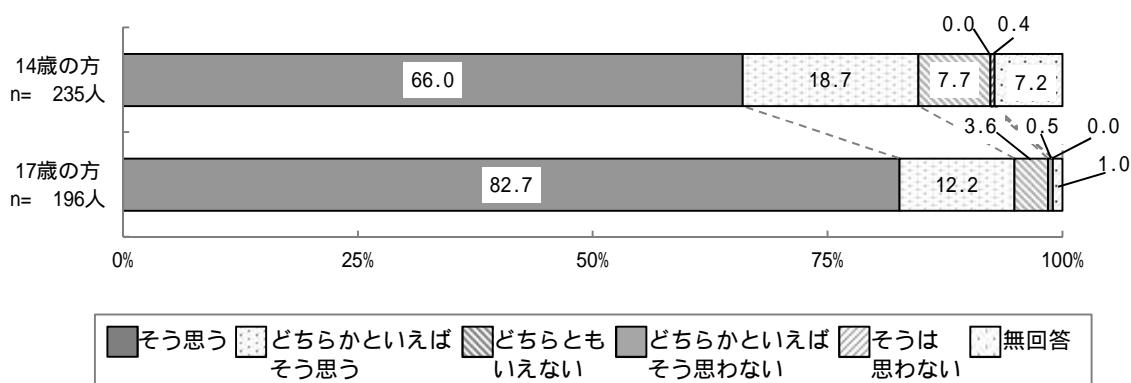
問 40 中学生以上のすべての方におたずねします。子育てについては色々な考え方がありますが、次のア～エについて、あなたはどう思(おも)いますか。

- ア. 子どもを産むことについてお互いの意思を尊重すべき
- イ. 子育ては男女が協力して行うべき
- ウ. 子育てと仕事は両立させるべき
- エ. 仕事よりも子育てを優先させるべきである

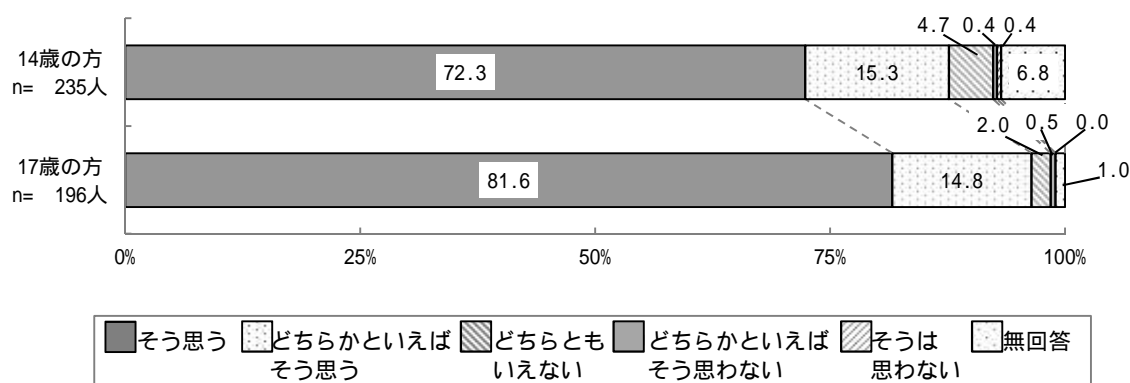
『子どもを産むことについてお互いの意見を尊重すべき』では、「そう思う」(14歳 66.0%、17歳 82.7%) が最も多くなっています。

『子育ては男女が協力して行うべき』では、「そう思う」(14歳 72.3%、17歳 81.6%) が最も多くなっています。

問 40.ア 子どもを産むことについてお互いの意思を尊重すべき



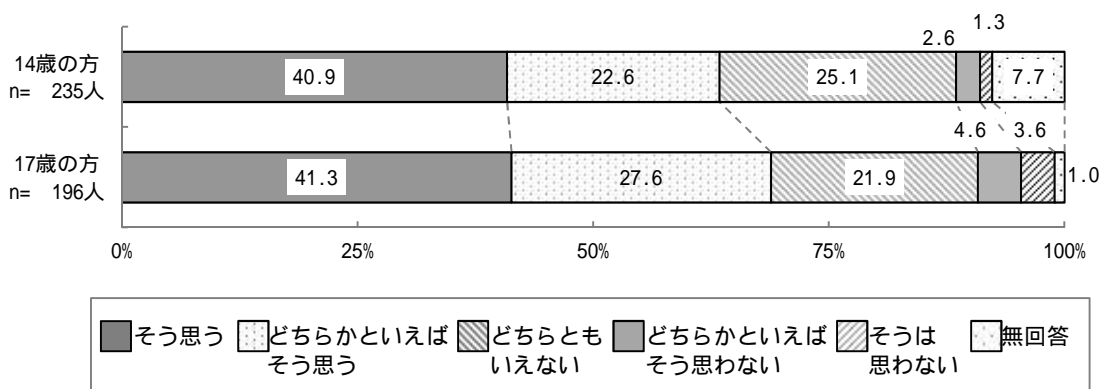
問 40.イ 子育ては男女が協力して行うべき



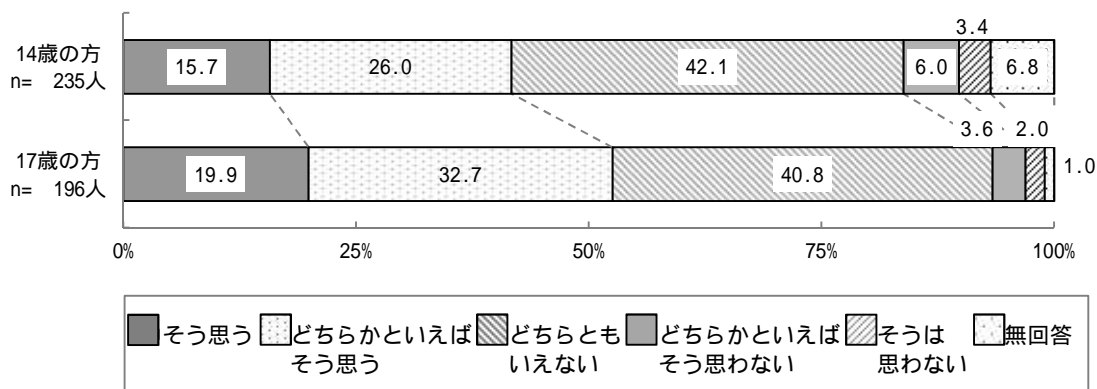
『子育てと仕事は両立させるべき』では、「そう思う」(14歳 40.9%、17歳 41.3%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(14歳 25.1%)、「どちらかといえばそう思う」(17歳 27.6%)となっています。

『仕事より子育てを優先させるべき』では、「どちらともいえない」(14歳 42.1%、17歳 40.8%)が最も多くなっています。

問 40.ウ 子育てと仕事は両立させるべき



問 40.エ 仕事よりも子育てを優先させるべきである

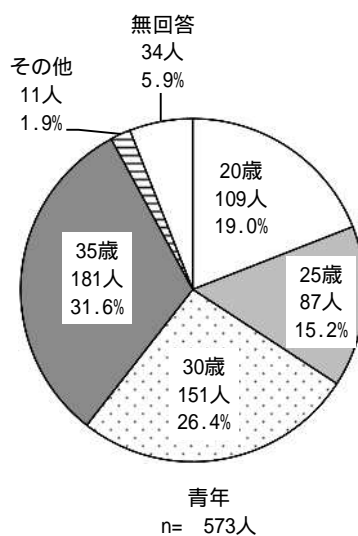


### 第3節 青年男女（20歳・25歳・30歳・35歳を迎える人）

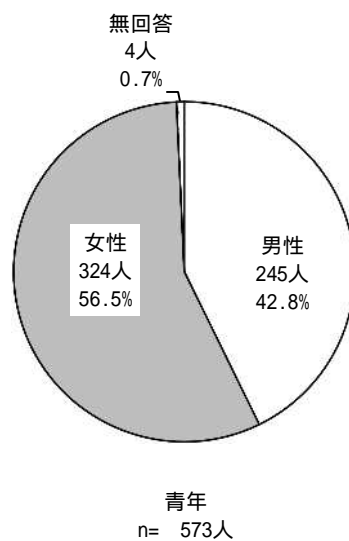
#### 1 回答者と家族の状況

問1 あなたの生まれた年と性別について記入してください。

問1 生まれた年



問1 性別



問2 あなたは、結婚していますか。

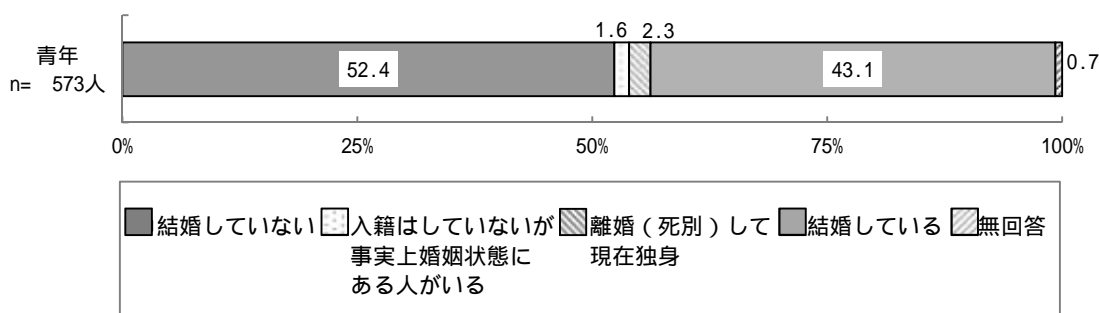
問3 問2で「4. 結婚している」とお答えの方におたずねします。いつ結婚をされましたか。また、配偶者の現在の年齢を記入してください。

結婚の有無では、「結婚していない」(52.4%)、「結婚している」(43.1%)となっています。

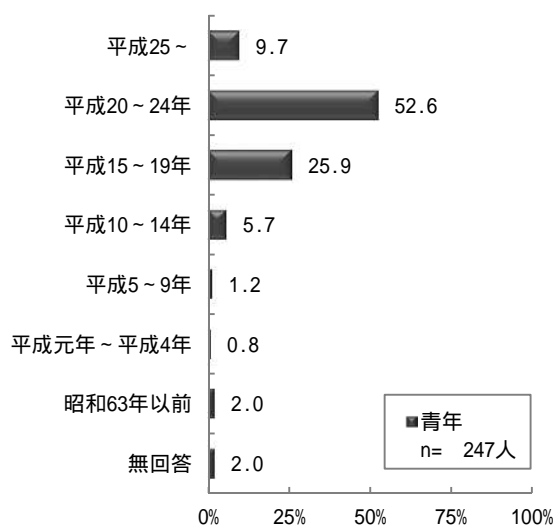
結婚時期では、「平成20年～24年」(52.6%)、「平成15年～19年」(25.9%)となっています。

配偶者の年齢では、「31～35歳」(36.4%)、「26歳～30歳」(27.1%)、「36歳～40歳」(25.1%)となっています。

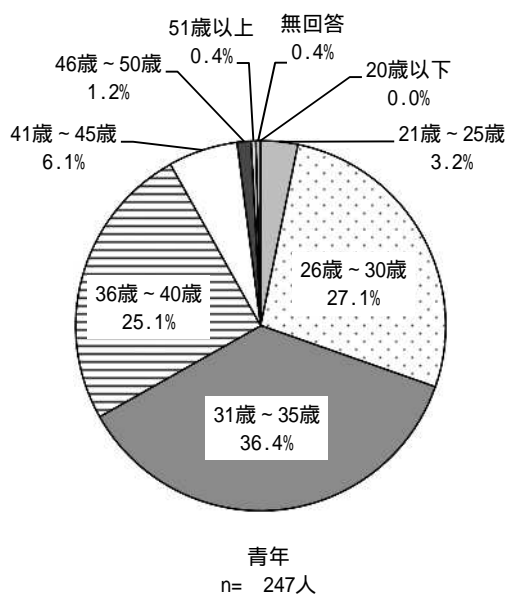
問2 結婚の有無



問3 結婚時期



問3 配偶者の現在の年齢

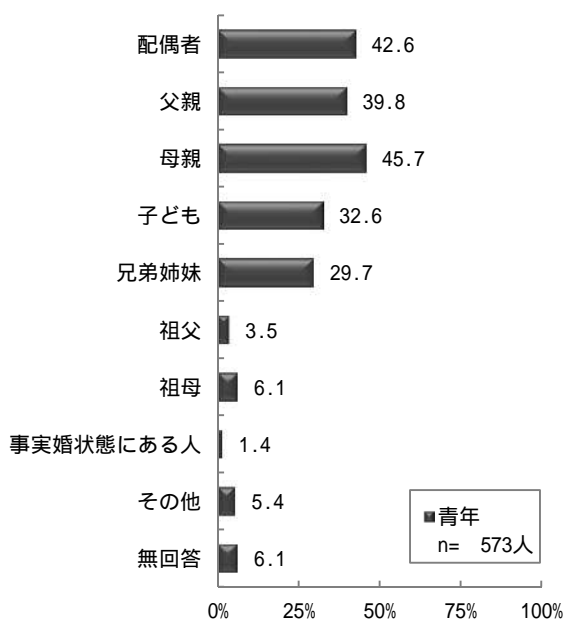




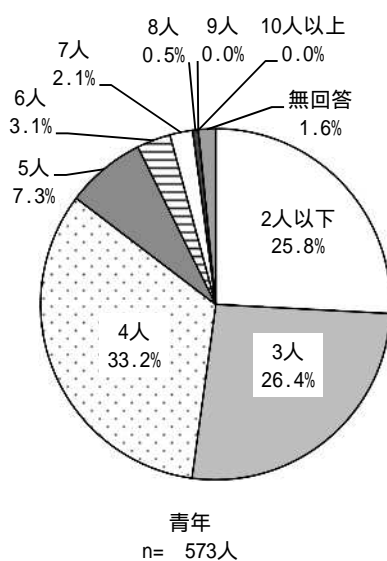
問4 すべての方におたずねします。あなたと同居されている方についてお答えください。なお、続柄はあなたから見た関係です。

同居している人は、「母親」(45.7%)、「配偶者」(42.6%)、「父親」(39.8%)  
 となっています。  
 同居人の人数は、「4人」(33.2%)、「3人」(26.4%)、「2人以下」(25.8%)  
 となっています。

問4 同居している人



問4 同居人の人数

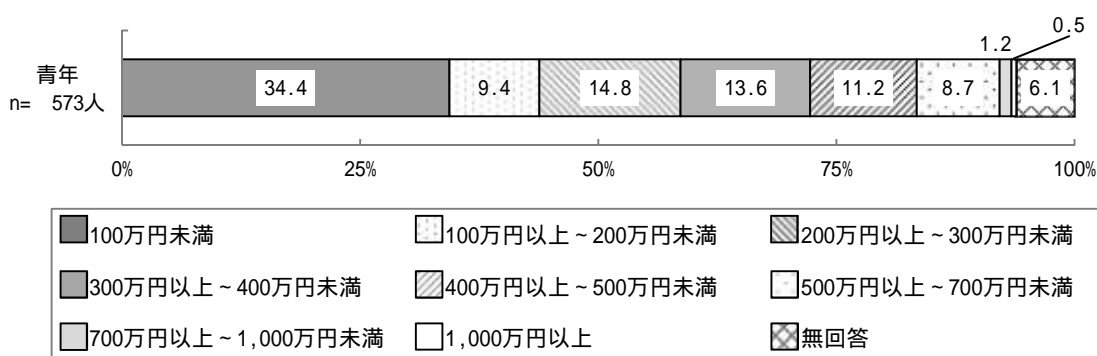


問5 あなたと同居世帯全体の年収についてお聞かせください。

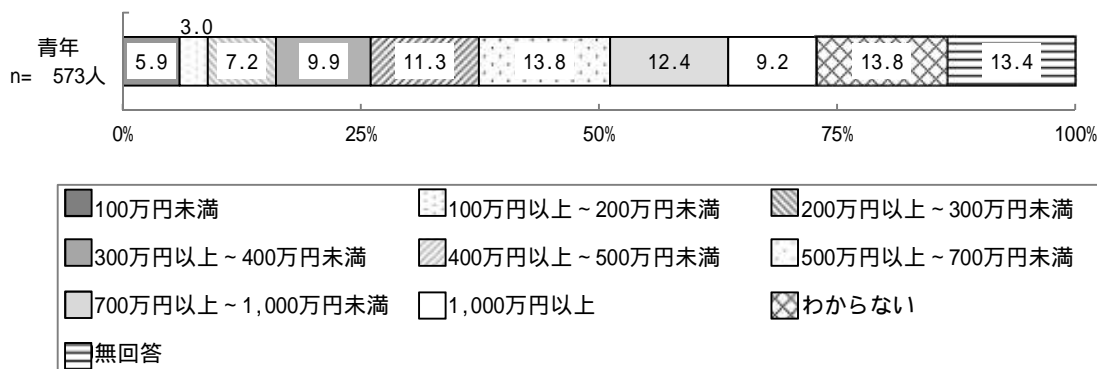
回答者の年収では、「100万円未満」(34.4%)、「200万円以上～300万円未満」(14.8%)、「300万円～400万円未満」(13.6%)となっています。

世帯全体の年収では、「500万円～700万円未満」(13.8%)、「700万円～1000万円未満」(12.4%)、「400万円～500万円未満」(11.3%)となっています。

問5 回答者の年収



問5 世帯全体の年収



## 2 日常生活について

問6 あなたは毎日朝食を食べていますか。

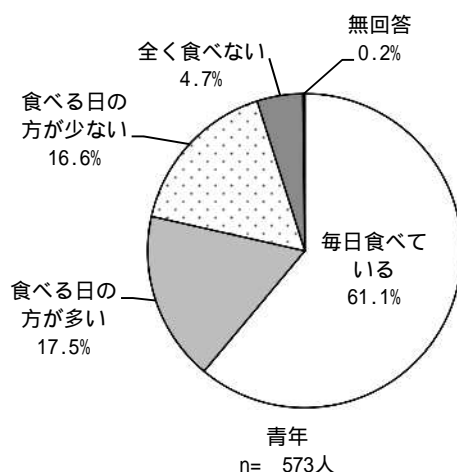
問7 あなたは朝食と夕食を家族と一緒に食べていますか。

朝食摂取の状況では、「毎日食べている」(61.1%)、「食べる日の方が多い」(17.5%)となっている一方、「食べる日の方が少ない」(16.6%)、「全く食べない」(4.7%)となっています。

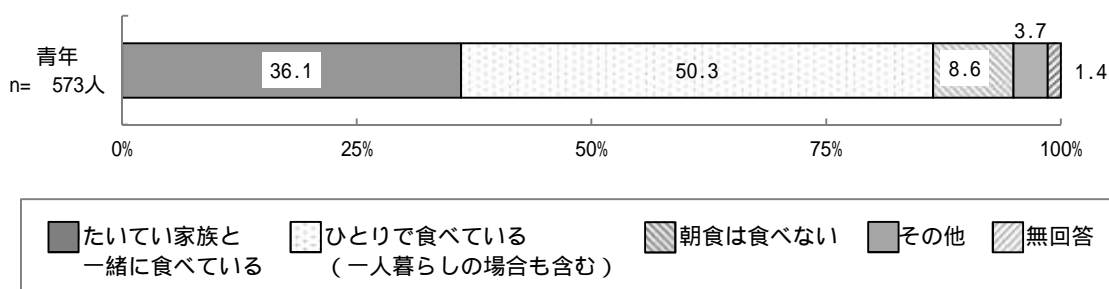
朝食を家族と一緒に食べているかどうかでは、「ひとりで食べている」(50.3%)、「たいてい家族と一緒に食べている」(36.1%)となっています。

夕食を家族と一緒に食べているかどうかでは、「たいてい家族と一緒に食べている」(62.8%)、「ひとりで食べている」(27.6%)となっています。

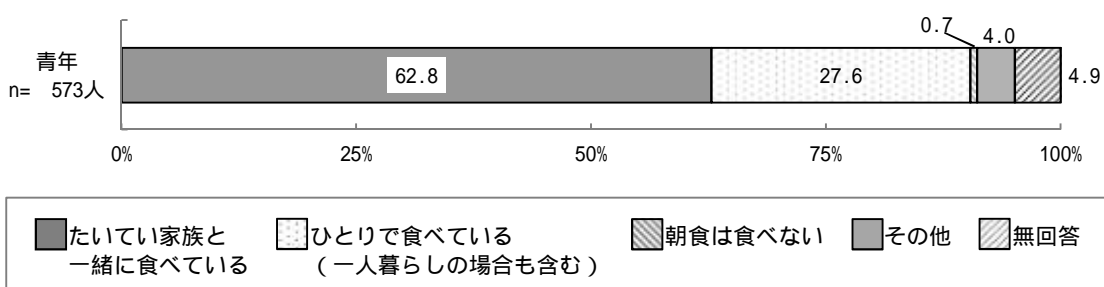
問6 朝食摂取の状況



問7.1 朝食を家族と一緒に食べているか



問7.2 夕食を家族と一緒に食べているか

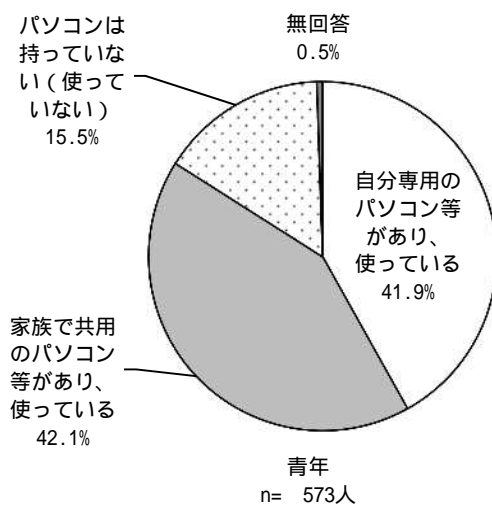


問 8 あなたは、パソコンなどを自宅ですべて使っていますか。

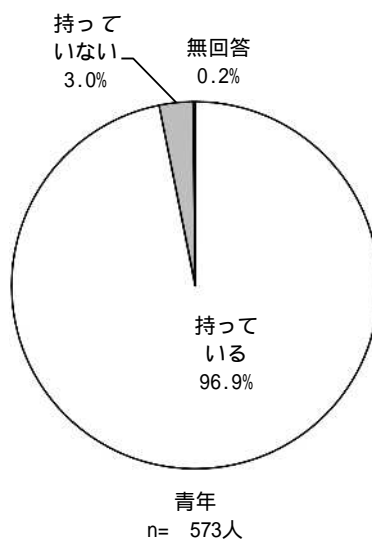
問 9 あなたは携帯電話、スマートフォンを持っていますか。

パソコン使用の有無では、「自分専用のパソコン等があり、使っている」(41.9%)、「家族で共用のパソコン等があり、使っている」(42.1%)となっています。  
携帯電話、スマートフォン所持の有無では、「持っている」(96.9%)となっています。

問 8 パソコン使用の有無



問 9 携帯電話、スマートフォン所持の有無



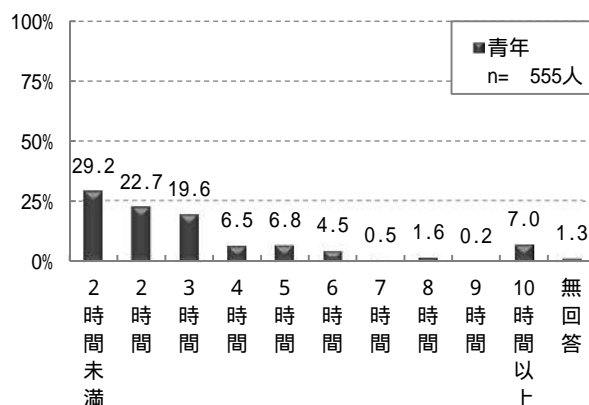
問9-1 問9で「1.持っている」に つけた方におたずねします。携帯電話、スマートフォンを一日、平均どのくらいの時間使用していますか。

問10 すべての方におたずねします。あなたは、どのくらいの時間、自宅でインターネットをしていますか。

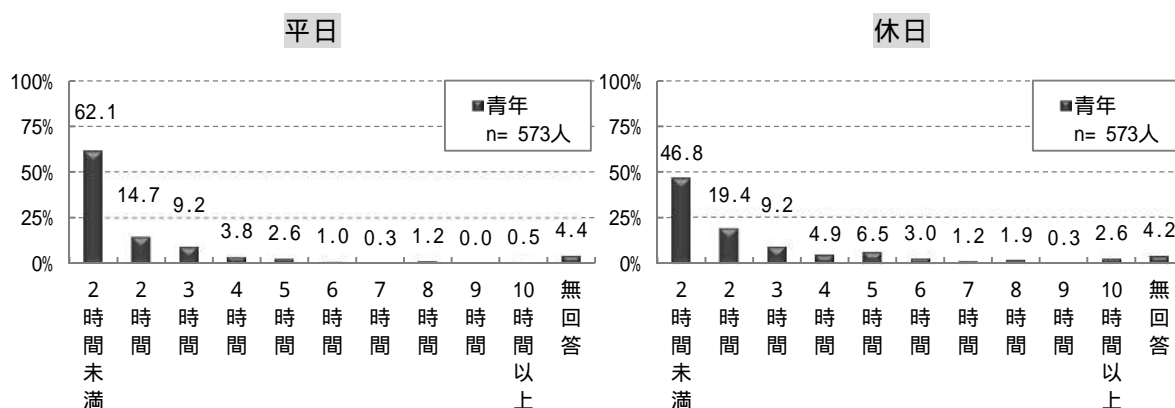
携帯電話、スマートフォンの1日平均使用時間は、「2時間未満」(29.2%)、「2時間」(22.7%)、「3時間」(19.6%)となっています。

自宅での1日のうちのインターネット使用時間は、平日では「2時間未満」(62.1%)、「2時間」(14.7%)となっています。休日では「2時間未満」(46.8%)、「2時間」(19.4%)となっています。

問9-1 携帯電話、スマートフォンの1日平均使用時間



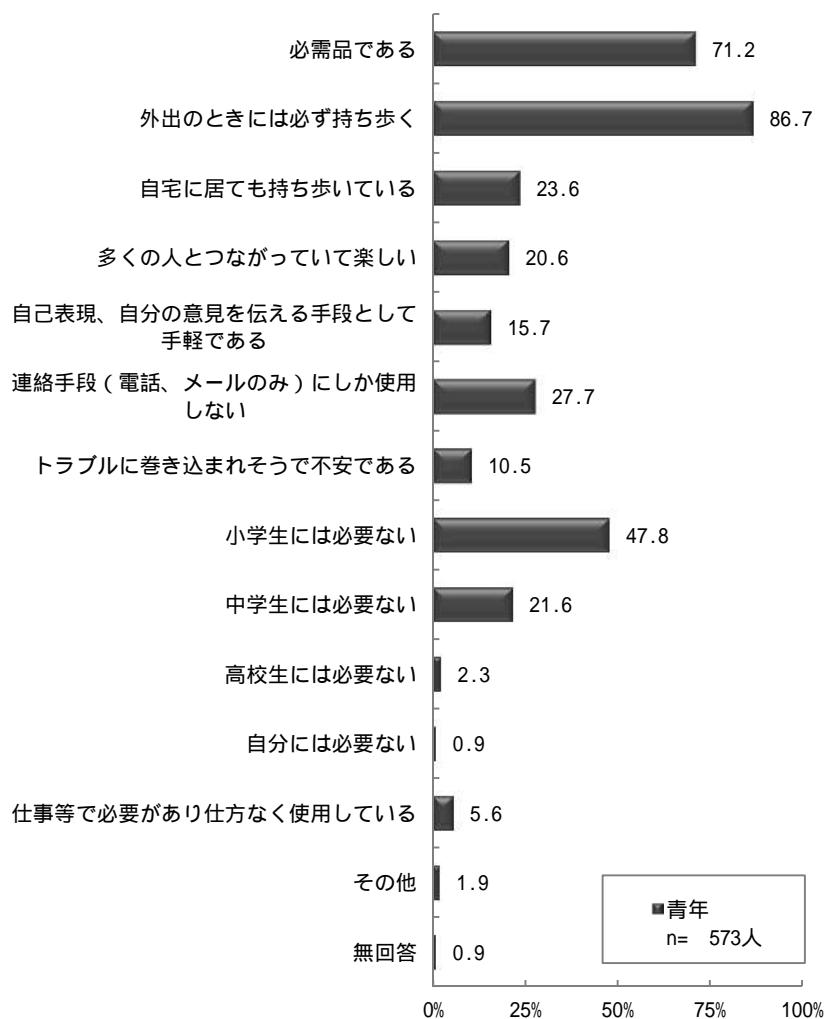
問10 平日・休日の自宅での1日のうちのインターネット使用時間



問 11 携帯電話、スマートフォンの使用に関して、あなたの考え方や行動に近いものを選んでください。

携帯電話、スマートフォンの使用に関しての考え方や行動では、「外出のときには必ず持ち歩く」(86.7%)が最も多く、次いで「必需品である」(71.2%)、「小学生には必要ない」(47.8%)となっています。

問 11 携帯電話、スマートフォンの使用に関しての考え方や行動



### 3 仕事の状況について

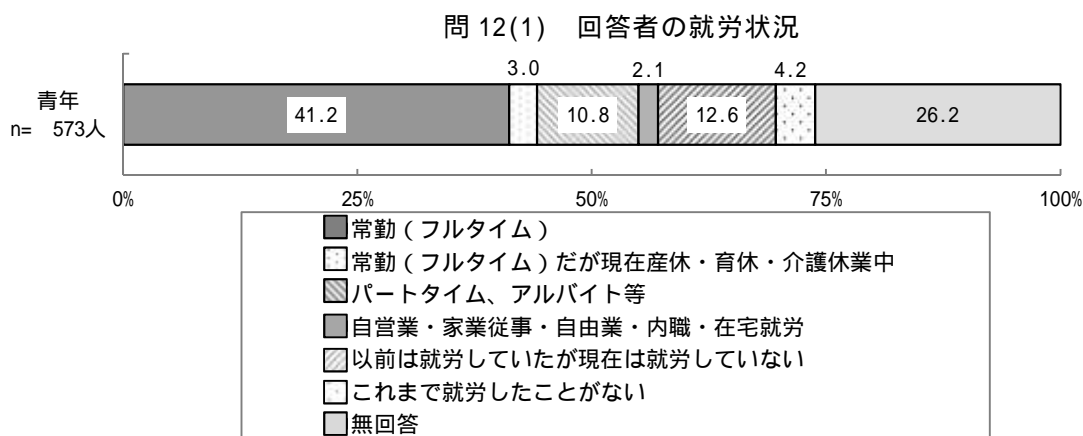
#### (1) 回答者の就労状況

問 12 あなたと配偶者（事実婚状態にある人を含む）の就労状況について、お答えください。

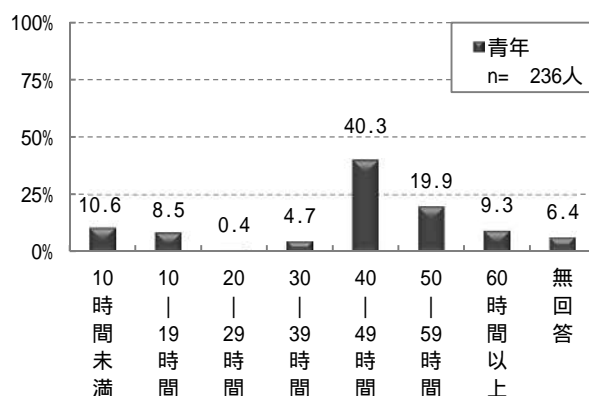
回答者の就労状況は、「常勤（フルタイム）」（41.2%）、「以前は就労していたが現在は就労していない」（12.6%）、「パートタイム、アルバイト等」（10.8%）となっています。

常勤（フルタイム）の平均的な就労時間（1週間あたり）では、「40-49 時間」（40.3%）、「50-59 時間」（19.9%）となっています。

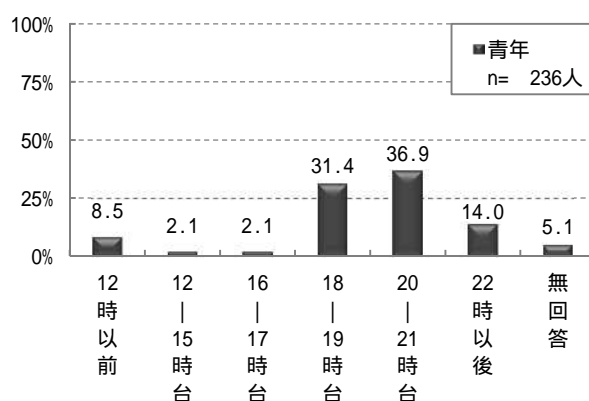
常勤（フルタイム）の平均的な帰宅時間では、「20-21 時台」（36.9%）、「18-19 時台」（31.4%）となっています。



問 12(1) 常勤（フルタイム）の平均的な就労時間（1週間あたり）



問 12(1)常勤（フルタイム）の平均的な帰宅時間

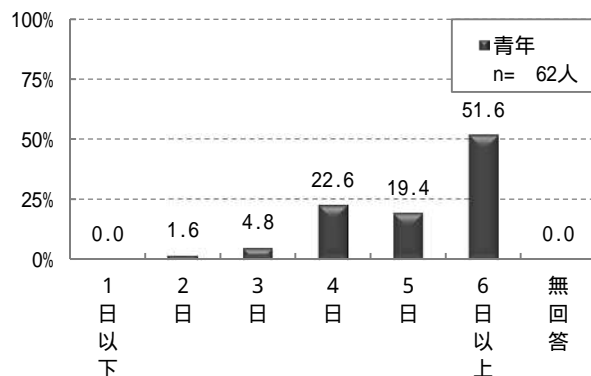


パートタイム・アルバイト等の平均的な就労日数（1週間当たり）では、「6日以上」（51.6%）、「4日」（22.6%）、「5日」（19.4%）となっています。

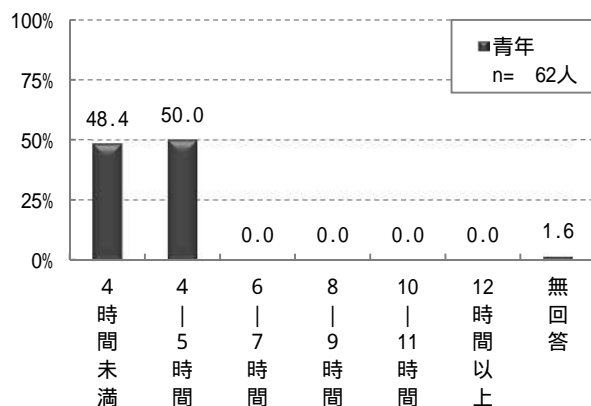
平均的な就労時間（1日当たり）では、「4-5時間」（50.0%）、「4時間未満」（48.4%）となっています。

平均的な帰宅時間では、「18-19時台」「20-21時台」（各22.6%）、「12時以前」（16.1%）となっています。

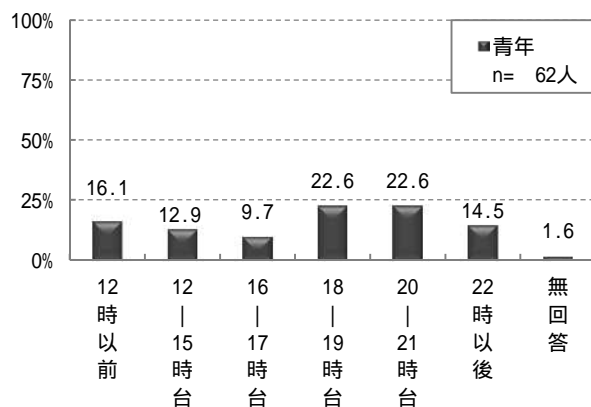
問 12(1) パートタイム・アルバイト等の平均的な就労日数（1週間当たり）



問 12(1) パートタイム・アルバイト等の平均的な就労時間（1日当たり）



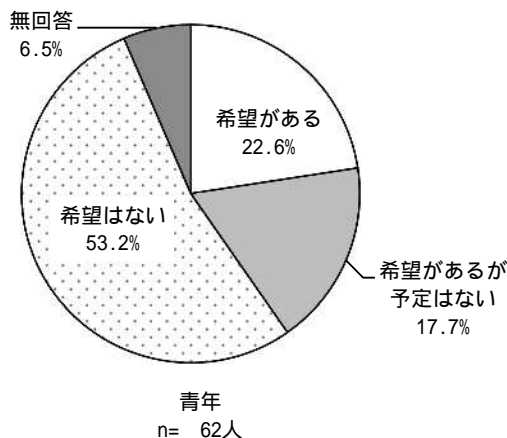
問 12(1) パートタイム・アルバイト等の平均的な帰宅時間





パートタイム・アルバイト等の人フルタイムへの転換希望は、「希望がある」(22.6%)、「希望があるが予定がない」(17.7%)となっています。

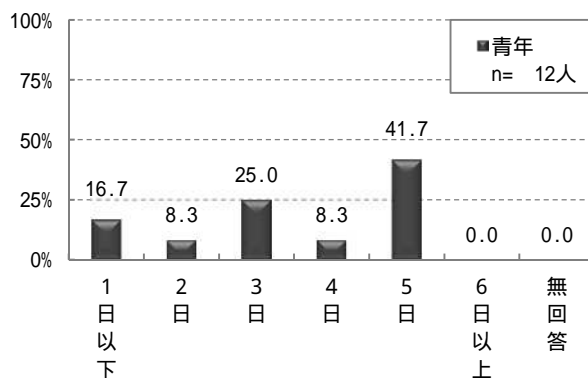
問 12(1) フルタイムへの転換希望



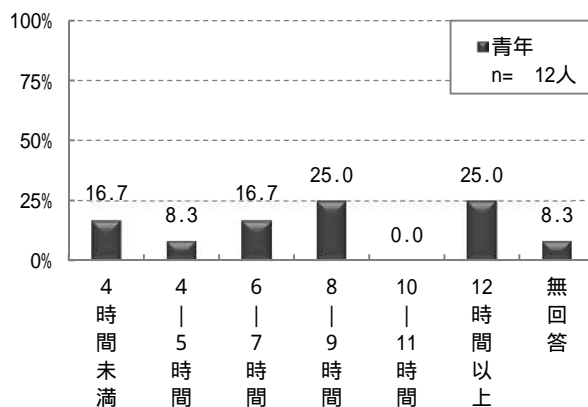
自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労日数(1週間当たり)では、「5日」(41.7%)、「3日」(25.0%)となっています。

平均的な就労時間(1日当たり)では、「8-9時間」「12時間以上」(各25.0%)、「4時間未満」「6-7時間」(16.7%)となっています。

問 12(1) 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労日数(1週間当たり)

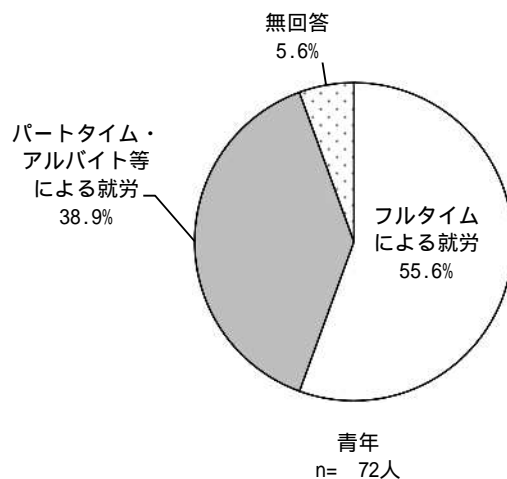


問 12(1) 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労時間(1日当たり)



現在は就労していない人の以前の働き方をみると、「フルタイムによる就労」(55.6%)、「パートタイム・アルバイト等による就労」(38.9%)となっています。

問 12(1) 現在就労していない人の以前の働き方



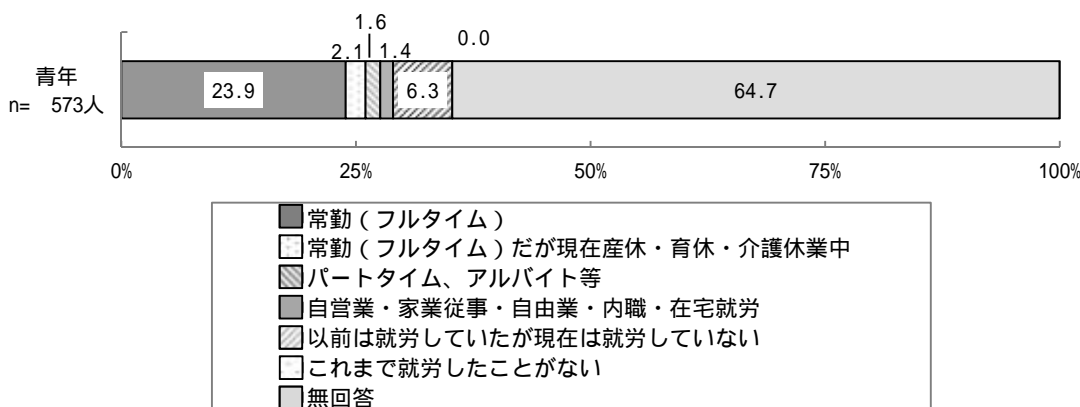
(2) 配偶者または事実婚状態にある人の就労状況

配偶者または事実婚状態にある人の就労状況をみると「常勤（フルタイム）」（23.9%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（6.3%）となっています。

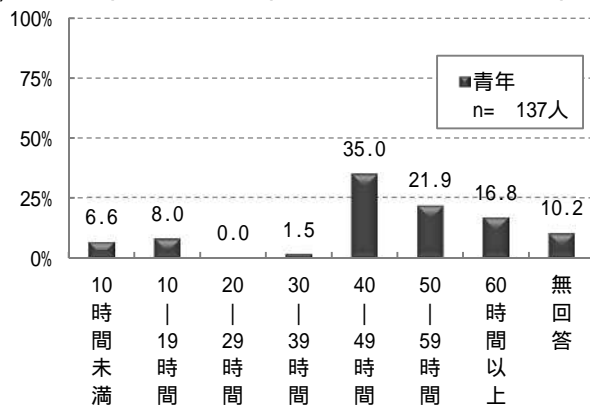
常勤（フルタイム）の平均的な就労時間（1週間当たり）では、「40-49 時間」（35.0%）、「50-59 時間」（21.9%）、「60 時間以上」（16.8%）となっています。

平均的な帰宅時間では、「20-21 時台」（33.6%）、「22 時以降」（26.3%）、「18-19 時台」（24.8%）となっています。

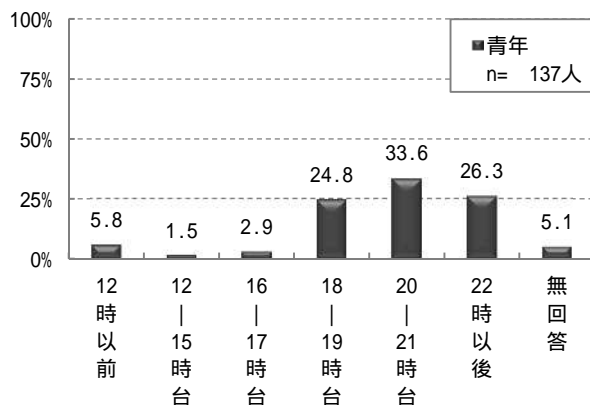
問 12(2) 配偶者または事実婚状態にある人の就労状況



問 12(2) 常勤（フルタイム）の平均的な就労時間（1週間当たり）



問 12(2) 常勤（フルタイム）の平均的な帰宅時間

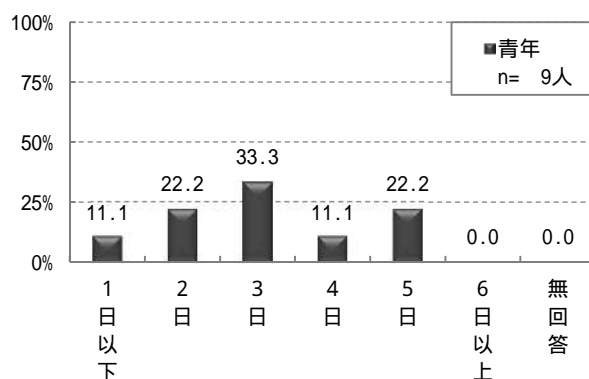


パートタイム・アルバイト等の平均的な就労日数（1週間当たり）では「3日」（33.3%）、「2日」「5日」（各22.2%）となっています。

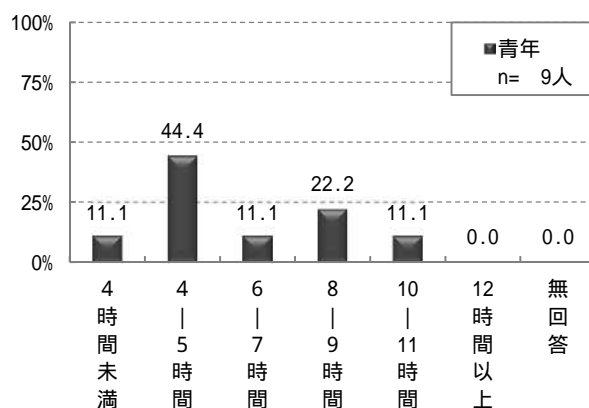
平均的な就労時間（1日当たり）では、「4-5時間」（44.4%）「8-9時間」（22.2%）となっています。

平均的な帰宅時間では、「20-21時台」（33.3%）、「12時以前」「12-15時台」（各22.2%）となっています。

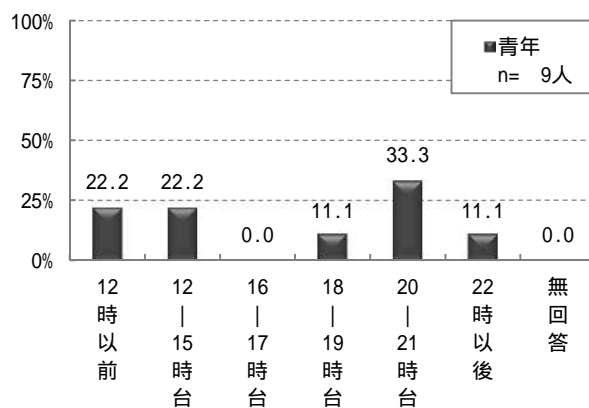
問 12(2) パートタイム・アルバイト等の平均的な就労日数（1週間当たり）



問 12(2) パートタイム・アルバイト等の平均的な就労時間（1日当たり）

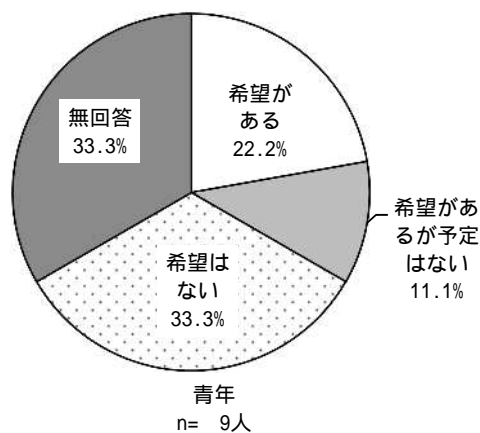


問 12(2) パートタイム・アルバイト等の平均的な帰宅時間



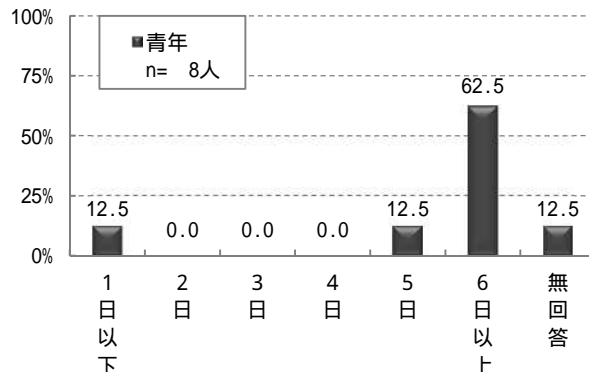
パートタイム・アルバイト等の人フルタイムへの転換希望は、「希望がある」(22.2%)、「希望があるが予定はない」(11.1%)となっています。

問 12(2) フルタイムへの転換希望

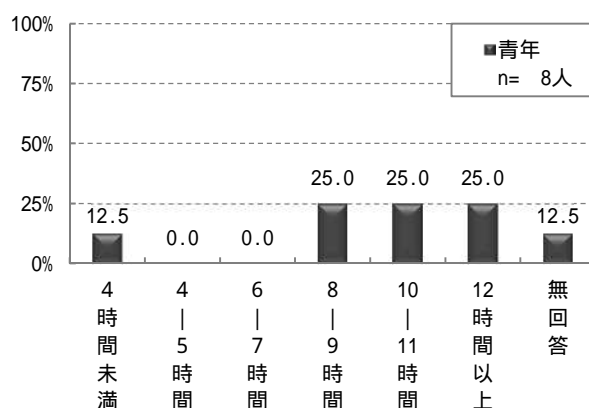


自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労日数(1週間当たり)では、「6日以上」(62.5%)、「5日」「1日以下」(各12.5%)となっています。  
平均的な就労時間(1日当たり)では、「8-9時間」「10-11時間」「12時間以上」(各25.0%)となっています。

問 12(2) 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労日数(1週間当たり)

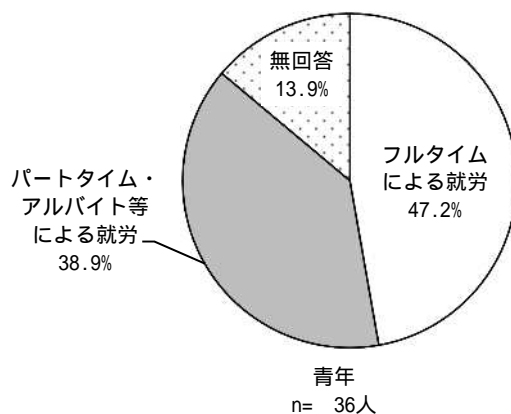


問 12(2) 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の平均的な就労時間(1日当たり)



現在は就労していない人の以前の働き方をみると、「フルタイムによる就労」(47.2%)、「パートタイム・アルバイト等による就労」(38.9%)となっています。

問 12(2) 以前の働き方



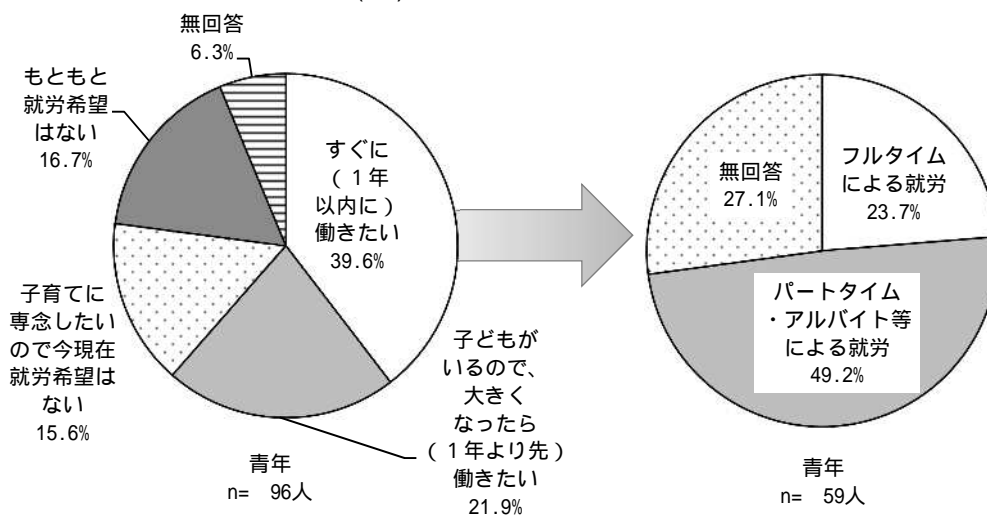
### (3) 就労希望について

問 12-1 問 12で「5. 現在就労していない」「6. これまで就労したことがない」とお答えの方におたずねします。就労の希望がありますか。また、就労希望がある場合、働き方の希望についてお答えください。

回答者の就労希望では、「すぐに(1年以内に)働きたい」(39.6%)、「子どもがいるので、大きくなったら(1年より先)働きたい」(21.9%)、子育てに専念したいので今現在就労希望はない」(15.6%)となっています。

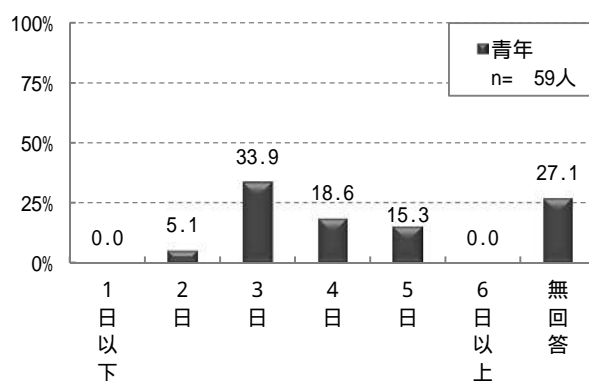
働き方の希望では、「パートタイム・アルバイト等による就労」(49.2%)、「フルタイムによる就労」(23.7%)となっています。

問 12-1(ア) 回答者の就労希望・働き方希望

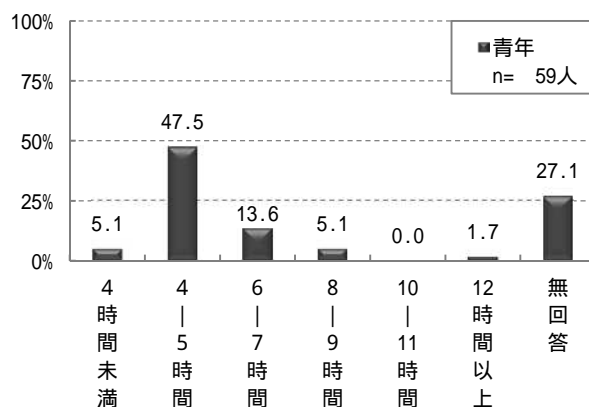


回答者のパートタイム・アルバイト等の希望就労日数（1週間当たり）では、「3日」（33.9%）、「4日」（18.6%）、「5日」（15.3%）となっています。  
 希望就労時間（1日当たり）では、「4-5時間」（47.5%）、「6-7時間」（13.6%）となっています。

問 12-1(ア) パートタイム・アルバイト等の希望就労日数（1週間当たり）



問 12-1(ア) パートタイム・アルバイト等の希望就労時間（1日当たり）



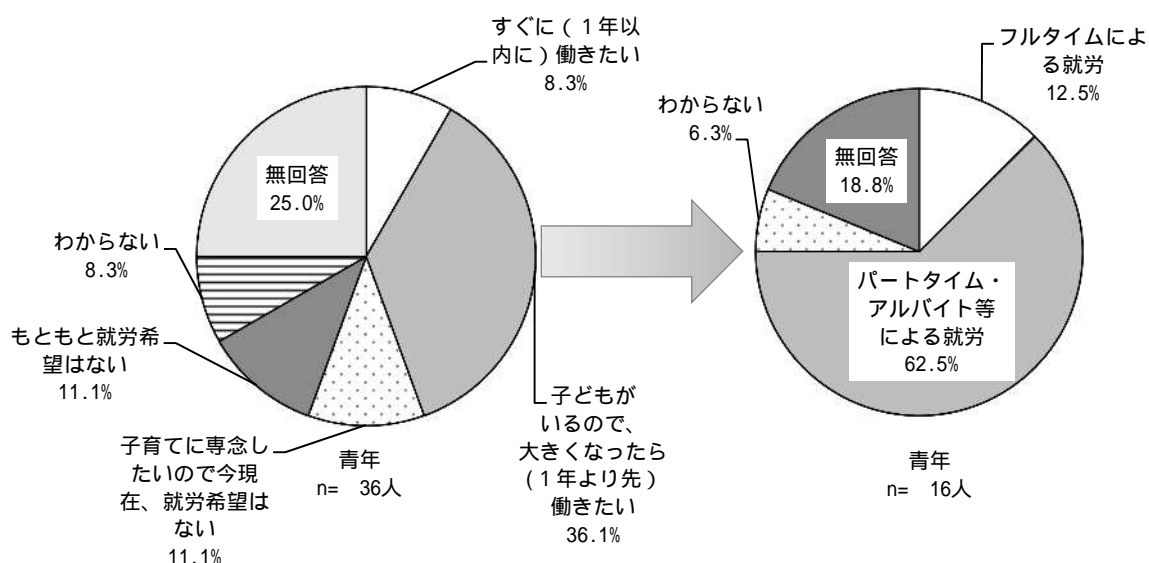


配偶者（事実婚状態にある人を含む）の就労希望では、「子どもがいるので、大きくなったら（1年より先）働きたい」（36.1%）、「子育てに専念したいので今現在就労希望はない」「もともと就労希望はない」（各11.1%）となっています。

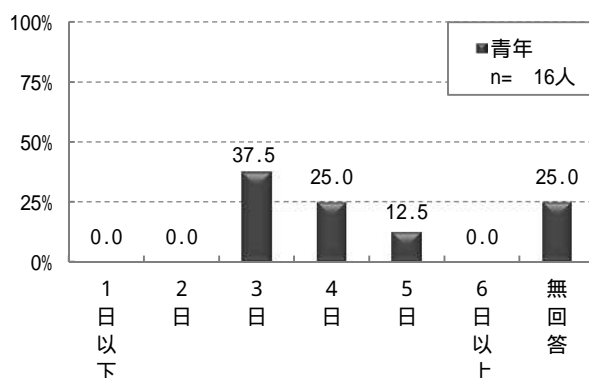
働き方の希望では、「パートタイム・アルバイト等による就労」（62.5%）、「フルタイムによる就労」（12.5%）となっています。

パートタイム、アルバイト等の希望就労日数（1週間当たり）では、「3日」（37.5%）、「4日」（25.0%）、「5日」（12.5%）となっています。

問 12-1(イ) 配偶者（事実婚状態にある人を含む）の就労希望・働き方の希望

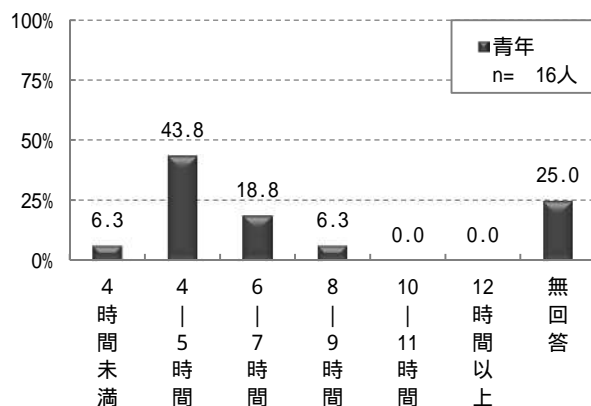


問 12-1(イ) パートタイム、アルバイト等の希望就労日数（1週間当たり）



配偶者（事実婚状態にある人を含む）のパートタイム、アルバイト等の希望就労時間（1日当たり）では、「4-5時間」（43.8%）、「6-7時間」（18.8%）となっています。

問 12-1(イ) パートタイム、アルバイト等の希望就労時間（1日当たり）



## 4 結婚についての考え方

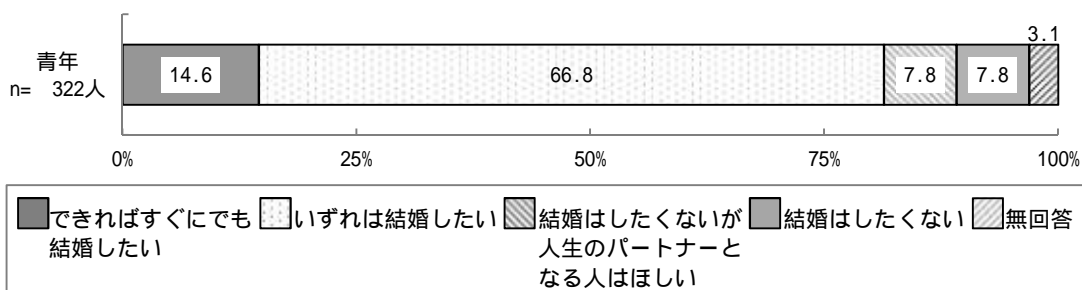
問 13 問 2 で「1. 結婚していない」「2. 事実婚状態にある人がいる」「3. 離婚（死別）して現在独身」とお答えの方におたずねします。「結婚」についてどのようにお考えですか。

問 13-1 問 2 で「1. 結婚していない」「2. 事実婚状態にある人がいる」「3. 離婚（死別）して現在独身」とお答えの方におたずねします。現在、結婚していないのはどうしてですか。

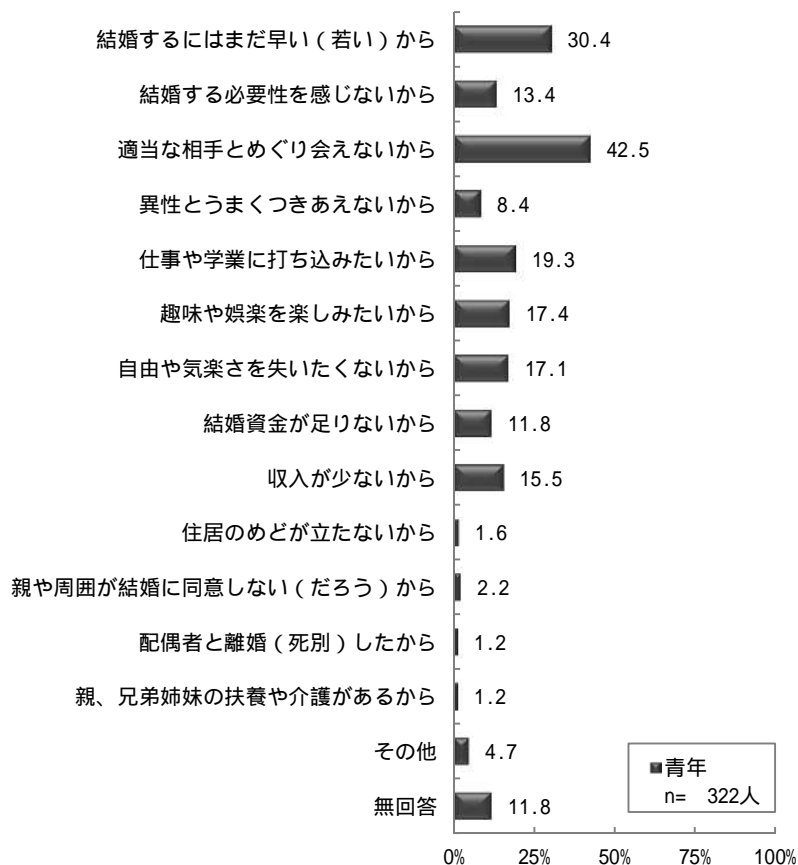
結婚についての考え方では、「いずれは結婚したい」(66.8%) が最も多く、次いで「できればすぐにでも結婚したい」(14.6%) となっています。

結婚していない理由では、「適当な相手とめぐり会えないから」(42.5%)、「結婚するにはまだ早い(若い)から」(30.4%) となっています。

問 13 「結婚」についての考え



問 13-1 結婚していない理由



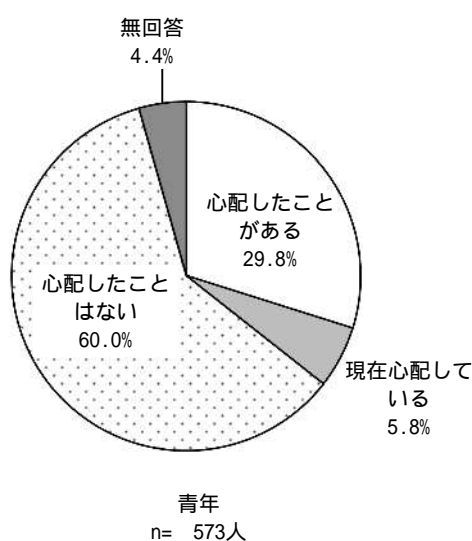
問 14 すべての方におたずねします。これまで、子どもができないのではないかと心配したことがありますか。

問 14-1 問 14で「1. 心配したことがある」「2. 現在心配している」とお答えの方におたずねします。そのことで、医療機関にかかったことがありますか。

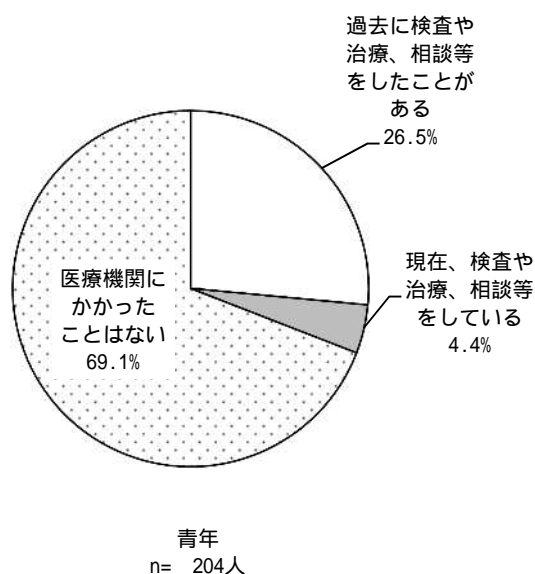
子どもができないのではないかと心配したことがあるかどうかでは、「心配したことがある」(29.8%)、「現在心配している」(5.8%)となっています。

子どもができないことを心配し医療機関にかかったことがあるかどうかでは、「過去に検査や治療、相談等をしたことがある」(26.5%)、「現在、検査や治療、相談等をしている」(4.4%)となっています。

問 14 子どもができないのではないかと心配したことはあるか



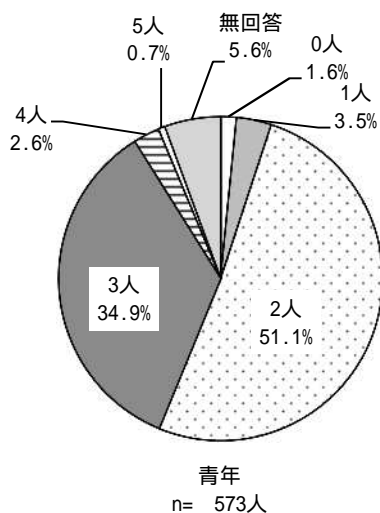
問 14-1 子どもができないことを心配し医療機関にかかったことがあるか



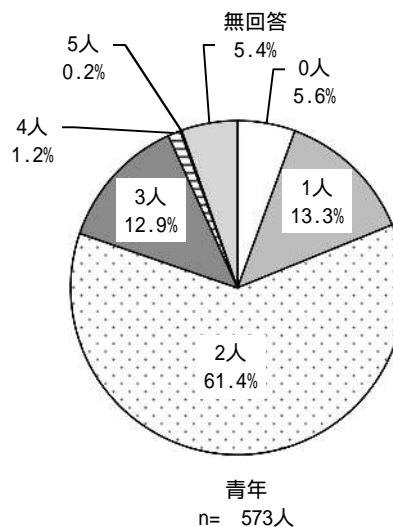
問15 すべての方におたずねします。あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全員で何人の子どもを持つつもりですか。

理想的な子どもの人数は、「2人」(51.1%)、「3人」(34.9%)となっています。  
 持つつもりの子どもの人数では、「2人」(61.4%)が最も多くなっており、次いで「1人」(13.3%)、「3人」(12.9%)となっています。

問15 理想的な子どもの人数



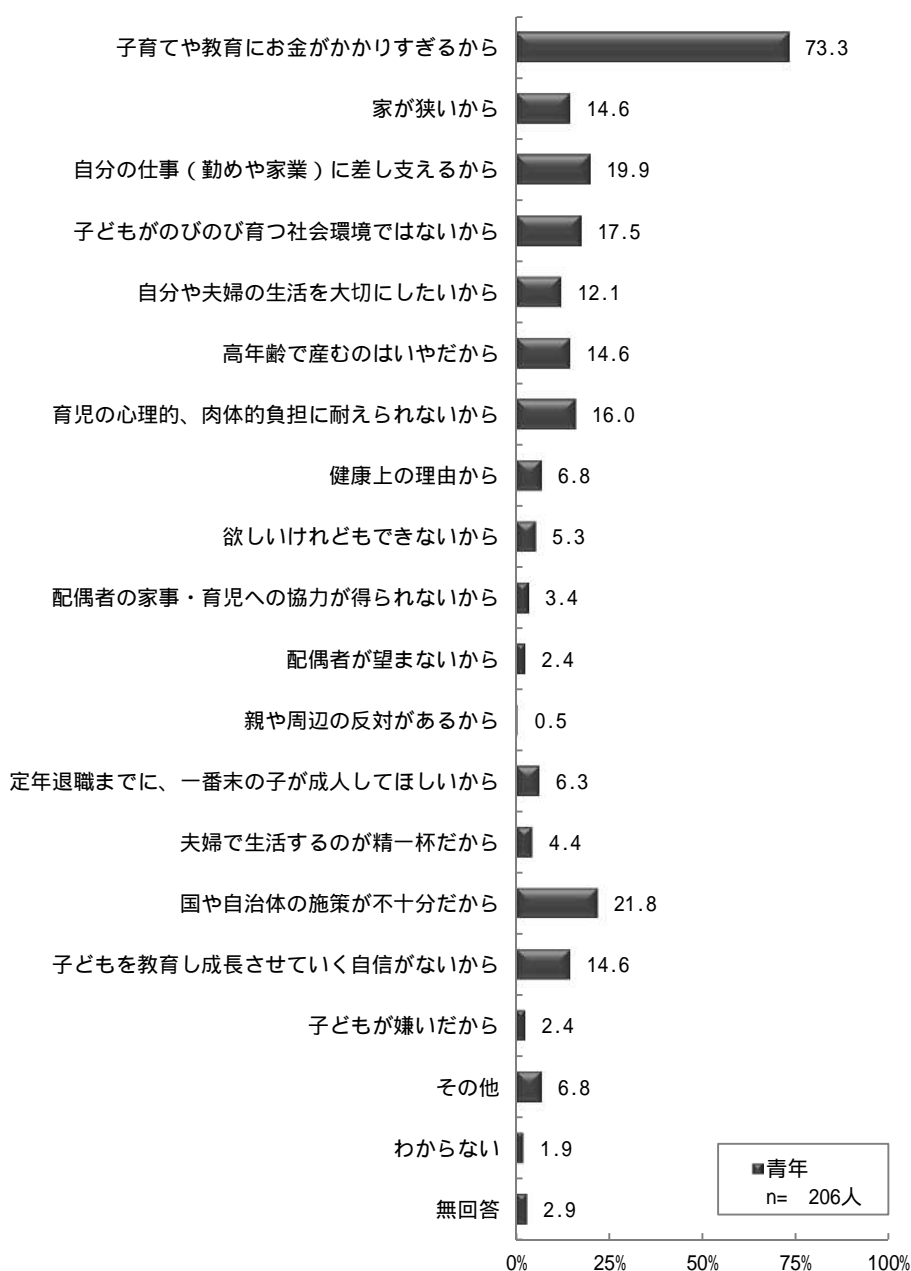
持つつもりの子どもの人数



問 15-1 問 15 で「持つつもりの子どもの人数」が、「理想的な子どもの人数」より少ない方におたずねします。持つつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数（0人を含む）より少ないのはどうしてですか。

持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（73.3%）が最も多くなっており、次いで「国や自治体の施策が不十分だから」（21.8%）、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（19.9%）、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」（17.5%）となっています。

問 15-1 持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由



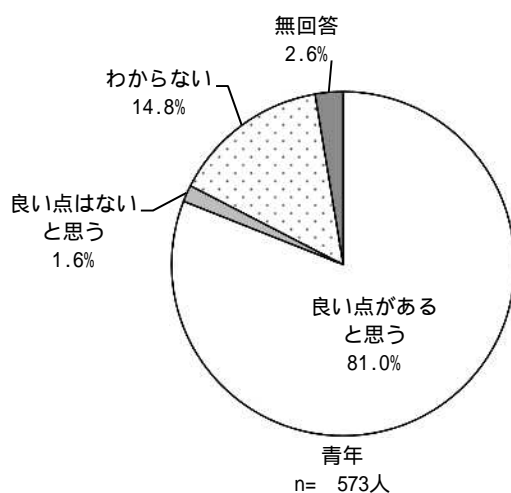
問 16 すべての方におたずねします。結婚することまたは結婚したことには良い点があると思いますか。

問 16-1 問 16で「1. 良い点があると思う」とお答えの方におたずねします。良い点と思われることはどのようなことですか。

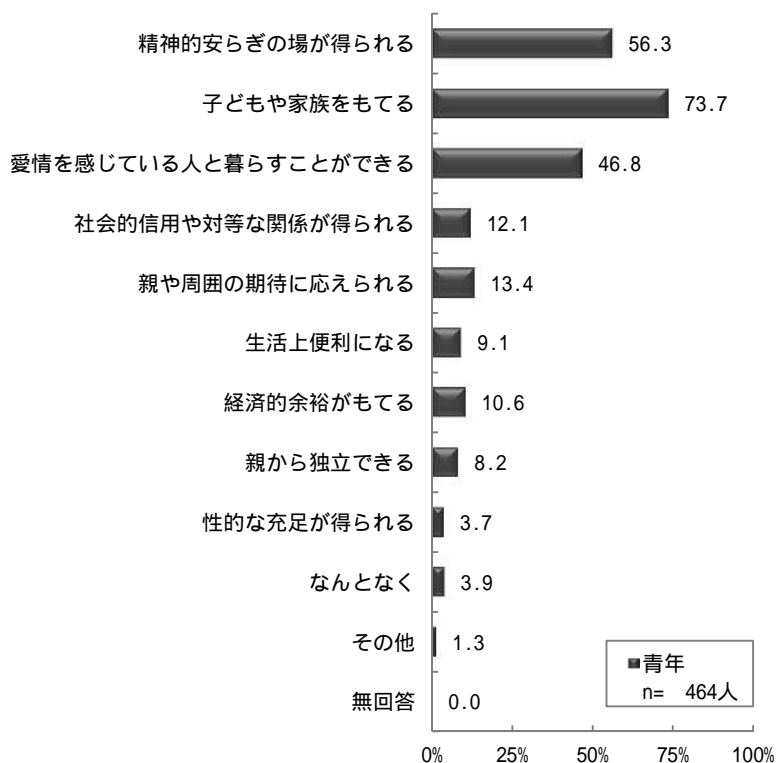
結婚することまたは結婚したことで良い点があるかどうかでは、「良い点があると思う」(81.0%)が最も多くなっています。

結婚することまたは結婚したことの良い点では、「子どもや家族をもてる」(73.7%)、「精神的安らぎの場が得られる」(56.3%)、「愛情を感じている人と暮らすことができる」(46.8%)となっています。

問 16 結婚することまたは結婚したことで良い点があるか



問 16-1 結婚することまたは結婚したことの良い点



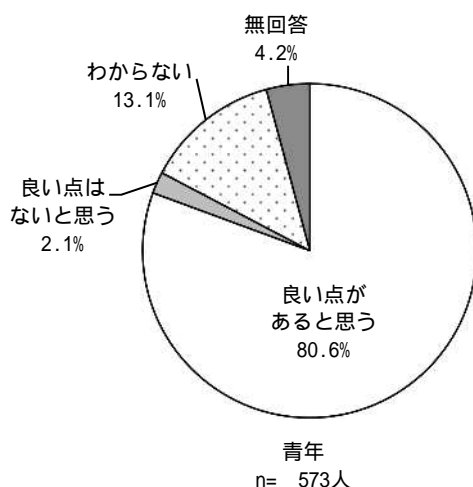
問 17 すべての方におたずねします。独身生活には結婚生活にはない良い点があると思いますか。

問 17-1 問 17で「1. 良い点があると思う」とお答えの方におたずねします。独身生活の良い点と思われることはどのようなことですか。

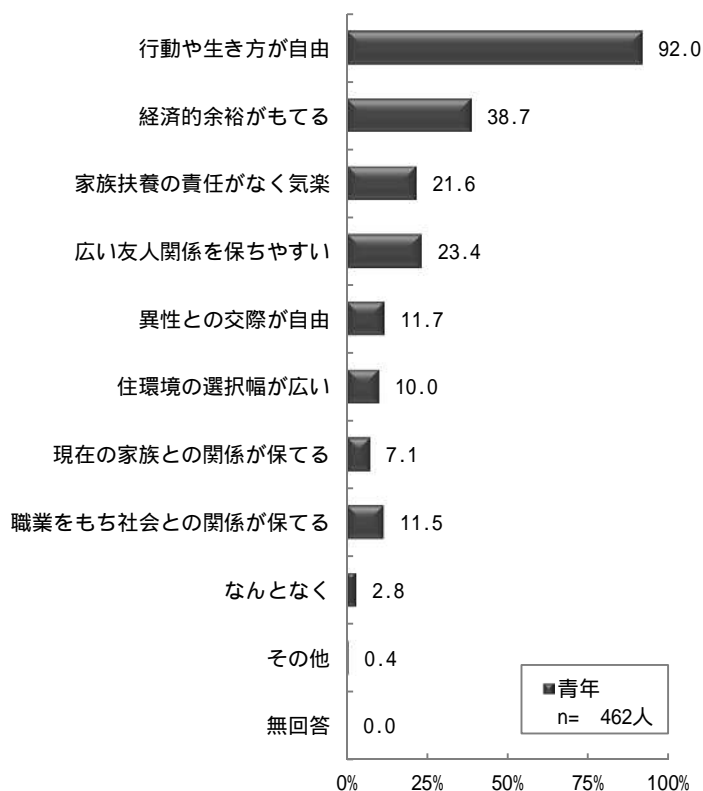
独身生活には結婚生活にはない良い点があるかどうかでは、「良い点があると思う」(80.6%)が最も多くなっています。

独身生活の良い点では、「行動や生き方が自由」(92.0%)、「経済的余裕がもてる」(38.7%)、「広い友人関係を保ちやすい」(23.4%)となっています。

問 17 独身生活には結婚生活にはない良い点があると思うか



問 17-1 独身生活の良い点

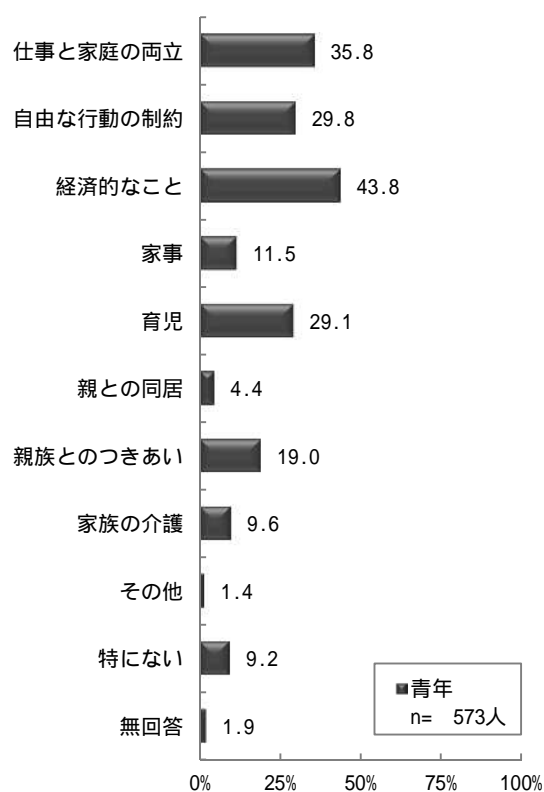




問 18 すべての方におたずねします。あなたが結婚について感じる心配や大変さは主にどのようなことですか。

結婚について感じる心配や大変さでは、「経済的なこと」(43.8%)、「仕事と家庭の両立」(35.8%)、「自由な行動の制約」(29.8%)、「育児」(29.1%)となっています。

問 18 結婚について感じる心配や大変さ



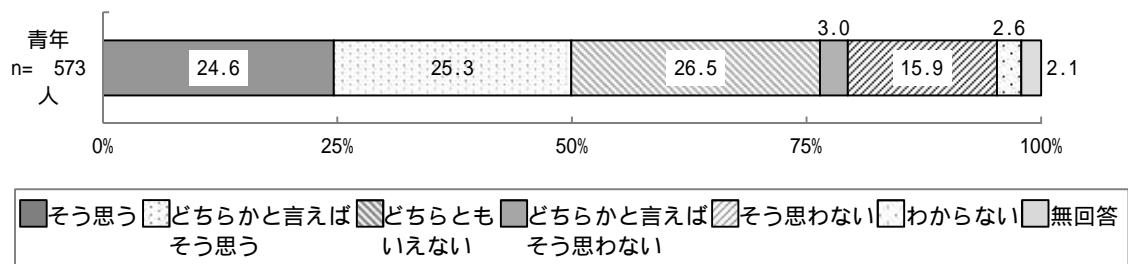
問 19 結婚については色々な考え方がありますが、次のア～キについてそれぞれどう思われますか。

- ア. 生涯を独身で過ごすというのは望ましい生き方ではない
- イ. 男女がいっしょに暮らすなら結婚すべきである
- ウ. 結婚したら子どもは持つべきだ
- エ. 結婚しても自分の目標を大切にすべきだ
- オ. 結婚したら家族のために自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然だ
- カ. 結婚後は夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
- キ. いったん結婚したら性格の不一致ぐらいで別れるべきではない

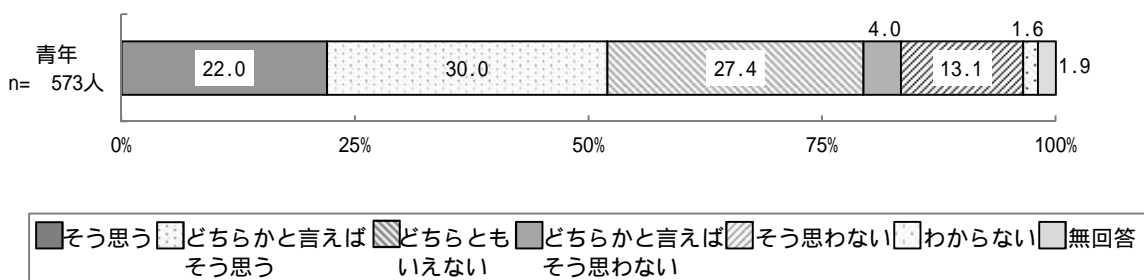
『生涯を独身で過ごすというのは望ましい生き方ではない』という考え方に対し、「どちらともいえない」(26.5%)、「どちらかと言えばそう思う」(25.3%)、「そう思う」(24.6%)となっています。

『男女がいっしょに暮らすなら結婚すべきである』という考え方に対し、「どちらかと言えばそう思う」(30.0%)、「どちらともいえない」(27.4%)、「そう思う」(22.0%)となっています。

問 19.ア 生涯を独身で過ごすというのは望ましい生き方ではない



問 19.イ 男女がいっしょに暮らすなら結婚すべきである

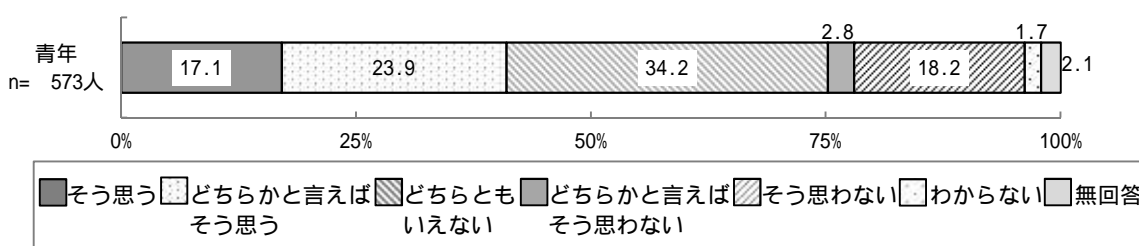


『結婚したら子どもは持つべきだ』という考え方に対し、「どちらともいえない」(34.2%)、「どちらかといえばそう思う」(23.9%)、「そう思う」(17.1%)となっています。

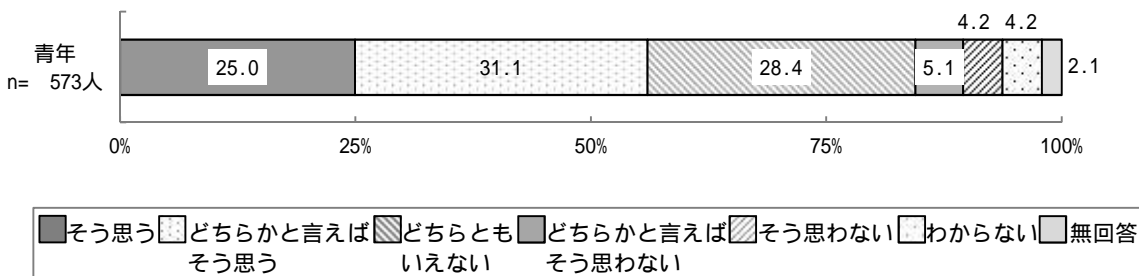
『結婚しても自分の目標を大切にすべきだ』との考え方に対し、「どちらかといえばそう思う」(31.1%)、「どちらともいえない」(28.4%)、「そう思う」(25.0%)となっています。

『結婚したら家族のために自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然だ』との考え方に対し、「そう思わない」(30.2%)、「どちらともいえない」(26.9%)、「どちらかといえばそう思う」(20.4%)となっています。

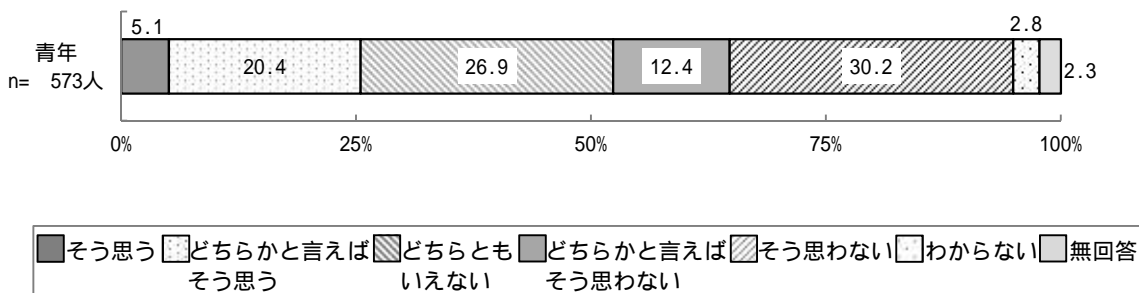
問 19.ウ 結婚したら子どもは持つべきだ



問 19.エ 結婚しても自分の目標を大切にすべきだ



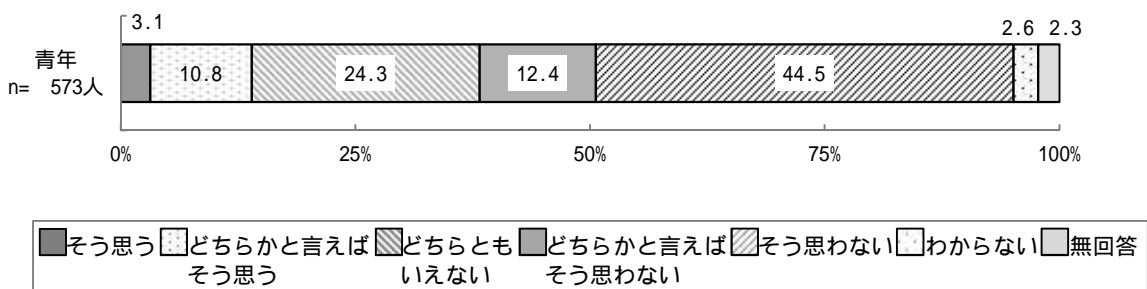
問 19.オ 結婚したら家族のために自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然だ



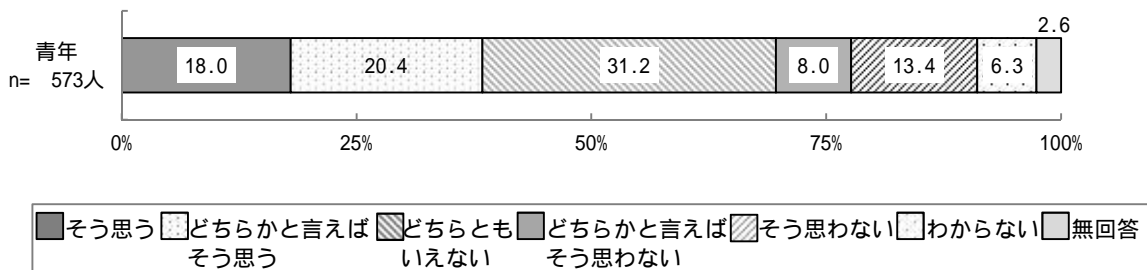
『結婚後は夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ』との考え方に対し、「そう思わない」(44.5%)、「どちらともいえない」(24.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(12.4%)となっています。

『いったん結婚したら性格の不一致ぐらいで別れるべきではない』との考え方に対し、「どちらともいえない」(31.2%)、「どちらかといえばそう思う」(20.4%)、「そう思う」(18.0%)となっています。

問 19.カ 結婚後は夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



問 19.キ いったん結婚したら性格の不一致ぐらいで別れるべきではない



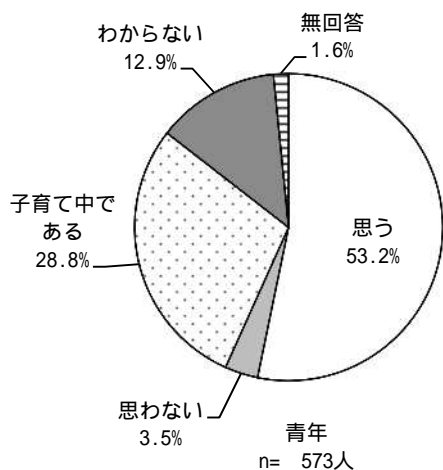
## 5 子育てについて

問 20 あなたは将来、子育てをしたいと思いますか。

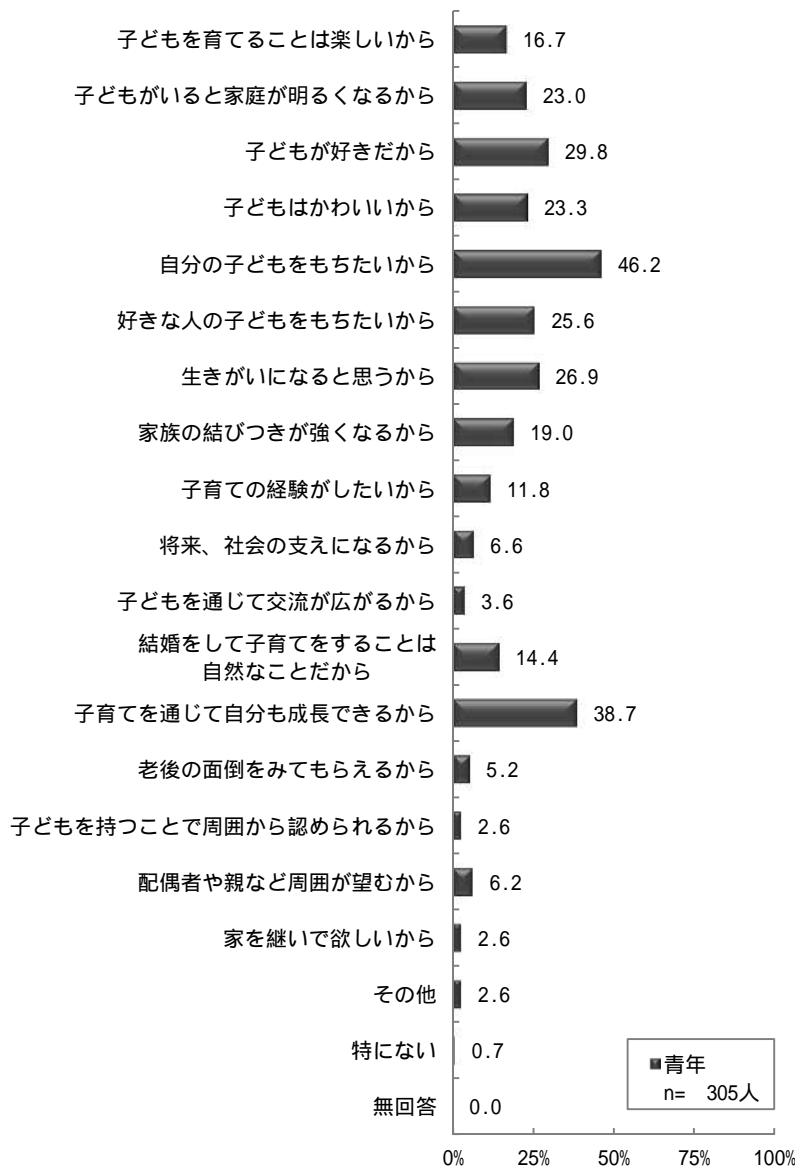
問 20-1 問 20 で「1. 思う」とお答えの方におたずねします。将来子育てをしたいと思う理由  
はどのようなことですか。

将来子育てをしたいと思うかどうかでは、「思う」(53.2%)、「子育て中である」(28.8%)となっています。  
将来子育てをしたいと思う理由では、「自分の子どもをもちたいから」(46.2%)、「子育てを通じて自分も成長できるから」(38.7%)、「子どもが好きだから」(29.8%)となっています。

問 20 将来子育てをしたいと思うか



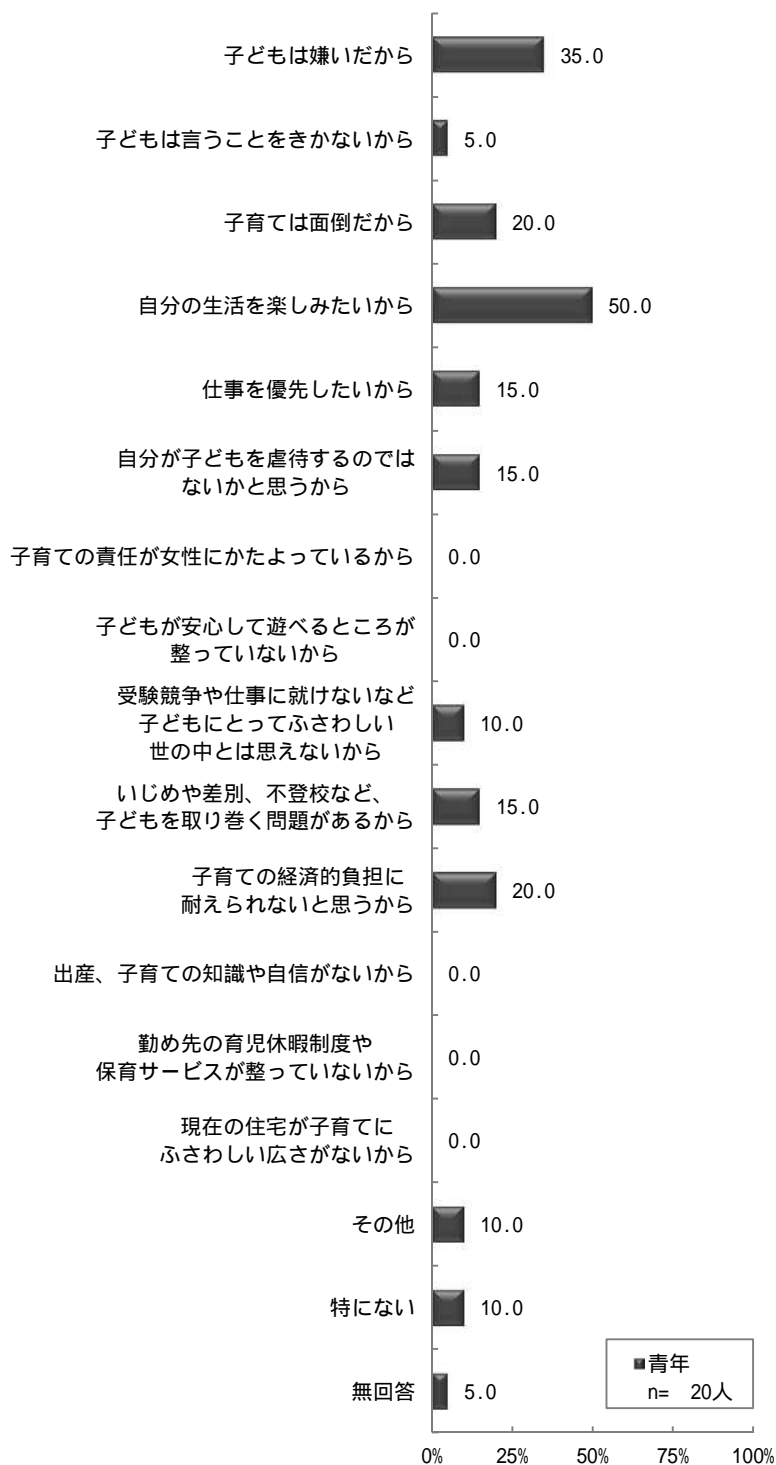
問 20-1 将来子育てをしたいと思う理由



問 20-2 問 20 で「2. 思わない」とお答えの方におたずねします。将来子育てをしたいと思わない理由はどのようなことですか。

将来子育てをしたいと思わない理由では、「自分の生活を楽しみたいから」(50.0%)、「子どもは嫌いだから」(35.0%)、「子育ては面倒だから」「子育ての経済的負担に耐えられないと思うから」(各 20.0%)となっています。

問 20-2 将来子育てをしたいと思わない理由



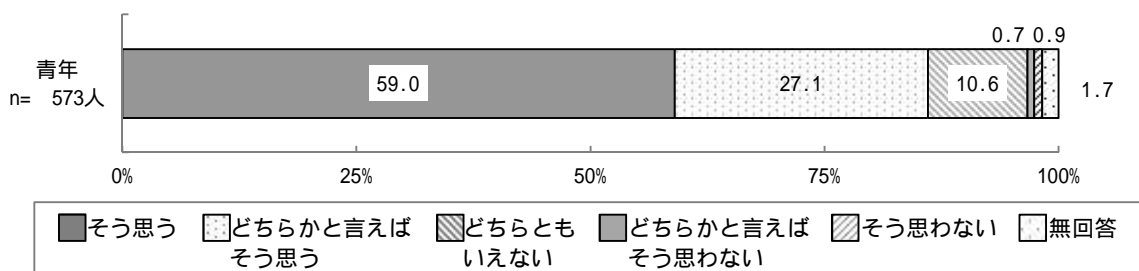
問 21 すべての方におたずねします。子育てについては色々な考え方がありますが、次のア～エについてそれぞれどう思われますか。

- ア. 次代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援するべきである
- イ. 子どもを育てている人には、税や社会保障を優遇すべきである
- ウ. 子どもを産む、産まない、いつ産む、何人産むかについては、お互いの意思を尊重すべきである
- エ. 子育ては男女が協力して行うべきである

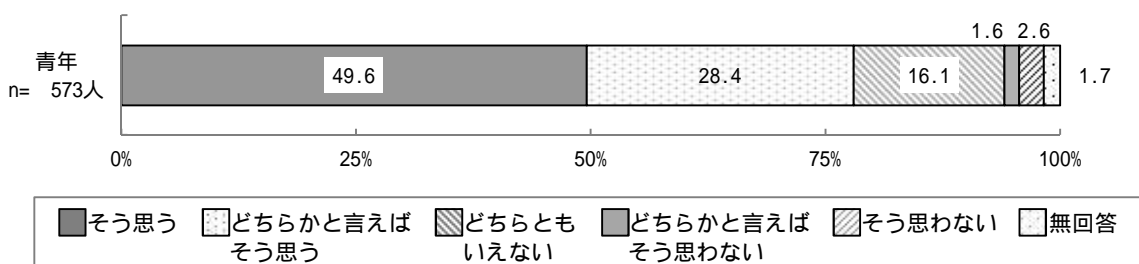
『次代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援するべきである』との考え方に対し、「そう思う」(59.0%)、「どちらかと言えばそう思う」(27.1%)、「どちらともいえない」(10.6%)となっています。

『子どもを育てている人には税や社会保障を優遇すべきである』との考え方に対し、「そう思う」(49.6%)、「どちらかと言えばそう思う」(28.4%)、「どちらともいえない」(16.1%)となっています。

問 21.ア 次代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援するべきである



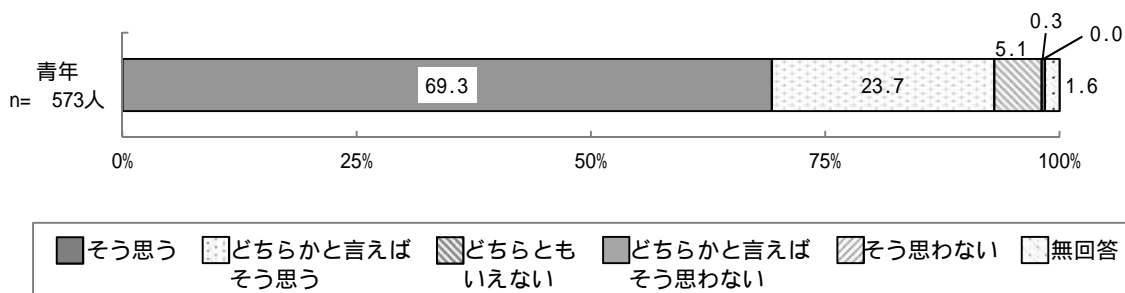
問 21.イ 子どもを育てている人には税や社会保障を優遇すべきである



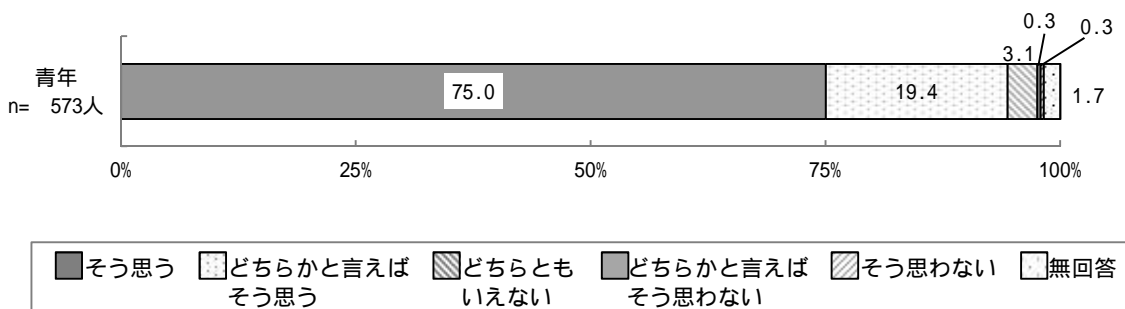
『子どもを産むことについてお互いの意思を尊重すべきである』との考え方に対し「そう思う」(69.3%)、「どちらかと言えばそう思う」(23.7%)となっています。

『子育ては男女が協力して行うべきである』との考え方に対し、「そう思う」(75.0%)が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(19.4%)となっています。

問 21.ウ 子どもを産むことについてお互いの意思を尊重すべきである



問 21.エ 子育ては男女が協力して行うべきである





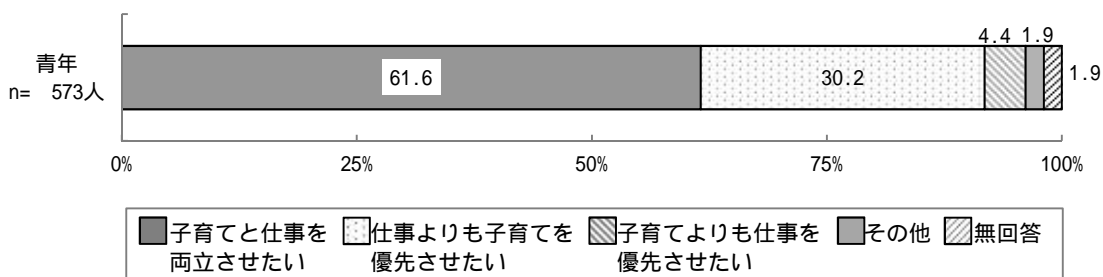
問22 子育てと仕事について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。

問23 家庭で子育てをする上で、大切なことは何だと思えますか。あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。

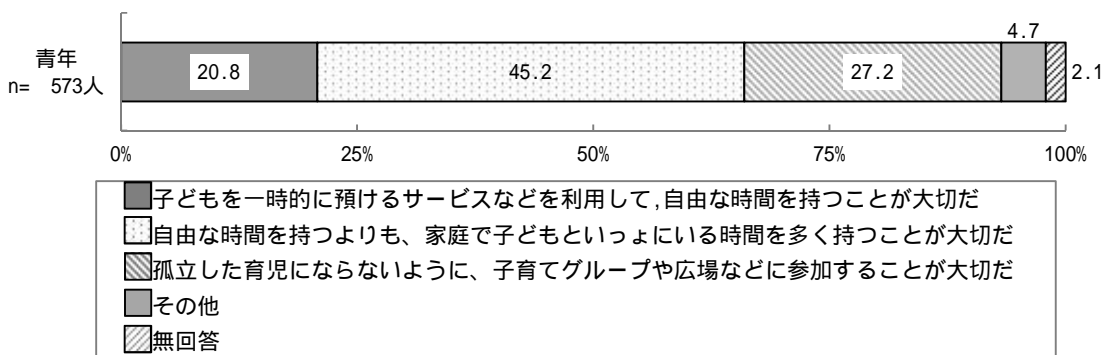
子育てと仕事についての考え方では、「子育てと仕事を両立させたい」(61.6%)、「仕事よりも子育てを優先させたい」(30.2%)となっています。

家庭で子育てをする上で大切なことでは、「自由な時間を持つよりも、家庭で子どもといっしょにいる時間を多く持つことが大切だ」(45.2%)、「孤立した育児にならないように、子育てグループや広場などに参加することが大切だ」(27.2%)、「子どもを一時的に預けるサービスなどを利用して、自由な時間を持つことが大切だ」(20.8%)となっています。

問22 子育てと仕事についての考え方



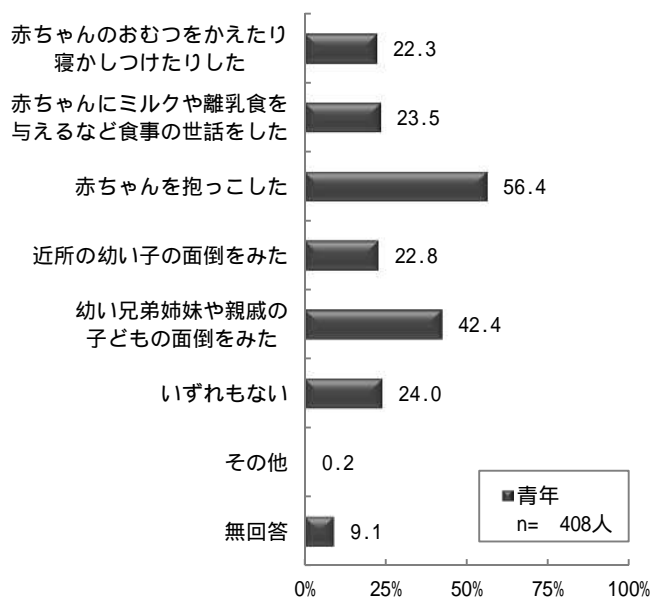
問23 家庭で子育てをする上で大切なこと



問 24 子どもがいない方におたずねします。あなたは、赤ちゃんや子どもの世話をした経験がありますか。

子どもがいない人の赤ちゃんや子どもの世話をした経験の有無をみると、「赤ちゃんを抱っこした」(56.4%)、「若い兄弟姉妹や親戚の子どもの面倒をみた」(42.4%)、「いずれもない」(24.0%)となっています。

問 24 赤ちゃんや子どもの世話をした経験の有無

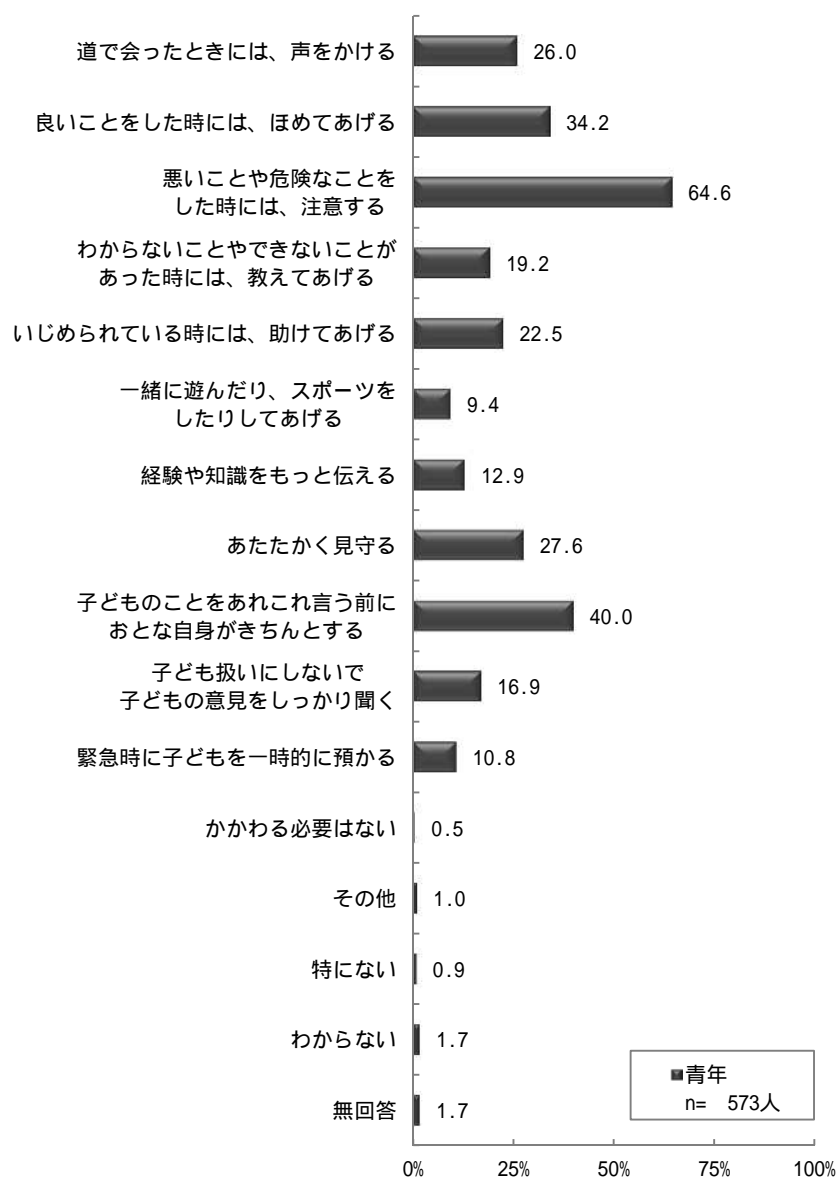


## 6 子育ての環境について

問 25 すべての方におたずねします。子どもたちに対して地域の人たちがすべきことはどのようなことですか。最もあてはまるものを選んでください。

子ども達に対して地域の人たちがすべきことでは、「悪いことや危険なことをした時には注意する」(64.6%)、「子どものことをあれこれ言う前におとな自身がきちんとする」(40.0%)、「良いことをした時には、ほめてあげる」(34.2%)となっています。

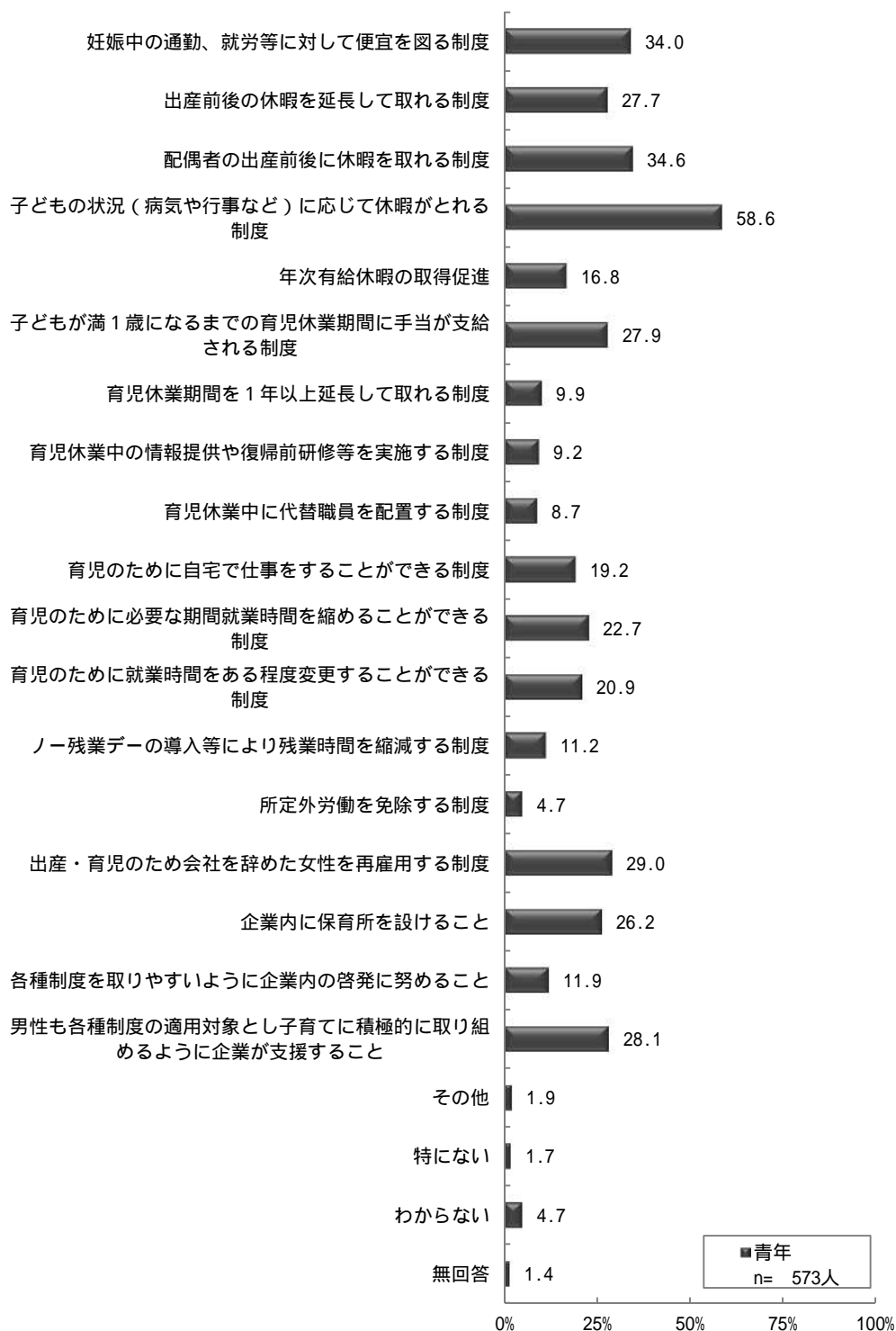
問 25 子どもたちに対して地域の人たちがすべきこと



問 26 子育てと仕事の両立を図るためには、企業などに求める制度や取り組みはどのようなものが必要と考えられますか。

子育てと仕事の両立を図るため企業などに求める制度や取組みに必要なものでは、「子どもの状況（病気や行事など）に応じて休暇がとれる制度」（58.6%）、「配偶者の出産前後に休暇を取れる制度」（34.6%）、「妊娠中の通勤、就労等に対して便宜を図る制度」（34.0%）、「出産・育児のため会社を辞めた女性を再雇用する制度」（29.0%）となっています。

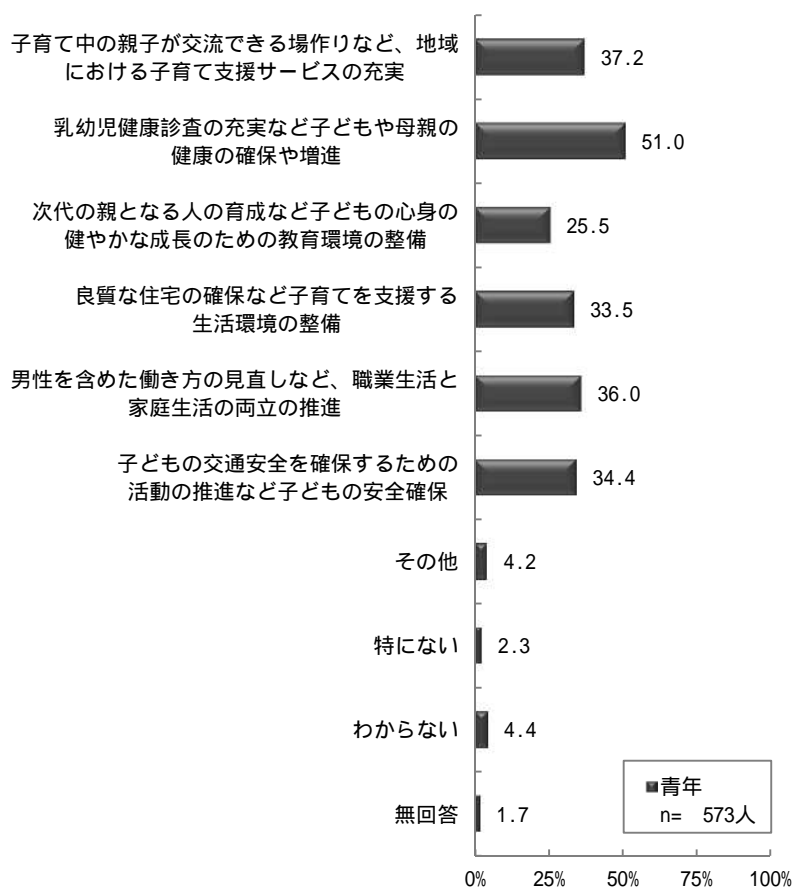
問 26 子育てと仕事の両立を図るため企業などに求める制度や取組みに必要なもの



問 27 今後、市が行う子育て支援策として、どのような取り組みを望みますか。

市が行う子育て支援策として希望する取組みでは、「乳幼児健康診査の充実など子どもや母親の健康の確保や増進」(51.0%)、「子育て中の親子が交流できる場作りなど、地域における子育て支援サービスの充実」(37.2%)、「男性を含めた働き方の見直しなど、職業生活と家庭生活の両立の推進」(36.0%)となっています。

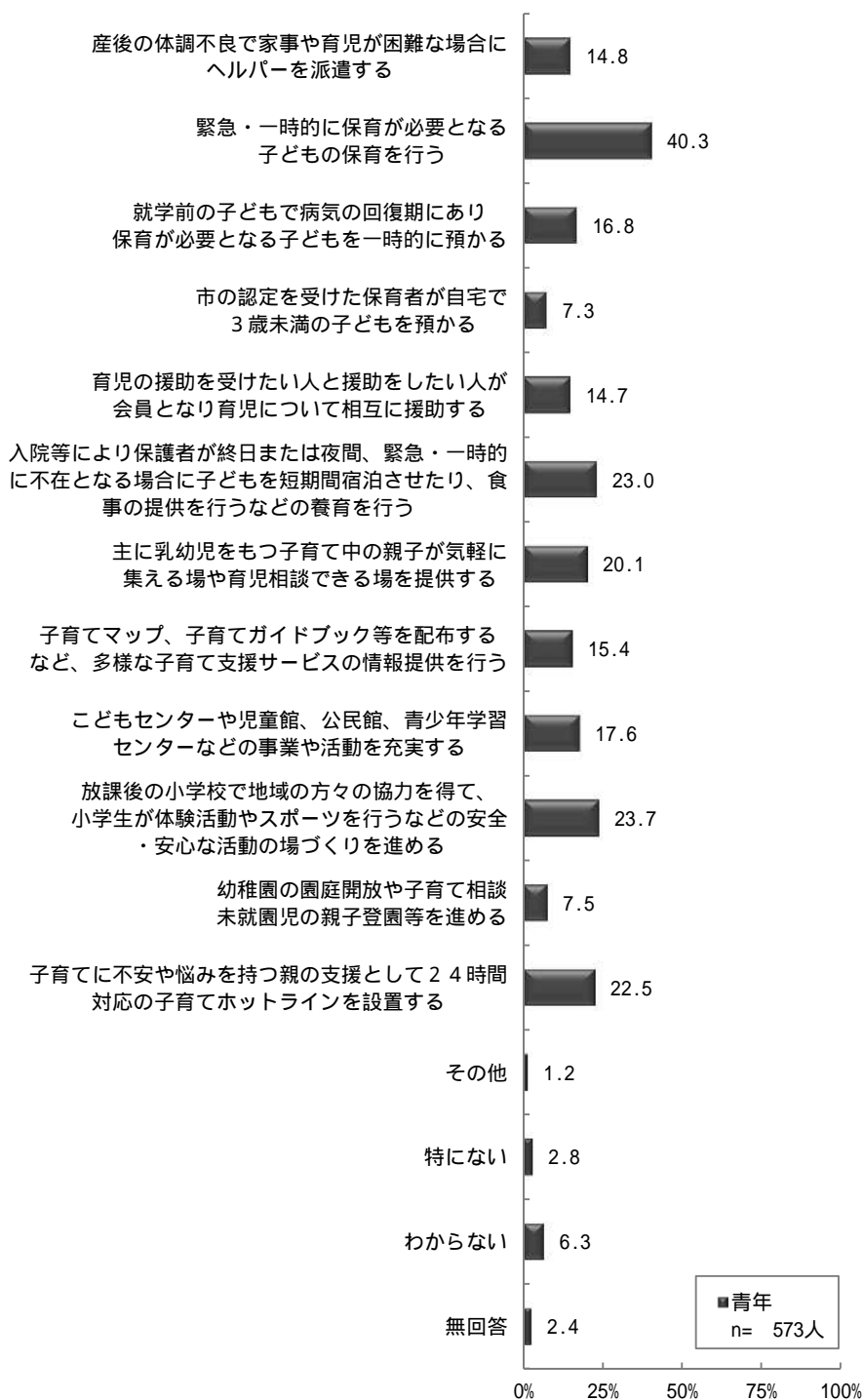
問 27 市が行う子育て支援策として希望する取組み



問 28 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるものは何ですか。

地域における子育て支援サービスとして最も望まれるものでは、「緊急・一時的に保育が必要となる子どもの保育を行う」(40.3%)、「放課後の小学校で地域の方々の協力を得て、小学校が体験活動やスポーツを行うなどの安全・安心な活動の場づくりを進める」(23.7%)、「入院等により保護者が終日または夜間、緊急・一時的に不在となる場合に、子どもを短期間宿泊させたり、食事の提供を行うなどの養育を行う」(23.0%)となっています。

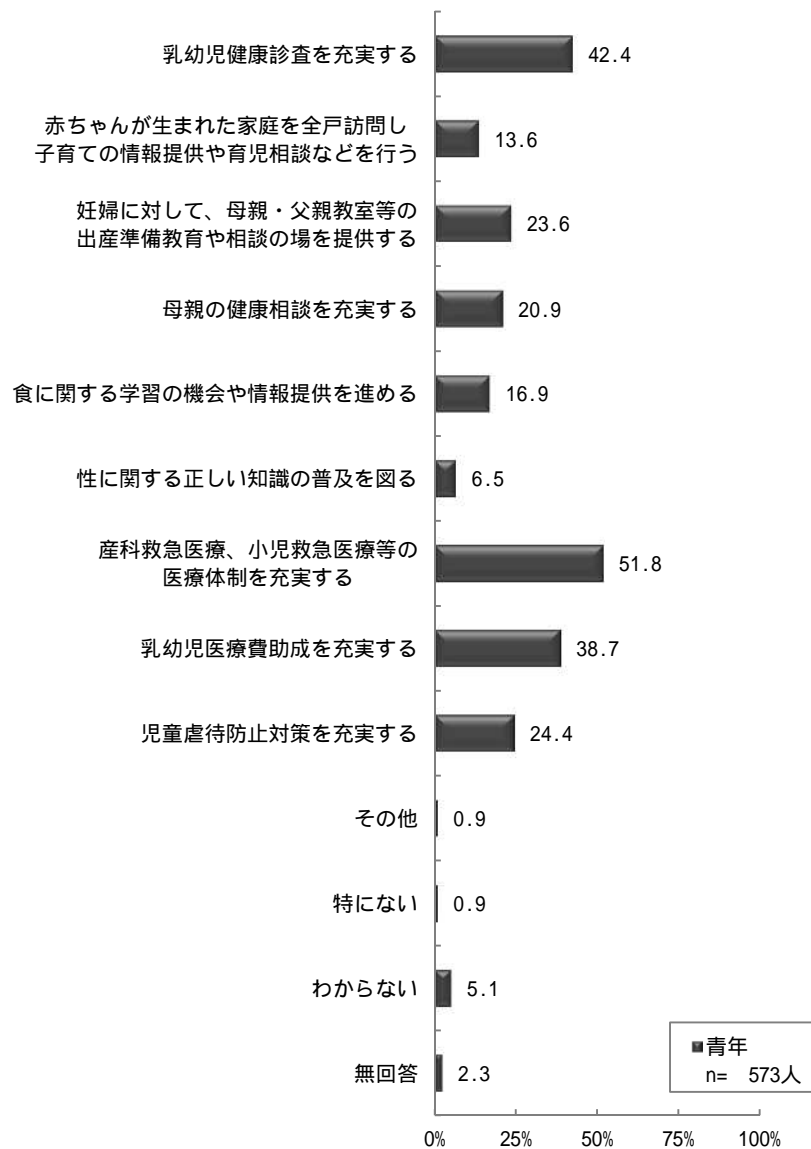
問 28 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるもの



問 29 「子どもや母親の健康の確保や増進」として最も望まれるものは何ですか。

子どもや母親の健康の確保や増進として最も望まれるものでは、「産科救急医療、小児救急医療等の医療体制を充実する」(51.8%)、「乳幼児健康検査を充実する」(42.4%)、「乳幼児医療費助成を充実する」(38.7%)となっています。

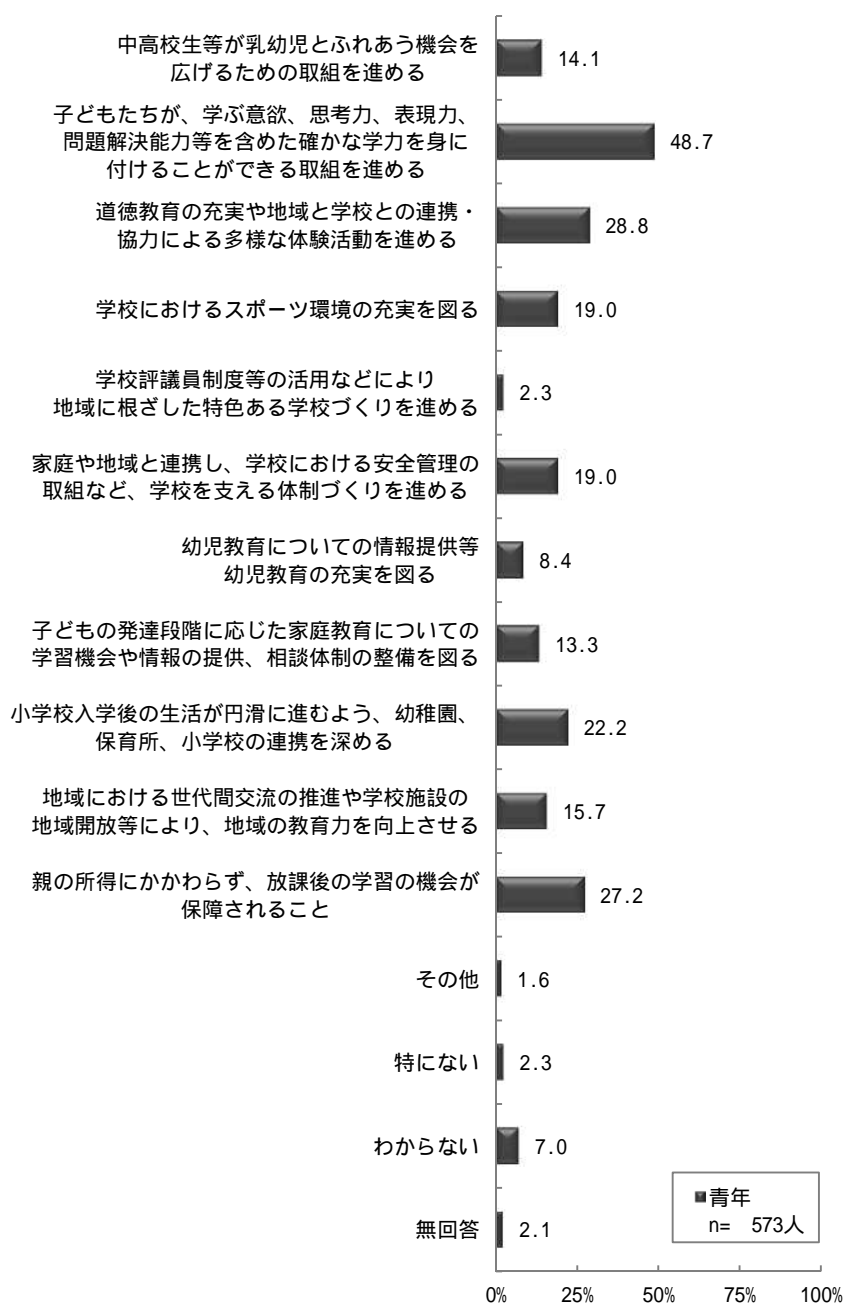
問 29 「子どもや母親の健康の確保や増進」として最も望まれるもの



問 30 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。

子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備として最も望まれるものでは、「子どもたちが学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等を含めた確かな学力を身に付けることができる取組を進める」(48.7%)、「道德教育の充実や地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を進める」(28.8%)、「親の所得にかかわらず、放課後の学習の機会が保障されること」(27.2%)となっています。

問 30 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるもの

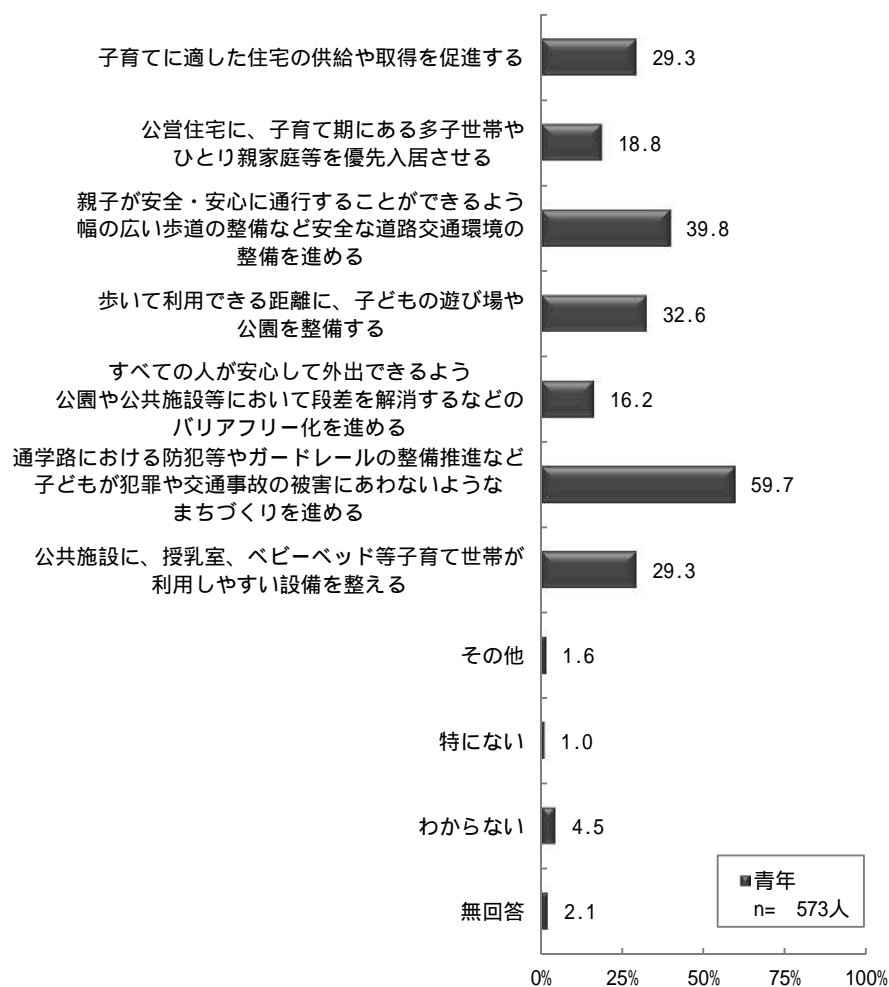




問 31 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。

子育てを支援する生活環境の整備として最も望まれるものでは、「通学路における防犯等やガードレールの整備推進など、子どもが犯罪や交通事故の被害にあわないようなまちづくりを進める」(59.7%)、「親子が安全・安心に通行することができるよう幅の広い歩道の整備など安全な道路交通環境の整備を進める」(39.8%)、「歩いて利用できる距離に、子どもの遊び場や公園を整備する」(32.6%)となっています。

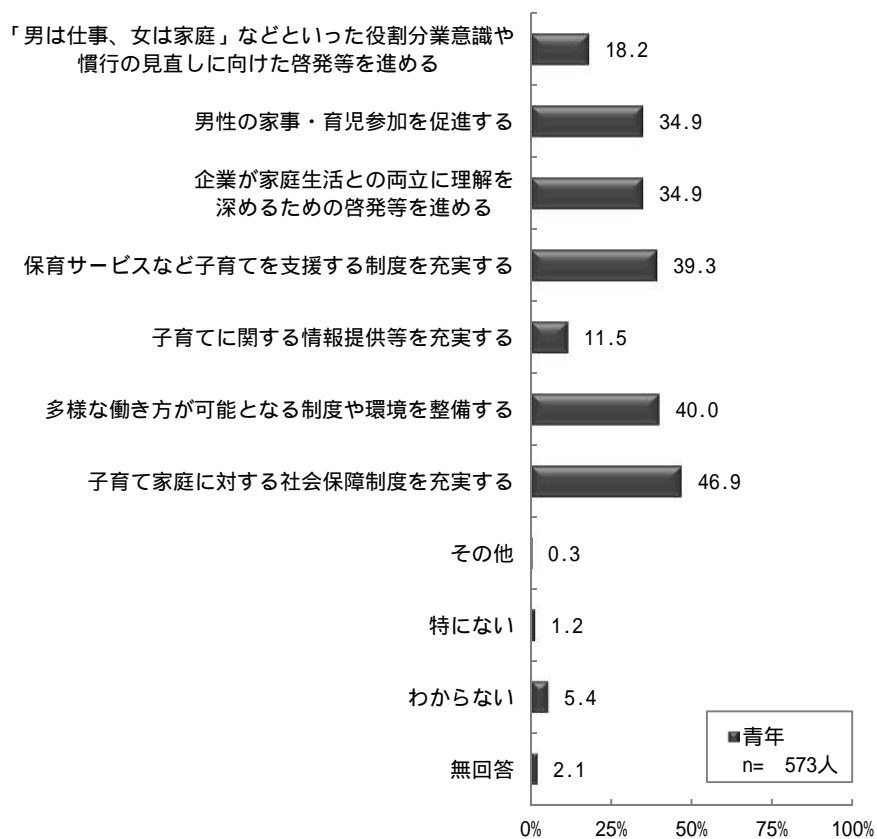
問 31 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるもの



問 32 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるものは何ですか。

職業生活と家庭生活との両立の推進として最も望まれるものでは、「子育て家庭に対する社会保障制度を充実する」(46.9%)、「多様な働き方が可能となる制度や環境を整備する」(40.0%)、「保育サービスなど子育てを支援する制度を充実する」(39.3%)となっています。

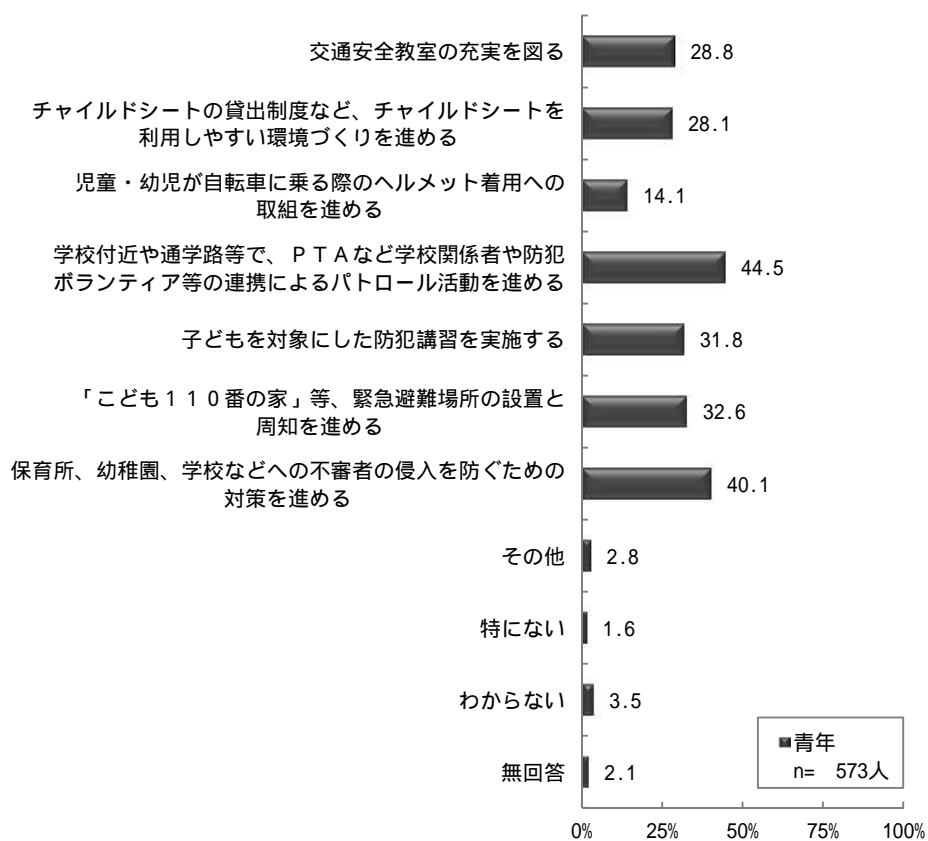
問 32 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるもの



問 33 「子ども等の安全の確保」として最も望まれるものは何ですか。

子ども等の安全の確保として最も望まれるものでは、「学校付近や通学路等で、PTAなど学校関係者や防犯ボランティア等の連携によるパトロール活動を進める」(44.5%)、「保育所、幼稚園、学校などへの不審者の侵入を防ぐための対策を進める」(40.1%)、「こども110番の家」等、緊急避難場所の設置と周知を進める」(32.6%)となっています。

問 33 「子ども等の安全の確保」として最も望まれるもの



## 7 子どもの権利について

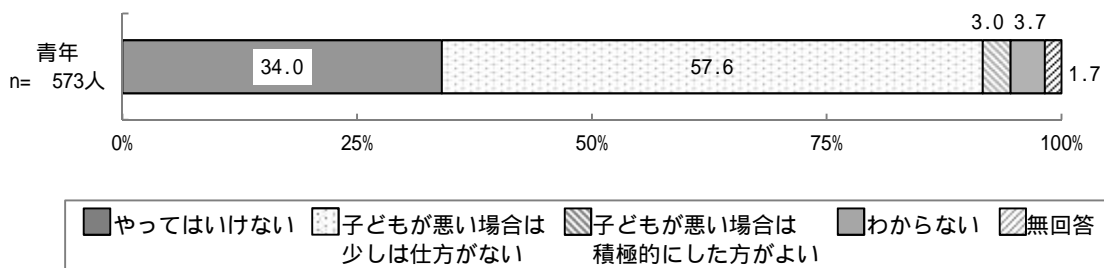
問 34 次のア～エについて、子どもが言うことを聞かないときに、親が子どもに対してしつけどして行うことについてどう思いますか。

- ア. 子どもをたたいたり、つねったりする
- イ. 食事を与えない・お風呂に入れさせないなど子どもの世話をしない
- ウ. 何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつける
- エ. 言葉でおどしたり、無視したりする

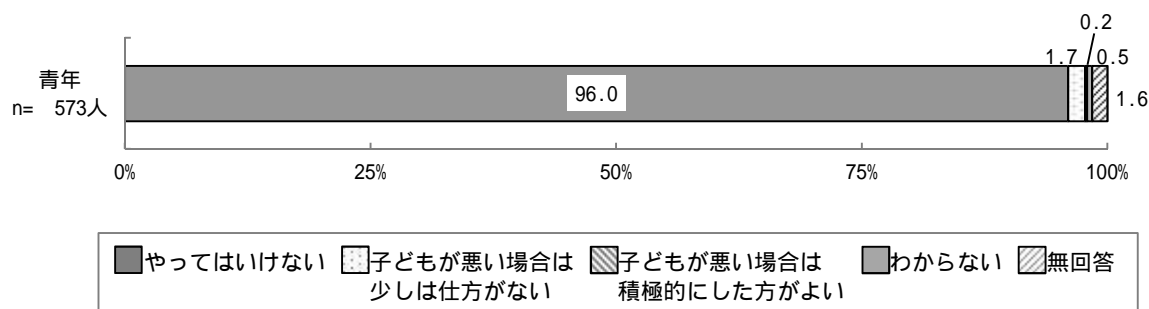
子どもに対するしつけどして、『子どもをたたいたりつねったりする』ことは、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(57.6%)、「やってはいけない」(34.0%)となっています。

『食事を与えない・お風呂に入れさせないなど子どもの世話をしない』ことは、「やってはいけない」(96.0%)が最も多くなっています。

問 34.ア 子どもをたたいたり、つねったりする



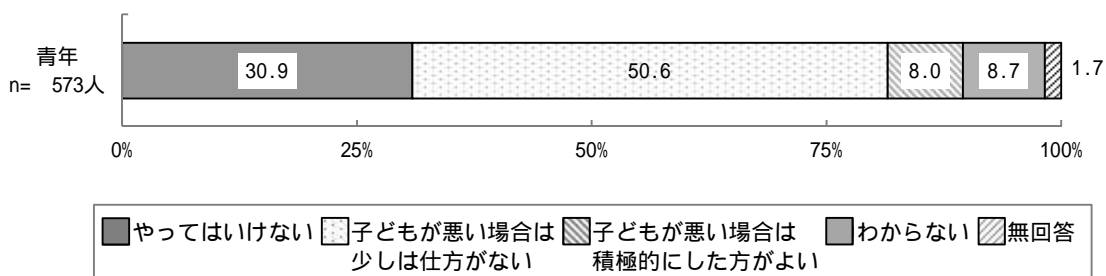
問 34.イ 食事を与えない・お風呂に入れさせないなど子どもの世話をしない



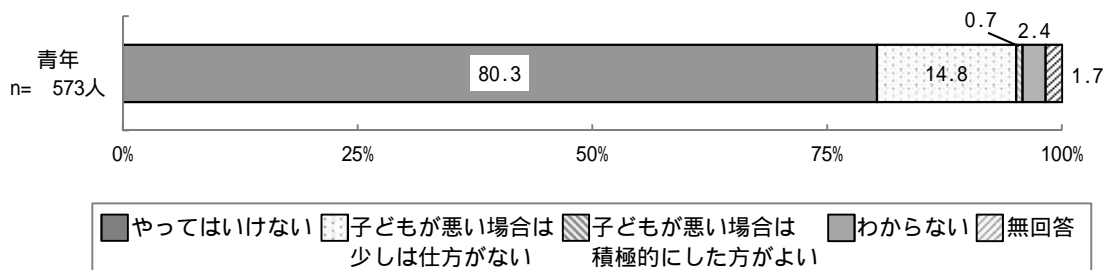
『何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつける』ことは、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(50.6%)、「やってはいけない」(30.9%)となっています。

『言葉でおどしたり、無視したりする』ことは、「やってはいけない」(80.3%)、「子どもが悪い場合は少しは仕方がない」(14.8%)となっています。

問 34.ウ 何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつける



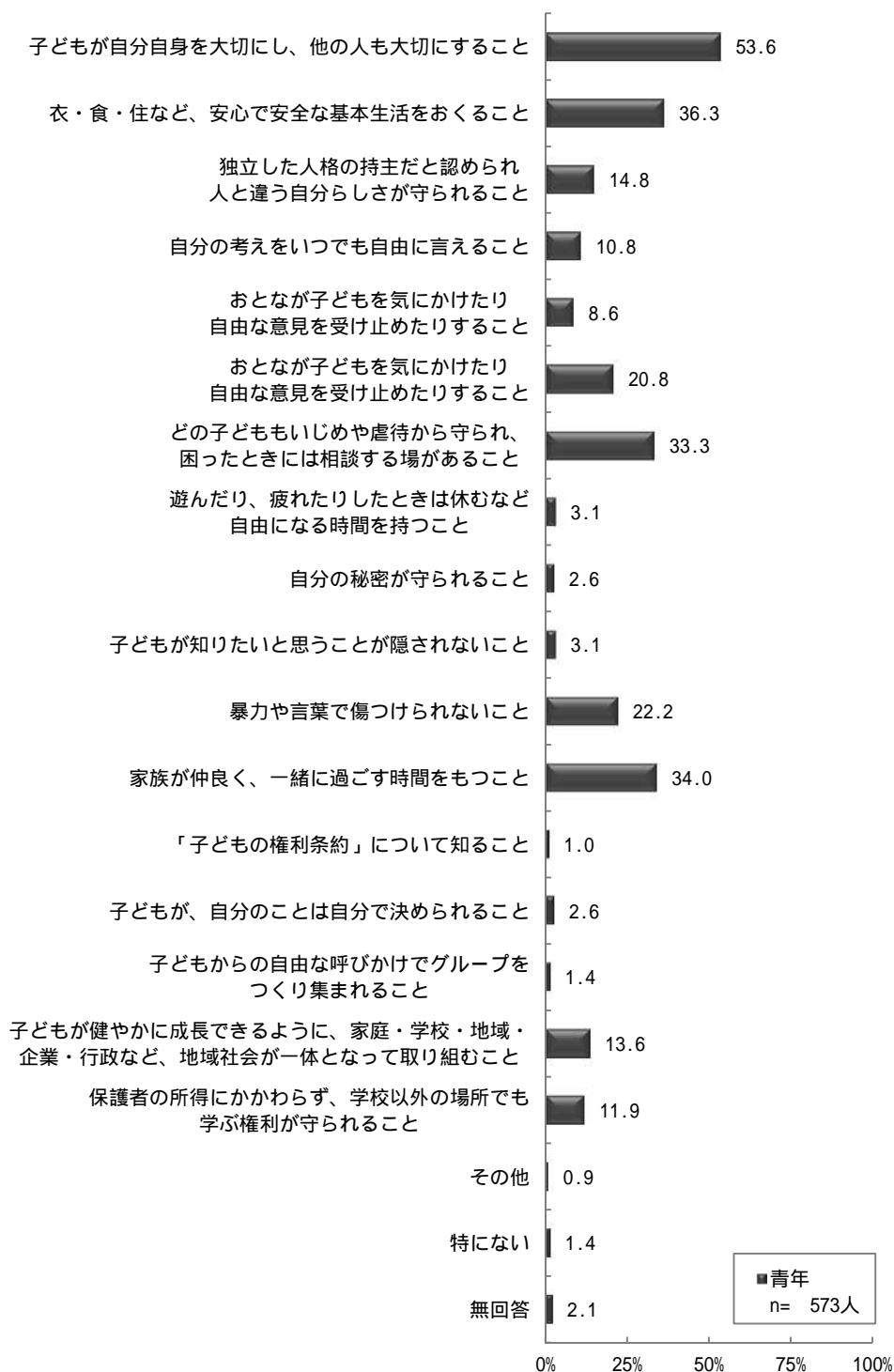
問 34.エ 言葉でおどしたり、無視したりする



問 35 子どもの権利について、今、特に大切だと思うことはどのようなことですか。

子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備として最も望まれるものでは、「子どもが自分自身を大切にし、他の人も大切にすること」(53.6%)、「衣・食・住など、安心して安全な基本生活をおくること」(36.3%)、「家族が仲良く、一緒に過ごす時間をもつこと」(34.0%)、「どの子どももいじめや虐待から守られ、困ったときには相談する場があること」(33.3%)となっています。

問 35 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるもの



## 第4節 ひとり親家庭の人

### 1 世帯と住居の状況について

問1 あなたの年齢と世帯の区分についてお答えください。

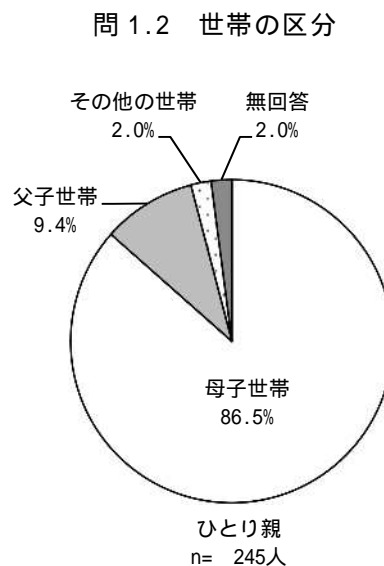
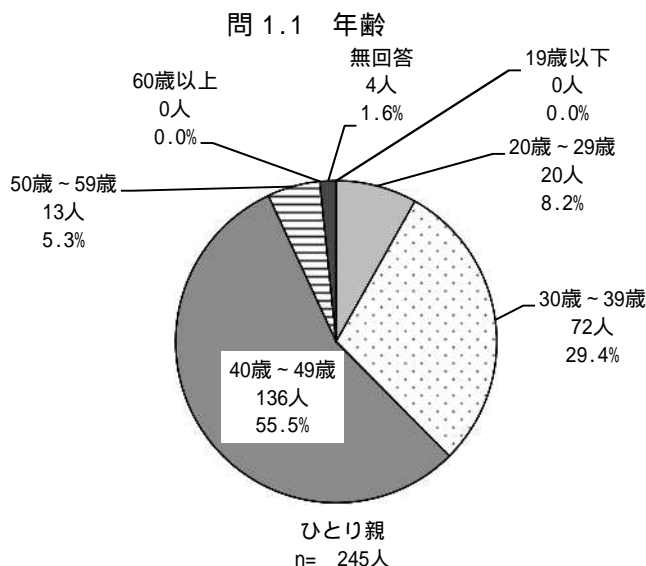
問2 あなたと同居されている方についてお答えください。続柄はあなたのお子さんから見た関係です。続いて、同居している家族全員（あなたを含む）の人数を記入してください。

年齢をみると「40歳～49歳」（55.5%）が最も多く、次いで「30歳～39歳」（29.4%）となっています。

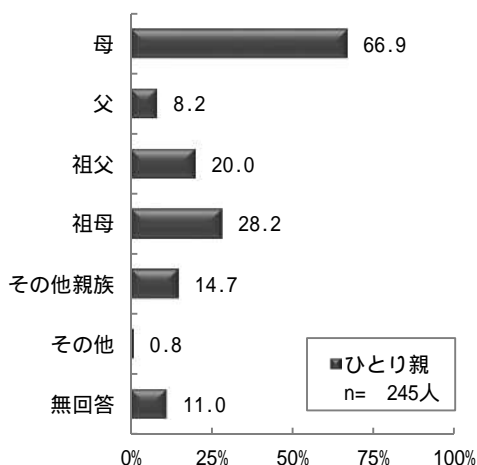
世帯の区分では、「母子世帯」（86.5%）、「父子世帯」（9.4%）となっています。

同居している人は、「母」（66.9%）、「祖母」（28.2%）、「祖父」（20.0%）となっています。

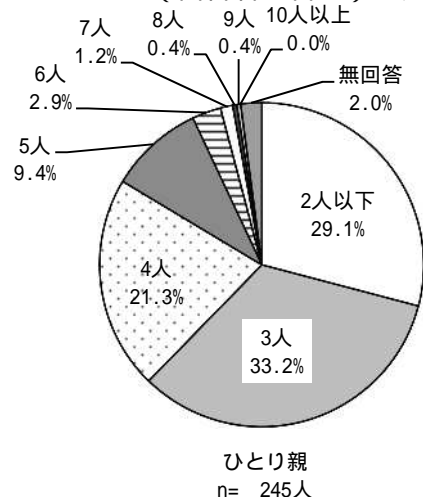
同居している家族全員の人数は、「3人」（33.2%）、「2人以下」（29.1%）、「4人」（21.3%）となっています。



問2 同居している人（子どもからみた関係）



問2.1 同居している家族全員（回答者を含む）の人数

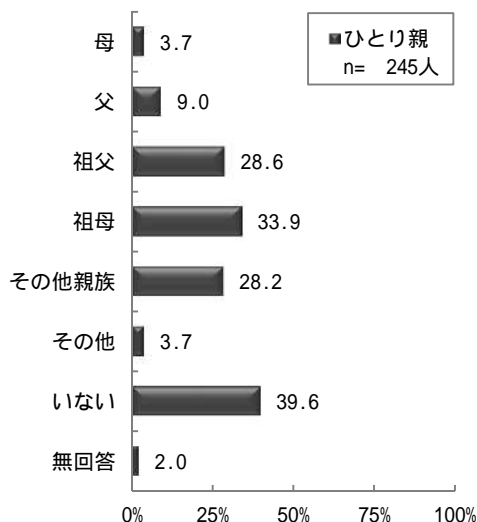


問 2-1 あなたと同居されている方以外で、お近くにお住まいの方（概ね 30 分以内で行き来できる）についてお答えください。続柄はあなたのお子さんから見た関係です。

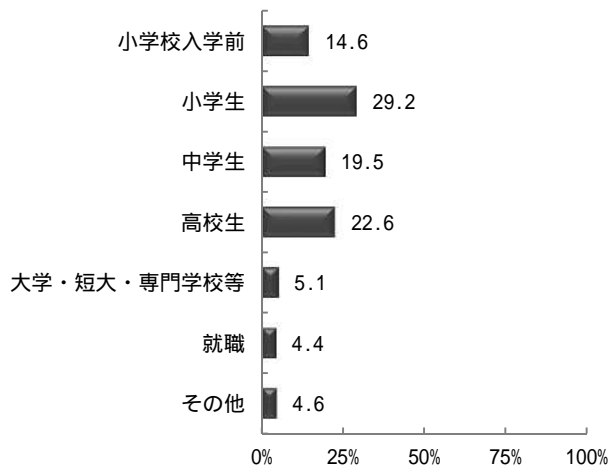
問 2-2 あなたのお子さんについて、該当する区分の 欄にそれぞれの人数を記入してください。

同居者以外で近くに住んでいる人は「いない」(39.6%)が最も多く、次いで「祖母」(33.9%)、「祖父」(28.6%)、「その他親族」(28.2%)となっています。  
 子どもの区分は「小学生」(29.2%)が最も多く、次いで「高校生」(22.6%)、「中学生」(19.5%)となっています。

問 2-1 同居している人以外で、近くに住んでいる人（概ね 30 分）



問 2-2 子どもの区分



	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	大学、短大、専門学校等	就職	その他	計
人数	57	114	76	88	20	17	18	390
構成比	14.6	29.2	19.5	22.6	5.1	4.4	4.6	100.0



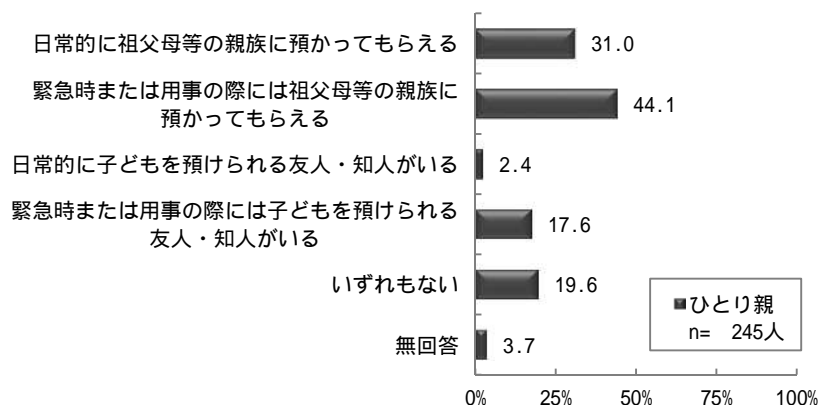
問 2-3 祖父母や親族、または友人・知人等による、子育てに対する支え（育児を手伝ってくれることなど）がありますか。

問 2-4 問 2-3 で「1」または「2」、「3」または「4」の、祖父母等の親族や友人・知人に預かってもらえる方におたずねします。預かってもらうにあたり、問題や心配なことはありますか。

育児を手伝ってくれる人の有無は「緊急時または用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(44.1%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(31.0%)となっています。また、「いずれもない」は19.6%となっています。

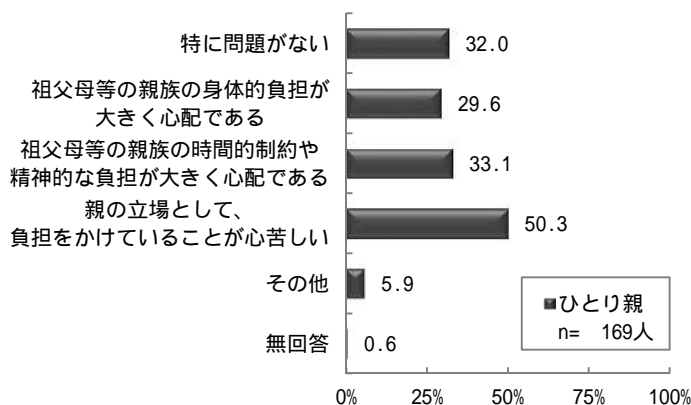
預かってもらうにあたり、問題や心配なことは『祖父母等の親族に預かってもらえる人』、『友人・知人に預かってもらえる人』ともに、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が(50.3%)(47.8%)で最も多くなっています。

問 2-3 祖父母や親族、または友人・知人等による、子育てに対する支え（育児を手伝ってくれることなど）

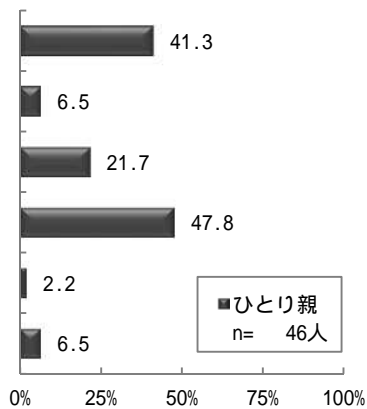


問 2-4 預かってもらうにあたり、問題や心配なこと

祖父母等の親族に預かってもらえる人



友人・知人に預かってもらえる人



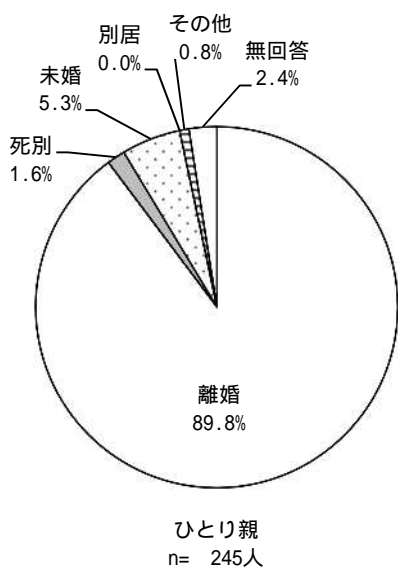
問3 すべての方におたずねします。ひとり親家庭になった理由は何ですか。

問4 ひとり親家庭になった時期を記入してください。

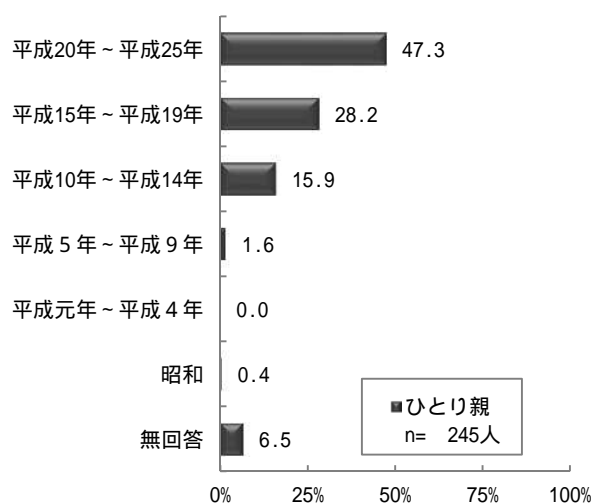
問5 現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。

ひとり親家庭になった理由は「離婚」(89.8%)が最も多くなっています。  
 ひとり親家庭になった時期は「平成20年～平成25年」(47.3%)が最も多く、  
 次いで「平成15年～平成19年」(28.2%)となっています。  
 現在の住まいは「民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)」  
 (33.9%)が最も多く、次いで「持家(一戸建て)」(24.9%)となっています。

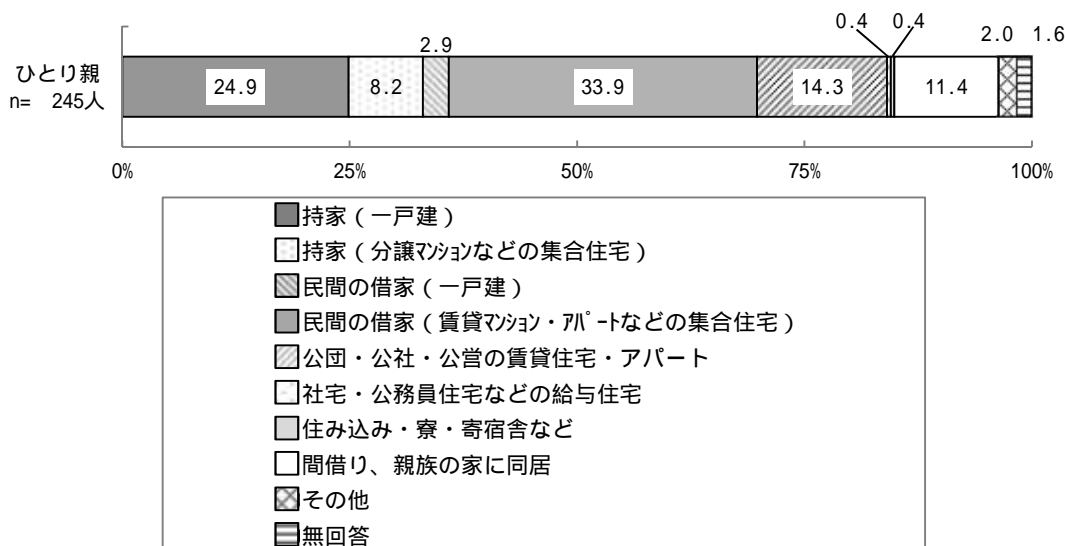
問3 ひとり親家庭になった理由



問4 ひとり親家庭になった時期



問5 現在の住まいの状況

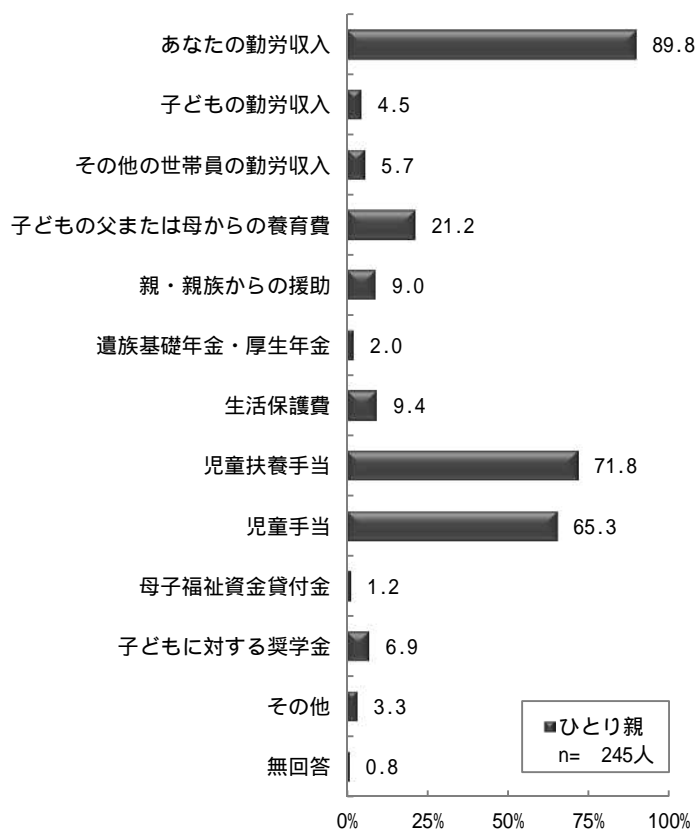


## 2 現在の生活状況について

問6 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。

世帯全体の収入は「あなたの勤労収入」(89.8%)が最も多く、次いで「児童扶養手当」(71.8%)、「児童手当」(65.3%)となっています。

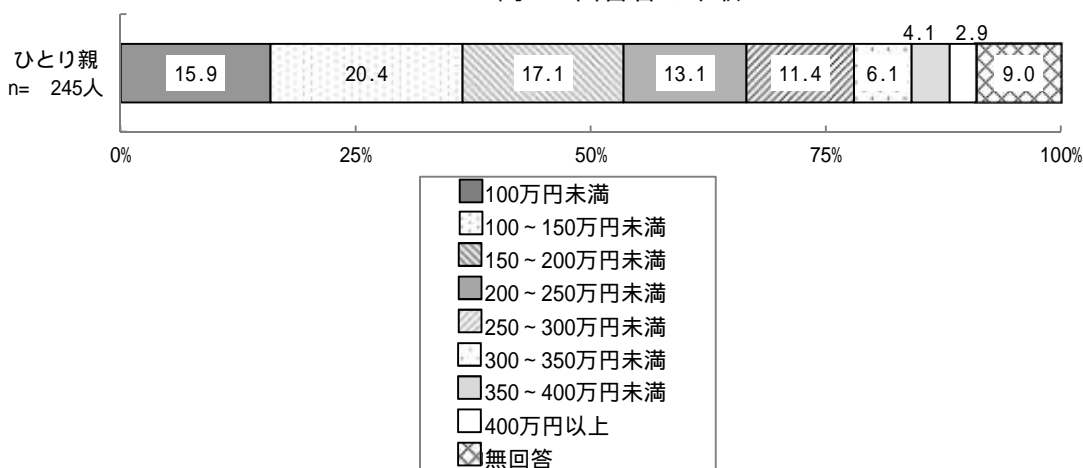
問6 世帯全体の収入



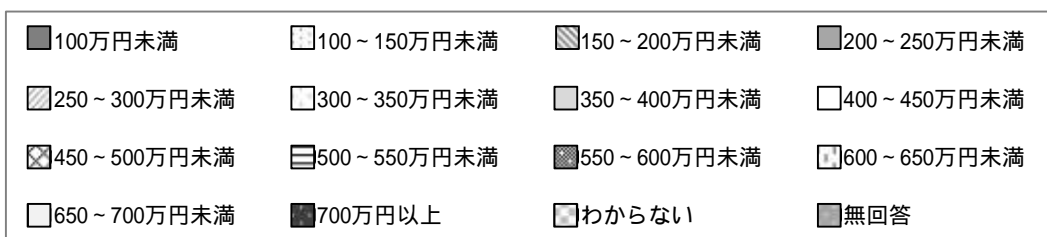
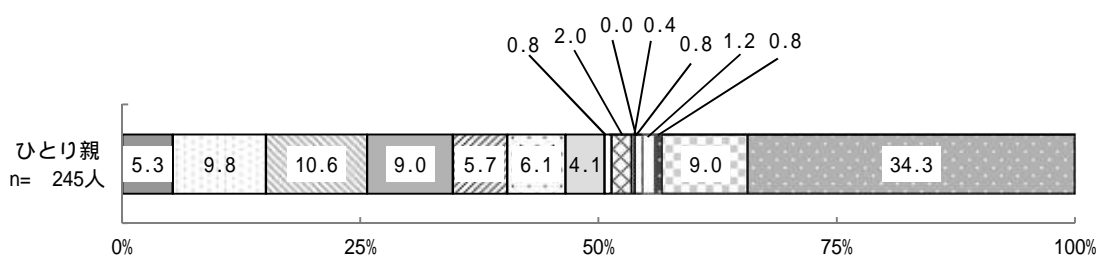
問7 あなたの年収と同居世帯全体（あなたの年収を含む）の年収はいくら位ですか。

回答者の年収は「100万円～150万円未満」(20.4%)が最も多く、次いで「150万円～200万円未満」(17.1%)、「100万円未満」(15.9%)となっています。  
同居世帯全体（回答者含む）の年収は「150万円～200万円未満」(10.6%)、「100万円～150万円未満」(9.8%)、「200万円～250万円未満」(9.0%)となっています。

問7 回答者の年収



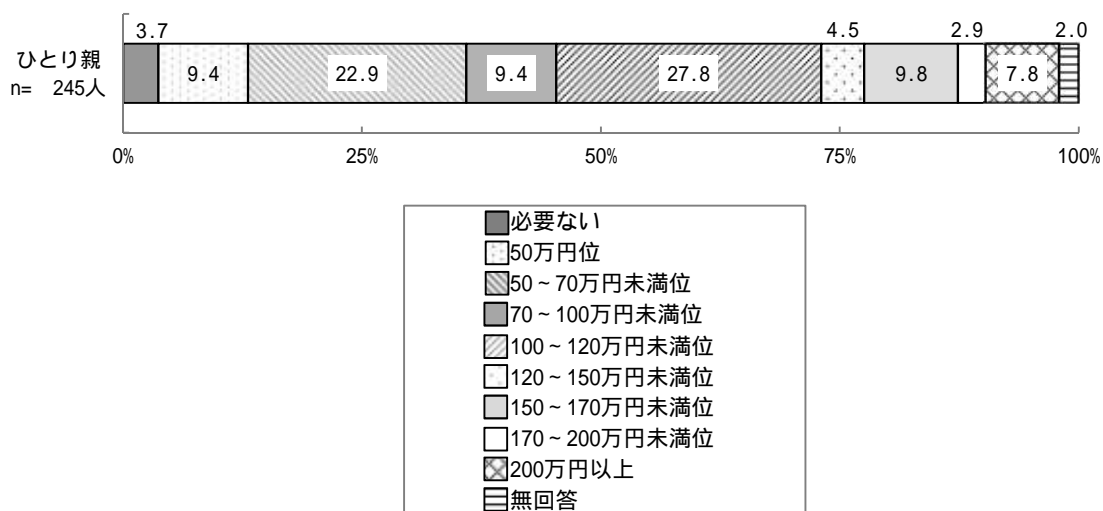
問7 同居世帯全体（回答者含む）の年収



問 7-1 あなたの家庭を普通に無理なく維持するためには、あとどの位の世帯の年収増が理想ですか。

家庭を普通に無理なく維持するために理想とする世帯の年収増額は「100万～120万円未満位」(27.8%)が最も多く、次いで「50万～70万円未満」(22.9%)となっています。

問 7-1 家庭を普通に無理なく維持するために理想とする世帯の年収増額



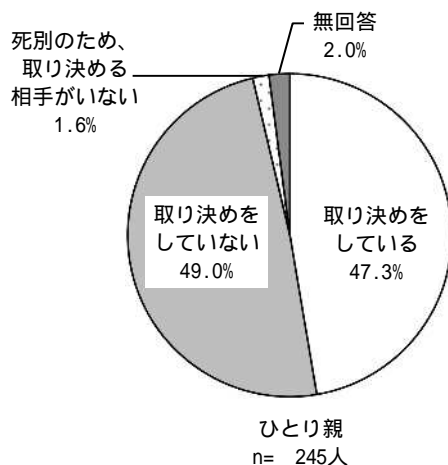
問8 子どもの養育費について取り決めをしていますか。

問8-1 問8で「1. 取り決めをしている」とお答えの方におたずねします。養育費の支払い状況はいかがですか。

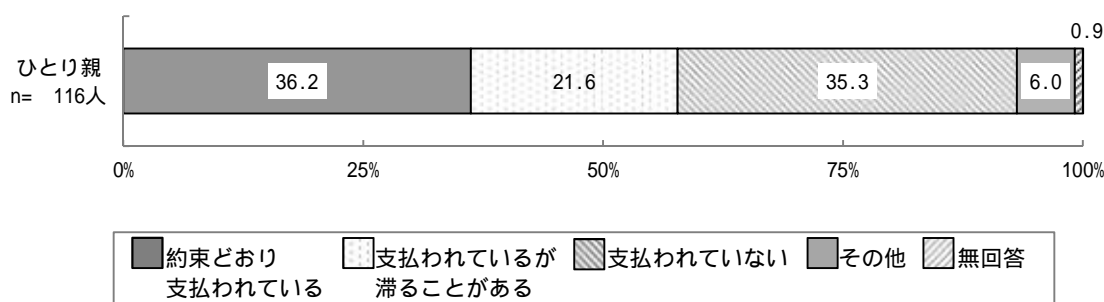
子どもの養育費についての取り決めは「取り決めをしていない」(49.0%)、「取り決めをしている」(47.3%)となっています。

養育費の支払い状況は「約束どおり支払われている」(36.2%)、「支払われていない」(35.3%)、「支払われているが滞ることがある」(21.6%)となっています。

<問8> 子どもの養育費についての取り決め



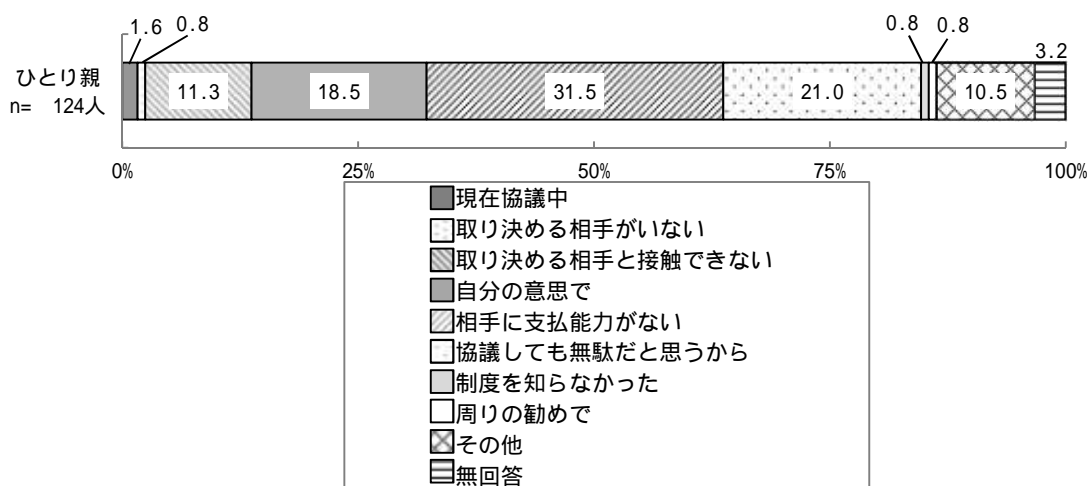
問8-1 養育費の支払い状況



問 8-2 問 8 で「2. 取り決めをしていない」とお答えの方におたずねします。取り決めをしていない理由は何ですか。

取り決めをしていない理由は「相手に支払能力がない」(32.5%)が最も多く、次いで「協議しても無駄だと思うから」(21.7%)、「自分の意思で」(19.2%)となっています。

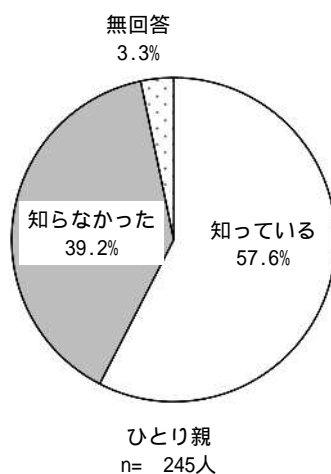
問 8-2 取り決めをしていない理由



問 9 すべての方におたずねします。離婚や養育費、相続などに関する無料の法律相談があることをご存知ですか。

離婚や養育費、相続などに関する無料の法律相談があることの周知は「知っている」(57.6%)、「知らなかった」(39.2%)となっています。

問 9 離婚や養育費、相続などに関する無料の法律相談あることの周知



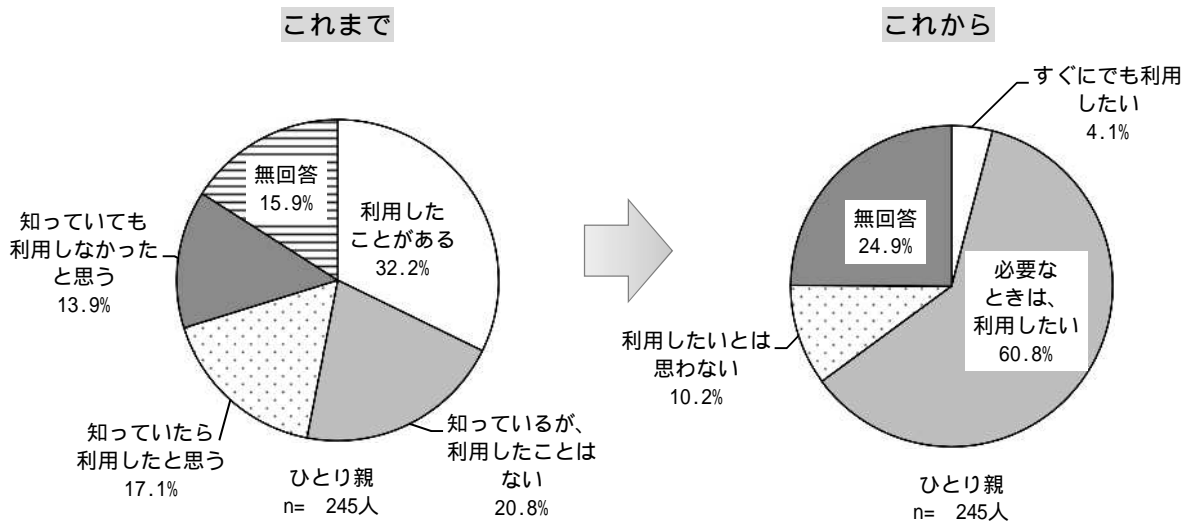
問 9-1 無料法律相談の利用についてお答えください。

問 10 ひとり親家庭になったときに、困ったこと、悩んだことは何ですか。

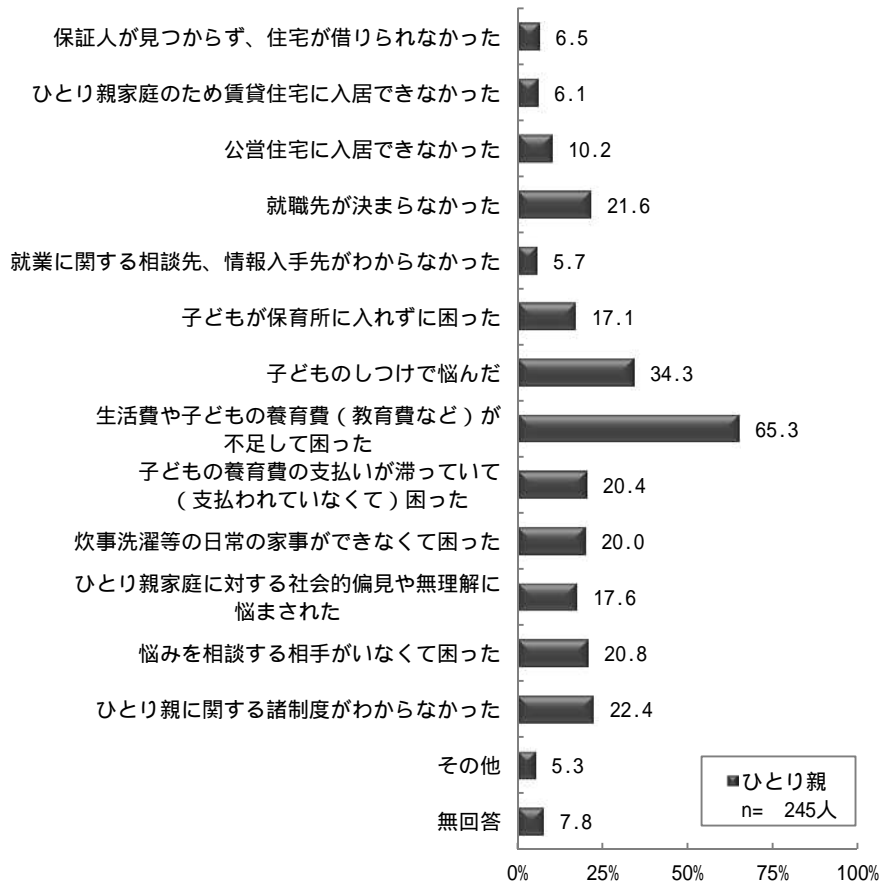
無料法律相談の利用について『これまで』は「利用したことがある」(32.2%)、「知っているが、利用したことはない」(20.8%)となっています。『これから』は「必要なときは、利用したい」(60.8%)となっています。

ひとり親家庭になったときに、困ったこと、悩んだことは「生活費や子どもの養育費(教育費など)が不足して困った」(65.3%)が最も多く、次いで「子どものしつけで悩んだ」(34.3%)となっています。

問 9-1 無料法律相談の利用について



問 10 ひとり親家庭になったときに、困ったこと、悩んだこと





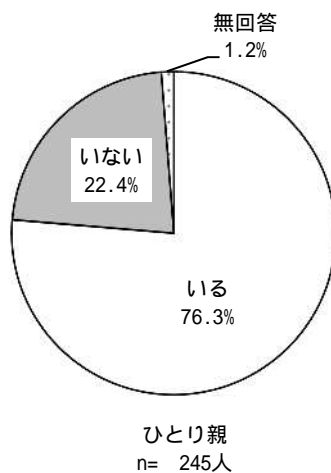
問11 現在、困ったことや悩んでいることを相談できる人がいますか。

問12 相談できる相手がいる方は、その相談できる人とは誰ですか。また相談できる人がいない方は、どのような人であれば相談したいと思いますか。

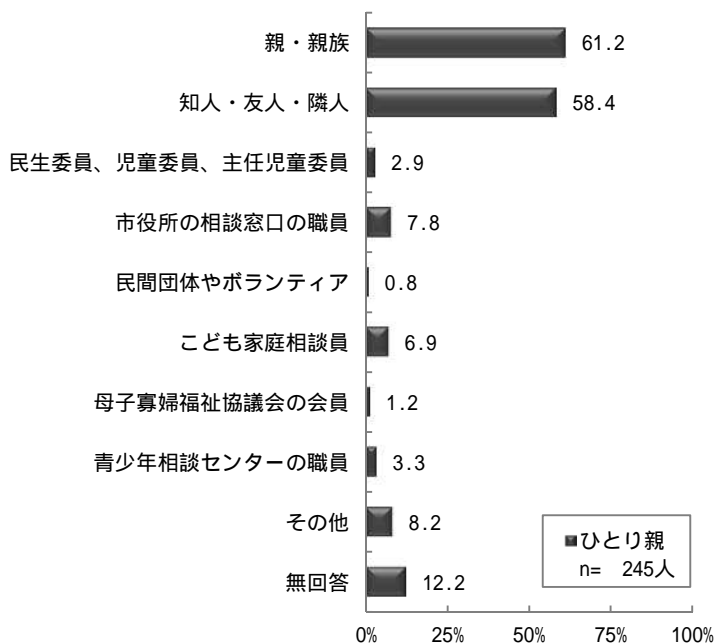
現在、困ったことや悩んでいることを相談できる人の有無は「いる」(76.3%)  
 「いない」(22.4%)となっています。

相談できる人または相談したいと思う人は「親・親族」(61.2%)が最も多く、  
 次いで「知人・友人・隣人」(58.4%)となっています。

問11 現在、困ったことや悩んでいることを相談できる人の有無



問12 相談できる人、または相談したいと思う人



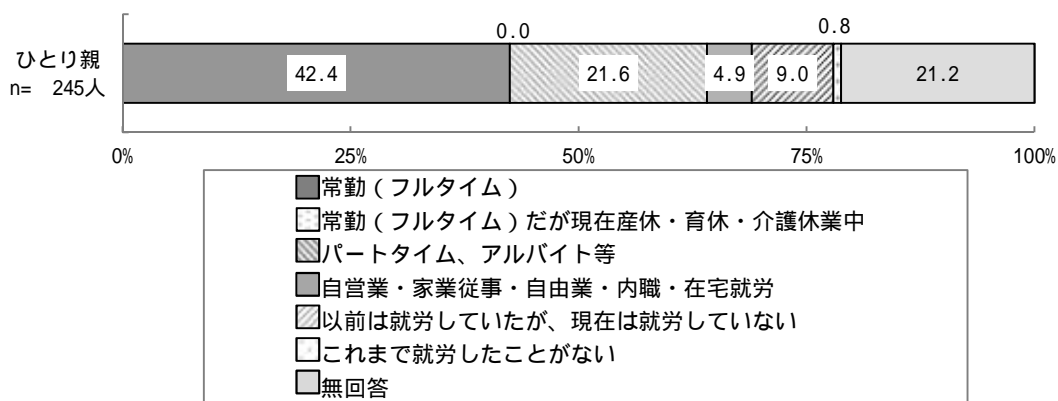
### 3 仕事の状況について

問 13 あなたの就労の状況をお答えください。

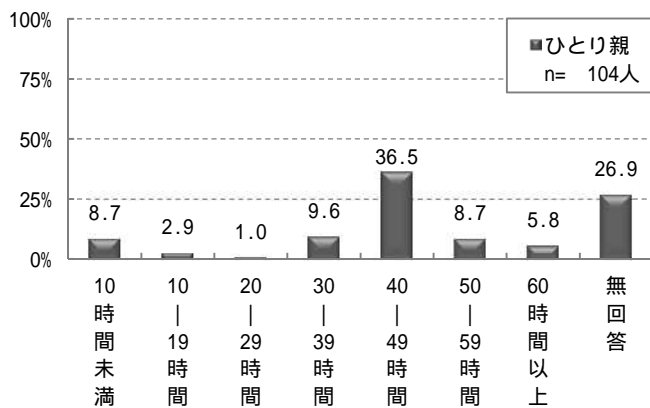
就労状況は、「常勤（フルタイム）」（42.4%）、「パートタイム、アルバイト等」（21.6%）となっています。

常勤（フルタイム）の人の就労時間（1週当たり）は、「40-49 時間」（36.5%）が最も多くなっています。

問 13 就労状況



問 13.1 常勤（フルタイム）の人の就労時間（1週当たり）

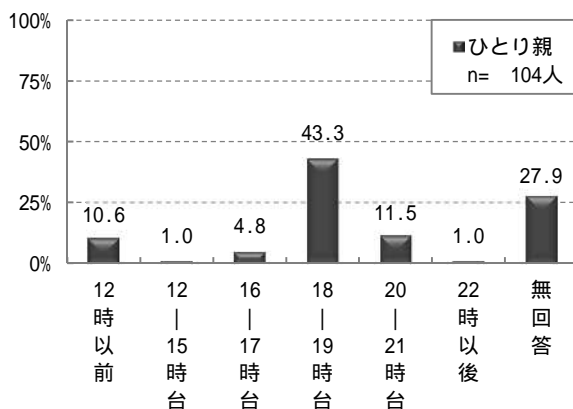


常勤（フルタイム）の人の就労日の帰宅時間は、「18-19 時台」（43.3%）が最も多く、「20-21 時台」（11.5%）となっています。

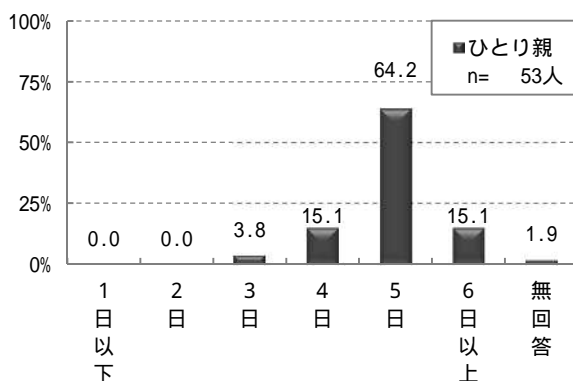
パートタイム、アルバイト等の人の就労日数（1週当たり）は、「5日」（64.2%）が最も多く、「4日」「6日以上」（各15.1%）となっています。

パートタイム・アルバイト等の人の就労時間（1日当たり）は、「6-7 時間」（50.9%）、「8-9 時間」（24.5%）、「4-5 時間」（15.1%）となっています。

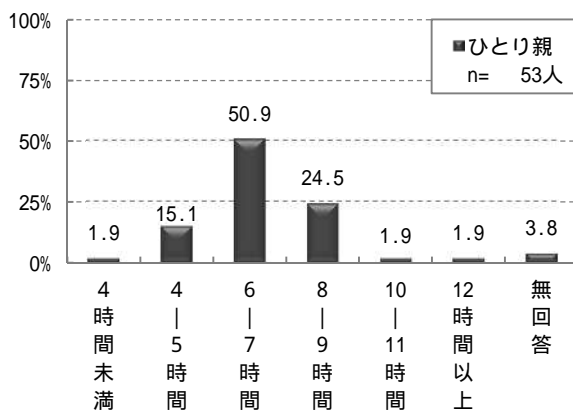
問 13.1 常勤（フルタイム）の人の就労日の帰宅時間



問 13.3 パートタイム、アルバイト等の人の就労日数（1週当たり）



問 13.3 パートタイム、アルバイト等の人の就労時間（1日当たり）

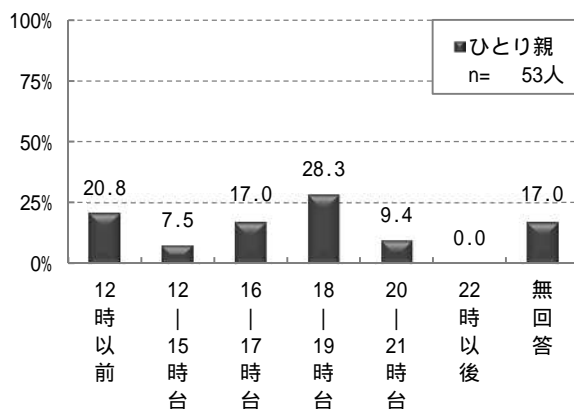


パートタイム、アルバイト等の人の就労日の帰宅時間は、「18-19 時台」(28.3%)、「12 時以前」(20.8%)、「16-17 時台」(17.0%)となっています。

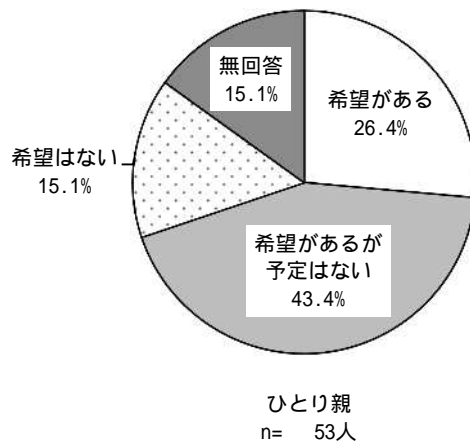
パートタイム・アルバイト等の人のフルタイム転換希望は、「希望があるが予定はない」(43.4%)、「希望がある」(26.4%)となっています。

自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の人の就労日数(1週当たり)は、「6日以上」(66.7%)が最も多くなっています。

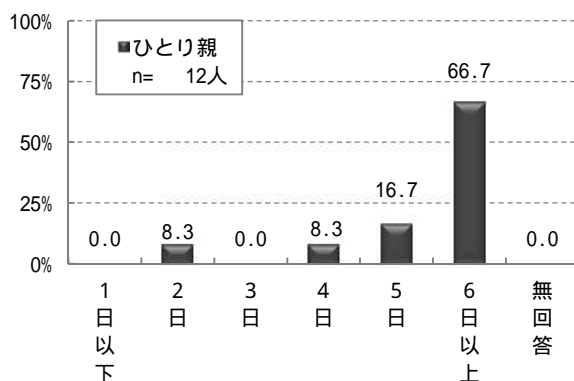
問 13.3 パートタイム、アルバイト等の人の就労日の帰宅時間



問 13.3 パートタイム、アルバイト等の人のフルタイムへの転換希望



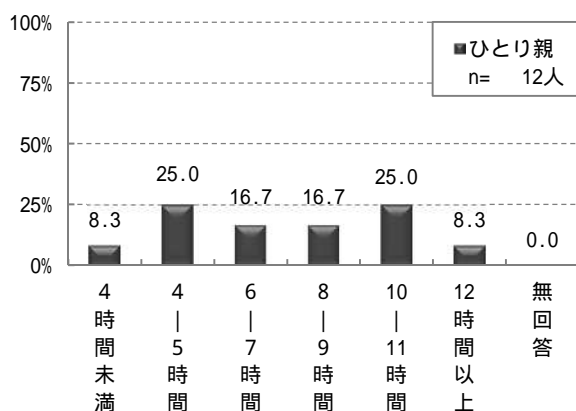
問 13.4 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の人の就労日数(1週当たり)



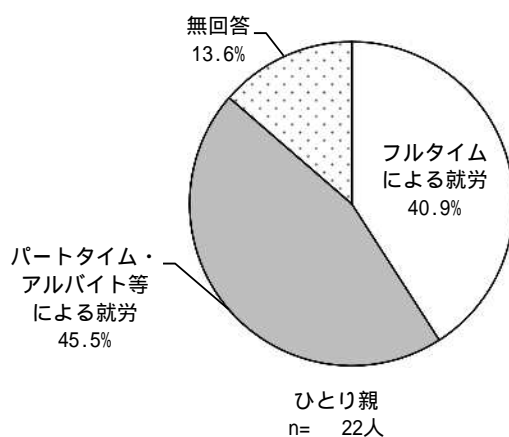
自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の人の就労時間（1日あたり）は、「4-5時間」「10-11時間」（各25.0%）、「6-7時間」「8-9時間」（各16.7%）となっています。

以前は就労していたが、現在は就労していない人の以前の働き方は、「パートタイム・アルバイト等による就労」（45.5%）、「フルタイムによる就労」（40.9%）となっています。

問 13.4 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労の人の就労時間（1日あたり）



問 13.5.1 以前の働き方



問 13-1 問 13 で「 5 . 現在は就労していない」「 6 . これまで就労したことがない」とお答えの方におたずねします。あなたは、就労の希望がありますか。また、就労希望がある場合、働き方の希望についてお答えください。

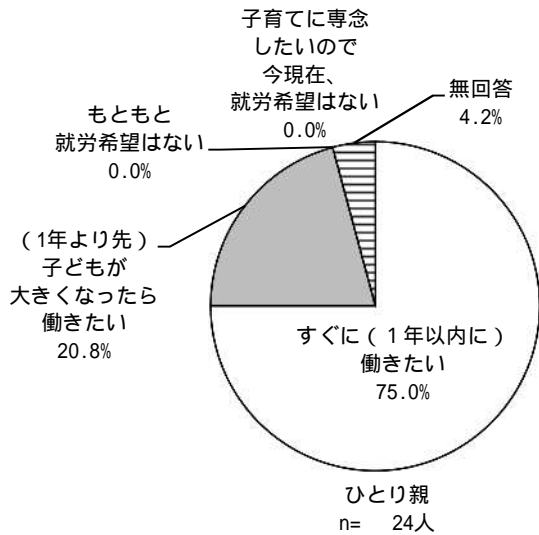
未就労の人の就労希望は、「すぐに（1年以内）に働きたい」（75.0%）、「（1年より先）子どもが大きくなったら働きたい」（20.8%）となっています。

また、未就労の人の働き方の希望は、「フルタイムによる就労」（65.2%）、「パートタイム・アルバイト等による就労」（26.1%）となっています。

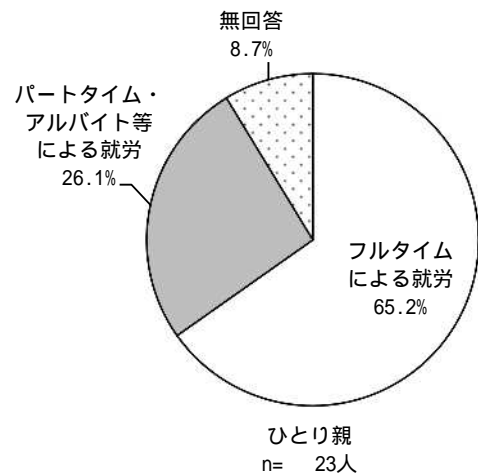
未就労の人の希望就労日数（1週当たり）は、「5日」（50.0%）、「4日」（33.3%）、「3日」（16.7%）となっています。

未就労の人の希望就労時間（1日当たり）は、「4-5時間」（50.0%）、「6-7時間」（33.3%）、「4時間未満」（16.7%）となっています。

問 13-1(ア) 未就労の人の就労希望

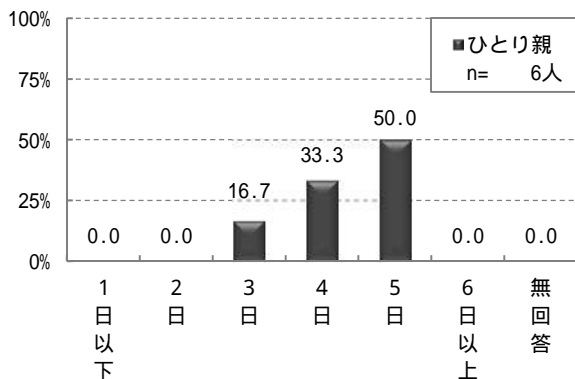


問 13-1(イ) 未就労の人の働き方の希望

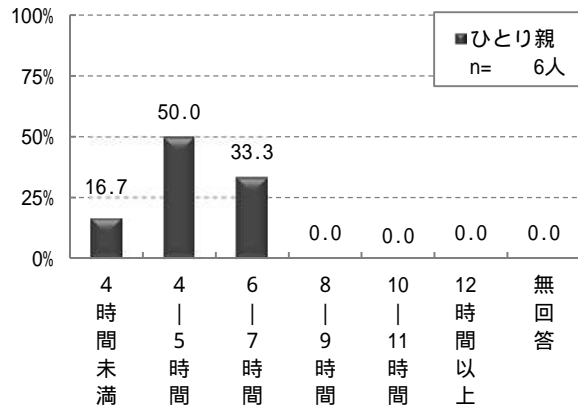


問 13-1(イ)でパートタイム、アルバイト等による就労を希望した人

問 13-1(イ).1 希望就労日数（1週当たり）



問 13-2(イ).2 希望就労時間（1日当たり）



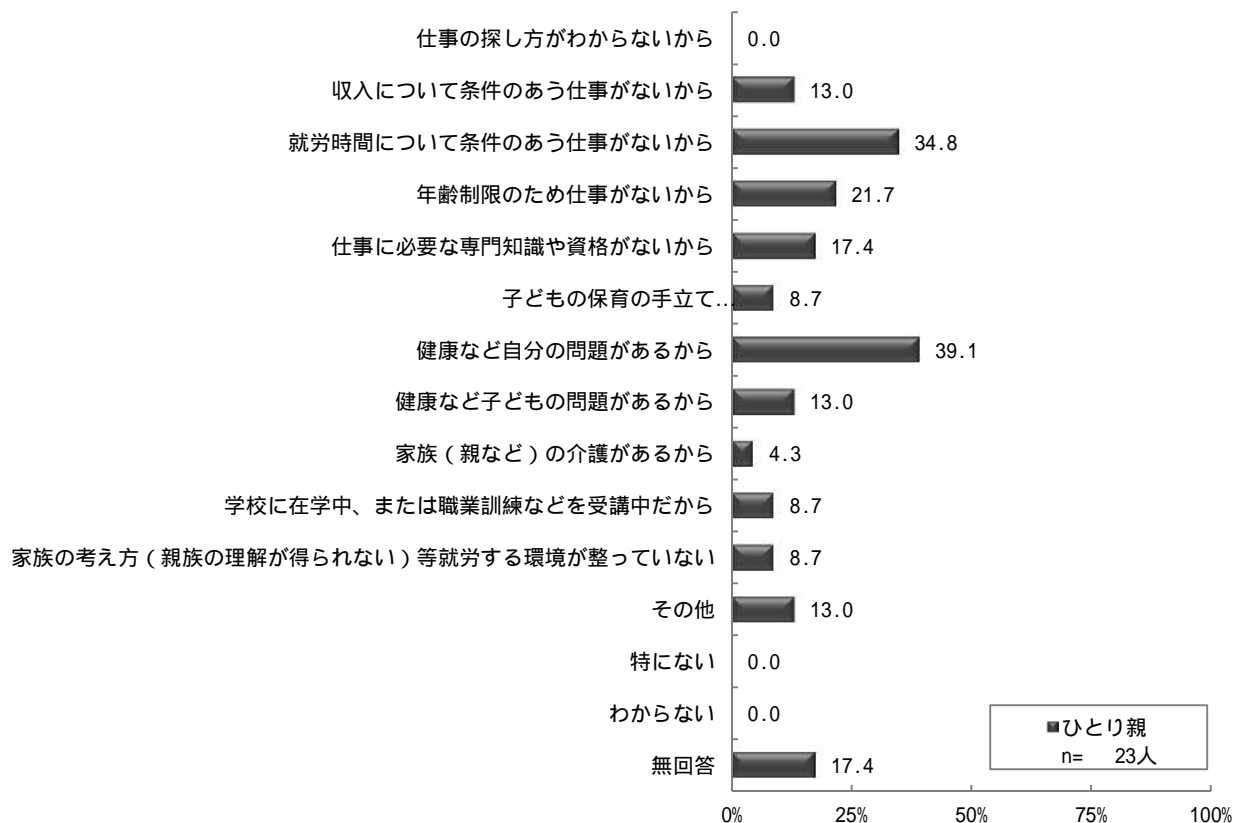
問 13-2 問 13-1 の (ア) で「1. すぐに働きたい」「2. 子どもが大きくなったら働きたい」とお答えの方におたずねします。働きたいと思われているのに、現在働いていない理由は何ですか。

問 13-3 問 13-1 の (ア) で「2. 子どもが大きくなったら働きたい」とお答えの方におたずねします。一番小さいお子さんが、何歳になったときに就労を希望されますか。年齢をご記入ください。

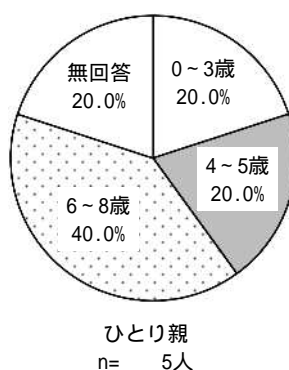
働きたいと思われているのに、現在働いていない理由は、「健康など自分の問題があるから」(39.1%)、「就労時間について条件のあう仕事がないから」(34.8%)、「年齢制限のため仕事がないから」(21.7%)となっています。

一番小さいお子さんが、何歳になったときに就労を希望するかでは、「6～8歳」(40.0%)、「0～3歳」「4～5歳」(20.0%)となっています。

問 13-2 働きたいと思われているのに、現在働いていない理由



問 13-3 一番小さいお子さんが、何歳になったときに就労を希望されますか



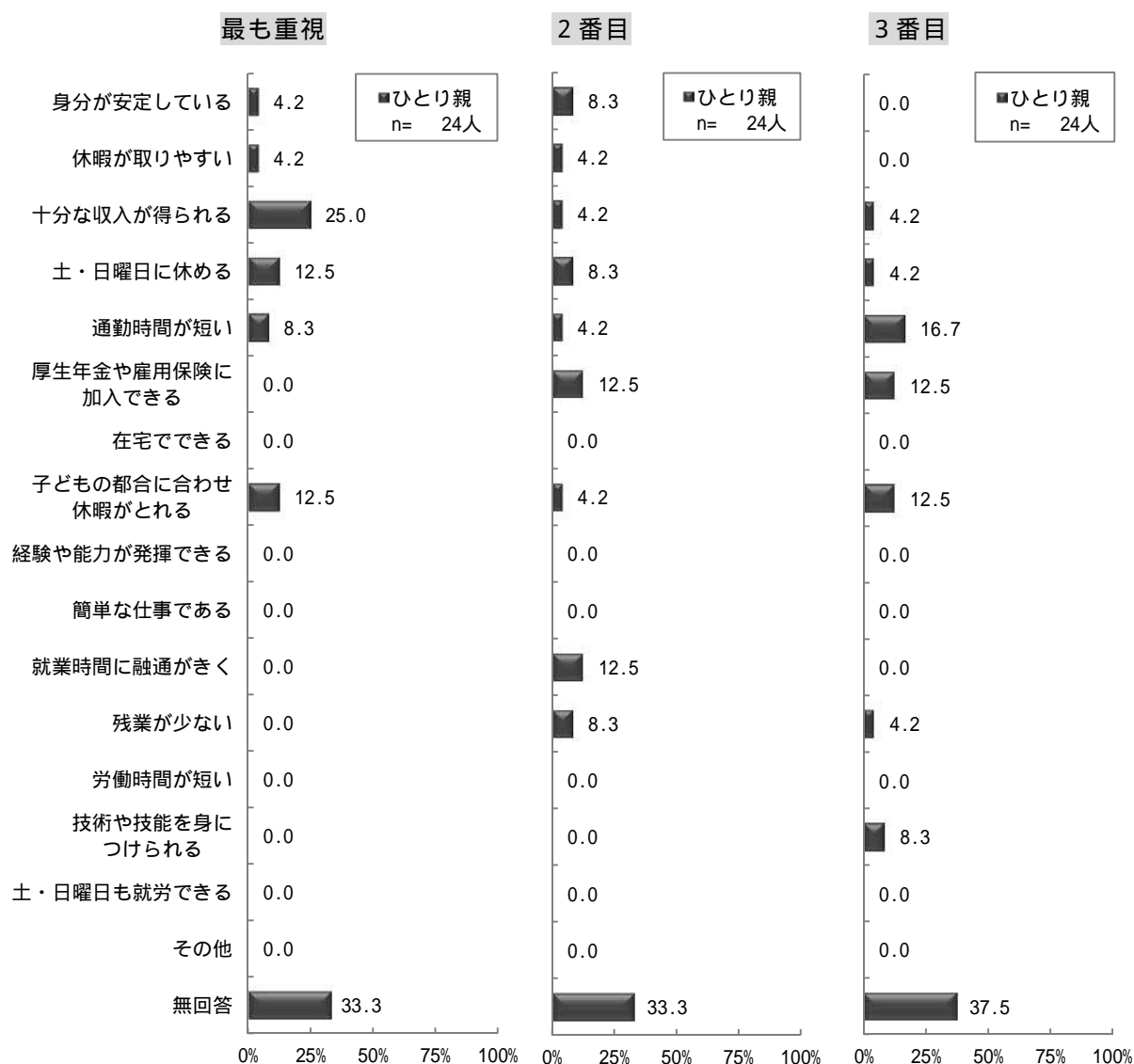
問 13-4 問 13 で「 5 . 現在は就労していない」「 6 . これまで就労したことがない」とお答えの方におたずねします。仕事に就く場合、重視することはどのようなことですか。

仕事に就く場合、最も重視することは、「十分な収入が得られる」( 25.0% )、「土・日曜日に休める」「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」( 各 12.5% )となっています。

2 番目に重視することは、「厚生年金や雇用保険に加入できる」「就業時間に融通がきく」( 各 12.5% )となっています。

3 番目に重視することは、「通勤時間が短い」( 16.7% )、「厚生年金や雇用保険に加入できる」「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」( 各 12.5% )となっています。

問 13-4.1 仕事に就く場合、重視すること





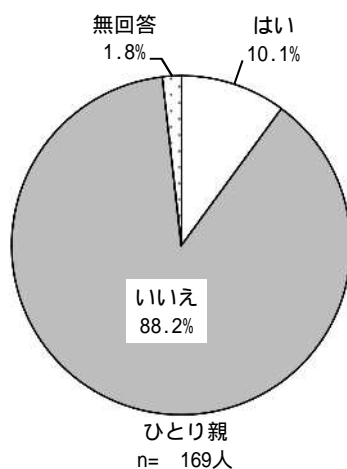
問14 現在就労している方におたずねします。あなたは、現在2つ以上の仕事についていますか。

問14-1 問14で「1. はい」とお答えの方におたずねします。2つ以上の仕事の中には、次のような勤務形態がありますか。

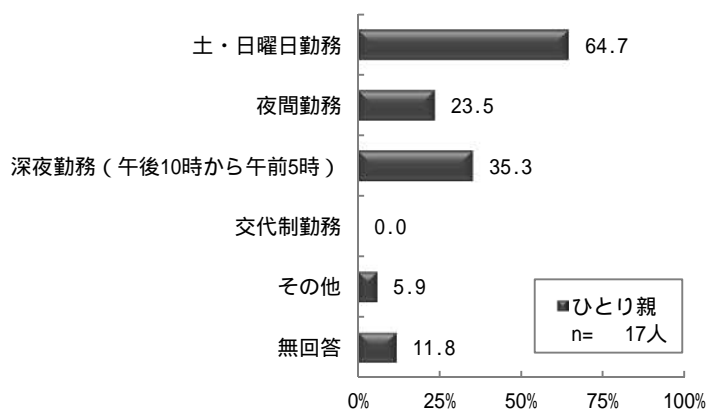
現在2つ以上の仕事をしているかどうかは、「いいえ」(88.2%)、「はい」(10.1%)となっています。

2つ以上の仕事の中の勤務形態は、「土・日曜日勤務」(64.7%)が最も多く、次いで「深夜勤務(午後10時から午前5時)」(35.3%)、「夜間勤務」(23.5%)となっています。

問14 現在2つ以上の仕事をしているかどうか



問14-1 2つ以上の仕事の中の勤務形態



問 15 現在就労している方におたずねします。現在の仕事の職種は、次のどれにあたりますか。

問 16 現在の仕事を始めた時期はいつですか。

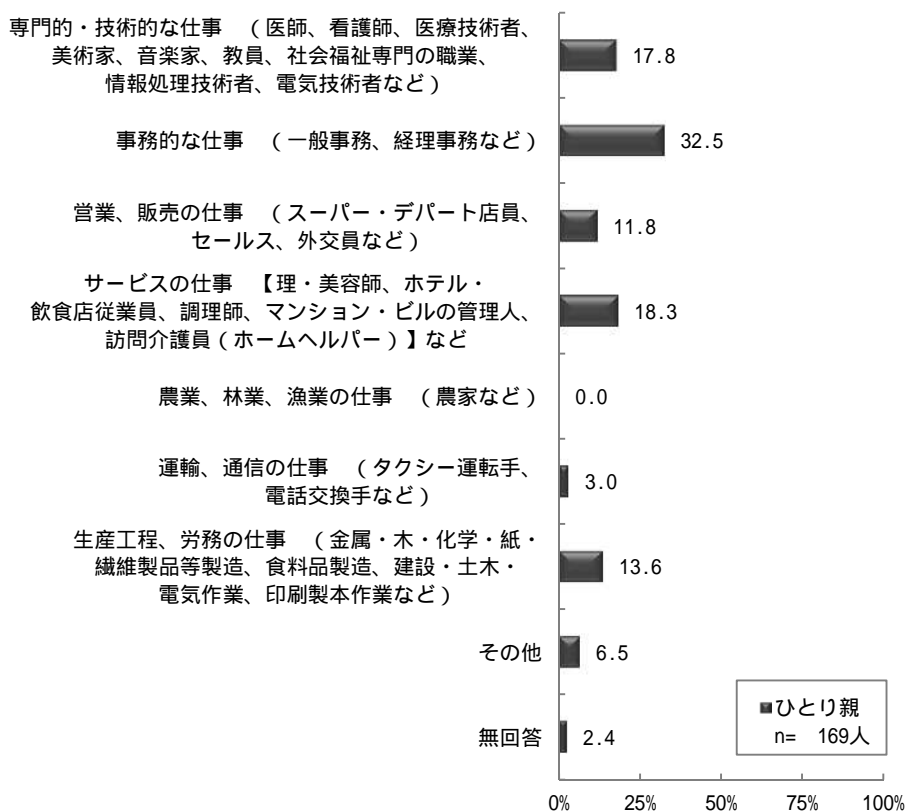
問 16-1 問 16 で「2 . ひとり親家庭になってから」とお答えの方におたずねします。現在の仕事に就いたのは、ひとり親になったことが理由ですか。

現在の仕事の職種は、「事務的な仕事（一般事務、経理事務など）」（32.5%）、「サービスの仕事（理・美容師、ホテル・飲食店従業員など）」（18.3%）、「専門的・技術的な仕事（医師、看護師、医療技術者、美術家、音楽家、教員など）」（17.8%）となっています。

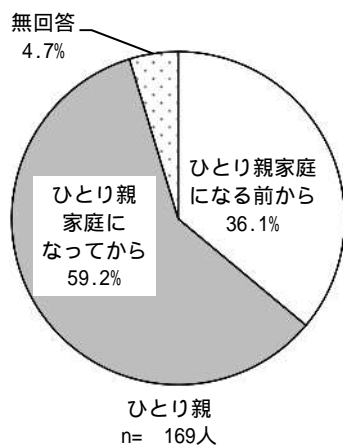
現在の仕事を始めた時期は「ひとり親家庭になってから」（59.2%）、「ひとり親家庭になる前から」（36.1%）となっています。

現在の仕事に就いたのはひとり親になったことが理由かどうかは、「はい」（85.0%）、「いいえ」（15.0%）となっています。

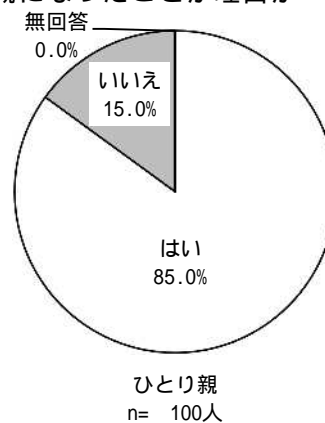
問 15 現在の仕事の職種



問 16 現在の仕事を始めた時期



問 16-1 現在の仕事に就いたのは、ひとり親になったことが理由か



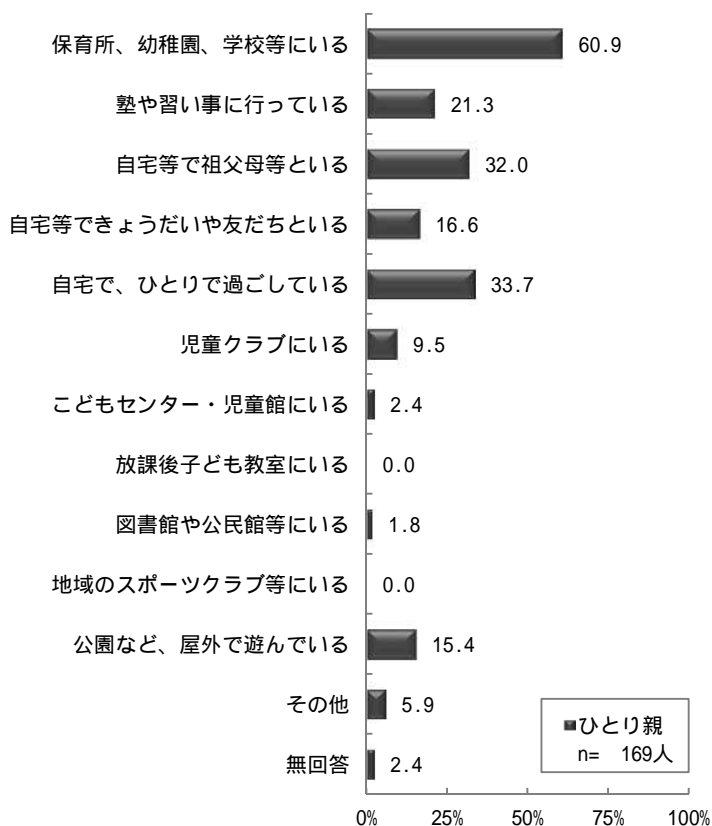
問 17 現在就労している方におたずねします。あなたが就労中、あなたのお子さんは主にどのように過ごしていますか。

問 18 あなたは、転職する希望がありますか。

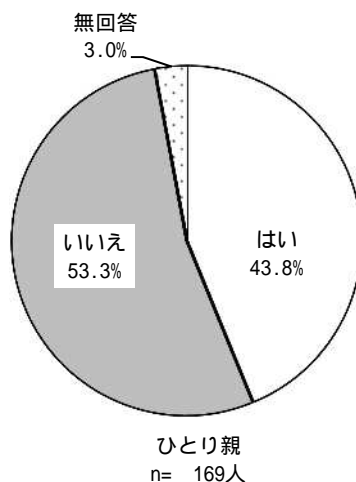
就労中の主な子どもの過ごし方は、「保育所、幼稚園、学校等にいる」(60.9%)が最も多く、次いで「自宅で、ひとりで過ごしている」(33.7%)、「自宅等で祖父母等といる」(32.0%)となっています。

転職する希望の有無は、「いいえ」(53.3%)、「はい」(43.8%)となっています。

問 17 就労中の主な子どもの過ごし方



問 18 転職する希望の有無



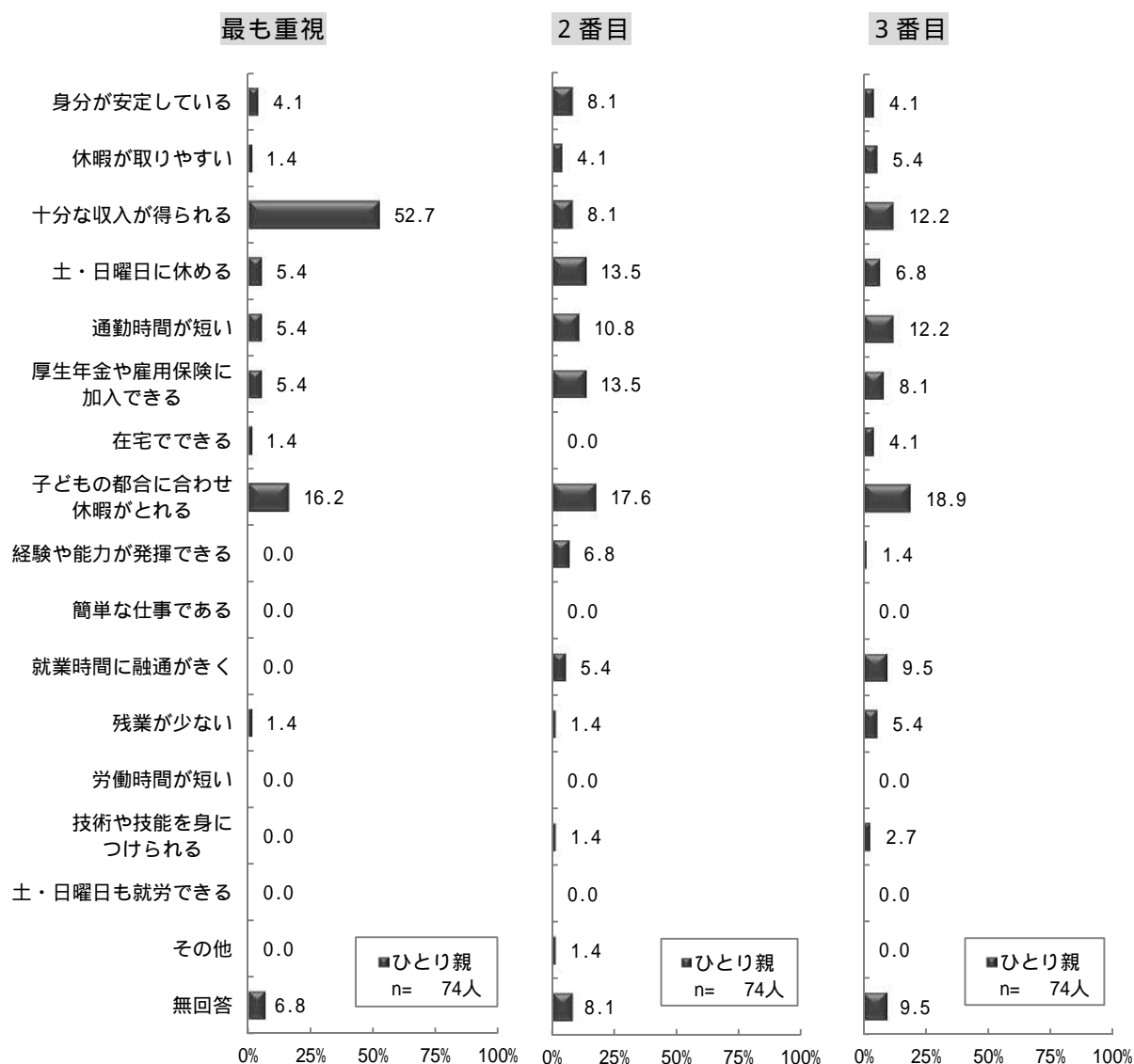
問 19 問 18 で「はい」とお答えの方は、どのような点を重視して新しい仕事・職場を選びますか、また「いいえ」とお答えの方は、現在の仕事・職場の良いところは何ですか。

新しい仕事に就く場合、最も重視することは、「十分な収入が得られる」(52.7%)が最も多くなっています。

2番目に重視することは、「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」(17.6%)、「土・日曜日に休める」「厚生年金や雇用保険に加入できる」(各13.5%)となっています。

3番目に重視することは、「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」(18.9%)、「十分な収入が得られる」「通勤時間が短い」(各12.2%)となっています。

問 19.1 新しい仕事に就く場合、重視すること

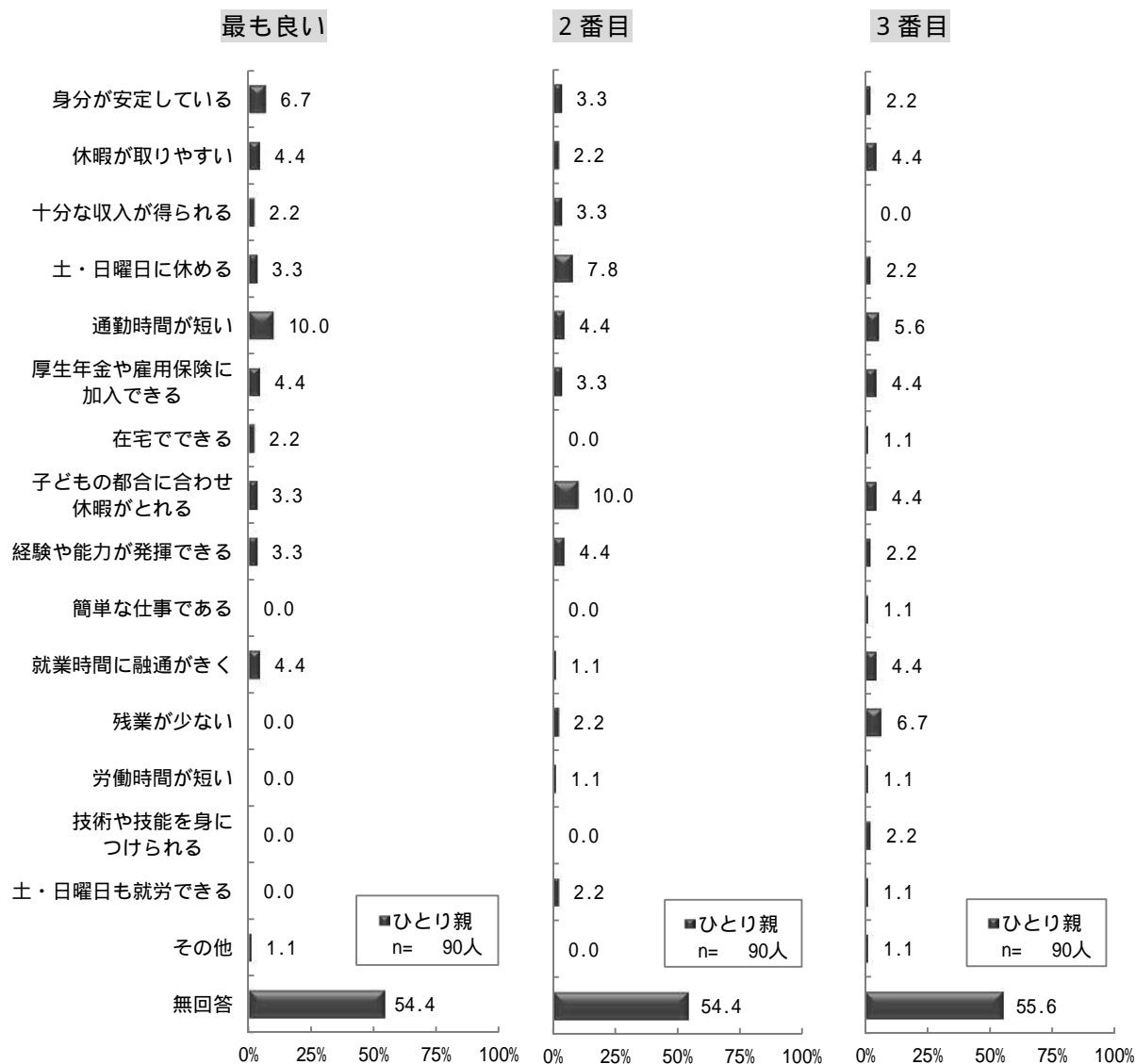


現在の仕事・職場の最も良いところは、「通勤時間が短い」(10.0%)、「身分が安定している」(6.7%)となっています。

2番目に良いところは、「子どもの都合に合わせて休暇がとれる」(10.0%)、「土・日曜日に休める」(7.8%)となっています。

3番目に良いところは、「残業が少ない」(6.7%)、「通勤時間が短い」(5.6%)となっています。

問 19.2 現在の仕事・職場の良いところ

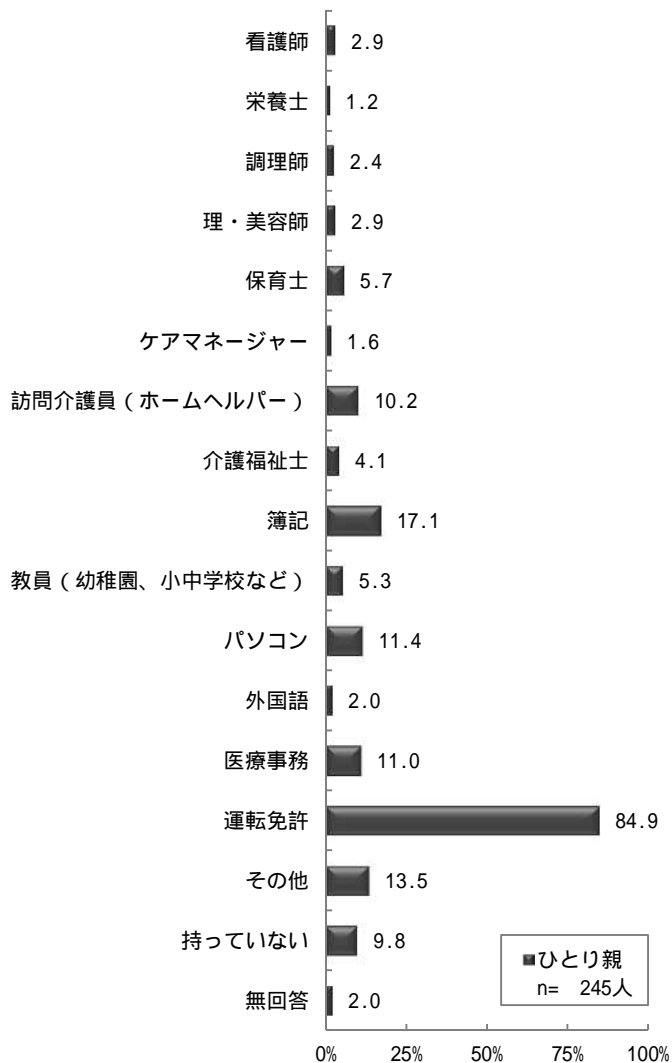


## 4 資格や技能について

問 20 すべての方におたずねします。あなたは、現在資格や技能を持っていますか。

資格や技能の有無では、「運転免許」(84.9%)が最も多く、次いで「簿記」(17.1%)、「パソコン」(11.4%)、「医療事務」(11.0%)となっています。

問 20 資格や技能の有無

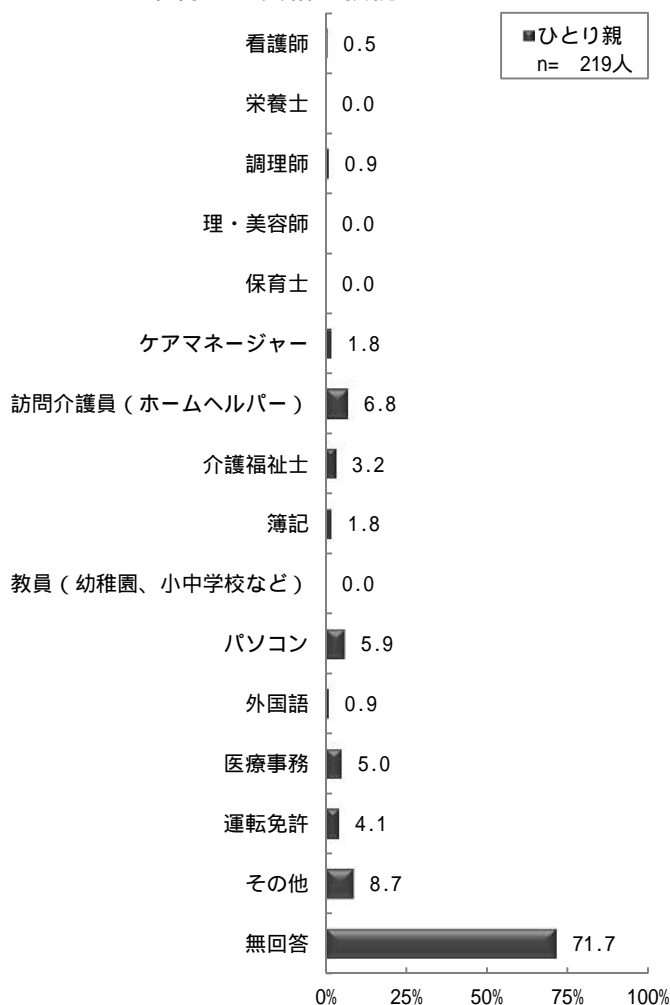


問21 問20で資格や技能を持っているとお答えの方におたずねします。ひとり親家庭になってから取得したものはどれですか。また、実際の仕事で役立っているものはどれですか。

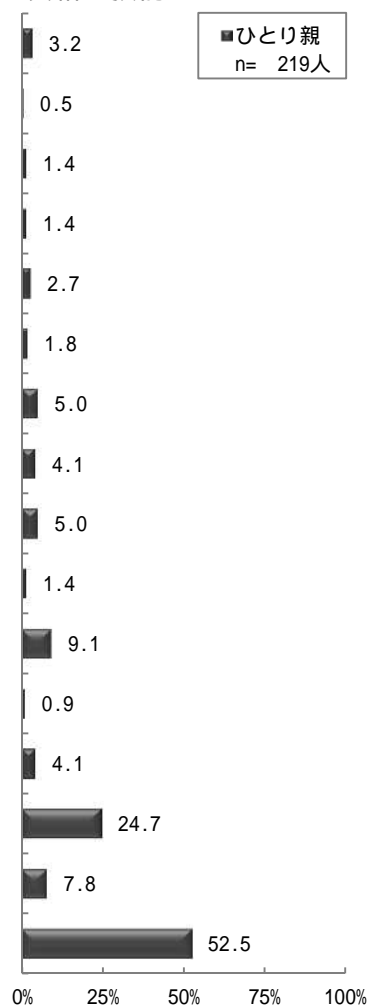
ひとり親家庭になってから取得した資格・技能は、「訪問介護員（ホームヘルパー）」（6.8%）、「パソコン」（5.9%）、「医療事務」（5.0%）となっています。

実際の仕事で役立っている資格・技能は、「運転免許」（24.7%）が最も多く、次いで「パソコン」（9.1%）、「訪問介護員（ホームヘルパー）」、「簿記」（各5.0%）となっています。

問21.1 ひとり親家庭になってから取得した資格・技能



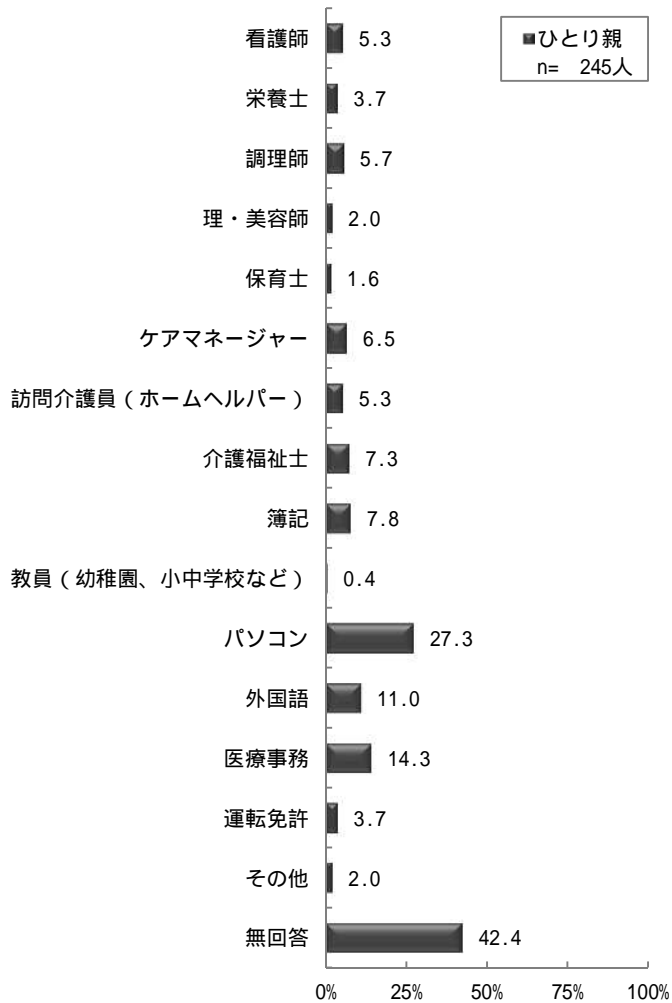
問21.2 実際の仕事で役立っている資格・技能



問 22 すべての方におたずねします。これから取得したい資格や技能はありますか。問 20 の選  
 択肢から選んで、次の の中に番号を記入してください。(取得したい資格や技能が選択肢  
 がないときは、その名称をご記入ください。)

これから取得したい資格や技能は、「パソコン」(27.3%)、「医療事務」(14.3%)  
 「外国語」(11.0%)となっています。

問 22 これから取得したい資格や技能



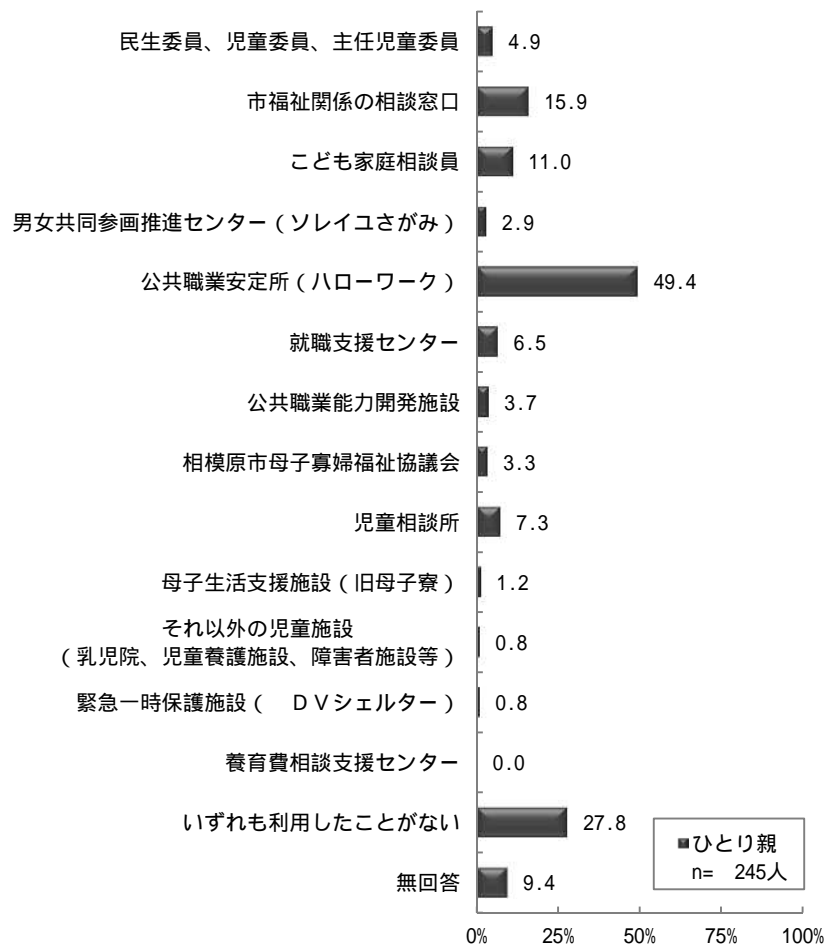


## 5 福祉制度などについて

問 23 あなたは、次の制度・機関を利用したことなどがありますか。

利用したことのある福祉制度・機関は、「公共職業安定所（ハローワーク）」（49.4%）が最も多く、「市福祉関係の相談窓口」（15.9%）、「こども家庭相談員」（11.0%）となっています。

問 23 利用したことのある福祉制度・機関

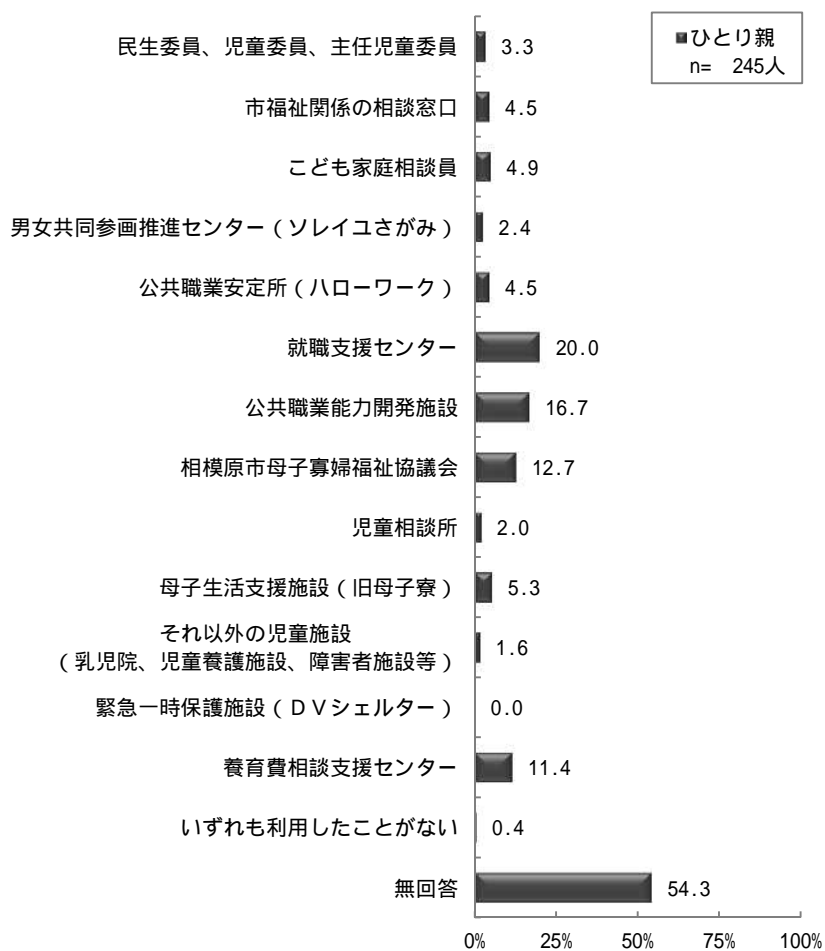


DV ドメスティック・バイオレンスの略。ドメスティック・バイオレンスとは、配偶者や恋人などの親しい間柄にある（あった）ものから受ける暴力。

問 24 問 23 で掲げた制度などのうち、あなたが内容を知りたい、もっと詳しく聞きたいと思われるものはどれですか。

内容を知りたい、もっと詳しく聞きたい福祉制度・機関は、「就職支援センター」(20.0%)、「公共職業能力開発施設」(16.7%)、「相模原市母子寡婦福祉協議会」(12.7%)となっています。

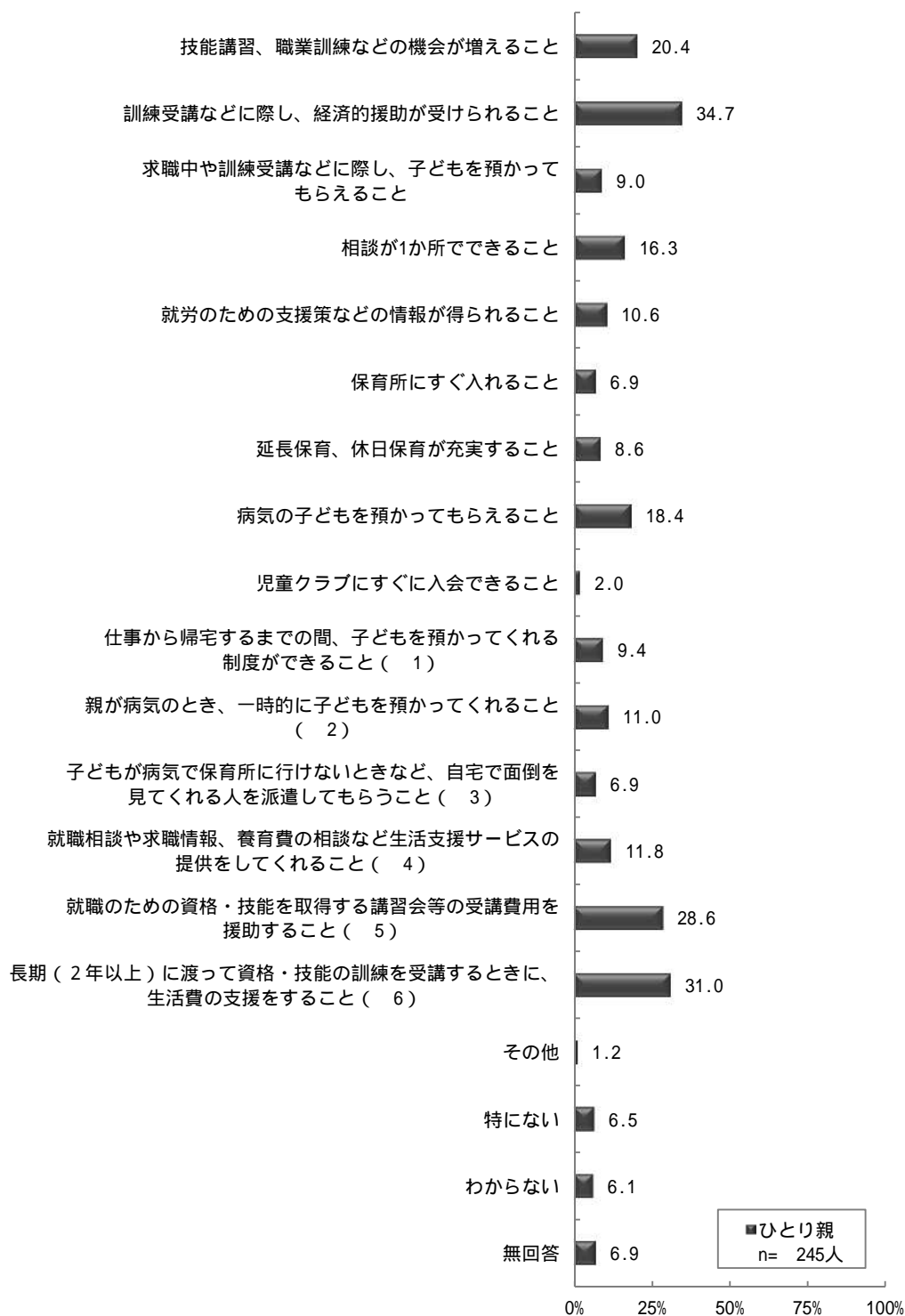
問 24 内容を知りたい、もっと詳しく聞きたい福祉制度・機関




問 25 あなたは就職や仕事のために、行政からどのような支援を望みますか。

就職や仕事のために、行政から望む支援は、「訓練受講などに際し、経済的援助が受けられること」(34.7%)、「長期(2年以上)に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をすること」(31.0%)、「就職のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助すること」(28.6%)、「技能講習、職業訓練などの機会が増えること」(20.4%)となっています。

問 25 就職や仕事のために、行政から望む支援



- 
- 1 トワイライトステイ事業 保護者が仕事等の事由によって帰宅が夜間にわたり、お子さんの養育が一時的に困難となる家庭のお子さんを夜間（17時～22時）等に預かる制度
  - 2 ショートステイ事業 保護者の疾病、仕事、育児疲れなどによりお子さんの養育が一時的に困難となった家庭のお子さんや母子を短期間（原則7日以内）預かる制度
  - 3 家庭生活支援員の派遣 母子家庭・父子家庭等において疾病や冠婚葬祭等の社会的事由および技能習得のための修学等自立促進に必要な事由により、日常生活に支障を生じたと認められるときは、その居宅において乳幼児の保育、食事の世話その他の日常生活を営むのに必要な便宜を供与する、いわゆる介護人派遣制度
  - 4 就業・自立支援センター事業 母子家庭に対して、就業相談から就業支援講習会の実施、就業情報の提供等、一貫した就業支援サービスの提供や養育費の相談など生活支援サービスを提供する制度
  - 5 自立支援教育訓練給付金事業 事業実施主体である都道府県、市および福祉事務所設置町村が指定した教育訓練給付講座を受講した母子家庭の母又は父子家庭の父に対して、受講料の一部を支給する事業
  - 6 高等技能訓練促進費事業 母子家庭の母又は父子家庭の父の訓練受講中の生活の安定を図り、生活費の負担を軽減するため、2年以上養成機関で修業する場合に、一定期間「高等技能訓練促進費」を支給し、修了後「入学支援修了一時金」を支給する事業

## 第5節 自由記述

### 1 就学前児童の保護者の自由記述

就学前児童の保護者からは延べ 1,987 件の意見・要望が寄せられました。「保育サービス」の意見が 614 件と最も多くなっており、次いで「出産・子育て一般」299 件、「医療」257 件となっています。

項目	件数
<b>【出産・子育て一般】</b>	<b>299</b>
子育て支援全般に関する意見・要望	73
育児について経済的支援をしてほしい	67
交流会などのイベントをもっと開催してほしい	41
母親の心や体のケアをしてほしい	34
子育て全般に関する感想や意見	22
障害者への支援を充実してほしい	20
おむつなど物的支援をしてほしい	19
母子家庭・父子家庭の援助をしてほしい	10
妊娠中や出産時の支援をしてほしい	9
不妊治療の支援をしてほしい	4
<b>【行政】</b>	<b>110</b>
子育てについて情報提供を求める意見	59
職員の対応を改善してほしい	24
行政全般に対する意見・要望	10
市税が高い	3
社会保障制度を充実してほしい	2
道路・歩道を整備してほしい	12
<b>【医療】</b>	<b>257</b>
医療費助成制度の年齢を延ばしてほしい	138
医療費助成制度の収入制限をなくしてほしい	48
予防接種についての要望	38
医療費助成制度を充実してほしい	17
夜間・休日対応など救急医療を充実してほしい	6
医療施設を増設充実してほしい	4
その他、医療全般に関する意見	6

<b>【保育サービス】</b>	<b>614</b>
待機児童対策など保育施設を増設・充実してほしい	259
一時保育についての意見	71
保育料が高い、保育料を支援してほしい	68
病児・病後児の対応を充実してほしい	55
認可保育所についての意見	30
休日保育を充実してほしい	29
延長保育を充実してほしい	17
認定こども園に関する意見・要望	17
認可保育所の選考基準に関する要望	14
保育士に関する要望	13
きょうだいで同じ保育園に入れるようにしてほしい	13
その他、保育サービス全般に関する意見	28
<b>【学校・教育について】</b>	<b>173</b>
児童クラブを充実してほしい	101
学校数・学区・給食など学校に対しての要望	18
教員や教育の質を向上してほしい	18
教育費の支援をしてほしい	14
放課後子ども教室に関する意見	9
保護者に対する教育も必要である	2
その他、学校・教育全般に関する意見	11
<b>【社会環境】</b>	<b>169</b>
仕事と子育てが両立できる環境を整備してほしい	86
安全な環境づくりを進めてほしい	40
子どもが安心してらせる社会を実現してほしい	30
男性の子育て参加に理解を示す社会を実現してほしい	7
大人のマナーや社会のモラル向上を図ってほしい	6
<b>【遊び場】</b>	<b>208</b>
こどもセンター、その他の施設の充実	80
公園の増設、整備に関する意見	79
こどもセンターや児童館に駐車場を作ってほしい	18
小学生が放課後に遊べる場所を作ってほしい	12
遊具についての意見	11
こどもセンター内で食事ができるようにしてほしい	8
<b>【児童手当】</b>	<b>19</b>
児童手当を増額してほしい	11
所得制限を緩和してほしい	8

<b>【幼稚園】</b>	<b>120</b>
保育料が高い、保育料を支援してほしい	76
公立の幼稚園を設置してほしい	22
保育時間や期間を延長してほしい	6
保育士の質の向上を図ってほしい	2
その他、幼稚園全般に関する意見	14
<b>【本アンケートについて】</b>	<b>18</b>
アンケートへの要望・評価	18

## 2 小学校児童の保護者の自由記述


小学校児童の保護者からは延べ 899 件の意見・要望が寄せられました。

「医療」の意見が 224 件と最も多くなっており、次いで「行政」144 件、「学校・教育」134 件となっています。

項目	件数
<b>【行政】</b>	<b>144</b>
行政全般に対する意見・要望	43
他の自治体との比較	36
道路・歩道を整備してほしい	19
減税や税金を有効利用してほしい	19
障害者への支援を充実してほしい	16
情報の公開・提供を進めてほしい	5
社会保障制度を充実してほしい	4
住宅の整備をしてほしい	1
利用しやすい図書館にしてほしい	1
<b>【出産・子育て一般】</b>	<b>108</b>
育児について経済的支援をしてほしい	52
子育てに関する感想や意見	24
母親の心や体のケアをしてほしい	9
妊娠中や出産時の支援をしてほしい	7
母子家庭・父子家庭の支援をしてほしい	7
交流会などのイベントをもっと開催してほしい	5
不妊治療の支援をしてほしい	3
その他、子育て全般に関する意見	1
<b>【医療】</b>	<b>224</b>
医療費助成制度の年齢を延ばしてほしい	152
医療費制度の収入制限をなくしてほしい	25
医療費助成制度を充実してほしい	15
予防接種や検診を充実してほしい	11
医療費の負担を軽減してほしい	10
夜間・休日対応など救急医療を充実してほしい	8
小児科を充実してほしい	2
医療施設を増設・充実してほしい	1



<b>【学校・教育について】</b>	<b>134</b>
教育費の無料化や支援をしてほしい	29
通学の際の安全対策を充実してほしい	26
教育の質の向上を図ってほしい	21
放課後子ども教室に関する意見	16
学校給食に関する意見	9
授業の質の向上を図ってほしい	7
学校数・教員数・クラス人数などについての意見	6
中学校・高校での給食を実現してほしい	3
放課後や休日に学校を開放してほしい	2
高校までの義務教育化を進めてほしい	1
その他、学校・教育全般に関する意見	14
<b>【社会環境】</b>	<b>108</b>
仕事と子育てが両立できる環境を整備してほしい	53
子どもが安心して暮らせる社会を実現してほしい	23
男性の子育て参加に理解を示す社会を実現してほしい	17
大人のマナーや社会のモラル向上を図ってほしい	6
家庭・学校・社会の連携に関する意見	5
自然環境の保護を図ってほしい	2
その他、社会環境全般に関する意見	2
<b>【保育サービス】</b>	<b>50</b>
一時保育についての意見	14
保育施設の増設・充実してほしい	14
病児・病後児の対応を充実してほしい	7
上の子の年齢にかかわらず幼稚園の補助金を受けられるようにしてほしい	7
幼稚園を増設してほしい	1
その他、保育サービス全般に関する意見	7
<b>【遊び場】</b>	<b>49</b>
小学生以上が遊べる施設を増やしてほしい	19
公園や広場を充実してほしい	13
こどもセンターや児童館を増設・充実してほしい	12
遊び場や遊具に対する意見	5
<b>【児童手当】</b>	<b>20</b>
児童手当を増額してほしい	12
所得制限を無くしてほしい	8



<b>【児童クラブ】</b>	<b>55</b>
児童クラブの充実を図ってほしい	26
学年延長をしてほしい	25
児童クラブで一時預かりを実施してほしい	3
指導員教育を充実してほしい	1
<b>【本アンケートについて】</b>	<b>7</b>
アンケートへの要望・評価	7

### 3 子ども本人（11歳・14歳・17歳を迎える人）の自由記述

子ども本人からは延べ396件の意見・要望が寄せられました。

「学校」の意見が131件と最も多くなっており、次いで「行政」94件、「遊び場」81件となっています。

項目	件数
<b>【学校】</b>	<b>131</b>
いじめをなくしてほしい	25
設備を充実してほしい	12
自分たちの話をもっとよく聞いてほしい	10
差別・えこひいきをなくしてほしい	9
子どもが話しやすい環境を作してほしい	8
教員の教育の充実を図ってほしい	7
体罰をなくしてほしい	7
施設をきれいにしてほしい	6
今のままでよい	5
給食をおいしくしてほしい	4
カウンセラーなど子どもが相談できる体制をつくってほしい	3
授業時間を減らしてほしい	3
もっと自由にさせてほしい	3
グラウンドを広くしてほしい	3
教育を改善してほしい	3
高校も義務教育にしてほしい	3
校則で縛らないでほしい	2
行事を増やしてほしい	2
その他、学校全般に関する意見	16
<b>【行政】</b>	<b>94</b>
安全な街づくりをしてほしい	30
町に街灯などをつけ明るくしてほしい	10
イベントなど地域の交流を増やしてほしい	9
子どもに配慮した行政を実現してほしい	7
自転車用道路を作してほしい	7
歩道を整備してほしい	6
道を広くしたり道路の補修をしてほしい	6
きれいな街づくりをしてほしい	4
今のままでよい	4
標識や信号・ミラーなどを設置してほしい	3


自然を残してほしい	2
大人と子供のふれあえる施設がほしい	2
情報が伝わりやすくなるよう配慮してほしい	2
無駄遣いをなくし税金を有効に活用してほしい	1
障害者に対する理解や支援をしてほしい	1
<b>【大人や社会】</b>	<b>74</b>
子どもの安全を守ってほしい	16
大人もマナーを守ってほしい	15
子どもの話に耳を傾けてほしい	13
子どもを尊重し見守ってほしい	8
大人が模範を示してほしい	6
挨拶をしてほしい	4
事件を起こさないでほしい	3
子どもだからと決めつけないでほしい	2
決まった役割をきちんと果たしてほしい	2
明るく接してほしい	2
子どもを好きになってほしい	1
居心地の良い雰囲気を作ってほしい	1
弱者の見方をしてほしい	1
<b>【遊び場】</b>	<b>81</b>
スポーツ（ボール遊び等）ができる場所を作ってほしい	23
公園を増やしてほしい	20
遊び場をつくってほしい	17
遊び場の設備をよくしてほしい	7
公園に防犯カメラなどを設置して、安全を確保してほしい	6
多目的な施設を作ってほしい	5
プールがほしい	2
市の施設（こどもセンターなど）を増やしてほしい	1
<b>【本アンケートについて】</b>	<b>6</b>
アンケートへの要望・評価	6
<b>【その他】</b>	<b>10</b>
その他	10

## 4 青年男女（20歳・25歳・30歳・35歳を迎える人）の自由記述

青年男女からは延べ223件の意見・要望が寄せられました。

「出産・子育て一般」の意見が102件と最も多くなっており、次いで「行政」49件、「社会環境」42件となっています。

項目	件数
<b>【出産・子育て一般】</b>	<b>102</b>
保育施設や児童クラブを増設・充実してほしい	22
乳幼児医療制度についての意見	15
子育て支援サービスを充実してほしい	13
出産・子育てがしやすい環境を確保してほしい	11
妊娠中や出産時の経済的支援をしてほしい	10
子育てに関する教育や情報を提供してほしい	5
産婦人科など子どもを産める施設を増設・充実してほしい	4
障害者への支援を充実してほしい	3
不妊治療の支援をしてほしい	3
具体的な少子化対策が必要である	2
子育てに必要なものを提供してほしい	1
その他、出産・子育て全般に関する意見	13
<b>【行政】</b>	<b>49</b>
経済的な支援をしてほしい	16
行政全般に対する意見・要望	9
減税など税の見直しを図ってほしい	8
施設を充実してほしい	5
情報の公開をはかってほしい	4
雇用・就職支援をしてほしい	3
街灯を設置してほしい	2
子どもが遊べる場所を増やしてほしい	2
<b>【社会環境】</b>	<b>42</b>
子育てしやすい社会になるようにしてほしい	17
仕事と子育てが両立できる環境を整備してほしい	11
社会環境を整備してほしい	6
治安の維持を望む	4
親自身の教育が必要	4




<b>【教育】</b>	<b>11</b>
奨学金など教育資金の支援をしてほしい	4
教育の見直しを図ってほしい	3
教育の質の向上を図ってほしい	2
教育制度改革が必要	1
義務教育の無償化や授業料を免除してほしい	1
<b>【医療】</b>	<b>10</b>
医療施設を充実してほしい	3
医療費を支援してほしい	3
医療制度を充実してほしい	3
救急医療を充実してほしい	1
<b>【本アンケートについて】</b>	<b>9</b>
アンケートへの要望・評価	9

## 5 ひとり親家庭の人の自由記述

ひとり親家庭の人からは延べ 159 件の意見・要望が寄せられました。

「手当」の意見が 58 件と最も多くなっており、次いで「行政」27 件、「保育サービス」15 件となっています。

項 目	件数
<b>【手当】</b>	<b>58</b>
経済的な支援をしてほしい	16
教育費の支援をしてほしい	11
収入にかかわらない支援を望む	9
審査基準を見直してほしい	8
児童扶養手当を充実してほしい	6
母子家庭・父子家庭の支援を平等にしてほしい	4
医療費についての意見	3
その他、手当全般に関する意見	1
<b>【保育サービス】</b>	<b>15</b>
保育施設を充実してほしい	9
病児・病後児の対応を充実してほしい	4
児童クラブの時間をもっと長くしてほしい	1
児童クラブの対象年齢を見直してほしい	1
<b>【住宅】</b>	<b>12</b>
ひとり親家庭は優先的に公営の住宅に入居できるようにしてほしい	5
家賃を補助してほしい	5
公営の住宅を充実させてほしい	1
その他、住宅全般に関する意見	1
<b>【行政】</b>	<b>27</b>
ひとり親家庭のための相談やアドバイスをしてほしい	17
ひとり親家庭等に対する支援をしてほしい	3
養育費制度の確立を図ってほしい	3
病気の時の支援を充実してほしい	2
税金を減免してほしい	2
<b>【雇用・職場環境】</b>	<b>14</b>
就職支援をしてほしい	9
労働環境を改善してほしい	5
<b>【資格】</b>	<b>10</b>
資格取得のための援助をしてほしい	7
資格取得の勉強会を開いてほしい	3



<b>【その他】</b>	<b>21</b>
将来の生活の不安	8
現在の生活の不安	4
その他	9
<b>【本アンケートについて】</b>	<b>2</b>
アンケートへの要望・評価	2



## 資料編

### 調査に使用したアンケート調査票



## 資料編

## 1 「子ども・子育て支援に関するアンケート調査票」の見本

## ■就学前児童の保護者用

**相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票**  
(小学校就学前のお子さんの保護者様へ)

調査ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。相模原市では、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される環境を整備するため、平成16年度に「さがみはら いきいき親子 応援プラン(相模原市次世代育成支援行動計画)」を策定し、子育て・子育て支援施策を推進してまいりました。

このたび、平成27年度から始まる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様への生活実態やサービスのニーズ等をお聞きする「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施させていただきます。

この調査をお願いするにあたりましては、区政支援課が保有する住民基本台帳を利用して小学校就学前のお子さんをお持ちの方6,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は全て統計的に処理されますので、お一人おひとりの回答内容が公表されることや調査の目的以外に使用されることは一切ございません。

また、今回の調査は、他の調査と同時に実施しておりますので、お手元に複数の調査票が送付される場合がございますが、趣意をご理解いただき、すべての調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月 相模原市長 加山 俊夫

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、宛名のお子さんの保護者の方が記入してください。(無記名ですべて、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 鉛筆や黒のボールペンなどで記入してください。
- ご回答は、選択式に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「1つに○」「3つ以内で○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。
- 「その他」をお選びいただいた場合は、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時~18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 設問や選択肢に使われている事業名や施設名の詳細は別紙「子育て支援サービス・保育サービス等の概要説明書」をご覧ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**12月23日(月)**までにご返願ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。  
相模原市子ども青少年課 電話:042-769-9811

調査実施の趣旨とその目的

この調査は、幼稚園・保育所・児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答(施設や事業の利用希望等)により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づいた新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します(新制度は平成27年度から実施予定)。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

(子ども・子育て支援新制度の趣旨)

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考えをもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持って子どもを育てる環境を整え、親としての成長を支え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

【お子さんとご家族の状況についておたずねします】

問1 お住まいの地区の番号に○をつけ、郵便番号の下2桁をご記入ください。(数字は一律に一字)

1. 緑区: 252-01   2. 中央区: 252-02    
3. 南区: 252-03

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。(数字は一律に一字。)

平成  年  月  日 例 平成20年3月生まれの場合  
平成  年  月  日生まれ

問3 宛名のお子さんの兄弟姉妹について、ご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。(数字は一律に一字。右詰め)

人兄弟姉妹の  番目 末子の生年月日 平成  年  月  日生まれ

問4 宛名のお子さんと同居されている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお答えください。(兄弟姉妹は除く。あてはまる番号すべてに○)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他( )

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他( )

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他( )

問8 世帯の年収を教えてください。(1つに○)

1. 100万円未満 2. 100万円以上200万円未満  
3. 200万円以上300万円未満 4. 300万円以上400万円未満  
5. 400万円以上500万円未満 6. 500万円以上600万円未満  
7. 600万円以上

問9 宛名のお子さんの子育てにかかる費用は1か月いくら位ですか。おおよその金額を教えてください。(数字は一律に一字。右詰め)

約  万円

【お子さんの育ちをめぐる環境についておたずねします】

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父 5. 幼稚園  
6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他( )

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園  
6. その他( )

問12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の原には祖父母等の親族にみてもらえる ⇒ 問12-1へ  
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の原には子どもをみてもらえる友人・知人がいる ⇒ 問12-2へ  
5. いずれもない ⇒ 問13へ

問12-1 問12で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる  
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である  
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが苦しい  
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある  
6. その他( )

問12-2 問12で「3」または「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる  
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である  
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが苦しい  
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある  
6. その他( )

問13 すべての方におたずねします。宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をすることで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問13-1へ 2. いない/ない ⇒ 問14へ

問 13-1 問 13で「1.いる/ある」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族・祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、こどもセンター等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 市の子育て関連担当窓口
11. その他 【例】ベビーシッター	

**【子育てに対する考え方についておたずねします】**

問 14 すべての方におたずねします。子育てと仕事について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（1つに○）

1. 子育てと仕事を両立させたい  
2. 仕事よりも子育てを優先させたい  
3. 子育てより仕事を優先させたい  
4. その他（ ）

問 15 家庭で子育てをすることで、大切なことは何だと思えますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。（1つに○）

1. 子どもを一時的に預けるサービスなどを利用して、自由な時間を持つことが大切だ  
2. 自由な時間を持つよりも、家庭で子どもといっしょにいる時間を多く持つことが大切だ  
3. 様々な体験や交流の機会がもてるように、地域や学校行事などに親子で参加することが大切だ  
4. その他（ ）

問 16 子育てでどうしてもいまいかなくなることはありますか。（1つに○）

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. ない

問 17 やる気がおこらず、お子さん（宛名のお子さんに限りません）の世話をしたくない時がありますか。（1つに○）

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. ない

問 18 自分は子どもを虐待していると思うことがありますか。（1つに○）

1. よくある  
2. ときどきある ⇒問18-1へ  
3. ほとんどない  
4. ない ⇒問19へ

問 18-1 問 18で「1.よくある」「2.ときどきある」に○をつけた方におたずねします。子どもを虐待していると思うのはどのような時ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもをだいたり、つねたりする  
2. 食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない  
3. 程度でもできるまでやらせると厳しくしつける  
4. 言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視  
5. その他（ ）

問 19 すべての方におたずねします。次の(1)～(4)について、子どもが言うことを聞かないときなどに、親が子どもに対するしつけとして行うことをどう思われますか。（それぞれ1つに○）

項 目	やっ つは い け な い	少 し は し ん じ や な い	構 造 的 に し ん じ や な い 場 合 は よ い	わ か ら な い
(1) 子どもをだいたり、つねったりする	1	2	3	4
(2) 食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない	1	2	3	4
(3) 程度でもできるまでやらせると厳しくしつける	1	2	3	4
(4) 言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視	1	2	3	4

問 20 子どもの権利について、今、特に大切だと思うことはどのようなことですか。（3つ以内で○）

1. 子どもが自分自身を大切に、他の人も大切にすること  
2. 衣・食・住など、安全で安全な基本生活をとおくこと  
3. 独立した人格の持主と認められ、人と違う自分らしさが守られること  
4. 自分の考えをいつでも自由に言えること  
5. すべてが子どもの気持ちで察したり、自由な意見を聞き出したりすること  
6. すべてが子どもが差別されないでくらすこと  
7. どの子どももいじめや虐待から守られ、困ったときには相談する場があること  
8. 選んだり、殺られたりしたときは体罰など自由になる時間を持つこと  
9. 自分の秘密が守られること  
10. 子どもが知りたがると思うことが隠されないこと  
11. 暴力や言葉で罵つておられないこと  
12. 家族が仲良く、一緒に過ごす時間をもつこと  
13. 「子どもの権利条約」について知ること  
14. 子どもが、自分のことは自分で決められること  
15. 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること  
16. 子どもが健やかに成長できるように、家庭・学校・地域・企業・行政など、地域社会が一体となって取り組むこと  
17. 保護者の所属にかかわらず、学校以外の場所でも、学ぶ権利が守られること  
18. その他（ ）  
19. 他にない

問 21 あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。（1つに○）

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している  
3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない  
5. 満足していない

問 22 子育てをして良かったこと、うれしかったことは何ですか。（3つ以内で○）

1. 子どもを誇り喜びが実感できたこと  
2. 子どもの成長  
3. 子育てを通じ自分も成長できたこと  
4. 配偶者との関係が良くなったこと  
5. 家族間の会話が増えたこと  
6. 家庭が明るくなったこと  
7. 子育てを通じ友人が増えたこと  
8. 自分の親への感謝の気持ちが生まれたこと  
9. その他（ ）

問 23 子育てをして不安に思うこと、負担に思うことは何ですか。（3つ以内で○）

1. 身体的負担が大きい  
2. 精神的負担が大きい  
3. 経済的負担が大きい  
4. 身近な人の能力が得られない  
5. 孤独を感じることもある  
6. 自分の時間が取れない  
7. 周囲からの評価が気になる  
8. 仕事が終わるようできない  
9. 不安にも負担にも思わない  
10. その他（ ）

問 24 「子どもを産み育てることを、今の社会は十分に評価していると思えますか。（1つに○）

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う  
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない  
5. そう思わない

**【保護者の方の就労状況についておたずねします】**

問 25-問 25-5は、母親及び父親それぞれについて、ご回答いただきませ。回答によって、次に答えていただく設問が母親、父親それぞれで違う場合がありますので、ご注意ください。

問 25 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、母親、父親それぞれについておたずねください。母子家庭、父子家庭の場合は該当するほうのみご記入ください。（それぞれ1つに○）

母親（父子家庭は記載不要です）	父親（母子家庭は記載不要です）
1. フルタイム（※1）で就労しており、現在、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム（※1）で就労しており、現在、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、現在、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（※2）で就労しており、現在、産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等（※2）で就労しており、現在、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、現在、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

※1 フルタイム・・・1週5日勤務かつ1日8時間程度就労  
※2 パート・アルバイト等・・・フルタイム以外の就労

問 25-1 問 25で「1～4」（就労している）に○をつけた方におたずねします。

1週当たりの「就労日数」1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻をおたずねください。一定でない場合は、もっとも多い1週間についておたずねください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についておたずねください。（□内に数字でご記入ください。数字は1桁に1手。右詰め）

母親（父子家庭は記載不要です）	父親（母子家庭は記載不要です）
就労日数 1週当たり □ 日	就労日数 1週当たり □ 日
就労時間 1日当たり □ 時間	就労時間 1日当たり □ 時間
家を出る時刻 □ □ 時（24時間制で記載）	家を出る時刻 □ □ 時（24時間制で記載）
帰宅時刻 □ □ 時（24時間制で記載）	帰宅時刻 □ □ 時（24時間制で記載）

⇒問25で「1.」または「2.」に○をつけた方は問26へ ⇒問25で「1.」または「2.」に○をつけた方は問26へ

問 25-2 問 25で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

母親（父子家庭は記載不要です）	父親（母子家庭は記載不要です）
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している	3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 25-3 問 25 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一种に一字、右詰め）。

母親（父子家庭は記載不要です）		父親（母子家庭は記載不要です）	
1. 子育てや家事などに専念したい （就労の予定はない）	問26へ	1. 子育てや家事などに専念したい （就労の予定はない）	問26へ
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに 就労したい	問25-4へ	2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに 就労したい	問25-4へ
3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 1週あたり □□日 1日あたり □□時間	問25-5へ	3. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 1週あたり □□日 1日あたり □□時間	問25-5へ

問 25-4 問 25-3 で「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」に○をつけた方におたずねします。それは、今から約何年後ですか。（数字は一种に一字、右詰め）

母親 （父子家庭は記載不要です）	父親 （母子家庭は記載不要です）
約 □□ 年後	約 □□ 年後

問 25-5 問 25-3 で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方におたずねします。就労希望がありながら、現在、働くことができない理由は次のどれにありませうか。（1つに○）

母親（父子家庭は記載不要です）	父親（母子家庭は記載不要です）
1. 保育サービスが利用できない 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない 3. 自分の知識、能力に合う仕事がない 4. 希望の収入が得られる仕事がない 5. 家族の考え（親族の理解が得られない）等 就労する環境が整っていない 6. その他（ ）	1. 保育サービスが利用できない 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない 3. 自分の知識、能力に合う仕事がない 4. 希望の収入が得られる仕事がない 5. 家族の考え（親族の理解が得られない）等 就労する環境が整っていない 6. その他（ ）

7

【平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておたずねします】

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 26-1 に示した事業が含まれます。

問 26 すべての方におたずねします。宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つに○）

1. 利用している ⇒ 問 26-1 へ	2. 利用していない ⇒ 問 26-4 へ
----------------------	-----------------------

問 26-1 問 26-1～問 26-3 は、問 26 で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。利用している事業の番号にすべてに○をつけ、○をつけた番号の現在の利用状況及び希望としてどのくらい利用したいか、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は1種に1字、右詰め）

\*教育・保育の事業の内容については、別紙「子育て支援サービス・保育サービスの概要説明書」をご覧ください。

番号	教育・保育の事業 （別紙参照）	現在の利用状況	利用希望
1	幼稚園 （通常の就園時間の利用）	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
2	幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
3	認可保育所	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時

8

番号	教育・保育の事業 （別紙参照）	現在の利用状況	利用希望
4	認定こども園	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
5	相模原市認定保育室	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
6	事業所内保育施設	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
7	その他の認可外の 保育施設	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
8	家庭的保育	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
9	居宅訪問型保育 （ベビーシッター含む）	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時

9

番号	教育・保育の事業 （別紙参照）	現在の利用状況	利用希望
10	ファミリー・サポート・ センター	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時
11	その他 （ ）	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時	1週あたり □□日 1日あたり □□時間 ⇒ 利用時間 □□時～□□時

問 26-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（1つに○）

1. 緑区内	2. 中央区	3. 南区
4. 他の市町村（市町村名：）		

問 26-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの教育や発達のため	
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため	
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため	
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護しているため	
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害があるため	
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため	
7. その他（ ）	

問 26-4 問 26 で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなど）	
2. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）	
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	
4. 近所の人や父母の友人・知人がみている	
5. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	
6. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	
7. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	
8. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	
9. その他（ ）	

10

問27 すべての方におたずねします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（あてはまる番号すべてに○）

\*別紙「子育て支援サービス・保育サービスの概要説明書」参照

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 相模原市認定保育園
6. 事業所内保育施設
7. その他の認可外の保育施設
8. 家庭的保育
9. 小規模保育
10. 居宅訪問型保育
11. ファミリー・サポート・センター
12. その他（ ）

問27-1 問27で○をつけた教育・保育事業で、最も利用を希望するものはどれですか。年齢別に記入ください。年齢によって、利用を希望しない場合には「□」を利用する予定はないと記入してください。なお、該当する年齢の欄からご記入ください。（数字は一種に一字、右詰め）

0歳のとき	もっとも利用を希望する事業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用する予定はない
1歳～2歳のとき	もっとも利用を希望する事業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用する予定はない
3歳～就学前のとき	もっとも利用を希望する事業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用する予定はない

問27-2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（1つに○）

1. 相模原市内      2. 他の市町村（市町村名： ）

**【土曜・休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望についておたずねします】**

問28 すべての方におたずねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制で記入ください（数字は一種に一字、）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問28-1 問28の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方におたずねします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため      2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため      4. 息抜きのため  
5. その他（ ）

問29 「幼稚園」を利用されている方におたずねします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制で記入ください（数字は一種に一字、）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない  
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問29-1 問29で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方におたずねします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため      2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため      4. 息抜きのため  
5. その他（ ）

**【不定期な教育・保育事業や一時預かり等の利用についておたずねします】**

問30 すべての方におたずねします。宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期的就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一種に一字、右詰め）。

利用している事業・日数（年間）	別紙参照
1. 利用している事業がある	
ア. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
イ. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
ウ. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
エ. 夜間保育事業・トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
オ. ベビーシッター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
カ. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 利用していない	問30-1ハ

問30-1 問30で「2. 利用していない」と回答した方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない      2. 利用したい事業が地域にない  
3. 地域の事業の質に不安がある      4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない  
5. 利用料が高くなる・高い      6. 利用料がわからない  
7. 自分が事業の対象者になるかどうか      8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない  
9. その他（ ）

問31 すべての方におたずねします。宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期的就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一種に一字、右詰め）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい			
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	計	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日		
ウ. 不定期的就労	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日		
エ. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日		
2. 利用する必要はない	⇒ 問32ハ		

問31-1 問31で「1. 利用したい」に○をつけた方におたずねします。問31の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）  
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：家庭的保育等）  
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）  
4. その他（ ）

問32 すべての方におたずねします。この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを預けたいが家族以外に預けられないことになりましたか（預け先が無かった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対応方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一種に一字、右詰め）。

1年間の対応方法（別紙参照）	泊数	
1. なかった		⇒問33ハ
2. あった		
ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	⇒問32-1ハ
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	⇒問33ハ
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設やベビーシッター等）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	
エ. やむを得ず子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	
オ. やむを得ず子どもだけで留守番させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	⇒問33ハ
カ. 用事を取りやめた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	
キ. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊	

問32-1 問32で「2. あった ア. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方におたずねします。親族・知人にみてもらうことは困難でしたか。（1つに○）

1. 非常に困難だった      2. どちらかという程度だった      3. 特に困難ではなかった

**【お子さんが病気の際の対応についておたずねします】**

問33 すべての方におたずねします。市内にある病児・病後児を預かることができる施設を知っていますか。

1. 知っている      2. 知らない

問34 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると考えた保護者の方（問26で1に○をつけた方）におたずねします。利用していらっしゃらない方は、問35にお答えください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問34-1ハ      2. なかった ⇒ 問35ハ

問 34-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁一桁、右詰め)。

1年間の対応方法(別紙参照)	日数	
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日	問 34-2へ
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日	
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日	問 35へ
エ. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみもらった	<input type="text"/> 日	問 34-5へ
オ. 病児・病後児の保育を利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/> 日	
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日	
ク. やむを得ず子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日	
ケ. その他( )	<input type="text"/> 日	

問 34-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方におたずねします。

問 34-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字で記入ください(数字は一桁一桁、右詰め)。  
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問 34-3へ  
2. 利用したいと思わない ⇒ 問 34-4へ

問 34-3 問 34-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。  
上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業  
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業  
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)  
4. その他( ) ⇒ 問 35へ

問 34-4 問 34-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方におたずねします。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に育ててもらうのは不安  
2. 地域の事業の質に不安がある  
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない  
4. 利用料がかかる・高い  
5. 利用料がわからない  
6. 親が仕事を休んで対応する  
7. その他( ) ⇒ 問 35へ

問 34-1で「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方におたずねします。

問 34-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んでみた日数についても数字で記入ください(数字は一桁一桁、右詰め)。

1. できれば仕事を休んでみたい ⇒ 日 ⇒ 問 35へ  
2. 休んでみることは非常に難しい ⇒ 問 34-6へ

問 34-6 問 34-5で「2. 休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方におたずねします。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない  
2. 自営業なので休めない  
3. 休日日数が足りないで休めない  
4. その他( )

**【地域の子育て支援事業の利用状況についておたずねします】**

問 35 すべての方におたずねします。宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入ください(数字は一桁一桁)。

\*地域子育て支援拠点事業とは、概ね、平日毎日10時から16時まで実施している乳幼児の親子が集える広場を指しています。

1. 地域子育て支援拠点事業  
1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度 または 年 回程度

2. こどもセンターで実施している「子育て広場」  
1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度 または 年 回程度

3. 上記以外の子育て広場  
1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度 または 年 回程度

4. 利用していない

問 35-1 問 35のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入ください(数字は一桁一桁)。

1. 利用していないが、今後利用したい  
1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度 または 年 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
1週当たり 更に 回 もしくは 1か月当たり 更に 回程度  
または 年 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない

問 36 すべての方におたずねします。下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを①～⑧の事業ごとに、A～Cについて、いずれかに○をつけてください。

事業名(別紙参照)	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①ハロママザークラス(母親・父親学級)	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
②保健センターでの母子健康手帳の配布	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
③保健センターの育児相談・実習相談等	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
④子どもの読書に関する相談窓口	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
⑥子育てガイド(子育て情報誌)	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
⑦心強い親子サロン	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
⑧ショートステイ	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
⑨ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ
※地域子育て支援拠点事業	はい いいえ	満足 満足 満足	はい いいえ

⇒ 4歳未満の方は、問41へ

**4歳以上のお子さんの保護者の方に**  
**【小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします】**

\*児童クラブとは、地域によって学童保育などと呼ばれ、保護者が就労等により家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活をサポートするものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。また、この問での「児童クラブ」とは、小学校やこどもセンターにある児童クラブと小学校周辺にある児童クラブをすべて指すこととなります。

問 37 宛名のお子さんについて、小学校就学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入ください。また、「児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も口内に数字で記入ください。時間は必ず(例)18時 のように24時間制で記入ください(数字は一桁一桁)。

\*別紙「子育て支援サービス・保育サービスの概要説明書」参照

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
2. 祖父母宅や友人・知人家	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
3. 習い事・学習塾など(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
4. こどもセンター・児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
6. 児童クラブ(学童保育)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら → 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら
8. その他(公民館、公園など)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くら

※1 こどもセンター内の児童クラブを利用している場合は「6」に回答

問38 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年ごとあてはまる番号（すべてに○をつけ、それぞれの適当な回数を数字で記入ください。また、「児童クラブ」の欄には利用を希望する時間帯も数字で記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制で記入ください（数字は一種に一文字）。

※記入の先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

(1) 小学4年生

1	自宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
3	習い事・学習塾など	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
4	こどもセンター・児童館	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
5	放課後子ども教室	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
6	児童クラブ（学童保育）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい→ 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7	ファミリー・サポート・センター	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
8	その他（公民館、公園など）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい

(2) 小学5年生

1	自宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
3	習い事・学習塾など	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
4	こどもセンター・児童館	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
5	放課後子ども教室	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
6	児童クラブ（学童保育）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい→ 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7	ファミリー・サポート・センター	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
8	その他（公民館、公園など）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい

(3) 小学6年生

1	自宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
3	習い事・学習塾など	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
4	こどもセンター・児童館	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
5	放課後子ども教室	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
6	児童クラブ（学童保育）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい→ 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7	ファミリー・サポート・センター	選	<input type="checkbox"/>	日くらい
8	その他（公民館、公園など）	選	<input type="checkbox"/>	日くらい

19

問39 問37と問38で「6. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におたずねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望がありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）～（3）それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制で記入ください（数字は一種に一文字）。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

(2) 日曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

(3) 祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

問40 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望がありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制で記入ください（数字は一種に一文字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

20

【職場の両立支援制度についておたずねします】

問41～問41-9は、母親及び父親それぞれについて、ご回答いただきませ。順番によって、次に答えていただく質問が母親、父親それぞれで違う場合がありますので、ご注意ください。

問41 すべての方におたずねします。宛名のおさんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（それぞれ1つ○）

母親		父親	
1. 取得した（取得中である）	⇒問41-2ハ	1. 取得した（取得中である）	⇒問41-2ハ
2. 取得していない	⇒問41-1ハ	2. 取得していない	⇒問41-1ハ
3. 働いていなかった	⇒問42ハ	3. 働いていなかった	⇒問42ハ

問41-1 問41で「2. 取得していない」に○をつけた方におたずねします。取得していない理由を次の1～16の中から、母親・父親それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親の取得していない理由

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
⇒問42ハ															

父親の取得していない理由

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
⇒問42ハ															

取得していない理由

- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 仕事に忙しかつた、仕事をしなかった
- （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 仕事に戻るのが難しそうだった
- 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 保育所などに預けることができた
- 配偶者が無職、祖父母等の親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できることを知らなかった
- 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 子育てが大変そうに思えたから
- その他（ ）

問41-2 問41で「1. 取得した（取得中である）」と回答した方におたずねします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ、1つに○）

母親（いずれかに○）		父親（いずれかに○）	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒問41-3ハ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒問41-3ハ
2. 現在も育児休業中である	⇒問41-9ハ	2. 現在も育児休業中である	⇒問41-9ハ
3. 育児休業中に離職した	⇒問42ハ	3. 育児休業中に離職した	⇒問42ハ

21

問41-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

問41-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親		父親	
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	希望 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	希望 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月
2. それ以外だった			

問41-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。口内に数字で記入ください（数字は一種に一文字、右詰め）。

(1) 母親

実際の取得期間 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月	希望 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月
---	--

(2) 父親

実際の取得期間 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月	希望 <input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月
---	--

問41-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。口内で数字で記入ください（数字は一種に一文字、右詰め）。

(1) 母親

<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月
---

(2) 父親

<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> 月
---

問41-4で実際の復帰と希望が異なる方におたずねします。

問41-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。

(1) 「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

母親		父親	
1. 希望する保育所に入るため	希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する保育所に入るため	希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）
2. 希望する保育所に入らなかったため			
3. 希望する保育所に入らなかったため			
4. 希望する保育所に入らなかったため			
5. その他（ ）			

22



(2)「希望」より遅く復帰した方 (それぞれあてはまる番号すべてに○)

母親	父親
1. 希望する保育所に入らなかったため	1. 希望する保育所に入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他	6. その他

問 41-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におたずねします。

問 41-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

母親	父親
1. 短時間勤務制度を利用した	1. 短時間勤務制度を利用した
2. 短時間勤務制度を利用しなかった	2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問 41-7で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方におたずねします。

問 41-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった、仕事をしなかった	2. 仕事が忙しかった、仕事をしなかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他	10. その他

問 41-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方におたずねします。

問 41-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

すべての方におたずねします。

問 42 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組みが、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間付けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じですか。(1つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 43 子育ての環境や市の子育て支援への満足度についてあてはまる番号に1つに○をつけてください。



問 44 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、12月23日(月)までに、  
切手を貼らずに投函してください。

- ・今回の調査にあたり、市役所等から電話で調査事項(個人情報等)をお尋ねすることはありません。
  - ・市役所の職員等が直接訪問をして、調査事項(個人情報等)をお尋ねしたり、調査票の回収をしたりすることはありません。(調査票は、同封の返信用封筒にてご返送ください)
  - ・不審に思われることがあった場合は、下記までお問い合わせください。
- お問い合わせ：相模原市子ども青少年課(子ども・子育て支援に関するアンケート調査担当)  
電話：042-769-9811(直通)

# ■小学校児童の保護者用

## 相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票 (小学生のお子さんの保護者様へ)

### 調査ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。相模原市では、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される環境を整備するため、平成16年度に「さがみはら いきいき親子 応援プラン（相模原市次世代育成支援行動計画）」を策定し、子育て・子育て支援施策を推進してまいりました。このたび、平成27年度から始まる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様の実生活やサービスへのニーズ等をお聞きする「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施することになりました。この調査をお願いするにあたりましては、区政支援課の保有する住民基本台帳を利用して小学生のお子さんをお持ちの方3,000人を無作為に選ばせていただきました。調査結果は全て統計的に処理されますので、お一人おひとりの回答内容が公表されることや調査の目的以外に使用されることは一切ございません。また、今回の調査は、他の調査と同時に実施しておりますので、お手元に複数の調査票が送付される場合がございますが、趣旨をご理解いただき、すべての調査にご協力くださいようお願い申し上げます。

平成25年12月

相模原市長 加山 俊夫

### 【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、宛名のお子さんの保護者の方が記入してください。(無記名ですべて、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 鉛筆や黒のボールペンなどで記入してください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「1つに○」「3つ以内で○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合があります。指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( ) 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時~18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ごつわり書きや封印に促して回答してください。特にごつわり書きのない場合は次の設問にお読みください。
- 設問や選択肢に使われている事業名や施設名の詳細は別紙「子育て支援サービス」保育サービス等の概要説明書をご覧ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**12月23日(月)**までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

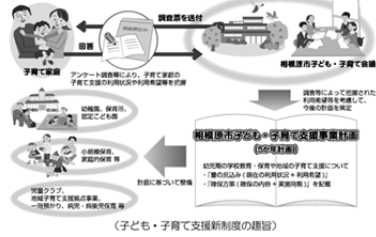
相模原市子ども青少年課 電話：042-769-9811

### 調査実施の趣旨とその目的

この調査は、幼稚園・保育所・児童クラブなどの教育・子育て支援を計画的に整備するために、住民の皆様の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。(この調査の回答(施設や事業の利用希望等)により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません)

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します(新制度は平成27年度から実施予定)。

### いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした養育形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を促して、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考えをもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

### 【お子さんとご家族の状況についておたずねします】

第1 お住まいの地区の番号に○をつけ、郵便番号の下2桁をご記入ください。

1. 緑区: 252-01   2. 中央区: 252-02    
 3. 南区: 252-03

第2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁一桁)  
 平成   年   月   生まれ  
例 平成17年4月生まれの場合 平成17年4月生まれ

第3 宛名のお子さんの兄弟姉妹について、□内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の生年月日をご記入ください。  
 人兄弟姉妹の  番目 末子の生年月日 平成   年   月   生まれ

第4 宛名のお子さんと同居されている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(兄弟姉妹は除く。あてはまる番号すべてに○)  
 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他( )

第5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)  
 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他( )

第6 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(1つに○)  
 1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

第7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)  
 1. 父も母も 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他( )

第8 世帯の年収を教えてください。(1つに○)  
 1. 1,00万円未満 2. 1,00万円以上2,00万円未満  
 3. 2,00万円以上3,00万円未満 4. 3,00万円以上4,00万円未満  
 5. 4,00万円以上5,00万円未満 6. 5,00万円以上6,00万円未満  
 7. 6,00万円以上

第9 宛名のお子さんの子育てにかかる費用は1か月いくらですか。おおよその金額を教えてください。  
 万円

1

### 第10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族のみでもらえる → 問10-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族のみでもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる → 問10-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない → 問11へ

### 第10-1 問10で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが気になる
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他( )

### 第10-2 問10で「3」または「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが気になる
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他( )

### 【日常の子育てについておたずねします】

第11 すべての方におたずねします。宛名のお子さんは1日に何時間くらいテレビやDVDなどを観ていますか。また、1日に何時間くらい携帯型ゲーム・テレビゲームで遊んでいますか。(数字は一桁一桁、右詰め)

テレビやDVD 約   時間 携帯型ゲーム・テレビゲーム 約   時間

第12 宛名のお子さんはお子さん専用の携帯電話、スマートフォンなどを持っていますか。  
 1. 持っている 2. 持っていない

第13 宛名のお子さんは、パソコンを自分で使っていますか。  
 1. 子ども専用のパソコンがあり、使っている  
 2. 家族で共有のパソコンがあり、使っている  
 3. 家にパソコンはあるが、子どもは使っていない  
 4. パソコンは持っていない

2

問 14 宛名のお子さんは、自宅でインターネットをしていますか。  
 1. インターネットをしている 2. インターネットをしていない

問 14-1 問 14 で「1. インターネットをしている」に○をつけた方におたずねします。一日平均でどのくらいの時間インターネットをしていますか。(数字は一字一語、右詰め)  
 平日 1日のうち □□時間 休日 1日のうち □□時間

問 15 すべての方におたずねします。宛名のお子さんが、食事(朝食、昼食、夕食のいずれかを除外)をとることはありますか。(1つに○)  
 1. ある 1月 □□回くらい 2. ない

問 16 宛名のお子さんは毎日朝食を食べていますか。(1つに○)  
 1. 毎日食べている 2. 食べる日の方が多い  
 3. 食べる日の方が少ない 4. 全く食べない

問 17 次のア～エについて、意図的に気をつけて実行していますか。(それぞれ1つに○)  

ア. 栄養のバランスをとる	1. はい	2. いいえ
イ. 間食をしすぎない	1. はい	2. いいえ
ウ. 夜遅くに食べない	1. はい	2. いいえ
エ. 家族で食事をとる	1. はい	2. いいえ

問 18 宛名のお子さんが起きる時間帯、一緒に過ごす時間はどのくらいですか。(数字は一字一語、右詰め)  

母親(父子家庭は記入不要です)	父親(母子家庭は記入不要です)
平日 □□時間	平日 □□時間
休日 □□時間	休日 □□時間

問 19 子育てでどうしていいかわからなくなることはありますか。(1つに○)  
 1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. ない

問 20 やる気がおこらず、お子さん(宛名のお子さんに限らず)の世話をしたくない時がありますか。(1つに○)  
 1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. ない

問 21 自分はお子さんを虐待していると思うことがありますか。(1つに○)  
 1. よくある } ⇒ 問 21-1 へ  
 2. ときどきある }  
 3. ほとんどない } ⇒ 問 22 へ  
 4. ない }

問 21-1 問 21 で「1.よくある」「2.ときどきある」に○をつけた方におたずねします。子どもを虐待していると思うのはどのような時ですか。(あてはまる番号すべてに○)  
 1. 子どもをたたいたり、つねったりする  
 2. 食事を与えない、お風呂に入れないなどの世話をしない  
 3. 程度でもできるまでやらせると厳しくしつける  
 4. 言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視  
 5. その他( )

問 22 すべての方におたずねします。日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。(3つ以内で○)  

1. 親の不安や悩みへの相談	2. 子育てに関する総合的情報提供
3. 子育て中の親同士との仲間作り	4. 子育てについての講座
5. 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供	6. 子どもを遊ばせる場や機会の提供
7. 親のフレッシュの業や機会の提供	8. 父親の育児参加に関する意識啓発
9. 子どもの病気や障害についての相談	10. その他( )
11. 特にない	

**【子育てに対する考え方についておたずねします】**

問 23 子育てと仕事について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つに○)  
 1. 子育てと仕事を両立させたい  
 2. 仕事よりも子育てを優先させたい  
 3. 子育てより仕事を優先させたい  
 4. その他( )

問 24 家で子育てをする上で、大切なことは何だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つに○)  
 1. 子どもを精神的に育てるサービスなどを利用して、自由な時間を持つことが大切だ  
 2. 自由な時間を持つよりも、家で子どもといっしょに時間を多く持つことが大切だ  
 3. 様々な体験や交流の機会が持てるように、地域や学校行事などに親子で参加することが大切だ  
 4. その他( )

問 25 あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。(1つに○)  
 1. 満足している 2. どちらかといえば満足している  
 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない  
 5. 満足していない

問 26 子育てで良かったこと、うれしかったことは何ですか。(3つ以内で○)  

1. 子どもを持つ喜びが実感できたこと	2. 子どもの成長
3. 子育てを通して自分も成長できたこと	4. 配偶者との関係が良くなったこと
5. 家族の会話が増えたこと	6. 家庭が明るくなったこと
7. 子育てを通して友人が増えたこと	8. 自分の親への感謝の気持ちが生まれたこと
9. その他( )	

問 27 「子どもを養育すること」を、今の社会は十分に評価していると思いますか。(1つに○)  
 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う  
 3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない  
 5. そう思わない

問 28 あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全部で何人の子どもを持つつもりですか。(「①理想的な子どもの人数」「②持つつもりの子どもの人数」をそれぞれ記入)  

①理想的な子どもの人数	人	⇒	②持つつもりの子どもの人数	人
-------------	---	---	---------------	---

問 28-1 問 28 で「②持つつもりの子どもの人数」が「①理想的な子どもの人数」より少ない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)  

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 子どもの預け先がなく、自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
4. 子どもが心のケアや社会適応ではないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高齢で子育ての負担が大きいから
7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. 欲しければ子どもでいいから
10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
11. 配偶者が健康なから
12. 定年退職までに、一冊末の子が成人してほしいから
13. 夫婦で生活するのが精一杯だから
14. 国や自治体の施策が不十分だから
15. その他( )
16. 特にない

問 29 すべての方におたずねします。次の(1)～(4)について、子どもが思うことを聞かないときなどに、親が子どもに対するしつけとして行うことをどうお考えですか。(それぞれ1つに○)  

項 目	しつけをしない	たまにしかしない	する	わかっていない
(1) 子どもをたたいたり、つねったりする	1	2	3	4
(2) 食事を与えない、お風呂に入れないなどの世話をしない	1	2	3	4
(3) 程度でもできるまでやらせると、厳しくしつける	1	2	3	4
(4) 言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視	1	2	3	4

問 30 子どもの権利について、特に大切だと思うことはどのようなことですか。(3つ以内で○)  

1. 子どもが自分自身を大切に、他の人も大切にすること
2. 衣・食・住など、安心で安全な基本生活をおくること
3. 孤立した人への声援や助けを求められ、人と違う自分らしさが守られること
4. 自分の考えをいつでも自由に言えること
5. おとなが子どもにも気持ちを伝え、自由な意見を聞き出すこと
6. すべての子どもが差別されずに育てられること
7. どの子どもにもいじめや虐待から守られ、困ったときには相談する場があること
8. 遊んだり、寝たりしたときは休む権利など自由になる時間を持つこと
9. 自分の秘密が守られること
10. 子どもが安心して過ごすことができること
11. 暴力や虐待で傷つけられないこと
12. 家族が仲良く、一緒に過ごす時間をもつこと
13. 「子どもの権利条約」について知ること
14. 子どもが、自分のことは自分で決められること
15. 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること
16. 子どもが健康やかに成長できるように、家庭・学校・地域・企業・行政など、地域社会が一体となって取り組むこと
17. 保護者の所得にかかわらず、学校以外の場所でも、学ぶ権利が守られること
18. その他( )
19. 特にない

問 31 宛名のお子さんの小学校生活について、不安に思うことはどのようなことですか。(3つ以内で○)  

1. 規則正しい生活を求めているか	2. 登下校時に事故や犯罪の被害にあわないか
3. 友だちと仲良くできるか	4. いじめにあっていないか
5. いじめにかかわっていないか	6. 落ちついた態度で授業を受けているか
7. 自分の思いを話すことができていないか	8. 授業についていけないか
9. 給食をきちんと食べているか	10. その他( )
11. 特にない	

問 32 宛名のお子さんが、犯罪の被害にあったことはありますか。(1つに○)  
 1. ある 2. あいそになったことはある 3. ない

**【保護者の方の就労状況についておたずねします】**

※問 33～問 34 8 月、母親及び父親それぞれについて、ご回答ください。回答によって、次に書かれています  
 1. 母親、父親それぞれについて、お答えください。母子家庭、父子家庭の方は該当するほうのみご記入ください。(1つに○)  
 2. 母親、父親それぞれについて、お答えください。

問 33 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、母親、父親それぞれについて、お答えください。母子家庭、父子家庭の方は該当するほうのみご記入ください。(1つに○)

母親 (父子家庭は記載不要です)	父親 (母子家庭は記載不要です)
1. フルタイム(※1)で就労しており、現在、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム(※1)で就労しており、現在、産休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、現在、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(※2)で就労しており、現在、産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等(※2)で就労しており、現在、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、現在、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

※1 フルタイム・・・1週5日勤務かつ1日8時間勤務  
 ※2 パート・アルバイト等・・・フルタイム以外の勤務

問 33-1 問 33 で「1～4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

1 週当たりの「就労日数」1 日当たりの「就労時間」(就業時間を含む)、家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも長いターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字をご記入ください。数字は一種に一字、右詰め)

母親 (父子家庭は記入不要です)	父親 (母子家庭は記入不要です)
就労日数 1 週当たり □ 日	就労日数 1 週当たり □ 日
就労時間 1 日当たり □ □ 時間	就労時間 1 日当たり □ □ 時間
家を出る時刻 □ □ 時 (24 時間制で記載)	家を出る時刻 □ □ 時 (24 時間制で記載)
帰宅時刻 □ □ 時 (24 時間制で記載)	帰宅時刻 □ □ 時 (24 時間制で記載)

⇒問 34 へ

問 33-2 問 33 で「5」以前は就労していたが、現在は就労していないまたは「6」これまで就労したことがないに○をつけた方におたずねします。就労したいという希望がありますか。あてはまる番号・記号をそれぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一種に一字、右詰め)。

母親 (父子家庭は記載不要です)	父親 (母子家庭は記載不要です)
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが□ □ 歳になったときに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが□ □ 歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 →1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 →1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間

問 33-3 問 33-2 で「2 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」を選んだ方におたずねします。それは、今から約何年後ですか。(数字は一種に一字、右詰め)

母 親	父 親
約 □ □ 年後	約 □ □ 年後

問 33-4 問 33-2 で「3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方におたずねします。就労希望がありながら、現在、働くことができない理由は次のどれにあたりますか。(1つに○)

母親 (父子家庭は記入不要です)	父親 (母子家庭は記入不要です)
1. 児童クラブなどのサービスが利用できない	1. 児童クラブなどのサービスが利用できない
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない	2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない	3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 希望の収入が得られる仕事がない	4. 希望の収入が得られる仕事がない
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
6. その他 ( )	6. その他 ( )

**【子どもの預かり事業等の利用についておたずねします】**

問 34 すべての方におたずねします。この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、私用など)により、宛名のお子さんを家庭以外の誰かが一時的に預けたりはありましたか。(1つに○)

1. あった (預け先が見つらなかった場合を含む) ⇒問 34-1 へ 2. なかった ⇒問 35 へ

問 34-1 問 34 で「1. あった」に○をした方におたずねします。実際に預けたときの理由とそれぞれのおおそれの日数、年間の合計日数を記入してください。(数字は一種に一字、右詰め)

ア 私人(親戚、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の近い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 日	計 □ □ 日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	□ □ 日	
ウ 不定期の就労	□ □ 日	
エ 預け先が見つらなかった	□ □ 日	
オ その他 ( )	□ □ 日	

問 35 すべての方におたずねします。この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家庭以外に預けたりはありましたか(預け先が見つらなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(数字は一種に一字、右詰め)。

1 年間の対応方法 (別紙参照)	日 数
1. なかった	⇒問 36 へ
2. あった	
ア 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	□ □ 泊 ⇒問 35-1 へ
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	□ □ 泊
ウ ベビーシッター等を利用した	□ □ 泊
エ やむを得ず子どもを同行させた	□ □ 泊 ⇒問 36 へ
オ やむを得ず子どもだけを留守番させた	□ □ 泊
カ 保護者の用事をとりやめた	□ □ 泊
キ その他 ( )	□ □ 泊

問 35-1 問 35 で「2 あった ア 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方におたずねします。親族・知人にみてもらうことは困難でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難だった 2. どちらかという困難だった 3. 特に困難ではなかった

問 36 すべての方におたずねします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで、学校を休んだことはありましたか。(1つに○)

1. あった ⇒問 36-1 へ 2. なかった ⇒問 37 へ

問 36-1 問 36 で宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合この1年間に1日ごとの対応方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(平日程度の場合は1日とカウントしてください。数字は一種に一字、右詰め)。

1 年間の対応方法 (別紙参照)	日 数
ア 父親が休んだ	□ □ 日
イ 母親が休んだ	□ □ 日
ウ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
エ 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	□ □ 日
オ 病児・病後児の保育を利用した(保育所で実施しているサービスを含む)	□ □ 日
カ ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク やむを得ず子どもだけを留守番させた	□ □ 日
ク その他 ( )	□ □ 日

問 37 すべての方におたずねします。ベビーシッターを利用していますか。(数字は一種に一字、右詰め)

1. 利用している ⇒月 □ □ 日くらい 1 回あたり □ □ 時間程度 ⇒問 37-1 へ  
 2. 利用していない ⇒問 38 へ

問 37-1 問 37 で「1. 利用している」と書かれた方におたずねします。どのような目的で利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの病気、けが等の緊急時に利用 2. 祖父母や近所の人・友人等預かってもらえない時に利用  
 3. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出時に利用 4. その他 ( )

問 38 すべての方におたずねします。ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(1つに○)  
また、利用している場合は利用日数と1回あたりの利用時間をご記入ください。(数字は枠に一字、右詰め) ※「ファミリー・サポート・センター」…別紙参照

1. 利用している ⇒月に  日くらい 1回あたり  時間程度  
2. 利用していない

問 38-1 問 38 でファミリー・サポート・センターを「1. 利用している」とお答えの方はその利用目的を、「2. 利用していない」とお答えの方は利用していない主な理由をお答えください。

「1. 利用している」とお答えの方	「2. 利用していない」とお答えの方
利用目的 (あてはまるものすべてに○) 1. 主たる保育サービスとして利用 2. 保育施設等(児童クラブ等)の利用で足りない時間を補う目的で利用(朝・夕等) 3. 子どもの病気・けが等の緊急時に利用 4. 祖父母や近所の人・友人に預かってもらえない時に利用 5. 臨時預けや預けい物等の外出時に利用 6. 学校、児童クラブ等の送り迎えに利用 7. その他( )	利用していない主な理由(1つに○) 1. 必要がないから 2. 近くにないから 3. 利用料が高いから 4. 手続きが大変そうだから 5. ファミリー・サポート・センターを知らない 6. その他( )

【放課後や休日の過ごし方についておたずねします】

問 39 すべての方におたずねします。平日の放課後、宛名のお子さんはどのように過ごしていますか。

14～16時	16～18時	18～20時
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※別紙等にご記入の多い順に下から、下の一覧から選んで、上の表に番号を1つずつ記入してください。

問 40 学校が休みの土曜日や休日(日曜日・祝日)、宛名のお子さんは、どのように過ごしていますか。

土曜日			休日(日曜日・祝日)		
朝起きてから、 昼食まで	昼食後、 夕食まで	夕食後	朝起きてから、 昼食まで	昼食後、 夕食まで	夕食後
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※別紙等にご記入の多い順に下から、下の一覧から選んで、上の表に番号を1つずつ記入してください。

過ごし方一覧 (原目を選んで問 39 と問 40 の各項目に1つずつ記入する)

1. 小学校にいる	2. 学習塾や習い事に行っている
3. 自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	4. 自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている
5. 自分の家の中で、ひとりで過ごしている	6. 児童クラブにいる*
7. こどもセンター*・児童館にいる	8. 図書館や公民館等の公的施設にいる
9. 公園など、屋外で遊んでいる	10. 地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している
11. 保護者や祖父母等と外出している	12. その他( )

※こどもセンター内の児童クラブを利用している場合は「12.」に回答

【児童クラブ等についておたずねします】

\*児童クラブとは、地域によって学童保育などと併設し、保護者がが労働等により家庭環境にない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。また、この中で「児童クラブ」とは、小学校やこどもセンターにある児童クラブと小学校周辺にある児童クラブすべてをこの意味で指します。

問 41 すべての方におたずねします。宛名のお子さんは、現在、児童クラブを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している ⇒問 41-1～4へ 2. 利用していない ⇒問 41-5～6へ

問 41-1 問 41 で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。利用日数はどれくらいですか。(数字記入) そのうち土曜日の利用はありますか。(1つに○)

週  日くらい ⇒ うち 土曜日の利用は 1. ある 2. ない

続いて、利用時間等をそれぞれご記入ください。(24時間制で記載。数字は枠に一字、右詰め)

平日 時間帯:  時  分から  時  分ごろまで  
土曜 時間帯:  時  分から  時  分ごろまで

問 41-2 問 41 で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。利用時間は希望に沿っていますか。希望どおりではない場合、希望する利用時間をご記入ください。

1. 利用時間は希望どおりである 2. 利用時間は希望どおりではない

「2. 利用時間は希望どおりではない」とお答えの方は、希望する利用時間等をそれぞれご記入ください。(24時間制で記載。数字は枠に一字、右詰め)

平日 時間帯:  時  分から  時  分ごろまで  
土曜 時間帯:  時  分から  時  分ごろまで  
日曜・祝日 時間帯:  時  分から  時  分ごろまで

問 41-3 問 41 で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。利用の主な理由は得ですか。(1つに○)

1. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している  
2. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定である、求職中である  
3. お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族等を介しなければならぬ  
4. お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害がある  
5. お子さんの身の回りの世話をしている方が出産前後である  
6. お子さんの兄弟姉妹の都合(病気等や学校行事など)のため  
7. その他( )

問 41-4 問 41 で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。現在利用している児童クラブについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

項 目	大変満足	満足	やや不満	大変不満
ア. 施設・環境	1	2	3	4
イ. 指導員の配置状況や子どもの接し方	1	2	3	4
ウ. 子どもの過ごし方	1	2	3	4
エ. 病気、けが等の対応	1	2	3	4
オ. 保護者への情報提供	1	2	3	4
カ. 保護者からの要望・意見への対応	1	2	3	4
キ. 安全・衛生対策	1	2	3	4
ク. 利用料金	1	2	3	4

⇒問 42へ

問 41-5 問 41 で「2. 利用していない」方におたずねします。その主な理由は得ですか。(1つに○)

1. 保護者や祖父母等が働いているので必要ない  
2. 小学4年生以上なので公立の児童クラブに入会できないから  
3. 近くに児童クラブがないから  
4. 児童クラブに空きがないから  
5. 児童クラブの場所が遠いから  
6. 児童クラブは利用料がかかるから  
7. 子どもは放課後の習い事などをしてから  
8. 放課後の時間帯なら子どもだけで大丈夫だから  
9. 他の施設に預けているから  
10. その他( )

問 41-6 問 41 で「2. 利用していない」方におたずねします。小学生1年生～3年生の保護者の方におたずねします。小学校3年生までの間に、宛名のお子さんについて、児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○) また、利用したい場合はその日数を記入し、土・日曜日の利用希望についてお答えください。

1. 利用したい ⇒ 週  日くらい ⇒ うち土曜日の希望 1. ある 2. ない  
日曜・祝日の希望 1. ある 2. ない  
2. 利用しない

問 42 すべての方におたずねします。児童クラブの小学校4年生以上の利用希望について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 平日

学 年	利用希望
4年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
5年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
6年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない

(2) 土曜日

学 年	利用希望
4年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
5年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
6年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない

(3) 日曜日・祝日

学 年	利用希望
4年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
5年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
6年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない

(4) 長期休暇期間

学 年	利用希望
4年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
5年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない
6年生	1. 利用したい(利用したかった) 2. 利用しない

問 42-1 問 42 で「1. 利用したい(利用したかった)」とお答えの方におたずねします。今後、利用したい主な理由は得ですか。(1つに○)

1. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している  
2. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定である、求職中である  
3. お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族等を介しなければならぬ  
4. お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害がある  
5. お子さんの身の回りの世話をしている方が出産前後である  
6. お子さんの兄弟姉妹の都合(病気等や学校行事など)のため  
7. その他( )

【市の取組み等についておたずねします】

問 43 すべての方におたずねします。相模原市では、さまざまな形で子育てについての情報や学習機会を提供しています。以下の方で、最も良く使われるものを選んでください。(3つ以内で○)

1. 広報さがみはら 2. 暮らしのガイド(ナイスガイドさがみはら)  
3. 市のホームページ 4. 子育てガイド  
5. 母子健康手帳 6. 学校にふり  
7. 保育所で実施する保育ワークショップなどの情報 8. こどもセンターや公民館などで行う子育て講座  
9. その他( ) 10. 特になし

問 44 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(3つ以内で○)

1. 地域の交通安全活動の充実・強化  
2. 歩行者や自転車のための交通安全施設(ガードレール、歩道橋等)の整備  
3. 地域ぐるみでのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取組  
4. 道路にありそくなった時の対応についての教育  
5. 不審者の侵入防止など、学校の安全管理  
6. 通学路や子どもとの遊び場(公園等)の安全対策(防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等)  
7. 公園の遊具の安全性の確保  
8. その他( )  
9. 特になし

問 45 子育てと仕事の両立を図るためには、企業などに求める制度や取り組みはどのようなものが必要と考えられますか。(5つ以内で〇)

1. 妊娠中の通勤、就労等に対して便宜を図る制度
2. 出産前後の休暇を延長して取れる制度
3. 配偶者の出産前後に休暇を取れる制度
4. 子どもの状況（病気や行事など）に応じて休暇がとれる制度
5. 年次有給休暇の取得促進
6. 子どもが1歳になるまでの育児休業期間に手当が支給される制度
7. 育児休業期間を1年以上延長して取れる制度
8. 育児休業中の情報提供や復帰研修等を実施する制度
9. 育児休業中に代替職員を派遣する制度
10. 育児のために自宅仕事をするのできる制度
11. 育児のために必要な期間、就業時間を短縮することができる制度
12. 育児のために就業時間がある程度変更することができる制度
13. ノー残業デーの導入等により就業時間を短縮する制度
14. 所定外労働を免除する制度
15. 出産・育児のために会社を辞めた女性を再雇用する制度
16. 企業内に保育所を設けること
17. 各種制度を取りやすいように企業内の育児に努めること
18. 男性も各種制度の適用対象とし、子育てに積極的に取り組めるように企業が支援すること
19. その他( )
20. 特になし
21. わからない

問 46 今後、市が行う子育て支援策として、どのような取り組みを望みますか。(3つ以内で〇)

1. 子育て中の親子が交流できる場づくりなど、地域における子育て支援サービスの充実
2. 乳幼児健康診査の充実など、子どもと母親の健康の確保や増進
3. 次世代の親となる人の育成など、子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備
4. 良質な住宅の確保など、子育てを支援する生活環境の整備
5. 男性を含めた働き方の見直しなど、職業生活と家庭生活の両立の推進
6. 子どもの交通安全を確保するための活動の推進など、子どもの安全確保
7. その他( )
8. 特になし
9. わからない

問 47 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 産後の体調不良で家事や育児が困難な場合に、ヘルパーを派遣する
2. 緊急・一時的に保育が必要となる子どもの保育を行う
3. 就学前の子どもでも病気の回復期にあり、保育所や幼稚園にいけない場合に、子どもの保育を行う
4. 市の認定を受けた保育者が、自宅で3歳未満の子どもの面倒を見る
5. 育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員となり、育児について相互に援助する（ファミリー・サポート・センター事業）
6. 入浴等により保護者が負担または夜間、緊急・一時的に不在となる場合に、子どもを短期間預けさせたり、食事の提供を行うなどの養育を行う
7. 主に幼児をもつ子育て中の親子が気軽に集える場や育児相談できる場を提供する
8. 子育てマップ、子育てガイドブック等を配布するなど、多様な子育て支援サービスの情報提供を行う
9. こどもセンターや児童館、公民館、青少年学習センターなどの事業や活動を充実する
10. 放課後の小学校で地域の力や協力を得て、小学生が体験活動やスポーツを行うなどの安全・安心な活動の場づくりを進める
11. 幼稚園の施設開放や子育て相談、未就園児の親子登園等を進める
12. 子育てに不安や悩みを持つ親の支援として、24時間対応の子育てホットラインを設置する
13. その他( )
14. 特になし
15. わからない

問 48 「子どもと母親の健康の確保や増進」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 乳幼児健康診査を充実する
2. 赤ちゃんが生まれた家庭を全戸訪問し、子育ての情報提供や育児相談などを行う
3. 妊婦に対して、母親・父親教室（ハロー・マザークラス）等の出産準備教育や相談の場を提供する
4. 母親の健康相談を充実する
5. 食に関する学習の機会や情報提供を進める
6. 正しく正しい知識の普及を図る
7. 産科救急医療、小児救急医療等の医療体制を充実する
8. 乳幼児医療助成を充実する
9. 児童虐待防止対策を充実する
10. その他( )
11. 特になし
12. わからない

問 49 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 中高校生等が幼児とふれあう機会を創出するための取組を進める
2. 子どもたちが、学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等を高めたくいかなる学力を身に付けることができる取組を進める
3. 道徳教育の充実や地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を進める
4. 学校におけるスポーツ推進の充実を図る
5. 学校評議員制度等の活用などにより、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める
6. 家庭や地域と連携し、学校における安全管理の取組など、学校を支える体制づくりを進める
7. 幼児教育についての情報提供等、幼児教育の充実を図る
8. 子どもの発達段階に応じた家庭教育についての学習機会や情報の提供、相談体制の整備
9. 小学校入学後の生活が円滑に進むよう、幼稚園、保育所、小学校の連携を深める
10. 地域における世代間交流の推進や学校施設の地域開放等により、地域の教育力を向上させる
11. その他( )
12. 特になし
13. わからない

※学校評議員制度とは、学校運営に関して、学校長の求めに応じて地域の代表が意見を述べられる制度です。

問 50 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 子育てに適した住宅の供給や取得を促進する
2. 公営住宅について、子育て期にある多世代若くはひとり親家庭等を優先入居させる
3. 親子が安全・安心に通学することができるよう、幅の広い歩道の整備など安全な道路交通環境の整備を進める
4. 歩いて利用できる距離に、子どもの遊び場や公園を整備する。
5. すべての人が安心して外出できるように、公園や公共施設等において段差を解消するなどのバリアフリー化を進める
6. 通学路における防犯等やガードレールの整備推進など、子どもが犯罪や交通事故の被害にあわないようまちづくりを進める
7. 公共施設に、授乳室、ベビーベッド等の子育て世帯が利用しやすい設備を整える
8. その他( )
9. 特になし
10. わからない

問 51 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 「男は仕事、女は家庭」などといった役割分担意識や慣行の見直しに向けた啓発等を進める
2. 男性の家事・育児参加を促進する
3. 企業が家庭生活との両立で理解を深めるための啓発等を進める
4. 保育サービスなど子育てを支援する制度を充実する
5. 子育てに関する情報提供等を充実する
6. 多様な働き方が可能となる制度や環境を整備する
7. 子育て家庭に対する社会保険制度を充実する
8. その他( )
9. 特になし
10. わからない

問 52 「子どもの安全の確保」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で〇)

1. 交通安全教室の充実を図る
2. チャイルドシートの着用率向上など、チャイルドシートを利用しやすい環境づくりを進める
3. 児童・幼児が自転車に乗る際のヘルメット着用への取組を進める
4. 学校付近や通学路等、P.T.A.など学校関係者や防犯ボランティア等の連携によるパトロール活動を進める
5. 子どもを対象とした防犯講座を実施する
6. 「こども110番の家」等、緊急避難場所の設置と周知を進める
7. 保育園、幼稚園、学校などへの不審者の侵入を防ぐための取組を進める
8. その他( )
9. 特になし
10. わからない

問 53 子育ての満足度や市の子育て支援への満足度について当てはまる番号に1つに〇をつけてください



問 54 安心して子どもを産み、健やかに育てていくための国・県・市の取組みや、社会の制度のあり方など、ご意見がありましたら、自由に記入してください


ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れ、12月23日(月)までに、  
切手を貼らずに投函してください。

・今回の調査に当たり、市役所等から電話で調査事項（個人情報等）をお尋ねすることはありません。  
・市役所の職員等が直接訪問して、調査事項（個人情報等）をお尋ねしたり、調査票の回収をしたりすることはありません。（調査票は、同封の返信用封筒にてご返送ください。）  
・不審に思われることがあった場合は、下記までお問い合わせください。  
お問い合わせ：相模原市こども青少年課（子ども・子育て支援に関するアンケート調査担当）  
電話：042-769-9811（直通）

■子ども本人(11歳・14歳・17歳を迎える人)用

**相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票**  
(平成25年度に11歳・14歳・17歳を迎える皆様へ)

**調査ご協力のお願い**

皆様には、日ごろから市政に対してご協力をいただき、ありがとうございます。相模原市では、平成27年度から始まる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、皆様のお考えをお聞きする「アンケート調査」を実施することになりました。この調査をお願いするにあたりましては、市役所が持っている住民基本台帳を利用して市内にお住まいの今年度中に11歳・14歳・17歳を迎える方1,500人を無作為(くじ引きに似た方法)に選ばせていただきました。

お答えいただいた結果は報告書にまとめる予定ですが、あなたのお名前がたり、ご迷惑をおかけしたりするようことはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答くださいますようお願いいたします。

平成25年12月  
相模原市長 加山 俊夫

**【ご記入にあたってのお願い】**

- アンケートには、宛名のご本人が記入してください。(無記名なので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 鉛筆や黒のボールペンなどで記入してください。
- 答えは、あてはまる答えの番号を選び、○でかこんでください。
- 答えの○の数は「1つに○」「いくつでも○」などと数が多いので、注意してください。
- 「その他」とお答えいただいた場合、その後に( )内に詳しい内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)を記入する場合は、24時間(例:午後6時~18時)で記入してください。
- 間いによって、答えのものやそうでないものがあります。その説明をよく読んで最後まで書いてください。
- ご記入が済みましたら、この調査票と一緒に入っている返信用封筒に入れて、**12月23日(月)**までにポストに入れてください。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

**相模原市子ども青少年課 電話:042-769-9811**

**このページは、お父さん・お母さんなどおとなの人に読んでもらってください。**

保護者の皆様へ

相模原市では、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される環境を整備するため、平成16年度に「さがみはら いきいき親子 応援プラン(相模原市次世代育成支援行動計画)」を策定し、子育て・子育て支援施策を推進してまいりました。

このたび、平成27年度から始まる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様の実生活やサービスへのニーズをお聞きする「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施することになりました。

この調査をお願いするにあたりましては、区政支援助で保有している住民基本台帳を利用して、今年度中に11歳、14歳、17歳を迎える方1,500人を無作為に選ばせていただきました。

アンケートの設問などは、子どもたちが自分で理解できるように、なるべくやさしい表現を心がけましたが、保護者の皆様にお聞きになることも考えられます。そのような時には、お手数ですがご説明くださいますようお願いいたします。

なお、無記名方式のアンケートでございますので、ご協力いただくお子様や保護者の皆様のお名前がわかり、ご迷惑をおかけしたりするようないことは一切ございませんので、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

• 今回の調査にあたり、市役所等から電話で調査事項(個人情報等)をお尋ねすることはありません。

• 市役所の職員等が直接訪問をして、調査事項(個人情報等)をお尋ねしたり、調査票の回収をしたりすることはありません。(調査票は、同封の返信用封筒にてご返送ください。)

• 不審に思われることがあった場合は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ:相模原市子ども青少年課(子ども・子育て支援に関するアンケート調査担当)  
電話:042-769-9811(直通)

質問がよくわからない場合は、お父さんやお母さんなど大人のの人に聞いてください。

**【最初に、あなたとご家族のことについておたずねします】**

問1 お住まいの場所について、お答えください。

1. 緑区	2. 中央区	3. 南区
-------	--------	-------

問2 あなたの性別についてお答えください。(1つに○)

1. 男	2. 女
------	------

問3 あなたは何人きょうだい(あなたを人数に答める)ですか。(1つに○)

1. ひとりっ子	2. 2人きょうだい
3. 3人きょうだい	4. 4人きょうだい
5. 5人きょうだい	6. 6人以上のきょうだい

問4 あなたは、次のうちのどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 小学生	2. 中学生
3. 高校生	4. 就職している
5. 1~4以外 (具体的に)	

問5 あなたのきょうだい以外で、あなたといっしょにくらしている人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん	2. お父さん	3. おじいさん
4. おばあさん	5. その他の親戚	6. その他

問5-1 いっしょにくらしている人は、全員(あなたをいれて)で何人ですか。(1つに○)

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人
5. 5人	6. 6人
7. 7人	8. 8人
9. 9人	10. 10人以上

問6 あなたといっしょにくらしている人以外で、あなたの近く(だいたい30分以内で行き来できる範囲)に住んでいる親族はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん	2. お父さん	3. おじいさん	4. おばあさん
5. その他の親戚	6. その他	7. 近くにはいない	

問7 あなたのお父さん、お母さんはどのように働いていますか。(それぞれ1つに○)

お父さん	お母さん
1. 会社や役所などで毎日働いている	1. 会社や役所などで毎日働いている
2. 自分でお店や会社を経営している	2. 自分でお店や会社を経営している
3. 会社や役所などで短時間や臨時に働いている	3. 会社や役所などで短時間や臨時に働いている
4. 家のしたくなど、家の仕事をしている	4. 家のしたくなど、家の仕事をしている
5. 働いていない	5. 働いていない
6. その他 (具体的に)	6. その他 (具体的に)
7. お父さんはいない	7. お母さんはいない

**【日ごろの生活や活動についておたずねします】**

問8 あなたは平日、何時に起きて、何時に寝ますか。(それぞれ1つに○)

起きる時間	寝る時間
1. 午前 5時台	1. 午後 7時台
2. 午前 6時台	2. 午後 8時台
3. 午前 7時台	3. 午後 9時台
4. 午前 8時台	4. 午後 10時台
5. 午前 9時台	5. 午後 11時台
6. 午前 10時台	6. 午前 0時台
7. 午前 11時以降	7. 午前 1時以降

問8-1 あなたは平日どのくらい寝りますか。(1つに○)

1. 5時間未満	2. 5時間~6時間未満
3. 6時間~7時間未満	4. 7時間~8時間未満
5. 8時間~9時間未満	6. 9時間~10時間未満
7. 10時間~11時間未満	8. 11時間以上

問8-2 あなたは朝すっきりめざますか。(1つに○)

1. 毎朝すっきりしている	2. すっきりしているときが多い
3. すっきりしているときが少ない	4. 毎朝すっきりしない
5. その他 (具体的に)	

問9 あなたは平日の朝食や夕食はどのようにしていますか。(それぞれ1つに○)

1. たいてい家族といっしょに食べる	1. たいてい家族といっしょに食べる
2. たまに家族といっしょに食べる	2. たまに家族といっしょに食べる
3. たいていひとりで食べる	3. たいていひとりで食べる
4. ほとんど朝食は食べない	4. ほとんど夕食は食べない

問10 あなたの家では家族とよく遊んだり話したりしますか。(それぞれ1つに○)

1. よく遊ぶ	1. よく話す
2. ときどき遊ぶ	2. ときどき話す
3. ほとんど遊ばない	3. ほとんど話さない
4. 遊ばない	4. 話さない

問11 あなたは日ごろ、主にどこで過ごしていますか。放課後(または仕事後)と休日にわけてお答えください。(それぞれ3つに○)

1. 学校(クラブ活動なども含む)	1. 学校(クラブ活動なども含む)
2. 自宅	2. 自宅
3. 友だちの家	3. 友だちの家
4. 親戚の家	4. 親戚の家
5. 学習塾や習い事	5. 学習塾や習い事
6. 児童クラブ	6. 児童クラブ
7. 図書館や公民館など	7. 図書館や公民館など
8. こどもセンターや児童館	8. こどもセンターや児童館
9. 地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	9. 地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している
10. 公園や広場など	10. 公園や広場など
11. コンビニエンスストアやショッピングセンターなど	11. コンビニエンスストアやショッピングセンターなど
12. ファーストフード店やファミリーレストランなどの飲食店	12. ファーストフード店やファミリーレストランなどの飲食店
13. ゲームセンターやカラオケボックス	13. ゲームセンターやカラオケボックス
14. アルバイト先	14. アルバイト先
15. その他(具体的に )	15. その他(具体的に )

3

問11-1 問11で○をつけたところで過ごしているときは楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しいときが多い	⇒問12へ
2. 楽しいときとつらいときが同じくらい	⇒問12へ
3. つらいときが多い	⇒問11-2へ
4. 楽しくもつらくもない	⇒問12へ

問11-2 問11-1で「3. つらいときが多い」とお答えの方におたずねします。どうしてつらいときが多いのですか。(いくつでも○)

1. 先生や指導者が好きになれない	2. 友だちや周りの人が好きになれない
3. 親などから言われて無理にしている	4. 親が反対している
5. 施設や遊び場が整っていない	6. お金がかかる
7. 活動するための時間が少ない	8. なんとなく
9. その他(具体的に )	

問12 すべての方におたずねします。あなたは自宅では、主にだれと過ごしていますか。放課後(または仕事後)と休日にわけてお答えください。(それぞれ1つに○)

1. 親やおじいさん、おばあさんなど、保護者といっしょにすることが多い	1. 親やおじいさん、おばあさんなど、保護者といっしょにすることが多い
2. きょうだいや友だちなど、子どもたちだけでいることが多い	2. きょうだいや友だちなど、子どもたちだけでいることが多い
3. ひどりでいることが多い	3. ひどりでいることが多い
4. その他(具体的に )	4. その他(具体的に )

問13 あなたは自宅では、主になにをしていますか。放課後(または仕事後)と休日にわけてお答えください。(それぞれ2つに○)

1. 勉強をする	1. 勉強をする
2. パソコンや携帯電話をする	2. パソコンや携帯電話をする
3. 友だちと遊ぶ	3. 友だちと遊ぶ
4. テレビやDVDなどを見る	4. テレビやDVDなどを見る
5. 携帯型ゲーム・テレビゲームをする	5. 携帯型ゲーム・テレビゲームをする
6. 家族と話したり遊んだりする	6. 家族と話したり遊んだりする
7. 音楽を聴く	7. 音楽を聴く
8. 読書(マンガも含む)をする	8. 読書(マンガも含む)をする
9. その他(具体的に )	9. その他(具体的に )

4

問14 あなたは、携帯電話、携帯型ゲーム・テレビゲーム、パソコンを持っていますか。(あてはまる番号に○)

自分の携帯電話・スマートフォン	1. 持っている	2. 持っていない
携帯型ゲーム・テレビゲーム	1. 持っている	2. 持っていない
パソコン(家族で使っているものも含む)	1. 持っている	2. 持っていない

問14-1 問14で「1. 持っている」に○をつけた方におたずねします。1日、平均どのくらいの時間、使っていますか。使っている時間を平日・休日それぞれ書いてください。(数字は1つの枠に1文字)

	平日	休日
自分の携帯電話・スマートフォン	□時間□□分	□時間□□分
携帯型ゲーム・テレビゲーム	□時間□□分	□時間□□分
パソコン(家族で使っているものも含む)	□時間□□分	□時間□□分

問15 すべての方におたずねします。あなたは、自宅でインターネットをしていますか。

1. 自宅でインターネットをしている	⇒問15-1へ
2. 自宅でインターネットはしていない	⇒問16へ

問15-1 問15で「1. 自宅でインターネットをしている」に○をつけた方におたずねします。インターネットをしている時間はどのくらいですか。平日、休日の1日の平均時間をかいてください。(数字は1つの枠に1文字)

平日	休日
□時間□□分	□時間□□分

5

問16 すべての方におたずねします。携帯電話、スマートフォンに対する考え方や使い方について、あなたの考え方や行動に近いものを選んでください。(いくつでも○)

1. 必要なのである
2. 外出のときには必ず持ち歩く
3. 自宅に居ても持ち歩いている
4. 常に持ち歩いていないと落ち着かない
5. 多くの人とつながっていて、楽しい
6. 自己表現、自分の意見を伝える手段として重要である
7. 連絡手段(電話、メールのみ)にしか使用しない
8. トラブルに巻き込まれそうで不安である
9. 小学生には必要ない
10. 中学生には必要ない
11. 高校生には必要ない
12. 自分には必要ない
13. 仕事などで仕方なく、使用している
14. その他( )

問17 日ごろ、地域活動や部活動、子ども会などの活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している	⇒問17-2へ
2. 参加していない	⇒問17-1へ

問17-1 問17で「2. 参加していない」とお答えの方におたずねします。活動に参加していない主な理由は何か。(いくつでも○)

1. 時間がないから	2. めんどいから
3. 活動に興味がないから	4. 役に立たないから
5. 一緒に活動する友だちがないから	6. 通や勉強でいそがしいから
7. 親が反対するから	8. その他(具体的に )
9. 特になし	10. わからない

(問18へ)

問17-2 問17で「1. 参加している」とお答えの方におたずねします。活動に参加している主な理由は何か。(いくつでも○)

1. 時間があるから	2. 楽しいから
3. 社会勉強になるから	4. 将来役にたつから
5. 一緒に活動する友だちがいるから	6. 仲間がつくれるから
7. 親がすすめるから	8. その他(具体的に )
9. 特になし	10. わからない

6



問 17-3 問 17で「1.参加している」とお答えの方におたずねします。どのような活動に参加していますか。(いくつでも○)

1. 学校の部活動をしている
2. 学校外のクラブやサークル活動をしている
3. 定期的なボランティア活動をしている
4. 仲間とグループを組んで活動をしている(バンド、ダンスなど)
5. 子ども会や自治会などの地域活動に参加している
6. その他(具体的に )

問 18 すべての方におたずねします。あなたは、これからどのような地域活動やグループ活動に参加したいと思いますか。(2つ以内で○)

1. 地域でのスポーツ活動
2. 音楽や美術などの文化や芸術に親しむ活動
3. 仲間や友だちと交流する活動
4. 高齢者や障がい者と交流する活動
5. 郷土の歴史や芸術にふれる活動
6. あやとりや折り紙など昔の遊びをする活動
7. ホームステイや外国人との交流などの国際交流活動
8. 森林などの自然の中で遊ぶ活動
9. 清掃や高齢者への訪問など、地域のボランティア活動
10. 地域の子ども会活動
11. 特に活動はしたくない
12. その他(具体的に )

問 19 あなたにとって、もっとも心地よい場所はどこですか。(2つ以内で○)

1. 自宅
2. 自分の部屋
3. 友だちの家
4. 親戚の家
5. 学校の教室
6. 学校の保健室、相談室
7. 学校の部活動などの部屋
8. 塾、習いごとの教室
9. 雑居
10. 児童クラブ
11. 図書館や公民館
12. こどもセンターや児童館
13. 地域のスポーツクラブ
14. 公園や広場
15. コンビニエンスストアやショップ
16. ファーストフード店やファミリーレストラン
17. ゲームセンターやカラオケボックス
18. その他(具体的に )
19. そのような場所はない
20. わからない

問 20 あなたは、こどもセンターや児童館を利用したことがありますか。(1つに○)

1. 利用したことがある
2. 現在も利用している
3. 利用したことがない
4. どこにあるかわからない

問 21 こどもセンターや児童館は皆さんのための施設です。使いやすい施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(1つに○)

1. 子どもの意見を取り入れる
2. 施設をどのように利用するかを子どもが参加して決める
3. 開館時間を長くする
4. 利用手続きを簡単にする
5. 利用にあたっての決まりを見直す
6. 話しやすい指導員がいる
7. その他(具体的に )
8. 特にない
9. わからない

問 22 あなたは地域のおとなの人たち(だいたい20歳以上の人)との交流(付き合い)がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日ごろ、地域のおとなとあいさつをする
2. 日ごろ、地域のおとなと話しをする
3. これまで、地域のおとなからほめられたり、注意されたりしたことがある
4. 地域のおとなの家に付きまわることがある
5. 地域のおとなの人たちとの交流(付き合い)はない

問 22-1 問 22で「5. 地域の人たちとの交流(付き合い)はない」と答えられた方におたずねします。これからは地域の人たちと交流したいと思いませんか。

1. 交流(付き合い)していきたい
2. 交流(付き合い)はしたくない
3. その他( )

問 23 すべての方におたずねします。あなたにとって、地域の入たちにしてほしいことはどのようなことですか。もっともあてはまるものを選んでください。(3つ以内で○)

1. 道で会ったときには、声をかけてほしい
2. 良いことをしたときには、ほめてほしい
3. 悪いことや危険なことをしたときには、注意してほしい
4. わからないことやできないことがあったときには、教えてほしい
5. いじめられているときには、助けてほしい
6. いっしょに遊んだり、スポーツをしたりしてほしい
7. 経験や知識をもっと伝えてほしい
8. あたたくを見守ってほしい
9. 子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとしてほしい
10. 子どもを扱わないで、子どもの意見をしっかり聞いてほしい
11. 学校以外の場所で勉強を教えてほしい
12. かかわってほしくない
13. その他(具体的に )
14. 特にない
15. わからない

問 24 あなたは、知らない人に連れ去られそうになるなど、犯罪の被害にあったことがありますか。(1つに○)

1. ある
2. あいそうになったことはある
3. ない

【子どもの権利についておたずねします】

問 25 次のア～エのことを、親からされたことはありますか。(それぞれ1つに○)

項目	ある	あときどき	なあまり	ない
ア. たたかれたり、つねられたりする	1	2	3	4
イ. 責事を与えたり、お風呂に入れさせたり、お風呂を洗わせたり、お風呂を洗わせたり、お風呂を洗わせたり	1	2	3	4
ウ. 何歳でもできるまでやらされるなど、きびしくしつける	1	2	3	4
エ. 言葉でおどされたり、無視されたりする	1	2	3	4

問 25-1 問 25のA～Eで、ひとつでも「1.ある」「2.ときどきある」とお答えの方におたずねします。そのときに、あなたはどうしましたか。(いくつでも○)

1. がまんした
2. 親にやめるように言った
3. 親とけんかした
4. 親の家族に助けを求めた
5. 友だちに相談した
6. 近くの親戚の人に相談した
7. 近所の親しい大人に相談した
8. 学校の先生に相談した
9. スクールカウンセラーに相談した
10. 児童相談所に相談した
11. 民生委員・児童委員に相談した
12. 青少年相談センターの相談員に相談した
13. ヤングテレホン相談を使って相談した
14. 警察に相談した
15. インターネットを使って相談した
16. 相談する人がいなかった
17. その他(具体的に )

問 26 すべての方におたずねします。次のA～Eについて、子どもが言うことを聞かないときに、親が子どもに対してしつけとして行うことについてどう思いますか。(それぞれ1つに○)

項目	やってはけない	少しは仕方ない場合は	子どもの権利に合った場合は	子どもが悪い場合は	わからない
ア. 子どもをたたいたり、つねったりする	1	2	3	4	
イ. 責事を与えない、お風呂に入れさせないなど、子どもの世話をししない	1	2	3	4	
ウ. 何歳でもできるまでやらされるなど、きびしくしつける	1	2	3	4	
エ. 言葉でおどされたり、無視したりする	1	2	3	4	

問 27 あなたは、つらくてどうしようもないことを人から言われたり、されたりしたことがありますか。(1つに○)

1. ある ⇒問 27-1へ
2. ない ⇒問 28へ

問 27-1 問 27 で「1. ある」とお答えの方におたずねします。それはどんなことでしたか。(いくつでも〇)

- 親、きょうだいなど家族から、たたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたりした
- 学校の先生から、たたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたりした
- 友だちからたたかれたり、いじめられたり、心を傷つけられる言葉を言われたりした
- 職場の人から、たたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたりした
- おとなや年上の人から、体をさわられたり、イヤなことをさせられたりした
- その他(具体的に )

問 27-2 一番つらかったときは、次のどの気持ちに近かったですか。(1つに〇)

- 生きているのがイヤになるくらいつらさ
- 家にいるのがイヤになるくらいつらさ
- 学校や仕事に行くのがイヤになるくらいつらさ
- 「1」「2」「3」ほどではないが、つらい
- つらいというほどではないが、「イヤだなあ」という感じ
- その他(具体的に )

問 27-3 そのときに、あなたはどうしましたか。(いくつでも〇)

1. がまんした	2. 相手にやめるように言った
3. 相手に仕返しをした	4. 学校や仕事を休んだ
5. 母親に相談した	6. 父親に相談した
7. おじいさんやおばあさんに相談した	8. きょうだいに相談した
9. 友だちに相談した	10. 学校の先生に相談した
11. スクールカウンセラーに相談した	12. 職場の人に相談した
13. 生徒委員・児童委員に相談した	14. 青少年相談センターの相談員に相談した
15. ヤングテレホン相談を使って相談をした	16. 警察に相談した
17. インターネットを使って相談した	18. 相談する人がいなかった
19. その他(具体的に )	

問 28 すべての方におたずねします。あなたはこれまで、学校に行きたくないと思うことがありましたか。(1つに〇)

1. よくある ⇒問 28-1へ	2. ときどきある ⇒問 28-1へ
3. ない ⇒問 29へ	

問 28-1 問 28 で「1. よくある」「2. ときどきある」とお答えの方におたずねします。それはなぜですか。(いくつでも〇)

- 疲れているから
- 体の具合が悪いから
- 学校へ行くとき友だちがイヤなことを言ったり、したりするから
- 学校へ行くとき先生がイヤなことを言ったり、したりするから
- 授業がわからないから
- 苦手な教科があるから
- めんどうだから
- 校前が暑いから
- 学校以外に行きたいところがあるから
- なんとなく
- その他(具体的に )
- わからない

問 29 すべての方におたずねします。あなたは不登校についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(1つに〇)

- 本人の意思だからいい
- いろいろな理由があるからしかたがない
- わがままだと思う
- 不登校の原因を解決して、登校するべきだと思う
- その他(具体的に )
- わからない

問 30 いじめなど、自分がされていやなことを他の人にすることをどう思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(1つに〇)

- 自分がされてイヤなことは、してはいけない
- 自分がされてイヤなことは、他の人にはしないほうがいい
- 自分がされてイヤなことでも、他の人にしてかまわない
- 自分がやりたいことなら、してもいい
- その他(具体的に )
- わからない

問 31 子どもの権利について書いてあります。あなたが今、特に大切だと思うことを選んでください。(3つ以内で〇)

- 自分自身を大切にし、他の人も大切にすること
- 洋服、食べ物、住む場所(衣・食・住)の心配をしないで、安心で安全な生活をおくこと
- ひとりひとりの個性を認められ、人と違う自分らしさが守られること
- 自分の考えをいつでも自由に言えること
- おとなが子どもの気持ちを察したり、自由な意見を引き出したりすること
- すべての子どもが差別されなくていいこと
- どの子どもも、いじめや虐待から守られ、困ったときには相談することができること
- 遊んだり、寝たりしたときは休むなど自由になる時間をもつこと
- 自分の秘密が守られること
- あなたが知りたいと思うことが、かくされなこと
- 暴力や言葉で傷つけられないこと
- 家族が仲良く、いっしょに過ごす時間をもつこと
- 「子どもの権利条約」について知ること
- 子どもが自分のことは自分で決められること
- 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること
- 子どもが健やかに成長できるように、家庭・学校・地域・企業・市役所など、地域社会が一体となって取り組むこと
- 保護者の所得にかかわらず、学校以外の場所でも、学ぶ権利が守られること
- その他(具体的に )
- 特にな
- わからない

※ 「子どもの権利条約」とは、1989年(平成元年)国連大会の総会で「子どもの権利に関する条約」ができ、日本も1994年(平成6年)4月にこの条約を批准(国会で同意)しました。この条約は、18歳未満のすべての子どもがひとりの人間として自由に生き、成長し、意見をいい、親に育ててもらうなどの基本的な人権を持っていることを認め、守っていくことを定めたものです。

問 32 あなた自身について次のことをどう思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(それぞれ1つに〇)

ア. 自分のことは好き	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
イ. 自分が必要とされている	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
ウ. 自分は周りの人から大切にされている	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
エ. 自分は周りの人から好かれている	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
オ. 自分にはいいところがたくさんある	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない
カ. 勉強やスポーツ、仕事などをがんばっている	1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない

14歳、17歳の方は問34へ

11歳の方  
【児童クラブについておたずねします】

\*児童クラブとは、小学校や子どもセンターにある児童クラブと小学校周辺にある児童クラブすべてのことです。

問 33 あなたは小学校1年生から3年生のときに児童クラブを利用していましたか。(1つに〇)

1. 利用していた ⇒問 33-1へ	2. 利用していなかった ⇒問 41へ
--------------------	---------------------

問 33-1 問 33 で「1. 利用していた」とお答えの方にうかがいます。利用した感想は次のうちどれですか。

- 居心地よかった(楽しかった、おもしろかった) ⇒問 33-3へ
- 居心地がわるかった(楽しくなかった、つまらなかった) ⇒問 33-2へ
- その他( ) ⇒問 33-3へ

問 33-2 問 33-1 で「2. 居心地がわるかった」とお答えの方におたずねします。その理由はなんですか。(いくつでも〇)

- 仲の良い友達がいなかった
- 話せる職員の数・種類が少ないから
- 携帯型ゲーム、テレビゲームができないから
- 利用するためのルールが多すぎるから
- 指導員がいるから
- その他( )

問33-3 問33で「1. 利用していた」とお答えの方におたずねします。小学校6年生までの利用の希望について、あなたの考えに近いものを選んでください。(いくつでも○)

- 1. 4年生、5年生のときは利用したかった (利用していた)
- 2. 6年生になっても利用できるなら利用したい
- 3. 利用する必要がないと思う
- 4. もう利用したくない
- 5. わからない
- 6. その他 ( )

11歳の方は、問41へ

**14歳、17歳の方へ**  
【仕事、結婚、子育てについておたずねします】

問34 仕事について、あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(1つに○)

- 1. ぜひ仕事をしたい
- 2. できれば仕事をしたい
- 3. できれば仕事はしたくない
- 4. 仕事はしたくない
- 5. 現在、仕事についている
- 6. その他(具体的に )
- 7. わからない

問35 仕事に対して、どのような希望や不安がありますか。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

仕事についての希望	仕事についての不安
1. 人生のやりがいが見つかる	1. 自由な時間がなくなる
2. 夢を実現できる	2. 希望の仕事につけるかわからない
3. いろいろな経験ができる	3. 入営みに仕事ができるかわからない
4. 収入を得ることができる	4. 希望の収入を得られるかわからない
5. 社会の役に立てる	5. 人間関係が大変そうである
6. 仕事を通じて仲間が増える	6. 長く続けられるかわからない
7. 親やまわりの人たちの期待にこたえることができる	7. なんとなく大変そうである
8. その他(具体的に )	8. その他(具体的に )
9. 特になし	9. 特になし
10. わからない、考えたことがない	10. わからない、考えたことがない

問36 あなたは、将来どのような仕事につきたいですか。また、すでに仕事をしている方はどのような考え方で仕事につきましたか。あなたの考えにもっとも近いと思うものを選んでください。(1つに○)

- 1. 自分の能力が発揮できる、やりがいのある仕事につきたい
- 2. 自分で会社やお店をつくりたい
- 3. 収入が少なくても自分の好きな仕事につきたい
- 4. 大変でも収入の多い仕事につきたい
- 5. 失業の不安のない安定した仕事につきたい
- 6. 家庭を大事にできる仕事につきたい
- 7. 人のため、世の中のためになる仕事につきたい
- 8. フリーターなどで自由に仕事をしたい
- 9. できれば働きたくない
- 10. その他(具体的に )
- 11. わからない

問37 あなたは将来どのように働きたいと思えますか。(1つに○)

- 1. 結婚せず、ずっと仕事をしている
- 2. 結婚して、子どもができてもずっと仕事を続ける
- 3. 結婚後も子どもを持たずに、ずっと仕事を続ける
- 4. 子育て時期は仕事をやめるが、子育てが落ち着いたら再就職する
- 5. 結婚後も子どもができるまでは仕事を続けるが、その後仕事にはつかない
- 6. 結婚するまでは仕事を続けるが、その後仕事にはつかない
- 7. 仕事にはつかず、家事や育児に専念する
- 8. その他(具体的に )
- 9. わからない

問38 結婚についておたずねします。あなたの考えにもっとも近いと思うものを選んでください。(1つに○)

- 1. ぜひ結婚したい
- 2. できれば結婚したい
- 3. できれば結婚したくない
- 4. 結婚はしたくない
- 5. その他(具体的に )
- 6. わからない

問39 あなたは将来、子育てをどのようにしたいと思えますか。(1つに○)

- 1. 思う ⇒問39-1へ
- 2. 思わない ⇒問39-2へ
- 3. わからない ⇒問40へ

問39-1 問39で「1. 思う」とお答えの方におたずねします。将来、子育てをしたいたと思う理由は何のようなことですか。(3つ以内で○)

- 1. 子どもを育てることは楽しいと思うから
- 2. 子どもがいると家族が明るくなるから
- 3. 子どもが好きだから
- 4. 子どもはかわいいから
- 5. 自分の子どもをもちたいから
- 6. 好きな人の子どもをもちたいから
- 7. 生きがいになると思うから
- 8. 家族の結びつきが強くなるから
- 9. 子育ての経験がしたいから
- 10. 将来、社会の支えになるから
- 11. 子どもを通じて交流が広がるから
- 12. 結婚をして子育てをすることは自然なことだから
- 13. 子育てを通じて自分も成長できるから
- 14. 老後の面倒をみてもらえるから
- 15. 子どもを持つことで周囲から認められるから
- 16. その他(具体的に )
- 17. わからない
- 18. 特になし

問39-2 問39で「2. 思わない」とお答えの方におたずねします。将来、子育てをしないと思わない理由は何のようなことですか。(3つ以内で○)

- 1. 子どもは嫌いだから
- 2. 子どもは言うことをきかないから
- 3. 子育ては面倒だから
- 4. 自分の生活を楽しまたいから
- 5. 仕事を優先したいから
- 6. 自分が子どもを虐待するのではないと思うから
- 7. 子育ての責任が女性にかたよっているから
- 8. 受験競争や仕事につけないなど、子どもにとってふさわしい世の中とは思えないから
- 9. 子どもが安心して遊べる場所がないから
- 10. いじめや差別、不登校など、子どもを取り巻く問題があるから
- 11. 子育てはお金や手間がかかり負担が大きいから
- 12. 出産、子育ての知識や自信がないから
- 13. その他(具体的に )
- 14. 特になし
- 15. わからない

問40 中学生以上のすべての方におたずねします。子育てについては色々な考え方がありますが、次のア～エについて、あなたはどのくらい思えますか。(それぞれ1つに○)

考 え 方	そう思う	そう思うくらい	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない
ア. 子どもを産む、産まない、いつ産む、何人産むかについては、お互いの意思を尊重すべきである	1	2	3	4	5	
イ. 子育ては男が協力して行うべきである	1	2	3	4	5	
ウ. 子育てと仕事を両立させるべきである	1	2	3	4	5	
エ. 仕事よりも子育てを優先させるべきである	1	2	3	4	5	

問41 最後に、空欄におたずねします。あなたのまわりのおとなや学校、市役所などに、子どもがのびのび自由にしかも安全にいらしていくために、改善してほしいこと、こうしてほしいと思うことなどがありましたら自由に書いてください。


ご協力ありがとうございました。

問封の返信用封筒に入れ、12月23日(月)までに、

ポストへ入れてください。

(切手を貼る必要はありません。)

■青年男女（20歳・25歳・30歳・35歳を迎える人）用

**相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票**

平成25年度に20歳・25歳・30歳・35歳を迎える皆様へ

**調査ご協力をお願い**

市民の皆様には日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。相模原市では、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される環境を整備するため、平成16年度に「さびみら いいき親子 応援プラン（相模原市次世代育成支援行動計画）」を策定し、子育て・子育て支援施策を推進してまいりました。このたび、平成27年度から始まる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様の実生活やサービスへのニーズ等をお聞きする「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施することになりました。この調査をお願いするにあたりましては、区政支援課で保有する住民基本台帳を利用して市内にお住まいの今年度中に20歳・25歳・30歳・35歳を迎える方2,000人を無作為に選ばせていただきました。調査結果は全て統計的に処理されますので、お一人おひとりの回答内容が公表されることや調査の目的以外に使用されることは一切ございません。また、今回の調査は、他の調査と同時に実施しておりますので、お手元に複数の調査票が送付される場合がございますが、趣意をご理解いただき、すべての調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

相模原市長 加山 俊夫

**【ご記入にあたってのお願い】**

- アンケートには、宛名の本人が記入してください。（無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません）
- 鉛筆や黒のボールペンなどで記入してください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお読みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**12月23日（月）**までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

**相模原市子ども青少年課 電話：042-769-9811**

**【最初に、ご自身とご家族のことについておたずねします】**

問1 あなたの生まれた年と性別について記入してください。（数字は一律に一字。右詰め）

1. 昭和   生まれ 性別

2. 平成   生まれ 性別

問2 あなたは、結婚していますか。（1つに○）

1. 結婚していない 2. 入籍していないが事実上婚姻状態にある人がいる

3. 離婚（死別）して現在独身 4. 結婚している

問3 問2で「4. 結婚している」とお答えの方におたずねします。いつ結婚をされましたか。また、配偶者の現在の年齢を記入してください。（数字は一律に一字。右詰め）

1. 昭和   年に結婚 配偶者の年齢   歳

2. 平成   年に結婚 配偶者の年齢   歳

問4 すべての方におたずねします。あなたと同居されている方についてお答えください。なお、続柄はあなたから見た関係です。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者 2. 父親 3. 母親

4. 子ども 5. 兄弟姉妹 6. 祖父

7. 祖母 8. 事実婚状態にある人 9. その他（ ）

続いて、同居している家族全員（あなたをきむ）の人数を記入してください。（数字は一律に一字。右詰め）

家族全員で  人

問5 あなたと同居世帯全体の年収についてお聞かせください。（それぞれ1つに○）

あなたの年収	同居世帯全体の年収 (あなたや配偶者、事実婚状態にある人をきむ)
1. 100万円未満	1. 100万円未満
2. 100万円以上～200万円未満	2. 100万円以上～200万円未満
3. 200万円以上～300万円未満	3. 200万円以上～300万円未満
4. 300万円以上～400万円未満	4. 300万円以上～400万円未満
5. 400万円以上～500万円未満	5. 400万円以上～500万円未満
6. 500万円以上～700万円未満	6. 500万円以上～700万円未満
7. 700万円以上～1,000万円未満	7. 700万円以上～1,000万円未満
8. 1,000万円以上	8. 1,000万円以上
	9. わからない

1

**【日常生活についておたずねします】**

問6 あなたは毎日朝食を食べていますか。（1つに○）

1. 毎日食べている 2. 食べる日の方が多い

3. 食べる日の方が少ない 4. 全く食べない

問7 あなたは朝食と夕食を家族と一緒に食べていますか。該当する番号に、朝食・夕食についてそれぞれ○をつけてください。

朝 食	夕 食
1. だいたい家族と一緒に食べている	1. だいたい家族と一緒に食べている
2. ひとりで食べている（一人暮らしの場合も含む）	2. ひとりで食べている（一人暮らしの場合も含む）
3. 朝食は食べない	3. 夕食は食べない
4. その他	4. その他

問8 あなたは、パソコンなどを自宅使っていますか。

1. 自分専用のパソコン等があり、使っている

2. 家族で共用のパソコン等があり、使っている

3. パソコンは持っていません（使っていない）

問9 あなたは携帯電話、スマートフォンを持っていますか。

1. 持っている 2. 持っていない

問9-1 問9で「1. 持っている」に○をつけた方におたずねします。携帯電話、スマートフォンを一日、平均どのくらいの時間使用していますか。

1日平均   時間

問10 すべての方におたずねします。あなたは、どのくらいの時間、自宅でインターネットをしていますか。

平日	1日のうち	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
休日	1日のうち	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間

2

**【仕事の状況についておたずねします】**

問11 携帯電話、スマートフォンの使用に関して、あなたの考え方や行動に近いものを選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 必需品である

2. 外出のときには必ず持ち歩く

3. 自宅に居ても持ち歩いている

4. 多くの人とつながっていて、楽しい

5. 自己表現、自分の意見を伝える手段として手軽である

6. 連絡手段（電話、メールのみ）にしか使用しない

7. トラブルに巻き込まれそうで不安である

8. 小学生には必要ない

9. 中学生には必要ない

10. 高校生には必要ない

11. 自分には必要ない

12. 仕事等で必要があり仕方なく、使用している

13. その他（ ）

問12 あなたと配偶者（事実婚状態にある人をきむ）の就労状況について、お答えください。（それぞれ1つに○）

併せて、□に数字の記入、またはア～ウのひとつに○をお願いします。（数字は一律に一字。24時間制で記載。右詰め）

(1) あなた	(2) 配偶者または事実婚状態にある人 (いない場合は記入不要)
1. 常勤（フルタイム）*1 (産休・育休・介護休業中は除く) →1週あたり（平均的な就労時間） <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 働いている日の平均的な帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	1. 常勤（フルタイム）*1 (産休・育休・介護休業中は除く) →1週あたり（平均的な就労時間） <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 働いている日の平均的な帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時
2. 常勤（フルタイム）だが現在 産休・育休・介護休業中	2. 常勤（フルタイム）だが現在 産休・育休・介護休業中

\*1 フルタイム・・・1週5日程度かつ1日8時間程度就労

3

(1) あなた	(2) 配偶者または事実婚状態にある人 (いない場合は記入不要)
3. パートタイム、アルバイト等*2 →1週あたり(平均的な就労日数) □日 1日あたり(平均的な就労時間) □□時間 働いている日の平均的な帰宅時間 □□時 →フルタイムへの転換希望があるか ア 希望がある イ 希望があるが予定はない ウ 希望はない	3. パートタイム、アルバイト等*2 →1週あたり(平均的な就労日数) □日 1日あたり(平均的な就労時間) □□時間 働いている日の平均的な帰宅時間 □□時 →フルタイムへの転換希望があるか ア 希望がある イ 希望があるが予定はない ウ 希望はない
4. 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労 →就労時間についてお得意します 1週あたり(平均的な就労日数) □日 1日あたり(平均的な就労時間) □□時間	4. 自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労 →就労時間についてお得意します 1週あたり(平均的な就労日数) □日 1日あたり(平均的な就労時間) □□時間
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない →以前の働き方はどちらですか ア フルタイムによる就労 イ パートタイム・アルバイト等による就労	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない →以前の働き方はどちらですか ア フルタイムによる就労 イ パートタイム・アルバイト等による就労
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

\*2 パート・アルバイト等・・・フルタイム以外の就労

4

問 12-1 問 12 で「5. 現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」とお答えの方におたずねします。就労の希望がありますか、また、就労希望がある場合、働き方の希望についてお答えください。(それぞれ1つに○)

(ア) あなた (就労している場合は記入不要)

あなたの就労の希望

1. すぐに(1年以内に)働きたい	あなたの働き方の希望
2. 子どもがいるので、大きくなったら(1年より先)働きたい	
3. 子育てに専念したいので今現在、就労希望はない	
4. もともと就労希望はない	

⇒1週あたり □日程度、  
1日あたり □時間程度

(イ) 配偶者・事実婚状態にある人(いない場合や就労している場合は記入不要)

配偶者等の就労の希望

1. すぐに(1年以内に)働きたい	配偶者等の働き方の希望
2. 子どもがいるので、大きくなったら(1年より先)働きたい	
3. 子育てに専念したいので今現在、就労希望はない	
4. もともと就労希望はない	

⇒1週あたり □日程度、  
1日あたり □時間程度

3. わからない

【結婚についての考え方等についておたずねします】

問 13 問 2 で「1. 結婚していない」「2. 事実婚状態にある人がいる」「3. 離婚(死別)して現在独身」とお答えの方におたずねします。「結婚」についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. できればすぐでも結婚したい
2. いずれは結婚したい
3. 結婚はしたくないが、人生のパートナーとなる人はほしい
4. 結婚はしたくない

5

問 13-1 問 2 で「1. 結婚していない」「2. 事実婚状態にある人がいる」「3. 離婚(死別)して現在独身」とお答えの方におたずねします。現在、結婚していないのはどうしてですか。(3つ以内で○)

1. 結婚するにはまだ早い(若い)から	2. 結婚する必要性を感じないから
3. 適当な相手とめぐり会えないから	4. 異性とうまくつきあえないから
5. 仕事や学業に打ち込みたいから	6. 趣味や娯楽を楽しみたいから
7. 自由や気楽さを失いたくないから	8. 結婚資金が足りないから
9. 収入が少ないから	10. 住居のめどが立たないから
11. 親や周囲が結婚に同意しない(だる)から	12. 配偶者と離婚(死別)したから
13. 親、兄弟姉妹の扶養や介護があるから	14. その他( )

問 14 すべての方におたずねします。これまで、子どもができないのではないかと心配したことがありますか。(1つに○)

1. 心配したことがある ⇒問 14-1ハ	2. 現在心配している ⇒問 14-1ハ
3. 心配したことはない ⇒問 15ハ	

問 14-1 問 14 で「1. 心配したことがある」「2. 現在心配している」とお答えの方におたずねします。そのことで、医療機関にかかったことがありますか。(1つに○)

1. 過去に検査や治療、相談等をしたことがある
2. 現在、検査や治療、相談等をしている
3. 医療機関にかかったことはない

問 15 すべての方におたずねします。あなたにとって理想の子ども人数は何人ですか。また、あなたは全員で何人の子どもの持つもりですか。(それぞれ記入)

理想の子ども人数	⇒	持つつもりの子どもの人数
人		人

6

問 15-1 問 15 で「持つつもりの子どもの人数」が、「理想の子ども人数」より少ない方におたずねします。持つつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数(0人を含む)より少ないのはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高齢で産むのはいやだから
7. 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. 欲しいけれどもできないから
10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
11. 配偶者が望まないから
12. 親や周囲の反対があるから
13. 定年退職まで、一番末の子が成人してほしいから
14. 夫婦で生活するのが精一杯だから
15. 国や自治体の施策が不十分だから
16. 子どもを教育し成長させていく自信がないから
17. 子どもが嫌いだから
18. その他( )
19. わからない

問 16 すべての方におたずねします。結婚することまたは結婚したことに良い点があると思いますか。(1つに○)

1. 良い点があると思う ⇒問 16-1ハ
2. 良い点はないと思う ⇒問 17ハ
3. わからない ⇒問 17ハ

問 16-1 問 16 で「1. 良い点があると思う」とお答えの方におたずねします。良い点と思われることはどのようなことですか。(2つ以内で○)

1. 精神的安らぎの場が得られる
2. 子どもや家族をもてる
3. 愛情を感じている人と暮らすことができる
4. 社会的信用や対等な関係が得られる
5. 親や周囲の期待に答えられる
6. 生活上便利になる
7. 経済的余裕がもてる
8. 親から独立できる
9. 性的な充足が得られる
10. なんとなく
11. その他( )

7

問 17 すべての方におたずねします。独身生活には結婚生活にはない良い点があると思いますか。(1つに○)

1. 良い点があると思う	⇒問 17-1 へ
2. 良い点はないと思う	⇒問 18 へ
3. わからない	⇒問 18 へ

問 17-1 問 17 で「1. 良い点があると思う」とお答えの方におたずねします。独身生活の良い点と思われることはどのようなことですか。(2つ以内で○)

- 行動や生き方が自由
- 経済的余裕がもてる
- 家族扶養の責任がなく気楽
- 広い友人関係を築きやすい
- 異性との交際が自由
- 住環境の選択幅が広い
- 現在の家族との関係が保てる
- 職業をもち社会との関係が保てる
- なんとなく
- その他( )

問 18 すべての方におたずねします。あなたが結婚について感じる心配や大変さは主にどのようなことですか。(2つ以内で○)

1. 仕事と家庭の両立	2. 自由な行動の制約
3. 経済的なこと	4. 家事
5. 育児	6. 親との同居
7. 親族とのつきあい	8. 家族の介護
9. その他( )	10. 特になし

問 19 結婚については色々な考え方がありますが、次のア～キについてそれぞれどう思われますか。(それぞれ1つに○)

考 え 方	そう思う	どちらかと言えは	どちらかと言えは	どちらかと言えは	そう思わない	わからない
ア. 生涯を自分で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4	5	6
イ. 男女がいっしょに暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4	5	6
ウ. 結婚したら子どもは持つべきだ	1	2	3	4	5	6
エ. 結婚しても家族とは別の自分の目標を大切にすべきである	1	2	3	4	5	6

8

考 え 方	そう思う	どちらかと言えは	どちらかと言えは	そう思わない	わからない	
オ. 結婚したら家族のために、自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4	5	6
カ. 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	5	6
キ. いっただん結婚したら、性格の不一致ぐらいで別れるべきではない	1	2	3	4	5	6
ク. その他(ア～キ以外の結婚観を自由にお書きください)						

**【子育てについておたずねします】**

問 20 あなたは将来、子育てをしたいと思いますか。(1つに○)

1. 思う	⇒問 20-1 へ	2. 思わない	⇒問 20-2 へ
3. 子育て中である	⇒問 21 へ	4. わからない	⇒問 21 へ

問 20-1 問 20 で「1. 思う」とお答えの方におたずねします。将来子育てをしたいと思う理由はどのようなことですか。(3つ以内で○)

1. 子どもを育てることは楽しいから	2. 子どもがいると家庭が明るくなるから
3. 子どもが好きだから	4. 子どもはかわいいから
5. 自分の子どもをもちたいから	6. 好きな人の子どもをもちたいから
7. 生きがいになると思うから	8. 家族の結びつきが強くなるから
9. 子育ての経験がしたいから	10. 将来、社会の支えになるから
11. 子どもを通じて交流が広がるから	12. 結婚をして子育てをすることは自然なことだから
13. 子育てを通じて自分も成長できるから	14. 老後の面倒をみてもらえるから
15. 子どもを持つことで周囲から認められるから	16. 配偶者や親など周囲が望むから
17. 家を継いで欲しいから	18. その他( )
19. 特になし	

9

問 20-2 問 20 で「2. 思わない」とお答えの方におたずねします。将来子育てをしないとしない理由は何でしょうか。(3つ以内で○)

- 子どもは嫌いだから
- 子どもは言うことをきかないから
- 子育ては面倒だから
- 自分の生活を楽しまないから
- 仕事を優先したいから
- 自分が子どもを虐待するのではないかと不安から
- 子育ての責任が女性にかたよっているから
- 子どもが安心して遊べる場所がないから
- 受験競争や仕事に就けないなど、子どもにとってふさわしい世の中とは思えないから
- いじめや差別、不登校など、子どもを取り巻く問題があるから
- 子育ての経済的負担に耐えられないと思うから
- 出産、子育ての知識や自信がないから
- 勤め先の育児休暇制度や保育サービスが整っていないから
- 現在の住宅が子育てにふさわしい広さがないから
- その他( )
- 特になし

問 21 すべての方におたずねします。子育てについては色々な考え方がありますが、次のア～エについてそれぞれどう思われますか。(それぞれ1つに○)

考 え 方	そう思う	どちらかと言えは	どちらかと言えは	そう思わない	
ア. 次代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援するべきである	1	2	3	4	5
イ. 子どもを育てている人には、税や社会保障を優遇すべきである	1	2	3	4	5
ウ. 子どもを産む、産まない、いつ産む、何人産むかについては、お互いの意思を尊重すべきである	1	2	3	4	5
エ. 子育ては男女が協力して行うべきである	1	2	3	4	5
オ. その他(ア～エ以外の子育てについての考えを自由にお書きください)					

10

問 22 子育てと仕事について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。(1つに○)

1. 子育てと仕事を両立させたい	
2. 仕事よりも子育てを優先させたい	
3. 子育てよりも仕事を優先させたい	
4. その他( )	

問 23 家庭で子育てをする上で、大切なことは何だと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。(1つに○)

1. 子どもを一時的に預けるサービスなどを利用して、自由な時間を持つことが大切だ
2. 自由な時間を持つよりも、家庭で子どもといっしょにいる時間を多く持つことが大切だ
3. 孤立した育児にならないように、子育てグループや広場などに参加することが大切だ
4. その他( )

問 24 子どもがいない方におたずねします(子どもがいる方は、問 25 へ)。あなたは、赤ちゃんや子どもの世話をした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 赤ちゃんのおむつをかいたり寝かしつけたりした
2. 赤ちゃんにミルクや離乳食を与えるなど食事の世話をした
3. 赤ちゃんを抱っこした
4. 近所の幼い子の面倒を見た
5. 幼い兄弟姉妹や親戚の子どもを面倒を見た
6. いずれもない
7. その他( )

11

**【子育ての環境についておたずねします】**

問 25 すべての方におたずねします。子どもたちに対して地域の人たちがすべきこととはどのようなことですか。最もあてはまるものを選んでください。(3つ以内で○)

1. 道で会ったときには、声をかける
2. 良いことをした時には、ほめてあげる
3. 悪いことや危険なことをした時には、注意する
4. わからないことやできないことがあった時には、教えてあげる
5. いじめられている時には、助けてあげる
6. 一緒に遊んだり、スポーツをしたりしてあげる
7. 経験や知識をもっと伝える
8. あたたくを見守る
9. 子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとする
10. 子どもを扱いしなくて、子どもの意見をしっかりと聞く
11. 緊急時に子どもを一時的に預かる
12. かかわる必要はない
13. その他 ( )
14. 特いない
15. わからない

問 26 子育てで仕事の両立を図るためには、企業などに求める制度や取り組みはどのようなものが必要と考えられますか。(5つ以内で○)

1. 妊娠中の通勤、就労等に対して便宜を図る制度
2. 出産前後の休暇を延長して取れる制度
3. 配偶者の出産前後に休暇を取れる制度
4. 子どもの状況（病気や行事など）に応じて休暇がとれる制度
5. 年次有給休暇の取得促進
6. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間に手当が支給される制度
7. 育児休業期間を1年以上延長して取れる制度
8. 育児休業中の情報提供や復帰前研修等を実施する制度
9. 育児休業中に代替職員を配置する制度
10. 育児のために自宅で仕事をすることができ制度
11. 育児のために必要な期間、就業時間を縮めることができる制度
12. 育児のために就業時間がある程度変更することができる制度
13. ノー残業デーの導入等により残業時間を縮減する制度
14. 所定外労働を免除する制度
15. 出産・育児のために会社を辞めた女性を再雇用する制度
16. 企業内に保育所を設けること
17. 各種制度を取りやすいように企業内の啓発に努めること
18. 男性も各種制度の適用対象とし、子育てに積極的に取り組めるように企業が支援すること
19. その他 ( )
20. 特いない
21. わからない

12

問 27 今後、市が行う子育て支援策として、どのような取り組みを望みますか。(3つ以内で○)

1. 子育て中の親子が交流できる場作りなど、地域における子育て支援サービスの充実
2. 乳幼児健康診査の充実など、子どもや母親の健康の確保や増進
3. 次代の親となる人の育成など、子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備
4. 良質な住宅の確保など、子育てを支援する生活環境の整備
5. 男性を含めた働き方の見直しなど、職業生活と家庭生活の両立の推進
6. 子どもの交通安全を確保するための活動の推進など、子どもの安全確保
7. その他 ( )
8. 特いない
9. わからない

問 28 「地域における子育て支援サービス」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 産後の体調不良で家事や育児が困難な場合に、ヘルパーを派遣する
2. 緊急・一時的に保育が必要となる子どもの保育を行う
3. 就学前の子どもで病気の回復期にあり、保育所や幼稚園にいけない場合に、子どもを一時的に預かる
4. 市の認定を受けた保育者が、自宅で3歳未満の子どもを預かる
5. 育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員となり、育児について相互に援助する(ファミリー・サポート・センター事業)
6. 入院等により保護者が終日または夜間、緊急・一時的に不在となる場合に、子どもを短期間宿泊させたり、食事の提供を行うなどの養育を行う
7. 主に乳幼児をもつ子育て中の親子が気軽に集える場や育児相談できる場を提供する
8. 子育てマップ、子育てガイドブック等を配布するなど、多様な子育て支援サービスの情報提供を行う
9. こどもセンターや児童館、公民館、青少年学習センターなどの事業や活動を充実させる
10. 放課後の小学校で地域の方々の協力を得て、小学生が体験活動やスポーツを行うなどの安全・安心な活動の場づくりを進める
11. 幼稚園の園庭開放や子育て相談、未就園児の親子登園等を進める
12. 子育てに不安や悩みを持つ親の支援として、2.4時間対応の子育てホットラインを設置する
13. その他 ( )
14. 特いない
15. わからない

13

問 29 「子どもや母親の健康の確保や増進」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 乳幼児健康診査を充実する
2. 赤ちゃんが生まれた家庭を全戸訪問し、子育ての情報提供や育児相談などを行う
3. 妊婦に対して、母親・父親教室（ハロー・マザークラス）等の出産準備教育や相談の場を提供する
4. 母親の健康相談を充実する
5. 食に関する学習の機会や情報提供を進める
6. 性に関する正しい知識の普及を図る
7. 産科救急医療、小児救急医療等の医療体制を充実する
8. 乳幼児医療費助成を充実する
9. 児童虐待防止対策を充実する
10. その他 ( )
11. 特いない
12. わからない

問 30 「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 中高生等が乳幼児とふれあう機会を広げるための取組を進める
2. 子どもたちが、学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等を養った確かな学力を身に付けることができる取組を進める
3. 道徳教育の充実や地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を進める
4. 学校におけるスポーツ環境の充実を図る
5. \*学校評議員制度等の活用などにより、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める
6. 家庭や地域と連携し、学校における安全管理の取組など、学校を支える体制づくりを進める
7. 幼児教育についての情報提供等、幼児教育の充実を図る
8. 子どもの発達段階に応じた家庭教育についての学習機会や情報の提供、相談体制の整備を図る
9. 小学校入学後の生活が円滑に進むよう、幼稚園、保育所、小学校の連携を深める
10. 地域における世代間交流の推進や学校施設の地域開放等により、地域の教育力を向上させる
11. 親の所得にかかわらず、放課後の学習の機会が保障されること
12. その他 ( )
13. 特いない
14. わからない

\*学校評議員制度とは、学校運営に関して、校長の求めに応じて地域の代表が意見を述べられる制度です。

14

問 31 「子育てを支援する生活環境の整備」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 子育てに適した住宅の供給や取得を促進する
2. 公営住宅に、子育て期にある多子世帯やひとり親家庭等を優先入居させる
3. 親子が安全・安心に通行することができるよう、幅の広い歩道の整備など安全な道路交通環境の整備を進める
4. 歩いて利用できる距離に、子どもの遊び場や公園を整備する
5. すべての人が安心して外出できるように、公園や公共施設等において段差を解消するなどのバリアフリー化を進める
6. 通学路における防犯等やガードレールの整備推進など、子どもが犯罪や交通事故の被害にあわないようなまちづくりを進める
7. 公共施設に、授乳室、ベビーベッド等子育て世帯が利用しやすい設備を整える
8. その他 ( )
9. 特いない
10. わからない

問 32 「職業生活と家庭生活との両立の推進」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 「男は仕事、女は家庭」などといった役割分業意識や慣行の見直しに向けた啓発等を進める
2. 男性の家事・育児参加を促進する
3. 企業が家庭生活との両立に理解を深めるための啓発等を進める
4. 保育サービスなど子育てを支援する制度を充実する
5. 子育てに関する情報提供等を充実する
6. 多様な働き方が可能となる制度や環境を整備する
7. 子育て家庭に対する社会保障制度を充実する
8. その他 ( )
9. 特いない
10. わからない

問 33 「子ども等の安全の確保」として最も望まれるものは何ですか。(3つ以内で○)

1. 交通安全教室の充実を図る
2. チャイルドシートの貸出制度など、チャイルドシートを利用しやすい環境づくりを進める
3. 児童・幼児が自転車に乗る際のヘルメット着用への取組を進める
4. 学校付近や通学路等で、PTAなど学校関係者や防犯ボランティア等の連携によるパトロール活動を進める
5. 子どもを対象にした防犯講習を実施する
6. 「こども110番の家」等、緊急避難場所の設置と周知を進める
7. 保育所、幼稚園、学校などへの不審者の侵入を防ぐための対策を進める
8. その他 ( )
9. 特いない
10. わからない

15



【子どもの権利についておたずねします】

問 34 次のア～エについて、子どもが言うことを聞かないときに、親が子どもに対してしつこくして行うことについてどう思いますか。(それぞれ1つに○)

項 目	や つ て は い け な い	仕 方 が な い 少 し は	こ の こ ろ が 悪 い し た が な い	こ の こ ろ が 悪 い し た が な い よ う な こ と は な い
ア. 子どもをたたいたり、つねったりする	1	2	3	4
イ. 食事を与えない、お風呂に入れさせないなど、子どもの世話をしない	1	2	3	4
ウ. 何度でもできるまでやらせるなど、きびしくしつける	1	2	3	4
エ. 言葉でおどしたり、無視したりする	1	2	3	4

問 35 子どもの権利について、今、特に大切だと思うことはどのようなことですか。(3つ以内で○)

1. 子どもが自分自身を大切に、他の人も大切にすること
2. 衣・食・住など、安心して安全な基本生活をおくこと
3. 独立した人格の持主だと認められ、人と違う自分らしさが守られること
4. 自分の考えをいつでも自由に言えること
5. おとなが子どもを気にかけて、自由な意見を受け止めたりすること
6. すべての子どもが差別されなくていいこと
7. どの子どももいじめや虐待から守られ、困ったときには相談する場があること
8. 遊んだり、疲れたりしたときは休むなど自由になる時間を持つこと
9. 自分の秘密が守られること
10. 子どもが知りたいと思うことが隠されないこと
11. 罵声や言葉で傷つけられないこと
12. 家族が仲良く、一緒に過ごす時間をもつこと
13. 「子どもの権利条約」について知ること
14. 子どもが、自分のことは自分で決められること
15. 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること
16. 子どもが健やかに成長できるように、家庭・学校・地域・企業・行政など、地域社会が一体となって取り組むこと
17. 保護者の所得にかかわらず、学校以外の場所でも、学ぶ権利が守られること
18. その他( )
19. 特にない

問 36 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方などについて、特に望むことやご意見がございましたら、自由に記入してください。


ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、12月23日(月)までに、

切手を貼らずに投函してください。

- ・今回の調査にあたり、市役所等から電話で調査事項（個人情報等）をお尋ねすることはありません。
- ・市役所の職員等が直接訪問をして、調査事項（個人情報等）をお尋ねしたり、調査票の回収をしたりすることはありません。（調査票は、同封の返信用封筒にてご送付ください。）
- ・不審に思われることがあった場合は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】  
相模原市こども青少年課（子ども・子育て支援に関するアンケート調査担当）  
電話：042-769-9811（直通）



# ■ひとり親家庭の活用

## 相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票

(ひとり親家庭等の皆様へ)

### 調査ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

相模原市では、平成16年度に「母子家庭等自立促進計画」を策定し、母子家庭・寡婦家庭及び父子家庭の生活の安定と自立を推進しているところでございます。

今回の「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」は、ひとり親家庭等の仕事の実態や要望などをお伺いして、「母子家庭等自立促進計画」を見直すための基礎資料とさせていただきます。

この調査をお願いするにあたりましては、こども青少年課で保有している「児童扶養手当台帳」を利用してひとり親家庭等の方500人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は全て統計的に処理されますので、お一人おひとりの回答内容が公表されることや調査の目的以外に使用されることは一切ございません。

また、今回の調査は、他の調査と同時に実施しておりますので、お手元に複数の調査票が送付される場合がございますが、趣旨をご理解いただき、すべての調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

相模原市長 加山 俊夫

### 【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、宛名のご本人が記入してください。(無記名ですべての、氏名・住所の記入の必要はありません)
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「1つに○」「あてはまるものすべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)を記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時~18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、このわり書きや矢印に従って回答してください。特にこのわり書きの場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**12月23日(月)**までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

相模原市こども青少年課 電話:042-769-8232

### 【世帯と住居の状況についておたずねします】

問1 あなたの年齢と世帯の区分についてお答えください。(それぞれ1つに○)

【あなたの年齢】

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 19歳以下   | 2. 20歳~29歳 |
| 3. 30歳~39歳 | 4. 40歳~49歳 |
| 5. 50歳~59歳 | 6. 60歳以上   |

【世帯の区分】

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1. 母子世帯 | 2. 父子世帯 | 3. その他の世帯 |
|---------|---------|-----------|

問2 あなたと同居されている方についてお答えください。**続柄はあなたのお子さんから見た関係です。**(あてはまるものすべてに○)

- |       |          |        |
|-------|----------|--------|
| 1. 母  | 2. 父     | 3. 祖父  |
| 4. 祖母 | 5. その他親類 | 6. その他 |

続いて、同居している家族全員(あなたを含む)の人数を記入してください。  
家族全員で、人

問2-1 あなたと同居されている方以外で、お近くにお住まいの方(概ね30分以内で行き来できる)についてお答えください。**続柄はあなたのお子さんから見た関係です。**(あてはまるものすべてに○)

- |          |        |        |       |
|----------|--------|--------|-------|
| 1. 母     | 2. 父   | 3. 祖父  | 4. 祖母 |
| 5. その他親類 | 6. その他 | 7. いない |       |

問2-2 あなたのお子さんについて、該当する区分の口欄にそれぞれの人数を記入してください。

小学校入学前	小学生	中学生	高校生	大学、短大 専門学校等	就職	その他
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

問2-3 祖父母や親族、または友人・知人等による、子育てに対する支え(育児を手伝ってくれることなど)がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時または用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問3へ

1

問2-4 問2-3で「1」または「2」、「3」または「4」の、祖父母等の親族や友人・知人に預かってもらえる方におたずねします。預かってもらうにあたり、問題や心配なことはありますか。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

「1」または「2」 祖父母等の親族に預かってもらえる方	「3」または「4」 友人・知人に預かってもらえる方
1. 特に問題がない	1. 特に問題がない
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きいく心配である	2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きいく心配である	3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きいく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他( )	5. その他( )

問3 すべての方におたずねします。ひとり親家庭になった理由は何ですか。(1つに○)

- |       |       |       |       |           |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 離婚 | 2. 死別 | 3. 未婚 | 4. 別居 | 5. その他( ) |
|-------|-------|-------|-------|-----------|

問4 ひとり親家庭になった時期を記入してください。

1. 昭和  年  
2. 平成  年

問5 現在のお住まいは、次のうちどれに当たりますか。(1つに○)

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 持家(一戸建)            | 2. 持家(分譲マンションなどの集合住宅)         |
| 3. 民間の借家(一戸建)         | 4. 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅) |
| 5. 公園・公社・公営の賃貸住宅・アパート | 6. 社宅・公務員住宅などの給与住宅            |
| 7. 住み込み・寮・寄宿舎など       | 8. 間借り、親族の家に同居                |
| 9. その他( )             |                               |

### 【現在の生活状況についておたずねします】

問6 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. あなたの勤労収入     | 2. 子どもの勤労収入        |
| 3. その他の世帯員の勤労収入 | 4. 子どもの父または母からの養育費 |
| 5. 親・親族からの援助    | 6. 遺族基礎年金・厚生年金     |
| 7. 生活保護費        | 8. 児童扶養手当          |
| 9. 児童手当         | 10. 母子福祉資金貸付金      |
| 11. 子どもに対する奨学金  | 12. その他( )         |

2

問7 あなたの年収と同居世帯全体(あなたの年収を含む)の年収はいくら位ですか。(それぞれ1つに○)

あなたの年収	世帯全体の年収(あなたの年収を含む)
1. 100万円未満	1. 100万円未満
2. 100~150万円未満	2. 100~150万円未満
3. 150~200万円未満	3. 150~200万円未満
4. 200~250万円未満	4. 200~250万円未満
5. 250~300万円未満	5. 250~300万円未満
6. 300~350万円未満	6. 300~350万円未満
7. 350~400万円未満	7. 350~400万円未満
8. 400万円以上	8. 400~450万円未満
	9. 450~500万円未満
	10. 500~550万円未満
	11. 550~600万円未満
	12. 600~650万円未満
	13. 650~700万円未満
	14. 700万円以上
	15. わからない

問7-1 あなたの家庭を普通に無理なく維持するためには、あとどの位の世帯の年収増が理想ですか。(1つに○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 必要ない         | 2. 50万円位        |
| 3. 50~70万円未満位   | 4. 70~100万円未満位  |
| 5. 100~120万円未満位 | 6. 120~150万円未満位 |
| 7. 150~170万円未満位 | 8. 170~200万円未満位 |
| 9. 200万円以上      |                 |

問8 子どもの養育費について取り決めをしていますか。(1つに○)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1. 取り決めをしている        | ⇒問8-1へ |
| 2. 取り決めをしていない       | ⇒問8-2へ |
| 3. 死別のため、取り決める相手がない | ⇒問9へ   |

問8-1 問8で「1. 取り決めをしている」とお答えの方におたずねします。養育費の支払い状況はいかがですか。(1つに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 約束どおり支払われている | 2. 支払われているが滞ることがある |
| 3. 支払われていない     | 4. その他( )          |

(問9へ)

問8-2 問8で「2. 取り決めをしていない」とお答えの方におたずねします。取り決めをしていない理由は何ですか。(1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 現在協議中          | 2. 取り決める相手がない    |
| 3. 取り決める相手と接触できない | 4. 自分の意思で        |
| 5. 相手に支払能力がない     | 6. 協議しても無駄だと思っから |
| 7. 制度を知らなかった      | 8. 周りの勧めで        |
| 9. その他( )         |                  |

3







## 平成 25 年度 子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書

---

発行日 平成 26 年 3 月  
発行元 相模原市健康福祉局こども育成部こども青少年課  
住 所 相模原市中央区中央 2 丁目 11 番 15 号 〒252-5277  
連絡先 TEL 042-769-9811 (直通) FAX 042-759-4395